がん研究会有明病院

年　報

2017-2018年

目　次

はじめに
1.　理念・基本方針 …… 1
2.　2017 ～ 2018 年の動き …… 2
3.　組織図 …… 6
4.　職員数 …… 12
5.　診療科と責任者 …… 13
6.　学会認定・指定・施設基準等 …… 19
7.　統計資料 …… 23
外来・入院実績 …… 24
疾患別入院患者数 …… 26
地区別外来患者数（総数） …… 32
◆全国 …… 32
◆東京都 …… 34
病理検査・細胞診検査件数 …… 36
CT・MRI 検査件数 …… 38
核医学検査件数 …… 39
内視鏡検査数 …… 40
超音波検査数 …… 41
院内がん登録集計 …… 42
①部位別・男女別件数（全体） …… 42
②診断時居住地別件数 …… 43
③主要 5 部位治療別件数 …… 45
④治療別件数 …… 47
⑤ステージ別件数 …… 48
⑥年齢別・部位別件数 …… 49
⑦症例区分別登録数 …… 51
8.　一般公開講座 …… 52
9.　学会・研究発表業績 …… 53
10.　雑誌・単行本発表業績 …… 246
11.　獲得研究費一覧 …… 389
12.　学術研究講演 …… 399
13.　財政状況 …… 403

はじめに

2017、18 年のがん研有明病院年報が完成したのでお届けします。以前から病院の活動状況、医師の業績などを本にしてお届けしていましたが、前回から電子媒体のみとすることにいたしました。この方が、もちろん場所も取りませんし、検索にも便利です。またもしデータを活用いただくことがあれば、そのままご利用いただけるはずです。

がん研有明病院は、2005 年に大塚から移転してきましたが、都心からややはずれる立地にもかかわらず多くの医療機関の皆様や患者さんのご支持をいただき、手術・化学療法の件数、がん登録件数は増加の一途をたどっています。職員数もこの 13 年間で 2 倍に増えました。もちろんその行程は平坦ではなく、さまざまな問題が発生してはその取り組みに追われましたし、経営改革にも職員一丸となって努力してきたわけですが、その結果今日、わが国で最も多くのがん患者さんを診療する病院となったことは、私たちのこの上ない誇りと喜びです。この年報に収めました診療実績データから、これを読み取っていただければ幸いです。

2018 年末には、「先端医療開発センター」の設立を決め、予算を決定しました。これはがん研有明病院の歴史の中でも新しい大きな第一歩です。これまでの「第一線の臨床実践」にとどまらず、がんゲノム医療やがん免疫治療を含む早期開発に踏み込み、最先端の診断・治療を自ら生み出して患者さんに届ける仕組みを立ち上げたのです。3 年後には 30 人規模のスタッフを抱えて多数の第 I 相試験に取り組んでいるはずです。どうぞご期待ください。

2019 年 11 月吉日

公益財団法人がん研究会有明病院
病院長 佐野　武

1．理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1．がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2．優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3．がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4．がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5．がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使　　命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1．新しいがん医療の創造に努めます
2．安全かつ質の高いがん医療を提供します
3．患者さん中心の親切ながん医療を行います
4．臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5．人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1．基本的人権に基づき、高質の医療を等しく受けることができます。 (基本的人権)
2．十分な説明と情報提供を受けることができます。 (十分な説明と情報提供)
3．自己の意思に基づいて診療を受けることができます。 (治療の自己決定)
4．自己の受けた診療内容を知ることができます。 (情報公開)
5．個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。 (個人情報保護)

例えば・・・

- セカンドオピニオンを求めることができます。
- 診療を受けることも、拒否することもできます。
- 一方、自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください。
- 診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

2. 2017 年～ 2018 年の動き

2017年（平成29年）

1月4日　がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
25年勤続表彰者15名、10年勤続表彰者49名、がん研究会学術賞1名、
特別賞2名、チーム表彰5チーム、優良賞11名

1月25日　健康保険組合連合会より「宣言の証」が発行される。

1月31日　がん研有明病院が「ジャパンインターナショナルホスピタルズ（JIH）」として政府より推奨される。

3月3日　（公財）日本医療機能評価機構が実施している「病院機能評価」の「機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.1」への更新が認定される
吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。

3月21日　Best English Paper of the Yearの授賞式が挙行される。
ゴールド賞１名、シルバー賞４名、ブロンズ賞２名

3月31日　細胞検査士養成所の平成29年度入学式（総勢13名）が挙行される。

4月1日　東京オペラシティで「がん患者さんが歌う春の第九チャリティーコンサート」が開催される。

4月2日　TOC有明ウエストタワー20階コンベンションホールにて、平成29年新職員辞令授与式（総勢201名）が挙行される。

4月6日　CT装置を1台増設する。

5月20日　東京ビッグサイトにて7回目の全員参加型職員研修会を開催する。

5月23日　平成29年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、コロンビア大学（米国）教授のスティーブン ゴッフ博士が選ばれる。
受賞内容：「多種の二枚貝における独立クローン性白血病細胞の種も超える広域水辺伝播」

6月26日　第14回定時評議員会・第71回理事会が開催される。
草刈隆郎が理事長を退任し、馬田一が新理事長に就任する。
草刈隆郎は理事（非常勤）に再任され、特別顧問に就任する。
馬田一が評議員会会長を退任し、増田幸央が評議員会会長に就任する。

7月7日　馬田一理事長の新理事長就任式が挙行される。

8月11日　吉田富三記念講堂他でジョンソン＆ジョンソン株式会社との共催により、「ブラック・ジャック セミナー」が開催される。

10月30日　女性活躍ワーキング「ワラビ」主催による、第１回「ワラビ's フォーラム」が開催される。

10月31日　細胞検査士養成所の平成29年度卒業式（総勢13名）が挙行される。

12月21日　第15回定時評議員会・第76回理事会が開催される。

2018年（平成30年）

1月4日　がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
25年勤続表彰者8名、10年勤続表彰者34名、がん研究会特別賞2名、チーム表彰5チーム、優良賞6名

2月5日　日本財団助成金による12階東病棟の改修工事が完了する。

2月27日　健康保険組合連合会より健康優良企業「銀の認定」を受ける。

3月6日　吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。

3月16日　「庭園いろどりプロジェクト」によるクラウドファンディングで7,883,000円（総勢355名）のご支援をいただく。

3月19日　Best English Paper of the Yearの授賞式が挙行される。
ゴールド賞１名、シルバー賞２名、ブロンズ賞２名

3月28日　細胞検査士養成所の平成30年度入学式（総勢14名）が挙行される。

4月1日　吉田富三記念講堂にて、平成30年新職員辞令授与式（総勢174名）が挙行され
一般社団法人日本雇用環境整備機構より「雇用環境整備適正事業者」の認定を受ける。

5月26日　東京ビッグサイトにて8回目の全員参加型職員研修会を開催する。

5月29日　平成30年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、佐賀国際重粒子線がん治療財団理事長の中川原 章博士が選ばれる。
受賞内容：「神経芽腫の自然退縮の機序解明とヒト新規進化遺伝子産物N-CYMの発見」

6月19日　第16回定時評議員会・第82回理事会が開催される。

6月30日　山口俊晴ががん研有明病院の病院長を退任する。

7月1日　山口俊晴ががん研有明病院の名誉院長に就任する。
佐野武ががん研有明病院の病院長に就任する。
大野真司（乳腺センター長）ががん研有明病院の副院長に就任する。
小口正彦（放射線治療部部長）ががん研有明病院の副院長に就任する。

7月9日　クラウドファンディングによる5階の屋上庭園の完成お披露目会を開催する。

7月24日　新旧病院長の特別講演会を開催する。

8月4日　吉田富三記念講堂他でジョンソン＆ジョンソン株式会社との共催により、「ブラック・ジャック セミナー」が開催される。

10月22日　上海への健診センター設置に伴う技術支援に関し、FOSUNとの基本合意書を締結する。

10月31日　細胞検査士養成所の平成30年度卒業式（総勢14名）が挙行される。

11月1日　奥村栄（呼吸器センター長）ががん研有明病院の院長補佐に就任する。
渡邊雅之（消化器外科部長）ががん研有明病院の院長補佐に就任する。

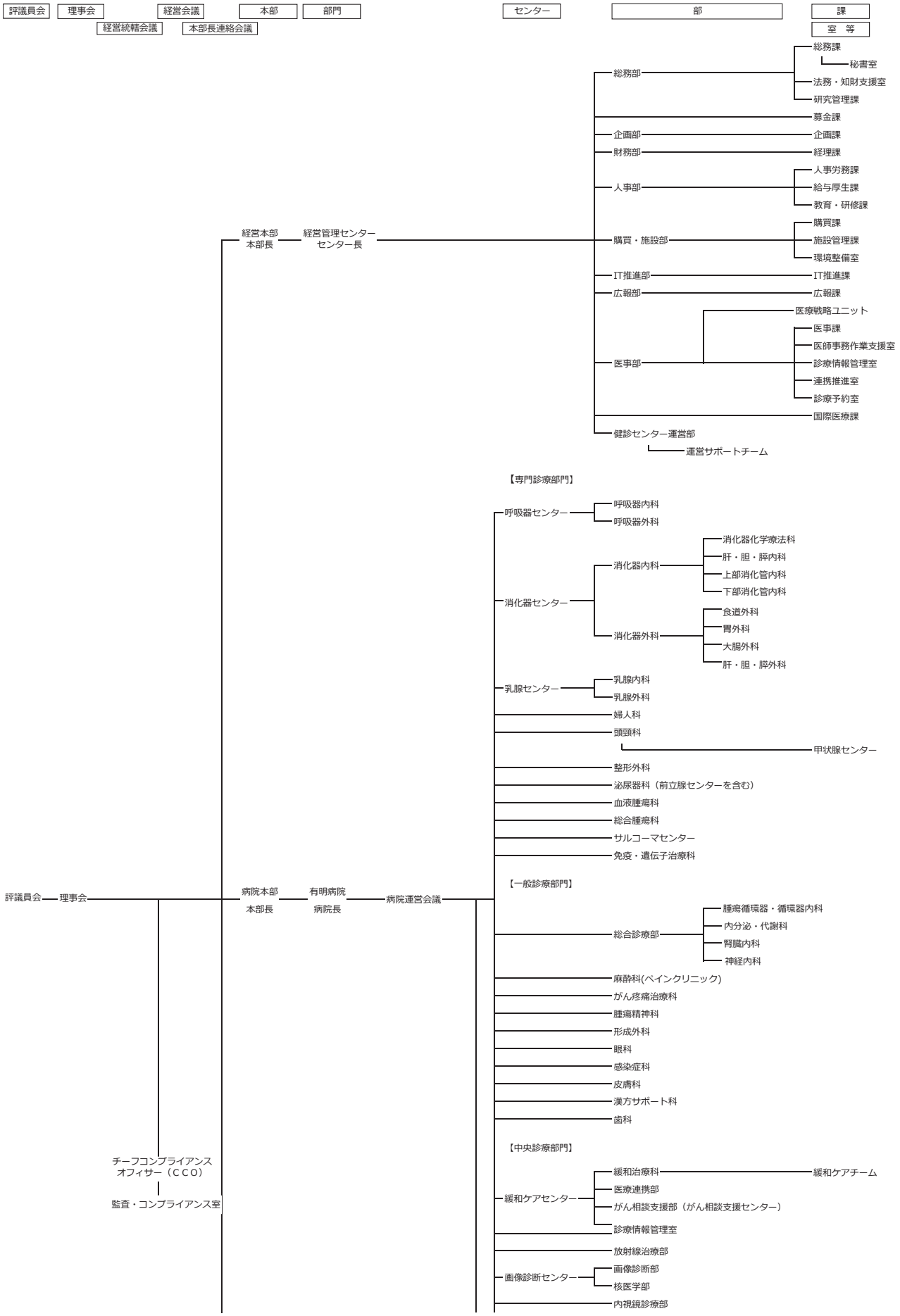
11月16日　手術支援ロボット「da Vinci Xi サージカルシステム」を2台導入する。

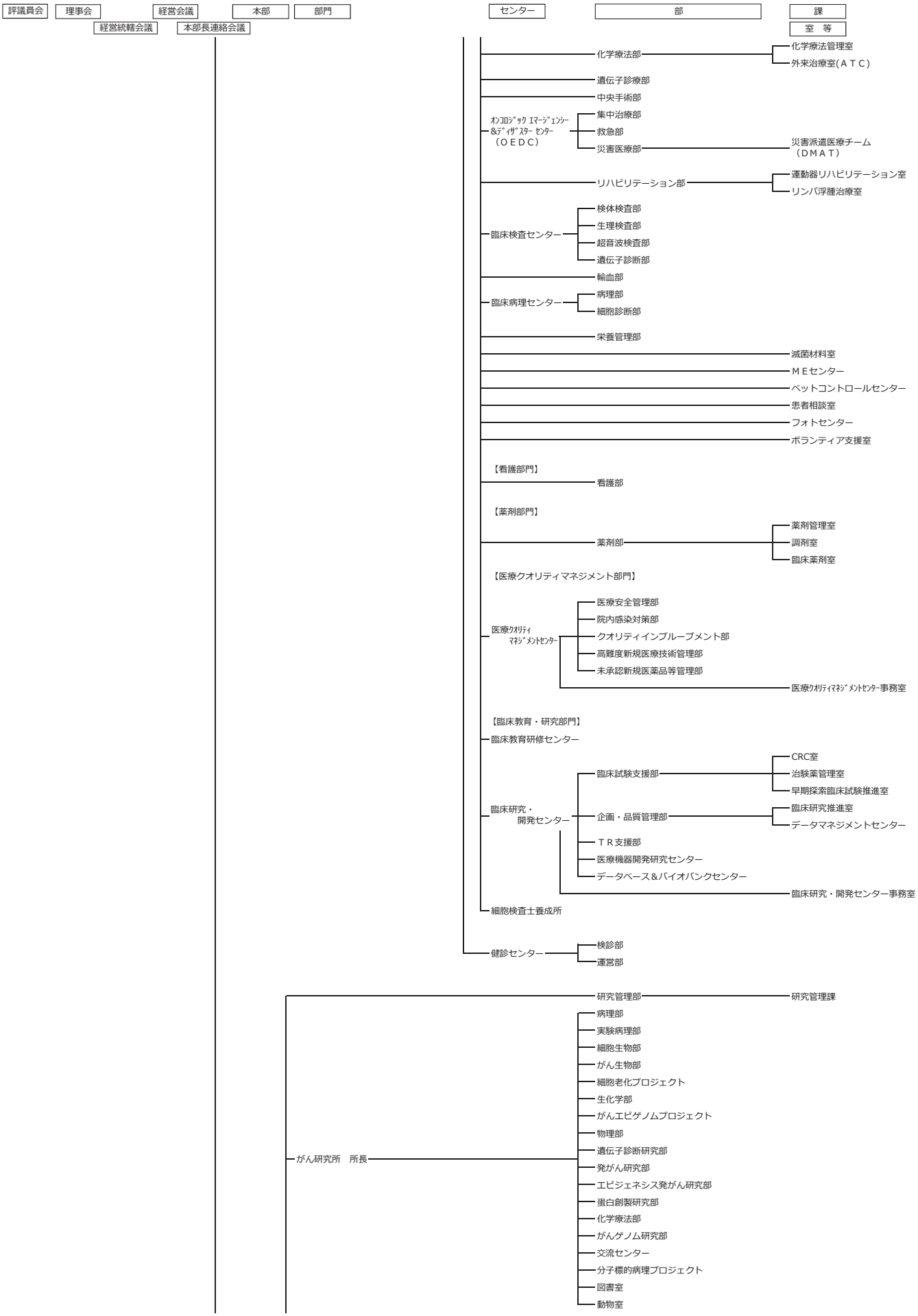
11月22日　女性活躍ワーキング「ワラビ」主催による、第２回「ワラビ's フォーラム」が開催される。

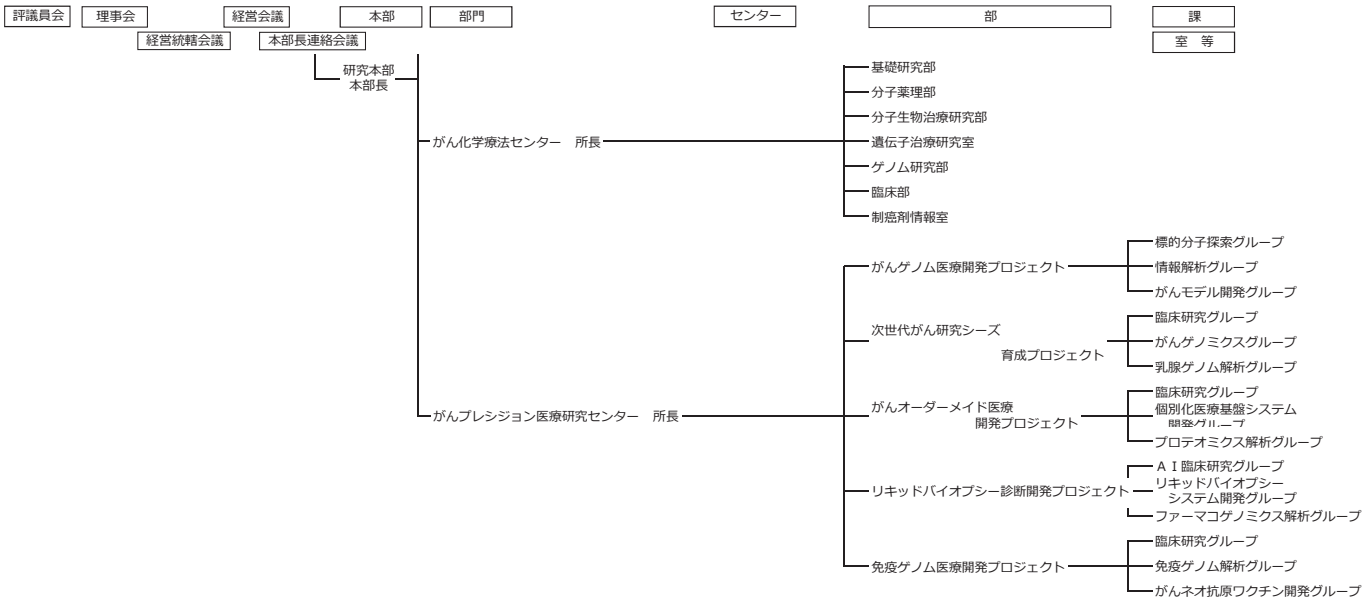
12月19日　第17回定時評議員会・第87回理事会が開催される。

3．組織図

公益財団法人　がん研究会機構図（2017 年 4 月 1 日）

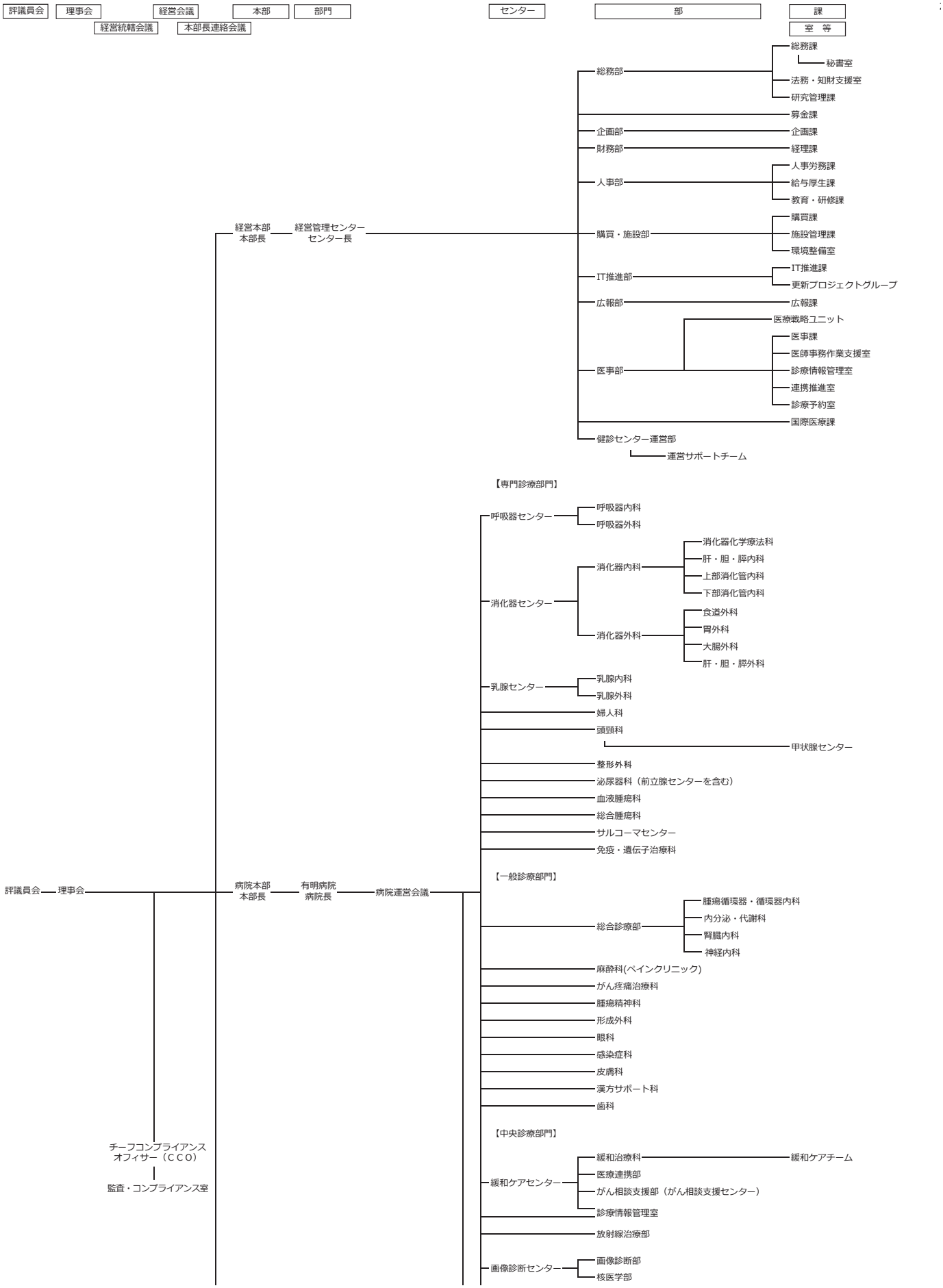


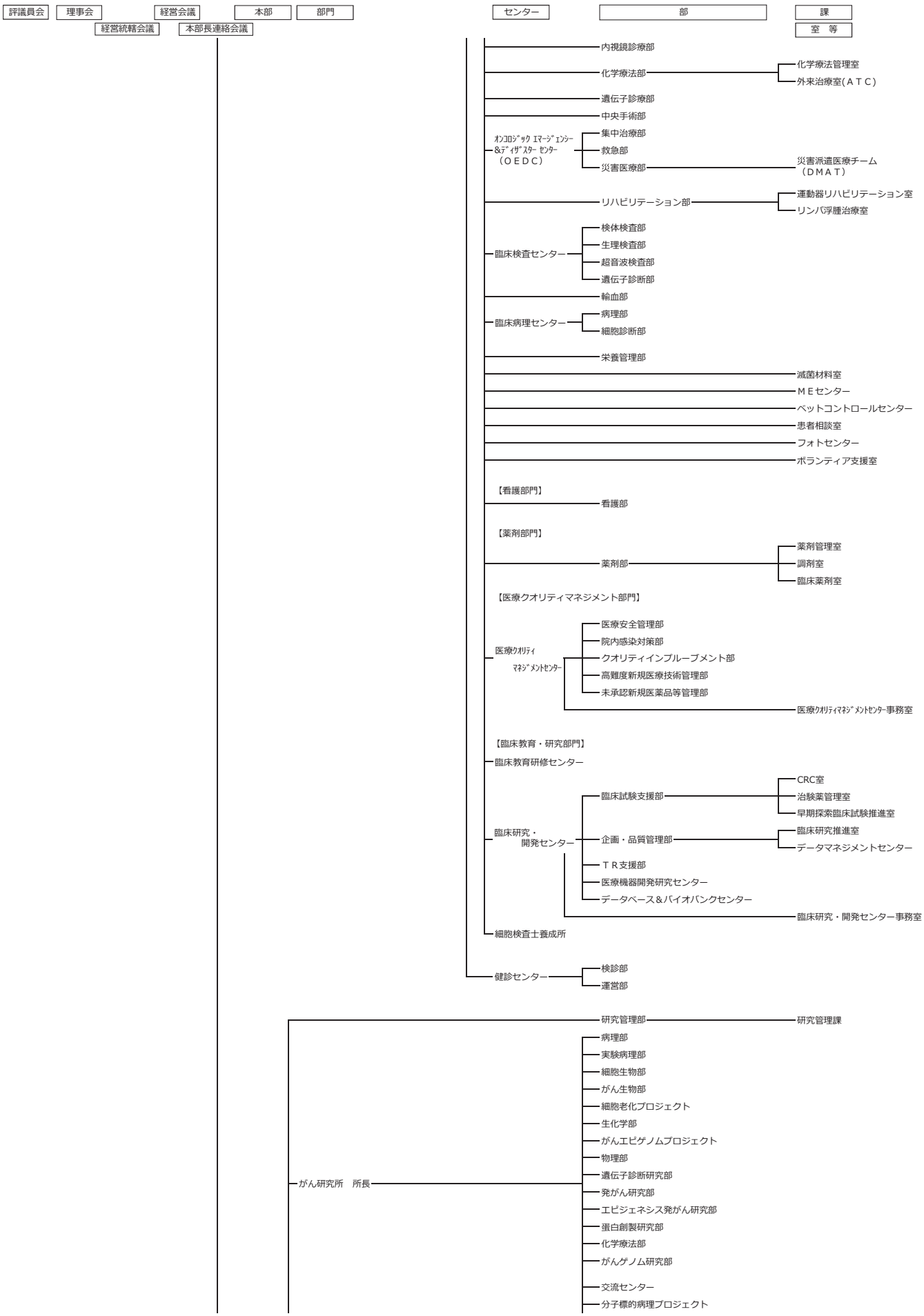

評議員会
理事会
経営会議
経営統轄会議
本部長連絡会議
本部
部門
センター
部
課
室　等
化学療法部
化学療法管理室
外来治療室(ＡＴＣ)
遺伝子診療部
中央手術部
ｵﾝｺﾛｼﾞｯｸ ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰ
&ﾃﾞｨｻﾞｽﾀｰ ｾﾝﾀｰ
（ＯＥＤＣ）
集中治療部
救急部
災害医療部
災害派遣医療チーム
（ＤＭＡＴ）
リハビリテーション部
運動器リハビリテーション室
リンパ浮腫治療室
臨床検査センター
検体検査部
生理検査部
超音波検査部
遺伝子診断部
輸血部
臨床病理センター
病理部
細胞診断部
栄養管理部
滅菌材料室
ＭＥセンター
ペットコントロールセンター
患者相談室
フォトセンター
ボランティア支援室
【看護部門】
看護部
【薬剤部門】
薬剤部
薬剤管理室
調剤室
臨床薬剤室
【医療クオリティマネジメント部門】
医療ｸｵﾘﾃｨ
ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ
医療安全管理部
院内感染対策部
クオリティインプルーブメント部
高難度新規医療技術管理部
未承認新規医薬品等管理部
医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ事務室
【臨床教育・研究部門】
臨床教育研修センター
臨床研究・
開発センター
臨床試験支援部
CRC室
治験薬管理室
早期探索臨床試験推進室
企画・品質管理部
臨床研究推進室
データマネジメントセンター
ＴＲ支援部
医療機器開発研究センター
データベース＆バイオバンクセンター
臨床研究・開発センター事務室
細胞検査士養成所
健診センター
検診部
運営部
研究管理部
研究管理課
がん研究所　所長
病理部
実験病理部
細胞生物部
がん生物部
細胞老化プロジェクト
生化学部
がんエピゲノムプロジェクト
物理部
遺伝子診断研究部
発がん研究部
エピジェネシス発がん研究部
蛋白創製研究部
化学療法部
がんゲノム研究部
交流センター
分子標的病理プロジェクト
図書室
動物室

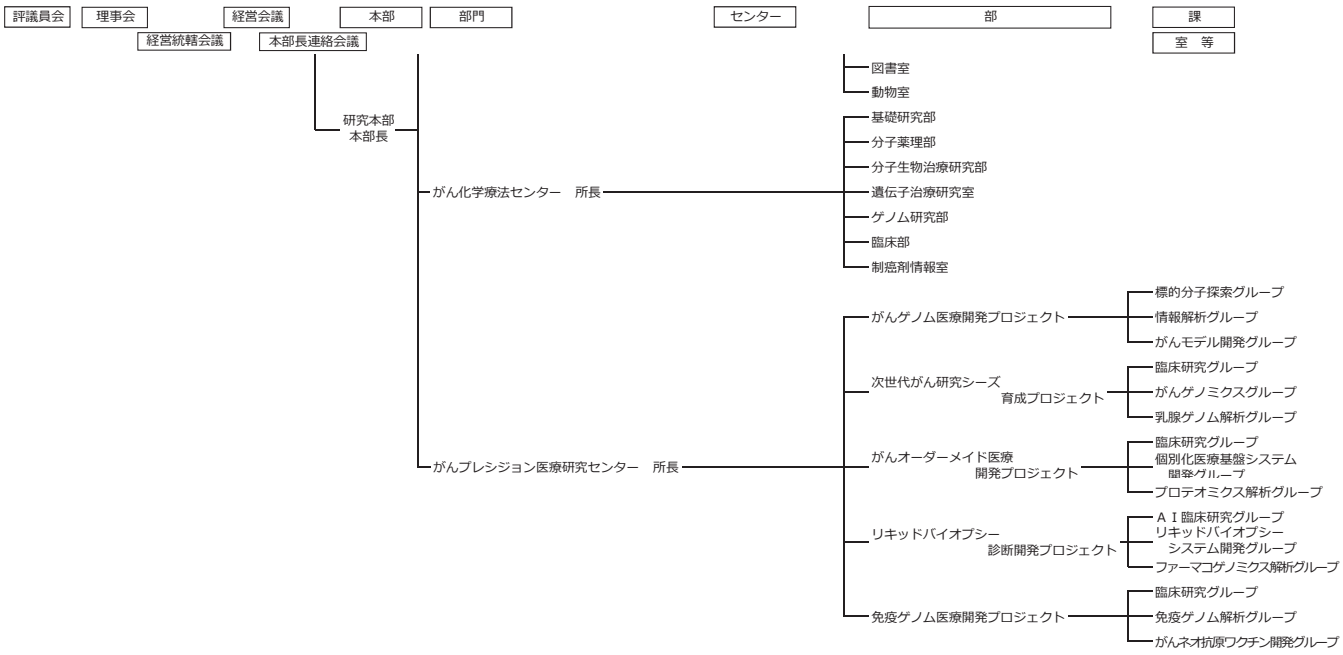


＊がん研究会における放射線障害予防のための組織は、　放射線障害予防規程の第２章「組織及び職務」中に明示する。

公益財団法人　がん研究会機構図（2018 年 4 月 1 日）




評議員会
理事会
経営会議
本部
部門
センター
部
課
室 等
経営統轄会議
本部長連絡会議
内視鏡診療部
化学療法部
化学療法管理室
外来治療室(ＡＴＣ)
遺伝子診療部
中央手術部
ｵﾝｺﾛｼﾞｯｸ ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰ
&ﾃﾞｨｻﾞｽﾀｰ ｾﾝﾀｰ
（ＯＥＤＣ）
集中治療部
救急部
災害医療部
災害派遣医療チーム
（ＤＭＡＴ）
リハビリテーション部
運動器リハビリテーション室
リンパ浮腫治療室
臨床検査センター
検体検査部
生理検査部
超音波検査部
遺伝子診断部
輸血部
臨床病理センター
病理部
細胞診断部
栄養管理部
滅菌材料室
ＭＥセンター
ペットコントロールセンター
患者相談室
フォトセンター
ボランティア支援室
【看護部門】
看護部
【薬剤部門】
薬剤部
薬剤管理室
調剤室
臨床薬剤室
【医療クオリティマネジメント部門】
医療ｸｵﾘﾃｨ
ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ
医療安全管理部
院内感染対策部
クオリティインプルーブメント部
高難度新規医療技術管理部
未承認新規医薬品等管理部
医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ事務室
【臨床教育・研究部門】
臨床教育研修センター
臨床研究・
開発センター
臨床試験支援部
CRC室
治験薬管理室
早期探索臨床試験推進室
企画・品質管理部
臨床研究推進室
データマネジメントセンター
ＴＲ支援部
医療機器開発研究センター
データベース＆バイオバンクセンター
臨床研究・開発センター事務室
細胞検査士養成所
健診センター
検診部
運営部
研究管理部
研究管理課
がん研究所　所長
病理部
実験病理部
細胞生物部
がん生物部
細胞老化プロジェクト
生化学部
がんエピゲノムプロジェクト
物理部
遺伝子診断研究部
発がん研究部
エピジェネシス発がん研究部
蛋白創製研究部
化学療法部
がんゲノム研究部
交流センター
分子標的病理プロジェクト



＊がん研究会における放射線障害予防のための組織は、　放射線障害予防規程の第２章「組織及び職務」中に明示する。

４．職員数

2017年12月

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	362	0	363	169
薬剤師	0	65	0	65	0
看護師	0	805	0	805	15
臨床検査技師	0	83	0	83	1
診療放射線技師	0	84	0	84	1
栄養士	0	12	0	12	0
事務職員	162	39	9	210	22
研究員	0	4	75	79	12
その他	0	178	76	254	43
計	163	1632	151	1955	263

2018年12月

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	3	359	0	362	156
薬剤師	0	69	0	69	0
看護師	0	822	0	822	10
臨床検査技師	0	86	0	86	0
診療放射線技師	0	82	0	82	2
栄養士	0	11	0	11	1
事務職員	164	50	10	224	23
研究員	1	4	80	85	13
その他	0	161	74	235	45
計	168	1644	164	1976	250

5. 診療科と責任者

【2017 年 12 月 1 日】

名誉院長	武藤　徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）・門田　守人（消化器外科）
病院長	山口　俊晴（消化器外科）
副院長	松本　誠一（整形外科）・佐野　武（消化器外科）・横田　美幸（麻酔科）・清水　多嘉子（看護部）
院長補佐	髙橋　俊二（総合腫瘍科）・米瀬　淳二（泌尿器科）・長田　理（医療安全管理部）・大野　真司（乳腺センター）・小口　正彦（放射線治療部）・濱　敏弘（薬剤部）・山口　研成（消化器内科）
顧問	中島　聰總（消化器外科）・宝来　威（呼吸器内科）・三木　一正（消化器内科）・川口　智義（整形外科）・髙橋　寛（健診センター）・五十嵐　正広（消化器内科）・荷見　勝彦（婦人科）・滝沢　憲（婦人科）・川端　一嘉（頭頸科）・福井　巌（泌尿器科）・十字　猛夫（輸血部）・河野　敦（画像診断部）
呼吸器センター	センター長　奥村　栄
呼吸器内科	部長　西尾　誠人
呼吸器外科	部長　奥村　栄・副部長　文　敏景
消化器センター	センター長　佐野　武
消化器内科	部長　藤崎　順子
消化器化学療法科	部長　山口　研成・副部長　陳　勁松
肝・胆・膵内科	部長　笹平　直樹
上部消化管内科	部長　藤崎　順子・副部長　平澤　俊明
下部消化管内科	部長　斎藤　彰一・副部長　為我井　芳郎・副部長　千野　晶子
消化器外科	部長　佐野　武
食道外科	部長　渡邊　雅之・副部長　峯　真司
胃外科	部長　比企　直樹・副部長　布部　創也・副部長　大橋　学
大腸外科	部長　上野　雅資・副部長　福長　洋介
肝・胆・膵外科	部長　齋浦　明夫・副部長　髙橋　祐
乳腺センター	センター長　大野　真司
乳腺内科	部長　伊藤　良則
乳腺外科	部長　上野　貴之・副部長　宮城　由美・副部長　森園　英智
婦人科	部長　竹島　信宏 副部長　宇津木　久仁子　副部長　加藤　一喜 副部長　金尾　祐之　副部長　杉山　裕子
頭頸科	部長　三谷　浩樹
整形外科	部長　阿江　啓介
泌尿器科	部長　米瀬　淳二・副部長　山本　真也・担当副部長　湯浅　健
血液腫瘍科	部長　畠　清彦・担当部長　照井　康仁
総合腫瘍科	部長　髙橋　俊二
サルコーマセンター	センター長　松本　誠一
免疫・遺伝子治療科	－　－
総合診療部	部長　中山　耕之介・副部長　志賀　太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長　志賀　太郎

内分泌・代謝科	部長　中山　耕之介
腎臓内科	－　－
神経内科	－　－
麻酔科（ペインクリニック）	部長　横田　美幸
	副部長　関　誠・副部長　服部　政治・副部長　長田　理
がん疼痛治療科	部長　服部　政治
腫瘍精神科	部長　山田　健志
形成外科	部長　澤泉　雅之
眼科	部長　辻　英貴
感染症科	部長　原田　壮平
皮膚科	－　－
漢方サポート科	－　－
歯科	部長　富塚　健
緩和ケアセンター	センター長　松本　誠一
緩和治療科	部長　奈良林　至
医療連携部	部長　唐渡　敦也
がん相談支援部（がん相談支援センター）	部長　濱口　恵子
診療情報管理室	室長　小口　正彦
放射線治療部	部長　小口　正彦・担当部長　吉岡　靖生・副部長　角　美奈子
画像診断センター	センター長　松枝　清
画像診断部	部長　松枝　清
	担当部長　負門　克典・担当部長　田中　優美子・担当部長　上田　和彦
	副部長　田中　宏子・副部長　山田　恵子
核医学部	部長　小泉　満・副部長　寺内　隆司
内視鏡診療部	部長　藤崎　順子
化学療法部	部長　髙橋　俊二
遺伝子診療部	部長　新井　正美
中央手術部	部長　齋浦　明夫・副部長　竹島　信宏
オンコロジックエマージェンシー＆ディザスターセンター（OEDC）	センター長　横田　美幸
集中治療部	部長　山本　豊
救急部	部長　横田　美幸
災害医療部	部長　横田　美幸
リハビリテーション部	部長　阿江　啓介
臨床検査センター	センター長　中山　耕之介
検体検査部	部長　中山　耕之介・副部長　海老原　文
生理検査部	部長　中山　耕之介
超音波検査部	部長　山田　恵子・副部長　海老原　文
遺伝子診断部	部長　三木　義男
輸血部	部長　米瀬　淳二
臨床病理センター	センター長　石川　雄一
病理部	部長　石川　雄一
細胞診断部	部長　杉山　裕子
栄養管理部	部長　比企　直樹・副部長　中濵　孝志・担当副部長　峯　真司
看護部	部長　清水　多嘉子
	副部長　濱口　恵子　副部長　中原　由美子
	副部長　鈴木　美穂　副部長　北野　雅子

薬剤部	部長　濱　敏弘・副部長　鈴木　賢一
医療クオリティマネジメントセンター	センター長　横田　美幸
医療安全管理部	部長　長田　理・副部長　保田　知生
院内感染対策部	部長　原田　壮平・副部長　羽山　ブライアン
クオリティインプルーブメント部	部長　西尾　誠人
高難度新規医療技術管理部	部長　齋浦　明夫
未承認新規医薬品等管理部	部長　濱　敏弘
臨床教育研修センター	センター長　伊藤　良則
臨床研究・開発センター	センター長　佐野　武
臨床試験支援部	部長　髙橋　俊二・副部長　山口　研成
企画・品質管理部	部長　山口　研成・副部長　石塚　直樹
TR 支援部	部長　渡邊　雅之・副部長　長山　聡
医療機器開発研究センター	センター長　比企　直樹
データベース＆バイオバンクセンター	センター長　小口　正彦・副センター長　大野　真司
細胞検査士養成所	所長　杉山　裕子・副所長　小松　京子
健診センター	センター長　土田　知宏・名誉センター長　中川　健
検診部	チーフドクター　土田　知宏・副部長　宇津木　久仁子
運営部	部長　常田　茂・副部長　田中　正典

【2018 年 12 月 1 日】

名誉院長	武藤　徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）・ 門田　守人（消化器外科）・山口　俊晴（消化器外科）
病院長	佐野　武（消化器外科）
副院長	松本　誠一（整形外科）・大野　真司（乳腺センター）・ 小口　正彦（放射線治療部）・横田　美幸（麻酔科）・ 清水　多嘉子（看護部）
院長補佐	髙橋　俊二（総合腫瘍科）・米瀬　淳二（泌尿器科）・ 奥村　栄（呼吸器外科）・渡邊　雅之（消化器外科）・ 山口　研成（消化器内科）・濱　敏弘（薬剤部）
顧問	宝来　威（呼吸器内科）・三木　一正（消化器内科）・ 川口　智義（整形外科）・髙橋　寛（健診センター）・ 五十嵐　正広（消化器内科）・荷見　勝彦（婦人科）・ 川端　一嘉（頭頸科）・福井　巌（泌尿器科）・河野　敦（画像診断部）
呼吸器センター	センター長　奥村　栄
呼吸器内科	部長　西尾　誠人
呼吸器外科	部長　奥村　栄・副部長　文　敏景
消化器センター	センター長　福長　洋介
消化器内科	部長　藤崎　順子
消化器化学療法科	部長　山口　研成・副部長　陳　勁松
肝・胆・膵内科	部長　笹平　直樹・副部長　尾阪　将人
上部消化管内科	部長　藤崎　順子・副部長　平澤　俊明・副部長　由雄　敏之
下部消化管内科	部長　斎藤　彰一・副部長　千野　晶子
消化器外科	部長　渡邊　雅之
食道外科	部長　渡邊　雅之・副部長　峯　真司
胃外科	部長　比企　直樹・副部長　布部　創也・副部長　大橋　学
大腸外科	部長　上野　雅資・副部長　福長　洋介
肝・胆・膵外科	部長　齋浦　明夫・副部長　髙橋　祐
乳腺センター	センター長　大野　真司
乳腺内科	部長　伊藤　良則
乳腺外科	部長　上野　貴之・副部長　宮城　由美・副部長　森園　英智
婦人科	部長　竹島　信宏
	副部長　宇津木　久仁子・副部長　加藤　一喜・副部長　金尾　祐之
頭頸科	部長　三谷　浩樹
整形外科	部長　阿江　啓介
泌尿器科	部長　米瀬　淳二・担当部長　山本　真也・担当部長　湯浅　健
血液腫瘍科	部長　照井　康仁
総合腫瘍科	部長　髙橋　俊二
サルコーマセンター	センター長　松本　誠一
免疫・遺伝子治療科	－　－
総合診療部	部長　中山　耕之介・副部長　志賀　太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長　志賀　太郎
内分泌・代謝科	部長　中山　耕之介
腎臓内科	－　－

神経内科	ー　ー
麻酔科（ペインクリニック）	部長　横田　美幸・副部長　関　誠・副部長　服部　政治
がん疼痛治療科	部長　服部　政治
腫瘍精神科	部長　山田　健志
形成外科	部長　澤泉　雅之・副部長　矢野　智之
眼科	部長　辻　英貴
感染症科	部長　横田　美幸
皮膚科	部長　中山　耕之介
漢方サポート科	ー　ー
歯科	部長　富塚　健
緩和ケアセンター	センター長　松本　誠一
緩和治療科	部長　川原　玲子
医療連携部	部長　唐渡　敦也
がん相談支援部（がん相談支援センター）	部長　濱口　恵子
診療情報管理室	室長　小口　正彦
放射線治療部	部長　小口　正彦・担当部長　吉岡　靖生・副部長　角　美奈子
画像診断センター	センター長　松枝　清
画像診断部	部長　松枝　清
	担当部長　負門　克典　　担当部長　田中　優美子
	担当部長　上田　和彦　　担当部長　菊池　真理
	副部長　田中　宏子
核医学部	部長　小泉　満・副部長　寺内　隆司
内視鏡診療部	部長　藤崎　順子
化学療法部	部長　髙橋　俊二
遺伝子診療部	部長　中島　健
中央手術部	部長　福長　洋介・副部長　竹島　信宏
オンコロジックエマージェンシー＆ディザスターセンター（OEDC）	センター長　横田　美幸
集中治療部	部長　山本　豊
救急部	部長　横田　美幸
災害医療部	部長　横田　美幸
リハビリテーション部	部長　阿江　啓介
臨床検査センター	センター長　中山　耕之介
検体検査部	部長　中山　耕之介・副部長　海老原　文
生理検査部	部長　中山　耕之介
超音波検査部	部長　松枝　清・副部長　海老原　文
遺伝子診断部	部長　三木　義男
輸血部	部長　米瀬　淳二
臨床病理センター	センター長　竹内　賢吾
病理部	部長　髙澤　豊
細胞診断部	部長　杉山　裕子
栄養管理部	部長　比企　直樹・副部長　中濵　孝志・担当副部長　峯　真司
看護部	部長　清水　多嘉子
	副部長　濱口　恵子　　副部長　中原　由美子
	副部長　鈴木　美穂　　副部長　北野　雅子
薬剤部	部長　濱　敏弘・副部長　鈴木　賢一

医療クオリティマネジメントセンター	センター長　横田　美幸
医療安全管理部	部長　保田　知生
院内感染対策部	部長　横田　美幸・副部長　羽山　ブライアン
クオリティインプルーブメント部	部長　西尾　誠人
高難度新規医療技術管理部	部長　齋浦　明夫
未承認新規医薬品等管理部	部長　濱　敏弘
臨床教育研修センター	センター長　伊藤　良則
臨床研究・開発センター	センター長　山口　研成
臨床試験支援部	部長　髙橋　俊二・副部長　山口　研成
企画・品質管理部	部長　山口　研成・副部長　石塚　直樹
TR 支援部	部長　渡邊　雅之・副部長　長山　聡
医療機器開発研究センター	センター長　比企　直樹
データベース＆バイオバンクセンター	センター長　小口　正彦・副センター長　大野　真司
細胞検査士養成所	所長　杉山　裕子・副所長　小松　京子
健診センター	センター長　土田　知宏・名誉センター長　中川　健
検診部	チーフドクター　土田　知宏・副部長　宇津木　久仁子
運営部	部長　常田　茂・副部長　田中　正典

6. 学会認定・指定・施設基準等

1．都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成 14 年 3 月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して平成 27 年 3 月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2．学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

1） 日本医学放射線学会
2） 日本病理学会
3） 日本内科学会
4） 日本外科学会
5） 日本消化器外科学会
6） 日本消化器内視鏡学会
7） 日本麻酔科学会
8） 日本眼科学会
9） 日本産科婦人科学会
10） 日本泌尿器科学会
11） 日本消化器病学会
12） 日本臨床腫瘍学会
13） 日本静脈経腸栄養学会
14） 日本呼吸器学会
15） 日本大腸肛門病学会
16） 日本耳鼻咽喉科学会
17） 日本超音波医学会
18） 日本血液学会
19） 日本核医学会
20） 日本ペインクリニック学会
21） 日本乳癌学会
22） 日本臨床細胞学会
23） 日本形成外科学会
24） 日本放射線腫瘍学会
25） 日本整形外科学会
26） 日本婦人科腫瘍学会
27） 日本肝胆膵外科学会
28） 日本がん治療認定医機構
29） 日本甲状腺学会
30） 日本頭頸部外科学会
31） 日本皮膚科学会
32） 日本総合病院精神医学会
33） 日本感染症学会
34） 日本救急医学会
35） 日本消化管学会
36） 日本緩和医療学会
37） 日本集中治療医学会

3．施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

1） 歯科外来診療環境体制加算
2） 特定機能病院入院基本料 7：1
3） 診療録管理体制加算 1
4） 医師事務作業補助体制加算 1　30：1
5） 急性期看護補助体制加算 50：1
6） 看護職員夜間配置加算 12:1 配置加算 1
7） 療養環境加算
8） 重症者等療養環境特別加算
9） 無菌治療室管理加算
10） 緩和ケア診療加算
11） がん診療連携拠点病院加算
12） 栄養サポートチーム加算
13） 医療安全管理加算 1
14） 感染防止対策加算 1
15） 患者サポート体制充実加算
16） 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
17） 総合評価加算
18） 後発医薬品使用体制加算 2
19） 病棟薬剤業務実施加算
20） データ提出加算
21） 入退院支援加算
22） 特定集中治療室管理料 3
23） 緩和ケア病棟入院料

特掲診療料の施設基準

1） がん性疼痛緩和指導管理料
2） がん患者指導管理料 1
3） がん患者指導管理料 2
4） がん患者指導管理料 3
5） 外来緩和ケア管理料
6） 救急搬送看護体制加算
7） 外来放射線照射診療料
8） ニコチン依存症管理料
9） 相談体制充実加算
10） がん治療連携計画策定料
11） 薬剤管理指導料
12） 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
13） 医療機器安全管理料 1
14） 医療機器安全管理料 2
15） 歯科治療総合医療管理料
16） 遺伝学的検査
17） ＨＰＶ核酸検出
18） 検体検査管理加算（Ⅰ）
19） 検体検査管理加算（Ⅳ）
20） 国際標準検査管理加算
21） 遺伝カウンセリング加算
22） ロービジョン検査判断料
23） 画像診断管理加算 1
24） 画像診断管理加算 2
25） ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
26） CT 撮影及び MRI 撮影
27） 乳房 MRI 撮影
28） 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
29） 外来化学療法加算 1
30） 無菌製剤処理料
31） 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
32） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
33） 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
34） がん患者リハビリテーション料
35） リンパ浮腫複合的治療料
36） 集団コミュニケーション療法料
37） 歯科口腔リハビリテーション料 2
38） 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
39） CAD/CAM 冠
40） 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
41） 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
42） 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
43） 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術
44） 乳がんセンチネルリンパ節加算
45） 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術）
46） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
47） 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖

術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）

48） 大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
49） 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
50） 腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
51） 腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術
52） 腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍摘出術
53） 腹腔鏡下小切開副腎摘出術
54） 腹腔鏡下小切開腎部分切除術、
55） 腹腔鏡下小切開腎摘出術、
56） 腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
57） 腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
58） 腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
59） 胆管悪性腫瘍手術
60） 腹腔鏡下肝切除術
61） 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
62） 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
63） 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
64） 腹腔鏡下直腸切除・切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
65） 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
66） 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
67） 人工尿道括約筋植込・置換術
68） 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
69） 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
70） 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
71） 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
72） 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
73） 胃瘻造設術
74） 輸血管理料Ⅱ
75） 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
76） 歯周組織再生誘導術
77） 麻酔管理料（Ⅰ）
78） 麻酔管理料（Ⅱ）
79） 放射線治療専任加算
80） 外来放射線治療加算
81） 高エネルギー放射線治療
82） 1 回線量増加加算
83） 強度変調放射線治療（IMRT）
84） 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
85） 体外照射呼吸性移動対策加算
86） 定位放射線治療
87） 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
88） 画像誘導密封小線源治療加算
89） 病理診断管理加算 2
90） デジタル病理画像による病理診断
91） 悪性腫瘍病理組織標本加算
92） 口腔病理診断管理加算 2
93） クラウン・ブリッジ維持管理料

酸素及び窒素の価格
入院時食事療養(Ⅰ)の施設基準
実施報告が必要なもの

1）　特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
2）　病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
3）　180 日を超える入院の実施(変更)報告書
4）　金属床による総義歯の提供の実施報告書

3．その他の指定

1）　指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
2）　生活保護法指定医療機関
3）　母体保護法指定医の配置されている医療機関
4）　東京都災害拠点病院
5）　臨床研修指定病院
6）　都道府県がん診療連携拠点病院
7）　救急告示医療機関
8）　休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
9）　外国医師臨床修練病院
10）　日本医療機能評価機構認定病院
11）　労災指定病院
12）　特定機能病院

4．外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日　午前 8 時 30 分～正午

5．休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6．面会時間

平　日　　：午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
（ICU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日：午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
（ICU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

7. 統計資料

外来・入院実績…… 24
疾患別入院患者数…… 26
地区別外来患者数（総数）…… 32
◆全国…… 32
◆東京都…… 34
病理検査・細胞診検査件数…… 36
CT・MRI 検査件数 …… 38
核医学検査件数…… 39
内視鏡検査数…… 40
超音波検査数…… 41
院内がん登録集計…… 42
①部位別・男女別件数（全体）…… 42
②診断時居住地別件数…… 43
③主要５部位治療別件数…… 45
④治療別件数…… 47
⑤ステージ別件数…… 48
⑥年齢別・部位別件数…… 49
⑦症例区分別登録数…… 51

外来・入院実績　【2017年1月～12月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	782	15,149	1,340	16,804
呼吸外	495	9,966	597	6,119
消化内	2,614	64,806	3,985	34,546
消化外	2,371	38,911	2,854	50,180
乳腺科	2,575	61,387	1,587	14,218
婦人科	2,201	36,586	2,998	29,648
頭頸科	983	30,358	686	15,059
整形外	1,083	11,505	912	11,267
泌尿器	1,393	27,860	1,745	14,271
総腫瘍	157	6,558	636	11,004
放射線	34	36,320	1	12
総内科	796	20,658	0	0
腫瘍精	6	2,442	0	0
眼科	271	8,134	104	772
皮膚科	8	1,990	0	0
歯科	2,490	11,084	0	0
一般外	0	1	0	0
形成外	40	10,175	420	1,958
麻酔科	4	2,282	0	0
救急部	497	902	5	8
緩和	17	2,201	91	7,885
放診断	100	835	0	0
健内科	2,466	87	0	0
遺伝診	471	356	0	0
血液腫	377	13,458	816	10,868
患者支	5	2,077	0	0
肝胆外	0	7	0	0
感染科	1	12	0	0
が疼痛	5	368	4	9
総計	22,242	416,475	18,781	224,628

外来・入院実績　【2018年1月～12月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	1,086	15,408	1,331	17,316
呼吸外	598	9,770	631	5,845
消化内	2,833	65,802	4,306	38,058
消化外	2,523	40,551	2,811	47,561
乳腺科	2,445	63,461	1,633	14,513
婦人科	2,350	38,544	3,169	31,009
頭頸科	1,265	30,246	708	16,860
整形外	1,155	11,516	910	12,786
泌尿器	1,409	27,838	1,687	14,158
総腫瘍	121	6,578	601	11,253
放射線	55	34,187	0	0
総内科	1,165	20,066	1	2
腫瘍精	40	2,408	0	0
眼科	413	7,717	91	661
皮膚科	377	2,598	14	97
歯科	2,064	12,927	0	0
形成外	109	9,821	385	2,303
麻酔科	12	2,198	0	0
救急部	553	967	5	9
緩和	24	2,177	110	8,297
放診断	64	598	0	0
健内科	2,925	131	0	0
遺伝診	515	318	0	0
血液腫	512	13,032	739	11,400
患者支	10	2,023	0	0
乳腺内	0	1	0	2
肝胆外	0	5	0	0
が疼痛	14	278	3	7
総計	24,637	421,166	19,135	232,137

疾患別入院患者数　【2017年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　名	男	女	合計
総数①+②+③	9,012	10,285	19,297
①悪性新生物(C00−C97)	7,556	8,348	15,904
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	484	137	621
C 00　口唇の悪性新生物	0	1	1
C 01　舌根〈基底〉部の悪性新生物	1	2	3
C 02　その他及び部位不明の舌の悪性新生物	73	40	113
C 03　歯肉の悪性新生物	28	24	52
C 04　口腔底の悪性新生物	15	3	18
C 05　口蓋の悪性新生物	11	2	13
C 06　その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	10	6	16
C 07　耳下腺の悪性新生物	10	10	20
C 08　その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	6	5	11
C 09　扁桃の悪性新生物	1	0	1
C 10　中咽頭の悪性新生物	109	25	134
C 11　鼻<上>咽頭の悪性新生物	32	3	35
C 12　梨状陥凹<洞>の悪性新生物	1	0	1
C 13　下咽頭の悪性新生物	187	16	203
C 14　その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物			0
消化器の悪性新生物(C15−C26)	3,441	2,036	5,477
C 15　食道の悪性新生物	693	164	857
C 16　胃の悪性新生物	1,054	575	1,629
C 17　小腸の悪性新生物	45	19	64
C 18　結腸の悪性新生物	445	516	961
C 19　直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物	7	6	13
C 20　直腸の悪性新生物	497	291	788
C 21　肛門及び肛門管の悪性新生物	16	23	39
C 22　肝及び肝内胆管の悪性新生物	194	74	268
C 23　胆のう<嚢>の悪性新生物	41	28	69
C 24　その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	91	59	150
C 25　膵の悪性新生物	354	274	628
C 26　その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	4	7	11
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,163	692	1,855
C 30　鼻腔及び中耳の悪性新生物	7	1	8
C 31　副鼻腔の悪性新生物	24	3	27
C 32　喉頭の悪性新生物	97	3	100
C 33　気管の悪性新生物	0	2	2
C 34　気管支及び肺の悪性新生物	1,029	672	1,701
C 37　胸腺の悪性新生物	4	11	15
C 38　心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	2	0	2
C 39　その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物			
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	99	63	162
C 40　(四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	51	33	84
C 41　その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	48	30	78
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	13	24	37
C 43　皮膚の悪性黒色腫	2	6	8
C 44　皮膚のその他の悪性新生物	11	18	29
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	181	231	412
C 45　中皮腫	4	6	10
C 46　カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47　末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	1	0	1
C 48　後腹膜及び腹膜の悪性新生物	28	62	90
C 49　その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	148	163	311

病　　名	男	女	合計
乳房の悪性新生物(C50)	6	1,827	1,833
C 50　乳房の悪性新生物	6	1,827	1,833
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,318	2,318
C 51　外陰の悪性新生物		6	6
C 52　腟の悪性新生物		9	9
C 53　子宮頸(部)の悪性新生物		514	514
C 54　子宮体部の悪性新生物		1,019	1,019
C 55　子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56　卵巣の悪性新生物		698	698
C 57　その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		70	70
C 58　胎盤の悪性新生物		2	2
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	712		712
C 60　陰茎の悪性新生物	23		23
C 61　前立腺の悪性新生物	594		594
C 62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	94		94
C 63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	1		1
尿路の悪性新生物(C64−C68)	647	313	960
C 64　腎盂を除く腎の悪性新生物	98	54	152
C 65　腎盂の悪性新生物	60	80	140
C 66　尿管の悪性新生物	65	57	122
C 67　膀胱の悪性新生物	424	121	545
C 68　その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	0	1	1
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	3	4	7
C 69　眼及び付属器の悪性新生物	3	4	7
C 70　髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71　脳の悪性新生物	0	0	0
C 72　脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	47	113	160
C 73　甲状腺の悪性新生物	44	111	155
C 74　副腎の悪性新生物	3	2	5
C 75　その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	0	0
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	296	274	570
C 76　その他及び部位不明確の悪性新生物	1	0	1
C 77　リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	29	19	48
C 78　呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	191	165	356
C 79　その他の部位の続発性悪性新生物	55	69	124
C 80　部位の明示されない悪性新生物	20	21	41
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	464	316	780
C 81　ホジキン〈HoDgkin〉病	23	3	26
C 82　ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	33	54	87
C 83　びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	144	109	253
C 84　末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	39	3	42
C 85　非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	146	101	247
C 88　悪性免疫増殖性疾患	1	0	1
C 90　多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	46	23	69
C 91　リンパ性白血病	5	2	7
C 92　骨髄性白血病	24	19	43
C 93　単球性白血病	0	0	0
C 94　その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95　細胞型不明の白血病	3	2	5
C 96　リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	0	0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97　独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0

病　　名	男	女	合計
②その他の新生物(D00−D48)	572	882	1,454
上皮内新生物(D00−D09)	0	32	32
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(32)	
良性新生物(D10-D36)	83	183	166
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	489	667	1,156
③その他	884	1,055	1,939
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	28	29	57
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	25	48	73
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	79	30	109
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	381	239	620
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	45	330	375
その他	326	379	705

疾患別入院患者数　【2018年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　名	男	女	合計
総数①+②+③	9,339	10,431	19,770
①悪性新生物(C00−C97)	7,753	8,511	16,264
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	459	112	571
C 00　口唇の悪性新生物	2	1	3
C 01　舌根〈基底〉部の悪性新生物	5	1	6
C 02　その他及び部位不明の舌の悪性新生物	78	20	98
C 03　歯肉の悪性新生物	36	17	53
C 04　口腔底の悪性新生物	9	3	12
C 05　口蓋の悪性新生物	5	3	8
C 06　その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	8	8	16
C 07　耳下腺の悪性新生物	20	11	31
C 08　その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	15	8	23
C 09　扁桃の悪性新生物	0	0	0
C 10　中咽頭の悪性新生物	88	20	108
C 11　鼻<上>咽頭の悪性新生物	20	2	22
C 12　梨状陥凹<洞>の悪性新生物	2	1	3
C 13　下咽頭の悪性新生物	171	17	188
C 14　その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	0	0	0
消化器の悪性新生物(C15−C26)	3,648	2,068	5,716
C 15　食道の悪性新生物	823	191	1,014
C 16　胃の悪性新生物	1,073	475	1,548
C 17　小腸の悪性新生物	28	17	45
C 18　結腸の悪性新生物	475	509	984
C 19　直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物	9	4	13
C 20　直腸の悪性新生物	516	326	842
C 21　肛門及び肛門管の悪性新生物	10	20	30
C 22　肝及び肝内胆管の悪性新生物	199	54	253
C 23　胆のう<嚢>の悪性新生物	17	19	36
C 24　その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	133	53	186
C 25　膵の悪性新生物	363	398	761
C 26　その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	2	2	4
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,227	640	1,867
C 30　鼻腔及び中耳の悪性新生物	2	5	7
C 31　副鼻腔の悪性新生物	23	7	30
C 32　喉頭の悪性新生物	101	3	104
C 33　気管の悪性新生物	0	0	0
C 34　気管支及び肺の悪性新生物	1,091	618	1,709
C 37　胸腺の悪性新生物	6	7	13
C 38　心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	4	0	4
C 39　その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	83	66	149
C 40　(四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	50	11	61
C 41　その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	33	55	88
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	30	17	47
C 43　皮膚の悪性黒色腫	15	2	17
C 44　皮膚のその他の悪性新生物	15	15	30
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	199	245	444
C 45　中皮腫	1	6	7
C 46　カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47　末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	1	0	1
C 48　後腹膜及び腹膜の悪性新生物	45	72	117
C 49　その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	152	167	319

病　名	男	女	合計
乳房の悪性新生物(C50)	1	1,847	1,848
C 50　乳房の悪性新生物	1	1,847	1,848
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,562	2,562
C 51　外陰の悪性新生物		9	9
C 52　腟の悪性新生物		8	8
C 53　子宮頸(部)の悪性新生物		615	615
C 54　子宮体部の悪性新生物		1,177	1,177
C 55　子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56　卵巣の悪性新生物		718	718
C 57　その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		34	34
C 58　胎盤の悪性新生物		1	1
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	617		617
C 60　陰茎の悪性新生物	7		7
C 61　前立腺の悪性新生物	555		555
C 62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	53		53
C 63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	2		2
尿路の悪性新生物(C64−C68)	736	258	994
C 64　腎盂を除く腎の悪性新生物	96	37	133
C 65　腎盂の悪性新生物	86	28	114
C 66　尿管の悪性新生物	88	47	135
C 67　膀胱の悪性新生物	465	141	606
C 68　その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	1	5	6
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	6	3	9
C 69　眼及び付属器の悪性新生物	6	3	9
C 70　髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71　脳の悪性新生物	0	0	0
C 72　脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	62	95	157
C 73　甲状腺の悪性新生物	62	95	157
C 74　副腎の悪性新生物	0	0	0
C 75　その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	0	0
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	291	302	593
C 76　その他及び部位不明確の悪性新生物	0	0	0
C 77　リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	17	19	36
C 78　呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	213	146	359
C 79　その他の部位の続発性悪性新生物	35	94	129
C 80　部位の明示されない悪性新生物	26	43	69
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	394	296	690
C 81　ホジキン〈HoDgkin〉病	5	10	15
C 82　ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	18	24	42
C 83　びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	179	129	308
C 84　末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫	29	11	40
C 85　非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	89	59	148
C 88　悪性免疫増殖性疾患	3	6	9
C 90　多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	48	32	80
C 91　リンパ性白血病	9	7	16
C 92　骨髄性白血病	8	16	24
C 93　単球性白血病	0	0	0
C 94　その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95　細胞型不明の白血病	6	2	8
C 96　リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	0	0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97　独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0

病　　名	男	女	合計
②その他の新生物(D00−D48)	630	857	1,487
上皮内新生物(D00−D09)	0	31	32
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(29)	(29)
良性新生物(D10-D36)	93	166	259
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	537	660	1,197
③その他	956	1,063	2,019
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	26	36	62
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	34	50	84
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	92	36	128
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	446	287	733
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	51	319	370
その他	307	335	642

地区別外来患者数（総数）　【2017年１月～12月】

◆全国

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	506	117	0.17%	38	32.48%
青森県	825	170	0.25%	75	44.12%
岩手県	524	75	0.11%	35	46.67%
宮城県	446	113	0.17%	47	41.59%
秋田県	306	89	0.13%	41	46.07%
山形県	306	88	0.13%	39	44.32%
福島県	2,103	385	0.57%	144	37.40%
茨城県	7,985	1,471	2.18%	503	34.19%
栃木県	2,078	393	0.58%	123	31.30%
群馬県	2,014	356	0.53%	154	43.26%
埼玉県	52,840	8,472	12.54%	2,522	29.77%
千葉県	63,437	9,076	13.44%	2,817	31.04%
東京都	238,861	35,127	52.01%	11,817	33.64%
神奈川県	51,480	7,797	11.54%	2,523	32.36%
新潟県	827	164	0.24%	77	46.95%
富山県	229	58	0.09%	22	37.93%
石川県	116	23	0.03%	12	52.17%
福井県	81	33	0.05%	17	51.52%
山梨県	1,821	355	0.53%	113	31.83%
長野県	1,980	393	0.58%	172	43.77%
岐阜県	194	58	0.09%	33	56.90%
静岡県	1,458	330	0.49%	109	33.03%
愛知県	516	148	0.22%	61	41.22%
三重県	220	52	0.08%	20	38.46%
滋賀県	44	16	0.02%	7	43.75%
京都府	164	43	0.06%	15	34.88%
大阪府	599	143	0.21%	53	37.06%
兵庫県	403	118	0.17%	51	43.22%
奈良県	152	22	0.03%	13	59.09%
和歌山県	264	51	0.08%	19	37.25%
鳥取県	35	14	0.02%	8	57.14%
島根県	108	23	0.03%	8	34.78%
岡山県	53	28	0.04%	12	42.86%
広島県	319	57	0.08%	22	38.60%
山口県	262	48	0.07%	23	47.92%
徳島県	231	50	0.07%	19	38.00%
香川県	113	32	0.05%	15	46.88%
愛媛県	125	37	0.05%	25	67.57%
高知県	116	27	0.04%	16	59.26%
福岡県	346	88	0.13%	37	42.05%
佐賀県	116	12	0.02%	10	83.33%
長崎県	144	25	0.04%	6	24.00%
熊本県	73	33	0.05%	11	33.33%
大分県	144	31	0.05%	14	45.16%
宮崎県	245	61	0.09%	21	34.43%
鹿児島県	204	49	0.07%	22	44.90%
沖縄県	166	44	0.07%	26	59.09%
未分類	3,861	1,145	1.70%	821	71.70%
	439,440	67,540	100.00%	22,788	33.74%

地区別外来患者数（総数）　【2018年１月～12月】

◆全国

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	596	143	0.21%	70	48.95%
青森県	1,067	174	0.25%	104	59.77%
岩手県	351	64	0.09%	50	78.13%
宮城県	633	118	0.17%	61	51.69%
秋田県	343	88	0.13%	35	39.77%
山形県	297	78	0.11%	30	38.46%
福島県	2,113	406	0.59%	167	41.13%
茨城県	8,477	1,488	2.17%	525	35.28%
栃木県	2,131	401	0.59%	138	34.41%
群馬県	2,088	387	0.57%	186	48.06%
埼玉県	53,842	8,331	12.17%	2,620	31.45%
千葉県	63,829	9,350	13.66%	3,128	33.45%
東京都	241,779	35,651	52.08%	13,058	36.63%
神奈川県	53,198	8,017	11.71%	3,057	38.13%
新潟県	777	160	0.23%	69	43.13%
富山県	285	73	0.11%	32	43.84%
石川県	186	33	0.05%	22	66.67%
福井県	75	26	0.04%	22	84.62%
山梨県	1,954	344	0.50%	165	47.97%
長野県	1,967	381	0.56%	145	38.06%
岐阜県	268	54	0.08%	33	61.11%
静岡県	1,653	316	0.46%	115	36.39%
愛知県	581	154	0.22%	88	57.14%
三重県	189	55	0.08%	20	36.36%
滋賀県	55	18	0.03%	12	66.67%
京都府	213	48	0.07%	32	66.67%
大阪府	543	139	0.20%	69	49.64%
兵庫県	362	110	0.16%	48	43.64%
奈良県	91	21	0.03%	11	52.38%
和歌山県	299	51	0.07%	21	41.18%
鳥取県	46	14	0.02%	12	85.71%
島根県	127	34	0.05%	21	61.76%
岡山県	105	27	0.04%	26	96.30%
広島県	207	65	0.09%	26	40.00%
山口県	219	49	0.07%	23	46.94%
徳島県	258	61	0.09%	31	50.82%
香川県	122	37	0.05%	21	56.76%
愛媛県	90	33	0.05%	21	63.64%
高知県	153	33	0.05%	23	69.70%
福岡県	354	91	0.13%	40	43.96%
佐賀県	61	12	0.02%	6	50.00%
長崎県	140	23	0.03%	10	43.48%
熊本県	100	31	0.05%	7	22.58%
大分県	127	35	0.05%	22	62.86%
宮崎県	277	67	0.10%	33	49.25%
鹿児島県	208	49	0.07%	21	42.86%
沖縄県	210	46	0.07%	22	47.83%
未分類	3,698	1,073	1.57%	716	66.73%
	446,744	68,459	100.00%	25,214	36.83%

地区別外来患者数 （総数）　【2017年1月～12月】

◆東京都

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,394	213	0.60%	101	47.42%
中央区	4,381	739	2.09%	282	38.16%
港区	6,875	1,110	3.14%	490	44.14%
新宿区	4,657	746	2.11%	236	31.64%
文京区	3,351	552	1.56%	165	29.89%
台東区	3,160	428	1.21%	132	30.84%
墨田区	6,385	920	2.61%	320	34.78%
江東区	32,883	4,400	12.46%	1,537	34.93%
品川区	9,606	1,297	3.67%	496	38.24%
目黒区	4,901	719	2.04%	241	33.52%
大田区	14,850	1,969	5.58%	688	34.94%
世田谷区	15,093	2,386	6.76%	804	33.70%
渋谷区	4,421	715	2.03%	269	37.62%
中野区	4,666	764	2.16%	257	33.64%
杉並区	9,793	1,537	4.35%	520	33.83%
豊島区	6,409	1,062	3.01%	290	27.31%
北区	4,845	749	2.12%	237	31.64%
荒川区	2,070	342	0.97%	104	30.41%
板橋区	9,850	1,529	4.33%	471	30.80%
練馬区	12,751	1,948	5.52%	576	29.57%
足立区	7,486	1,167	3.31%	335	28.71%
葛飾区	7,857	1,134	3.21%	369	32.54%
江戸川区	23,701	2,981	8.44%	1,052	35.29%
都下	37,473	5,893	16.69%	1,845	31.31%
総計	238,858	35,300	100.00%	11,817	33.48%

地区別外来患者数 （総数）　【2018年1月～12月】

◆東京都

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,374	269	0.75%	155	57.62%
中央区	4,828	785	2.19%	314	40.00%
港区	7,395	1,193	3.33%	555	46.52%
新宿区	4,405	771	2.15%	288	37.35%
文京区	3,534	551	1.54%	217	39.38%
台東区	3,346	522	1.46%	241	46.17%
墨田区	6,454	967	2.70%	357	36.92%
江東区	33,666	4,415	12.33%	1,772	40.14%
品川区	10,355	1,370	3.83%	513	37.45%
目黒区	5,178	774	2.16%	306	39.53%
大田区	14,259	2,051	5.73%	733	35.74%
世田谷区	16,047	2,399	6.70%	908	37.85%
渋谷区	4,747	728	2.03%	259	35.58%
中野区	4,842	768	2.14%	256	33.33%
杉並区	9,829	1,585	4.43%	565	35.65%
豊島区	6,118	1,017	2.84%	312	30.68%
北区	4,610	714	1.99%	216	30.25%
荒川区	1,931	336	0.94%	104	30.95%
板橋区	9,223	1,468	4.10%	470	32.02%
練馬区	13,141	1,978	5.52%	654	33.06%
足立区	7,324	1,118	3.12%	356	31.84%
葛飾区	7,964	1,145	3.20%	419	36.59%
江戸川区	22,813	3,000	8.38%	1,082	36.07%
都下	38,396	5,885	16.43%	2,006	34.09%
	241,779	35,809	100.00%	13,058	36.47%

病理検査　【2017年1月～12月】

病理検査件数

	外来	入院	合計
	18956	12236	31192
部位数	22455	23879	46334
ブロック数	21343	55600	76943
ラベルＨＥ・ＰＡＰ	36088	116916	153004
ラベル特染	28482	37258	65740
保険部位数	22350	18258	40608
ＥＭ	0	0	0
抗体法	2591	3289	5880
迅速件数	61	4036	4097
診断料	14623	3363	17986
診断のみ	2862	77	2939
レポート画像	468	5094	5562
ミクロ画像	7	9	16
マクロ画像	9353	47242	56595
その他画像	6	0	6
呼吸器内科	344	105	449
呼吸器外科	74	1075	1149
消化器内科	9535	634	10169
消化器外科	330	4006	4336
乳腺科	1799	1446	3245
婦人科	1846	1648	3494
頭頸科	657	882	1539
整形外科	492	1019	1511
泌尿器科	390	1214	1604
総合腫瘍科	76	7	83
放射線治療	2	0	2
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	1	0	1
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	143	74	217
皮膚科	7	0	7
歯科	1	0	1
一般外科	0	0	0
形成外科	32	15	47
麻酔科	0	0	0
救急部	0	1	1
緩和ケア部	0	0	0
放射線診断	177	1	178
健診ドック	2494	1	2495
健診消内	6	0	6
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	10	0	10
血液腫瘍科	540	108	648

細胞診検査件数

項目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	12,464
	子宮内膜	3,766
	手術	528
	婦人科健診（子宮膣・頸部）	4,042
	婦人科健診（子宮内膜）	3,359
婦人科合計		24,159
乳腺	乳腺	2,170
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	466
	その他	305
骨軟部		933
脳脊髄液		160
リンパ節		1,060
呼吸器	ブラシ・針	830
	喀痰	312
	喀痰健診	7,557
体腔液		3,729
泌尿器	尿	4,298
	尿健診	0
食道・胃		17
膵・胆管・大腸		341
その他		322
婦人科外合計		22,500
総合計		46,659
迅速件数（上記総合計の中に含む）		3,547

病理検査　【2018年1月～12月】

病理検査件数

	外来	入院	合計
	19730	12535	32265
部位数	23600	24606	48206
ブロック数	20742	76355	97097
ラベルＨＥ・ＰＡＰ	36172	114879	151051
ラベル特染	28622	37448	66070
保険部位数	23571	18909	42480
ＥＭ	0	0	0
抗体法	2618	3285	5903
迅速件数	78	4101	4179
診断料	15381	3352	18733
診断のみ	2831	56	2887
レポート画像	2728	5474	8202
ミクロ画像	0	2	2
マクロ画像	7467	48121	55588
その他画像	1	0	1
呼吸器内科	337	129	466
呼吸器外科	67	1123	1190
消化器内科	9644	724	10368
消化器外科	325	3914	4239
乳腺科	1916	1476	3392
婦人科	1954	1674	3628
頭頸科	766	912	1678
整形外科	482	1089	1571
泌尿器科	350	1250	1600
総合腫瘍科	67	14	81
放射線治療	2	0	2
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	3	0	3
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	143	70	213
皮膚科	76	17	93
歯科	7	0	7
一般外科	0	0	0
形成外科	14	13	27
麻酔科	0	0	0
救急部	3	0	3
緩和ケア部	0	1	1
放射線診断	81	0	81
健診ドック	2959	1	2960
健診消内	8	0	8
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	3	0	3
血液腫瘍科	523	128	651

細胞診検査件数

項目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	12,600
	子宮内膜	3,788
	手術	349
	婦人科健診（子宮膣・頸部）	4,362
	婦人科健診（子宮内膜）	3,554
婦人科合計		24,653
乳腺	乳腺	2,029
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	446
	その他	316
骨軟部		1,007
脳脊髄液		137
リンパ節		1,046
呼吸器	ブラシ・針	823
	喀痰	219
	喀痰健診	8,664
体腔液		3,721
泌尿器	尿	4,265
	尿健診	0
食道・胃		16
膵・胆管・大腸		303
その他		352
婦人科外合計		23,344
総合計		47,997
迅速件数（上記総合計の中に含む）		3,607

CT・MRI 検査件数

◆ＣＴ件数

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	計
2017年	稼働日数	19	20	22	20	20	22	20	22	20	21	20	20	
	件数	3,366	3,504	3,825	3,697	3,702	3,990	3,885	4,168	4,018	4,242	4,061	4,066	46,524
	平均件数/日	177.2	175.2	173.9	184.9	185.1	181.4	194.3	189.5	200.9	202.0	203.1	203.3	
2018年	稼働日数	19	19	21	20	21	21	21	23	18	22	21	19	
	件数	3,857	3,794	4,274	3,993	4,111	4,052	4,144	4,368	3,840	4,621	4,239	4,061	49,354
	平均件数/日	203.0	199.7	203.5	199.7	195.8	193.0	197.3	189.9	213.3	210.0	201.9	213.7	

◆ＭＲＩ件数

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	計
2017年	稼働日数	19	20	22	20	20	22	20	22	20	21	20	20	
	件数	1,039	1,095	1,176	1,068	1,056	1,163	1,092	1,194	1,081	1,159	1,093	1,095	13,311
	平均件数/日	54.7	54.8	53.5	53.4	52.8	52.9	54.6	54.3	54.1	55.2	54.7	54.8	
2018年	稼働日数	19	19	21	20	21	21	21	23	18	22	21	19	
	件数	1,038	1,054	1,167	1,465	1,144	1,143	1,138	1,208	990	1,196	1,186	1,074	13,803
	平均件数/日	54.6	55.5	55.6	73.3	54.5	54.4	54.2	52.5	55.0	54.4	56.5	56.5	

核医学検査件数

2017年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	532	577	568	552	587	615	558	613	626	666	596	575	7,065
	その他	274	284	335	241	208	245	63	228	189	201	206	194	2,668
入院	PET-CT(PET含む)	4	5	5	6	4	8	5	5	8	8	8	14	80
	その他	82	83	92	79	95	82	78	96	79	92	79	81	1,018
計		892	949	1,000	878	894	950	704	942	902	967	889	864	10,831
稼働日報		19	20	22	20	20	22	20	22	20	21	20	20	
平均件数/日		46.9	47.5	45.5	43.9	44.7	43.2	35.2	42.8	45.1	46.0	44.5	43.2	

2018年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	541	621	641	602	711	647	644	704	622	729	700	639	7,801
	その他	153	182	180	177	167	167	167	181	170	185	150	144	2,023
入院	PET-CT(PET含む)	13	5	14	7	14	13	20	16	10	17	6	11	146
	その他	71	82	89	75	69	87	97	98	62	83	89	77	979
計		778	890	924	861	961	914	928	999	864	1,014	945	871	10,949
稼働日報		19	19	21	20	21	21	21	23	18	22	21	19	
平均件数/日		40.9	46.8	44.0	43.1	45.8	43.5	44.2	43.4	48.0	46.1	45.0	45.8	

内視鏡検査件数

検査項目	２０１７年	２０１８年
食道・胃スコピー	12,676	12,655
食道・胃スコピー（ポリープ・ＥＭＲ）	721	776
大腸スコピー	8,689	8,506
大腸スコピー（ポリープ・ＥＭＲ）	2,769	3,235
エコースコピー（胃・食道）	356	315
エコースコピー（大腸）	77	83
エコースコピー（肝・胆・膵）	681	853
気管支スコピー	384	365
ＥＲＣＰ・ＰＴＣＤ	2,605	2,578
血管造影	1,159	1,321

超音波検査件数

	2017年	2018年
呼吸器内科	621	579
呼吸器外科	822	735
消化器内科	2,150	1,996
消化器外科	6,796	6,971
乳腺科	19,467	18,774
婦人科	11,720	12,117
頭頸科	6,332	6,651
整形外科	1,030	1,229
泌尿器科	2,116	1,722
総合腫瘍科	403	402
放射線治療部	184	136
総合内科	1,825	1,564
腫瘍精神科	0	0
眼科	266	300
皮膚科	3	8
形成外科	248	532
麻酔科	9	8
救急部	8	6
緩和治療科	57	28
画像診断部	111	89
健診（ドック）	22,340	24,966
健診（内科）	0	0
健診（婦人）	0	0
健診（乳腺）	0	0
遺伝子診療部	38	27
血液腫瘍科	1,637	1,537
	78,283	80,377

院内がん登録集計

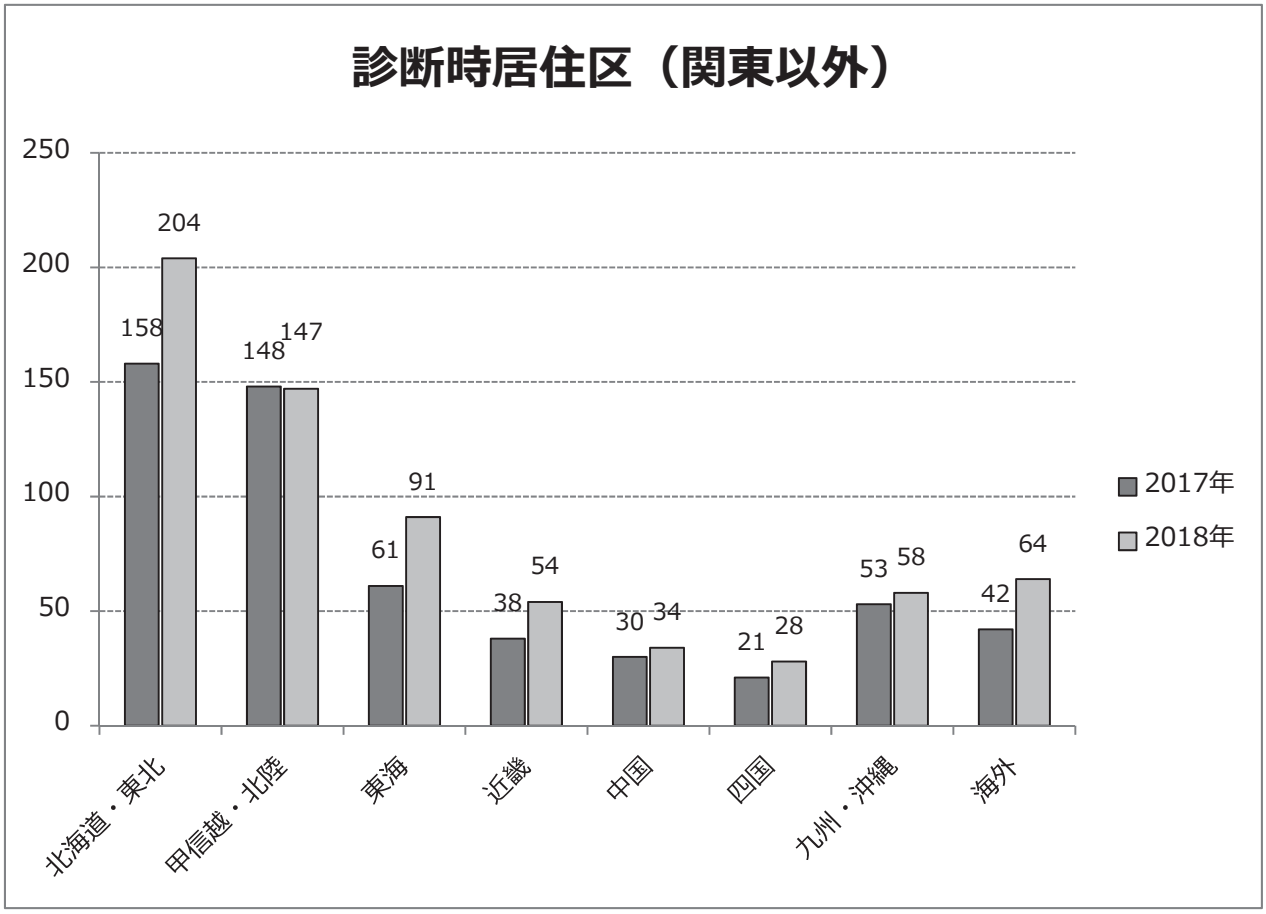
①部位別・男女別件数（全体）

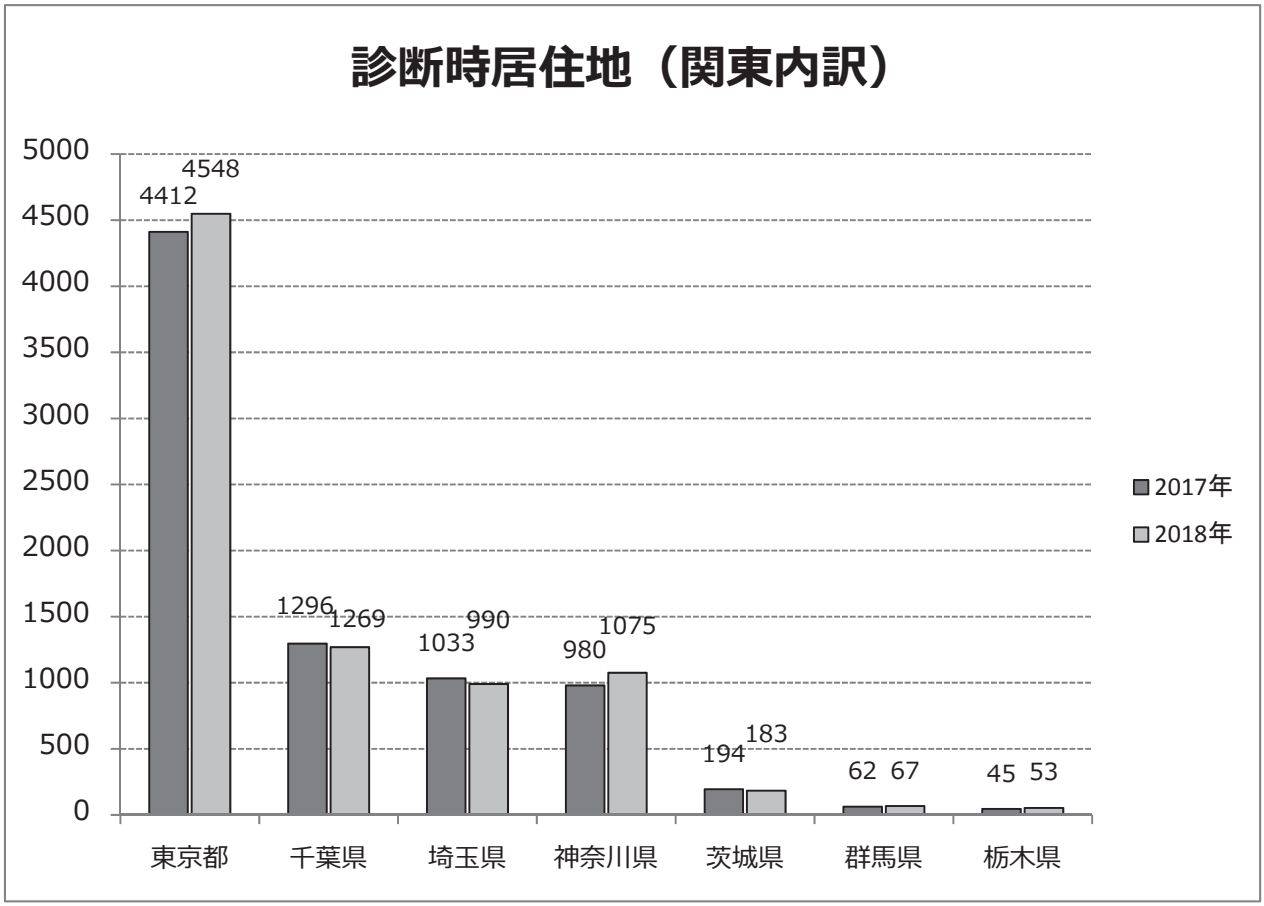
	2017年			2018年		
	総数	男	女	総数	男	女
口腔・咽頭	357	266	91	382	300	82
喉頭	59	54	5	64	59	5
食道	460	373	87	534	450	84
胃	1,176	789	387	1,114	773	341
十二指腸・小腸	66	37	29	48	29	19
結腸・直腸	1,242	672	570	1,289	734	555
肝臓・肝内胆管	106	78	28	143	103	40
胆のう・胆管	113	68	45	118	74	44
膵臓	354	202	152	385	199	186
肺	654	386	268	682	413	269
骨・軟部	134	70	64	150	91	59
皮膚	33	16	17	93	43	50
乳房	1,439	4	1,435	1,405	3	1,402
子宮頚部	472	0	472	510	0	510
子宮体部	279	0	279	318	0	318
卵巣	191	0	191	167	0	167
前立腺	408	408	0	382	382	0
膀胱	206	167	39	196	148	48
腎・他の尿路	172	110	62	199	137	62
甲状腺	180	46	134	182	62	120
悪性リンパ腫	225	112	113	212	105	107
多発性骨髄腫	22	16	6	23	13	10
白血病	15	11	4	21	9	12
他の造血器腫瘍	13	11	2	12	8	4
原発不明	20	10	10	35	21	14
その他	177	105	72	201	93	108
合　計	8,573	4,011	4,562	8,865	4,249	4,616

②診断時居住地別件数（東京都医療県別内訳）

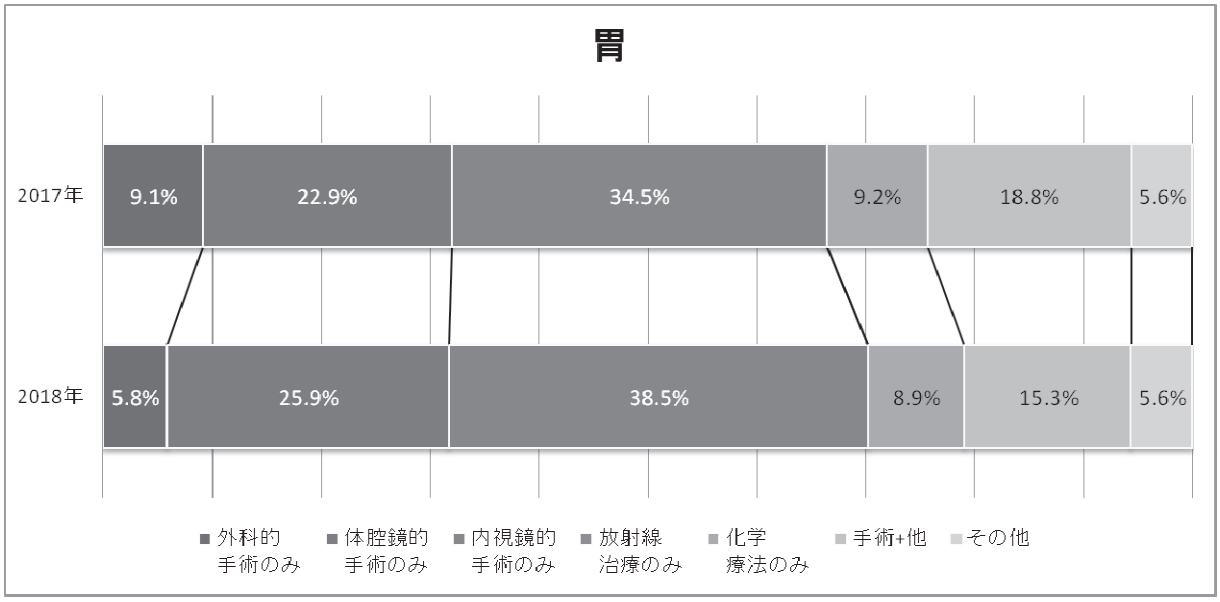
地　域　名	2017年	2018年
区東部 （江東区・江戸川区・墨田区）	1,223	1,215
区西北部 （豊島区・北区・板橋区・練馬区）	595	591
区西南部 （目黒区・世田谷区・渋谷区）	451	494
区南部 （品川区・大田区）	418	438
区西部 （新宿区・中野区・杉並区）	363	373
区東北部 （荒川区・足立区・葛飾区）	303	342
区中央部 （千代田区・中央区・港区・文京区・台東区）	349	367
南多摩 （八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市）	190	176
北多摩南部 （武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市）	212	228
北多摩北部 （小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）	155	173
北多摩西部 （立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山）	102	97
西多摩 （青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・西多摩郡）	47	45
島しょ	4	9
総　計	4,412	4,548

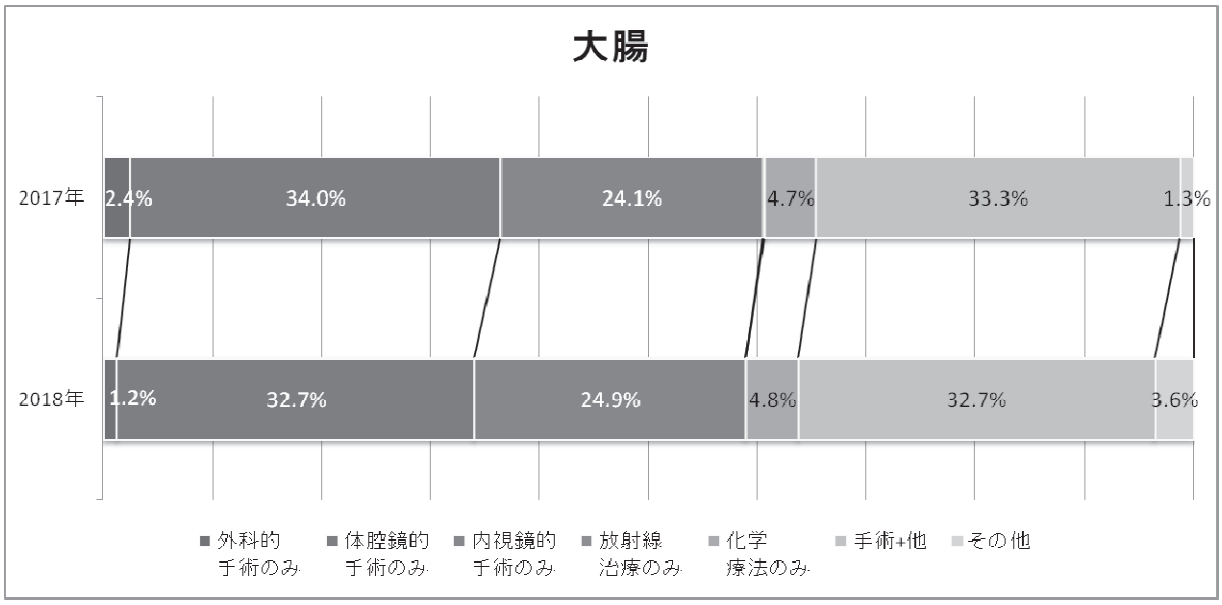
診断時居住地別件数（グラフ）

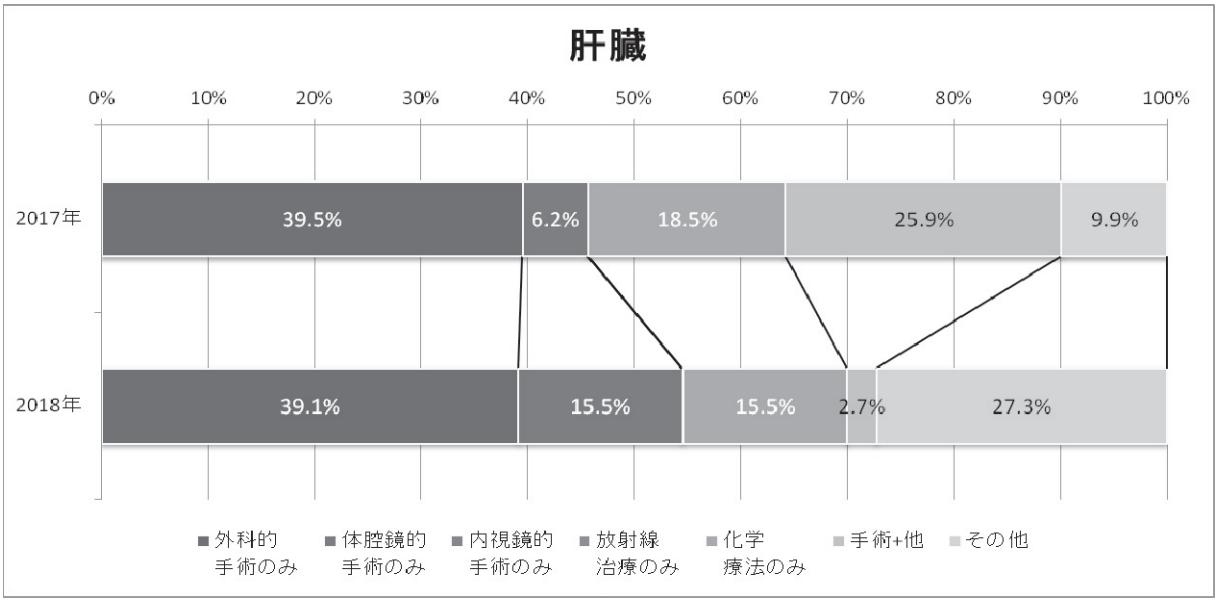


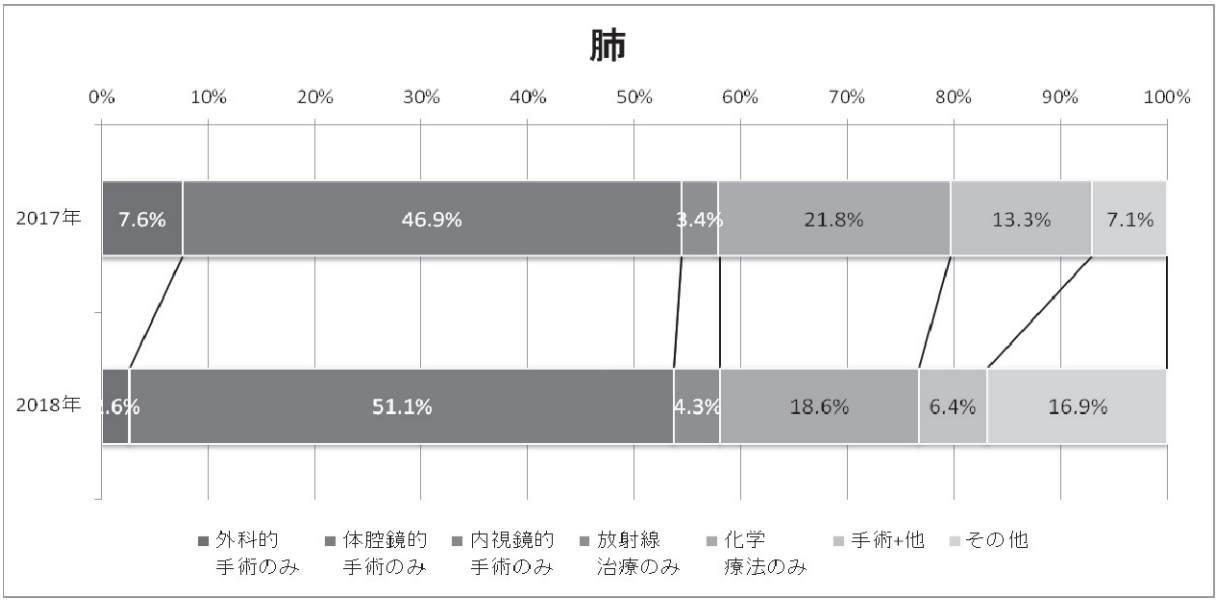


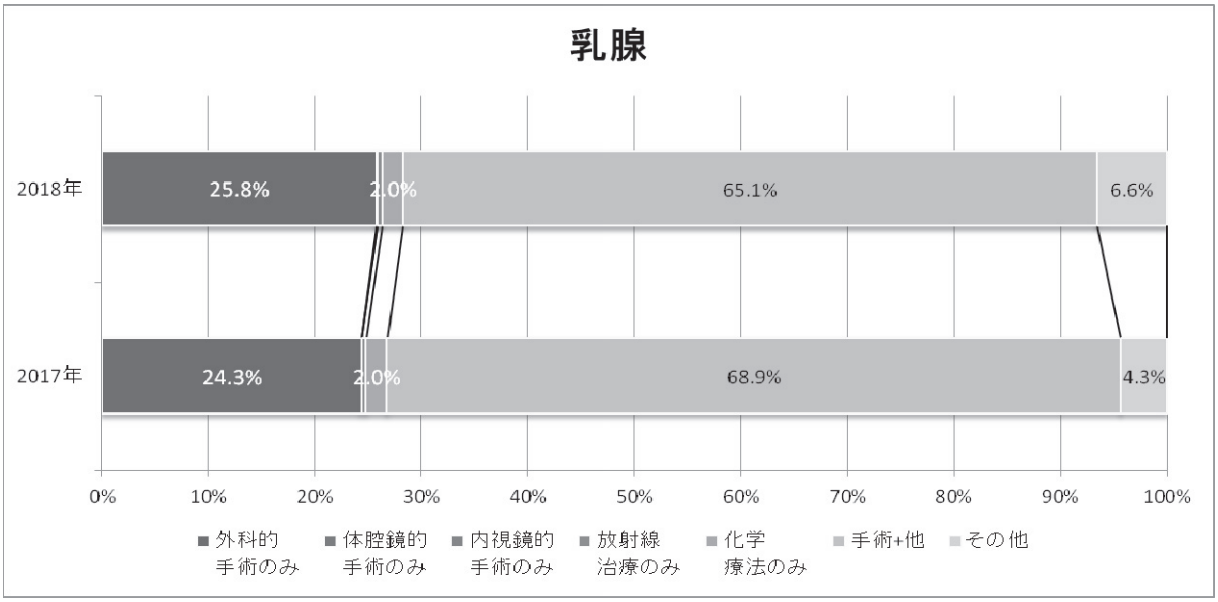
③主要５部位治療別件数







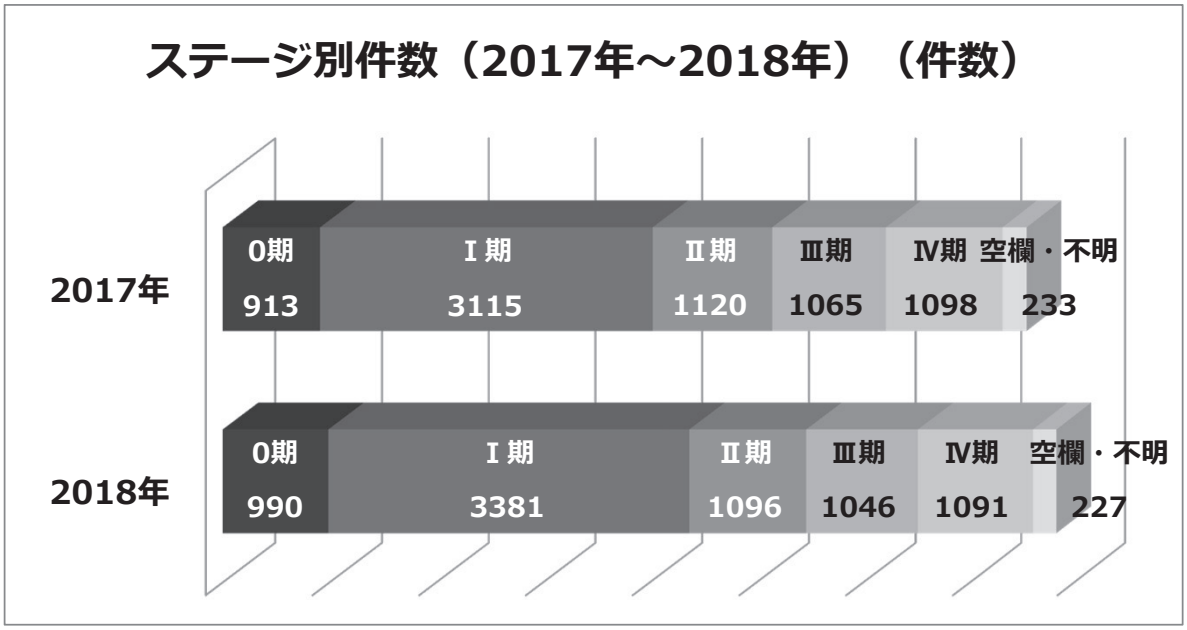

肺
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2017年
7.6%
46.9%
3.4%
21.8%
13.3%
7.1%
2018年
1.6%
51.1%
4.3%
18.6%
6.4%
16.9%
外科的手術のみ
体腔鏡的手術のみ
内視鏡的手術のみ
放射線治療のみ
化学療法のみ
手術+他
その他


乳腺
2018年
25.8%
2.0%
65.1%
6.6%
2017年
24.3%
2.0%
68.9%
4.3%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
外科的手術のみ
体腔鏡的手術のみ
内視鏡的手術のみ
放射線治療のみ
化学療法のみ
手術+他
その他

④治療別件数

		外科的手術のみ	体腔鏡的手術のみ	内視鏡的手術のみ	放射線治療のみ	化学療法のみ	手術+他	その他	合計
口腔・咽頭	2017年	144	0	31	11	2	73	29	290
	2018年	133	0	43	20	5	45	81	327
食道	2017年	11	27	172	6	24	124	59	423
	2018年	10	32	216	8	29	91	116	502
胃	2017年	99	249	375	0	100	204	61	1088
	2018年	60	266	396	0	91	157	58	1028
十二指腸・小腸	2017年	25	4	16	0	5	3	2	55
	2018年	10	2	17	0	5	6	2	42
結腸・直腸	2017年	26	366	260	1	51	359	14	1077
	2018年	14	368	280	0	54	368	40	1124
肝臓	2017年	32	5	0	0	15	21	8	81
	2018年	43	17	0	0	17	3	30	110
胆嚢・胆管	2017年	45	3	0	0	19	22	10	99
	2018年	57	1	0	0	18	17	6	99
膵臓	2017年	43	4	0	0	123	94	43	307
	2018年	44	7	0	0	158	90	40	339
喉頭	2017年	10	0	1	28	0	9	0	48
	2018年	8	0	2	22	0	6	10	48
肺	2017年	45	279	0	20	130	79	42	595
	2018年	16	318	0	27	116	40	105	622
骨・軟部	2017年	68	0	0	1	7	31	3	110
	2018年	83	0	0	1	6	29	11	130
皮膚	2017年	14	0	0	2	1	4	2	23
	2018年	22	0	0	5	2	7	2	38
乳房	2017年	325	0	0	6	27	920	58	1336
	2018年	338	1	0	6	26	853	86	1310
子宮頚部	2017年	195	77	0	6	12	99	20	409
	2018年	191	118	0	9	7	86	58	469
子宮体部	2017年	32	95	0	2	9	112	5	255
	2018年	29	122	0	1	11	122	8	293
卵巣	2017年	50	5	0	0	11	98	3	167
	2018年	38	0	0	0	5	100	5	148
前立腺	2017年	13	123	0	10	1	160	45	352
	2018年	8	116	0	13	0	20	173	330
膀胱	2017年	7	0	13	0	5	131	8	164
	2018年	7	1	8	0	4	125	10	155
腎・他の尿路	2017年	22	73	1	0	11	16	12	135
	2018年	24	78	0	1	12	21	17	153
甲状腺	2017年	62	1	0	0	1	37	50	151
	2018年	69	0	0	1	2	46	40	158
悪性リンパ腫	2017年	4	3	1	29	102	18	33	190
	2018年	2	4	0	30	95	7	45	183
多発性骨髄腫	2017年	0	0	0	1	13	1	6	21
	2018年	0	0	0	4	8	1	6	19
白血病	2017年	0	0	0	0	9	0	1	10
	2018年	0	0	0	0	17	0	3	20
他の造血器腫瘍	2017年	0	0	0	0	6	0	6	12
	2018年	0	0	0	0	7	0	5	12
原発不明	2017年	3	0	0	0	2	5	5	15
	2018年	5	0	0	0	10	2	8	25
その他	2017年	34	8	1	5	18	55	10	131
	2018年	42	11	1	5	17	36	35	147

⑤ステージ別件数


ステージ別件数（2017年～2018年）（件数）
2017年
0期
913
Ⅰ期
3115
Ⅱ期
1120
Ⅲ期
1065
Ⅳ期
1098
空欄・不明
233
2018年
0期
990
Ⅰ期
3381
Ⅱ期
1096
Ⅲ期
1046
Ⅳ期
1091
空欄・不明
227

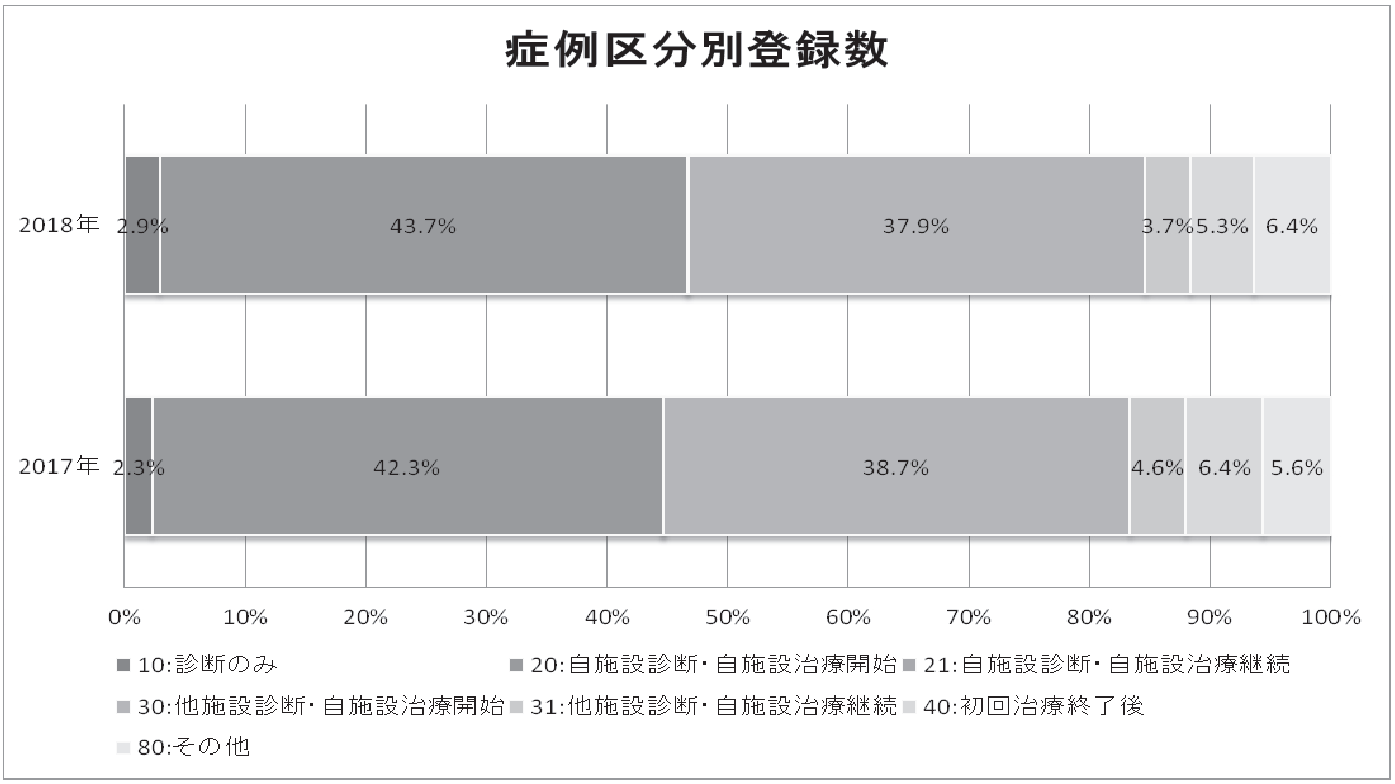
⑥年齢別・部位別件数

2017年症例	年　代									
分類	10	20	30	40	50	60	70	80	90	総計
口腔・咽頭		7	18	38	70	105	92	27		357
食道			2	21	82	157	150	47	1	460
胃	2	3	33	102	188	387	342	112	7	1176
十二指腸・小腸		1	1	9	11	25	16	3		66
結腸・直腸		10	50	137	250	395	295	101	4	1242
肝臓			1	5	17	32	36	14	1	106
胆嚢・胆管			1	6	10	34	44	18		113
膵臓		1	7	27	53	131	113	19	3	354
喉頭				2	7	22	21	6	1	59
肺		1	8	27	102	192	247	77		654
骨・軟部	10	12	10	17	19	26	27	13		134
皮膚			2		4	4	13	10		33
乳房	1	9	96	473	398	280	147	35		1439
子宮頚部		25	153	161	75	37	17	4		472
子宮体部		1	14	53	109	72	27	3		279
卵巣		4	16	48	49	42	27	4	1	191
前立腺				2	51	166	153	32	4	408
膀胱			4	4	28	72	72	25	1	206
腎・他の尿路			6	21	23	56	51	15		172
甲状腺		5	21	27	26	52	39	10		180
悪性リンパ腫	3	3	6	24	25	72	64	26	2	225
多発性骨髄腫		1		1	4	7	7	2		22
白血病		1			5	3	5	1		15
他の造血器腫瘍				2		5	6			13
原発不明			1	3	3	3	7	3		20
その他	4	8	22	21	30	42	38	10	2	177
総計	20	92	472	1231	1639	2419	2056	617	27	8573

2018年症例	年　代									
分類	10	20	30	40	50	60	70	80	90	総計
口腔・咽頭		4	17	35	61	109	114	37	5	382
食道			3	16	76	184	202	50	3	534
胃		5	30	89	153	346	359	128	4	1114
十二指腸・小腸				7	7	12	17	5		48
結腸・直腸		2	47	149	285	379	322	99	6	1289
肝臓		1	2	9	18	43	49	21		143
胆嚢・胆管			2	4	13	34	41	24		118
膵臓			6	25	61	125	131	35	2	385
喉頭			1	2	11	27	19	4		64
肺	1		11	46	103	184	265	71	1	682
骨・軟部	6	12	15	22	24	24	30	16	1	150
皮膚		1	4	5	11	26	23	19	4	93
乳房		10	112	442	357	277	172	33	2	1405
子宮頚部	1	41	145	179	72	44	23	5		510
子宮体部		4	26	65	117	61	35	10		318
卵巣		5	11	45	45	40	17	4		167
前立腺			1	3	50	140	167	20	1	382
膀胱			5	7	26	67	69	20	2	196
腎・他の尿路			4	18	28	78	54	16	1	199
甲状腺	4	8	26	25	38	42	28	10	1	182
悪性リンパ腫	2	7	6	20	33	59	51	32	2	212
多発性骨髄腫			1		8	6	8			23
白血病	1		1	1	2	9	5	2		21
他の造血器腫瘍					1	8	2	1		12
原発不明		1	1	3	10	7	10	3		35
その他	1	9	19	27	47	38	46	13	1	201
総計	16	110	496	1244	1657	2369	2259	678	36	8865

⑦症例区分別登録数

		2017年	2018年
10:診断のみ	件数	197	257
	比率	40.9%	45.5%
20:自施設診断・自施設治療開始	件数	3628	3877
	比率	752.7%	686.2%
21:自施設診断・自施設治療継続	件数	6	10
	比率	1.2%	1.8%
30:他施設診断・自施設治療開始	件数	3317	3359
	比率	688.2%	594.5%
31:他施設診断・自施設治療継続	件数	396	328
	比率	82.2%	58.1%
40:初回治療終了後	件数	547	469
	比率	113.5%	83.0%
80:その他	件数	482	565
	比率	100.0%	100.0%
総計	件数	8573	8865
	比率	1778.6%	1839.2%



8. 一般公開講座

2017年度

日付	開催時間	題名	担当部署	場所
2017/5/25	13:30 ～ 15:00	ハッピーライフセミナー「がん研有明病院の専門医によるがん検診」の話 ～早期に見つかれば、がんは治る～	健診センター	野村證券株式会社 自由が丘支店
2017/8/4	9:00 ～ 17:00	がんを知る サマーセミナーinがん研有明病院 （江東区高校生）	院長補佐、看護部、研究所、 臨床検査センター	吉田富三記念講堂
2017/8/11	13:30 ～ 17:00	ブラック・ジャック セミナー	病院長、外科系各科、看護部	吉田富三記念講堂
2017/10/11	16:05～ 17:35	わかりやすく、おもしろく、そしてためになる 「最新のがん知識」 メットライフ生命講演会	病院長	ホテルグランヴィア京都
2017/10/14	10:00～ 12:00	がんと仕事	看護部	吉田富三記念講堂
2017/10/28	13:30～ 15:00	乳がんについて知ることで、自分の健康を知ろう！	乳腺センター	大田区消費者センター大集会室
2017/11/25	13:30～ 15:00	今こそ大腸がん検診を受けましょう ～大腸がんの発見から治療まで～	大腸外科	世田谷区烏山区民センター
2018/3/1	13:00～ 15:00	いま、知っておきたい「がん」のこと	病院長、乳腺センター	鶴見区民文化センターサルビアホール
2018/3/15	14:00～ 16:00	がんの予防と対策、最新の治療について	健診センター	松原まちづくりセンター
2018/3/21	13:00～ 15:00	がんのリハビリテーション 治療中も体力を保つために	リハビリテーション	江東区健康センター

2018年度

日付	開催時間	題名	担当部署	場所
2018/6/30	13:00 ～ 14:00	あなたの乳房大丈夫ですか？ 今知っておきたい乳がんのこと （赤羽病院共催）	乳腺センター	赤羽会館
2018/7/31	9:00 ～ 17:00	がんを知る サマーセミナーinがん研有明病院 （江東区高校生）	院長補佐、看護部、研究所、 臨床検査センター	吉田富三記念講堂
2018/8/4	13:30 ～ 17:00	ブラック・ジャック セミナー	病院長、外科系各科、看護部	吉田富三記念講堂
2018/8/4	16:05～ 17:35	いま、知っておきたい「がん」のこと	名誉院長	広島県医師会ホール
2018/8/30	13:30～ 16:00	いま、知っておきたい「がん」のこと	名誉院長	神戸芸術センター芸術劇場
2018/9/6	14:00～ 15:30	乳がん予防と治療について ～サバイバーシップを考える～	乳腺センター	清瀬市健康大学　健康センター2階
2018/10/27	10:00～ 12:00	超高齢社会におけるがんと暮らし	看護部	吉田富三記念講堂

9. 学会・研究発表業績

【2017 年度】

呼吸器内科

1. Ariyasu, R., Horiike, A., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Takano, N., Kawashima, Y., Oguri, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Oikado, K., Nishio, M.
   Correlation of low CT attenuation and necrotic features of tumor in contrast-enhanced CT with nivolumab response.
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

2. Kawashima, Y., Nishikawa, S., Ariyasu, R., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Takano, N., Oguri, T., Kitazono, S., Tambo, Y., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Horiike, A., Horai, T., Nishio, M.
   Monitoring of peripheral lymphocyte and neutrophil counts to predict efficacy of nivolumab (nivo).
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

3. Koyama, J., Kitazono, S., Ariyasu, R., Saiki, M., Sonoda, T., Kawashima, Y., Takano, N., Oguri, T., Nishikawa, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Oikado, K., Kozuka, T., Nishio, M.
   Preexistence of CT findings with usual interstitial pneumonia (UIP) pattern correlates to radiation pneumonitis (RP) in non-small cell lung cancer (NSCLC) patients receiving chemoradiotherapy (CRT).
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

4. Nishio, M.
   Driver gene of Lung Cancer update in 2017 ASCO. .
   The 2017 ASCO-Live-Lung cancer treatment update, The Chinese Oncology Society: Taipei, Taiwan, 2017

5. Oguri, T., Horiike, A., Ariyasu, R., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Takano, N., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishio, M.
   The reasons why re-biopsies were not performed after failure with EGFR-TKI.
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

6. Saiki, M., Ohyanagi, F., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Kawashima, Y., Takano, N., Oguri, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Ishikawa, Y., Oikado, K., Nishio, M.
   Clinical and radiological features of advanced RET-rearranged lung cancer.
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

7. Sonoda, T., Yanagitani, N., Saiki, M., Ariyasu, R., Koyama, J., Takano, N., Kawashima, Y., Oguri, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Ohyanagi, F., Horiike, A., Nishio, M.
   The efficacy and toxicity of osimertinib in T790M-positive NSCLC with acquired resistance to EGFR-TKI in clinical practice..
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

8. Takano, N., Kitazono, S., Ariyasu, R., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Kawashima, Y., Nishio, M.
   Detection of EGFR mutations in NSCLC patients in clinical practice: Comparison between cobas and Scorpion ARMS method.
   53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

9. Yanagitani, N., Horiike, A., Kitazono, S., Ohyanagi, F., Kondo, S., Shimomura, A., Fujiwara, Y., Doi, T., Kuboki, Y., Kawazoe, A., Shitara, K., Ohno, I., Banerji, U., Sundar, R., Ohkubo, S., Huang, J. M., Nishio, M., Yamamoto, N.

First-in-human phase I study of an oral HSP90 inhibitor, TAS-116, in advanced solid tumors.
53rd ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2017

10. 北園聡，坂井和子，神山潤二，有安亮，柳谷典子，堀池篤，西尾誠人，西尾和人
ドロップレットデジタル PCR マルチプローブを用いた liquid biopsy の活性型 EGFR 変異検出．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

11. 園田智明，柳谷典子，有安亮，神山潤二，齊木雅史，川嶋庸介，高野夏希，小栗知世，西川晋吾，北園聡，堀池篤，大柳文義，海原和巳，西尾誠人
血漿 EGFR-T790M 陽性例の臨床的特徴．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

12. 坂井和子，北園聡，西川晋吾，柳谷典子，堀池篤，西尾誠人，西尾和人
肺癌患者血漿循環腫瘍核酸の分子バーコード法を用いた遺伝子変異プロファイリング．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

13. 堀池篤
ペムブロリズマブの国内第 I 相試験、国内第 Ib 相試験及び国際共同第 II/III 相試験における日本人患者の安全性併合解析．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

14. 小栗知世，堀池篤，有安亮，神山潤二，斎木雅史，園田智明，西川晋吾，北園聡，柳谷典子，西尾誠人
肺癌患者における静脈血栓症合併例の特徴．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

15. 小栗知世，志賀太郎，高橋俊二，西尾誠人，保田知生
予防・癌関連 VTE：肺癌患者における静脈血栓症合併例の現状と課題．
第 24 回肺塞栓症研究会・学術集会：東京，2017

16. 斎木雅史，大柳文義，西川晋吾，北園聡，柳谷典子，堀池篤，宝来威，西尾誠人，負門克典
ニボルマブによる患側肺のみに生じた薬剤性肺障害の一例．
第 178 回肺癌学会関東支部会：東京，2017

17. 有安亮，堀池篤，神山潤二，齊木雅史，園田智明，高野夏希，川嶋庸介，小栗知世，西川晋吾，北園聡，柳谷典子，大柳文義，二宮浩範，石川雄一，西尾誠人
進行・再発非小細胞肺がんにおける c-MET 発現の検討．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

18. 柳谷典子，坂井和子，北園聡，堀池篤，園田智明，斎木雅史，西川晋吾，西尾誠人，西尾和人
EGFR-TKI 耐性後の Liquid biopsy を用いた multifactorial 耐性因子の同定．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

19. 神山潤二，北園聡，有安亮，齊木雅史，園田智明，高野夏希，川嶋庸介，小栗知世，西川晋吾，柳谷典子，堀池篤，大柳文義，西尾誠人
免疫チェックポイント阻害剤後の化学療法の毒性．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

20. 西尾誠人
免疫チェックポイント阻害薬と肺合併症 免疫チェックポイント阻害剤の臨床成績．
第 57 回日本呼吸器学会学術講演会：東京，2017

21. 西尾誠人
肺がん治療における免疫チェックポイント阻害剤の現状と課題．
第 57 回日本肺癌学会九州支部会学術集会 / 第 40 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会：鹿児島市，2017

22. 西尾誠人
肺がん：薬物療法の進歩．
第 178 回肺癌学会関東支部会：東京，2017

23. 西尾誠人
NSCLC における二ボルマブ治療の実際 .
第 57 回日本呼吸器学会学術講演会： 東京 , 2017

24. 西尾誠人
Emerging evidence of immunocheckpoint inhibitors in non-small cell lung cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

25. 西尾誠人
Immunotherapy Update.
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

26. 西尾誠人
EGFR T790M 変異検査の実際と治療戦略 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

27. 西尾誠人
ALK 融合遺伝子陽性肺癌：QOL の高い長期生存を目指した治療戦略 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

28. 西尾誠人
ドライバー遺伝子変異陽性肺癌における最新治療戦略 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

29. 高野夏希 , 有安亮 , 神山潤二 , 園田智明 , 齊木雅史 , 川嶋庸介 , 小栗知世 , 西川晋吾 , 北園聡 , 柳谷典子 , 大柳文義 , 堀池篤 , 弦間昭彦 , 西尾誠人
非小細胞肺癌の薬物療法と生存期間の変遷 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

30. 齊木雅史 , 大柳文義 , 有安亮 , 神山潤二 , 園田智明 , 川嶋庸介 , 高野夏希 , 小栗知世 , 西川晋吾 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 負門克典 , 宝来威 , 西尾誠人
二ボルマブによる免疫関連肺障害の臨床的検討 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

31. 齊木雅史 , 西川晋吾 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 西尾誠人 , 負門克典
遺伝子診断を加味した画像診断 RET 融合遺伝子陽性進行非小細胞肺癌の画像的特徴 .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

呼吸器外科

1. Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Is tumor size for the T4 descriptor in lung cancer staging appropriate department of thoracic surgical oncology Cancer Instutute Hospital,.
18th World Conference on Lung Cancer Yokohama, Japan, 2017

2. Mun, M., Sakao, Y., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Nakagawa, K., Ninomiya, H., Motoi, N., Urano, Y., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Rapid detection of lung cancer by fluorescent imaging using a γ -glutamyl transpeptidase=activatable fluorescent probe.
18th World Conference on Lung Cancer Yokohama, Japan, 2017

3. Nakao, M., Ninomiya, H., Mitsubori, T., Kato, D., Sonoda, D., Hirata, Y., Ichinose, J., Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Clinical importance and application of new T descriptors in the 8th TNM classification for pathological T0-1 lung adenocarcinoma.
18th World Conference on Lung Cancer Yokohama, Japan, 2017

4. 一瀬淳二 , 加藤大喜 , 園田大 , 氷室直哉 , 平田佳史 , 野間大督 , 松浦陽介 , 中尾将之 , 文敏景 , 中川健 , 奥村栄
充分なマージンと必要最低限の肺切離にこだわった胸腔鏡下肺部分切除 .
第 34 回日本呼吸器外科学会総会： 福岡市 , 2017

5. 一瀬淳二 , 加藤大喜 , 園田大 , 氷室直哉 , 平田佳史 , 野間大督 , 松浦陽介 , 中尾将之 , 文敏景 , 中川健 , 奥村栄
TNM 分類第 8 版において腫瘍径のみで T4 と分類されることは妥当か .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

6. 一瀬淳二，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，平田佳史，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
胸腔鏡手術は開胸より気管支断端瘻リスクが高いか：断端被覆の適応を考える．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

7. 三ツ堀隼弘，松浦陽介，加藤大喜，園田大，平田佳史，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄，二宮浩範，石川雄一
稀な病理所見を呈した invasive papillary adenocarcinoma の 1 切除例．
第 179 回日本肺癌学会関東支部会：東京，2017

8. 三ツ堀隼弘，中尾将之，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健
気管支断端の staple による肋間動脈損傷が疑われた胸腔鏡下右下葉切除術後出血の一例．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

9. 中尾将之，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄
再発肺癌に対する手術 肺癌術後再発に対する肺葉切除　高度癒着時の肺門処理．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会：福岡市，2017

10. 中尾将之，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄
SBRT（vs.surgery）臨床病期 IA 期　非小細胞肺癌に対する定位放射線治療と縮小手術．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

11. 中尾将之，文敏景，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中川健，奥村栄
当院における胸腔鏡下肺葉切除、縦隔リンパ節郭清．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

12. 加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄，二宮浩範，石川雄一
高分化型腺癌との鑑別が困難であった peribronchiolar metaplasia（PBM）の 1 例．
第 178 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2017

13. 加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄，石川雄一，二宮浩範
肺癌と鑑別が困難であった限局型 peribronchiolar metaplasia（PBM）の 4 例．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会：福岡市，2017

14. 加藤大喜，一瀬淳二，三ツ堀準弘，園田大，平田佳史，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
造影 CT 早期動脈相撮影が有用であった胸腔内巨大腫瘍の一切除例．
第 175 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2017

15. 加藤大喜，文敏景，三ツ堀隼弘，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健
横隔膜ヘルニアを合併した肺葉内分画症に対する胸腔鏡下右 S9 + S10 区域切除術．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

16. 加藤大喜，松浦陽介，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
非喫煙者に生じた肺原発扁平上皮癌の 1 例．
第 180 回日本肺癌学会関東支部会：東京，2017

17. 園田大，中尾将之，加藤大喜，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，二宮浩範，文敏景，石川雄一，中川健，奥村栄
当院で術後 10 年以降に確認された超晩期再発に関する臨床病理学的な検討．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会：福岡市，2017

18. 園田大，松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
第 1 肋骨浸潤を伴う superior sulcus tumor の 1 切除例．

第 846 回外科集談会：東京，2017

19. 園田大，中尾将之，加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，二宮浩範，文敏景，石川雄一，中川健，奥村栄
若年者非小細胞肺癌切除例の特徴と予後．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

20. 園田大，文敏景，松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，中川健
胸腔内巨大良性腫瘍における胸腔鏡下手術．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

21. 奥村栄
先輩の肺癌手術から学んだこと　若手に伝えたいこと．
第 105 回日本肺癌学会関西支部会：大阪府狭山市，2017

22. 奥村栄，加藤大喜，園田智明，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
右 wedge 上葉切除を施行するも結果的に内腔の変形が全くみられなかった手術．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会：福岡市，2017

23. 奥村栄，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
肺癌手術における中枢での結果確保．
第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会：札幌市，2017

24. 奥村栄
拡大手術．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

25. 奥村栄，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
気管膜様部浸潤肺癌に対する気管膜様部粘膜温存筋層合併切除術．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

26. 平田佳史，野間大督，文敏景，園田大，氷室直哉，加藤大喜，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
左房合併切除を伴う左肺全摘術の症例．
第 173 回日本胸部外科学会 関東甲信越地方会：東京，2017

27. 平田佳史，中尾将之，園田大，加藤大喜，氷室直哉，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，石川雄一，奥村栄
非小細胞肺癌リンパ節転移陽性例における再発予測因子の検討．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会：福岡市，2017

28. 平田佳史，松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，二宮浩範，石川雄一，奥村栄
腺癌術後再発例において EGFR Exon19 deletion と EGFR Exon21 L858R point mutation の差異は予後へ寄与するか．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

29. 平田佳史，文敏景，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
当院の対面倒立式 4 incisions thoracoscopic surgery（TS）における教育と実際：Trainee の立場から．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

30. 文敏景，三ツ堀隼弘，園田大，加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
アプローチの低侵襲化と手術の質．
第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会：札幌市，2017

31. 文敏景，三ツ堀隼弘，園田大，加藤大喜，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
胸腔鏡下左側縦郭郭清の工夫と実際．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

32. 文敏景，平田佳史，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
当院における胸腔鏡下手術の教育方針－指導医の立場から．

第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

33. 松浦陽介，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
右上葉肺門と葉間郭清が連続して行える気管支先行処理法．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会： 福岡市，2017

34. 松浦陽介，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
気管支形成術の継承と進化．
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会： 長崎市，2017

35. 松浦陽介，二宮浩範，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，石川雄一，奥村栄
大腸癌肺転移切除検体から肺部分切除術を考察する．
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市，2017

36. 松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
合併症軽減と質の高いリンパ節郭清との両立を目指す当院の手術手技．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

37. 松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健
術前に染込みリンパ節を予測し得るか．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

38. 氷室直哉，中尾将之，加藤大喜，園田大，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄
肺切除術後の心房細動発症に関する Risk Factor の検討．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会： 福岡市，2017

39. 野間大督，松浦陽介，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
導入化学放射線療法後に第 1 肋骨を伴う胸壁合併切除を施行した右 SST の 1 切除例．
第 173 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2017

40. 野間大督，松浦陽介，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
第 1 肋骨浸潤を伴う superior sulcus tumor の 1 切除例．
第 34 回日本呼吸器外科学会総会： 福岡市，2017

消化器化学療法科

1. Osumi, H., Takahari, D., Shinozaki, E., Chin, K., Ogura, M., Nakayama, I., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Suenaga, M., Yamaguchi, K.
Comparison of early tumor shrinkage between oxaliplatin plus S-1 and cisplatin plus S-1 in first-line chemotherapy with advanced gastric cancer.
ASCO 2017 Gastrointestinal Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA, 2017

2. Osumi, H., Shinozaki, E., Yamamoto, K., Chin, K., Ogura, M., Takahari, D., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Nakayama, I., Mastushima, T., Saiura, A., Yamaguchi, T., Yamaguchi, T.
Comparison of HER2 related molecular expression and its significance for clinical outcomes between the primary and liver metastases in advanced gastric cancer.
42nd European Society for Medical Oncology (ESMO) 2017 Congress: Madrid, Spain, 2017

3. 八木秀祐，若槻尊，山本智理子，陳勁松，末永光邦，篠崎英司，高張大亮，小倉真理子，市村崇，尾阪将人，中山厳馬，松島知広，大隅寛木，石川雄一，山口研成
HER2 陽性胃癌における生検検体を用いた腫瘍内不均一性の臨床的意義．

第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

4. 大隅寛木，高張大亮，篠崎英司，陳勁松，小倉真理子，山口研成
Comparison of early tumor shrinkage between SOX and SP in advanced gastric cancer.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

5. 大隅寛木，高張大亮，篠崎英司，陳勁松，小倉真理子，若槻尊，市村崇，中山厳馬，松島知宏，山口研成
Early tumor shrinkage and depth of response in patients treated with 1st-line chemotherapy for advanced gastric cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

6. 太田弓子，高張大亮，福田直樹，若槻尊，市村崇，小倉真理子，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成
Previous gastrectomy may increase risk of hypertension by ramucirumab plus paclitaxel for treatment of gastric cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

7. 山口研成
難治がん克服への内科学の挑戦 胃癌化学療法の up to date.
第 114 回日本内科学会総会・講演会： 東京，2017

8. 山口研成
Metastatic colorectal cancer: From disease biology to clinical management.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

9. 山口研成
The current topics and future treatment strategy in mCRC.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

10. 山口研成
大腸癌化学療法 後方ラインの Key drug：レゴラフェニブを知ろう．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

11. 山口研成
周術期胃癌化学療法における XELOX 療法の位置づけ．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

12. 山口研成
消化器がん薬物治療の展望．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

13. 市村崇，渡邊雅之，峯真司，陳勁松，高張大亮，小倉真理子，大原克仁，野村基雄，對馬隆浩，廣中秀一，原浩樹，小倉孝氏，倉持英和，砂川優
A pII study of SOX followed by surgery in advanced adenocarcinoma of the GEJ: first safety analysis.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

14. 本間理，若槻尊，大隅寛木，松島知広，中山厳馬，市村崇，小倉真理子，尾阪将，高張大亮，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成
HER2 陽性切除不能進行 / 再発胃癌における Capecitabine と PPI の相互作用についての検討．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

15. 松島知広
nivolumab を一次治療として使用した消化管原発粘膜悪性黒色腫の 3 例．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

16. 福田直樹，高張大亮，永岡智之，大隅寛木，松島知広，中山厳馬，若槻尊，小倉真理子，市村崇，尾阪将人，篠崎英司，陳勁松，山口研成
Analysis of predictive factors of ramucirumab plus paclitaxel for gastric cancer.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

17. 篠崎英司
EGFR downstream pathway and HER2 targeted treatment in advanced gastric cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

18. 篠崎英司
大腸 6.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

19. 若槻尊，高張大亮，陳勁松，小倉真理子，市村崇，井田智，比企直樹，佐野武，山口研成
当院における胃癌術後補助 XELOX の経験．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

20. 若槻尊，高張大亮，横川貴志，陳勁松，小倉真理子，市村崇，中山厳馬，松島知宏，大隅寛木，井田智，比企直樹，佐野武，山口研成
実臨床における胃癌術後補助化学療法 CapeOX の忍容性及び安全性の検討．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

21. 若槻尊，三谷誠一郎，長谷川裕子，原浩樹，高張大亮，陳勁松，平尾素弘，門脇重憲，室圭
Chemotherapy for gastric cancer with early recurrence after adjuvant S-1 monotherapy: a multicenter retrospective study.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

22. 陳勁松，若槻尊，高張大亮，馬島哲夫，市村崇，小倉真理子，篠崎英司，清宮啓之，藤田直也，山口研成
進行胃癌ラムシルマブ投与症例における血漿バイオマーカーの検討．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

23. 高張大亮
胃癌化学療法の実践：適切な治療選択と副作用マネジメント．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

24. 高張大亮，朴成和，高島淳生，中島貴子，山口研成
Newest knowledge in perioperative chemotherapy for gastric cancer especially around TAS-118.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

25. 高橋遼，若槻尊，篠崎英司，室伏景子，藤本佳也，大隅寛木，松島知広，小倉真理子，市村崇，高張大亮，末永光邦，陳勁松，小口正彦，上野雅資，山口研成
当院における限局性肛門扁平上皮癌に対する化学放射線療法の治療成績．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

肝胆膵内科

1. Ishigaki, K., Ozaka, M., Kataoka, S., Kanata, R., yamada, I., Sasaki, T., Matsuyama, M., Takano, H., Sasahira, N.
The relationship between antitumor effects and relative dose intensity (RDI) of gemcitabine plus nab-paclitaxel for unresectable pancreatic cancer.
ASCO 2017 Gastrointestinal Cancers Symposium: San Francisco, USA, 2017

2. Ishigaki, K., Kogure, H., Isayama, H., Takahara, N., Mizuno, S., Matsubara, S., Nakai, Y., Tada, M., Koike, K.
Endoscopic bilateral side-by-side metal stents deployment across the papilla for malignant hilar biliary obstruction.
ENDO 2017: World Congress of GI Endoscopy: Hyderbard, India, 2017

3. Kanata, R., Ozaka, M., Kataoka, S., Ishigaki, K., Yamada, I., SasakiT, Matsuyama, M., Takano, K., Sasahira, N.
The efficacy of 1st-line chemotherapy in patient with recurrent pancreatic cancer after S-1 adjuvant chemotherapy.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology San Francisco, USA, 2017

4. Matsuyama, M., Nakai, Y., Yamamoto, R., Sakai, Y., Takayama, Y., Tamada, K., Ito, Y., Kitamura, K., Ryozawa, S., Imamaura, T., Tuchida, K., Hayama, J., Ito, T., Kawaguchi, Y., Yoshida, Y., Sugimori, K., Shimura, K., Mizuide, M., Iwai, T., Nishikawa, K., Yagioka, H., Nagahama, M., Toda, N., Saito, T., Yasuda, I., Hirano, K., Togawa, O., Nakamura, K., Maetani, I., Isayama, H.
A retrospective study of endoscopic/percutaneous preoperative biliary drainage for malignant hilar obstruction: E-POD hilar study.
Digestive Disease Week (DDW): Chicago, USA, 2017

5. Ozaka, M., Sasaki, T., Kataoka, S., Kanata, R., Ishigaki, K., Yamada, I., Matsuyama, M., Takano, K., Sasahira, N.
Modified FOLFIRINOX for metastatic pancreatic adenocarcinoma after failure of nab-paclitaxel plus gemcitabine.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology San Francisco, USA, 2017

6. Sasahira, N., Kataoka, S., Ishigaki, K., Kanata, R., Yamada, I., Sasaki, T., Matsuyama, M., Ozaka, M., Takano, K., Saiura, A.
Preoperative endoscopic evaluation for pancreatic mass lesion - Who should undergo EUS-FNA and ERCP?
Digestive Disease Week (DDW): Chicago, USA, 2017

7. 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹
高齢化社会における消化器癌治療 高齢者膵癌に対する全身化学療法の成績 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

8. 佐々木隆 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹 .
術後再建腸管に対する short type シングルバルーン内視鏡下 ERC の成績 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

9. 佐々木隆 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 井上陽介 , 齋浦明夫 , 笹平直樹 .
Borderline resectable 膵癌に対する術前 EMS の現状 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

10. 佐々木隆
新しくなった十二指腸ステント WallFlex Duodenal Soft への期待 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

11. 佐々木隆 , 石垣和祥 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
遠隔転移を伴う膵癌に対する GEM+nab-PTX 併用療法および modified FOLFIRINOX 療法の成績 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

12. 佐々木隆 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
局所進行膵癌に対する GEM+nabPTX 併用療法および modified FOLFIRINOX 療法の成績 .
第 48 回日本膵臓病学会大会：京都市 , 2017

13. 佐々木隆 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
Long type と short type シングルバルーン内視鏡を用いた ERC の治療成績の検討 .
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市 , 2017

14. 佐々木隆
Borderline resectable 膵癌に対する治療戦略 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

15. 佐々木隆
膵癌症例報告：ご紹介症例を中心に .
がん研有明病院膵癌セミナー：東京 , 2017

16. 佐々木隆 , 金田遼 , 山田育弘 , 松山眞人 , 笹平直樹

Short type シングルバルーン内視鏡を用いたERC の治療成績の検討 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

17. 尾阪将人 , 佐々木隆 , 笹平直樹
膵癌治療の最前線 手術不能進行膵癌に対する Gemcitabine+nab-paclitaxel 後 2 次治療としての modified FOLFIRINOX の治療成績 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

18. 尾阪将人
化学療法の進歩に伴う切除不能膵癌の新しい治療戦略 切除不能膵癌に対する 1 次化学療法現状と今後の展開 .
第 27 回日本膵臓学会大会：京都市 , 2017

19. 尾阪将人
膵がん 4.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

20. 尾阪将人
膵癌化学療法：現状と今後の動向 .
第 2 回静岡県東部膵癌治療研究会： 三島市 , 2017

21. 尾阪将人
GIST/pNET の内科的治療最前線 .
第 26 回近畿 GIST 研究会：大阪市 , 2017

22. 尾阪将人
現行 GIST ガイドラインの今後の改訂ポイントの注目点は？ .
Young Expert Symposium GIST Japan: 東京 , 2017

23. 尾阪将人
膵癌治療の up to date：内科的治療 .
がん研有明病院膵癌セミナー：東京 , 2017

24. 尾阪将人
膵癌化学療法の現状と今後の課題 .
城南膵癌化学療法セミナー：東京 , 2017

25. 尾阪将人
膵癌化学療法について .
第 3 回 Pancreatic Cancer Forum in EHIME: 松山市 , 2017

26. 尾阪将人ほか
高齢者膵癌に対する標準治療が可能な症例について .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

27. 山田育弘 , 金田遼 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹 , 齋浦明夫 , 高澤豊
充実成分と嚢胞成分が混在し、嚢胞性腫瘍との鑑別に苦慮した腫瘤形成性膵炎の 1 例 .
第 66 回日本消化器画像診断研究会： 東京 , 2017

28. 山田育弘 , 片岡星太 , 金田遼 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
抗 PD-1 抗体 Nivolumab による免疫関連肝障害の 3 例　臨床経過及び肝組織像の検討 .
第 53 回日本肝臓学会総会：広島市 , 2017

29. 山田育弘 , 尾阪将人 , 金田遼 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
75 歳以上高齢者進行胆道癌患者における化学療法の成績と問題点 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

30. 新垣碧 , 尾阪将人 , 金田遼 , 片桐智子 , 秋山大 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
広範囲な静脈血栓症・肺塞栓症を合併しイマチニブが著効した GIST の 1 例 .
第 347 回日本消化器病学会関東支部例会： 東京 , 2017

31. 石垣和祥 , 尾阪将人 , 片岡星太 , 金田遼 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
非切除膵癌に対する GEM+nab-PTX 併用療法における relative dose intensity と治療効果の関係 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 広島市 , 2017

32. 笹平直樹
内視鏡医が求める ERCP 検査室：C アーム X 線システム導入施設の取り組み .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

33. 笹平直樹
EUS-FNA による組織診断：より高みを目指して .
第 48 回日本膵臓病学会大会：京都市 , 2017

34. 笹平直樹
ERCP, EUS-FNA.
仙台内視鏡治療ライブ 2017（日本消化器内視鏡学会共催）：仙台市 , 2017

35. 笹平直樹
膵癌化学療法の進歩と Endoscopic Intervention：FNA, 胆道ドレナージ , 消化管ステント .
第 4 回九州胆膵治療内視鏡カンファランス： 福岡市 , 2017

36. 笹平直樹
再建腸管 .
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市 , 2017

37. 笹平直樹
膵をとりまく内視鏡診療：今　未来　つなぐ：膵癌に対する胆道ドレナージ戦略 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

38. 紫牟田綾乃 , 金田遼 , 秋山大 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 高橋祐 , 齋浦明夫 , 高澤豊 , 笹平直樹 .
Everolimus 加療中に嚢胞破裂を来した膵神経内分泌腫瘍の一例 .
日本消化器病学会関東支部第 346 回例会： 東京 , 2017

39. 縣千郷 , 石垣知祥 , 佐々木隆 , 片岡星太 , 金田遼 , 山田育弘 , 尾阪将人 , 松山眞人 , 高野浩一 , 高橋祐 , 高澤豊 , 笹平直樹
EUS-FNA で術前に確定診断が得られた、男性・18mm 大の充実性偽乳頭状嚢胞腫瘍の 1 例 .
日本消化器病学会関東支部第 343 回例会： 東京 , 2017

40. 金田遼 , 山田育弘 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 仲野謙司 , 笹平直樹 .
経乳頭的胆嚢生検が治療方針決定に寄与した悪性黒色腫多臓器転移の一例 .
日本消化器病学会関東支部第 344 回例会： 東京 , 2017

41. 金田遼 , 松山眞人 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
順刃型コアトラップ形状生検針を用いた EUS-FNA の有用性と安全性に関する検討 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

42. 金田遼 , 松山眞人 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
順刃型コアトラップ形状生検針を用いた EUS-FNA の有用性と安全性に関する検討 .
第 48 回日本膵臓病学会大会：京都市 , 2017

43. 金田遼 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 笹平直樹
順刃型コアトラップ形状生検針（20G Pro-Core）の導入による EUS-FNA の成績の変化 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

44. 高野浩一 , 笹平直樹 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 佐々木隆 , 山田育弘 , 金田遼 , 松枝清
肝外病変なし切除不能大腸癌肝転移症例に動注療法後 肝切除をおこなった症例の後視的検討 .
第 42 回リザーバー研究会：高野町 , 2017

上部消化管内科

1. Hirasawa, T., Hiki, N., Namikawa, K., Nakano, K., Nunobe, S., Yamamoto, M., Fujisaki, J., Sano, T.
Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors.
World Congress of GI Endoscopy (ENDO): Hyderabad, India, 2017

2. Yoshimizu, S., Yamamoto, Y., Fujisaki, J.
Therapeutic outcomes of endoscopic resection for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor.
Digestive Disease Week (DDW): Chicago, USA, 2017

3. 並河健，平澤俊明，城間翔，吉水祥一，清水智樹，山口和久，山本安則，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，山本頼正，土田知宏，藤崎順子
Evaluation of patients with type 1 gastric neuroendocrine tumors.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

4. 並河健，藤崎順子，城間翔，吉水祥一，中野薫，山崎明，山口和久，山本安則，堀内裕介，石山晃世志，平澤俊明，由雄敏之，山本頼正，土田知宏，津山直子，竹内賢吾
Lymphomatoid gastropathy の 4 例．
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市，2017

5. 中野薫，平澤俊明，山本智理子，藤崎順子
Tumor size and lymphatic-vascular invasion relate to lymph node metastasis of type 3 gastric NETs.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

6. 中野薫，藤崎順子，土田知宏
Hp 除菌後胃癌の内視鏡診断における問題点：HP 除菌後未分化型胃癌の内視鏡的特徴．
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市，2017

7. 中野薫，藤崎順子，山口和久
除菌後胃癌の内視鏡的特徴　発見に有用な所見について．
第 23 回日本ヘリコバクター学会学術集会： 函館市，2017

8. 中野薫，藤崎順子，山本智理子，山崎明，吉水祥一，山本安則，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，平澤俊明，土田知宏
除菌後発見胃癌の除菌後経過期間における臨床的・内視鏡的特徴の比較．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

9. 中野薫，由雄敏之，佐々木隆，藤崎順子
放射線治療後の瘻孔に対する食道ステント留置術の当院での成績．
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2017

10. 中野薫，由雄敏之，佐々木隆，藤崎順子
消化管ステントの進歩 放射線治療後の瘻孔に対する食道ステント留置術の当院での成績．
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2017

11. 中野薫ほか
家族性大腸腺腫症に合併した胃腫瘍性病変の特徴に関する検討．
第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会：札幌市，2017

12. 吉水祥一，由雄敏之，土田知広
食道 SM 癌に対する内視鏡切除と追加化学放射線療法の長期成績：根治的化学放射線療法と比較して．
第 13 回日本消化管学会学術集会： 名古屋市，2017

13. 吉水祥一，山本頼正，藤崎順子
未分化型早期胃癌に対する ESD 術前の工夫．
第 89 回日本胃癌学会総会付置研究会（第 3 回 ESD 研究会）：広島市，2017

14. 吉水祥一，山本頼正，藤崎順子
十二指腸非乳頭部腫瘍の内視鏡診断と治療：当院における表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡治療成績．
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市，2017

15. 吉水祥一，由雄敏之，土田知宏
MM/SM1 食道扁平上皮癌に対する内視鏡的切除後の治療戦略 MM/SM1 食道扁平上皮癌の治療戦略と長期成績．
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市，2017

16. 吉水祥一，山本頼正，堀内裕介，由雄敏之，石山晃世志，平澤俊明，土田知宏，藤崎順子
未分化型早期胃癌に対する ESD におけるマーキングと切除法の検討．

第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

17. 吉水祥一 , 平澤俊明 , 藤崎順子
上部内視鏡スクリーニング検査の精度管理：検査時間は Quality indicator になりうるのか？ .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

18. 城間翔 , 平澤俊明 , 河内洋 , 並河健 , 吉水祥一 , 田顔夫佑樹 , 中野薫 , 岩崎将 , 山崎明 , 山口和久 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子
当院における胃底腺型胃癌の臨床的特徴の検討 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

19. 城間翔 , 由雄敏之 , 土田知宏
ESD におけるトラクション法：表在型咽頭癌に対するダブルスコープ ESD の有用性 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

20. 城間翔 , 堀内裕介 , 吉水祥一 , 中野薫 , 山崎明 , 山口和久 , 山本安則 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子
内視鏡的切除を施行した食道扁平上皮癌に神経内分泌細胞癌を合併した 1 例 .
第 104 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

21. 城間翔 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子
食道癌 ESD 後狭窄予防に対するステロイド投与の有用性および限界の検討 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

22. 堀内裕介 , 藤崎順子 , 山本智理子
ポスト Hp 時代に注目される胃病変：印環細胞癌における H.pylori の感染の有無による ESD 治療成績の比較 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

23. 堀内裕介 , 藤崎順子 , 山本智理子
画像強調内視鏡診断の最新の知見 H.pylori 未感染未分化型早期胃癌における NBI 併用拡大内視鏡による範囲診断の正診率 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

24. 堀江義政 , 平澤俊明 , 乾山光子 , 赤澤直樹 , 山本安則 , 城間翔 , 山崎明 , 中野薫 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 土田知宏 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 河内洋 , 藤崎順子
ESD を施行した胎児消化管上皮類似癌の 2 例 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

25. 大隅寛木 , 由雄敏之 , 河内洋 , 藤崎順子
貧血を契機に発見された巨大十二指腸腫瘍の 1 例 .
第 13 回日本消化管学会総会学術集会： 名古屋市 , 2017

26. 大隅寛木 , 藤崎順子 , 河内洋
食道胃接合部癌の抱える課題　病態・診断・治療を中心に Siewert type II 食道胃接合部癌 ESD 症例におけるバレット食道腺癌と噴門部癌の臨床病理学的検討 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

27 山崎明 , 清水智樹 , 中野薫 , 山本安則 , 吉水祥一 , 山口和久 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子
表在型 Barrett 食道腺癌の範囲診断　NBI の限界と陰性生検の有用性 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

28 山崎明 , 藤崎順子 , 中野薫 , 山本安則 , 吉水祥一 , 山口和久 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 土田知宏
表在型 Barrett 食道腺癌の肉眼型、深達度、組織型についての検討　SSBE と LSBE の違いを中心に .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

29. 山崎明 , 藤崎順子 , 河内洋 , 高松学 , 清水智樹 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 土田知宏

LSBE を背景とする表在型 Barrett 食道腺癌異時、同時多発の一例 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

30. 山本安則 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子 , 河内洋 , 山本智理子
今 B2 血管を見直す B2 血管の正診率に影響を与える臨床的因子の検討 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

31. 山本安則 , 石山晃世志 , 中野薫 , 山崎明 , 吉水祥一 , 山口和久 , 堀内祐介 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子 , 比企直樹 , 佐野武 , 河内洋 , 山本智理子 , 佐上俊和 , 榊信廣
胃 SMT 様形態を示した胃 Hamartomatous inverted polyp の 2 例 .
第 104 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2017

32. 山本安則 , 平澤俊明 , 比企直樹
当院における胃粘膜下腫瘍に対する LECS の安全性と長期予後 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

33. 山本安則 , 石山晃世志 , 河内洋 , 由雄敏之 , 土田知宏
食道学会拡大内視鏡分類 B2 血管の陽性的中率に影響を与える臨床病理学的因子の検討 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2017

34. 山本頼正 , 平澤俊明 , 藤崎順子 , 布部創也 , 比企直樹
非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する D-LECS を含む治療戦略 .
第 15 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 広島市 , 2017

35. 平山佳愛 , 並河健 , 城間翔 , 吉水祥一 , 清水智樹 , 山口和久 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 平澤俊明 , 由雄敏之 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子
Clinical characteristics and endoscopic resection in gastric tube cancer after esophageal surgery.
第 89 回日本胃癌学会総会 : 広島市 , 2017

36. 平澤俊明
胃がんリスク層別化検査について .
江東区医師会学術講演会 : 東京 , 2017

37. 平澤俊明
早期胃癌の見つけ方　その胃癌見逃してませんか？ .
第 4 回京都広小路ライブセミナー： 京都市 , 2017

38. 平澤俊明
胃 NET の診断と治療 .
第 30 回 Tokyo Gastrology Clinical Diagnosis Conference（ TGCDC）：東京 , 2017

39. 平澤俊明
知っておきたい！　胃のめずらしい悪性腫瘍 .
第 7 回墨田消化器内視鏡ネットワーク： 東京 , 2017

40. 平澤俊明
早期胃癌の内視鏡診断 ：胃がん内視鏡検診で何が変わる？ .
港区医師会学術講演会 : 東京 , 2017

41. 清水智樹 , 山崎明 , 藤崎順子
バレット食道診療におけるトピックス LSBE を背景とする Barrett 食道腺癌の ESD 治療成績 SSBE との比較 .
第 103 回日本消化器病学会総会 : 東京 , 2017

42. 清水智樹 , 山崎明 , 藤崎順子
LSBE に発生した Barrett 食道腺癌の ESD 治療成績 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

43. 渡海義隆 , 山崎琢士 , 河内洋
除菌後新たに生じる胃粘膜変化による診断困難因子の内視鏡・組織学的検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

44. 由雄敏之 , 上堂文也 , 後藤田卓志
食道胃接合部癌の抱える課題　病態・診断・治療を中心に 内視鏡的胃粘膜萎縮からみた表在型食道胃接合部癌の特徴 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

45. 由雄敏之 , 三梨桂子 , 武藤学
食道 SM 癌に対する低侵襲治療：cSM 食道癌に対する EMR と CRT 併用治療の有効性に関する非ランダム化検証的試験 :JCOG0508.
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

46. 石山晃世志 , 土田知宏 , 吉水祥一 , 山本安則 , 由雄敏之 , 藤崎順子 , 峯真司 , 渡邊雅之 , 河内洋 , 山本智理子
当院における新たな試みを含めた食道 ESD 後狭窄予防の現状 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

47. 石山晃世志 , 土田知宏 , 中野薫 , 山崎明 , 吉水祥一 , 山口和久 , 山本安則 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 藤崎順子 , 峯真司 , 渡邉雅之 , 河内洋 , 山本智理子
当院における頸部食道癌見逃し症例の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

48. 藤崎順子 , 堀内裕介 , 山本智理子
ピロリ未感染胃癌とピロリ除菌後胃癌の現状と課題 HP 未感染胃粘膜に発生する印環細胞癌の現状 .
第 103 回日本消化器病学会総会：東京 , 2017

49 藤崎順子
上部 ESD：治療法の工夫・トラブルシューティング .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

下部消化管内科

1. Ide, D., Saito, S., Iwasaki, S., Tagao, F., Chino, A., Tamegai, Y., Igarashi, M., Tamai, N., Ohya, T. R., Sumiyama, K., Saruta, M., Fujisaki, J.
Colorectal endoscopic submucosal dissection using band traction device (BTD) for a novice endoscopist and the possibility of applying submucosal tunnel creation with BTD.
Digestive Disease Week (DDW): Chicago, USA, 2017

2. Saito, S., Ide, D., Chino, A., Igarashi, M., Tamai, N., Sumiyama, K., Tajiri, H., Kawachi, H., Ikegami, M.
The endoscopic differentiation features of sessile serrated adenoma/ polyps with cytological dysplasia by AFI observation.
Digestive Disease Week (DDW): Chicago, USA, 2017

3. 並河健 , 千野晶子 , 斎藤彰一
大腸 T1 癌における臨床病理学的検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

4. 井出大資 , 斎藤彰一 , 玉井尚人 , 城間翔 , 並河健 , 田顔夫佑樹 , 岩崎将 , 千野晶子 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広 , 河内洋
大腸鋸歯状病変に対する第二世代自家蛍光内視鏡観察の有用性 .
第 86 回大腸癌研究会：盛岡市 , 2017

5. 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一
大腸 ESD における traction device と送水機能付き先端系ナイフを併用した粘膜下トンネル形成法の有用性 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

6. 井出大資 , 為我井芳郎 , 千野晶子 , 五十嵐正広 , 斎藤彰一
大腸 ESD における traction device と送水機能付き先端系ナイフを併用した粘膜下トンネル形成法の有用性 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

7. 千野晶子 , 河内洋 , 井出大資 , 田顔夫佑樹 , 西川雄祐 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広 , 斎藤彰一
大腸鋸歯状病変の亜型における生物学的特性に

ついての遺伝子学的特徴 .
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市 , 2017

8. 安江千尋 , 斎藤彰一 , 西川祐 , 渡海隆 , 並河健 , 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 千野晶子 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広
抗血栓薬服用者における内視鏡的大腸ポリープ切除術後出血の検討 .
第 35 回日本大腸検査学会総会：福岡市 , 2017

9. 安江千尋 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 千野晶子 , 藤崎順子
大腸 ESD における traction device の有用性 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

10. 安江千尋 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 千野晶子 , 五十嵐正広
下部 ESD- 治療法の工夫・トラブルシューティング - 大腸 ESD における traction device の有用性 .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

11. 斎藤彰一
痛恨の一例に学ぶ（小腸・大腸）.
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

12. 斎藤彰一 , 井出大資 , 加藤智弘
大腸カプセル内視鏡検査時の新しい液剤型腸管洗浄剤を使用した撮像時間内排泄率、洗浄度、排出時間の検討 .
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市 , 2017

13. 斎藤彰一 , 井出大資 , 加藤智弘
大腸・小腸疾患に対する診断の進歩 大腸カプセル内視鏡検査時の新しい液剤型腸管洗浄剤を使用した撮像時間内排出率、洗浄度、排出時間の検討 .
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市 , 2017

14. 河並健 , 千野晶子 , 斎藤彰一
大腸 T1 癌における臨床病理学的検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

15. 渡海義隆 , 千野晶子 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 藤崎順子
SSA/P 併存癌に対する NBI 拡大観察を用いた内視鏡診断の有用性について .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

16. 渡海義隆 , 千野晶子 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 藤崎順子
下部内視鏡 - 日常臨床における画像強調内視鏡・拡大内視鏡の役割と将来展望 - SSA/P 併存癌に対する NBI 拡大観察を用いた内視鏡診断の有用性について .
第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2017

17. 為我井芳郎 , 福長洋介 , 斎藤彰一
内視鏡治療の限界領域を克服する大腸 LECS の有用性 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

18. 為我井芳郎 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広 , 斎藤彰一
大腸 ESD 後の予後の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

19. 田顔夫佑樹 , 斎藤彰一 , 河内洋.
大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類を用いた NBI 併用拡大内視鏡の有用性の 検討 .
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市 , 2017

20. 田顔夫佑樹 , 千野晶子 , 河並健 , 井出 , 大 ., 岸原輝仁 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広 , 斎藤彰一 , 河内洋 , 山本智理子 , 藤崎順子
大腸腫瘍病変に対する JNET 分類を用いた NBI 併用拡大内視鏡の有用性の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

21. 西川雄祐 , 千野晶子 , 井出大資 , 安江千尋 , 渡海義隆 , 並河健 , 田顔夫佑樹 , 為我井芳郎 , 斎

藤彰一，五十嵐正広
挿入困難例における大腸スコープの特性を考慮した挿入法．
第 35 回日本大腸検査学会総会：福岡市，2017

22. 野崎良一，斎藤彰一
大腸内視鏡治療と抗血栓療法．
第 35 回日本大腸検査学会総会：福岡市，2017

食道外科

1. 今村裕，比企直樹，沖英次，森田勝，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
MSI-high as a prognostic biomarker in EGJ adenocarcinoma.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

2. 今村裕，峯真司，黒河内喬範，山下公太郎，岡村明彦，速水克，吉田直矢，沖英次，山本学，比企直樹，森田勝，前原喜彦，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌におけるマイクロサテライト不安定性の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

3. 今村裕，峯真司，比企直樹，沖英次，山本学，森田勝，前原喜彦，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における手術関連因子の術式間比較と予後解析．
第 71 回日本食道学会学術集会：軽井沢町，2017

4. 今村裕，比企直樹，沖英次，山本学，森田勝，前原喜彦，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌は腫瘍占居部位により heterogeneous な genetic status を呈する．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

5. 今村裕，峯真司，比企直樹，山下公太郎，岡村明彦，湯田匡美，速水克，沖英次，山本学，森田勝，前原喜彦，馬場秀夫，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌に対する胸腹部アプローチの比較検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

6. 山下公太郎，渡邊雅之，峯真司，黒河内喬範，岡村明彦，速水克，今村裕
食道癌術後再発例の治療成績と外科的介入の可能性．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

7. 山下公太郎，渡邊雅之，峯真司，黒河内喬範，岡村明彦，速水克，今村裕
食道癌患者における Charlson comorbidity index の意義に関する検討．
第 71 回日本食道学会学術集会：軽井沢町，2017

8. 山下公太郎，渡邊雅之，峯真司，黒河内喬範，岡村明彦，速水克，今村裕
食道癌術後再発予測と再発食道癌の治療 食道癌術後再発例の治療成績と外科的介入の可能性．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

9. 山下公太郎，峯真司，大串大輔，佐々木俊治，岡村明彦，湯田匡美，速水克，今村裕，古川恵一，渡邊雅之
術前化学療法中に播種性帯状疱疹をきたした進行食道癌の 1 例．
第 30 回日本外科感染症学会総会：東京，2017

10. 山下公太郎，渡邊雅之，峯真司，今村裕，問端輔，福留維行，岡村明彦，湯田匡美，速水克
食道扁平上皮癌 R1 切除症例に対する追加治療の有効性．
第 347 回日本消化器病学会関東支部例会：東京，2017

11. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，今村裕，速水克，山下公太郎，黒河内喬範，佐野武
食道切除周術期管理チームの導入による術後肺炎の軽減と予後に及ぼす影響．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

12. 岡村明彦，渡邊雅之，峯真司，黒河内喬範，山下公太郎，今村裕，小倉真理子，市村崇，高張大亮，陳勁松
食道癌術前補助化学療法症例における非治癒切

除予測因子 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

13. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 速水克 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 峯真司
術前血糖コントロールと食道扁平上皮癌の予後 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

14. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 速水克 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 峯真司
内臓脂肪型肥満が胸腔鏡下食道切除術後の炎症反応に与える影響 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

15. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
内臓脂肪型肥満は食道扁平上皮癌のリンパ管侵襲と関連する .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

16. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 井田智 , 安福至 , 庄司佳晃 , 山下公太郎 , 速水克 , 今村裕 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 峯真司 , 大橋学 , 比企直樹 , 佐野武
上部消化管外科における周術期感染症対策：High volume center での取り組み .
第 30 回日本外科感染症学会総会：東京 , 2017

17. 峯真司 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 岡村明彦 , 黒河内喬範 , 山下公太郎 , 速水克 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 比企直樹 , 佐野武
胸郭開口部の前後径と食道切除縫合不全との関連 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

18. 峯真司 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 渡邊雅之
pN3（リンパ節転移 7 個以上）食道扁平上皮癌の臨床病理学的検討 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

19. 峯真司
リンパ節転移 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

20. 峯真司 , 渡邊雅之 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 井田智 , 秋吉高志 , 髙橋祐 , 齋浦明夫 , 比企直樹 , 佐野武
食道切除例からみた食道胃接合部腺癌縦隔リンパ節転移 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

21. 峯真司
食道 1.
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

22. 峯真司 , 渡邊雅之 , 布部創也 , 今村裕 , 岡村明彦 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 比企直樹 , 佐野武
食道胃接合部腺癌における下縦隔郭清の意義と鏡視下手技 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市 , 2017

23. 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 岡村明彦 , 今村裕 , 速水克 , 峯真司
内視鏡治療非治癒切除となった食道扁平上皮癌切除例におけるリンパ節転移の頻度と部位 .
第 13 回日本消化管学会総会学術集会： 名古屋市 , 2017

24. 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
局所進行食道癌に対する食道切除適応の判断における導入化学療法の意義 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

25. 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
高齢者食道癌の治療方針と短期成績 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

26. 渡邊雅之 , 黒河内喬範 , 山下公太郎 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司

頸部食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合と有茎大網被覆の成績と縫合不全のリスク因子の解析 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

27. 渡邊雅之
胸部食道扁平上皮癌に対する鎖骨上リンパ節郭清の意義 .
第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会： 札幌市 , 2017

28. 渡邊雅之 , 今村裕 , 峯真司
内視鏡治療非治癒切除食道癌症例に対する追加手術の妥当性 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

29. 渡邊雅之 , 湯田匡美 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
「それぞれの癌」最善の治療とは？食道癌　内科と外科の立場から cStage Ⅰ食道扁平上皮癌に対する外科的治療の短期および長期成績 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

30. 渡邊雅之 , 湯田匡己 , 山下公太郎 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
食道切除後胃管再建の工夫と成績 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

31. 渡邊雅之
食道癌手術のベストプラクティス 2.
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

32. 湯田匡美 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司 , 渡邊雅之
食道胃接合部癌に対する胸腔アプローチ別の臨床的検討 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市 , 2017

33. 速水克 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 佐野武 , 山口俊晴
食道癌 salvage 手術における周術期合併症の予後に与える影響 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

34. 速水克 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 佐野武 , 山口俊晴
食道癌 salvage 手術における周術期合併症が短期および長期予後に与える影響 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

35. 速水克 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 佐野武 , 山口俊晴
長期予後と周術期合併症のリスクからみた食道癌サルベージ手術の適応 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

36. 速水克 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 佐野武 , 山口俊晴
術前化学療法後の食道癌切除例における術後肺合併症予測因子の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

37. 黒河内喬範 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 速水克 , 山下公太郎
術前化学療法後の食道癌切除例における早期再発リスク因子の検討 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

38. 黒河内喬範 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 今村裕
重複癌に対する治療戦略 食道癌、頭頸部癌の同時性重複癌に対する段階的治療戦略の妥当性 .
第 71 回日本食道学会学術集会： 軽井沢町 , 2017

39. 黒河内喬範 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 今村裕
術前化学療法後の食道癌切除例における予後予測因子 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

40. 黒河内喬範 , 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
原発性肺癌合併食道癌に対する同時切除症例の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

胃外科

1. Eto, K.
The outcome of extended surgery for gastric cancer with para-aortic lymph node metastasis following neo-adjuvant chemotherapy.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

2. Hayami, M.
Clinical outcomes and evaluation of laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

3. Hiki, N.
Lap gastrectomy for gastric cancer; current status.
13th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery(ELSA): Seoul, Korea, 2017

4. Hiki, N.
Compression-less pancreas traction: a novel approach for supra-pancreatic lymph node dissection of laparoscopic gastrectomy.
第 12 回日韓中合同腹腔鏡下胃切除セミナー：Busan, Korea, 2017

5. Hiki, N.
Current status of surgical treatment of gastric cancer.
2nd Cancer Center Symposium of Seoul National University Bundang Hospital: Seoul, Korea, 2017

6. Hiki, N.
Compression-less pancreas traction: a novel approach for supra-pancreatic lymph node dissection of laparoscopic gastrectomy.
第 3 回長州国際胃癌サミットフォーラム　日中韓胃癌セミナー：Changchun, China, 2017

7. Hiki, N.
Laparoscopy and luminal endoscopy cooperative surgery (LECS) can be a standard treatment for submucosal tumors of the stomach: A multicenter study.
25th International Congress of the European Association for Endoscoic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): Frankfurt, Germany, 2017

8. Hiki, N.
Pancreatic injury and usage of NIR.
Seoul International Gastric Cancer Forum 2017: Seoul, Korea, 2017

9. Ida, S.
Our approach for the stomach preservation for patients with gastric cancer.
第 12 回日韓中合同腹腔鏡下胃切除セミナー：Busan, Korea, 2017

10. Ida, S.
Role of prealbumin to predict postoperative complications after gastrectomy – significance of preoperative nutritional therapy-.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

11. Kano, Y.
Outcomes of adjuvant S-1 chemotherapy for pStage III gastric cancer in a single instute.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

12. Kumagai, K.
Survival benefit and additional value of "D2-plus" gastrectomy in gastric cancer

patients with duodenal invasion.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

13. Nunobe, S.
Valvuloplasty with double-flap technique after laparoscopic proximal gastrectomy.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

14. Nunobe, S.
Valvuloplasty with double-flap technique after laparoscopic proximal gastrectomy.
40th Annual Meeting of the Korean Society of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons (KSELS) & 2017 International Symposium: Busan, Korea, 2017

15. Nunobe, S.
Funcion preserving laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.
2017 International Minimally Invasive Digestive Surgery Symposium: Taiwan, 2017

16. Nunobe, S.
Update the diagnosis and treatment of gastric cancer in Japan.
Multidisciplinary Therapy for Gastrointestinal Cancer: Vietnam, 2017

17. Nunobe, S.
The ingenuity for taking advantage of Roux-en-Y reconstruction after distal gastrectomy for gastric cancer.
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

18. Ohashi, M.
A novel procedure of intracorporeal end to end gastrogastrostomy with a linear stapler following laparoscopic pylorus preserving gastrectomy: Pierce method.
第 12 回日韓中合同腹腔鏡下胃切除セミナー：Busan, Korea, 2017

19. Sano, T.
Staging of gastric cancer, the 8th edition.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

20. Sano, T.
Future perspective of GC surgery.
Chinese Gastrointestinal Surgery Study (CLASS) International Conference 2017: Changchun, China, 2017

21. Sano, T.
Diagnosis and staging: cardia cancer.
International Updates in Surgical Oncology. What's new in cardia and gastric cancer?: Special One Day pre-congress Workshop: Modica, Italy, 2017

22. Sano, T.
Surgery for gastric cancer: current standard and perspective.
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

23. Sano, T.
Perspective of clinical trials for gastric cancer surgery.
Moscow Gastric Cancer Symposium: Moscow, Russia, 2017

24. Shoji, Y.
Short-term outcomes of delta shaped Billroth-I vs Roux-en-Y reconstruction after laparoscopic distal gastrectomy for early gastric cancer
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

25. Shoji, Y., Nunobe, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Treatment strategy for submucosal tumors of the esophago-gastric junction.
第 16 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：福岡市 , 2017

26. Tsuda, Y.
Preoperative prealbumin concentrations are useful predictors of short-term postoperative outcomes after gastric cancer surgery.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

27. Yasufuku, I.
Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery is feasible for gastric submucosal tumors.
12th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Beijing, China, 2017

28. 井田智 , 比企直樹 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 庄司佳晃 , 津田康雄 , 加納陽介 , 安福至 , 江藤弘二郎 , 辻浦誠浩 , 佐野武 , 山口俊晴
胃切除術前のプレアルブミン値と術後合併症発生との関連 .
第 89 回日本胃癌学会総会 : 広島市 , 2017

29. 井田智 , 比企直樹 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 庄司佳晃 , 津田康雄 , 加納陽介 , 安福至 , 江藤弘二郎 , 辻浦誠浩 , 奥村康弘 , 佐野武 , 山口俊晴
胃切除術前のプレアルブミン値と術後合併症発生との関連 : 術前栄養療法の意義 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会 : 横浜市 , 2017

30. 井田智 , 比企直樹 , 望月宏美 , 熊谷厚志 , 峯真司
胃切除術前経腸栄養療法の意義 .
日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会 : 新潟市 , 2017

31. 井田智 , 比企直樹 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 佐野武
胃切除術前経腸栄養療法の意義 .
第 72 回日本消化器外科学会総会 : 金沢市 , 2017

32. 井田智 , 比企直樹 , 石沢武彰 , 津田康雄 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術での膵液漏発生メカニズムの検証 .
第 72 回日本消化器外科学会総会 : 金沢市 , 2017

33. 井田智 , 布部創也 , 比企直樹
胃癌内視鏡切除後非治癒切除症例の検討 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）: 福岡市 , 2017

34. 井田智 , 比企直樹 , 江藤弘二郎 , 安福至 , 加納陽介 , 庄司佳晃 , 津田康雄 , 李基成 , 大橋拓馬 , 八木 , 秀 ., 高橋遼 , 平山佳愛 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学
腹腔鏡下胃全摘術再建時の視野展開の工夫 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会 : 京都市 , 2017

35. 佐野武
Introduction to the 5th edition of JGCA treatment guidelines.
第 89 回日本胃癌学会総会 : 広島市 , 2017

36. 佐野武
開腹手術の新しいスタンダード .
第 89 回日本胃癌学会総会 : 広島市 , 2017

37. 佐野武
JSGS　Art of the Year2017（手術部門）: 胃癌 D2 リンパ節郭清の国際標準化を目指して .
第 72 回日本消化器外科学会総会 : 金沢市 , 2017

38. 佐野武
胃癌術後の栄養サポートの重要性 : KSES-001 試験，OGSG-1108 試験から見えてきたこと .
第 72 回日本消化器外科学会総会 : 金沢市 , 2017

39. 佐野武
進行胃癌に対する腹腔鏡下手術は標準化するのか？　現状と今後の展望 .
第 72 回日本消化器外科学会総会 : 金沢市 , 2017

40. 佐野武
内視鏡手術支援ロボットによる胃癌外科的治療の現状と展望 .

第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

41. 佐野武
TNM 分類と胃癌取扱い規約：その歴史と展望 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

42. 佐野武
JCOG 試験から見えてきた胃癌リンパ節郭清の意義 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

43. 佐野武
若手外科医の育成：開腹胃がん手術から技術認定取得まで .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

44. 佐野武
Minimally invasive gastrectomy for advanced gastric cancer: current status and future perspective.
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市 , 2017

45. 八木秀祐 , 井田智 , 山本智理子 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴 , 比企直樹
胃 GIST2 病変を LECS にて同時切除した 1 例 .
第 846 回外科集談会：東京 , 2017

46. 八木秀祐 , 布部創也 , 江藤弘二郎 , 安福至 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴 , 比企直樹
十二指腸憩室を伴う胃切除に対して double tract 再建を行った 1 例 .
第 47 回胃外科・術後障害研究会： 横浜市 , 2017

47. 八木秀祐 , 井田智 , 布部創也 , 江藤弘次郎 , 安福至 , 加納陽介 , 庄司佳晃 , 津田康雄 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴 , 比企直樹
胃切除術 Roux-en-Y 再建後に十二指腸憩室穿孔を起こした 2 例 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

48. 加納陽介 , 大橋学 , 津田康雄 , 庄司佳晃 , 安福至 , 奥村康弘 , 江藤弘二郎 , 辻浦誠浩 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 佐野武 , 山口俊晴
pStage III 症例に対する術後 S-1 補助化学療法の検討 .
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市 , 2017

49. 加納陽介 , 大橋学 , 若槻尊 , 山口研成 , 津田康雄 , 庄司佳晃 , 福留惟行 , 江藤弘二郎 , 安福至 , 辻浦誠浩 , 宮城幹史 , 奥村康弘 , 井田智 , 熊谷厚史 , 布部創也 , 比企直樹 , 佐野武 , 山口俊晴
胃癌 pStage III 症例に対する術後補助化学療法の検討
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

50. 加納陽介 , 井田智 , 比企直樹 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴
上部胃癌に対する胃亜全摘術と噴門側胃切除術の術後栄養状態の比較 .
第 54 回日本外科代謝栄養学会：新潟市 , 2017

51. 加納陽介 , 大橋学 , 比企直樹 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 佐野武 , 山口俊晴
pStage II, III 症例に対する術後 S-1 補助化学療法の治療成績 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

52. 加納陽介 , 大橋学 , 若槻尊 , 山口研成 , 津田康雄 , 庄司佳晃 , 安福至 , 江藤弘二郎 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 比企直樹 , 佐野武 , 山口俊晴
pStage III 症例に対する術後補助化学療法の検討 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

53. 加納陽介 , 大橋学 , 平山佳愛 , 大橋拓馬 , 李基成 , 津田康雄 , 庄司佳晃 , 安福至 , 江藤弘二郎 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 佐野武 , 山口俊晴 , 比企直樹
U 領域早期胃癌に対する手術術式の検討 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市 , 2017

54. 大橋学，比企直樹，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における新しい体腔内端端吻合法（ピアス法）の短期成績．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

55. 大橋学，比企直樹，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴
大動脈周囲リンパ節転移陽性胃癌に対する大動脈周囲リンパ節郭清の意義と予後因子．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

56. 大橋学
胃（化学療法・免疫療法）．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

57. 大橋学，吉川貴己，寺島雅典，水澤純基，西田靖仙，加治正英，福島紀雅，羽藤慎二，丁田泰宏，藪崎裕，吉田和弘，福田治彦，朴成和，佐野武，笹子三津留
術後 Stage II 胃癌に対する S-1 補助化学療法 8 コースと 4 コースを比較する第 III 相試験．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

58. 大橋学，比企直樹，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武
腹腔鏡下胃切除術後の膵関連合併症ゼロを目指して．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

59. 大橋拓馬，井田智，布部創也，八木秀祐，高橋遼，平山佳愛，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，熊谷厚志，大橋学，比企直樹
LECS 困難例に対する手技の工夫．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

60. 奥村康弘，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
Stage II、III 胃癌における、根治手術後早期再発例の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

61. 奥村康弘，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
Stage II、III 胃癌における、根治術後早期再発例の検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

62. 安福至，布部創也，新井正美，高松学，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武
SMAD4 の変異を伴った胃限局型若年性ポリポーシスの 1 例．
第 846 回外科集談会：東京，2017

63. 安福至，熊谷厚志，比企直樹，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，江藤弘二郎，奥村康弘，辻浦誠浩，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
進行胃癌に対する審査腹腔鏡検査における偽陰性例の検討．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

64. 安福至，熊谷厚志，比企直樹，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，江藤弘二郎，奥村康弘，辻浦誠浩，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
胃癌に対する審査腹腔鏡検査における偽陰性例の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

65. 安福至
十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術と開腹十二指腸局所切除術の比較．
第 93 回日本消化器内視鏡学会総会： 大阪市，2017

66. 安福至，熊谷厚志，比企直樹，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
胃癌に対する審査腹腔鏡検査の有用性と偽陰性例の検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

67. 安福至，布部創也，藤崎順子，平澤俊明，山本頼正，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹
十二指腸腺腫・粘膜内癌に対する内視鏡腹腔鏡合同手術（D-LECS）の治療成績の検討．

第 16 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：福岡市，2017

68. 安福至，布部創也，比企直樹，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，山口俊晴
腹膜播種を伴う胃癌に対する conversion therapy の治療成績の検討．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

69. 安福至，大橋学，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
gastric outlet obstruction を伴う進行胃癌の治療成績の検討．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

70. 宮城幹史，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，比企直樹，辻浦誠浩，奥村康弘，江藤弘二郎，安福至，福留惟行，加納陽介，庄司佳晃，津田康雄，佐野武，山口俊晴
胃切除術後 Petersen's ヘルニアを発症した 22 例の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

71. 山口俊晴
臨床試験から視た胃癌手術．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

72. 布部創也，熊谷厚志，井田智，大橋学，峯真司，渡邊雅之，比企直樹，佐野武
食道胃接合部癌に対する胸腔鏡を併用した腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き法再建．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

73. 布部創也，比企直樹，熊谷厚志，井田智，大橋学，峯真司，渡邊雅之，福長洋介，斎浦明夫，佐野武
胃癌手術における逆流防止の工夫と長期成績腹腔鏡下噴門側胃切除後観音開き再建法の逆流防止効果の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

74. 布部創也
LECS 時代の内視鏡医と外科医のあり方，教育論・トレーニング方法・実臨床について．
第 16 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：福岡市，2017

75. 布部創也
胃・十二指腸（その他の治療（化学療法なども含む））．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

76. 布部創也
胃（症例報告（悪性））2.
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

77. 布部創也
内視鏡下手術での起死回生の一手（胃）
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

78. 布部創也，比企直樹，熊谷厚志，井田智，大橋学
学ぶ立場から教える立場へ移行する中で習得した腹腔鏡下胃切除術．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

79. 布部創也，井田智，熊谷厚志，比企直樹，大橋学，峯真司，渡邊雅之，齋浦明夫，佐野武
Standardization of laparoscopic gastrectomy for the upper part of gastric cancer.
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

80. 平山佳愛，井田智，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
胃切除後 Petersen's ヘルニアの診断．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

81. 庄司佳晃，布部創也，平澤俊明，山本頼正，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
LECS for SMTs of the esophago-gastric junction.

第 15 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：広島市，2017

82. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
胃神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下手術．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

83. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴．
腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるデルタ吻合による Billroth-I 法と Roux-en-Y 法の比較検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

84. 庄司佳晃
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する LECS.
第 71 回手術手技研究会：名古屋市，2017

85. 庄司佳晃，熊谷厚志，比企直樹，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
胃癌穿孔に対する治療戦略．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

86. 庄司佳晃，布部創也，平澤俊明，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

87. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，山口俊晴
腹腔鏡下幽門側胃切除術における再建法による合併症の比較検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

88. 成田丈格，加納陽介，井田智，庄司佳晃，津田康雄，安福至，江藤弘二郎，奥村康弘，辻浦誠浩，熊谷厚志，布部創也，大橋学，比企直樹，新井正美，佐野武，山口俊晴
リンチ症候群の経過観察中に粘膜下腫瘍様胃癌を認めた一例．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

89. 李基成，熊谷厚志，比企直樹，平山佳愛，大橋拓馬，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，大橋学，布部創也，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡（補助）下幽門側胃切除術・R-Y 再建における十二指腸断端埋没手技が、断端縫合不全を予防する効果．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

90. 李基成，熊谷厚志，平山佳愛，大橋拓馬，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，大橋学，布部創也，山口俊晴，比企直樹
腹腔鏡（補助）下胃切除術・R-Y 再建における十二指腸断端埋没手技が、断端縫合不全を予防する効果．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

91. 比企直樹
Laparoscopic surgery 2.
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

92. 比企直樹
他科とのコラボレーション手術の実際．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

93. 比企直樹
臨床研究．
第 9 回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部会学術集会：横浜市，2017

94. 比企直樹
「栄養アセスメントの臨床応用と問題点を見直す」様々ながん病態における栄養管理のシフトチェンジ．
第 40 回栄養アセスメント研究会： 久留米市，2017

95. 比企直樹
担がん患者の栄養管理はどうすべきか：がん患者における栄養管理のシフトチェンジの重要性．
日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会： 新潟市，2017

96. 比企直樹
肥満．

日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会：新潟市 , 2017

97. 比企直樹
がん専門病院におけるがん治療：上手くいかせるための思いやりと工夫 .
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市 , 2017

98. 比企直樹
周術期を支える経腸栄養の役割 , beyond nutrition を目指して .
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市 , 2017

99. 比企直樹 , 大橋学 , 布部創也 , 熊谷厚志 , 井田智 , 辻浦誠浩 , 佐野武
膵臓を極力触らない膵上縁郭清における視野展開の意義 .
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市 , 2017

100. 比企直樹
がん患者における栄養管理におけるシフトチェンジの重要性 .
第9回日本Acute Care Surgery学会学術集会：札幌市 , 2017

101. 比企直樹
胃・十二指腸（手術）.
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

102. 比企直樹
胃（鏡視下手術（悪性））1.
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

103. 比企直樹
腹腔鏡内視鏡合同手術の今後の展開 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

104. 比企直樹
「THE PORT」それぞれのポート：ポート使用におけるベストプラクティス .
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市 , 2017

105. 比企直樹
胃癌に対する内視鏡外科手術の現状と今後の展開 .
第 47 回胃外科・術後障害研究会：横浜市 , 2017

106. 比企直樹
合併症ゼロを目指した手術（胃）
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

107. 比企直樹 , 大橋学 , 布部創也 , 熊谷厚志 , 井田智 , 佐野武 , 山口俊晴
胃切除後体重減少を防ぐための再建術式の選択の重要性 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

108. 比企直樹 , 布部創也
腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）の保険収載から適応拡大への道 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

109. 比企直樹
上部消化管：腹腔鏡下手術における pitfall.
第 79 回日本臨床外科学会総会 日本外科学会第 92 回卒後教育セミナー（平成 29 年度秋季）：東京 , 2017

110. 比企直樹
がん専門病院における上部消化管手術の最前線 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市 , 2017

111. 比企直樹
腹腔鏡下胃全摘術・腹腔鏡下噴門側胃切除：再建の工夫 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市 , 2017

112. 比企直樹
進行胃がんに適応を拡げて：ぼくが合併症を減らせたわけ .
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市 , 2017

113. 江藤弘二郎，熊谷厚志，比企直樹，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，奥村康弘，辻浦誠浩，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
胃癌術後合併症を生じた患者での長期予後増悪を術前化学療法が抑制する可能性．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

114. 江藤弘二郎，井田智，比企直樹，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，奥村康弘，辻浦誠浩，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
糖尿病と胃癌術後の予後についての検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

115. 江藤弘二郎
腹腔鏡下幽門保存切除術における体腔内端端吻合法（ピアス法）の術後短期成績と栄養状態の変化．
第 71 回手術手技研究会：名古屋市，2017

116. 江藤弘二郎，井田智，比企直樹，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
糖尿病と胃癌術後の予後についての検討．
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

117. 江藤弘二郎，大橋学，比企直樹，井田智，熊谷厚志，布部創也，山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における端端吻合法（ピアス法）と側側吻合（デルタ法）の術後短期成績の比較．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

118. 江藤弘二郎，大橋学，比企直樹，安福至，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における体腔内端端吻合法（ピアス法）の術後短期成績．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

119. 津田康雄，井田智，加納陽介，庄司佳晃，福留惟行，宮城幹史，江藤弘二郎，安福至，奥村康弘，辻浦誠浩，熊谷厚志，大橋学，布部創也，比企直樹，佐野武，山口俊晴
スキルス胃癌の生物学的悪性度と予後に関する検討．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

120. 津田康雄，井田智，加納陽介，庄司佳晃，福留惟行，宮城幹史，江藤弘二郎，安福至，奥村康弘，辻浦誠浩，熊谷厚志，大橋学，布部創也，比企直樹，佐野武，山口俊晴
スキルス胃癌の生物学的悪性度に関する検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

121. 津田康雄，比企直樹，井田智，加納陽介，庄司佳晃，渡邉元己，徳永竜馬，江藤弘二郎，安福至，辻浦誠浩，奥村康弘，熊谷厚志，大橋学，布部創也，平澤俊明，山本頼正，藤崎順子，佐野武，山口俊晴
胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除（LECS）152 例の治療成績．
第 104 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2017

122. 津田康雄，井田智，比企直樹，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武，山口俊晴
Inverted Laparoscopic endoscopic cooperative surgery（LECS）for gastric submucosal tumors
当院における胃粘膜下腫瘍に対する Inverted LECS の治療成績．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

123. 津田康雄，比企直樹，井田智，加納陽介，庄司佳晃，江藤弘二郎，安福至，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武，山口俊晴
胃切除術前における経管栄養療法の意義．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

124. 津田康雄，布部創也，大橋拓馬，李基成，加納陽介，庄司佳晃，江藤弘二郎，安福至，井田智，熊谷厚志，大橋学，山口俊晴，比企直樹
腹腔鏡下噴門側胃切除後の食道胃吻合における Double flap technique（DFT）の有用性．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

125. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，江藤弘二郎，安福至，加納陽介，庄司佳晃，津田康雄，李基成，大橋拓馬，平山佳愛，佐野武，山口俊晴
内視鏡下手術での起死回生の一手（胃）腹腔鏡下胃切除術における開腹移行例の変遷と、出血症例に対するトラブルシューティングの検討．
日本臨床外科学会雑誌，2017. 78（増刊）：340

126. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，辻浦誠浩，奥村康弘，江藤弘二郎，加納陽介，安福至，庄司佳晃，津田康雄，佐野武，山口俊晴
治癒切除不能な悪性幽門狭窄症に対するpartial stomach partitioning gastrojejunostomy の意義についてのメタ解析．
第89回日本胃癌学会総会：広島市，2017

127. 熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，辻浦誠浩，奥村康弘，江藤弘二郎，安福至，山口俊晴，佐野武
十二指腸胃癌手術におけるD2+ 郭清の意義．
第117回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

128. 熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，辻浦誠浩，奥村康弘，江藤弘二郎，安福至，山口俊晴，佐野武
術前CT矢状断で評価する膵臓の解剖学的位置と腹腔鏡下胃切除術後合併症．
第72回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

129. 熊谷厚志，比企直樹，佐野武
術前CT矢状断で評価する膵臓の解剖学的位置と腹腔鏡下幽門側胃切除術後ドレーンアミラーゼ濃度．
第25回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

130. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，江藤弘二郎，安福至，加納陽介，庄司佳晃，津田康雄，李基成，大橋拓馬，平山佳愛，佐野武，山口俊晴
肥満患者における腹腔鏡下胃切除術の "Knack and pitfalls.
第79回日本臨床外科学会総会：東京，2017

131. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，江藤弘二郎，安福至，加納陽介，庄司佳晃，津田康雄，李基成，大橋拓馬，平山佳愛，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における開腹移行例の変遷と、出血症例に対するトラブルシューティングの検討．
第79回日本臨床外科学会総会：東京，2017

132. 熊谷厚志，布部創也，高橋遼，八木秀祐，平山佳愛，李基成，大橋拓馬，津田康雄，庄司佳晃，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，大橋学，比企直樹
腹腔鏡（補助）下幽門保存胃切除術における小開腹手縫い吻合体腔内と器械吻合の中・長期的機能の比較．
第30回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

133. 辻浦誠浩，比企直樹，大橋学，布部創也，熊谷厚志，井田智，津田康雄，庄司佳晃，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，奥村康弘，佐野武，山口俊晴
Excellent long-term prognosis and favorable postoperative nutritional status after LPPG.
第89回日本胃癌学会総会：広島市，2017

134. 辻浦誠浩，比企直樹，大橋学，布部創也，熊谷厚志，井田智，津田康雄，庄司佳晃，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，奥村康弘，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における膵上縁郭清の新たな術野展開の工夫　膵臓を圧迫しない術野展開．
第117回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

135. 辻浦誠浩，比企直樹，大橋学，布部創也，熊谷厚志，井田智，奥村康弘，佐野武，山口俊晴
BMI25以上（Overweight）の胃癌患者に対しての幽門保存をする意義はあるのか？
第72回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

136. 辻浦誠浩，比企直樹，大橋学，布部創也，熊谷厚志，井田智，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除術・観音開き法食道胃吻合後の肛門側断端陽性に対して追加残胃全摘術を必要とした未分化型胃癌 2 症例．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

137. 長岡大樹，大橋拓馬，布部創也，高松学，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武
術前診断に難渋した腹膜中皮嚢胞の 1 例．
第 846 回外科集談会：東京，2017

138. 高橋遼，由雄敏之，土田知宏，山本頼正，石山晃世志，平澤俊明，堀内裕介，清水智樹，吉水祥一，山口和久，藤崎順子
食道表在癌の内視鏡的切除による食道穿孔症例の検討
第 13 回日本消化管学会総会学術集会：名古屋市，2017

139. 高橋遼，布部創也，八木秀祐，安福至，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，大橋学，國崎主税，遠藤格
当院で胃癌に対して施行した膵頭十二指腸切除術の治療成績の検討．
第 47 回胃外科・術後障害研究会：横浜市，2017

140. 高橋遼，井田智，布部創也，安福至，大竹玲子，李基成，津田康雄，庄司佳晃，加納陽介，江藤弘二郎，熊谷厚志，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
早期胃癌に対する ESD 治癒切除後に再発した 2 例の検討．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

大腸外科

1. Akiyoshi, T.
Current status of laparoscopic colorectal cancer surgery in Japan.
Laparoscopic Colorectal Resection in Korea: the 25th-Anniversary Symposium: Seoul, Korea, 2017

2. Akiyoshi, T.
Current status of laparoscopic colorectal cancer surgery in Japan.
UMC conference on science and technology: Ho Chi Minh City, Viet Nam, 2017

3. Akiyoshi , T.
Feasibility of laparoscopic total mesorectal excision with extended lateral pelvic lymph node dissection for advanced low rectal cancer after preoperative chemoradiotherapy.
The 6th Annual Faculty Conference of Gastrointestinal Surgery Clinical Advanced Training Program (CATP): Xiamen, China, 2017

4. Akiyoshi, T.
Laparoscopic D3 lymph node dissection for advanced right-sided colon cancer.
2017 Annual Meeting & Scientific Sessions of Society of Colon and Rectal Surgeons in Taiwan: Taipei, Taiwan, 2017

5. Akiyoshi , T.
Laparoscopic D3 lymph node dissection for colon cancer.
UMC conference on science and technology: Ho Chi Minh City, Viet Nam, 2017

6. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection after preoperative chemoradiotherapy for advanced rectal cancer: techniques and outcomes.
2017 Annual Meeting & Scientific Sessions of Society of Colon and Rectal Surgeons in Taiwan: Taipei, Taiwan, 2017

7. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection for advanced low rectal cancer-techniques and oncological outcomes.
International Colorectal Cancer Symposium of Zhejiang University 2017: Hangzhou, China, 2017

8. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection for advanced rectal cancer.
SCRS Scientific Symposium: Singapore, 2017

9. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection for advanced rectal cancer: surgical techniques and outcomes.
UMC conference on science and technology: Ho Chi Minh, Viet Nam, 2017

10. Akiyoshi, T.
Laparoscopic surgery for advanced rectal cancer-Japanese experiences.
ASIAN GI Young Surgeon's Symposium.: Beijing, China, 2017

11. Akiyoshi , T.
Laparosopic lateral pelvic lymph node dissection after preoperative chemoradiotherapy: Is it necessary?
International Minimally Invasive Surgery Conference 2017 (i-MISC): Hong Kong, 2017

12. Akiyoshi , T.
Lateral lymph node dissection in rectal cancer with TME principle.
27th Shanghai International Conference & 6th Shanghai Minimally Invasive Colorectal Surgery Conference: Shanghai, China, 2017

13. Akiyoshi, T.
Multidisciplinary treatment for advanced rectal cancer.
UMC conference on science and technology: Ho Chi Minh City, Viet Nam, 2017

14. Akiyoshi, T.
Pelvic lymph node &para aortic dissection.
Tan Tock Seng Hospital 3rd MIS Colorectal Masterclass Workshop: Singapore, 2017

15. Akiyoshi, T.
Pelvic lymph node dissection after neoadjuvant chemoradiotherapy.
International Colorectal Research Summit 2017: Seoul, Korea, 2017

16. Akiyoshi, T.
Prognostic impact of distribution of lymph node metastasis in patients with locally advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
12th Meeting of European Society of Coloproctology (ESCP): Berlin, Germany, 2017

17. Akiyoshi, T.
Recent advances in colorectal procedures-LPLND.
Colorectal Innovation Forum 2017: Mumbai, India, 2017

18. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Prognostic impact of distribution of lymph node metastasis in patients with locally advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
American Society of Colon and Rectal Surgeons (ASCRS) Annual Scientific and Tripartite Meeting: Seattle, USA, 2017

19. Fukunaga, Y.
Laparoscopic lateral lymph node dissection to rectal cancer.
5th Sunlight Great Wall Cancer Academic Conference: Beijing, China, 2017

20. Fukunaga, Y.
Laparoscopic surgery to locally advanced colon cancer invading to adjacent urinary structures.
25th International Congress of the European Association for Endoscoic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): Frankfurt, Germany, 2017

21. Fukunaga, Y.
Lateral lymph node recurrence after Stage I rectal cancer.
Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery: Tokyo, Japan, 2017

22. Fukunaga, Y.
Lateral lymph node recurrence after Stage I rectal cancer.
第 21 回 Asian Congress of Surgery: Tokyo, Japan, 2017

23. Konishi, T.
Anterior dissection plane for TME in male and female.
China-Japan colorectal cancer surgery conference: Guangzohu, China, 2017

24. Konishi, T.
Endoscopic ESD for superficial rectal tumors Pit pattern evaluation: teaching the surgeon.
FICARE 2017: Sao Paulo, Brazil, 2017

25. Konishi, T.
Extended lymph node dissection in colorectal cancer, postoperative, rather than preoperative CEA predicts outcome in colon cancer.
Society of Surgial Oncology Annual Cancer Symposium (SSO): Seattle, WA, USA, 2017

26. Konishi, T.
Functional outcomes after lateral node dissection - Are there any really significant consequences?
FICARE: Sao Paulo, Brazil, 2017

27. Konishi, T.
Indication and technique of LPLND in advanced lower rectal cancer.
Korean Lateral Lymph Node Dissection Workshop: Seoul, Korea, 2017

28. Konishi, T.
Laparoscopic pelvic exenteration for locally advanced rectal cancer.
2017 Shanghai Lu-Jia-Zhui International Colorectal Week: Shanghai, China, 2017

29. Konishi, T.
Laparoscopic TME and lateral node dissection.
Shanghai Workshop of gestrointestinal malignancy: Changhai, China, 2017

30. Konishi, T.
Lateral node dissection by laparoscopic surgery... preserving the crucial nerves and taking out the necessary nodes!
FICARE: Sao Paulo, Brazil, 2017

31. Konishi, T.
Lateral node dissection improves local control in all extraperitoneal rectal cancer patients when lymph node size is ?7mm regardless of response to nCRT.
FICARE: Sao Paulo, Brazil, 2017

32. Konishi, T.
Lateral pelvic lymph node disease outside of the TME.
Society of Surgical Oncology (SSO) Annual Cancer Symposium: Seattle, WA, USA, 2017

33. Konishi, T.
Lateral pelvic lymph node dissection.
Advances in Colorectal Oncology 2017: A Century of Multimodality Rectal Cancer Care: New York, USA, 2017

34. Konishi, T.
Management of rectal cancer with lateral pelvic lymph node disease outside of the TME.
3rd Shanghai International Colorectal Minimaly Invasive Symposim & 3rd National Conference o Robotic and Laparoscopic Surgery: Shanghai, China, 2017

35. Nagasaki, T.
Analysis of prognostic outcomes in colon cancer patients according to the tumor lo-

cation.
12th Meeting of European Society of Coloproctology (ESCP): Berlin, Germany, 2017

36. Nagasaki, T.
Outcomes of laparoscopic surgery in patients with sigmoid colon and rectal cancer underwent en bloc resection of primary tumor and adjacent urogenital organs.
25th International Congress of the European Association for Endoscoic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): Frankfurt, Germany, 2017

37. Suzuki, S.
The advantage of modified trianguating staping technique for closure of a temporary loop stoma.
12th Meeting of European Society of Coloproctology (ESCP): Berlin, Germany, 2017

38. 三城弥範，福長陽介，南宏典，福岡宏倫，村橋賢，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
非技術認定医における Needlescopic Surgery の手術成績と learning curve.
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

39. 三城弥範，秋吉高志，南宏典，福岡宏倫，宮成淳，村橋賢，小倉淳司，武田泰裕，鈴木紳祐，牛込創，日吉幸晴，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
遠隔転移を有する大腸癌に対する治療戦略 当院における直腸癌 Stage IV に対する治療戦略と予後因子の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

40. 三城弥範，秋吉高志，鈴木紳祐，小倉淳司，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
遠隔転移を含む R0 切除し得た Stage IV 直腸癌の予後因子としての術前 short-course radiation と CA19-9 の意義．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

41. 上野雅資
化学療法における外科医の役割．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

42. 富永哲郎，小西毅，磯崎正典，松井信平，南宏典，宮成淳，村橋賢，牛込創，福岡宏倫，鈴木紳祐，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
大腸ステント留置後に安全に待機的鏡視下根治術が可能であった閉塞性大腸癌の 1 例．
第 846 回外科集談会：東京，2017

43. 小西毅，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，佐野武，金尾祐之，竹島信宏
直腸外科医から見る骨盤解剖と鏡視下手術手技．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

44. 永岡智之，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院で原発巣切除を行った直腸肛門部悪性黒色腫 8 例の検討．
第 846 回外科集談会：東京，2017

45. 牛込創，小西毅，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
腹腔鏡下に切除した多発直腸 NET の 1 例．
第 846 回外科集談会：東京，2017

46. 佐々木茂真，藤本佳也，富永哲郎，南宏典，宮成淳，牛込創，村橋賢，鈴木紳介，福岡宏倫，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，福長洋介，長山聡，上野雅資
確定診断を得るための組織生検を腹腔鏡下に行った 16 例の検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

47. 佐々木茂真，藤本佳也，永岡智之，本間理，磯崎正典，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，福岡宏倫，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
Diverting ileostomy を併施した低位前方切除後ストーマ早期合併症のリスク因子の検討．

第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

48. 南宏典，小西毅，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
進行直腸癌に対する術前短期放射線療法後の腹腔鏡下切除術の安全性に関する検討．
第 846 回外科集談会：東京，2017

49. 南宏典，藤本佳也，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，福岡宏倫，長嵜寿也，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
虫垂粘液嚢腫 18 例の検討．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

50. 南宏典，藤本佳也，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
大腸癌イレウスへの術前ステント留置症例の検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

51. 南宏典，長山聡，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，福長洋介，上野雅資
閉塞性大腸癌への術前ステント留置症例の検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

52. 宮成淳
化学療法無効卵巣転移を伴う横行結腸癌に対し手術施行後、化学療法を再開しえた 1 例．
第 39 回日本癌局所療法研究会：京都市，2017

53. 宮成淳，秋吉高志，松井信平，富永哲郎，南宏典，村橋賢，牛込創，鈴木紳祐，福岡宏倫，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
腹腔鏡下直腸切断、前立腺合併切除術施行し、膀胱温存した肛門管癌の一例．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：2017

54. 宮成淳，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における大腸神経内分泌腫瘍の検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

55. 宮成淳，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，千野晶子，新井正美
当院における Lynch 症候群の大腸癌に対する手術成績と内視鏡サーベイランスの現状．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

56. 富永哲郎，小西毅，村橋賢，福岡宏倫，鈴木紳祐，牛込創，宮成淳，南宏典，松井信平，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
T4a 結腸癌に対する腹腔鏡手術の検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

57. 富永哲郎，長嵜寿矢，本間理，永岡智之，佐々木茂真，南宏典，宮成淳，磯崎正典，松井信平，福岡宏倫，村橋賢，牛込創，鈴木紳祐，小倉淳司，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
Srage Ⅱ結腸癌における再発予測因子の検討．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

58. 小倉淳司，秋吉高志，福岡宏倫，三城弥範，日吉幸晴，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
術前放射線化学療法施行 ypT3 下部直腸癌における筋層からの浸潤距離（壁外浸潤距離）と予後の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

59. 小西毅
3D カメラを用いた腹腔鏡下側方郭清．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

60. 小西毅
S から深部直腸へ：鋭的剥離で進む TME と側方郭清．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

61. 小西毅
「あるある」から学ぶ！腹腔鏡下直腸切除 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

62. 小西毅
エキスパートから学ぶ骨盤内視鏡外科 Advanced Techniques.
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 : 岡山市 , 2017

63. 小西毅
ここを工夫した私の手術手技（直腸）.
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

64. 小西毅
手技の工夫、定型化で出血制御にこだわった腹腔鏡下骨盤内臓全摘術 + 側方郭清 .
第 71 回手術手技研究会：名古屋市 , 2017

65. 小西毅
直腸癌に対する腹腔鏡下手術の現状 .
第 42 回日本大腸肛門病学会九州地方会 / 第 33 回九州ストーマリハビリテーション研究会： 熊本市 , 2017

66. 小西毅
腹腔鏡下子宮全摘術における手術デバイスのこだわり！：膜を意識した手術のために .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 : 岡山市 , 2017

67. 小西毅
腹腔鏡下直腸がん手術の Nuts & Bolts.
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

68. 小西毅 , 島田能史 , 若井俊文 , 亀山仁史 , LeeLik, CavalcantiMarcela, HsuMeier, GonenMithat, 福長洋介 , 上野雅資 , Garcia-AguilarJulio, ShiaJinru, WeiserMartin
結腸癌先進部病理所見の予後予測性能に関する国際共同研究 .
第 86 回大腸癌研究会：盛岡市 , 2017

69. 小西毅 , 石田秀行 , 上野秀樹 , 小林宏寿 , 檜井孝夫 , 井上靖浩 , 石田文生 , 金光幸秀 , 山口達郎 , 冨田尚裕 , 松原長秀 , 渡邉聡明 , 杉原健一
Total proctocolectomy for FAP in Japan.
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市 , 2017

70. 小西毅 , 篠崎英司 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 佐野武 , 山口俊晴
ハイリスク局所進行直腸癌に対する術前 mFOLFOX6 + BEV と S-1 化学放射線療法の逐次投与に関する第 II 相試験 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

71. 小西毅 , 篠崎英司 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 山口研成 , 佐野武 , 山口俊晴
術前化学放射線療法＋選択的側方郭清 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

72. 市原明子 , 藤本佳也 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
機能障害を伴う同時性大腸癌肝転移に対し肝動注化学療法を先行した 9 例の検討 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

73. 平山佳愛 , 篠崎英司 , 若槻尊 , 市村崇 , 小倉真理子 , 高張大亮 , 末永光邦 , 陳勁松 , 長嵜寿也 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資 , 山口俊晴
直腸癌に対する術前化学放射線療法および化学療法の病理組織学的治療効果判定 .
第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2017): 福岡市 , 2017

74. 日吉幸晴 , 秋吉高志 , 徳永竜馬 , 市原明子 , 牛込創 , 鈴木紳祐 , 南宏典 , 宮成淳 , 村橋賢 , 福岡宏倫 , 武田泰裕 , 三城弥範 , 小倉淳司 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
直腸癌術前 CRT における効果予測マーカーとしての血清 miR-143 の有用性 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

75. 日吉幸晴，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸癌術後局所再発切除の治療成績．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

76. 村橋賢，福長洋介，長嵜寿矢，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，鈴木紳祐，牛込創，福岡宏倫，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
直腸巨大 GIST に対して鏡視下会陰操作を併用した腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の一例．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

77. 松井信平，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，山口俊晴
腹腔鏡下直腸癌 (Ra, Rb) 手術における、肥満型の周術期感染に与える影響．
第 30 回日本外科感染症学会総会：東京，2017

78. 武田泰裕，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
進行下部直腸癌におけるサルコペニアと予後に関する検討．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

79. 永岡智之，長嵜寿矢，本間理，佐々木茂真，磯崎正典，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，福岡宏倫，小倉淳司，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院で原発巣切除を行った直腸肛門部悪性黒色腫 7 例の検討．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

80. 牛込創
直腸 LST 病変に対して ESD 施行後、pTis であったがリンパ節再発を来した 1 例．
第 39 回日本癌局所療法研究会：京都市，2017

81. 牛込創，福長洋介，本間理，永岡智之，佐々木茂真，磯崎正典，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，村橋賢，鈴木紳祐，福岡宏倫，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
直腸 NET の臨床病理学的検証．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

82. 牛込創，福長洋介，長崎寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
直腸 NET のリンパ節転移に関する検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

83. 牛込創，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
近赤外線蛍光腹腔鏡イメージングを用いた ICG 蛍光法による大腸マーキングの検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

84. 福岡宏倫
小切開をおかない Needle scopic surgery の疼痛評価．
第 87 回大腸癌研究会：四日市市，2017

85. 福岡宏倫，福長洋介，南宏典，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，武田泰裕，三城弥範，日吉幸晴，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
横行結腸癌に対する CVL に基づく D3 リンパ節郭清を伴う腹腔鏡下横行結腸部分切除術．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

86. 福岡宏倫，福長洋介，南宏典，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
当院における腹腔鏡下直腸切除術およびハルトマン術の人工肛門挙上経路の検討．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

87. 福岡宏倫，福長洋介，鈴木紳祐，村橋賢，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
CME，CVL に基づく横行結腸癌の術式（横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の要点と術式選択の検討）．

第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

88. 福岡宏倫，長嵜寿矢，富永哲郎，南宏典，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長陽介，上野雅資
最大径 8cm 以上の巨大結腸癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

89. 福長洋介
ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下大腸癌手術：合併症低減と根治性向上の追及．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

90. 福長洋介
こうすればとれる直腸癌：困難症例に対する腹腔鏡下直腸がん手術の最前線．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

91. 福長洋介
創傷治癒理論に基づく V.A.C. 治療の有用性．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

92. 福長洋介
大腸 支持療法 2.
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

93. 福長洋介
大腸：直腸癌 側方郭清 2.
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

94. 福長洋介
大腸癌手術のベストプラクティス 3.
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

95. 福長洋介
直腸癌に対する手術の工夫：より安全に手術を行うために．
第 86 回大腸癌研究会：盛岡市，2017

96. 福長洋介，上野雅資，長山聡，藤本佳也，小西毅，秋吉高志，長嵜寿矢
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：局在別の横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

97. 福長洋介，上野雅資，長山聡，藤本佳也，小西毅，秋吉高志，長嵜寿矢，小倉淳司，日吉幸晴，三城弥範
内肛門括約筋間直腸切除術における腹腔鏡下と経肛門的操作および経肛門的 TME への発展．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

98. 秋吉高志
『JCOG0212 後の側方郭清術（TME+ αの時代）～ 2 つのがん専門病院の現状と今後の展開』．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

99. 秋吉高志
- 再発直腸癌、骨盤内臓全摘術を極める：腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の手術手技．
第 22 回近畿内視鏡下大腸手術研究会：大阪市，2017

100. 秋吉高志
大腸（症例報告（悪性））4.
第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2017): 福岡市，2017

101. 秋吉高志
直腸癌に対する腹腔鏡下手術：TME、側方郭清、and beyond.
第 4 回 LAC フロンティア研究会： 大阪市，2017

102. 秋吉高志
進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術手技．
南東京大腸癌治療講演会：東京，2017

103. 秋吉高志
電気メスを中心とした S 状結腸切除手術手技について．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

104. 秋吉高志，小倉淳司，三城弥範，日吉幸晴，福岡宏倫，武田泰裕，村橋賢，宮成淳，鈴木紳祐，牛込創，南宏典，長嵜寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，布部創也，比企直樹，福長洋介，上野雅資，佐野武，山口俊晴
下部進行直腸癌に対する術前放射線化学療法の意義．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

105. 秋吉高志，村橋賢，牛込創，鈴木紳祐，福岡宏倫，南宏典，宮成淳，富永哲郎，松井信平，永岡智之，長嵜寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
大腸腫瘍における腹腔鏡下骨盤内臓全摘出術の治療成績と手術手技．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

106. 秋吉高志，福岡宏倫，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，宮成淳，南宏典，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
局所進行・再発直腸癌に対する腹腔鏡下手術．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

107. 秋吉高志，福岡宏倫，鈴木紳祐，牛込創，宮成淳，村橋賢，南宏典，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
TME を超えた直腸癌に対する腹腔鏡下手術手技．
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京，2017

108. 秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，比企直樹，佐野武，山口俊晴
下部進行直腸癌に対する術前放射線化学療法と選択的側方リンパ節郭清．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

109. 藤本佳也
傍ストーマヘルニアに対する腹腔鏡下 Sugarbaker 法の手技と成績．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

110. 藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，小倉淳史，三城弥範，日吉幸晴，長山聡，福長洋介，上野雅資
大腸癌腹膜播種の手術．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

111. 藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資，井出大資，千野晶子，為我井芳郎，齋藤彰一，五十嵐正弘
閉塞性大腸癌に対する治療の変遷．
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会：福岡市，2017

112. 藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資，齋浦明夫，髙橋祐，伊藤寛倫，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，峯真司，渡邊雅之，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武
大腸癌手術の教育．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

113. 鈴木紳祐，福長洋介，為我井芳郎，福岡宏倫，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（ECS-CR）の検討．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

114. 鈴木紳祐，福長洋介，為我井芳郎，福岡宏典，小倉敦司，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
他科とのコラボレーション手術の実際 大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal;LECS-CR）の可能性．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

115. 鈴木紳祐，福長洋介，為我井芳郎，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal;LECS-CR）の可能性．

第 16 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：福岡市，2017

116. 鈴木紳祐，福長洋介，福岡宏倫，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
人工肛門閉鎖術の腸管吻合法における二角吻合の有用性．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

117. 鈴木紳祐，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
Stage Ⅳ大腸癌に対して人工肛門造設術後に化学療法を施行した症例に関する検討．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

118. 長山聡，八尾良司
Functional analysis of organoids derived from primary and matched metastatic colorectal cancers.
第 76 回日本癌学会学術総会：横浜市，2017

119. 長山聡，村岡賢，植田幸嗣，長嵜寿也，小西毅，秋吉高志，藤本佳也，福長洋介，上野雅資
切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析による大腸癌診断バイオマーカーの探索．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

120. 長山聡，片山量平，福長洋介，藤本佳也，小西毅，秋吉高志，長嵜寿矢，上野雅資，佐野武
大腸癌幹細胞培養技術を利用したゲノム解析による大腸癌標的パスウェイの探索．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

121. 長嵜寿矢，秋吉高志，小倉淳司，三城弥範，日吉幸晴，福岡宏倫，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における cStage II/III 下部直腸癌に対する治療戦略 - 術前 CRT と選択的側方郭清 -.
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

122. 長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における下部進行直腸癌に対する腹腔鏡手術手技の工夫．
第 86 回大腸癌研究会：盛岡市，2017

123. 長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における結腸癌治療成績の左右差解析．
第 72 回日本消化器外科学会総会：金沢市，2017

124. 長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸癌局所再発に対する腹腔鏡手術の治療成績．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

肝胆膵外科

1. Hata, T., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Evaluate the impact of patient age on surgical therapy for CLM.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市，2017

2. Inoue, Y., Saiura, A., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Neoadjuvant therapy using GEM+nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic adenocarci-noma.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市，2017

3. Irie, S., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Variations in aparoscopic left lateral sectionectomy of the lliver.
American College of Surgeons (ACS) Clinical Congress: San Diego, CA, USA, 2017

4. Ishizawa, T.
Applications of fusion-fluorescence imaging

using indocyanine green in laparoscopic hepatectomy.
17th China Hepato-Pancreato-Biliary New Technology Surgical Forum: Beijing, China, 2017

5. Ishizawa, T.
Development history of fluorescence cholangigoraphy.
16th Annual Surgery of the Foregut Symposium: Boca Raton, FL, USA, 2017

6. Ishizawa, T.
Fluorescent guided liver resection.
25th International Congress of the European Association for Endoscoic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): Frankfurt, Germany, 2017

7. Ishizawa, T.
Laparoscopic hepatectomy using fusion fluorescence imaging for real-time identification of hepatic tumors, segmental boundaries, and biliary anatomy.
American College of Surgeons (ACS) Clinical Congress: San Diego, CA, USA, 2017

8. Ishizawa, T.
Translational research for clinical application of in vivo fluorescence imaging to hepatobiliary and pancreatic surgery.
5th Annual European Congress on Clinical & Translational Sciences (EUSTM): Berlin, Germany, 2017

9. Ishizawa, T., Mise, Y., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y., Kokudo, N., Saiura, A.
Fluorescence image-guided HBP surgery: current picture and upcoming technique.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

10. Ishizawa, T., Miyagi, M., Mise, Y., Inoue, Y., Ito, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
Pancreas preserving distal duodenectomy using fluorescence imaging for assessment of bowel blood perfusion.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

11. Ishizawa, T., Oba, A., Terasawa, M., Tanaka, M., Irie, S., Mise, S., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi,Y., T., Saiura, A.
"Tricks" of laparoscopic hepatectomy for achieving advantages over open surgery.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

12. Ishizawa, T., Tanaka, M., Mise, Y., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y., Mori, K., Yamashita, S., Kokudo, N., Kamiya, M., Urano, Y., Saiura, A.
Real-time visualization of pancreatic leak using chymotrypsin-activated fluorophore for optimizing management of postoperative pancreatic fistula.
51st Annual Meeting of the Pancreas Club: Chicago, IL, USA, 2017

13. Ishizawa, T., Yamashita, S., Mori, K., Sakamoto, Y., Hasegawa, K., Kamiya, M., Urano, Y., Saiura, A., Kokudo, N.
Proposal of chymotrypsin-based perioperative management in pancreatic surgery.
2nd World Pancreas Forum: Bern, Seitzerland, 2017

14. Ito, H.
The relationship of biliary parasitic desease and liver carcinoma.
Digestive Disease Week (DDW) / 58th Annual Meeting of the Society for Surgery of the Alimentary Tract (SSAT): Chicago, IL, USA, 2017

15. Ito, H., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Postoperative pancreatic fistula after pancreatectomy: is ISGPF grade B fistula really

"clinically relevant" in the country where conservative drain management is used?
16th Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Maiami, FL, USA, 2017

16. Kawakatsu, S.
Key points of perioperative management to acheive no mortality in pancreatoduodenectomy for soft panceas patients.
Asian Surgical Association 21st Asian Congress of Surgery: Tokyo, Japan, 2017

17. Kawakatsu, S., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Staged resection optimizes patient selection for aggressive surgery in patients with synchronous liver and lung colorectal metastases.
16th Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Maiami, FL, USA, 2017

18. Kawakatsu, S., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Staged resection optimizes patient selection foraggressive surgery in patients with synchronous liver and lung colorectal metastases.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

19. Mise, Y., Ichida, H., Ishizawa, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Selective administration of neoadjuvant chemotherapy for borderline resectable colorectal liver metastases.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

20. Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Ito, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Clinical implication of conversion hepatectomy for initially unresectable colorectal liver metastases.
16th Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Maiami, FL, USA, 2017

21. Oba, A., Ishizawa, T., Saiura, A., Ito, H., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Hidden blood loss in laparoscopic hepatectomy.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

22. Ono, Y., Saiura, A., Perez-Gutierrez, A., Yokota, S., Yoshida, O., Nakao, T., Camirand, G., Geller, D. A., Thomson, A. W.
Infiltrating cross-dressed dendritic cells subvert donor-reactive T cell responses in the mouse liver transplant.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会・29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

23. Saiura, A.
Liver resection for colorectal liver metastases in the era of multidisciplinary approach: Current trends and our aggressive surgical approach.
24th Asian Pacific Cancer Conference (APCC): Seoul, Korea, 2017

24. Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Ono, Y., Sato, T.
Extended pancreaticoduodenectomy with splenic vein reconstruction for pancreatic head and body cancer with en bloc mobilization of the pancreas and left kidney.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

25. Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Ishizawa, T., Mise, Y., Saiura, A.
Initial experience of endoscopic stent placement above the Oddi (inside-stent) for preoperative malignant hilar obstruction.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

26. Takeda, Y., Mise, Y., Kawakatsu, S., Oba, A., Irie, S., Ishizawa, T., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Randomized controlled trail of early replacement with factor XIII for FIstula after Pancreatic Surgery (FIPS).
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会・29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

27. Takeda, Y., Saiura, A., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, y.
Incidentally discovered pancreatic ductal adenocarcinoma: Is detection of asymptomatic cancer associated with better outcomes than symptomatic cancer?
ASCO 2017 Gastrointestinal Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA, 2017

28. Watanabe, G., Ito, H., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
Left kidney mobilization technique during radical antegrade modular pancreatosplenectomy (RAMPS).
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会・29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

29. Watanabe, G., Ito, H., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
Left kidney mobilization technique during radical antegrade modular pancreatosplenectomy(RAMPS).
16th Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Maiami, FL, USA, 2017

30. 三瀬祥弘
肝癌治療におけるナビゲーションの有用性と将来性 .
第 53 回日本肝癌研究会：東京 , 2017

31. 三瀬祥弘 , 伊藤寛倫 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
当院における切除不能大腸癌肝転移に対する Conversion hepatectomy の手術成績 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

32. 三瀬祥弘 , 市田洋文 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
大腸癌肝転移に対する腫瘍条件に応じた選択的術前化学療法 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

33. 三瀬祥弘 , 齋浦明夫
Stage IV 大腸癌への新規治療の試みと成績の中間報告 切除不能大腸癌肝転移に対する Conversion hepatectomy の臨床的意義 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

34. 中瀬古裕一 , 井上陽介 , 大庭篤志 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 伊藤寛倫 , 石沢武彰 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
三肝静脈浸潤転移性肝癌に対する拡大左肝切除・右肝静脈再建の 1 例 .
第 846 回外科集談会：東京 , 2017

35. 井上陽介 , 齋浦明夫 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐
Borderline resectable 膵癌に対する 切除先行治療および集学的治療の経験 .
第 48 回日本膵臓学会大会：京都市 , 2017

36. 井上陽介 , 齋浦明夫 , 大庭篤志 , 畑太悟 , 武田良祝 , 田中真之 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐
切除不能膵癌に対する conversion surgery の位置づけ FOLFIRINOX、GEM+nab-paclitaxel 後の conversion surgery の経験 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

37. 井上陽介 , 齋浦明夫 , 田中真之 , 大庭篤志 , 武田良祝 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤廣倫 , 髙橋祐
Borderline resectable 膵癌に対する集学的治療 Borderline resectable 膵癌に対する、GEM+nab-paclitaxel を用いた集学的治療の経験 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

38. 井上陽介 , 齋浦明夫 , 髙橋祐
Borderline resectable 膵癌に対する, GEM+nab-paclitaxel を用いた集学的治療の経験 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

39. 伊藤寛倫
Duodenal adenocarcinoma: Lymph node spread pattern and its optimal surgical management.
第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市 , 2017

40. 佐藤崇文 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
左胃動脈再建を伴う腹腔動脈合併尾側膵切除術 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

41. 入江彰一 , 井上陽介 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
膵頭十二指腸切除の新しい視点―空腸静脈解剖に基づいた安全な上腸間膜動脈周囲郭清 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

42. 入江彰一 , 石沢武彰 , 大場篤志 , 畑太悟 , 水野智哉 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
腹腔鏡下肝外側区域切除：手技の定型化と非定型的な手術 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

43. 入江彰一 , 石沢武彰 , 川勝章司 , 大庭篤 , 水野智哉 , 畑太悟 , 寺澤無我 , 渡邉元巳 , 田中真之 , 武田良祝 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
大腸癌切除時に併存する小型肝結節の治療方針 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

44. 大庭篤志
腹腔動脈幹合併膵体尾切除・左胃動脈再建における ICG 蛍光血管造影の有用性 .
第 10 回 蛍光 Navigation Surgery 研究会：京都市 , 2017

45. 大庭篤志 , 三瀬祥弘 , 川勝章司 , 入江彰一 , 水野智哉 , 渡邉元己 , 武田良祝 , 伊藤寛倫 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
EOB-MRI・術中造影超音波時代における, 化学療法後に画像上消失した大腸癌肝転移に対する治療戦略 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

46. 大庭篤志 , 井上陽介 , 川勝章司 , 入江彰一 , 武田良祝 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
膵癌に対する審査腹腔鏡適応基準の検討 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

47. 大庭篤志 , 石沢武彰 , 三瀬祥弘 , 井上洋介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
腹腔鏡下肝切除における手技定型化の試みと正確な成績評価の必要性：開腹手術と比較して .
第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2017): 福岡市 , 2017

48 小野嘉大
マウス肝移植グラフト内レシピエント由来 cross-dressed 樹状細胞の肝移植後免疫寛容における役割 .
第 53 回日本移植学会総会：旭川市 , 2017

49. 小野嘉大 , 田中真之 , 井上陽介 , 佐藤崇文 , 石沢武彰 , 三瀬祥弘 , 髙橋祐 , 伊藤寛倫 , 齋浦明夫
脾静脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除術後、左側門脈圧亢進症の予防に関する検討 .
第 24 回 日本門脈圧亢進症学会総会： 横浜市 , 2017

50. 小野嘉大 , 齋浦明夫 , ペレツアンジェリカ , 横田真一郎 , 吉田理 , 中尾俊雅 , キャミランドジェファリー , ゲラーデビッド , トムソンアンガス

マウス肝移植免疫寛容モデルにおけるレシピエント由来 cross-dressed 樹状細胞によるホストT 細胞抑制の検討 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

51. 川勝章司 , 井上陽介 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
Soft pancreas 症例に対する膵頭十二指腸切除術 mortality zero を目指す周術期のポイント .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

52. 川勝章司 , 井上陽介 , 渡邉元己 , 寺澤無我 , 入江彰一 , 大庭篤志 , 畑太悟 , 水野智哉 , 武田良祝 , 田中真之 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
膵空腸吻合における柿田変法と Blumgart 変法の比較：Soft pancreas 症例の検討 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

53. 川勝章司 , 石沢武彰 , 寺澤無我 , 田中真之 , 武田良祝 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
胆膵・十二指腸手術における ICG 蛍光イメージングの活用 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

54. 武田良祝 , 伊藤寛倫 , 川勝章司 , 渡邊元己 , 寺沢無我 , 田中真之 , 入江彰一 , 大庭篤志 , 畑太悟 , 水野智哉 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
膵頭十二指腸切除後の膵液瘻発生率　- 施設のドレーン管理方針と ISGPF grade.
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

55. 水野智哉 , 三瀬祥弘 , 田中真之 , 武田良祝 , 畑大悟 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
大腸癌肝転移 術中新規病変の臨床的意義についての検証 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

56. 水野智哉 , 伊藤寛倫 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
十二指腸乳頭部癌の外科治療 .
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市 , 2017

57. 水野智哉 , 石沢武彰 , 川勝章司 , 大庭篤志 , 渡邉元己 , 入江彰一 , 寺澤無我 , 武田良祝 , 田中真之 , 畑太悟 , 伊藤寛倫 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
膵温存十二指腸部分切除 / 乳頭切除の手術成績の検討 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

58. 渡邉元己 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
大腸癌肝転移の早期再発に対する再肝切除の意義 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

59. 渡邉元己 , 伊藤寛倫 , 三瀬祥弘 , 井上洋介 , 石沢武彰 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
Radical antegrade modular pancreato-splenectomy（RAMPS）中の左腎脱転の意義 .
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

60. 渡邉元己 , 髙橋祐 , 三瀬祥弘 , 伊藤寛倫 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 齋浦明夫
肝内胆管癌のリンパ節転移陽性例の予後に対する検討 .
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市 , 2017

61. 渡邉元己 , 髙橋祐 , 大庭篤志 , 入江彰一 , 武田良祝 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 齋浦明夫
肝内胆管癌のリンパ節転移陽性例の予後に対する評価 .
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市 , 2017

62. 畑太悟 , 三瀬祥弘 , 寺澤無我 , 水野智哉 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
高齢者に対する大腸癌肝転移手術後の再発パターンと予後について .

第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

63. 畑太悟，三瀬祥弘，川勝章司，大庭篤志，入江彰一，水野智哉，渡邊元己，武田良祝，田中真之，寺沢無我，石沢武彰，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
高齢者に対する大腸癌肝転移手術治療の安全性について．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

64. 石沢武彰
Liver 9.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHPBA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2017

65. 石沢武彰
肝胆膵領域における術中蛍光イメージングの応用：10 年間の軌跡．
第 10 回蛍光 Navigation Surgery 研究会： 京都市，2017

66. 石沢武彰
腹腔鏡下肝切除の有用性向上に寄与する術中蛍光イメージング技術の開発．
第 11 回肝臓内視鏡外科研究会・第 9 回膵臓内視鏡外科研究会：東京，2017

67. 石沢武彰
術中蛍光胆道造影法：普及期における現状把握と将来展．
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市，2017

68. 石沢武彰，三瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
In vivo 蛍光イメージングの進歩と肝胆道手術・膵切除への応用．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会： 京都市，2017

69. 石沢武彰，川勝章司，井上陽介，三瀬祥弘，伊藤寛倫，髙橋祐，井田智，比企直樹，國土典宏，齋浦明夫
膵断端処理の工夫による膵液瘻予防の限界と膵液キモトリプシン活性に基づく新しい膵液瘻対策の提案．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

70. 髙橋祐，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，伊藤寛倫，武田良祝，田中真之，寺澤無我，畑太悟，渡邊元己，川勝章司，入江彰一，大庭篤志，水野智哉，齋浦明夫
肝門部胆管癌 膵周囲リンパ節郭清のコツと術後膵液瘻・腹腔内出血の頻度．
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市，2017

71. 髙橋祐，伊藤寛倫，井上洋介，石沢武彰，三瀬祥弘，武田良祝，渡邉元己，川勝章司，入江彰一，大庭篤志，水野智哉，佐藤崇文，小野嘉大，齋浦明夫
肝門部領域胆管癌 術後腹腔内出血の検討．
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市，2017

72. 髙橋祐，伊藤寛倫，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，齋浦明夫
膵頭十二指腸切除後の至適ドレーン数は。1 本？2 本？．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

73. 髙橋祐，笹平直樹，齋浦明夫
悪性胆管狭窄に対するドレナージ 術前胆道ドレナージとしての胆管内ステント（In-side-stent）の使用経験．
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市，2017

74. 髙橋祐，齋浦明夫
三管合流部領域癌の上下方向に進展問題 中部胆管癌の至適術式は？ 右肝動脈に着目して．
第 53 回日本胆道学会学術集会：山形市，2017

75. 齋浦明夫，田中真之，小野嘉大，井上陽介，髙橋祐，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，佐藤崇文
脾静脈切離を伴う門脈合併膵頭十二指腸切除術における脾静脈再建の実際．
第 72 回日本消化器外科学会総会： 金沢市，2017

76. 齋浦明夫
Liver 4.
第 6 回アジア太平洋肝胆膵学会（A-PHP-BA）・第 29 回日本肝胆膵外科学会学術集会（JSHBPS）：横浜市 , 2017

77. 齋浦明夫
大腸癌肝転移に対する成熟した治療戦略の現状と展望 .
第 53 回日本肝癌研究会：東京 , 2017

78. 齋浦明夫
膵癌に対する外科治療最前線 .
神奈川肝胆膵研究会：相模原市 , 2017

79. 齋浦明夫
膵臓（手術治療（悪性））2.
第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2017）：福岡市 , 2017

80. 齋浦明夫 , 竹村信行 , 髙橋祐 , 井上陽介 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰
原発巣から考える非大腸癌非内分泌腫瘍肝転移（NCNNLM）241 例の切除成績 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

乳腺内科

1. Araki, K., Ito, Y., Fukada, I., Kobayashi, K., Ohno, S., Miyagawa, Y., Imamura, M., Kira, A., Takatsuka, Y., Egawa, C., Suwa, H., Miyoshi, Y.
Predictive impact of absolute lymphocyte counts for progression-free survival in HER2-positive advanced breast cancer treated with pertuzumab and trastuzumab plus eribulin or nab-paclitaxel.
San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2017

2. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Miyamoto, K., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Predictive factors and value of ypN+ after neoadjuvant chemotherapy in clinically lymph node-negative breast cancer.
15th St. Gallen International Breast Cancer Conference: Vienna, Austria, 2017

3. 伊藤良則
B 型肝炎再活性化防止の現状と対策 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

4. 伊藤良則
乳癌治療における免疫微小環境について .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

5. 伊藤良則
免疫腫瘍学による新たな乳癌治療 .
第 25 回日本乳癌学会：福岡市 , 2017

6. 岩間敬子 , 深田一平 , 宮本快介 , 小林心 , 柴山朋子 , 小野麻紀子 , 平良眞一郎 , 高橋俊二 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
Luminal 乳癌における Allred score からみた PgR 発現状況の臨床的意義についての後方視的検討 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

7. 柴山朋子 , 深田一平 , 小林心 , 伊藤良則 , 高橋俊二 , 大野真司
HER2 陽性転移乳癌における trastuzumab、pertuzumab, 化学療法併用療法後 trastuzumab emtansin の有用性 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

8. 深田一平 , 伊藤良則 , 小林心 , 柴山朋子 , 宮本快介 , 福田直樹 , 平良眞一郎 , 小野麻紀子 , 高橋俊二 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
転移再発 Luminal 乳癌における長期生存に関わる因子の検討 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：横浜市 , 2017

9. 荒木和浩 , 三好康雄 , 大野真司 , 高橋俊二 , 伊藤良則
HER2 陽性進行乳癌に対するエリブリン + ペルツズマブ + トラスツズマブ併用療法における臨床的有用性の効果予測因子の探索研究 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

10. 荒木和浩 , 伊藤良則 , 高橋俊二
HER2 陽性進行乳癌に対するトラスツズマブとペルツズマブ併用におけるエリブリンの薬物動態を含めた安全性と有効性の検討 .
第 114 回日本内科学会総会・講演会： 東京 , 2017

乳腺外科

1. Abe, T.
The clinicopathological features of young Japanese woman (≦35 years old) with hormone receptor-positive breast cancer who became pregnant after treatment.
11th Annual Oncofertility Conference: Chicago, IL, USA, 2017

2 . Abe, T., Fukada, I., Teruya, N., Shibayama, T., Kobayashi, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y., Ohno, S.
Lymphatic invasion is significantly associated with prognosis in patients with node-negativ early breast cancer.
15th St.Gallen International Breast Cancer Conference 2017: Vienna, Austria, 2017

3. Kataoka, A., Abe, T., Kishi, M., Takeda, M., Uehiro, N., Morizono, H., Iwase, T., Ito, Y., Ohno, S.
Treatments and pregnancy outcomes of young patients aged <40 years with node-positive breast cancer.
11th Annual Oncofertility Conference: Chicago, IL, USA, 2017

4. Kataoka, A., Teruya, N., Nakashima, E., Sakamoto, H., Kitagawa, D., Ogiya, A., Sakai, T., Morizono, H., Miyagi, Y., Iwase, T., Ohno, S.
Pregnancy outcome after endocrine therapy (ET) in hormone receptor(HR)-positive young patients with breast cancer aged 35 years or younger in Japan.
3rd. European School of Oncology : European Society for Medical Oncology (ESO-ESMO) Breast Cancer Lugano, Switzerland, 2017

5. Ogiya, A.
Treatment outcomes of stage IIIC breast cancer: a single institutional review.
15th St. Gallen International Breast Cancer Conference: Vienna, Austria, 2017

6. Ohno, S.
Young age session.
Global Breast Cancer Conference: Jeju, Korea, 2017

7. 上野貴之
HER2 陰性進行再発乳がんの治療戦略を考える .
第 15 回日本乳癌学会近畿地方会： 京都市 , 2017

8. 上野貴之
乳腺手術での起死回生の一手 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

9. 中島絵里 , 北川大 , 吉田玲子 , 照屋なつき , 坂元晴子 , 片岡明美 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 新井正美 , 小口正彦 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
BRCA1/2 変異陽性乳癌における術後放射線療法の対側乳癌発症への影響 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

10. 福岡恵 , 片岡明美 , 岩瀬拓士 , 大野真司
挙児希望を優先した低リスク ER 陽性乳癌の 2 例 .
第 846 回外科集談会：東京 , 2017

11. 前田哲代 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
単独腋窩リンパ節転移により乳癌との鑑別を要した normal-sized ovary carcinoma syndrome（NOCS）の一例 .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

12. 北川大
BRCA2 病的変異保持者に対して乳房 MRI 検査が有用だった 1 例 .
第 13 回乳房 MRI 研究会：東京 , 2017

13. 北川大
がん研究会有明病院における HBOC 診療の現状と課題：乳腺センターの視点から .
第 7 回 TM 遺伝性乳がん卵巣がん研究会：東京 , 2017

14. 北川大
外科手術の実際「温存術」、「全摘術＋再建術」.
第 1 回　がん研有明病院病院クリニカルスクール：東京 , 2017

15. 北川大
家族性乳癌の取り扱い .
第 9 回関東産婦人科乳腺医学会：東京 , 2017

16. 北川大 , 中島絵里 , 吉田玲子 , 照屋なつき , 坂元晴子 , 片岡明美 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 新井正美 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
BRCA1/2 病的変異陽性者における異時性両側乳癌の特徴 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

17. 北川大 , 照屋なつき , 坂元晴子 , 中島絵里 , 片岡明美 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 宮城由美 , 森園英智 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
胸壁浸潤を強く疑う局所進行乳癌の治療方針について .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

18. 吉田和世 , 宮城由美 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
乳腺原発血管肉腫の一例 .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

19. 吉田和世 , 深田一平 , 宮本快介 , 柴山朋子 , 小林心 , 小野麻紀子 , 平良眞一郎 , 高橋俊二 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
術前・術後乳癌化学療法におけるペグフィルグラスチムを用いた発熱性好中球減少症の二次予防の効果 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

20. 坂井威彦
手術療法 4 センチネルリンパ節転移陽性 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

21. 坂井威彦 , 五味直哉 , 秋山太
乳房組織マーカー留置と今後の展開：画像診断医、乳腺外科医、病理医の立場から考える .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

22. 坂井威彦 , 岩瀬拓士 , 小口正彦 , 照屋なつき , 片岡明美 , 中島絵里 , 北川大 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
全乳房照射は温存術後の新規発生乳癌も抑制している .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

23. 坂井威彦 , 岩瀬拓士 , 照屋なつき , 片岡明美 , 北川大 , 中島絵里 , 荻谷朗子 , 宮城由美 , 森園英智 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
DCIS 個別化治療としての非照射温存手術　患者の望む best results.
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

24. 坂井威彦 , 枝園忠彦 , 林直輝
乳房再建における合併症を回避するための乳房切除術の工夫：ビデオ解説、術式の工夫も含めて .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

25. 坂井威彦 , 森園英智
乳癌の治療戦略に迫る　細胞診と針生検の位置づけ 近年の乳腺診療の変化と乳腺細胞診断に期待する役割について .
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市 , 2017

26. 大野真司
Breast.
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

27. 大野真司
ER 陽性 HER2 陰性乳癌の新たな治療戦略 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

28. 大野真司
Living longer, Living better を目指した転移乳

癌治療のエビデンス創出 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

29. 大野真司
バイオマーカー .
第 21 回日本がん分子標的治療学会学術集会：福岡市 , 2017

30. 大野真司
医師として、患者として：Advance Care Planning に込める思い .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

31. 大野真司
多施設共同研究を進めるためのチームネットワーク：JBCRG の取り組み .
第 42 回日本外科系連合学会学術集会：徳島市 , 2017

32. 大野真司
抗癌剤治療による脱毛を予防する：新規抗酸化剤を用いた予防剤開発プロジェクト .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

33. 大野真司
現制度と新制度における乳腺専門医の育成について　3. 地方創生について .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

34. 大野真司
腹を割って話そう：チーム医療推進の障害 .
第 42 回日本外科系連合学会学術集会：徳島市 , 2017

35. 大野真司
若年者乳がんにおける諸問題 .
第 25 回日本乳癌学会学術総：福岡市 , 2017

36. 大野真司
術前化学療法で cN1 から cN0 となった乳癌の腋窩郭清：する vs しない .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

37. 大野真司
転移・再発乳癌の薬物療法 .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

38. 大野真司
進行がんの治療と緩和ケア .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

39. 大野真司 , 小林心 , 片岡明美 , 北川大 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 森園英智 , 宮城由美 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士
女性のライフサイクルと乳がん　啓発活動はどうあるべきか 乳がん啓発活動の現状と展望 .
第 38 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：宇都宮市 , 2017

40. 大野真司 , 照屋なつき , 中島絵里 , 片岡明美 , 坂元晴子 , 北川大 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 宮城由美 , 岩瀬拓士
Value に基づくガイドラインと分子標的時代の治療ストラテジー .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

41. 宮城由美
チーム医療 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

42. 宮城由美
マンモグラフィーの読み方 .
第 9 回関東産婦人科乳腺医学会：東京 , 2017

43. 宮城由美 , 岩瀬拓士 , 棚倉健太 , 倉元有木子 , 澤泉雅之 , 大野真司
人工物による乳房再建を前提とした乳房切除術の工夫 .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

44. 宮城由美 , 森園英智 , 米倉利香 , 五味直哉 , 國分優美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
細胞診、生検時に知っておきたいポイント .
第 27 回日本乳癌検診学会学術総会： 徳島市 , 2017

45. 宮城由美，高畑史子，森園英智，坂井威彦，北川大，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，五味直哉，國分優美，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，大野真司
マンモグラフィ検診におけるモニタ診断に対応した集簇性石灰化のスコア化の有用性について．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

46. 尾崎章彦，吉田和世，清百合，照屋なつき，堀井理絵，秋山太，五味直哉，岩瀬拓士，大野真司
乳癌肺転移と考えられた多発肺病変が肺生検によって原発性肺癌と診断された一例．
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：2017

47. 岩瀬拓士
乳癌検診の今後の展望．
第 9 回関東産婦人科乳腺医学会：東京，2017

48. 岩瀬拓士
日本のマンモグラフィカテゴリーを再考する：検診カテゴリーと最終判定カテゴリーを区別した新システムの必要性について．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

49. 岩瀬拓士
移転ボリュームからリンパ節転移の意義を考える．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

50. 岩間敬子
HBOC 症例の温存．
日本がん・生殖医療学会 癌と生殖に関するシンポジウム 2017: 東京，2017

51. 岩間敬子，深田一平，宮本快介，小林心，柴山朋子，小野麻紀子，平良眞一郎，高橋俊二，岩瀬拓士，大野真司，伊藤良則
Luminal 乳癌における Allred score からみた PgR 発現状況の 臨床的意義についての後方視的検討．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

52. 森園英智
乳腺 3.
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

53. 森園英智
手術療法 6 乳房温存療法 1.
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

54. 森園英智，池畑浩一，坂井威彦
乳腺穿刺吸引細胞診における精度管理．
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

55. 森園英智，池畑浩一，高畑史子，宮城由美，坂井威彦，荻谷朗子，北川大，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，坂元晴子，五味直哉，國分優美，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，大野真司
乳腺穿刺吸引細胞診における鑑別困難症例の検討．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

56. 横江隆道，五味直哉，國分優美，菅野奈保子，堀井理絵，秋山太，宮城由美，岩瀬拓士，大野真司
Thin breast に対するステレオガイド下吸引織組織生検におけるエア・ギャップの有用性．
第 27 回乳癌検診学会学術総会：徳島市，2017

57. 横江隆道，坂本晴子，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，北川大，荻谷朗子，坂井威彦，森園英智，宮城由美，岩瀬拓士，大野真司
長期ホルモン療法の至適症例同定のための予後解析研究．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

58. 横江隆道，深田一平，小林心，照屋なつき，中島絵里，片岡明美，北川大，荻谷朗子，坂井威彦，森園英智，宮城由美，岩瀬拓士，小林心，伊藤良則，大野真司
ER 陽性乳癌の 5 年無再発症例における予後因子の後方視的研究．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

59. 武田美鈴，小林心，細永真理，岩瀬拓士，伊藤良則，大野真司
シクロホスファミド投与後にコリンエステラーゼ低下による急性下痢が疑われた一例．
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2017

60. 照屋なつき
乳腺超音波検査の実際と治療までの流れ．
第 9 回関東産婦人科乳腺医学会：東京，2017

61. 照屋なつき，岩瀬拓士，坂元晴子，中島絵里，片岡明美，北川大，荻谷朗子，坂井威彦，森園英智，宮城由美，五味直哉，堀井理絵，秋山太，大野真司
硬化性病変を背景に有する乳癌症例の臨床病理学的特徴．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

62. 片岡明美
HBOC 症例の温存．
日本がん・生殖医療学会 癌と生殖に関するシンポジウム 2017: 東京，2017

63. 片岡明美
乳がん患者における妊孕性温存、妊娠、出産．
若年乳がん患者の妊孕性温存に関する心理支援セミナー：横浜市，2017

64. 片岡明美
乳がん治療「治療に向き合うために」．
乳房健康研究会ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング 2017: 東京，2017

65. 片岡明美
拝啓　若者たちへ:AYA 世代(15 ～ 30 代)の「今を生きる」を考えよう」．
第 22 回日本緩和医療学会学術大会：横浜市，2017

66. 片岡明美，中島絵里，照屋なつき，坂元晴子，北川大，荻谷朗子，坂井威彦，森園英智，宮城由美，岩瀬拓士，大野真司
ハイリスク若年乳癌患者（リンパ節転移陽性、40 歳未満）の妊娠出産に関する研究．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

67. 福岡恵，北川大，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，大野真司
センチネルリンパ節生検（SN）で腋窩リンパ節に転移はなかったが、胸骨傍リンパ節に転移を認めた乳癌の 1 例．
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2017

68. 福田貴代，伊藤良則，田辺真彦，小林心，深田一平，柴山朋子，高橋俊二，岩瀬拓士，大野真司
エリブリン既治療 HER2 陰性転移乳癌に対するマイトマイシン・メトトレキサート（MM）療法の有用性．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

69. 笹総一郎，熊井康子，荻谷朗子，坂井威彦，片岡明美，宮城由美，小口正彦，岩瀬拓士，大野真司
リンパ節転移 1 ～ 3 個に対する当院の乳房切除後放射線治療（PMRT）の適応について．
第 41 回乳癌懇話会：横浜市，2017

70. 笹聡一郎，坂井威彦，片岡明美，荻谷朗子，宮城由美，岩瀬拓士，五味直哉，大野真司
非触知石灰化乳癌の術前マーキング法：胸部単純 X 線撮影を用いた乳房内マーカーの検出法について．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

71. 米倉利香，堀井理絵，五味直哉，岩瀬拓士，大野真司，秋山太
淡く不明瞭な集簇石灰化で発見される乳癌の画像と組織像の特徴．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

72. 茂地智子，大野真司，照屋なつき，坂元晴子，中島絵里，片岡明美，北川大，荻谷朗子，坂井威彦，森園英智，宮城由美，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士
術後内分泌療法中に早期発見した ER 陽性 HER2 陰性乳癌の臨床病理学的特徴と予後の検討．
第 117 回日本外科学会定期学術集会：横浜市，2017

73. 荻谷朗子
乳癌の標準治療 .
第 9 回関東産婦人科乳腺医学会：東京 , 2017

74. 荻谷朗子 , 島津研三 , 佐藤信昭 , 四元大輔 , 相良安昭 , 海瀬博史 , 石川孝 , 木下貴之 , 辻本正彦 , 津田均 , 中村清吾 , 秋山太 , 野口眞三郎
OSNA 法を用いたノモグラムによる乳癌ノンセンチネルリンパ節転移術中診断 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

75. 荻谷朗子 , 照屋なつき , 坂元晴子 , 中島絵里 , 片岡明美 , 北川大 , 坂井威彦 , 宮城由美 , 森園英智 , 伊藤良則 , 大迫智 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
cN0，pSN 陽性乳癌に対する当院の治療方針 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

76. 貴志美紀 , 坂井威彦 , 照屋なつき , 片岡明美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
扁平上皮癌 35 例の臨床病理学的特徴 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：2017

77. 貴志美紀 , 荻谷朗子 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
長期生存を得た間質肉腫の 1 例 .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

78. 阿部朋未 , 深田一平 , 宮本快介 , 柴山朋子 , 小林心 , 伊藤良則 , 大野真司
Lumminal 乳癌に対する術前化学療法においてホルモン受容体発現状況が予後に及ぼす影響 .
第 117 回日本外科学会定期学術集会： 横浜市 , 2017

79. 阿部朋未 , 深田一平 , 宮本快介 , 照屋なつき , 小野麻紀子 , 平良眞一郎 , 柴山朋子 , 小林心 , 高橋俊二 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 伊藤良則 , 大野真司
リンパ節転移陰性 Luminal 乳癌におけるリンパ管侵襲と予後因子の後方視的検討 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

80. 阿部朋未 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
胃・子宮内膜転移をきたし画像所見が乏しかった浸潤性小葉癌の 1 例 .
第 14 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市 , 2017

婦人科

1. Aoki, Y., Nomura, H., Utsugi, K., Kato, K., Kanao, H., Omatsu, K., Okamoto, S., Matoda, M., Hisa, T., Okamoto, S., Sugihara, T., Takeshima, N.
Effect of postoperative enoxaparin sodium injection on the prevention of deep vein venous thrombosis in cervical cancer: Analysis of a single-center cohort study of 3333 patients.
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市 , 2017

2. Kanao, H.
Can laparoscopy be a treatment of choice for cervical cancer?
5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology (ASGO): Tokyo, Japan, 2017

3. Kanao, H.
Laparoscopic surgeries for laterally recurrent cervical carcinomas after concurrent chemoradiotherapy.
18th Asia-Pacific Association for Gynecologic Endoscopy (APAGE) Annual Meeting: Okayama, Japan, 2017

4. Kato, K., Komiyama, S., Takeshima, N., Takano, H., Inoue, A., Hongo, A., Asai-Sato, M.
Prospective cohort study of bevacizumab plus standard platinum based chemotherapy as front-line treatment for advanced epithelial ovarian cancer, fallopian tube cancer, or primary peritoneal cancer: Japanese Gynecologic Oncology Group study (JGOG3022).
42nd European Society for Medical Oncolo-

gy (ESMO) 2017 Congress: Madrid, Spain, 2017

5. Sugiyama, Y., Hasumi, K., Motoyama, T., Takazawa, Y., Kanao, H., Katou, K., Utsugi, K., Takeshima, N., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid carcinoma.
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市 , 2017

6. Tanigawa, T., Matoda, M., Aoki, Y., Kato, K., Omatsu, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
A case of smooth muscle tumour of uncertain malignant potential (STUMP) suspected to be seeded intraperitoneally by morcellation.
18th Asia-Pacific Association for Gynecologic Endoscopy (APAGE) Annual Meeting: Okayama, Japan, 2017

7. 久毅 , 尾身牧子 , 岡本修平 , 加藤一喜 , 竹島信宏
外陰から後腹膜に広範囲に発育した巨大軟部腫瘍に対し、腹腔鏡下に完全摘出しえた 1 例 .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市 , 2017

8. 久毅 , 杉原武 , 青木洋一 , 岡本修平 , 松浦基樹 , 勝田隆博 , 長島稔 , 松岡和子 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 竹島信宏
再発子宮体癌に対する外科的治療 Cytoreductive surgery CS の検討 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市 , 2017

9. 久毅 , 金尾祐之 , 尾身牧子 , 岡本修平 , 加藤一喜 , 竹島信宏
Alcock 管近傍に浸潤した骨盤内再発腫瘍に対し完全摘出しえた 1 例 .
第 40 回日本産婦人科手術学会：大阪市 , 2017

10. 久毅 , 金尾祐之 , 尾身牧子 , 岡本修平 , 西村宙起 , 青木洋一 , 長島稔 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
腹腔鏡下広汎子宮全摘出術の定型化を目指して：術野展開、視野確保の観点から .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市 , 2017

11. 久毅 , 金尾祐之 , 尾身牧子 , 西村宙起 , 岡本修平 , 青木洋一 , 杉原武 , 長島稔 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
子宮体癌術後、再再再発をきたした放射線治療抵抗性の膣断端再発に対し腹腔鏡下に完全摘出しえた 1 例 .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市 , 2017

12. 久毅 , 金尾祐之 , 尾身牧子 , 西村宙起 , 岡本修平 , 青木洋一 , 杉原武 , 長島稔 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体癌手術術中の外腸骨動脈損傷に対し修復術を行い、術後血栓形成による同血管狭窄をきたした 1 例 .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市 , 2017

13. 久毅 , 青木洋一 , 勝田隆博 , 松浦基樹 , 的田眞紀 , 金尾祐之 , 小松京子 , 河内洋 , 杉山裕子 , 竹島信宏
外陰に発生した骨髄性肉腫 (Myeloid sarcoma) の 1 例 .
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市 , 2017

14. 久毅 , 青木洋一 , 岡本修平 , 杉原武 , 勝田隆博 , 松浦基樹 , 長島稔 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
子宮体部漿液性腺癌、明細胞腺癌についての検討 .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市 , 2017

15. 加藤一喜 , 尾松公平 , 宇津木久仁子 , 金尾祐之 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 谷川輝美 , 長島稔 , 杉山裕子 , 竹島信宏
リンパ節細胞診が初回治療後の方針決定に有用であった卵巣癌の一例 .

第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会： 福岡市，2017

16. 加藤一喜，尾松公平，的田眞紀，野村秀高，岡本三四郎，金尾祐之，宇津木久仁子，竹島信宏
子宮体癌検体を臍部ジグザグ切開創から回収する．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

17. 勝田隆博，尾松公平，杉原武，岡本修平，長島稔，松浦基樹，金尾祐之，加藤一喜，竹島信宏
進行卵巣癌に対する Bevacizumab 併用療法の検討．
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会： 広島市，2017

18. 勝田隆博，尾松公平，長島稔，岡本修平，杉原武，加藤一喜，竹島信宏
進行卵巣癌の初回治療における Bevacizumab 併用療法施行後の再発症例の検討．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会： 熊本市，2017

19. 宇津木久仁子，岡本三四郎，野村秀高，長島稔，岡本修平，杉原武，西村宙起，金尾祐之，竹島信宏
子宮筋腫合併子宮体癌の腹腔鏡下手術の実態．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

20. 宇津木久仁子，松尾千穂，田端聡，安室真理子，末廣あかね，竹島信宏
リンパ浮腫複合的治療が保険診療になったことによる当院での体制の変化．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会： 熊本市，2017

21. 宇津木久仁子，田端聡，松尾千穂，竹島信宏
保険診療下でのリンパ浮腫複合的治療の問題点と課題．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 大阪市，2017

22. 尾松公平，久毅，尾身牧子，岡本修平，金尾祐之，竹島信宏
過去に腹腔鏡下手術から強固な癒着のため開腹手術に移行した既往が 2 度ある症例に腹腔鏡下片側付属器切除を完遂し得た 1 例．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

23. 岡本三四郎，西村宙起，杉原武，長島稔，野村秀高，的田眞紀，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
早期子宮体癌に対して腹腔鏡下子宮体癌手術を施行したところ骨盤内再発を認めた 1 症例．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

24. 岡本修平，尾身牧子，杉原武，青木洋一，久毅，岡本三四郎，加藤一喜，金尾祐之，竹島信宏
腹腔鏡補助下広汎頚部摘出術における断端陽性を極力少なくするための頚管切除ラインの再検討：陽性例 4 例を経験して．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

25. 岡本修平，尾身牧子，杉原武，青木洋一，久毅，野村秀高，加藤一喜，金尾祐之，竹島信宏
低悪性度子宮内膜間質肉腫（LG-ESS）の基靭帯進展を伴った再発腫瘍に対して腹腔鏡補助下で前方内臓全摘を施行した 1 例．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

26. 岡本修平，杉原武，青木洋一，久毅，勝田隆博，松岡和子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
治療前の高フィブリノゲン血症は進行卵巣癌患者の独立した予後因子となりうる．
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会： 広島市，2017

27. 岡本修平，杉原武，青木洋一，久毅，勝田隆博，長島稔，松浦基樹，野村秀高，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
悪性転化を伴う成熟嚢胞性奇形腫の 9 例の臨床的検討．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会： 熊本市，2017

28. 杉原武，加藤一喜，長島稔，的田眞紀，杉山裕子，竹島信宏，杉浦善弥，高澤豊
腟原発明細胞腺癌に対し根治術および造腟術を施行した 1 例 .
第 133 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会：東京，2017

29. 杉原武，岡本三四郎，杉山裕子，長島稔，的田眞紀，近藤英司，加藤一喜，竹島信宏，伊藤崇彦，高澤豊
子宮頸部原発基底細胞様扁平上皮癌の 1 例 .
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

30. 杉原武，岡本修平，久毅，青木洋一，勝田隆博，松岡和子，的田眞紀，岡本三四郎，金尾祐之，尾松公平，加藤一喜，竹島信宏
横隔膜下播種が存在する進行卵巣癌、腹膜癌に対する治療戦略 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市，2017

31. 杉原武，岡本修平，久毅，青木洋一，勝田隆博，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，竹島信宏
横隔膜下播種が存在する進行卵巣癌、腹膜癌の横隔膜下切除の意義 .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

32. 杉原武，野村秀高，青木洋一，長島稔，宇津木久仁子，高澤豊，竹島信宏
バルトリン原発腺様嚢胞癌に対し腹腔鏡補助下骨盤内臓全摘、恥骨下枝合併切除にて完全切除を成し得た 1 例 .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

33. 杉山裕子
HPV 感染・ワクチン .
第 26 回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会：仙台市，2017

34. 杉山裕子
卵巣・卵管 6.
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

35. 杉山裕子
子宮体部：臨床研究 .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

36. 杉山裕子，小松京子，鈴木奈緒子，藤山淳三，古田則行，的田眞紀，岡本三四郎，宇津木久仁子，高澤豊，竹島信宏
子宮頸部腺系病変の診断：AGC の臨床的取り扱い .
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

37. 杉山裕子，後藤理，荷見勝彦，高澤豊，野田哲生，森誠一
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid carcinoma.
第 76 回日本癌学会学術総会：横浜市，2017

38. 杉山裕子，荷見勝彦，小松京子，野村秀高，的田眞紀，伊藤崇彦，山田麻里沙，鈴木奈緒子，池畑浩一，星利良，藤山淳三，古田則行，宇津木久仁子，高澤豊，竹島信宏
子宮内膜病変における細胞診 - 組織診の連関と限界早期子宮体がんにおける内膜細胞診 - 組織診の連関と限界 .
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

39. 杉山裕子，野村秀高，新井正美，吉田玲子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，田中優美子，高澤豊，竹島信宏
「それぞれの癌」診断・治療の現状と展望　子宮体癌遺伝性疾患としての子宮体癌　Lynch 症候群関連子宮体癌 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

40. 松浦基樹，久毅，長島稔，勝田隆博，野村秀高，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
PET/CT による子宮体癌リンパ節転移検出能の検討 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市，2017

41. 松浦基樹，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，竹島信宏
子宮体癌リンパ節転移陽性症例の転移個数別治療成績．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

42. 的田眞紀，勝田隆博，長島稔，青木洋一，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
当院におけるベバシズマブを用いた子宮頸癌治療．
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市，2017

43. 的田眞紀，杉原武，長島稔，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，宇津木久仁子，杉山裕子，小松京子，竹島信宏
子宮頸部発生の子宮内膜間質肉腫であった一症例と子宮内膜間質肉腫における細胞診．
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

44. 的田眞紀，谷川輝美，長島稔，青木洋一，久毅，野村秀高，尾松公平，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
開腹手術を主に行ってきた婦人科腫瘍専門医が考える腹腔鏡下リンパ節郭清手術．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

45. 的田眞紀，長島稔，尾松公平，谷川輝美，野村秀高，岡本三四郎，柴田直樹，温泉川真由，友松純一，室伏景子，金尾祐之，加藤一喜，杉山裕子，宇津木久仁子，竹島信宏
Cancer board と進行・再発子宮頸癌におけるベバシズマブ併用化学療法の選択．
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

46. 西村宙起，宇津木久仁子，杉原武，岡本三四郎，杉山裕子，高澤豊，竹島信宏
胆管癌子宮転移の一例．
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

47. 谷川輝美，的田眞紀，青木洋一，加藤一喜，尾松公平，宇津木久仁子，竹島信宏
Morcellation による腹腔内の播種が疑われた STUMP の 1 例．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

48. 谷川輝美，的田眞紀，青木洋一，加藤一喜，尾松公平，宇津木久仁子，竹島信宏
腹腔鏡補助下筋腫核出後に子宮肉腫と診断された 1 例．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

49. 谷川輝美，的田眞紀，青木洋一，西村宙起，杉原武，金尾祐之，加藤一喜，高澤豊，杉山裕子，竹島信宏
著明な扁平上皮分化を伴った子宮体部類内膜腺癌の 1 例．
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

50. 野村秀高
HBOC1.
第 3 回産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：淡路市，2017

51. 野村秀高
腹腔鏡手術に必要な基本手技：剥離操作 2.
2016 年度腹腔鏡下子宮悪性腫瘍セミナー：東京，2017

52. 野村秀高，太田絵美，長島稔，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，新井正美，竹島信宏
当院で施行した HBOC に対する RRSO 症例の臨床病理学的検討．
第 3 回産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：淡路市，2017

53. 野村秀高，太田絵美，長島稔，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
腹腔鏡下子宮全摘術における手術デバイスのこだわり！：膜を意識した手術のために．

第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

54. 野村秀高，杉山裕子，伊藤崇彦，小松京子，古田則行，岡本三四郎，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
記述式内膜細胞診報告様式における ATEC の臨床的取り扱いについて．
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：大阪市，2017

55. 野村秀高，杉山裕子，竹島信宏
ポリープ状異型腺筋腫に対する高用量黄体ホルモン療法施行後，プロゲスチン投与を行うことの有用性に関する検討．
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市，2017

56. 野村秀高，松浦基樹，尾松公平，青木洋一，長島稔，的田眞紀，岡本三四郎，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，松枝清，竹島信宏
リンパ漏修復術施行時に鼠径節からの色素注入が有効であった 1 例．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

57. 野村秀高，竹島信宏
RRSO の現状と問題点について．
第 5 回 HBOC コンソーシアム学術総会：札幌市，2017

58. 野村秀高，金尾祐之，長島稔，太田絵美，的田眞紀，岡本三四郎，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘術．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

59. 野村秀高，長島稔，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，新井正美，竹島信宏
当院で施行した RRSO47 症例の臨床病理学的検討．
第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会：札幌市，2017

60. 野村秀高，長島稔，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
ドキシル長期投与により口腔内白板症を呈した 6 例の検討．
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

61. 野村秀高，長島稔，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
尿管枝の内側で子宮動脈を処理する腹腔鏡下準広汎子宮全摘術の手術手技．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

62. 野村秀高，長島稔，青木洋一，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
尿道、肛門挙筋、恥骨下肢に浸潤する局所進行バルトリン腺原発腺様嚢胞癌に対し、根治的切除を行った 1 例．
第 40 回日本産婦人科手術学会：大阪市，2017

63. 金尾祐之
Can laparoscopy be a treatment of choice for cervical cancer? ．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

64. 金尾祐之
がん拠点病院で行う婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術．
第 4 回婦人科悪性腫瘍腹腔鏡セミナー：東京，2017

65. 金尾祐之
今若者に伝えたい！骨盤腔内手術の TIPS TRICKS：他診療科での手術手技および近赤外光の活用法．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

66. 金尾祐之
再発婦人科癌に対する腹腔鏡手術の役割．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

67. 金尾祐之
大腸外科、婦人科のエキスパートから学ぶ骨盤腔解剖と鏡視下手術 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会 : 広島市 , 2017

68. 金尾祐之
婦人科内視鏡手術に必要な骨盤解剖 : 解剖学的視点で解き明かす女性骨盤手術 .
18th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging (JSAWI 2017): 淡路市 , 2017

69. 金尾祐之
婦人科悪性疾患に対する腹腔鏡手術の現状とその最前線 .
市川市医師会講演会 : 市川市 , 2017

70. 金尾祐之
婦人科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術 .
第 5 回女性骨盤勉強会 : 東京 , 2017

71. 金尾祐之
婦人科腹腔鏡手術における体腔内縫合結紮 .
鹿児島内視鏡縫合結紮セミナー : 鹿児島市 , 2017

72. 金尾祐之
婦人科領域における腹腔鏡下手術の現状、そして悪性まで : Way to keep up motivation.
平成 29 年岐阜産婦人科研究会 : 岐阜市 , 2017

73. 金尾祐之
当科における腹腔鏡下悪性腫瘍手術 : 技術的安全性と腫瘍学的安全性の確立 .
第 4 回中日本セミナー : 松本市 , 2017

74. 金尾祐之
系統解剖学と外科解剖学の融合の先にある婦人科腹腔鏡手術 .
第 31 回泌尿器科内視鏡学会総会 : 徳島市 , 2017

75. 金尾祐之
肝心なのは定型化　良性困難症例、悪性手術導入へエキスパートからのアドバイス .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 : 岡山市 , 2017

76. 金尾祐之
腹腔鏡下広汎子宮全摘術は研修医が行うことが許される術式か ? エキスパートのみが行う術式から誰でも行える術式へ .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 熊本市 , 2017

77. 金尾祐之
解剖学的視点で解き明かす女性骨盤手術 .
第 40 回日本産婦人科手術学会 : 大阪市 , 2017

78. 金尾祐之 , 竹島信宏
婦人科疾患に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘術 .
第 30 回日本内視鏡外科学会総会 : 京都市 , 2017

79. 金尾祐之 , 竹島信宏
深化骨盤解剖 : 系統解剖学と外科解剖学の融合 .
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 : 岡山市 , 2017

80. 長島稔 , 加藤一喜 , 野村秀高 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
外腸骨静脈の合併切除を必要とした卵巣癌のリンパ節再発の 1 例 .
第 40 回日本産婦人科手術学会 : 大阪市 , 2017

81. 長島稔 , 勝田隆博 , 松浦基樹 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
婦人科癌患者における Pegfilgrastim の一次予防的投与についての検討 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会 : 広島市 , 2017

82. 長島稔 , 尾松公平 , 勝田隆弘 , 松浦基樹 , 青木洋一 , 岡本修平 , 杉原武 , 久毅 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
FN 発症中リスクレジメンにおける FN 発症とリスク因子の影響 .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 熊本市 , 2017

83. 長島稔，尾松公平，竹島信宏
「それぞれの生」支持療法の工夫　G-CSF の投与法、支持療法の新たな試み婦人科癌患者における Pegfilgrastim の役割．
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

84. 長島稔，杉山裕子，小松京子，高澤豊，野村秀高，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，加藤一喜，金尾弘之，宇津木久仁子，竹島信宏
女性生殖器の悪性リンパ腫の 3 例．
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

85. 長島稔，的田眞紀，岡本三四郎，野村秀高，谷川輝美，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
初期子宮体癌における腹腔鏡下子宮体癌根治術の治療成績について．
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

86. 長島稔，的田眞紀，岡本三四郎，野村秀高，青木洋一，岡本修平，杉原武，久毅，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
腹腔鏡下子宮体癌根治術の短期治療成績について．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

87. 長島稔，野村秀高，青木洋一，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
RRSO 目的で紹介初診時に少量の腹水の存在から卵巣癌の発症を疑った進行卵巣癌の 1 例．
第 3 回産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：淡路市，2017

88. 青木洋一，金尾祐之，久毅，岡本修平，竹島信宏
In-Bag Morcellation による検体回収方法の検討　Hand assisted method と Power
第 30 回日本内視鏡外科学会総会：京都市，2017

89. 青木洋一，金尾祐之，勝田隆博，久毅，岡本修平，杉原武，松浦基樹，長島稔，的田眞紀，野村秀高，尾松公平，岡本三四郎，加藤一喜，杉山裕子，宇津木久仁子，竹島信宏
子宮頸癌に対する ICG 蛍光色素を用いた腹腔鏡下センチネルリンパ節マッピングの効果．
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

90. 青木洋一，金尾祐之，的田眞紀，岡本三四郎，野村秀高，谷川輝美，尾松公平，久毅，岡本修平，杉原武，竹島信宏
子宮頸癌に対する ICG 蛍光色素を用いた腹腔鏡下センチネルリンパ節マッピングの効果．
第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：岡山市，2017

91. 青木洋一，金尾祐之，的田真紀，谷川輝美，尾松公平，久毅，岡本修平，杉原武，尾身牧子，竹島信宏
Hand Assisted In-Bag Morcellation における Bag Inside Retractor Technique.
第 62 回日本生殖医学会学術講演会・総会：下関市，2017

頭頸科

1. Sakai, T., Sugitani, I., Ebina, A., Fukuoka, O., Toda, K., Mitani, H., Yamada, K.
Active surveillance for T1bN0M0 papillary thyroid carcinoma.
3rd World Congress on Thyroid Cancer (WCTC): Bosto, USA, 2017

2. 三谷浩樹
口腔悪性 2.
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京，2017

3. 三谷浩樹
頭頸部癌治療に IMRT が与えた影響：IMRT の有用性・問題点ー頭頸部外科医の立場から．
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市，2017

4. 井上由佳理，蛯名彩，戸田和寿，三谷浩樹，杉谷巌
気管全層浸潤をきたした甲状腺乳頭癌における

気管切除・再建術式選択　袖状切除・端々吻合と円窓切除・気管皮膚瘻造設との比較 .
第 50 回日本甲状腺外科学会学術集会：福島市 , 2017

5. 坂井利彦 , 杉谷巌 , 蛯名彩 , 福岡修 , 戸田和寿 , 三谷浩樹 , 山田恵子
甲状腺乳頭癌 T1bN0M0 に対する active surveillance の妥当性とリスク因子についての検討 .
第 29 回日本内分泌外科学会総会： 神戸市 , 2017

6. 小泉雄 , 佐々木徹 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 戸田和寿 , 蛯名彩 , 神山亮介 , 白尾浩太郎 , 日高竜太 , 川端一嘉
当科における嚥下リハビリテーションチームの発足と頭頸部がん術後症例に対する臨床経過に与える効果 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

7. 小泉雄 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 白尾浩太郎 , 瀬戸陽 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 福田幸太 , 日高竜太 , 服部雅雄 , 長縄鋼亮 , 坂井利彦 , 高橋剛史 , 森田琢磨
当科での手術手技教育法について .
第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会： 福岡市 , 2017

8. 川端一嘉
頭頸部手術の最前線：経口切除から最新のエネルギーデバイスまで .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

9. 川端一嘉
頸部郭清を軸とした基本手技の習得をベースにハーモニック FOCUS+ の有用性とその効果的な教育トレーニングに関して .
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京 , 2017

10. 市川千恭
当科で経験した Mammary analogue secretory carcinoma の 2 例 .
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京 , 2017

11. 新橋渉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 瀬戸陽 , 小泉雄 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 日高竜太 , 白尾浩太郎 , 服部雅優 , 高橋俊二 , 利安隆史 , 田中宏子 , 佐藤由紀子
中咽頭癌における長期予後について検討 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

12. 白尾浩太郎 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 小泉雄 , 瀬戸陽 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 福田幸太 , 日高竜太 , 服部雅優 , 長縄鋼亮 , 坂井利彦 , 高橋剛史 , 森田琢磨 , 山田龍平 , 佐藤由紀子
下顎骨原発歯原性悪性腫瘍の 1 例 .
第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会： 福岡市 , 2017

13. 神山亮介, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 小泉雄 , 蛯名彩 , 日高竜太 , 白尾浩太郎 , 服部雅優 , 坂井利彦 , 高橋剛史 , 長縄鋼亮
下咽頭喉頭全摘術における modified Glasgow Prognostic Score(mGPS) を用いた長期予後・合併症に関する検討 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

14. 福島啓文
シャント発生喉摘患者に見るチーム医療と患者会の関わり .
第 29 回日本喉頭科学会総会・学術講演会： 盛岡市 , 2017

15. 福島啓文
プロヴォックス Vega™ によるシャント発声の手術と外来管理
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京 , 2017

16. 福島啓文
ボイスプロテーゼ留置手術と外来管理における問題点 .
第 69 回日本気管食道科学会総会： 大阪市 , 2017

17. 福島啓文
下咽頭・頸部食道 1.
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

18. 福島啓文
喉頭癌放射線治療後再発に対する救済手術 .
第 10 回喉頭機能温存治療研究会：東京 , 2017

19. 福島啓文
術前後のポイントおよびアフターケア・トラブルシューティング .
宮崎大学セミナー：宮崎市 , 2017

20. 福島啓文
頭頸部治療 I.
第 62 回日本音声言語医学会総会・学術講演会：仙台市 , 2017

21. 蛯名彩 , 杉谷巌 , 戸田和寿 , 山田恵子 , 三谷浩樹
甲状腺乳頭癌に対するリンパ節郭清の至適範囲の検討 .
第 29 回日本内分泌外科学会総会： 神戸市 , 2017

22. 蛯名彩 , 杉谷巌 , 竹内賢吾 , 三谷浩樹
小児甲状腺癌長期経過観察後に未分化転化を生じた ETV6-NTRK3 融合遺伝子陽性の 1 例 .
第 50 回日本甲状腺外科学会学術集会：福島市 , 2017

23. 西嶌嘉容 , 佐藤由紀子 , 福島啓文 , 三谷浩樹 , 冨樫由紀 , 竹内賢吾 , 米川博之 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 小泉雄 , 神山亮介 , 日高竜太 , 白尾浩太郎 , 坂井利彦 , 市川千恭 , 永井遼斗 , 福田幸太 , 森田琢磨
FISH 法により EWSR1-ATF1 融合遺伝子を検出した hyalinizing clear cell carcinoma 8 例の臨床的検討 .
第 62 回日本唾液腺学会学術集会：東京 , 2017

24. 西嶌嘉容 , 福島啓文 , 佐藤由紀子 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 小泉雄 , 神山亮介 , 白尾浩太郎 , 日高竜太 , 服部雅優 , 高橋剛史 , 坂井利彦
FISH 法にて EWSRI-ATFI を検出した hyalinizing clear cell carcinoma（HCCC）5 症例の臨床病理学的検討 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

25. 近藤貴仁
頭頸部領域に発生した濾胞性樹状細胞肉腫の 2 例 .
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京 , 2017

26. 高橋剛史
下咽頭扁平上皮癌放射線治療後の局所再発・残存病変に対する救済手術症例の検討
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：東京 , 2017

整形外科

1. Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Gokita, T.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

2. Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Nagumo, Y., Kawaguchi, N.
Safe surgical margins vary among disease classifications in soft tissue sarcomas.
19th International Society of Limb Salvage General Meeting（第 19 回国際患肢温存学会）: Kanazawa, Japan, 2017

3. Funauchi, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Takemura, Y., Nagumo, Y., Sakaeda, K., Tsujino, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 23-year-old male, parosteal osteosarcoma of the left femur.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

4. Funauchi, Y.
Navigation assisted surgery for bone and soft tissue sarcoma.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya, Thailand, 2017

5. Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Matsumoto, S.

Surgical management of locally recurrent soft tissue sarcoma: Previous surgical scar resection reduce the risk of subsequent local recurrence.
19th International Society of Limb Salvage General Meeting（第 19 回国際患肢温存学会）: Kanazawa, Japan, 2017

6. Hayakawa, K., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Nagumo, Y., Takemura, Y., Tsujino, S., Sakaeda, K., Machinami, R., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N., Matsumoto, S.
A 29-year-old female, the early recurrence of aneurysmal bone cyst in the left distal femur.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

7. Hayakawa, K., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Kito, M., Nagumo, Y., Tsujino, S., Sakaeda, K., Matsumoto, S.
Treatment of high grade osteosroma in patients aged over 40 year old.
19th International Society of Limb Salvage General Meeting (第19回国際患肢温存学会): Kanazawa, japan, 2017

8. Matsumoto, S.
Surgical margin in soft tissue sarcoma.
The 3rd Indian Musculoskeletal Oncology Society: Varanasi, India, 2017

9. Matsumoto, S.
In-situ preparation - Soft tissue sarcoma.
The 3rd Indian Musculoskeletal Oncology Society: Varanasi, India, 2017

10. Matsumoto, S.
Resection and reconstruction of sarcoma.
19th International Society of Limb Salvage General Meeting (第19回国際患肢温存学会): Kanazawa, Japan, 2017

11. Matsumoto, S.
Diagnosis of soft tissue tumor.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya, Thailand, 2017

12. Matsumoto, S.
Surgical margin in bone and soft tissue tumor.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya, Thailand, 2017

13. Matsumoto, S.
Update on Bone Tumor Pathology: Advanced Techniques Scott D Nelson.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya, Thailand, 2017

14. Matsumoto, S.
Long term results of in situ preparation for soft tissue sarcoma.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya, Thailand, 2017

15. Matsumoto, S.
Reconstruction for bone Sarcoma.
39th Annual Meeting The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand: Pattaya,Thailand, 2017

16. Nagumo, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Takemura, Y., Sakaeda, K., Tsujino, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 16-year-old male, Ewing's sarcoma of the pubis.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

17. Otsuka, A., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Tanaka, Y.
Desmoplastic small round cell tumor originated from troracic wall.
第 98 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京 , 2017

18. Takemura, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Nagumo, Y., Sakaeda, K., Tsujino, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 63-year-old female, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the left distal tibia.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

19. Tanizawa, T., Matsumoto, S., Ae, K., Gokita, T.
Follow-up case study presentaions about previous SSMS Meetings.
The 29th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 東京 , 2017

20. 五木田茶舞 , 船内雄生 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 竹村宜記 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平 , 松本誠一 , 阿江啓介
骨腫瘍における手術支援ーナビゲーションシステムを用いた骨腫瘍切除の臨床成績と応用ー .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

21. 五木田茶舞 , 小柳広高 , 谷澤泰介 , 佐藤信吾 , 早川景子 , 船内雄生 , 黒田浩司 , 真鍋淳 , 松本誠一 , 大川淳 , 下地尚 , 阿江啓介
骨外性粘液型骨肉腫の治療成績 : 35 症例における多施設後方視研究 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

22. 五木田茶舞 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 船内雄生 , 竹村宜記 , 南雲吉祥 , 辻野昭平 , 酒枝健太郎 , 松本誠一
再発／切除不能な難治性骨巨細胞腫に対するデノスマブ療法の適応 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

23. 南雲吉祥 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 竹村宜記
再発性骨嚢腫の検討 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

24. 南雲吉祥 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 竹村宜記
2nd line gemcitabine+docetaxel 併用療法の治療成績 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

25. 川口智義
Watch the falling apple,now.
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

26. 早川景子 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 船内雄生 , 南雲吉祥 , 辻野昭平 , 酒枝健太郎 , 髙橋祐 , 藤本佳也 , 増田均 , 仲野兼司 , 角美奈子 , 高澤豊 , 松本誠一
後腹膜脂肪肉腫の治療成績 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

27. 早川景子 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 船内雄生 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平 , 松本誠一
初診時より遠隔転移を有する軟部肉腫の治療方針と成績 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

28. 松本誠一
軟部悪性腫瘍取り扱いの基礎 .
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 大阪市 , 2017

29. 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 南雲吉祥
肉腫診療における整形外科医の役割 .
第 90 回日本整形外科学会学術総会 : 仙台市 , 2017

30. 松本誠一
術後下肢機能障害の克服 .
第 90 回日本整形外科学会学術総会 : 仙台市 , 2017

31. 松本誠一
切除材料の評価を元にした小児肉腫の手術療法

と併用療法 .
第 6 回京都小児固形腫瘍フォーラム： 東京 , 2017

32. 松本誠一
The Role of Sarcoma Center.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

33. 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 南雲吉祥
肉腫制圧に向けての診療連携と集約化 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

34. 松本誠一
骨・軟部腫瘍診療標榜施設においても診断に難渋した症例の分析 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

35. 田中雄太 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 三浪友輔 , 松本誠一
Miyakawa patellectomy を施行した膝部 clear cell sarcoma の 1 例 .
関東整形災害外科学会月例会第 686 回整形外科集談会東京地方会 : 東京 , 2017

36. 竹村宜記 , 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平
手術後 10 年以上無病生存後に肺転移が出現した骨・軟部肉腫の 5 例 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

37. 船内雄生 , 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 鬼頭宗久 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平
骨軟部腫瘍におけるナビゲーションシステムの使用経験 .
第 11 回日本 Computer Assisted Orthopaedic Surgery（CAOS）研究会 : 2017

38. 船内雄生 , 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 竹村宜記 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平 , 高澤豊 , 杉浦善弥
粘液型脂肪肉腫における遠隔転移リスク因子の検討 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

39. 船内雄生 , 松本誠一 , 真鍋淳 , 下地尚 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 佐藤信吾 , 小柳広高 , 早川景子 , 三浪友輔 , 大川淳
多施設後方視研究で見た骨肉腫の治療成績総括 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

40. 谷澤泰介 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 辻野昭平 , 竹村宜記 , 菅野範英
下腿部発生の骨・軟部肉腫における血管再建症例の検討 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

41. 辻野昭平 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 南雲吉祥 , 酒枝健太郎 , 松本誠一 , 森井健司 , 池上政周 , 安井哲郎 , 河野博隆
9 歳男児の右環指に腱鞘巨細胞腫を認めた 1 例 .
関東整形災害外科学会月例会第 684 回整形外科集談会東京地方会 : 東京 , 2017

42. 酒枝健太郎 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 南雲吉祥 , 辻野昭平 , 松本誠一 , 安井哲郎 , 池上政周 , 矢澤康男
4 歳に発症した胞巣状軟部肉腫 (ASPS) の 1 例 .
関東整形災害外科学会月例会第 684 回整形外科集談会東京地方会 : 東京 , 2017

43. 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 鬼頭宗久 , 南雲吉祥 , 川口智義
骨巨細胞腫に対するデノスマブの適応とその使用法 .
第 57 回関東整形災害外科学会 : 東京 , 2017

44. 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 川口智義 , 大川淳
肩関節周辺悪性骨腫瘍切除後の肩関節再建手術

血管柄付腓骨移植による吊り下げ法を用いた小児上腕骨近位骨欠損の再建 .
第 90 回日本整形外科学会学術総会： 仙台市 , 2017

45. 阿江啓介
骨・軟部腫瘍診療の現状 : 問題点と治療の最前 .
江戸川区・江東区合同整形外科医会： 東京 , 2017

46. 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 南雲吉祥 , 川口智義 , 佐藤信吾 , 大川淳
新しい切除縁評価法による safe margin 解析 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

47. 阿江啓介
骨軟部腫瘍診療における最新のトピックス : 診断、治療から医療体制まで .
西多摩整形外科医会 (第 12 回西多摩・痛みのセミナー): 東京 , 2017

48. 阿江啓介
軟部腫瘍の治療 .
第 32 回日整会基礎学術集会　骨・軟部腫瘍特別研修会「軟部腫瘍の治療」: 宜野湾市 , 2017

49. 阿江啓介 , 松本誠一 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 船内雄生 , 三浪友輔 , 川口智義
「それぞれの癌」: 診断・治療の現状と展望　神経系・骨・軟部腫瘍 : 骨軟部腫瘍のリハビリテーション .
第 55 回日本がん治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

50. 阿江啓介
色素性絨毛結節性滑膜炎の診断と治療の最前線 .
第 45 回日本関節病学会 : 東京 , 2017

51. 鬼頭宗久 , 松本誠一 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 小林寛 , 早川景子 , 船内雄生
肺転移を念頭においた骨巨細胞腫の治療方針・至適経過観察方法の検討 .
第 90 回日本整形外科学会学術総会： 仙台市 , 2017

52. 鬼頭宗久 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 五木田茶舞 , 早川景子 , 船内雄生 , 南雲吉祥 , 松本誠一
大腿内側深部に発生した悪性軟部腫瘍広範切除後術後合併症の検討 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 東京 , 2017

泌尿器科

1. Mikami, H., Numao, N., Yamamoto, S., Hagiwara, K., Uehara, S., Takeda, H., Inoue, T., Ogawa, M., Yuasa, T., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Selection criteria for surveillance in patients with biochemical recurrence after radical prostatectomy.
32nd Annual European Association Union (EAU) Congress: London, UK, 2017

2. Yuasa, T.
Chemotherapy for GU malignancy (Recent advancement urological cancer).
34th Korea Japan Urological Congress: Deagu, Korea, 2017

3. Yuasa, T.
Optimal sequential therapy for mRCC.
34th Korea Japan Urological Congress: Deagu, Korea, 2017

4. 三神晃 , 沼尾昇 , 萩原喜一 , 上原翔 , 武田隼人 , 小川将宏 , 井上享 , 湯浅健 , 増田均 , 山本真也 , 福井巌 , 米瀬淳二
前立腺全摘後 PSA 再発に対し経過観察を選択する指標の検討 .
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市 , 2017

5. 上原翔 , 沼尾昇 , 三神晃 , 萩原喜一 , 武田隼人 , 小川将宏 , 井上享 , 湯浅健 , 増田均 , 山本真也 , 福井巌 , 米瀬淳二
当院における high-risk 筋層非浸潤性膀胱がんの治療成績 .
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市 , 2017

6. 井上亨，湯浅健，三神昇，武田隼人，小川将宏，沼尾昇，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
当科における腎癌肺転移患者の治療成績．
第 105 回日本泌尿器科学会総：鹿児島市，2017

7. 増田均，山本真也，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，上原翔，三神晃，萩原喜一，湯浅健，福井巌，米瀬淳二
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

8. 増田均，山本真也，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，三神晃，湯浅健，福井巌，米瀬淳二
当院での人工尿道括約筋抜去、再挿入例の検討．
第 24 回日本排尿機能学会：東京，2017

9. 増田均，山本真也，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，上原翔，三神晃，萩原喜一，湯浅健，福井巌，米瀬淳二
がん研有明病院における低侵襲手術の動向．
第 10 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京，2017

10. 増田均，山本真也，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，三神晃，湯浅健，福井巌，米瀬淳二
ロボット支援前立腺全摘除における神経温存と術後排尿症状の関連．
第 24 回日本排尿機能学会：東京，2017

11. 小川将宏，三神晃，萩原喜一，上原翔，武田隼人，井上享，沼尾昇，湯浅健，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
当院で施行したロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RALP) における断端陽性例の検討．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

12. 山崎六志，湯浅健，上原翔，藤井靖久，山本真也，増田均，福井巌，米瀬淳二
ゾレドロン酸からデノスマブへの bone-modifying agent 変更による腎機能改善について．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

13. 山本真也，増田均，湯浅健，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，上原翔，萩原喜一，三神晃，福井巌，米瀬淳二
片側神経温存前立腺全摘術における術後陰茎リハビリテーションの勃起機能回復効果：タダラフィルを使用した前向き無作為比較試験．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

14. 武田隼人，山本真也，萩原喜一，三神晃，上原翔，井上亨，小川将宏，沼尾昇，湯浅健，増田均，福井巌，米澤淳二
前立腺生検片側陽性症例における対側リンパ節転移の頻度の検討．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

15. 沼尾昇，上原翔，三神晃，萩原喜一，武田隼人，井上亨，小川将宏，湯浅健，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
リンパ節転移を有する膀胱癌に対する膀胱全摘＋エトポシド / シスプラチンベース化学療法の治療成績．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

16. 湯浅健
タキサンで変わる治療戦略：がん研有明病院での使用経験．
第 82 回日本泌尿器科学会東部総会：東京，2017

17. 熊谷俊介，山本真也，三神昇，石川雄大，藤原遼，武田隼人，井上亨，小川将宏，湯浅健，増田均，福井巌，米瀬淳二
術前診断に苦慮した成人腎芽腫の一例．
第 624 回日本泌尿器科学会東京地方会：東京，2017

18. 米瀬淳二，萩原喜一，三神晃，上原翔，武田隼人，井上亨，小川将宏，沼尾昇，湯浅健，山本真也，増田均，福井巌
腎細胞がんに対する腎部分切除後の仮性動脈瘤の検討．
第 105 回日本泌尿器科学会総会：鹿児島市，2017

19. 米瀬淳二
腎腫瘍 / 手術① .
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市 , 2017

20. 米瀬淳二
膀胱癌手術（全摘除・部分切除・尿路再建）.
第 10 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2017

21. 萩原喜一 , 沼尾昇 , 上原翔 , 三神晃 , 武田隼人 , 井上亨 , 小川将宏 , 湯浅健 , 増田均 , 山本真也 , 福井巌 , 米瀬淳二
High-risk 筋層非浸潤膀胱癌群における上部尿路再発の検討 .
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市 , 2017

22. 藤原遼 , 湯浅健 , 沼尾昇 , 山本真也 , 増田均 , 福井巌 , 米瀬淳二 , 稲村健太郎 , 石川雄一
転移性腎細胞癌に対するニボルマブの初期使用経験 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

23. 駒井好信 , 後藤田直人 , 松原伸晃 , 米瀬淳二
腎癌手術のクオリティーを向上させる 3D プリンティッドモデル .
第 10 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2017

24. 駒井好信 , 後藤田直人 , 井上雅晴 , 三神晃 , 井上亨 , 小川将宏 , 山本真也 , 米瀬淳二
Segmental ischemia での腎部分切除を可能にする renovascular microdissection　腹腔鏡下アプローチにおける手技の実際 .
第 10 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2017

血液腫瘍科

1. Hatake, K.
What did we learn from sequencing efforts?.
28th International Congress on Anti-Cancer Treatment (ICACT): Paris, France, 2017

2. Hatake, K.
Genomics:Application in oncology.
28th International Congress on Anti-Cancer Treatment (ICACT): Paris, France, 2017

3. Nishimura, N., Asaka, R., Takeuchi, K., Tsuyama, N., Inoue, N., Takahashi, A., Yamauchi, H., Kusano, Y., Ueda, K., Mishima, Y., Yokoyama, M., Terui, Y., Hatake, K.
Quantitative analysis of MYD88 L265P mutations by digital PCR is an independent prognostic factor for CNS relapse as well as systemic relapse and poor outcome.
14th International Conference on MalignantLymphoma Palazzo dei Congressi: Lugano, Switzerland, 2017

4. Teuri, Y., Mishima, Y., Hatake, K.
KDM5A activity inhibition by 2-PCPA: overcoming tolerance to bortezomib.
2017 AACR-NCI-EORTC International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics: Philadelphia, USA, 2017

5. マーシャル祥子 , 草野善晴 , 横山雅大 , 高橋杏奈 , 井上典仁 , 山内浩文 , 上田響子 , 西村倫子 , 三嶋裕子 , 照井康仁 , 畠清彦
精巣原発形質細胞腫の 1 例 .
第 6 回日本血液学会関東甲信越地方会： 東京 , 2017

6. 三嶋裕子 , 照井康仁 , 横山雅大 , 西村倫子 , 上田響子 , 草野善晴 , 山内浩文 , 井上典仁 , 高橋杏奈 , 津山直子 , 三嶋雄二 , 竹内賢吾 , 畠清彦
CD5 陽性 NGC タイプ DLBCL の予後不良性と 19q13 染色体異常との関係 .
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市 , 2017

7. 井上典仁 , 西村倫子 , 高橋杏奈 , 山内浩文 , 草野善晴 , 上田響子 , 三島裕子 , 横山雅大 , 照井康仁 , 畠清彦
ボルテゾミブレジメンで治療中の多発性骨髄腫患者のアシクロビル予防内服有無による帯状疱疹感染の発生 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

8. 井上典仁，西村倫子，高橋杏奈，山内浩文，草野善晴，三嶋裕子，横山雅大，津山直子，竹内賢吾，照井康仁，畠清彦
皮膚軟部組織病変を有するびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の治療成績の後方視的研究．
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市，2017

9. 山内浩文，上田響子，高橋杏奈，井上典仁，草野善晴，マーシャル祥子，三嶋裕子，西村倫子，横山雅大，照井康仁，畠清彦
顔面神経麻痺で再発した精巣原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例．
第 6 回日本血液学会関東甲信越地方会：東京，2017

10. 山内浩文，横山雅大，三嶋裕子，西村倫子，上田響子，草野善晴，井上典仁，高橋杏奈，照井康仁，畠清彦
Azacitidin is effective in the therapy related myelodysplastic syndrome.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

11. 山内浩文，三嶋裕子，横山雅大，西村倫子，上田響子，草野善晴，井上典仁，高橋杏奈，仲野彩，照井康仁，畠清彦
3 コース以上のアザシチジン療法が治療関連骨髄異形成症候群の予後改善に寄与した．
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市，2017

12. 照井康仁，張高明，鈴木憲史，品川篤司，内田俊樹，谷脇雅史，平田大二，石澤賢一，末永孝生，岡本真一郎，大塚眞紀，松本守生，飯田真介，松村到，池田宇次，竹迫直樹，大柿友美，緑川修一，HouckVanessa, Ervin-HaynesAnnette, 安藤潔
未治療多発性骨髄腫患者に対するレナリドミド + 低用量デキサメタゾンの国内第 II 相試験（MM-025）の最新報告．
第 42 回日本骨髄腫学会学術集会：東京，2017

13. 照井康仁
日本臨床腫瘍学会ガイドライン委員会企画：発熱性好中球減少症（FN）診療ガイドライン改訂版の解説．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

14. 畠清彦
本邦における医療技術評価（HTA）の最新動向．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

15. 畠清彦，棟方理，安藤潔，福原規子，木下朝博，横山雅大，福原傑，白杉由香理，市川聡，大間知謙，飛内賢正
B 細胞腫瘍を対象とした triabrutinib（ONO-4059/GS-4059）の国内第一相試験．
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市，2017

16. 縣千聖，山内浩文，上田響子，井上典仁，草野善晴，三嶋裕子，西村倫子，横山雅大，照井康仁，畠清彦
多発性骨髄腫の化学療法中に重症薬疹を発症した 1 例．
日本内科学会第 630 回関東地方会：東京，2017

17. 草野善晴，横山雅大，照井康仁，三嶋裕子，西村倫子，上田響子，山内浩文，高橋杏奈，井上典仁，津山直子，竹内賢吾，畠清彦
リツキサン時代の濾胞性リンパ腫患者における予後因子としての治療前可溶性インターロイキン 2 受容体値．
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市，2017

18. 西村倫子
The reasons to choose novel drug therapy over Allogenic stem cell transplantation.
第 42 回日本骨髄腫学会学術集会：東京，2017

19. 高橋杏奈，三島裕子，井上典仁，山内浩文，草野善晴，上田響子，西村倫子，横山雅大，照井康仁，畠清彦
Peg-G-CSF has possibility of the higher risk of thrombocytopenia than non-Peg-G-CSF in B-cell lymphoma during R-CHOP.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

20. 高橋杏奈，三嶋裕子，井上典仁，山内浩文，草野善晴，上田響子，西村倫子，横山雅大，照井康仁，畠清彦
未治療多発性骨髄腫患者における移植前 CR 到

達群と PR 到達群の予後の後方視的研究 .
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市 , 2017

総合腫瘍科

1. Takahashi, S., Fujiwara, Y., Matsubara, N., Tomomatsu, J., Iwasa, S., Yamasaki, A., Endo, C., Yokoyama, S., Doi, T.
A phase 1 study of Ipatasertib (AKT inhibitor) for investigating safety, tolerability, pharmacokinetics (PK), efficacy and biomarker in Japanese patients (pts) with solid tumor including castration-resistant prostate cancer (CRPC).
42nd European Society for Medical Oncology (ESMO) 2017 Congress: Madrid, Spain, 2017

2. Tomomatsu, J., Iwasa, S., Saka, H., Takahashi, S., Nakano, K., Morita, S., Inoue, M., Nakayama, H., Kogure, Y., Kakizume, T., Naktsume, K., Aoki, T., Quadt, C., Yamada, Y., Ando, Y.
A phase 1 study of BYL719, an α -isoform selective PI3K inhibitor, in Japanese patients with advanced solid malignancies.
42nd European Society for Medical Oncology (ESMO) 2017 Congress: Madrid, Spain, 2017

3. マーシャル祥子 , 若槻尊 , 松島知宏 , 大隅寛木 , 小倉真理子 , 市村崇 , 高張大亮 , 篠崎英司 , 陳勁松 , 山口研成
Prognostic factors of trastuzumab based chemotherapy in patients with advanced HER2 positive gastric cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

4. マーシャル祥子 , 西村倫子 , 高橋杏奈 , 井上典仁 , 山内浩文 , 草野善晴 , 津山直子 , 竹内賢吾 , 三嶋裕子 , 横山雅大 , 照井康仁 , 畠清彦
当院におけるホジキンリンパ腫の治療成績 .
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市 , 2017

5. 仲野兼司
稀少がん：まれながんにも、みんなで立ち向かう未来へ：稀少がん診療の現状と今後：抗がん剤治療に携わる腫瘍内科医の立場から .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

6. 仲野兼司
血管肉腫への新規治療戦略　パゾパニブの適応とその可能性 .
第 33 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会：東京 , 2017

7. 仲野兼司
頭頸部原発　骨・軟部肉腫（サルコーマ）：集学的治療体系 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

8. 仲野兼司 , 平良眞一郎 , 小野麻紀子 , 友松純一 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 福島啓文 , 米川博之 , 三谷浩樹 , 高橋俊二
Incidence and risk factors of interstitial lung disease(ILD)of head and neck cancer patients treated with Cetuximab.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

9. 仲野兼司、杉浦善弥、船内雄生、早川景子、五木田茶舞、谷澤泰介、阿江啓介、松本誠一、高橋俊二
悪性軟部腫瘍への化学療法治療レジメン数の考察 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京 , 2017

10. 尾野村麻以 , 仲野兼司 , 小野麻紀子 , 平良眞一郎 , 友松純一 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 三谷浩樹 , 高橋俊二
嗅神経芽細胞腫に対する cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, cisplatin, etoposide 併用化学療法の後方視的解析 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

11. 島田貴信 , 仲野兼司 , 平良眞一郎 , 小野麻紀子 , 友松純一 , 利安隆史 , 福島啓文 , 三谷浩樹 , 川端一嘉 , 高橋俊二

A retrospective study of upfront neck dissection followed by chemoradiotherapy for locally advanced head and neck cancer.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

12. 川口城毅，仲野兼司，マーシャル祥子，尾野村麻以，浦崎哲也，島田貴信，平良眞一郎，小野麻紀子，友松純一，高橋俊二
Retrospective analysis of trabectedin therapy for soft tissue sarcoma.
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

13. 平良眞一郎，仲野兼司，小野麻紀子，友松純一，島田貴信，尾野村麻以，福田直樹，マーシャル祥子，川口城毅，高橋俊二
再発・転移上咽頭癌症例に対するセツキシマブ＋抗がん剤併用療法．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

14. 平良眞一郎，小野麻紀子，深田一平，小林心，柴山朋子，尾野村麻以，宮本快介，伊藤良則，大野真司，高橋俊二
乳癌骨転移症例に対するデノスマブ療法の長期的な効果と安全性．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

15. 浦崎哲也，小野麻紀子，友松純一，仲野兼司，平良眞一郎，高橋俊二
当院における粘膜悪性黒色腫 8 例に対するニボルマブ療法の後方視的検討．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

16. 温泉川真由
婦人科がん．
Best of ASCO in Japan: 東京，2017

17. 温泉川真由
卵巣　化学療法 2.
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

18. 温泉川真由
子宮　症例報告 1.
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

19. 福田直樹，仲野兼司，蛯名彩，平良眞一郎，小野麻紀子，友松純一，戸田和寿，三谷浩樹，川端一嘉，高橋俊二
分化型甲状腺癌に対する Lenvatinib 治療における好中球・リンパ球比の検討．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

20. 福田直樹，高張大亮，大隅寛木，松島知広，市村崇，小倉真理子，篠崎英司，陳勁松，山口研成
胃癌・肝転移の Ramucirumab による形態学的変化（morphologic response）の検討．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

21. 高橋俊二
進行又は転移性の腎細胞癌患者を対象としたエベロリムス併用時のレンバチニブの臨床第 1 相試験．
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市，2017

22. 高橋俊二
泌尿器がん薬物療法におけるチーム医療．
第 105 回日本泌尿器科学会総会： 鹿児島市，2017

23. 高橋俊二
軟部肉腫の集学的治療：臨床の現場から．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

24. 高橋俊二
再発進行軟部肉腫の治療方針．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2017

25. 高橋俊二
Treatment of carcinoma of unknown primary: Evidence-based or Science-based?

第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

26. 高橋俊二
骨・軟部腫瘍の集学的治療　他科スペシャリストとの診療連携　がん研有明病院サルコーマセンターにおける軟部肉腫の集学的治療と腫瘍内科医の役割 .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京 , 2017

27. 高橋俊二
悪性腫瘍患者における骨吸収阻害薬治療の意義と ONJ の現状 .
第 62 回口腔外科学会総会・学術大会：京都市 , 2017

28. 高橋俊二
高齢者の癌薬物療法 .
第 33 回前立腺シンポジウム：東京 , 2017

総合診療部

1. 志賀太郎
Oncology emergency 部会 .
第 2 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：さいたま市 , 2017

2. 志賀太郎
がん治療関連性心血管障害について：Cancer Therapy-Related Cardiovascular Dysfunction.
第 21 回日本心不全学会学術集会： 秋田市 , 2017

3. 志賀太郎
当院におけるがん治療薬関連性心血管有害事象の経験 .
第 65 回日本心臓病学会学術集会： 大阪市 , 2017

4. 志賀太郎
臨床と病理の視点からとらえる Onco-Cardiology がん治療薬と心血管系有害事象について .
第 65 回日本心臓病学会学術集会日本心臓病学会・心筋生検研究会ジョイントシンポジウム：大阪市 , 2017

5. 志賀太郎 , 石沢武彰 , 小栗知世 , 大石ひとみ , 廣多康光 , 保田知生
予防・癌関連 VTE：急性肺塞栓を合併した高体重を呈する肝細胞がん術後患者に対して、アピキサバンが有効に投与できた経験 .
第 24 回肺塞栓症研究会・学術集会： 東京 , 2017

麻酔科（ペインクリニック）

1. 千々和優介 , 平島潤子 , 風戸拓也 , 横田美幸
周術期管理チームに関する意識調査：手術室看護師を対象としたアンケートから .
日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 58 回合同学術集会：東京 , 2017

2. 有阪理英 , 平島潤子 , 田中久博 , 横田美幸
術中急性肺血栓塞栓症が疑われた症例の経験より見直した当院の深部静脈血栓症・肺塞栓症予防対策 .
第 29 回日本老年麻酔学会：津市 , 2017

3. 森野良蔵 , 長田理 , 風戸拓也 , 中川陽介
デスフルランとセボフルラン間で PONV 発生に差があるのか？前向き研究より得られた 2628 症例よりの解析 .
日本麻酔科学会第 64 回学術集会： 神戸市 , 2017

4. 森野良蔵
依存性薬物の光と影　適正使用を目指して　お酒を飲むヒトは麻酔がききにくい、って本当 ?! 麻酔薬使用についての都市伝説を科学的に斬る .
第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会：札幌市 , 2017

5. 森野良蔵
痛みと PONV 対策は車の両輪のごとく　TIVA 制吐剤の使用　非オピオイドマルチモーダル鎮痛プロトコルへ .
日本小児麻酔学会第 23 回大会：福岡市 , 2017

6. 森野良蔵
PONV：機序と対策 .
日本臨床麻酔科学会第 37 回大会：東京 , 2017

7. 横田美幸
社会保険部会報告：2018 年度医療・介護報酬同時改定に向けて .
日本麻酔科学会第 64 回学術集会： 神戸市 , 2017

8. 横田美幸
保険診療の疑問に答える (何が許されて、何が許されないのか).
日本ペインクリニック学会第 51 回大会： 岐阜市 , 2017

9. 横田美幸
いかに時間を有効活用するか？ .
日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 58 回合同学術集会：東京 , 2017

10. 横田美幸
周術期管理チームにおける臨床的指標（クリニカルインディケーター・QI）と周術期チーム加算について .
日本臨床麻酔科学会第 37 回大会：東京 , 2017

11. 横田美幸
手術室運営効率化と安全性：医療経済学の観点から .
日本臨床麻酔科学会第 37 回大会：東京 , 2017

12. 見市光寿 , 平島潤子 , 中川陽介 , 大里彰二郎 , 蛯名稔明 , 横田美幸
周術期管理チーム協働についての意識調査：麻酔科医・看護師アンケートから .
日本麻酔科学会第 64 回学術集会： 神戸市 , 2017

13. 風戸拓也 , 柏井朗宏 , 中川陽介 , 見市光寿 , 平島潤子 , 長田理 , 横田美幸
今、病棟が危ない　手術後、病棟にて意識消失を来した症例 .
第 28 回日本臨床モニター学会総会： 東京 , 2017

14. 風戸拓也 , 平島潤子 , 横田美幸
周術期管理チームに関する麻酔科医の意識調査 .
日本臨床麻酔科学会第 37 回大会：東京 , 2017

がん疼痛治療科

1. Hattori, S.
Geriatric palliative care: General concern and status in Japan.
2017 JKT Research Project Taipei, Taiwan, 2017

2. 服部政治
がん疼痛治療における PCA ポンプの有効使用（IV ～脊髄鎮痛まで）.
第 47 回関西ペインクリニック学会学術集会：大阪市 , 2017

3. 服部政治
がんの痛みに対する硬膜外オピオイド鎮痛法（適応と管理法）.
日本麻酔科学会第 64 回学術集会： 神戸市 , 2017

4. 服部政治
Current Status of Palliative Medicine in Japan.
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

5. 服部政治
脊髄くも膜下鎮痛法の実際 .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

6. 服部政治
Acetaminophen in Cancer Pain Management.
日本ペインクリニック学会第 51 回大会： 岐阜市 , 2017

7. 服部政治
術後痛・がん疼痛治療のベーシック：アセトアミノフェン .
第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会： 熊本市 , 2017

8. 服部政治
がん疼痛治療の最前線 .
第 20 回日本在宅ホスピス協会全国大会： 立川市 , 2017

9. 服部政治
がん疼痛治療の最前線：日本が変える副作用対策の時代 .
第 2 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：さいたま市 , 2017

10. 服部政治
「それぞれの癌」最善の治療とは？　緩和医療における先進疼痛管理インターベンション　脊髄鎮痛法 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

11. 服部政治
がん疼痛治療における新オピオイドの使用方法：ヒドロモルフォンの位置付け .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

12. 服部政治
麻酔科・ペインクリニックによるがん疼痛治療：ナルサス、ナルラピドの位置づけ .
日本臨床麻酔科学会第 37 回大会：東京 , 2017

腫瘍精神科

1. 山田健志 , 大島淑夫 , 織壁里名 , 山田欣子 , 佐伯吉規
がん研究会有明病院におけるコンサルテーション・リエゾン精神科診療 .
第 30 回日本総合病院精神医学会総会：富山市 , 2017

形成外科

1. Yano, T., Miyashita, H., Tanakura, K., Tanaka, K., Okazaki, M., Sawaizumi, M.
Novel technique to achieve aesthetic skull base reconstruction for complicated skull base reconstruction.
9th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Seoul, Korea, 2017

2. Yano, T.
New approaches in head and neck reconstruction.
9th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery (WSRM): Seoul, Korea, 2017

3. Yoshimatsu, H.
Chimeric SCIP Flap.
Plastic and Reconstructive surgeons (PRS) Korea 2017: Seoul, Korea, 2017

4. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 宮下宏紀 , 澤泉雅之 , 柴田知義 , 塩崎正崇 , 古林玄 , 細井龍 , 本田武史
特殊な難治性潰瘍に対する局所陰圧閉鎖療法の 3 例 .
第 10 回筑波大学形成外科同門会： つくば市 , 2017

5. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 宮下宏紀 , 澤泉雅之 , 柴田知義 , 塩崎正崇 , 古林玄 , 細井龍 , 本田武史
自家遊離複合組織移植による乳房再建時の Predictive contouring による左右対称性の獲得 .
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会： 大阪市 , 2017

6. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 宮下宏紀 , 澤泉雅之 , 柴田知義 , 塩崎正崇 , 古林玄 , 細井龍 , 本田武史
SBI 施工時における Suspension of fat tissue technique（SOFT technique）による SBI 外側の形成 .
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会： 大阪市 , 2017

7. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 矢野智之 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 古林玄 , 沼畑岳央 , 細井龍 , 本田武史 , 澤泉雅之
肝臓が露出した手術部位感染症に対する局所陰圧閉鎖療法の経験 .
第 9 回日本創傷外科学会総会・学術集会： 岐阜市 , 2017

8. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 矢野智之 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 古林玄 , 沼畑岳央 , 細井龍 , 本田武史 , 澤泉雅之
腔内に連続する開口の小さな漏斗状の皮膚瘻への局所陰圧閉鎖療法の経験 .

第 9 回日本創傷外科学会総会・学術集会：岐阜市，2017

9. 倉元有木子，棚倉健太，澤泉雅之，五木田茶舞，谷澤泰介，阿江啓介，松本誠一
骨軟部腫瘍切除後リンパ漏およびリンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術による治療経験．
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2017

10. 倉元有木子，棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，柴田知義，吉松英彦，沼畑岳央，細井龍，本田武史，澤泉雅之
乳輪乳頭温存皮下乳腺全摘術の合併症の検討．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

11. 倉元有木子，棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，柴田知義，吉松英彦，細井龍，本田武史，澤泉雅之
腹部遊離皮弁による乳房再建術における Predictive Contouring の有用性．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

12. 倉元有木子，棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，柴田知義，吉松英彦，細井龍，本田武史，澤泉雅之
看護師におまかせ！皮弁モニタリング．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

13. 古林玄，澤泉雅之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，塩崎正崇，細井龍，本田武史
ベクトラを用いた乳がん患者の乳頭位置の測定．
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会：大阪市，2017

14. 古林玄，澤泉雅之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，塩崎正崇，阿江啓介，松本誠一
当院における下腿軟部悪性腫瘍切除後再建．
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2017

15. 古林玄，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉本有木子，細井龍，本田武史，大野真司
当院における年齢別にみた人工乳房再建率の推移．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

16. 宮下宏紀，松本綾希子，倉元有木子，棚倉健太，柴田知義，澤泉雅之，岩瀬拓二，大野真司
遊離腹部皮弁による乳房再建の血行動態ごとの合併症率：当院での 9 年間 210 例の検討．
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会：大阪市，2017

17. 宮下宏紀，澤泉雅之，棚倉健太，今井智浩
当院における上肢軟部悪性腫瘍広範切除後の再建：適切な再建方法の選択について．
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2017

18. 宮下宏紀，棚倉健太，松本綾希子，矢野智之，柴田知義，倉本有木子，沼畑岳央，細井龍，本田武史，澤泉雅之，岩瀬拓士，大野真司
乳房再建に適した乳癌切除術式が局所再発率に与える影響．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

19. 宮下宏紀，倉元有木子，棚倉健太，矢野智之，柴田知義，古林玄，沼畑岳央，細井龍，本田武史，澤泉雅之，岩瀬拓士，大野真司
一次一期インプラント再建（DTI）を安全に行うための当院での基準．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

20. 本田武史，倉元有木子，棚倉健太，宮下宏紀，澤泉雅之，柴田知義，塩崎正崇，古林玄，細井龍
ポケット型超音波診断装置の汎用性と利便性．
第 22 回日本形成外科手術手技学会：東京，2017

21. 本田武史，倉元有木子，矢野智浩，宮下宏紀，棚倉健太，柴田知義，古林玄，沼畑岳央，細井

龍，澤泉雅之
豊胸後乳がんを契機に両側被膜に全周性の石灰化を認めた一例．
関東形成外科学会第 288 回東京地方会： 東京，2017

22. 本田武史，倉元有木子，宮下宏紀，棚倉健太，澤泉雅之
肋軟骨移植後の TE 挿入により胸郭変形をきたした症例．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

23. 本田武史，倉元有木子，矢野智浩，宮下宏紀，棚倉健太，柴田知義，吉松英彦，沼畑岳央，細井龍，澤泉雅之
小耳症に対する肋軟骨による再建後 TE 拡張の際に胸郭変形が進行した症例．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

24. 本田武史，棚倉健太，矢野智浩，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，細井龍，澤泉雅之
広背筋皮弁再建後の肩甲部肉腫再発に、大腿筋膜張筋皮弁と前外側大腿皮弁による連合皮弁を用い再建した一例．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

25. 松本綾希子
乳房再建・豊胸術と超音波検査　インプラント挿入後の超音波所見．
第 38 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：宇都宮市，2017

26. 松本綾希子，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，古林玄，沼畑岳央，今井智浩
長期合併症率、再建完遂率からみた乳房再建法の検討．
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市，2017

27. 柱山紀美恵
人工物による乳房再建手術を受けた患者の下着の悩みと要望への対応．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

28. 柴田知義，澤泉雅之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，塩崎正崇，古林玄，細井龍，本田武史，岩瀬拓士
乳房切除後 1 次 1 期再建時のドレーンに関する検討．
第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会： 大阪市，2017

29. 柴田知義，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，沼畑岳央，吉松英彦，細井龍，本田武史，岩瀬拓士，大野真司，原田壮平，羽山ブライアン
組織拡張器を用いた 1 次 2 期再建時の抗生剤使用の検討．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

30. 柴田知義，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，沼畑岳央，細井龍，本田武史，原田壮平，羽山ブライアン
乳房再建における人工物使用後の抗生剤使用状況の全国調査．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

31. 棚倉健太，倉元有木子，今井智浩，澤泉雅之
当施設におけるリンパ管細静脈吻合術の経験．
第 10 回筑波大学形成外科同門会： つくば市，2017

32. 棚倉健太，植野映子，龍見秋一，矢野智之，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，松本綾希子，澤泉雅之
MDCT による腰動脈穿通枝の評価と腰動脈穿通枝皮弁による乳房再建．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

33. 棚倉健太，澤泉雅之，宮下宏紀，倉本有木子，柴田知義，細井龍，本田武史，矢野智之，阿江啓介，谷澤泰介，五木田茶舞，早川景子，船内雄生，松本誠一
体幹の骨・軟部肉腫切除後再建の経験．

第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2017

34. 棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，澤泉雅之
乳房再建術式の選択と適応の標準化に向けて．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

35. 棚倉健太，矢野智之，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，細井龍，本田武史，澤泉雅之
食道癌の消化管再建における血管付加吻合に内胸動脈穿通枝を用いた 3 例．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

36. 棚倉健太，倉元有木子，宮下宏紀，矢野智之，澤泉雅之
骨軟部腫瘍切除後リンパ浮腫・リンパ漏に対する治療経験．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

37. 沼畑岳央，塩崎正宗，澤泉雅之
SBI の圧迫に対する耐久性について．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

38. 澤泉雅之
皮下脂肪組織由来再生（幹）細胞（ADRCs）を用いた乳房再建：ADRCs を用いた各疾患の治療・再生医療の可能性．
第 16 回日本再生医療学会総会：仙台市，2017

39. 澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子
乳房シリコンインプラントの破損形態．
第 9 回日本創傷外科学会総会・学術集会：岐阜市，2017

40. 澤泉雅之
乳癌の集学的治療における切除・再建手術の位置づけ．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

41. 矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，Blondeel, P., 澤泉雅之
ベルギーにおける乳房再建戦略 UZ Gent; ゲント大学（ベルギー）留学で得た知見．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

42. 矢野智之，Stillaert, F., 棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，細井龍，本田武史，Landuyt, K. V., 澤泉雅之
ベルギー UZ Gent（ゲント大学）における Reconstructive ladder を越えた free flap を用いた乳房再建の知見．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

43. 細井龍，倉元有木子，棚倉健太，宮下宏紀，澤泉雅之，柴田知義，塩崎正崇，古林玄，本田武史
乳房増大用 SBI が Extracapsular rupture となり、乳がん治療時に判明した一例．
第 22 回日本形成外科手術手技学会：東京，2017

44. 細井龍，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，古林玄，沼畑岳央，本田武史，澤泉雅之
Madelung 病による男性の下垂乳房様変形に対し、形成的切除術を行った 1 例．
関東形成外科学会第 288 回東京地方会：東京，2017

45. 細井龍，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉本有木子，古林玄，沼畑岳央，本田武史，澤泉雅之
TE 術後出血の部位別検討．
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京，2017

46. 細井龍ほか
複数回再発をきたした中下咽頭癌に対する内胸動静脈をレシピエント血管とした遊離結腸再建の経験．
第 44 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：宮崎市，2017

眼科

1. Tsuji, H., Kobayashi, M., Yoshida, A., Suzuki, S., Takeuchi, K.
IgG4 related ophthalmic disease mimicking eyelid sebaceous carcinoma.
International Symposium on IgG4-RD &Fibrosis: Maui, USA, 2017

2. Tsuji, H.
Sebaceous carcinoma of eyelid mimicking lymphoepithelioma-like carcinoma.
18th International Society of Ocular Oncology Biennial Conference: Sydney, Australia, 2017

3. 小林めぐみ , 津山直子 , 竹内賢吾 , 柴田知義 , 古林玄 , 前田拓摩 , 宮下宏紀 , 辻英貴
眼窩内容除去術に至った眼瞼結膜扁平上皮癌の 1 例 .
第 40 回日本眼科手術学会学術総会 : 東京 , 2017

4. 辻英貴
眼瞼・視神経・眼形成・眼腫瘍② .
第 40 回日本眼科手術学会学術総会 : 東京 , 2017

5. 辻英貴
眼腫瘍の診断について .
第 4 回 Shinagawa Ophthalmic Meeting: 東京 , 2017

6. 辻英貴
エピテーゼ・義眼・再建 .
第 28 回日本眼瞼義眼床手術研究会 : 沼津市 , 2017

7. 辻英貴 , 小林めぐみ , 吉田淳 , 竹内賢吾
アスペルガー症候群の患者に対する眼瞼腫瘤手術 .
第 32 回日本眼窩疾患シンポジウム : 中頭郡北中城村 , 2017

8. 辻英貴
相談症例・著しい眼球偏位・良性眼窩リンパ増殖性疾患・両側視神経乳頭浮腫 .
第 32 回日本眼窩疾患シンポジウム : 中頭郡北中城村 , 2017

9. 辻英貴 , 吉田淳 , 佐藤由紀子 , 竹内賢吾
鑑別に苦慮した眼窩に発生した腺様嚢胞癌 .
第 50 回眼科臨床病理組織研究会（第 87 回九州眼科学会）: 宮崎市 , 2017

10. 辻英貴
一般演題 1 : 眼窩 .
第 5 回日本眼形成再建外科学会学術集会 : 北九州市 , 2017

11. 辻英貴
眼周囲に生じる腫瘍について .
北海道眼科医会生涯教育講座プログラム : 札幌市 , 2017

12. 辻英貴 , 吉田淳 , 高田幸子 , 石井柳太郎 , 竹内賢吾
抗真菌薬 Voriconazole に関連した扁平上皮癌 .
第 35 回日本眼腫瘍学会 : 東京 , 2017

13. 辻英貴 , 嘉鳥信忠
一般講演（8）眼科腫瘍 II.
第 35 回日本眼腫瘍学会 : 東京 , 2017

14. 辻英貴
眼腫瘍のアップデート : 診断を中心に .
千代田区眼科医会 11 月学術講演会 : 東京 , 2017

感染症科

1. 原田壮平
抗菌薬適正使用 .
第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会 : 神戸市 , 2017

2. 原田壮平
第 22 回症例から学ぶ感染症セミナー .
第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 : 東京 , 2017

3. 原田壮平
血流感染マネジメントバトル .
第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 : 東京 , 2017

4. 原田壮平
耐性菌感染症 1.
第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会：東京 , 2017

漢方サポート科

1. 星野惠津夫
がんの漢方治療　総力戦のがん治療における漢方の位置づけ「組み合わせ漢方」と「立体漢方」によるがん治療 .
第 68 回東洋医学会学術総会：名古屋市 , 2017

歯科

1. 富塚健
周術期口腔機能管理を行うにあたって .
江戸川区歯科医師会　口腔がん検討委員会講習会：東京 , 2017

2. 富塚健
口腔機能回復のための補綴治療 .
第 7 回東京オーラルマネジメント研究会学術研修会：東京 , 2017

3. 富塚健
化学療法，頭頸部放射線療法と口腔機能管理 .
江戸川区歯科医師会口腔がん検討委員会講習会：東京 , 2017

4. 富塚健
がん研究会有明病院でおこなっている口腔機能管理 .
第 104 回埼玉医科大学国際医療センター　包括的がんセンター教育カンファレンス：日高市 , 2017

5. 富塚健
がん治療における口腔機能管理：がん研究会有明病院の現状と問題点 .
平成 29 年度　昭和大学口腔ケアセンターセミナー：東京 , 2017

6. 富塚健
頭頸部がん患者の治療中の口腔ケア .
第 25 回がん放射線治療看護セミナー（日本放射線腫瘍学会・日本がん看護学会共催）：東京 , 2017

7. 富塚健
がん治療における口腔機能管理 3 .
江戸川区歯科医師会　口腔がん検討委員会講習会：東京 , 2017

8. 富塚健
がん治療と歯科治療 .
江東区歯科医師会　医科歯科連携事業：東京 , 2017

9. 富塚健
がん専門病院における周術期口腔機能管理の現状と将来の展望 .
第 14 回日本口腔ケア協会学術大会：東京 , 2017

10. 江口奈緒子 , 木暮麻優 , 脇元佳子 , 太田志保 , 西村菜緒 , 富塚健
歯科衛生士によるがん専門病院における口腔ケアラウンドの実態調査 .
第 14 回日本口腔ケア学会総会・学術大会：宜野湾市 , 2017

11. 田代美子 , 富塚健 , 菅野勇樹 , 菅家康介 , 田村恵 , 脇元佳子 , 木暮麻優 , 太田志保 , 江口奈緒子 , 西村菜緒
がん専門病院の歯科で行う口腔機能管理の現状 .
第 3 回日本がん口腔支持療法学会学術大会：岡山市 , 2017

12. 茂木立香 , 田代美子 , 菅野勇樹 , 菅家康介 , 田村恵 , 富塚健
当科で行っている口腔機能管理の概要 .
第 31 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会：東京 , 2017

緩和治療科

1. 佐伯吉規
総合病院精神科の公的役割について考える .
第 30 回日本総合病院精神医学会総会：富山市 , 2017

2. 佐伯吉規
がん診療拠点病院における精神科の役割 .
第 30 回日本総合病院精神医学会総会：富山市 , 2017

3. 佐伯吉規
せん妄マネジメントの極意：意思決定能力の欠如に基づく倫理的問題 .
第 113 回日本精神神経学会学術総会： 名古屋市 , 2017

4. 奈良林至
抗がん治療：化学内分泌法 / 放射線治療 .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

5. 櫻井宏樹
苦痛緩和のための鎮静、がん治療による支持療法 .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

医療連携部

1. 上田美佐江
切除不能進行膵臓がん患者トータルサポートプログラム（PANDA）による早期介入の評価 .
第 19 回日本医療マネジメント学会学術総会：仙台市 , 2017

放射線治療部

1. Sumi, M.
Radiotherapy for management of malignant gliomas.
第 76 回日本医学放射線学会総会： 横浜市 , 2017

2. Toshiyasu, T.
HPV-related squamous cell carcinoma of the lacrimal sac: a case successfully treated with chemo-radiation therapy.
Asia-Oceania Research Organisation in Genital Infection and Neoplasia (AOGIN) Tokyo, Japan, 2017

3. Yoshioka, Y.
Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy as an extremely hypofractionated radiotherapy for prostate cancer.
14th National Meeting of Chinese Society for Radiation Oncology (CSTRO): Beijing, China, 2017

4. 利安隆史 , 熊井康子 , 芹澤慈子 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
中咽頭癌に対する Cetuximab 同時併用放射線治療の治療成績 .
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

5. 利安隆史
HPV 関連中咽頭癌の最適な治療方法へ：放射線治療医の立場から .
第 2 回日本 HPV 研究会学術集会： 横浜市 , 2017

6. 利安隆史
頭頸部 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

7. 利安隆史ほか
頭頸部癌 VMAT における ExacTrac システムの使用経験 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

8. 利安隆史ほか
中咽頭癌に対する IMRT を用いた同時化学放射線療法の治療成績 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

9. 原田亜里咲ほか
脂肪肉腫の椎体骨転移に対する緩和的放射線治療 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

10. 吉岡靖生 , 大久保裕史 , 角美奈子 , 小口正彦
前立腺 HDR − Short Review.
日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第 19 回学術大会：奈良市 , 2017

11. 吉田匡宏ほか
胸骨傍または鎖骨上リンパ節転移陽性乳癌に対する温存乳房および領域照射の成績 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会：大阪市 , 2017

12. 大久保裕史ほか
前立腺癌術後 PSA 再発に対する 3D―CRT と IMRT の比較 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

13. 小口正彦 , 室伏景子 , 田口千藏 , 吉岡靖生 , 角美奈子 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 山口研成 , 篠崎英司 , 末永光邦 , 松阪諭
局所進行直腸癌に対する化学放射線療法 .
第 55 回日本癌治療学会学術集会 : 横浜市 , 2017

14. 小口正彦
Meeting RT challenges with confidence.
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

15. 小口正彦
乳癌の領域リンパ節照射 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

16. 小口正彦
悪性リンパ腫に対する放射線治療と女性放射線腫瘍医の活躍 :ILROG メンバー紹介 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

17. 小口正彦
消化管限局濾胞性リンパ腫の放射線治療成績 .
第 7 回日本血液学会関東甲信越地方会 : 松本市 , 2017

18. 徳増健二
当院における胸腺腫瘍に対する放射線治療の経験 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

19. 熊井康子 , 利安隆史 , 芹澤慈子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
当院における上顎洞扁平上皮癌に対する根治的放射線治療成績 .
第 41 回日本頭頸部癌学会 : 京都市 , 2017

20. 熊井康子ほか
当院における進行上顎洞扁平上皮癌に対する根治的放射線治療成績 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

21. 猪田浩隆ほか
胸骨傍または鎖骨上リンパ節転移陽性乳癌に対する集学的治療の成績 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

22. 田口千藏 , 小口正彦 , 山口素子 , 鈴木律朗 , 江島泰生 , 長谷川正俊 , 石橋直也 , 磯部公一 , 糟谷健夫 , 笹井啓資 , 下田絵美子 , 副島俊典 , 今井美智子
限局期節外性 NK/T 細胞リンパ腫同時化学放射線療法後の局所領域制御の予後予測因子 .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

23. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 佐々木徹 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する 3 次元原体照射法による化学放射線療法についての検討 .
第 41 回日本頭頸部癌学会 : 京都市 , 2017

24. 角美奈子
教育講演 8.
第 58 回日本肺癌学会学術集会 : 横浜市 , 2017

25. 角美奈子
放射線治療後のサバイバーシップ・ケア .
日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会 : 大阪市 , 2017

画像診断部

1. Gomi, N., Kokubu, Y., Fukada, I., Kobayashi, K., Iwase, T., Horii, R., Akiyama, F., Ohno, S., Matsueda, K.
Biopsy of distant breast cancer metastasis: Usefulness of CT-guided bone biopsy.
Europian Congress of Radiology (ECR) 2017: Viena, Austria, 2017

2. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 34 : Oncology.
European Congress of Radiology (ECR) 2017: Vienna, Austria, 2017

3. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 16 : Japanese.
European Congress of Radiology (ECR) 2017: Vienna, Austria, 2017

4. Tanaka, Y. O., Takazawa, Y., Matsuura, M., Omatsu, K., Takeshima, N., Matsueda, K.
A young woman with metastatic ovarian tumors from the appendix mimicking massive ovarian edema.
第 31 回日本腹部放射線学会：旭川市 , 2017

5. Tanka, Y. O., Kitai, S., Saida, T., Tanaka, H., Takeshima, N., Matsueda, K.
Can MRI diagnose the outcome of the hormone therapy for endometrial cancer?
6th Asian Congress of Abdominal Radiology Busan, Korea, 2017

6. Ueda, K.
Effective techniques enhanced by PACS applications in interpreting digital images.
Royal College of Radiologists of Thailand (RCRT) & The Radiological Society of Thailand (RST) Annual Meeting: Bangkok, Thailand, 2017

7. Ueda, K.
Imaging of early hepatocellular carcinoma; Pathologic correlation and clinical application hemodynamics of carcinogenic hepatocyte nodules: Computed tomography, radio-pathological correlations and outcomes of the nodules.
第 76 回日本医学放射線学会総会： 横浜市 , 2017

8. Ueda, K.
Imaging diagnosis of focal nodular hyperplasia of the liver and its mimics.
Bandung Joint Session Pediatric and Gastro-Uroradiology, West Java Radiology Society: Bandung, Indonesia, 2017

9. Ueda, K.
Identifying computed tomography images effective for showing arterial enhancement of hepatocellular carcinoma.
Bandung Joint Session Pediatric and Gastro-Uroradiology, West Java Radiology Society: Bandung, Indonesia, 2017

10. Ueda, K.
Infection liver disease.
Educational Lecture Course 2017 in Changchun, Asian Society of Abdominal Radiology: Changchun, China, 2017

11. Ueda, K.
Benign lesions of uterus and ovary.
Educational Lecture Course 2017 in Changchun, Asian Society of Abdominal Radiology: Changchun, China, 2017

12. Wada, T., Yokota, H., Horikoshi, T., Matsueda, k., Uno, T.
Apparent diffusion coefficient histogram and textureanalysis of pleomorphic adenoma and carcinoma ex pleomorphic adenoma of thesalivarygland.
103rd Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America (RSNA): Chicago, USA, 2017

13. 上田和彦
PACS Viewer がエンハンスする画像診断　表示方法の使い分け .
第 36 回日本画像医学会：東京 , 2017

14. 上田和彦
FNH・肝細胞腺腫の画像による鑑別 .
第 17 回関西肝血流動態・機能イメージ研究会：大阪市 , 2017

15. 上田和彦
特別企画 3　診断補助はどこまでできる？ .
第 30 回電子情報研究会学術集会： 松山市 , 2017

16. 上田和彦
医療の質：診断（必須）2. 画像診断報告書 Radiology report.
第 53 回日本医学放射線学会秋季臨床大会： 松山市 , 2017

17. 五味直哉
画像ガイド下生検の適応、マーカー留置など .
第 3 回乳腺画・インターベンション研究会： 東京 , 2017

18. 五味直哉 , 坂井威彦
乳房組織マーカ留置の実際と今後の展望：画像診断医、乳腺外科医、病理医の立場から考える .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

19. 伊藤浩一 , 負門克典 , 渡邉亮輔 , 横井健人 , 和田武 , 松枝清 , 文敏景 , 奥村栄 , 二宮浩範 , 石川雄一
診断に苦慮した単発性腺上皮性乳頭腫の一例 .
第 31 回胸部放射線研究会：2017

20. 和田武 , 田中宏子 , 三谷浩樹 , 佐藤由紀子 , 松枝清
副鼻腔原発 NUT midline carcinoma の 3 例 .
第 46 回頭頸部・胸部画像研究会：東京 , 2017

21. 和田武
骨病変の検査採取と処理方法 .
T × 4 Work Shop（東日本）：東京 , 2017

22. 山元龍哉
神経放射線 SNAP 診断：脳内データベースを鍛える .
第 15 回フィルムリーディング倶楽部東銀座：東京 , 2017

23. 平塚真生子 , 松枝清 , 高澤豊 , 井上陽介 , 齋浦明夫 , 笹平直樹 , 上田和彦 , 河野敦
限局性主膵管狭窄と狭窄部の分枝膵管拡張を示した膵管内管状乳頭腫瘍 .
第 31 回日本腹部放射線学会：旭川市 , 2017

24. 植野映子
脂肪肉腫を極める：画像 .
第 36 回日本画像医学会：東京 , 2017

25. 植野映子
総合診療セミナー 6 骨軟部：単純 X 線で完結する骨関節疾患 2) 骨腫瘍 .
第 36 回日本画像医学会：東京 , 2017

26. 植野映子
軟部腫瘍 .
第 28 回骨軟部放射線診断セミナー： 富山市 , 2017

27. 植野映子
骨腫瘍の CT 評価：最近の CT でできること、できないこと .
第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京 , 2017

28. 植野映子
良性骨腫瘍の画像診断 .
第 53 回日本医学放射線学会秋季臨床大会： 松山市 , 2017

29. 植野映子
色素性絨毛結節性滑膜炎の診断と治療の最前線：色素性絨毛結節性滑膜炎 / 腱鞘巨細胞腫の画像診断 .
第 45 回日本関節病学会：東京 , 2017

30. 田中優美子
卵巣腫瘍の鑑別診断：基本と応用 .
第 5 回昌平坂 Radiology: 東京 , 2017

31. 田中優美子
卵巣腫瘍の鑑別診断：基本と応用 .
第 25 回富山 MR 研究会：富山市 , 2017

32. 田中優美子
画像診断ガイドライン 2016: 改訂ポイントと今後の方向性：婦人科領域の改訂ポイント .
第 76 回日本医学放射線学会総会： 横浜市 , 2017

33. 田中優美子
女性生殖器 .
第 45 回日本磁気共鳴医学会大会： 宇都宮市 , 2017

34. 田中優美子
泌尿器 2.
第 53 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：松山市 , 2017

35. 田中優美子 , 吉川裕之
卵巣上皮性境界悪性腫瘍：妊孕性温存を目指して .
第 29 回つきじ放射線研究会：東京 , 2017

36. 田中優美子
RadioGraphics に推薦される教育展示作成のための 3 つのポイント .
Japanese Seminar in RSNA: 2017

37. 田中優美子
子宮頸癌・子宮内膜癌の適切な画像診断をめざして－日本医学放射線学会・ガイドライン委員会の議論から .
JSAWI（Japanese Society for the Advancement of Women' s Imaging）第 18 回シンポジウム：淡路市 , 2017

38. 田中宏子 , 三谷浩樹 , 川端一嘉 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 瀬戸陽
手術適応者選択のための椎前間隙浸潤の画像所見
第 41 回日本頭頸部癌学会：京都市 , 2017

39. 西山智哉 , 上田和彦 , 平塚真生子 , 藤原良将 , 松枝清 , 齋浦明夫 , 高松学 , 高澤豊 , 和田武 , 伊藤浩一 , 渡邉亮輔 , 伊藤千尋 , 山元龍哉 , 植野映子 , 五味直哉 , 山田恵子 , 田中宏子 , 田中優美子 , 負門克典 , 河野敦
検診にて発見された胆嚢腫瘤の 1 例 .
第 31 回日本腹部放射線学会：旭川市 , 2017

40. 負門克典
肺癌の読影　肺癌候補を正確に診断するために .
第 36 回日本画像医学会：東京 , 2017

41. 負門克典
これから求められる肺癌治療のための画像診断
薬剤性肺障害の画像診断　免疫チェックポイント阻害薬時代のピットフォール .
第 58 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 , 2017

核医学部

1. 中澤脩人 , 梅田拓朗 , 深井翔平 , 上村麻里子 , 大澤敦 , 滝口智洋 , 小泉満
223Ra イメージングを用いた骨転位部位の放射能濃度推定の試み .
第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会：広島市 , 2017

2. 寺内隆司
PET がん検診 .
第 57 回日本核医学会学術総会：横浜市 , 2017

3. 梅田拓朗 , 宮司典明 , 中澤脩人 , 茂木一樹 , 我妻慧 , 三輪建太 , 小泉満
Ra-223 イメージングにおける異なるコリメータを用いた総合感度と総合空間分解能の比較 .
第 73 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市 , 2017

4. 深井翔平 , 梅田拓朗 , 中澤脩人 , 上村麻里子 , 大澤敦 , 滝口智洋 , 小泉満
223Ra イメージングにおける放射能濃度と幾何学的位置が画質に与える影響 .
第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会：広島市 , 2017

5. 茂木一樹 , 宮司典明 , 梅田拓朗 , 滝口智洋 , 寺内隆司 , 小泉満
バックグラウンド放射能濃度が骨 SPECT 描出能および定量値に与える影響 .
日本放射線技術学会第 71 回東京支部春期学術大会：東京 , 2017

遺伝子診療部

1. 佐藤克俊 , 野村幸男 , 岩瀬拓士 , 吉田玲子 , 三木義男 , 新井正美
わが国の BRCA1/2 変異陰性の家族性乳癌患者における RAD51C、PALB2 及び BRIP1 遺伝子変異の解析 .
第 76 回日本癌学会学術総会：横浜市 , 2017

2. 吉田玲子
遺伝性乳癌および卵巣癌の遺伝学的検査 .
第 1 回 JOHBOC 教育セミナー：東京 , 2017

3. 吉田玲子
HBOC 診療について .
遺伝性腫瘍セミナー：大阪市 , 2017

4. 吉田玲子
HBOC.
さいたま赤十字病院　遺伝診療講演会：さいたま市 , 2017

5. 吉田玲子
わが国における HBOC 診療の現状と課題 .
Breast Cancer Scientific Exchange Meeting 2017 in Sapporo: 札幌市 , 2017

6. 吉田玲子
遺伝性乳癌および卵巣癌の遺伝学的検査 .
第 2 回 JOHBOC 教育セミナー：東京 , 2017

7. 吉田玲子
遺伝性腫瘍・がん（2）.
第 41 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：東大阪市 , 2017

8. 吉田玲子 , 島田聡子 , 大野真司 , 新井正美
日本人 BRCA 陽性乳癌に Anticipation（表現促進現象）は認められるか？
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

9. 吉田玲子
genotype より見た日本人 Lynch 症候群の後向視的解析 .
第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会：札幌市 , 2017

10. 吉田玲子
遺伝医療 / 患者支援 .
第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会：札幌市 , 2017

11. 吉田玲子
CoBrCa2017 young debate session.
第 2 回アジア乳がんカンファレンス：東京 , 2017

12. 吉田玲子
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度の方向性 .
日本遺伝子診療学会：遺伝子診断・検査技術推進フォーラム
公開シンポジウム：東京 , 2017

13. 島田聡子 , 吉田玲子 , 竹内抄與子 , 中島絵里 , 北川大 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 新井正美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 川端英孝
BRCA1/2 遺伝子変異陽性者の乳癌サーベイランスの有用性の検討 .
第 25 回日本乳癌学会総会：福岡市 , 2017

14. 新井正美
癌の遺伝カウンセリングと遺伝性腫瘍診療の最近の話題 .
第 13 回 Tokyo Metropolitan Kidney Cancer Meeting: 東京 , 2017

15. 新井正美
遺伝学的検査における遺伝カウンセリングの実際 .
第 23 回日本産婦人科乳腺医学会：東京 , 2017

16. 新井正美
腫瘍分野の臨床遺伝　HBOC とリンチ症候群 .
第 69 回日本産科婦人科学会学術講演会：広島市 , 2017

17. 新井正美
遺伝性腫瘍の診療 .
第 16 回東京医科大学医学セミナー：東京 , 2017

18. 新井正美
家族性腫瘍の遺伝子診療：リンチ症候群の診断と対策 .
第 24 回日本遺伝子診療学会：千葉市 , 2017

19. 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）に対する新たなアプローチ .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

20. 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌症候群データベースの展望と課題 .
第 23 回日本家族性腫瘍学会学術集会：札幌市 , 2017

21. 新井正美
HBOC における遺伝カウンセリングの対象と実際 .
第 32 回日本女性医学学会学術集会： 大阪市 , 2017

22. 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌症候群とリンチ症候群の現状と取り組み .
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会： 福岡市 , 2017

23. 野村幸男 , 樋野興夫 , 新井正美
MLH1 遺伝子と BRCA1 遺伝子プロモーター領域の高感度メチル化 DNA 解析 .
第 76 回日本癌学会学術総会：横浜市 , 2017

病理部

1. 二宮浩範
PD-L1 検査における診断精度向上に向けて .
第 63 回日本病理学会秋期特別総会： 東京 , 2017

2. 二宮浩範 , 石川雄一
小型肺腺癌における画像診断と病理診断の比較 .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

3. 二宮浩範 , 中島康裕 , 榊原里江 , 武藤麻理子 , 松田正典 , 稲村健太郎 , 石川雄一
増殖能、神経内分泌系性の明瞭に異なる 2 成分からなる肺小細胞癌の一例。.
第 76 回日本病理学会関東支部学術集会： つくば市 , 2017

4. 佐藤由紀子
口腔細胞診 SIL を判定するために SIL の細胞像と組織像 .
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会： 福岡市 , 2017

5. 佐藤由紀子 , 山田麻里沙 , 鈴木奈緒子 , 池畑浩一 , 星利良 , 藤山淳三 , 古田則行 , 小松京子 , 杉山裕子 , 石川雄一
長期経過後に両側腎 , 肺転移を来した副咽頭間隙の転移性多型腺腫の 1 例 .
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市 , 2017

6. 前川尚志 , 神田浩明 , 河内洋 , 山本智理子 , 小澤直子 , 杉浦善弥 , 二宮浩範 , 高松学 , 石川雄一
免疫チェックポイント阻害剤関連肝障害の組織学的検討 .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

7. 堀井理絵 , 小林心 , 秋山太
病理学的治療効果判定の現状と今後の展望： 乳癌における組織学的治療効果判定の問題点 .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

8. 大迫智 , 岩瀬拓士 , 荻谷朗子 , 牛嶋大 , 米倉利香 , 吉田和世 , 堀井理絵 , 大野真司 , 秋山太
OSNA 法を用いたセンチネルリンパ節コピー数による乳癌患者の予後の層別化 .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

9. 榊原里江 , 丹保裕一 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 大柳文義 , 奥村栄 , 稲瀬直彦 , 西尾誠人
EBUS-TBNA 検体は PD-L1 発現評価に有用 .
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会： 長崎市 , 2017

10. 武藤麻理子 , 河内洋 , 小林真季 , 高松学 , 山本智理子 , 藤崎順子 , 平澤俊明 , 井田智 , 比企直樹
自己免疫性胃炎における粘膜上皮の組織学的検討 .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

11. 津山直子 , 富田直人 , 坂田征士 , 馬場郷子 , 三島裕子 , 畠清彦 , 竹内賢吾
DLBCL における BCL2 蛋白発現：新しい免疫染色判定法の考案とそのバイオマーカーとしての意義 .
第 57 回日本リンパ網内系学会総会： 東京 , 2017

12. 石川雄一 , 稲村健太郎 , 澤田達男
免疫チェックポイント関連分子 B7-H3 の肺癌における発現 .
第 26 回日本呼吸器外科医学会冬季学術集会：茅野市 , 2017

13. 石川雄一
肺癌の病理診断における新側面：免疫染色とPD-L1の有用性とピットフォール.
第55回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

14. 石川雄一，中島康裕
肉腫型中皮腫に関する調査編.
環境省合同会議：広島市，2017

15. 石川雄一
各種臓器のNET.
第5回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会：仙台市，2017

細胞診断部

1. Sugiyama, Y., Hasumi, K., Motoyama, T., Takazawa, Y., Kanao, H., Katou, K., Utsugi, K., Takeshima, N., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid carcinoma.
第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

2. 古田則行
いまさら聞けない細胞診の基本講座10 骨軟部.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

3. 古田則行
わからん会.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

4. 古田則行
組織病理学，分子生物学，および次世代シークエンジングの統合による融合遺伝子の同定.
第4回がん研細胞検査士養成所学術集会：東京，2017

5. 小松京子
Global Asia Forum.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

6. 小松京子
細胞診における免疫染色.
第4回がん研細胞検査士養成所学術集会：東京，2017

7. 星利良，佐藤由紀子，柳谷典子，池畑浩一，古田則行，小松京子，二宮浩範，石川雄一，宝来威，杉山裕子
NUT midline carcinomaの2例の細胞像について.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

8. 杉山裕子
卵巣・卵管6.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

9. 杉山裕子，小松京子，鈴木奈緒子，藤山淳三，古田則行，的田眞紀，岡本三四郎，宇津木久仁子，高澤豊，竹島信宏
子宮頸部腺系病変の診断：AGCの臨床的取り扱い.
第58回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

10. 杉山裕子
増淵アワード2016 受賞講演：増淵一正先生の思い出.
第4回がん研細胞検査士養成所学術集会：東京，2017

11. 杉山裕子
子宮体部：臨床研究.
第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：熊本市，2017

12. 杉山裕子
HPV感染・ワクチン.
第26回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会：仙台市，2017

13. 杉山裕子，後藤理，荷見勝彦，高澤豊，野田哲生，森誠一
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid carcinoma.
第76回日本癌学会学術総会：横浜市，2017

14. 杉山裕子，野村秀高，新井正美，吉田玲子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，田中優美子，高澤豊，竹島信宏
「それぞれの癌」診断・治療の現状と展望　子宮体癌　遺伝性疾患としての子宮体癌　Lynch 症候群関連子宮体癌．
第 55 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2017

15. 杉山裕子，荷見勝彦，小松京子，野村秀高，的田眞紀，伊藤崇彦，山田麻里沙，鈴木奈緒子，池畑浩一，星利良，藤山淳三，古田則行，宇津木久仁子，高澤豊，竹島信宏
子宮内膜病変における細胞診 - 組織診の連関と限界　早期子宮体がんにおける内膜細胞診 - 組織診の連関と限界．
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

16. 池畑浩一，古田則行，藤山淳三，星利良，鈴木奈緒子，山田麻里沙，伊藤崇彦，小松京子，高澤豊，杉山裕子
消化器領域超音波内視鏡下穿刺吸引における On-site cytology の運用について．
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

17. 池畑浩一
これからの認定病理検査技師に求められる知識と技能「細胞診検査における日常業務のポイント」．
第 66 回日本医学検査学会：千葉市，2017

18. 池畑浩一，森園英智，堀井理絵，坂井威彦，古田則行，小松京子，杉山裕子
穿刺吸引細胞診の良性乳腺病変と共に理解する乳癌診断アプローチ　乳癌と良性病変が併存した症例の細胞像．
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会：福岡市，2017

19. 藤山淳三，小松京子，古田則行，星利良，池畑浩一，鈴木奈緒子，園田大，杉山裕子，石川雄一，宝来威
転移性肺腫瘍の画像と細胞診．
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春季大会）：大阪市，2017

栄養管理部

1. 中濱孝志，井田智，熊谷厚志，望月宏美，伊沢由紀子，高木久美，伊丹優貴子，峯真司，比企直樹
小細胞肺癌患者の化学療法施行時の栄養指標の変化と有害事象の発現状況．
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2017

2. 中濱孝志，松下亜由子
がんの緩和ケアにおける栄養サポート　がん緩和ケアと管理栄養士の役割．
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2017

3. 中濱孝志，井田智，熊谷厚志，望月宏美，松下亜由子，井沢由紀子，川名加織，峯真司，比企直樹
緩和ケア病棟入院希望患者における予後予測の指標としての Glasgow Prognostic Score (GPS) の検討．
第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：岡山市，2017

4. 中濱孝志
がん化学療法施行時の栄養サポート．
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2017

5. 中濱孝志
当院 ICU での血清リン・マグネシウム・カリウム値と Refeeding syndrome に関する調査．
第 5 回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会：東京，2017

6. 中濱孝志，望月宏美，比企直樹
診療科別担当管理栄養士と栄養サポートチーム活動．
第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2017): 福岡市，2017

7. 伊丹優貴子，熊谷厚志，中尾将之，松浦陽介，野間大督，望月宏美，高木久美，峯真司，中濱

孝志，比企直樹
肺癌術後呼吸器合併症と栄養．
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会： 京都市，2017

8. 伊沢由紀子，井田智，川名加織，望月宏美，中濱孝志，縄野一美，速水克，熊谷厚志，峯真司，比企直樹
化学療法中の味覚異常におけるテーストディスクを用いた客観的味覚評価．
第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 岡山市，2017

9. 伊沢由紀子，市村崇，陳頸松，篠崎英司，高張大亮，小倉真理子，若槻尊，大隅寛木，中山厳馬，松島知広，井田智，熊谷厚志，峯真司，比企直樹，山口研成
胃癌・食道癌患者に対する化学療法導入前の栄養指導の有効性についての後方視的解析．
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2017

10. 山口彩，望月宏美，井田智，熊谷厚志，峯真司，中濱孝志，比企直樹
当院の整形外科病棟における化学療法施行中小児患者への栄養介入症例報告．
第 18 回 MeT3・NST 研究会：東京，2017

11. 岡野亜子，井田智，伊丹優貴子，望月宏美，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，松下亜由子，山口彩，榎田滋穂，松島里那，松尾千穂，田畑聡，熊谷厚志，峯真司，中濵孝志，宇津木久仁子，比企直樹
乳癌術後患者の上肢リンパ浮腫の重症度とインピーダンス法を用いた体組成との関連性．
第 19 回メットキューブ・NST 研究会： 東京，2017

12. 川名加織，藤木由佳子，秋山愛，斎藤麻美，仲野兼司，中屋恵梨香，谷村滋穂，井田智，熊谷厚志，峯真司，中濱孝志，比企直樹
頭頸部がん放射線同時併用療法における新たな栄養状態スクリーニング法の有用性．
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会： 京都市，2017

13. 川名加織，藤木由佳子，秋山愛，斎藤麻美，仲野兼司，中屋恵梨香，谷村滋穂，井田智，熊谷厚志，峯真司，中濱孝志，比企直樹
頭頸部がん放射線同時併用療法における新たな栄養状態スクリーニング法の有用性．
第 31 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会：東京，2017

14. 望月宏美，井田智，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，松下亜由子，山口彩，岡野亜子，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹
胃癌術後患者の独居と栄養状態との関係．
第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 岡山市，2017

15. 望月宏美，井田智，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹
胃癌患者における術式別の栄養状態の変化．
第 89 回日本胃癌学会総会：広島市，2017

16. 望月宏美，井田智，熊谷厚志，岡野亜子，榎田滋穂，山口彩，松下亜由子，伊丹優貴子，中屋恵梨香，高木久美，川名加織，伊沢由紀子，中濱孝志，峯真司，比企直樹
独居者における胃切除術後の栄養状態の変化．
日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会： 新潟市，2017

17. 望月宏美，井田智，比企直樹
胃癌患者における周術期集中栄養指導（IDEC：Intensive Diet Counseling）の有用性の検討．
第 5 回日本静脈経腸栄養学会　関東甲信越支部学術集会：東京，2017

18. 望月宏美，熊谷厚志，井田智，中濱孝志，峯真司，比企直樹
病棟での臨床栄養学実践の未来　病棟管理栄養士の常駐にむけて　低栄養患者に対するアプローチ胃切除後の患者における上部消化管外科病棟管理栄養士の取り組み．
第 39 回日本臨床栄養学会総会・第 38 回日本臨床栄養協会総会：東京，2017

19. 望月宏美，井田智，榎田滋穂，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹

胃切除後 1 ヶ月間の除脂肪体重減少の危険因子 .
第 47 回胃外科・術後障害研究会： 横浜市 , 2017

20. 望月宏美 , 井田智 , 熊谷厚志 , 岡野亜子 , 榎田滋穂 , 山口彩 , 松下亜由子 , 伊丹優貴子 , 中屋恵梨香 , 高木久美 , 川名加織 , 伊沢由紀子 , 中濱孝志 , 峯真司 , 比企直樹
胃癌患者の周術期の栄養障害に対して管理栄養士としてできることは何か .
第 79 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2017

21. 村上博文 , 中屋恵梨香 , 伊丹優貴子 , 望月宏美 , 井田智 , 岡野亜子 , 谷村滋穂 , 山口彩 , 松下亜由子 , 高木久美 , 川名加織 , 伊沢由紀子 , 澤上勝 , 絹川斉 , 熊谷厚志 , 峯真司 , 中濱孝志 , 比企直樹
調理師の病棟活動報告　化学療法により味覚異常を引き起こした症例に対する調理員の介入 .
第 18 回 MeT3・NST 研究会：東京 , 2017

22. 松下亜由子 , 峯真司 , 熊谷厚志 , 井田智 , 望月宏美 , 伊沢由紀子 , 川名加織 , 高木久美 , 中屋恵梨香 , 伊丹優貴子 , 山口彩 , 谷村滋穂 , 岡野亜子 , 中濱孝志 , 比企直樹
がん終末期患者における摂取栄養量と栄養状態の実態調査 .
第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 岡山市 , 2017

23. 松下亜由子ほか
がん終末期患者における褥瘡発生と栄養状態 .
第 5 回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会：東京 , 2017

24. 榎田滋穂 , 熊谷厚志 , 伊沢由紀子 , 川名加織 , 高木久美 , 伊丹優貴子 , 松下亜由子 , 山口彩 , 岡野亜子 , 中濱孝志 , 井田智 , 峯真司 , 比企直樹
免疫チェックポイント阻害薬により生じた 1 型糖尿病にカーボカウント法が有効であった顎下腺癌の 1 例 .
第 9 回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部会学術集会：横浜市 , 2017

25. 高木久美 , 熊谷厚志 , 三瀬祥弘 , 齋浦明夫 , 高橋祐 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 中濱孝志 , 峯真司 , 比企直樹
膵頭十二指腸切除施行患者において脂質含有栄養補助食品の経腸投与が術後の栄養状態に及ぼす影響 .
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会： 京都市 , 2017

26. 高木久美 , 井田智 , 三瀬祥弘 , 齋浦明夫 , 高橋佑 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 望月宏美 , 熊谷厚志 , 中濱孝志 , 峯真司 , 比企直樹
膵癌患者において術後補助化学療法開始が遅れる因子について .
第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 岡山市 , 2017

27. 高木久美 , 井田智 , 三瀬祥弘 , 齋浦明夫 , 高橋祐 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 望月宏美 , 熊谷厚志 , 中濱孝志 , 峯真司 , 比企直樹
担がん患者の栄養管理はどうすべきか　膵頭十二指腸切除術施行患者における入院中の体重減少の危険因子について .
日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会： 新潟市 , 2017

看護部

1. 井田恵都 , 赤土朋美 , 庄司大悟 , 原田壮平
がん研有明病院における感染管理システムの導入と SSI サーベイランス：ICN の役割 .
第 30 回日本外科感染症学会総会：東京 , 2017

2. 加藤紀香 , 船越さおり , 鈴木めぐみ , 高橋順子 , 窪田裕子 , 小島静江 , 古波蔵則子 , 白土智子 , 黒田知恵子 , 堀田真弓 , 菊池陽子 , 川島美佳 , 床知恵子 , 花出正美
レゴラフェニブ療法を受ける大腸がん患者の有害事象と電話対応の実態（第 2 報） 手足症候群（HFS）に焦点を当てて .
第 31 回日本がん看護学会学術集会： 高知市 , 2017

3. 大友陽子 , 船越さおり , 川島美佳 , 長崎礼子 , 濱口恵子 , 宮城八重子 , 上田美佐江 , 笹平直樹 , 尾阪将人
切除不能進行膵臓がん患者トータルサポート

プログラム（PANcreatic Direct Approach team: PANDA）による継続支援の評価 .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

4. 小笠原麻衣子 , 野崎美穂 , 原亜里奈 , 梶原裕希 , 伊沢由紀子 , 小田島久美
経口摂取困難な消化器がん患者に対する綿菓子提供の効果　看護師の視点から .
第 31 回日本がん看護学会学術集会： 高知市 , 2017

5. 松浦信子
癌化学療法施行患者におけるストーマ・皮膚・排泄管理　外来がん化学療法中のストーマ保有者への教育 .
第 34 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：名古屋市 , 2017

6. 柱山紀美恵
人工物による乳房再建手術を受けた患者の下着の悩みと要望への対応 .
第 5 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：東京 , 2017

7. 横井麻珠美
抗がん剤曝露に対するトピックス .
第 48 回東京ストーマリハビリテーション研究会：東京 , 2017

8. 池邊美希子 , 佐山郁子 , 高橋優美子
がん専門病院呼吸器科の病棟・外来に勤務する看護師の禁煙支援に関する意識と実践状況調査 .
第 31 回日本がん看護学会学術集会： 高知市 , 2017

9. 濱口恵子
婦人科がん患者に対する緩和医療の適切な実践を目指して　婦人科がん特有の緩和医療とは？看護師の立場から .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

10. 濱口恵子
婦人科がん患者の緩和医療とは？看護師の立場から .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

11. 濱口恵子
話し合える現場になるために　ケアにおける倫理的問題をめぐって .
第 41 回日本死の臨床研究会年次大会：秋田市 , 2017

12. 福島綾華 , 宇津木智子
緩和ケア病棟に勤務する看護師の終末期がん患者へのがんリハビリテーションに関する意識調査 .
第 31 回日本がん看護学会学術集会： 高知市 , 2017

13. 花出正美 , 小野桂子 , 林美子 , 井上さよ子 , 飯野京子 , 細矢美紀 , 關本翌子 , 小野智子 , 中山祐紀子
サポートグループ「がんを知って歩む会」に対するがんサバイバーのニーズ .
第 31 回日本がん看護学会学術集会： 高知市 , 2017

14. 花出正美 , 小野桂子 , 林美子 , 井上さよ子 , 飯野京子 , 細矢美紀 , 關本翌子 , 小野智子 , 中山祐紀子 , ホスピスケア研究会
「がんを知って歩む会」の新規立ち上げ・運営に関する医療者のニーズと課題 .
第 22 回日本緩和医療学会学術大会： 横浜市 , 2017

薬剤部

1. Aoyama, T., Kato, H., Hagino, A., Furutani, R., Ito, K., Yoshioka, H., Nakamura, M., Tsunoda, T., Kawakami, K., Suzuki, K., Ichimura, T., Yamaguchi, K., Hama, T.
Comparison of cisplatin induced nephrotoxicity with short hydration or conventional hydration in gastric cancer—a retrospective study
2017 Gastrointestinal Cancer Symposium (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2017

2. Aoyama, T., Karaki, T., Ito, K., Azuma, K., Hashimoto, K., Furutani, R., Tsunoda, T.,

Kawakami, K., Suzuki, K., Nakano, K., Tomomatsu, J., Fukuda, N., Yuasa, T., Sugiyama, E., Sato, H., Takahashi, S., Hama, T.
The relationship between hepatotoxicity and pazopanib trough plasma concentration in patients with renal cell carcinoma and soft tissue sarcoma.
15th Congress of the International Association of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology (IATDMCT): Kyoto, Japan, 2017

3. Kawakami, K., Suenaga, M., Soejima, A., Sugita, K., Yokokawa, T., Suzuki, K., Inoue, A., Machida, Y., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K., Hama, T.
Self-reported adherence to regorafenib for metastatic colorectal cancer: A retrospective study.
2017 Gastrointestinal Cancer Symposium (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2017

4. Suzuki, K., Tsuji, D., Y., K., Goto, K., Matsui, R., N., S., Hashimoto, H., Hama, T., Yamanaka, T., Itoh, K., Yamamoto, N.
Risk factors of chemotherapy-induced nausea and vomiting during cisplatin regimen in antiemetic triplet regimen including palonosetron or granisetron.
42nd European Society for Medical Oncology (ESMO) 2017 Congress: Madrid, Spain, 2017

5. 中本恵理
がん専門薬剤師になるための 50 症例書き方：薬学的介入事例 3. 甲状腺乳頭がん .
第 9 回日本がん薬剤学会学術大会： 枚方市 , 2017

6. 中野泰寛
曝露対策における米国と日本の現状 USP800 とは何か？抗がん薬曝露対策をみんなで考える .
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017: 新潟市 , 2017

7. 中野泰寛
触ってわかる CSTD.
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017: 新潟市 , 2017

8. 中野泰寛
胃癌アジュバントチームゼロックスの取り組み .
第 2 回胃癌治療 Up to Date: 東京 , 2017

9. 吾妻彗一
安全性と有効性を考慮した新規抗がん薬導入の経験 .
第 3 回日本医薬品安全性学会学術集会：熊本市 , 2017

10. 小林一男
経口抗がん薬のアドヒアランス評価の実践 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

11. 川上和宜
薬剤師だからデキる経口治療薬のアドヒアランスマネジメント：アドヒアランスの評価・向上のスキルを身につけ実践しよう .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

12. 川上和宜
薬剤師だからデキる経口治療薬のアドヒアランスマネジメント .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

13. 川上和宜
肺がんの治療における薬学的ケアの実践 .
東京都病院薬剤師会　第 5 回がん薬物療法専門薬剤師養成研究会：東京 , 2017

14. 杉田一男
医療スタッフとの連携による曝露対策 .
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017: 新潟市 , 2017

15. 杉田一男
薬剤師による研究のススメ：日常業務から新しいエビデンスを求めて .
第 5 回がん専門薬剤師全体会議： 大阪市 , 2017

16. 根本真記
レブメイト管理：がん研有明病院の運用 .
Pharmacy Seminar in Myeloma: 東京 , 2017

17. 根本真記
支持療法から考える「標準治療」.
徳島血液がん治療 Supportive Care Seminar: 徳島市 , 2017

18. 根本真記
薬剤師が主導：レブメイト入院管理のコツ .
セルジーン web セミナー：東京 , 2017

19. 根本真記
新規経口プロテアソーム阻害薬 Team ニンラーロ .
武田 Web 講演会：東京 , 2017

20. 根本真記
リツキサン併用化学療法を安全に実施するために：3 職種の視点から .
中外 e セミナー：東京 , 2017

21. 根本真記ほか
薬剤師の視点をプラス！腫瘍崩壊症候群マネジメント .
第 79 回日本血液学会学術集会：横浜市 , 2017

22. 横川貴志
手足症候群の評価とマネジメント：大腸がん症例を通じて
東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座：東京 , 2017

23. 横川貴志 , 尾阪将人 , 奈良林至 , 中本恵理 , 長崎礼子 , 濱口恵子 , 大友陽子 , 床知恵子 , 上田美佐江 , 松下亜由子 , 船越さおり , 濱敏弘 , 笹平直樹
進行膵癌患者 Total Support Program（PANcreatic Direct Approach team）の現状と課題 .
第 48 回日本膵臓学会大会：京都市 , 2017

24. 濱敏弘 , 式部さあ里
東京都がん診療連携協議会薬剤師研修部会の事例 .
H28 年度地域におけるがん化学療法に関する薬剤師研修企画・実施に関する指導者養成研修：東京 , 2017

25. 濱敏弘
がん薬物療法の曝露対策の現状と課題 .
岩手医科大学腫瘍センター講演会： 盛岡市 , 2017

26. 濱敏弘
薬剤師外来の進化とシームレスな薬学ケア .
薬剤師フォーラム in Tokyo: 東京 , 2017

27. 濱敏弘
がん専門薬剤師の取り組みにおける最近の話題 .
2nd. 中国四国ブロックがん専門薬剤師フォーラム in 広島：広島市 , 2017

28. 濱敏弘
がん薬物療法における曝露対策 .
平成 28 年度諏訪赤十字病院がん薬物療法講演会：諏訪市 , 2017

29. 濱敏弘
医療機関におけるリスク最小化活動 .
レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会認定コース：東京 , 2017

30. 濱敏弘
がんを知る：抗がん薬治療について .
長く、健康的に生きるために：大腸がん治療とジェネリック医薬品：東京 , 2017

31. 濱敏弘
支持療法に対する薬剤師のかかわり方 .
H29 年度第 1 回東京都がん薬物療法専門薬剤師養成研究会：東京 , 2017

32. 濱敏弘
抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対応について .
抗がん剤曝露対策セミナー in 山口： 山口市 , 2017

33. 濱敏弘
がん治療に伴う副作用対策：末梢神経障害・便秘 .
第 5 回がんサポーティブケア研究会東京 , 2017

34. 濱敏弘
抗がん薬暴露対策の現状と将来 .
第 9 回日本がん薬剤学会学術大会： 枚方市 , 2017

35. 濱敏弘
最適な制吐療法を考える .
第 11 回日本緩和医療薬学会年会： 札幌市 , 2017

36. 濱敏弘
抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と教育 .
第 20 回日本医薬品情報学会総会・学術大会：東京 , 2017

37. 濱敏弘
治療が変わらなくても予後は延びる！：薬薬連携による内分泌療法副作用対策の試み .
第 25 回日本乳癌学会学術総会：福岡市 , 2017

38. 濱敏弘
がん薬物療法に対する薬剤師のかかわり方 .
日本ＣＰ（コミニティーファーマシー）研究会：東京 , 2017

39. 濱敏弘
副作用マネジメント方法の共有とディスカッション .
乳癌マネジメントカンファレンス： 東京 , 2017

40. 濱敏弘
薬剤師外来の進め方 .
東京都がん診療連携拠点病院薬剤師研修会： 東京 , 2017

41. 濱敏弘
がんチーム医療を構成する他職種が期待する薬剤師の専門性 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

42. 濱敏弘
がん薬物療法における薬学的介入の実際と症例サマリのまとめ方 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

43. 濱敏弘
平成 28 年度がん専門薬剤師等の認定審査結果と動向 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

44. 濱敏弘
がん薬物療法におけるステークホルダーとリスクコミュニケーション .
第 27 回日本医療薬学会年会：東京 , 2017

45. 濱敏弘
安全な化学療法の実践 .
日本医療薬学会がん専門薬剤師養成集中講座：福岡市 , 2017

46. 濱敏弘
抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対応について .
滋賀県抗がん剤曝露対策セミナー： 大津市 , 2017

47. 鈴木亘
がん薬物療法における安全管理：新薬導入時のマネジメント .
リスクマネジメントセミナー in 大阪南医療センター：大阪市 , 2017

48. 鈴木亘
口内炎　症例提示：がん研有明病院 .
乳がんマネジメントカンファレンス： 東京 , 2017

49. 鈴木亘
薬剤師外来の取り組み:がん研有明病院の現状 .
東京都がん診療連携拠点病院薬剤師研修会： 東京 , 2017

50. 鈴木亘
がん研有明病院における薬剤師外来の取り組み .
茨城県北薬剤師勉強会：日立市 , 2017

51. 鈴木健一 , 辻大樹
薬剤師が拓く支持療法個別化への道 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

52. 鈴木賢一
支持療法 .

平成 28 年度がん専門薬剤師集中教育講座 (東京会場・2 回目): 東京 , 2017

53. 鈴木賢一
肺がん化学療法における副作用マネジメント .
大分オンコロジー研修会：大分市 , 2017

54. 鈴木賢一
肺がんの基礎知識 .
日本臨床腫瘍学会スタートアップセミナー：東京 , 2017

55. 鈴木賢一 , 辻大樹 , 西尾誠人 , 濱敏弘 , 山本信之 , 伊藤邦彦
制吐療法の個別化：シスプラチンを含む化学療法における最適な制吐療法の開発 .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

56. 青山剛
どうしていますか！胃癌に対するオキサリプラチンベースの化学療法の服薬指導 .
第8回がん薬物療法マネジメント研究会：東京, 2017

57. 青山剛
チームサイラムザにおける薬剤師の関わり .
盛岡消化器講演会：盛岡市 , 2017

58. 青山剛
悪性軟部腫瘍および腎細胞癌における血中パゾパニブトラフ濃度と肝障害の関連性について .
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2017

59. 青山剛
ラムシルマブを上手に使うコツ（RAM+PTX 療法・RAM+FOLFIRI 療法）：チームサイラムザの 2 年の経験から .
第 55 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2017

60. 青山剛
悪性軟部腫瘍および腎細胞癌におけるパゾパニブ薬物動態からみた個別化への可能性 .
第 27 回日本医療薬学会年会：千葉市 , 2017

医療安全管理部

1. Yasuda, C., Shiina, M.
Relevance of the pulmonary embolism with and without cancer of for 3 years in an academic medical center.
第 39 回日本血栓止血学会学術集会：名古屋市 , 2017

2. 保田知生
癌と血栓症の関連性　疫学と凝固線溶基礎知識 .
第 106 回日本病理学会総会：東京 , 2017

3. 保田知生 , 山田典一 , 中野赳 , 小林隆夫 , 武田亮二 , 春田祥治 , 椎名昌美
VTE　安全管理と院内発症 APE の予防　肺塞栓症と深部静脈血栓症および静脈血栓塞栓症における患者実態調査報告 .
第 37 回日本静脈学会総会：徳島市 , 2017

4. 保田知生
癌治療における凝固線溶亢進の病態と管理：Pathophysiological assessment of hyper-coagulability and hyper-fibrinolysis in cancer patient, and management of venous thromboemb- olism with malignant tumor.
第 39 回日本血栓止血学会学術集会：名古屋市 , 2017

5. 保田知生
血栓性疾患の診断とその解釈：静脈血栓塞栓症 VTE の病態と診断 .
第 18 回日本検査血液学会学術集会： 札幌市 , 2017

6. 保田知生 , 宇津木久仁子 , 坂田尚英
着圧測定器と HOSY の比較による誤差と弾性ストッキングの伸び硬度の検討 .
第 58 回日本脈管学会総会：名古屋市 , 2017

7. 保田知生 , 坂田尚英
下肢静脈うっ滞性潰瘍に対する治療戦略　静脈性潰瘍における圧迫療法の重要性 .
第 47 回日本創傷治癒学会：京都市 , 2017

8. 保田知生
Cardio Oncology から考える肺塞栓症マネージメント .
第 24 回肺塞栓症研究会・学術集会 : 東京 , 2017

9. 布施卓美 , 川上和宜 , 保田知生 , 長田理
がん治療に伴うインスリン投与に関連したインシデントアクシデントの背景要因 .
第 3 回日本医療安全学会学術総会 : 東京 , 2017

10. 長田理
院内事項調査の実際−資料作成と委員会の進め方 : 新しい医療事項調査制度における自己調査 .
第 64 回日本麻酔科学会学術集会 : 神戸市 , 2017

11. 長田理
プロフォールで発展した日本の全身麻酔 .
第 64 回日本麻酔科学会学術集会 : 神戸市 , 2017

企画・品質管理部

1. Ishizuka, N., Yamanaka, K., Tanaka, N.
Practical sample size re-estimation of propensity score analysis for prospective study.
4th International Clinical Trials Meth- odology Conference (ICTMC) and the 38th Annual Meeting of the Society for Clinical Trials: Liverpool, UK, 2017

2. Takashima, A., Takahari, D., Ishizuka, N., Katai, H., Nakajima, T. E., Ohashi, M., Mikami, S., Takahashi, S., Sano, T., Boku, N., Yamaguchi, K.
A feasibility study of TAS-118 plus oxaliplatin as perioperative chemotherapy for locally advanced gastric cancer.
42nd European Society for Medical Oncology (ESMO) Congress: Madrid, Spain, 2017

健診センター

1. 北村直人
重症患者のドレーン・チューブ類の適正な位置と安全な管理重症患者のドレーン・チューブ類の適正な位置と安全な管理 .
第 12 回医療の質・安全学会学術集会 : 千葉市 , 2017

【2018 年度】

呼吸器内科

1. 西尾誠人
がん薬物療法の進歩　特に肺癌領域におけるがん免疫療法の現状 .
第 28 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会 : 大分市 , 2018

2. 道津洋介 , 堀池篤 , 吉澤孝浩 , 園田智明 , 神山潤二 , 齊木雅史 , 有安亮 , 内堀健 , 西川晋吾 , 北園聡 , 柳谷典子 , 宝来威 , 西尾誠人 , 二宮浩範 , 石川雄一
EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対する PD-1 抗体の有効性の検討 .
第 181 回日本肺癌学会関東支部学術集会 : 東京 , 2018

3. 西尾誠人 , 高橋利明 , 吉岡弘鎮 , 中川和彦 , 福原達朗 , 山田一彦 , 一木昌郎 , 田中洋史 , 瀬戸貴司 , 酒井洋 , 笠原寿郎 , 里内美弥子 , 野口一夫 , 嶋本隆司 , 加藤晃史
KEYNOTE-025　日本人既治療 PD-L1 陽性非小細胞肺がんに対するペムブロリズマブの Phase Ib 試験 .
第 58 回日本呼吸器学会学術講演会 : 大阪市 , 2018

4. 西尾誠人
PD-L1 陽性非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤 .
第 58 回日本呼吸器学会学術講演会 : 大阪市 , 2018

5. 吉澤孝浩 , 西川晋吾 , 齊木雅史 , 神山潤二 , 園田智明 , 道津洋介 , 内堀健 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 大柳文義 , 西尾誠人
新型デバイス ViziShot 2TM で EBUS-TBNA の診断率は向上するか ?
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 : 東京 , 2018

6. 堀池篤
実臨床から考える ROS1 肺がん治療戦略 .
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京 , 2018

7. 西尾誠人
気管支充填術 2.
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京 , 2018

8. 西尾誠人
肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の現状と展望 .
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京 , 2018

9. 齊木雅史 , 西川晋吾 , 吉澤孝浩 , 道津洋介 , 神山潤二 , 園田智明 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 大柳文義 , 西尾誠人
気管支鏡検査中に急性大動脈解離をきたした 1 例 .
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京 , 2018

10. Ariyasu, R., Uchibori, K., Kiyotani, K., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Nishizawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Nishio, M., Katayama, R.
Identification of osimertinib resistance mechanisms using plasma cell-free DNA and tissue biopsy in EGFR-mutated T790M-positive Japanese patients with lung cancer.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2018

11. Dotsu, Y., Horiike, A., Yoshizawa, T., Sonoda, T., Koyama, J., Saiki, M., Ariyasu, R., Uchibori, K., Nishizawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Programmed death-ligand 1 expression after progressive disease with EGFR-TKI and efficacy of anti-programmed death-1 antibody in non-small cell lung cancer (NSCLC) harboring EGFR mutation.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2018

12. Koyama, J., Horiike, A., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Saiki, M., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishizawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Correlation between the TTF-1 expression and immune-related thyroid dysfunction and efficacy of anti-PD1 treatment in non-small cell lung cancer.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2018

13. 柳谷典子 , 星利良 , 小松京子 , 杉山裕子 , 石川雄一 , 宝来威
肺がん個別化治療における細胞診の有用性 .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

14. 内堀健 , 西尾誠人 , 稲瀬直彦 , 藤田直也 , 片山量平
オシメルチニブ初回治療のシーケンスで予想される耐性機構としての多重変異について .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

15. 吉澤孝浩 , 柳谷典子 , 道津洋介 , 園田智明 , 神山潤二 , 齊木雅史 , 有安亮 , 内堀健 , 西川晋吾 , 北園聡 , 堀池篤 , 西尾誠人
抗 PD − 1 抗体投与後に放射線肺臓炎が再燃した非小細胞肺癌症例の検討 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

16. 柳谷典子
AYA 世代のがん患者とどう関わるか：事例を通して考える：治療中・社会復帰時 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

17. 西尾誠人
免疫チェックポイント阻害剤の副作用とその対策 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

18. Horiike, A., Takahashi, T., Nokihara, H., Yanagitani, N., Kenmotsu, H., Fujiwara, Y., Tambo, Y., Kanda, S., Nishio, M., Tamura, T.
A phase I/II study evaluating the combination of resminostat and docetaxel for platinumpPretreated NSCLC.
IASLC 19th World Conference on Lung Cancer: Toronto, Canada, 2018

19. Nishio, M.
Novel Mechanisms for Molecular Profiling.
IASLC 19th World Conference on Lung Cancer: Toronto, Canada, 2018

20. Nishio, M., Nishio, K., Suzukawa, K., Omori, Y., Enatsu, S., Visseren-Grul, C., Nakagawa, K.
RELAY+, an exploratory study of gefitinib with ramucirumab in untreated patients with EGFR mutation-positive metastatic NSCLC.
IASLC 19th World Conference on Lung Cancer: Toronto, Canada, 2018

21. Oguri, T., Hiraide, M., Shiga, T., Yasuda, C., Nishio, M., Takahashi, S.
Safety and efficacy of direct oral anticoagulants vs. warfarin for Japanese lung cancer patients with thromboembolism in real world settings.
4th ESMO Asia 2018 Congress: Singapore, 2018

22. Nishio, M., Lee, J. S.
First-line nivolumab + ipilimumab in advanced NSCLC: CheckMate 227 Asian subpopulation analysis.
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

23. 内堀健 , 網野喜彬 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 宝来威 , 西尾誠人
オシメルチニブ投与のため繰り返し組織採取を行う意義について .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

24. 内堀健 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 西尾誠人 , 稲瀬直彦 , 藤田直也 , 片山量平
初回治療オシメルチニブ後に予想される変異蓄積による獲得耐性機構 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

25. 北園聡 , 網野喜彬 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 吉澤孝浩 , 内堀健 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 宝来威 , 西尾誠人
免疫チェックポイント阻害薬の副作用対策について　免疫関連有害事象発現後の抗 PD-1 抗体薬再投与の安全性 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

26. 吉澤孝浩 , 堀池篤 , 網野喜彬 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 内堀健 , 北園聡 , 柳谷典子 , 宝来威 , 二宮浩範 , 石川雄一 , 西尾誠人
希少肺癌（Ret、ROS1、BRAF 陽性）の治療希少遺伝子変異陽性肺癌に対する抗 PD-1 抗体の有効性の検討 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

27. 堀池篤 , 吉澤孝浩 , 植松慎矢 , 網野喜彬 , 長谷川司 , 内堀健 , 北園聡 , 柳谷典子 , 西尾誠人
オシメルチニブ投与の有無による EGFR T790M 変異陽性肺がんの生存期間の比較 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

28. 柳谷典子 , 片山量平 , 網野喜彬 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 吉澤孝浩 , 内堀健 , 北園聡 , 堀池篤 , 宝来威 , 西尾誠人
ALK 融合遺伝子陽性肺癌における ALK 阻害剤耐性機序の検討 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

29. 植松慎矢 , 内堀健 , 網野喜彬 , 長谷川司 , 吉澤孝浩 , 北園聡 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 西尾誠人
ROS1 陽性肺癌に対するクリゾチニブの効果に関する検討　ALK 陽性肺癌と比較して .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

30. 網野喜彬 , 北園聡 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 吉澤孝浩 , 内堀健 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 宝来威 , 西尾誠人
化学放射線療法後の再発症例に対する抗 PD-1 抗体薬の治療効果および有害事象に関する検討 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

31. 西尾誠人
免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカー腫瘍の多様性と治療効果予測 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

32. 西尾誠人
希少肺癌 (Ret, ROS1, BRAF 陽性) の治療 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

33. 長谷川司 , 柳谷典子 , 網野喜彬 , 植松慎矢 , 吉澤孝浩 , 内堀健 , 北園聡 , 堀池篤 , 宝来威 , 西尾誠人
未治療非小細胞肺癌における Pembrolizumab 投与症例の有効性と無効例の検討 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

34. 西尾誠人
呼吸器領域における免疫チェックポイント阻害薬の使用経験と irAE 対策 .
第 60 回日本消化器病学会大会（JDDW 2018）：神戸市 , 2018

35. 西尾誠人 , 網野喜彬 , 北園聡 , 植松慎矢 , 長谷川司 , 吉澤孝浩 , 内堀健 , 柳谷典子 , 堀池篤 , 宝来威
進行非小細胞肺癌に対する Atezolizumab の治療効果および有害事象に関する検討 .
第 183 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京 , 2018

呼吸器外科

1. 園田大 , 中尾将之 , 三ツ堀隼弘 , 加藤大喜 , 平田佳史 , 一瀬淳二 , 松浦陽介 , 二宮浩範 , 文敏景 , 石川雄一 , 中川健 , 奥村栄
後縦隔巨大脂肪肉腫の 1 切除例 .
第 176 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京 , 2018

2. 三ツ堀隼弘 , 松浦陽介 , 加藤大喜 , 園田大 , 平田佳史 , 一瀬淳二 , 中尾将之 , 文敏景 , 中川健 , 奥村栄 , 二宮浩範 , 石川雄一 , 負門克典
粘液産生性腺癌様の画像所見を呈した腺扁平上皮癌の 1 切除例 .
第 181 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京 , 2018

3. Mun, M.
Thoracoscopy-assisted lung segmentectomy using infrared imaging system.
台湾胸部外科学会：台北 , 2018

4. 文敏景 , 一瀬淳二 , 松浦陽介 , 中尾将之 , 中川健 , 奥村栄
Effort of new VATS approach with safety and radicality.
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京 , 2018

5. 文敏景 , 一瀬淳二 , 松浦陽介 , 中尾将之 , 中川健 , 奥村栄
Novel technique of indocyanine green fluorescence navigated thoracoscopic lung segmentectomy.
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京 , 2018

6. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakagawa, K., Okumura, S.
Indocyanine green fluorescence-navigated thoracoscopic right S9+10 segmentectomy for intralobar sequestration with congenital diaphragmatic hernia.
26th European Society of Thoracic Surgeons (ESTS) Meeting: Ljubljana, Slovenia, 2018

7. Nakao, M., Kawaguchi, Y., Kondo, Y., Mitsubori, T., Ichinose, J., Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Radiological findings and tumor invasiveness of small lung adenocarcinoma according to the eighth edition of the TNM classification.
26th European Society of Thoracic Surgeons (ESTS) Meeting: Ljubljana, Slovenia, 2018

8. 一瀬淳二 , 三ツ堀隼弘 , 松浦陽介 , 中尾将之 , 文敏景 , 中川健 , 奥村栄
小型肺病変に対する侵襲的術前マーキングは過剰に行われていないか .

第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

9. 一瀬淳二，三ツ堀隼弘，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
肺葉切除後脳梗塞リスク因子の検討　肺静脈切離法によって予防可能か．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

10. 三ツ堀隼弘，松浦陽介，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
間質性肺炎合併肺癌術後の急性増悪リスクスコアの有用性と他のリスク因子の検討．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉氏，2018

11. 中尾将之，二宮浩範，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，石川雄一，奥村栄
肺腺癌における TNM 第 8 版 pT 分類の意義と実臨床への応用．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

12. 中尾将之
胸腔鏡手術、私はこう教わり、こう教えている：変遷、そして定型化．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

13. 加藤大喜，中尾将之，三ツ堀隼弘，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄
HFJ（高頻度ジェット換気）を用いた気管腫瘍に対する気管管状切除術．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

14. 奥村栄，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
肺癌に対するリンパ節郭清．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

15. 文敏景
ICG 蛍光を用いた胸腔鏡下肺区域切除術の実際．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

16. 文敏景，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
両側 major pulmonary resection を行った両側多発肺癌の臨床病理学的検討．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

17. 文敏景
廓清の流儀．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

18. 松浦陽介
1955 年から踏襲されてきた当院の肺癌手術記録．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

19. 松浦陽介，三ツ堀隼弘，加藤大喜，園田大，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
NCD Feedback における Risk Calculator の有用性と活用法の検証．
第 35 回日本呼吸器外科学会総会・学術総会：千葉市，2018

20. 奥村栄
胸腔鏡手術・悪性．
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2018

21. 松浦陽介
私の手術手技：継承と変遷．
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：東京，2018

22. 近藤泰人，松浦陽介，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
術中気管支鏡下マーキングを施行した胸腔鏡下右肺 S6 区域切除術の 1 例．
第 165 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会：東京，2018

23. 河口洋平，松浦陽介，近藤泰人，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄，二宮浩範，石川雄一
稀な経過を示し気管支断端陽性となった末梢型扁平上皮癌の 1 切除例 .
第 182 回日本肺癌学会関東支部会：東京，2018

24. Ichinose, J., Nakao, M., Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Okumura, S.
Utility of the maximum CT vallue in predicting invasivenss of pure GGNS.
IASLC 19th World Conference on Lung Cancer: Toronto, Canada, 2018

25. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M., Okumura, S.
Analyses of long-term outcomes and prognostic factors in surgically resected ALK-rearranged lung adenocarcinoma.
IASLC 19th World Conference on Lung Cancer: Toronto, Canada, 2018

26. 中尾将之，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，二宮浩範，石川雄一，奥村栄
後縦隔巨大脂肪肉腫の 1 切除例 .
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：東京，2018

27. 奥村栄
呼吸器：治療方針 1.
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：東京，2018

28. 文敏景
胸腔鏡下手術のトラブル対策 .
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：2018

29. 文敏景，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
胸腔鏡下肺葉切除術後に再開胸止血術を要した症例の原因と対策 .
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：東京，2018

30. 松浦陽介，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
ALK 陽性肺癌切除症例の長期成績と予後規定因子の解析 .
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：東京，2018

31. 一瀬淳二，河口洋平，近藤泰人，三ツ堀隼弘，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
最大 CT 値を指標とした pure GGN 病変の悪性度予測 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

32. 三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，負門克典，寺内隆司，奥村栄
肺癌術後の間質性肺炎急性増悪予測における FDG-PET の有用性 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

33. 中尾将之，北園聡，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，西尾誠人，奥村栄
M 因子診断の費用対効果　術前 M 因子検索の費用対効果　part-solid GGN に術前 M 因子検索は必要か？
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

34. 奥村栄，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健
右残存肺全摘術 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

35. 奥村栄
気管支形成 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

36. 文敏景，三ツ堀隼弘，河口洋平，近藤泰人，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
80 歳以上高齢者肺癌に対する胸腔鏡下手術の成績 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

37. 文敏景
予後因子 4.
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

38. 松浦陽介，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，二宮浩範，石川雄一，西尾誠人，奥村栄
ALK 陽性肺癌治療の最大効果　術後再発症例からみる ALK 陽性肺癌治療の最大効果．
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

39. 河口洋平，中尾将之，近藤泰人，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，負門克典，二宮浩範，石川雄一，奥村栄
3 次元 CT を用いた充実成分体積は浸潤癌や脈管侵襲を予測できるか？
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

40. 近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，稲村健太郎，二宮浩範，文敏景，石川雄一，中川健，奥村栄
右下葉肺癌における S6 原発と底区原発の臨床病理学的比較．
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

41. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，中川健，奥村栄
拡大視下で膜を利用した胸腔鏡下リンパ節郭清．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

42. 河口洋平，松浦陽介，近藤泰人，三ツ掘隼弘，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
根治性の担保と合併症軽減との両立を目指す当科の手術手技．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

43. 一瀬淳二，文敏景，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
高度分葉不全や葉間浸潤症例に対する前方アプローチ法の有用性．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

44. 三ツ堀隼弘，松浦陽介，川口洋平，近藤泰人，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
無分葉の右上中葉間に発生した GGN に対し、ICG 蛍光法を用いて胸腔鏡下中葉切除 +S3 合併部分切除を施行した 1 例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

45. 中尾将之，文敏景，河口洋平，近藤泰人，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，中川健，奥村栄
当科における胸腔鏡手術の教育体制と課題．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

46. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，三ツ堀隼弘，河口洋平，近藤泰人，中川健，奥村栄
リンパ節を損壊しない胸腔鏡下リンパ節郭清術．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

47. 松浦陽介，文敏景，近藤泰人，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，中尾将之，中川健，奥村栄
若手が望む胸腔鏡安全技術認定制度の方向性．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

48. 河口洋平，一瀬淳二，近藤泰人，三ツ堀隼弘，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄
胸骨に広く接する前縦隔進展肺癌に対して胸腔鏡と胸骨正中切開の併用アプローチが有用であった 1 例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

49. 近藤泰人，中尾将之，河口洋平，三ツ堀隼弘，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄
両側同時性多発肺癌に対して一期的に胸腔鏡下両側肺葉切除を施行した 1 例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

消化器化学療法科

1. Fukuda, N., Kawai, S., Omae, K., Mitani, S., Wakatsuki, T., Kato, K., Kadowaki, S., Takahari, D., Boku, N., Muro, K., Machida, N.
Retrospective observational study of salvage line ramucirumab monotherapy (RAM) for patients (pts) with unresectable advanced gastric cancer (AGC) which was refractory to fluoropyrimidine and taxanes.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

2. Nagaoka, T., Shinozaki, E., Watanabe, R., Ueno, E., Ota, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Suenaga, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K.
Clinical significance of morphologic response and tumor shrinkage as predictive factors of Capeox+bevacizumab in 1st line treatment of metastatic colorectal cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

3. Oguri, T., Takahari, D., Ota, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
The clinical analysis of thromboembolism in esophagogastric cancer in Japan: A single institute experience.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

4. Ota, Y., Wakatsuki, T., Mashima, T., Takahari, D., Chin, K., Ichimura, T., Ogura, M., Matsushima, T., Osumi, H., Nakayama, I., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kawata, N., Horiike, Y., Seimiya, H., Fujita, N., Yamaguchi, K.
Plasma biomarker dynamics following ramucirumab treatment and survival analysis after ramucirumab treatment failure in patients with advanced gastric cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

5. Shinozaki, E., Konishi, T., Sakata, S., Osumi, H., Ueno, M., Yamaguchi, K., Takeuchi, K.
Association of malignant potential of BRAF mutant colorectal cancer with coexpression of PD-L1.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

6. Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N., Dan, S., Wakatsuki, T., Shinozaki, E., Ichimura, T., Ogura, M., takahari, D., Osumi, H., Ota, Y., Chin, K., Seimiya, H., Yamaguchi, K., Yamaguchi, T.
Identification of biomarkers for TAS-102 efficacy in metastatic colorectal cancer patients based on preclinical analysis and clinical validation.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2018

7. Takahari, D., Wakatsuki, T., Mashima, T., Chin, K., Ichimura, T., Ogura, M., Matsushima, T., Osumi, H., Nakayama, I., Ota, Y., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kawata, N., Horiike, Y., Seimiya, H., Fujita, N., Yamaguchi, K.
Plasma biomarker analysis of ramucirumab in Japanese patients with advanced gastric cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

8. Takahashi, R., Wakatsuki, T., Shinozaki, E., Taguchi, S., Fujimoto, Y., Osumi, H., Ota, Y., Matsushima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Suenaga, M., Chin, K., Oguchi, M., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Chemoradiation for the treatment of locoregional squamous cell carcinoma of the anal canal: A single center retrospective analysis in Japan.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

9. Ushida, Y., Shinozaki, E., Chin, K., Suenaga, M., Takahari, D., Ozaka, M., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Matsushima, T., Osumi, H., Ota, Y., Yamaguchi, K.
Clinical outcomes of anti-EGFR antibody treatment for right-sided colon cancer patients without RAS, BRAF, and PIK3CA mutations in the later line.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

10. Yagi, S., Shinozaki, E., Chin, K., Suenaga, M., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Ozaka, M., Nakayama, I.,

Matsushima, T., Osumi, H., Yamaguchi, K.
Clinical impact of diverting ileostomy on the dose intensity of adjuvant chemotherapy for colorectal cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

11. 篠崎英司
大腸がん化学療法の最前線　当施設における大腸がん化学療法と研究開発 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会： 東京 , 2018

12. 高張大亮 , 横川貴志
胃癌化学療法の現状とチーム医療　薬剤師外来の実際 .
日本薬学会第 138 年会：金沢市 , 2018

13. 山口研成
胃癌化学療法：新ガイドラインを踏まえて .
第 51 回制癌剤適応研究会：下呂市 , 2018

14. Chin, K.
Theropeutic strategy for patients with unresectable or recurrentadvanced gastric cancer.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

15. Nakayama, I.
Adjuvant chemotherapy.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

16. Nakayama, I., Shinozaki, E., Sakata, S., Yamamoto, N., Baba, S., Takeuchi, K., Yamaguchi, K., Noda, T.
The significance of CLDN18-ARHGAP fusion gene in gastric cancers.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

17. Yamaguchi, K.
Clinical study 1.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

18. 大隅寛木 , 篠崎英司 , 山本智理子 , 陳勁松 , 小倉真理子 , 高張大亮 , 若槻尊 , 市村崇 , 太田弓子 , 中山厳馬 , 齋浦明夫 , 山口俊晴 , 山口研成
進行胃癌における原発、肝転移間の HER2 関連の分子表現マーカーの比較とその臨床的意義に関する検討 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

19. 市村崇 , 陳勁松 , 高張大亮 , 小倉真理子 , 篠崎英司 , 末永光邦 , 若槻尊 , 大隅寛木 , 中山厳馬 , 太田弓子 , 山口研成
高度腹水を有する進行胃癌に対する腹水濾過濃縮再静注法（CART）併用化学療法についての後方視的解析 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

20. 牛田雄太 , 陳勁松 , 末永光邦 , 布部創也 , 篠崎英司 , 高張大亮 , 小倉真理子 , 市村崇 , 若槻尊 , 山口研成
Conversion therapy における術後 TS-1 内服療法と生存期間についての検討 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

21. 若槻尊 , 高張大亮 , 馬島哲夫 , 陳勁松 , 市村崇 , 小倉真理子 , 大隅寛木 , 太田弓子 , 中山厳馬 , 山口研成
ラムシルマブ治療中における血漿バイオマーカーの変動およびラムシルマブ治療後の予後の解析 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

22. 陳勁松 , 小倉真理子 , 篠崎英司 , 市村崇 , 若槻尊 , 末永光邦 , 松島知宏 , 中山厳馬 , 大隅寛木 , 太田弓子 , 山口研成
80 歳以上の転移進行胃癌症例への G8 screening tool による高齢者評価の意義 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

23. 高張大亮
トランスリーショナルリサーチ .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

24. Osumi, H., Shinozaki, E., Zembutsu, H., Takeda, Y., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ota, Y., Nakayama, I., Ogura, M., Suenaga, M., Takahari, D., Chin, K., Saiura, A., Yamaguchi, K.
Clinical relevance of circulating cell-free DNA using amplicon-based next-generation sequencing panel in colorectal cancer patients with liver metastasis.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA., 2018

25. 若槻尊 , 山本智理子 , 山口研成
HER2 陽性胃がんにおける腫瘍内 HER2 heterogeneity の trastuzumab 併用化学療法治療効果予測の意義 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

26. Shinozaki, E., Kawazoe, A., Kuboki, Y., Komatsu, Y., Nishina, T., Hara, H., Yuki, S., Shitara, K., Bando, H., Kotani, D., Takahashi, K., Mikamoto, Y., Hasegawa, H., Hirano, N., Nomura, S., Togashi, Y., Nishikawa, H., Sato, A., Ohtsu, A., Yoshino, T.
Multicenter phase I/II trial of BBI608 and pembrolizumab combination in patients with metastatic colorectal cancer (SCOOP Study): EPOC1503.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2018

27. Osumi, H., Shinozaki, E., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Suenaga, M., Yamaguchi, M.
Amrubicin in patients with platinum-refractory metastatic neuroendocrine carcinoma of the gastrointestinal tract.
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer 2018: Barcelona, Spain, 2018

28. Osumi, H., Shinozaki, E., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Suenaga, M., Yamaguchi, K.
First - line mFOLFOX6 for peritoneal disseminated gastric cancer with massive ascites or inadequate oral intake.
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer 2018: Barcelona, Spain, 2018

29. Osumi, H., Shinozaki, E., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Suenaga, M., Yamaguchi, K.
Is the PEG-G-CSF useful as the prevention for the severe neutropenia in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLFOXIRI plus bevacizumab? .
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer 2018: Barcelona, Spain, 2018

30. 大木暁
Arsenic promotes the malignant stemness properties of urothelial cells via the COX2/PGE2-SOX2 axis.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

31. 大隅寛木 , 篠崎英司 , 若槻尊 , 末永光邦 , 市村崇 , 小倉真理子 , 太田弓子 , 中山厳馬 , 高張大亮 , 陳勁松 , 山口研成
プラチナ製剤不応の消化管原発の切除不能・再発神経内分泌癌に対するアムルビシン単剤療法の治療成績に関する検討 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

32. 大隅寛木 , 篠崎英司 , 若槻尊 , 末永光邦 , 市村崇 , 小倉真理子 , 太田弓子 , 中山厳馬 , 高張大亮 , 陳勁松 , 山口研成
転移再発大腸癌 FOLFOXIRI+ ベバシズマブ療法中の持続型 G-CSF の有用性に関する検討 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

33. 大隅寛木 , 篠崎英司 , 若槻尊 , 末永光邦 , 市村崇 , 小倉真理子 , 太田弓子 , 中山厳馬 , 高張大亮 , 陳勁松 , 山口研成
高度腹水または経口摂取不良の腹膜転移を有する治癒切除不能進行 / 再発胃癌に対する mFOLFOX6 療法の安全性と有効性に関する検討 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

34. 太田弓子，高張大亮，福田直樹，大隅寛木，中山厳馬，若槻尊，市村崇，小倉真理子，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成
当院における進行再発胃癌に対する Nivolumab 療法の成績と予後予測因子の検討．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

35. 小栗知世，篠崎英司，太田弓子，大隅寛木，中山厳馬，若槻尊，小倉真理子，市村崇，高張大亮，末永光邦，陳勁松，山口研成
大腸癌における血栓塞栓症についての臨床的検討．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

36. 山口研成
がん免疫療法における最新の知見と今後の展望．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

37. 市村崇，若槻尊，高張大亮，馬島哲夫，陳勁松，小倉真理子，大隅寛木，中山厳馬，太田弓子，篠崎英司，末永光邦，川田直美，堀池由紀，清宮啓之，藤田直哉，山口研成
Plasma biomarker analysis of ramucirumab in Japanese patients with advanced gastric cancer.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

38. 篠崎英司，坂田征士，小西毅，大隅寛木，上野雅資，山口研成，竹内賢吾
大腸癌における BRAF 変異と PD-L1 発現の関係．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

39. 高張大亮，川端良平，保坂尚志，斎藤聡，白石猛，藪崎裕，後藤昌弘，中村将人，今村博司，進藤吉明，陳勁松，山口研成
化学療法未治療の高齢者切除不能進行・再発胃癌に対する CapeOX 療法の第 II 相臨床試験＜TCOG GI-1601＞：初期忍容性評価報告．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

40. 高張大亮
食道がん 2．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

41. 中山厳馬，篠崎英司，馬島哲夫，河口徳一，坂田征二，高橋俊二，野田哲生
CLND18-ARHGAP26 融合遺伝子の機能解析．
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市，2018

42. Suenaga, M., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Shinozaki, E., Nakayama, I., Osumi, H., Ota, Y., Chin, K., Mashima, T., Seimiya, H., Takahari, D., Yamaguchi, K.
A phase I study to determine the maximum tolerated dose of trifluridine/tipiracil and oxaliplatin in patients with refractory metastatic colorectal cancer: LUPIN study.
ESMO 2018 Congress: Munich, Germany, 2018

43. 市村崇
大量腹水に対する治療戦略：CART 併用化学療法の可能性．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

44. 篠崎英司
進行・再発大腸癌二次治療の実際．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：大阪市，2018

45. 篠崎英司
大腸癌肝転移に対する治療戦略．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW)：神戸市，2018

46. 山口研成
多職種に求められる胃がん治療ガイドラインの理解．
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市，2018

47. 篠崎英司，市村崇
ラムシルマブを上手に使うコツ：胃癌・大腸癌の 300 例を超える経験から．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

肝胆膵内科

1. Ozaka, M., Sasaki, T., Yamada, I., Kanata, R., Akiyama, D., Katagiri , T., Takano, K., Matsuyama, M., Sasahira, N.
Second-line treatment of modified FOLFIRINOX or nab-paclitaxel plus gemcitabine for metastatic pancreatic adenocarcinoma.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

2. Ozaka, M., Sasaki, T., Yamada, I., Kanata, R., Akiyama, D., Katagiri, T., Takano, K., Matsuyama, M., Sasahira, N.
2nd line treatment of modified FOLFIRINOX or Nab-paclitaxel plus Gemcitabine for metastatic pancreatic adenocarcinoma.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancers Symposium: San Francisco, USA, 2018

3. 松山眞人 , 澤田雅志 , 片桐智子 , 金田遼 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
EUS-HGS（EUS-guided hepaticogastrostomy）治療成績の検討 .
第 54 回日本胆道学会学術集会：千葉市 , 2018

4. 明石倫子 , 尾阪将人 , 山田育弘 , 野坂崇仁 , 片桐智子 , 秋山大 , 金田遼 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
直腸神経内分泌腫瘍多臓器転移に対して局所療法とソマトスタチンアナログ投与により 23 年経過中の一例 .
日本消化器病学会関東支部第 349 回例会： 東京 , 2018

5. 佐々木隆 , 齋浦明夫 , 笹平直樹
Borderline resectable 膵癌に対する術前 GEM+nab-PTX 併用療法 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

6. 佐々木隆
胆道　症例 2.
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

7. 秋山大 , 高橋祐 , 笹平直樹
肝門部領域胆管癌に対する術前内視鏡的胆道ドレナージにおける inside stent の有用性 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

8. 窪田敬一 , 笹平直樹
肝門部領域胆管癌の術前診療 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

9. 佐々木隆 , 由雄敏之 , 笹平直樹
がん治療における胃・十二指腸ステントの役割 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

10. 佐々木隆
時代とともに変わりゆく胆管ステント留置 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

11. 佐々木隆
胆道：ステント 2.
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

12. 佐々木隆 , 金田遼 , 片桐智子 , 秋山大 , 山田育弘 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
術後再建腸管における悪性胆道閉塞に対する金属ステント留置 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

13. 前谷容 , 笹平直樹
上部消化管ステントの現況と問題点：食道から十二指腸まで .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

14. 金田遼 , 山田育弘 , 片桐智子 , 秋山大 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 片岡星太 , 石垣和祥 , 高澤豊 , 石塚直樹 , 笹平直樹
膵腫瘤に対する順刃型コアトラップ形状生検針を用いた EUS-FNA の有用性と安全性に関する前向き研究 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

15. 笹平直樹
膵がん診療の進歩：Intervention & Chemotherapy.
Advanced GI & Liver Forum 11th: 鹿児島市 , 2018

16. Kanata, R., Yamada, I., Katagiri, T., Akiyama, D., Sasaki, T., Matsuyama, M., Ozaka, M., Takano, K., Kataoka, S., Ishigaki, K., Takazawa, Y., Ishizuka, N., Sasahira, N.
High histological accuracy of EUS-FNA for solid pancreatic masses by using 20G forward bevel core biopsy needle. Result of a prospective study.
Digestive Disease Week (DDW) 2018: Washington D. C., USA, 2018

17. 笹平直樹
膵癌化学療法新時代の内視鏡診療 .
第 3 回千葉県進行膵・胆道癌化学療法研究会：千葉市 , 2018

18. 尾阪将人
2 次治療以降を見据えた膵癌化学療法の治療戦略 .
第 49 回日本膵臓学会：和歌山市 , 2018

19. 佐々木隆 , 金田遼 , 片桐智子 , 秋山大 , 山田育弘 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
実臨床における遠隔転移を有する膵癌に対する化学療法の進歩 .
第 49 回日本膵臓病学会大会：和歌山市 , 2018

20. 金田遼 , 山田育弘 , 野坂崇仁 , 片桐智子 , 秋山大 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
膵腫瘤に対する順刃型コアトラップ形状生検針を用いた EUS-FNA の実際 .
第 49 回日本膵臓病学会大会：和歌山市 , 2018

21. 笹平直樹
動き始めた！膵がん診療 .
第 15 回市原消化器疾患フォーラム： 市原市 , 2018

22. 佐々木隆 , 金田遼 , 片桐智子 , 秋山太 , 山田育弘 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
75 歳以上の膵癌患者に対する GEM+nab-PTX 併用療法の成績 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

23. 尾阪将人
膵がん 3.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

24. 牛田雄太 , 尾阪将人 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 高野浩一 , 笹平直樹
Clinical features of skeletal metastases originated from advanced pancreatic cancer.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

25. 佐々木隆
胆道癌に対する化学療法の最前線 .
第 54 回日本胆道学会学術集会：千葉市 , 2018

26. 笹平直樹
ステント 4.
第 54 回日本胆道学会学術集会：千葉市 , 2018

27. 佐々木隆
膵癌化学療法の進歩 .
がん研有明病院膵癌セミナー：東京 , 2018

28. 金田遼
膵癌症例報告：ご紹介例を中心に .
がん研有明病院膵癌セミナー：東京 , 2018

29. 松山眞人
当院でのレンバチニブ使用経験について .
有明 HCC Conference: 東京 , 2018

30. 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹
転移性膵癌に対する GEM+nab-PTX と modified FOLFIRINOX の比較検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

31. 松山眞人 , 金田遼 , 片桐智子 , 秋山大 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹
当院における EUS-HGS（EUS-guided hepaticogastrostomy）治療成績の検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市 , 2018

32. 野坂崇仁 , 片桐智子 , 秋山大 , 金田遼 , 山田育弘 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 尾阪将人 , 高野浩一 , 笹平直樹

肝門部悪性胆道狭窄に対するメタリックステント留置症例の検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市 , 2018

上部消化管内科

1. 平澤俊明
早期胃癌の内視鏡診断：胃癌の拾い上げのコツ .
伊勢崎佐波医師会学術講演会： 伊勢崎市 , 2018

2. 堀内裕介 , 藤崎順子 , 山本智理子
胃の精密内視鏡診断：どこまで病理に迫れるか？：未分化型早期胃癌における窩間部開大所見の正診率、および除菌の有用性 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会： 東京 , 2018

3. 中野薫 , 千野晶子 , 新井正美 , 河内洋 , 井出大資 , 石山晃世志 , 斎藤正一 , 藤崎順子
家族性大腸腺腫症に合併した胃腫瘍性病変の特徴 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

4. 乾山光子 , 堀内祐介 , 堀江義政 , 赤澤直樹 , 山本安則 , 城間翔 , 中野薫 , 山﨑明 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 平澤俊明 , 土田知宏 , 山本智理子 , 藤崎順子
H.pylori 未感染未分化型早期胃癌の NBI 併用拡大内視鏡所見の検討 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

5. 吉水祥一 , 平澤俊明 , 比企直樹 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 土田知宏 , 藤崎順子
通常内視鏡診断による進行胃癌の術前深達度診断に関する検討 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

6. 平澤俊明 , 山本智理子 , 佐野武
Rindi3 型胃カルチノイド腫瘍に対して内視鏡治療は適切か？多施設後ろ向き研究 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

7. 藤崎順子
内視鏡治療 2.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

8. Hirasawa, T., Aoyama, K., Fujisaki, J., Tada, T.
Effectiveness of artificial intelligence using deep learning for detecting gastric cancer in endoscopic images.
ESGE Days: Budapest, Hungary, 2018

9. Inuyama, M.
Differences of superficial Barrett' s esophageal adenocarcinoma(S-BEA) between SSBE and LSBE.
ESGE days 2018: Budapest, Hungary, 2018

10. Nakano, K.
The clinicopathological features of gastric neoplasms in patients with FAP.
ESGE days 2018: Budapest, Hungary, 2018

11. 中野薫 , 藤崎順子 , 山本智理子
除菌後発見胃癌の除菌後長期経過における臨床的・内視鏡的特徴の比較 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

12. 山﨑明 , 藤崎順子
表在型バレット食道腺癌：LSBE と SSBE 由来における進展様式の差異 .
第 104 回日本消化器病学会総会：東京 , 2018

13. 中野薫 , 藤崎順子 , 赤澤直樹 , 乾山光子 , 渡海義隆 , 城間翔 , 並河健 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 土田知宏
内視鏡治療症例からみた多発胃癌における臨床的・内視鏡的特徴 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

14. 乾山光子 , 堀内裕介 , 藤崎順子
H.pylori 未感染未分化型胃癌の特徴と現状 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

15. 吉水祥一，山本頼正，藤崎順子
表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対するESDにおける鎮静法の選択．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

16. 吉水祥一，山本頼正，富田英臣，藤崎順子，齋浦明夫，比企直樹
当院における非乳頭部十二指腸SM癌の治療成績．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

17. 城間翔，由雄敏之，石山晃世志，土田知宏，並河健，中野薫，渡海義隆，乾山光子，山本安則，赤澤直樹，吉水祥一，堀内裕介，平澤俊明，藤崎順子
当院にて内視鏡治療後に転移再発を来たした食道癌11例の検討．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

18. 堀内裕介
胃：画像診断2.
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

19. 堀江義政，堀内裕介，吉水祥一，由雄敏之，石山晃世志，平澤俊明，土田知宏，藤崎順子
食道内視鏡治療における抗血栓薬休薬の有無での後出血率の比較検討．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

20. 平澤俊明，藤崎順子，多田智裕
Deep learning用いた人工知能による胃癌拾い上げ診断への応用．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

21. 平澤俊明
ガイドライン報告：早期胃癌発見・早期胃癌の質的診断．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

22. 平澤俊明
H.pylori未感染・既感染における見落とさない胃がん診断のコツ．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

23. 渡海義隆，堀内裕介，藤崎順子
分化型優位組織混在型早期胃癌の診断におけるNBI併用拡大内視鏡の有用性．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

24. 由雄敏之
咽喉頭部：腫瘍．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

25. 藤崎順子
H. pylori未感染・除菌後胃がんの内視鏡診断．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

26. 赤澤直樹，山﨑明，藤崎順子
胃食道接合部腺癌ESD症例におけるリンパ節転移と深達度・リスク因子の検討．
第95回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

27. Hirasawa, T., Aoyama, K., Fujisaki, J., Tada, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural network for detecting gastric cancer in endoscopic images.
Digestive Disease Week (DDW): Washington D. C., USA, 2018

28. Ushida, Y., Yoshimizu, S., Fujisaki, J.
Clinicopathological features of metastatic gastric tumors originating from breast cancer.
Digestive Disease Week (DDW): Washington, DC, USA, 2018

29. Horie, Y., Yoshio, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural networks in the detection of esophageal cancer.

Digestive Disease Week (DDW) 2018: Washington D. C., USA, 2018

30. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Horie, Y., Fujisaki, J.
Endoscopic resection is the appropriate treatment choice for mm invasive esophageal scc.
Digestive Disease Week (DDW) 2018: Washington D.C., USA, 2018

31. 並河健 , 吉水祥一 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子
表在型 Barrett' s 食道腺癌の深達度診断 .
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

32. 中野薫 , 石山晃世志 , 吉水祥一 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子 , 陳勁松 , 峯真司 , 渡邊雅之 , 山本智理子
深達度 SM2 小食道扁平上皮癌における内視鏡所見の特徴 .
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

33. 吉水祥一
再発治療 1.
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

34. 堀江義政 , 由雄敏之 , 青山和玄 , 藤崎順子 , 多田智裕
Conventional neural networks を用いた人工知能の食道癌診断 .
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

35. 山本安則 , 石山晃世志 , 岡村明彦 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 渡邊雅之 , 藤崎順子
食道表在癌における内臓脂肪および皮下脂肪量と脈管侵襲の関連についての検討 .
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

36. 赤澤直樹 , 山﨑明 , 藤崎順子
胃食道接合部腺癌 ESD 症例におけるリンパ節転移と深達度・リスク因子の検討 .
第 72 回日本食道学会学術集会 : 宇都宮市 , 2018

37. 並河健
症例検討セッション : 胃 .
第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2018

38. 乾山光子 , 堀内裕介 , 藤崎順子
「日常診療に役立つ画像強調観察」H.pylori 未感染未分化型早期胃癌の NBI 併用拡大内視鏡所見の検討 .
第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2018

39. 藤崎順子
食道・胃 .
第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2018

40. Akazawa, N.
Lymph node metastasis risk in superficial esophagogastric junctional adenocarcinoma.
16th World Congress of the Internatinal Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

41. Ishiyama, A.
Evaluation of the efficiency of steroid administration and the limit to the stenosis prevention after ESD of the esophageal cancer.
16th World Congress of the Internatinal Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

42. Namikawa, K.
Important endoscopic and histopathological characteristics for predicting submucosal tumor invasion in superficial Barrett adenocarcinoma.
16th World Congress of the Internatinal Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

43. Horie, Y., Yoshio, T., Aoyama, K., Fujisaki, J., Tada, T.
The usefulness of diagnosis for esophageal cancer with still images and movie by artificial intelligence using conventional neural networks.
United European Gastroenterology Week (UEGW): Vienna, Austria, 2018

44. Horie, Y., Yoshio, T., Aoyama, K., Fujisaki, J., Tada, T.
Can artificial intelligence using convolutional neural neworks diagnose esophageal cancer ?
United European Gastroenterology Week (UEGW): Vienna, Aurstia, 2018

45. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, N., Fujisaki, J.
Clinicopathological features of Epstein-Barr virus associated gastric carcinoma with submucosal invasion.
United European Gastroenterology Week (UEGW): Vienna, Austria, 2018

46. Hirasawa, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural network for detecting gastric cancer in endoscopic images.
2nd Korea Digestive Desease Week (KDDW) Seoul, Korea, 2018

47. 平澤俊明
胃粘膜下腫瘍の診断と治療：腹腔鏡と内視鏡のコラボレーション .
日本消化器内視鏡学会埼玉部会第 44 回学術講演会：さいたま市 , 2018

48. 中野薫 , 藤崎順子 , 赤澤直樹 , 乾山光子 , 渡海義隆 , 城間翔 , 並河健 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 土田知宏 , 山本智理子
Helicobacter Pylori 除菌後に出現する非腫瘍上皮による腫瘍表面の被覆が範囲診断に与える影響は少ない .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

49. 乾山光子 , 堀内裕介 , 渡海義隆 , 赤澤直樹 , 城間翔 , 並河健 , 中野薫 , 吉水祥一 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 土田知宏 , 平澤俊明 , 山本智理子 , 藤崎順子
未分化型早期胃癌における純印環細胞癌例と低分化腺癌混在例の NBI 併用拡大内視鏡所見の比較検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

50. 吉水祥一 , 平澤俊明 , 藤崎順子
胃がん内視鏡検診の精度管理　発見率に影響を与える因子の検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

51. 城間翔 , 堀内裕介 , 山本智理子 , 並河健 , 中野薫 , 渡海義隆 , 乾山光子 , 赤澤直樹 , 吉水祥一 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 藤崎順子
H.pylori 未感染分化型胃癌と H.pylori 感染分化型胃癌における特徴の比較検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

52. 堀江義政 , 由雄敏之 , 青山和玄 , 藤崎順子 , 多田智裕
Conventional neural networks による人工知能を用いた食道癌診断の有用性 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

53. 堀江義政 , 堀内裕介 , 藤崎順子
食道内視鏡治療における抗血栓薬休薬の有無での後出血率の比較検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

54. 大隅寛木 , 河内洋 , 由雄敏之 , 山本智理子 , 藤崎順子
脈管侵襲陰性 Epstein-Barr virus 陽性粘膜下層浸潤胃癌の臨床病理学的因子に関する検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

55. 渡海義隆，堀内裕介，吉水祥一，由雄敏之，平澤俊明，土田知宏，藤崎順子
分化型優位組織混在型癌 (D-MIX EGC) における術前の NBI 併用拡大内視鏡診断 (ME-NBI) に及ぼす除菌の影響．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市，2018

56. 由雄敏之，三梨桂子，矢野友規，二瓶圭二，天沼裕介，土田知宏，小野裕之，飯塚敏郎，七條智聖，小川岳人，門田智裕，武藤学
JCOG0508 副次的解析：化学放射線併用治療と食道内新病変および他臓器重複がん発生に関する検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 東京，2018

57. 石山晃世志，土田知宏，城間翔，並河健，渡海義隆，乾山光子，赤澤直樹，吉水祥一，由雄敏之，藤崎順子，瀬戸陽，新橋渉，佐々木徹，福島啓文，三谷浩樹，川端一嘉
当院頭頸部表在癌内視鏡治療における皮下気腫の検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市，2018

58. 藤崎順子，千野晶子
女性医師内視鏡技術習得のための high volume center の役割．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市，2018

59. 赤澤直樹，高松学，藤崎順子
H.pylori 未感染未分化型胃癌の臨床病理学的・免疫組織学的特徴の検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市，2018

60. 並河健，平澤俊明，城間翔，中野薫，渡海義隆，乾山光子，赤澤直樹，吉水祥一，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，土田知宏，藤崎順子
当院の健診センターで発見された H.pylori 未感染胃癌の検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW): 神戸市，2018

61. 山本安則，平澤俊明，比企直樹
内視鏡診断と治療の新潮流：粘膜から筋層の時代へ内視鏡治療および定型的胃切除術が困難な胃がん症例に対する LECS の安全性と有用性の検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW): 神戸市，2018

62. 城間翔，掘内裕介，山本智理子，藤崎順子
H.pylori 未感染分化型胃癌と H.pylori 現感染分化型胃癌の内視鏡的特徴の比較検討．
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2018

63. 堀江義政，由雄敏之，堀内裕介，藤崎順子
食道内視鏡的切除における出血性合併症に対するマネジメント．
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2018

64. 平澤俊明
１UP する上部消化管内視鏡．
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2018

65. 石山晃世志，土田知宏，由雄敏之，藤崎順子
当院における新たな試みを含めた食道 ESD 後狭窄予防対策の工夫．
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2018

66. 山本安則，ほか
早期胃癌を合併した胃限局性若年性ポリポーシスの 1 例．
第 24 回日本家族性腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

下部消化管内科

1. 井出大資
専修医 V（大腸）．
日本消化器病学会関東支部第 349 回例会：東京，2018

2. 千野晶子
大腸：その他 1.
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2018

3. 千野晶子
良性腫瘍 / 早期悪性腫瘍：EMR/EPMR.
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

4. 安江千尋 , 千野晶子 , 西川雄祐 , 堀江義政 , 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広 , 斎藤彰一 , 高松学 , 河内洋 , 山本智理子
大腸 T1（SM）癌の発生部位別および形態別の特徴と正診率について .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

5. 斎藤彰一
大腸：診断 3 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

6. 田顔夫佑樹 , 千野晶子 , 斎藤彰一
当院における大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類の診断成績 .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

7. Namikawa, K., Chino, A., Ide, D., Saito, S., Fujisaki, J., Takamatsu, M., Kawachi, H.
Clinicopathological study of T1 colorectal carcinoma : Long-term outcomes in 285 patients.
Digestive Disease Week (DDW) Washington D.C., USA, 2018

8. 安江千尋 , 千野晶子 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 五十嵐正広 , 高松学 , 河内洋
単施設での大腸 T1 癌に対する転移リスク因子の検討と内視鏡的摘除の現況 .
第 89 回大腸癌研究会：新潟市 , 2018

9. 安江千尋 , 斎藤彰一 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
「大腸ポリープのマネジメント：診断・切除・フォローアップ」抗血栓薬服用者における内視鏡的大腸ポリープ切除術後出血の検討 .
第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2018

10. 西川雄祐 , 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一 , 五十嵐正広
「日常診療に役立つ画像強調観察」大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類の有用性について .
第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京 , 2018

11. 石岡充彬 , 斎藤彰一 , 光吉優貴 , 畑森裕之 , 鈴木桂悟 , 屋嘉比聖一 , 西川雄祐 , 安江千尋 , 乾山光子 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
短期間で肉眼的形態変化をきたした Is + IIc 病変の 1 例 .
第 28 回大腸 IIc 研究会：東京 , 2018

12. Ide, D., Hatamori, H., Saito, S., Nishikawa, Y., Horie, Y., Yasue, C., Chino, A., Igarashi, M., Ohya, T. R., Saruta, M., Fujisaki, J.
Colorectal endoscopic submucosal dissection for novice endoscopists: The utility of submucosal pocket creation using a traction device.
United European Gastroenterology Week (UEGW): Vienna, Austria, 2018

13. 安江千尋
当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal : LECS-CR）の治療成績 .
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市 , 2018

14. 石岡充彬 , 斎藤彰一 , 光吉優貴 , 畑森裕之 , 鈴木桂悟 , 屋嘉比聖一 , 西川雄祐 , 安江千尋 , 乾山光子 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
当院における腸管前処置薬剤の使用状況
第 36 回日本大腸検査学会総会：盛岡市 , 2018

15. 千野晶子
大腸（大腸癌）2.
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

16. Saito, S., Nishikawa, Y., Kawachi, H.
International evaluation of endoscopic classification -JNET(IEE-JNET) Diagnostic accuracy of NBI Expert Team classification for colorectal tumors in our hospital.

第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW): 神戸市 , 2018

17. 屋嘉比聖一 , 斎藤彰一 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
大腸腫瘍性病変の診断における画像強調内視鏡の有用性について .
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 : 東京 , 2018

食道外科

1. Imamura, Y., Mine, S., Hiki, N., OkiEiji, Yamamoto, M., Morita, M., Maehara, Y., Baba, H., Sano, T., Watanabe, M.
Molecular status changes according to tumor location in EGJ adenocarcinoma.
International Session the 11th International Gastrointestinal Consensus Symposium（IGICS）: 東京 , 2018

2. 今村裕 , 峯真司 , 比企直樹 , 沖英次 , 山本学 , 森田勝 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌の腫瘍占居部位と molecular status の検討 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会 : 東京 , 2018

3. 問端輔 , 今村裕 , 比企直樹 , 吉田直矢 , 沖英次 , 佐伯浩司 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における粘膜下浸潤と臨床病理学的意義の検討 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会 : 東京 , 2018

4. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 速水克 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 今村裕 , 峯真司
上部消化管癌に対する内視鏡外科手術 Cervicothoracoscopic approach による反回神経周囲リンパ節郭清 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会 : 東京 , 2018

5. 速水克 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 峯真司
長期予後と周術期合併症からみた食道癌 salvage 手術の適応と MIE の意義 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会 : 東京 , 2018

6. Imamura, Y., Toihata, T., Yamashita, K., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Mine, S., Yoshida, N., Oki, E., Yamamoto, M., Morita, M., Hiki, N., Maehara, Y., Baba, H., Sano, T., Watanabe, M.
Distant metastasis of adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会 : 横浜市 , 2018

7. 問端輔 , 今村裕 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 峯真司 , 吉田直矢 , 沖英次 , 山本学 , 森田勝 , 比企直樹 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における脈管侵襲の臨床的意義の検討 .
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会 : 横浜市 , 2018

8. 今村裕 , 問端輔 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 峯真司 , 吉田直矢 , 佐伯浩司 , 沖英次 , 山本学 , 森田勝 , 比企直樹 , 齋浦明夫 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
Distant metastasis of adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

9. 問端輔 , 今村裕 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 峯真司 , 吉田直矢 , 佐伯浩司 , 沖英次 , 山本学 , 森田勝 , 比企直樹 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における脈管侵襲の臨床的意義 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

10. 山下公太郎 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 問端輔 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克
胸腔鏡下食道切除術が食道癌患者の周術期炎症や予後に及ぼす影響 .

第 118 回日本外科学会定期学術集会： 食道外科 , 2018

11. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 速水克 , 湯田匡美 , 山下公太郎 , 佐野武
食道切除術における早期回復・術後肺炎予防にむけた取り組み .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京 , 2018

12. 峯真司 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 岡村明彦 , 速水克 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 比企直樹 , 佐野武
食道胃接合部癌の縦隔転移頻度と分布についての検討 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京 , 2018

13. 渡邊雅之 , 福留惟行 , 湯田匡美 , 山下公太郎 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
食道癌切除後再建法:後縦隔 vs 胸骨後:胸骨後 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京 , 2018

14. 湯田匡美 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 問端輔 , 今村裕 , 峯真司 , 渡邊雅之
食道切除再建術前の咽頭培養による非常在菌の検出と術後感染性合併症の関連 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京 , 2018

15. 速水克 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 佐野武 , 山口俊晴
食道癌 salvage 手術における分岐下リンパ節郭清の意義 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京 , 2018

16. Watanabe, M., Toihata, T., Kouzuki, R., Yuda, M., Okamura, A., Imamura, Y., Mine, S.
Minimally-invasive esophagectomy for patients with locally advanced esophageal cancer after neoadjuvant or definitive chemoradiotherapy.
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

17. 上月亮太郎 , 山下公太郎 , 問端輔 , 福留惟行 , 岡村昭彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司 , 渡邊雅之
食道癌リンパ節再発に対するリンパ節切除の意義 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

18. 今村裕 , 高松学 , 田中教生 , 問端輔 , 峯真司 , 比企直樹 , 森誠一 , 河内洋 , 佐野武 , 渡邊雅之
臨床応用に向けた TP53 免疫染色による mutation 検出能の検討 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

19. 問端輔 , 今村裕 , 高松学 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 峯真司 , 比企直樹 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌の腫瘍浸潤リンパ球における CD8 および FOXP3 発現の意義 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

20. 山下公太郎 , 渡邊雅之 , 問端輔 , 福留惟行 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
胸部食道切除における 3D 手術の有用性 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

21. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 福留惟行 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
当院におけるチーム医療の現状と周術期管理チームによる術後肺炎の軽減 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

22. 峯真司
特殊型食道癌 1.
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

23. 峯真司 , 本多通孝 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 速水克 , 湯田匡美 , 福留惟行 , 今村裕 , 渡邊雅之
食道切除後の再建経路と術後症状、QOL に関する検討 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

24. 渡邊雅之
チーム医療と地域連携の現状と今後の展開 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

25. 湯田匡美 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 問端輔 , 福留惟行 , 今村裕 , 峯真司 , 渡邊雅之
食道癌手術における胸管切除の意義：Propensity score matching による解析 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

26. 福留惟行 , 渡邊雅之 , 湯田匡美 , 山下公太郎 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
通過障害を伴う進行食道癌に対する経管栄養下の術前治療の安全性と有効性の検討 .
第 72 回日本食道学会学術集会： 宇都宮市 , 2018

27. Mine, S., Watanabe, M., Imamura, Y., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T.
Outcomes of esophagectomy for patients with adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

28. 今村裕 , 問端輔 , 峯真司 , 比企直樹 , 沖英次 , 森田勝 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌の腫瘍占居別 molecular status の特徴 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

29. 問端輔 , 今村裕 , 峯真司 , 比企直樹 , 沖英次 , 森田勝 , 前原喜彦 , 馬場秀夫 , 佐野武 , 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における組織亜型と臨床病理学的および分子生物学的特徴の検討 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

30. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 速水克 , 湯田匡美 , 山下公太郎 , 福留惟行 , 佐野武
肺年齢を指標とした術前呼吸機能評価とチーム医療による術後肺炎軽減への取り組み .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

31. 峯真司 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 比企直樹 , 佐野武
進行食道胃接合部腺癌に対する食道切除術 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

32. 渡邊雅之 , 問端輔 , 福留惟行 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 湯田匡美 , 速水克 , 今村裕 , 峯真司
短期および長期予後から見た食道癌サルベージ手術の適応と低侵襲手術の有用性 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

33. 渡邊雅之
食道癌の術前リンパ節転移診断と成績 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

34. 湯田匡美 , 山下公太郎 , 岡村明彦 , 速水克 , 問端輔 , 福留惟行 , 今村裕 , 峯真司 , 渡邊雅之
食道癌手術における胸管切除の腫瘍学的意義に関する後方視的検討 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

35. 福留惟行 , 渡邊雅之 , 峯真司 , 今村裕 , 岡村明彦 , 山下公太郎 , 速水克 , 湯田匡美
通過障害を伴う進行食道癌に対する経管栄養下の術前治療の安全性と有効性の検討 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

36. Mine, S., Watanabe, M., Imamura, Y., Okamura, A., Yamashita, K., Hayami, M., Yuda, M., Fukudome, I.
Distribution of mediastinal lymph node involvement in adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

37. Mine, S., Kurokawa, Y., Takeuchi, H., Sano, T., Terashima, M., Yoshida, K., Yasuda, T., Daiko, H., Sakuramoto, S., Kunisaki, C., Yoshikawa, T., Tamura, S., Seto, S., Kitagawa, Y., Doki, Y.
Japanese multicenter prospective study for esophagogastric junction cancer.
16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE) Vienna, Austria, 2018

38. 高橋慶太，上月亮太郎，問端輔，岡村明彦，今村裕，峯真司，渡邊雅之
右肺全摘後の食道癌縦隔リンパ節転移症例に対し、胸骨縦切開・腹腔鏡併用食道切除術を施行した 1 例 .
第 850 回外科集談会：東京，2018

39. 渡邊雅之
食道癌：薬物療法 .
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2018

40. 渡邊雅之
他臓器重複癌を有する食道癌に対する集学的治療 .
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会：東京，2018

41. Mine, S., Imamura, Y., Watanabe, M.
Is it necessary to dissect upper mediastinum for patients with adenocarcinoma of the esophagogastric junction?
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

42. 問端輔，今村裕，岡村明彦，湯田匡美，速水克，峯真司，吉田直矢，佐伯浩司，沖英次，森田勝，比企直樹，前原喜彦，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における脈管侵襲の臨床的意義 .
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

43. 渡邊雅之
食道 6.
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

44. 今村裕，高松学，田中教，問端輔，峯真司，比企直樹，森誠一，河内洋，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における TP53 免疫染色による mutation 検出能の検討 .
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）：神戸市，2018

45. 岡村明彦，渡邊雅之，湯田匡美，今村裕，峯真司，佐野武
胸部中部食道扁平上皮癌における鎖骨上および膵上縁リンパ節転移の意義 .
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）：神戸市，2018

46. 今村裕，高松学，田中教生，森誠一，問端輔，上月亮太郎，高橋慶太，岡村明彦，峯真司，比企直樹，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における TP53 免疫染色による mutation 検出能の検討 .
第 29 回日本消化器癌発生学会総会： 東京，2018

47. 問端輔，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，岡村明彦，峯真司，比企直樹，沖英次，森田勝，前原喜彦，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における粘液腺癌の臨床病理学的および分子生物学的特徴の検討 .
第 29 回日本消化器癌発生学会総会： 東京，2018

48. 岡村明彦，渡邊雅之，上月亮太郎，問端輔，今村裕，峯真司
食道扁平上皮癌における壁内転移の意義 .
第 70 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会：東京，2018

49. 渡邊雅之，峯真司，高橋慶太，問端輔，上月亮太郎，岡村明彦，今村裕 .
胸部食道癌に対する鎖骨上リンパ節郭清の意義 .
第 70 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会：東京，2018

50. 岡村明彦，渡邊雅之，上月亮太郎，問端輔，湯田匡美，今村裕，峯真司
胸腔鏡下食道切除術の安全性と低侵襲性．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

51. 渡邊雅之
安全な食道癌手術：鏡視下手術は本当に安全か？．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

52. 渡邊雅之，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，岡村明彦，今村裕，峯真司
局所進行食道癌に対する他臓器合併切除とトラブルシューティング．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

53. 上月亮太郎，峯真司，問端輔，岡村明彦，湯田匡美，今村裕，渡邊雅之
食道切除後胸腔鏡下胸腔内吻合症例の短期成績と工夫．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

54. 岡村明彦，渡邊雅之，上月亮太郎，問端輔，湯田匡美，今村裕，峯真司
胸腔鏡下食道切除術における胸部操作の難易度に関連する解剖学的因子．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

55. 渡邊雅之
食道悪性：偶発症・合併症．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

56. 湯田匡美，上月亮太郎，岡村明彦，問端輔，今村裕，峯真司，渡邊雅之
重複胸管を有する難治性乳び胸に対し両側アプローチ・腹臥位鏡視下胸管結紮術が有用であった一例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

胃外科

1. Takahashi, R., Wakatsuki, T., Shinozaki, E., Taguchi, S., Fujimoto, Y., Osumi, H., Ota, Y., Matsushima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Suenaga, M., Chin, K., Oguchi, M., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Chemoradiation for the treatment of locoregional squamous cell carcinoma of the anal canal: A single center retrospective analysis in Japan.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

2. Yagi, S., Shinozaki, E., Chin, K., Suenaga, M., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Ozaka, M., Nakayama, I., Matsushima, T., Osumi, H., Yamaguchi, K.
Clinical impact of diverting ileostomy on the dose intensity of adjuvant chemotherapy for colorectal cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

3. Hiki, N.
Laparoscopic gastrectomy in Japan.
メキシコ内視鏡外科研究会：Mexico City, Mexico, 2018

4. 佐野武
胃癌治療における手術の役割はどう変わるか？
第 52 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会：東京，2018

5. Nunobe, S.
Functional-preserving laparoscopic gastrectomy for early gastric cancer.
7th Hawaii International Workshop: Hawaii, USA, 2018

6. 井田智
Our approach for the stomach preservation for patients with gastric cancer.
第 13 回日韓中合同腹腔鏡下胃切除セミナー：大分県速見郡，2018

7. 安福至，布部創也，山本頼正，藤崎順子，比企直樹
十二指腸腺腫・腺癌に対する内視鏡腹腔鏡合同手術（D-LECS）の治療成績の検討．

第 14 回日本消化管学会総会学術集会： 東京 , 2018

8. 布部創也
腹腔鏡内視鏡合同手術の現状 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会： 東京 , 2018

9. 比企直樹
十二指腸病変に対する内視鏡治療 .
第 14 回日本消化管学会総会学術集会： 東京 , 2018

10. 安福至 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 比企直樹
残胃癌に対する残胃遠位側切除術と残胃全摘術の術後栄養状態の検討 .
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 横浜市 , 2018

11. 比企直樹
がん患者の術前・術後栄養管理 .
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 横浜市 , 2018

12. 比企直樹
管理栄養士が病棟で活躍するための How to：がん研有明病院の場合 .
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 横浜市 , 2018

13. 比企直樹
胃癌手術における食の楽しみを邪魔をしない高カロリー経口栄養療法 .
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会： 横浜市 , 2018

14. Hiki, N.
Laparoscopic gastrectomy in Japan.
Saudi Laparoscopic Society Annual Meeting (SLS): Riyadh, Saudi Arabia, 2018

15. Hiki, N.
“Pancreas-compressionless gastrectomy”：A novel laparoscopic approach for suprapancreatic lymph node dissection.
Saudi Laparoscopic Society Annual Meeting (SLS): Riyadh, Saudi Arabia, 2018

16. Hiki, N.
Role of prealbumin as a powerful and simple index for predicting postoperative complications after gastric cancer surgery.
Saudi Laparoscopic Society Annual Meeting (SLS): Riyadh, Saudi Arabia, 2018

17. Hiki, N.
Tips to reduce complications in laparoscopic gastrectomy.
The Forth Sino-Japan-Korea Gastric Cancer Summit: Tianjin, China, 2018

18. Hiki, N.
A role and usefulness of the ‘‘Pancreas-Compressionless Gastrectomy’’：A Novel laparoscopic approach for suprapancreatic lymph node dissection.
台湾外科医学会：Taipei, Taiwan, 2018

19. Eto, K., Ohashi, M., Hiki, N., Ohashi, T., Ri, M., Tsuda, Y., Shoji, Y., Kano, Y., Yasufuku, I., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Outcomes of extended surgery following NAC for gastric cancer with para-aortic lymph node metastasis.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

20. Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Yamaguchi, T., Sano, T.
A novel Esophagojejunostomy with creating a good operative field after lap. total gastrectomy.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

21. Hiki, N.
Recent results of RCT of laparoscopic gastrectomy for advanced gastric cancer.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市 , 2018

22. Hiki, N.
Reconstruction after proximal gastrectomy 2.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

23. Kano, Y., Ohashi, M., Hirayama, Y., Ohashi, T., Tsuda, Y., Shoji, Y., Yasufuku, I., Yamaguchi, T., Hiki, N.
Is discontinuation of adjuvant S-1 chemotherapy for gastric cancer associated with relapse?
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

24. Kumagai, K., irino, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Ida, S., Eto, K., Yasufuku, I., Kano, Y., Shoji, Y., Tsuda, Y., Ri, M., Ohashi, T., Hirayama, Y., Sano, T., yamaguchi, T.
Clinicopathological characteristics and prognostic factors of gastric stump cancer.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

25. Kumagai, K.
Laparoscopic surgery 6.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

26. Nunobe, S.
Function presesrving gastrectomy.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

27. Nunobe, S., Oda, I., Ishikawa, T., Akazawa, K., Katai, H., Isobe, Y., Miyashiro, I., Tsujitani, S., Ono, H., Tanabe, S., Fukagawa, T., Suzuki, S., Kakeji, Y.
Surgical outcomes of elderly patients with stage I gastric cancer from the nationwide registry.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

28. Ohashi, M., Kano, Y., Hiki, N., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T.
Practical survival results of stage II or III gastric cancer based on 3 editions of staging system.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

29. Sano, T.
Esophagogastric junction: Definitions and staging.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

30. Sano, T.
JGCA Treatment Guidelines 5th ed: Major revision points and future perspective.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

31. Sano, T.
State of the art of gastric cancer surgery.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

32. Shoji, Y., Hiki, N., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Single-arm confirmatory study of LDG for gastric cancer to verify the safety of proximal margins.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

33. Tsuda, Y., Nunobe, S., Ohashi, M., Takahashi, R., Hirayama, Y., Yagi, S., Ri, M., Kano, Y., Shoji, Y., Eto, K., Yasufuku, I., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T.
What is the most suitable surgery for early gastric cancer in upper third of stomach?
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

34. Yasufuku, I., Yamaguchi, T., Takashima, A., Nagashima, K., Kurokawa, Y., Takagane, A., Tanabe, K., Fukunaga, H., Fukagawa, T., Boku, N., Katai, H.
The efficacy of pre-operative chemotherapy for gastric cancer with CY1 and/or P1.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

35. 井田智，比企直樹，江藤弘二郎，安福至，熊谷厚志，布部創也，大橋学，山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘術における良好な視野展開の工夫．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

36. 八木秀祐，布部創也，平山佳愛，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
pT1N0-3、pT2/3N0 の再発形式と危険因子の検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

37. 大橋拓馬，井田智，八木秀祐，高橋遼，平山佳愛，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹
早期胃癌に対する内視鏡切除後追加切除手術の短期成績についての検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

38. 安福至
切除不能・進行再発 6.
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

39. 平山佳愛，井田智，高橋遼，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，熊谷厚志，大橋学，布部創也，佐野武，比企直樹
胃切除術・R-Y 再建後の内ヘルニアの検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

40. 李基成，熊谷厚志，高橋遼，八木秀祐，平山佳愛，大橋拓馬，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，大橋学，布部創也，比企直樹，佐野武
胃上部領域の進行癌におけるリンパ節転移頻度の検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

41. 津田康雄
その他．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

42. 高橋遼，井田智，安福至，平山佳愛，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，加納陽介，江藤弘二郎，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
胃癌腹膜播種に対し、conversion surgery を施行した 6 例の検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

43. Ohashi, M., Kurokawa, Y.
Chemotherapy for advanced gastric cancer.
第 90 回日本胃癌学会総会：横浜市，2018

44. Ohashi, T., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T., Hiki, N.
Short term outcome of additional resection after ER for early gastric cancer.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Seoul, Korea, 2018

45. Ri, M., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M., Nunobe, S., Hiki, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Frequency of regional lymph node metastasis in advanced upper gastric cancer.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Seoul, Korea, 2018

46. Sano, T.
GEJ cancer - General Principle.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Seoul, Korea, 2018

47. Sano, T.
The next IGCA project for further refinement of the TNM staging system.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Seoul, Korea, 2018

48. Shoji, Y., Kumagai, K., Kamiya, S., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T., Hiki, N.
Feasibility study for SN mapping by indocy-

anine green fluorescence imaging and metastatic diagnosis by one-step nucleic acid amplification in laparoscopic gastric cancer surgery
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Seoul, Korea, 2018

49. Hiki, N.
Feasibility of LECS procedure for colorectal tumors.
Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (SAGES) Annual Meeting: Seattle, WA, USA, 2018

50. 井田智，比企直樹，熊谷厚志，布部創也，大橋学，平山佳愛，八木秀祐，高橋遼，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，佐野武，山口俊晴
術式選択指標となる早期胃癌術後の栄養状態の変化．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

51. 佐野武
Japanese adjuvant strategy for gastric cancer : Why not neoadjuvant?
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

52. 佐野武
胃切除後ベストな再建方法は何か？．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

53. 八木秀祐，布部創也，高橋遼，平山佳愛，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
術後補助化学療法の適応とならない T1N0-3, T2/3N0 の胃癌再発例の臨床病理学的特徴の検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

54. 加納陽介，大橋学，八木秀祐，高橋遼，平山佳愛，大橋拓馬，李元成，津田康雄，庄司佳晃，安福至，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
胃癌術後 S-1 補助療法における中止のリスクファクターの検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

55. 大橋拓馬，熊谷厚志，八木秀祐，高橋遼，平山佳愛，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹
胃切除術後十二指腸断端縫合不全の治療戦略についての検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

56. 安福至，大橋学，佐野武，高橋遼，八木秀祐，平山佳愛，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，比企直樹
Gastric outlet obstruction を伴う胃癌の腹膜転移の検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

57. 山口俊晴
外科医に与えられるべきインセンティブとは．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

58. 布部創也
早期上部胃がんに対する腹腔鏡下手術．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

59. 布部創也，比企直樹，熊谷厚志，井田智，大橋学，峯真司，渡邊雅之，福長洋介，齋浦明夫，佐野武
腹腔鏡下噴門側胃切除後の良好な食事摂取と逆流防止効果を目指した観音開き法再建．
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京，2018

60. 平山佳愛，井田智，高橋遼，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，熊谷厚志，布部創也，大

橋学，佐野武，比企直樹
胃切除後 Petersen's ヘルニアの検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

61. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
悪性リンパ腫治療後に見つかった胃癌症例の検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

62. 李基成，熊谷厚志，比企直樹，高橋遼，八木秀祐，平山佳愛，大橋拓馬，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，江藤弘二郎，井田智，大橋学，布部創也，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡（補助）下胃切除術・R-Y 再建の十二指腸断端埋没閉鎖による断端縫合不全の予防効果．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

63. 比企直樹，本田通孝，衛藤剛，吉田和弘，隅丸拓，小寺泰弘，掛地吉弘，宮田裕章，今野弘之，瀬戸泰之，猪股雅史，北野正剛
NCD による Real World データが腹腔鏡下幽門側胃切除の実臨床を変える可能性．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

64. 比企直樹
胃 - 鏡視下手術 - 再建法．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

65. 比企直樹
蒼き光（ICG）が照らし出す，曇らない（デジタルズーム）腹腔鏡下胃切除術．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

66. 江藤弘二郎，井田智，比企直樹，平山佳愛，八木秀祐，高橋遼，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，津田康雄，加納陽介，安福至，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
糖尿病既往と胃癌術後の予後についての検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

67. 津田康雄，布部創也，大橋拓馬，高橋遼，平山佳愛，八木秀祐，李基成，加納陽介，庄司佳晃，江藤弘二郎，安福至，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の食道胃吻合における Double flap technique（DFT）の有用性．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

68. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，庄司佳晃，佐野武，山口俊晴
Billroth I か？ Roux-en Y か？―腹腔鏡下幽門側胃切除術後合併症の特徴と変遷からみた両再建法の安全性の比較―.
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

69. 高橋遼，大橋学，加納陽介，八木秀祐，平山佳愛，大橋拓馬，李基成，津田康雄，庄司佳晃，安福至，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，山口研成，佐野武，山口俊晴，比企直樹
S-1 による術後補助化学療法施行後に再発した胃癌の検討．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

70. 比企直樹
消化器外科領域で栄養はどれだけ役だてるのか？．
第 386 回大阪大学臨床栄養研究会： 吹田市，2018

71. Hiki, N.
Combined endo/extraluminal approach for early gastric cancer
26th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): London, UK, 2018

72. Hiki, N.
Pancreas compressionless gastrectomy; A novel laparoscopic approach for supura-

pancreatic lymph node dissection.
26th International Congress of the European Association for Endoscoic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): London, UK, 2018

73. Sano, T.
Lymphadenectomy and different techniques of gastrectomy in gastric cancer treatment : Overview and evidence base.
Nordic Postgraduate Course in Gastroesophageal Cancer Surgery 2018: Stockholm, Sweden, 2018

74. Sano, T.
Open gastrectomy techniques: D1+ and D2 distal, total, pylorus preserving and proximal gastrectomy in gastric cancer (video freeze frame session).
Nordic Postgraduate Course in Gastroesophageal Cancer Surgery 2018: Stockholm, Sweden, 2018

75. Sano, T.
Upper GI cancer surgery in perspective: how will we do it in the next decades?
Nordic Postgraduate Course in Gastroesophageal Cancer Surgery 2018: Stockholm, Sweden, 2018

76. 大橋拓馬 , 井田智 , 布部創也 , 八木秀祐 , 高橋遼 , 平山佳愛 , 李基成 , 庄司佳晃 , 津田康雄 , 加納陽介 , 安福至 , 江藤弘二郎 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 比企直樹
LECS 困難例に対する手技の工夫 .
第 72 回手術手技研究会 : 鳴門市 , 2018

77. 比企直樹
技術伝承（教育）の Serendipity.
第 72 回手術手技研究会 : 鳴門市 , 2018

78. 高橋遼 , 布部創也 , 庄司佳晃 , 大橋拓馬 , 李基成 , 加納陽介 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 佐野武 , 比企直樹
噴門側胃切除術における観音開き法再建の治療成績に関する検討 .
第 72 回手術手技研究会 : 鳴門市 , 2018

79. 李基成 , 布部創也 , 比企直樹
当院における十二指腸上皮性腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（D-LECS）.
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京 , 2018

80. 比企直樹
LECS が胃局所切除の定型手技となるために .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京 , 2018

81. 比企直樹
LECS の進化と新しい適応を考える .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会 : 東京 , 2018

82. Nunobe, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T.
Morphological and functional reconstruction of the esophago-gastric junction with a double-flap technique after laparoscopic proximal gastrectomy.
13th Chinese Gastric Cancer Congress (CGCC): Beijing, China, 2018

83. Hiki, N.
Preoperative nutritional screening/assessment for the patient with gastric cancer: Does it fit for the infectious status?
19th Congress of Parenteral and Enteral Nutrition Society of Asia (PENSA): Seoul, Korea, 2018

84. Nunobe, S.
Japanese experiences of laparoscopic gastrectomy including lymph node dissection and reconstruction.
The 1st Sino-Japan Gusu Forum on Gastrointestinal Tumor Surgery: Suzhou, China, 2018

85. Sano, T.
The D2 Lymphadenectomy and how I do it.
Tronto D2 Gastrectomy Program: Tronto, Canada, 2018

86. Sano, T.
Patient selection for the D2 LND.
Tronto D2 Gastrectomy Program: Tronto, Canada, 2018

87. Sano, T.
What is the difference in treatment in Asia?
Tronto D2 Gastrectomy Program: Tronto, Canada, 2018

88. Sano, T.
Who should be doing the D2 LN, and how to teach the D2 LN dissection to your residents.
Tronto D2 Gastrectomy Program: Tronto, Canada, 2018

89. 佐野武
胃癌死撲滅に果たす胃癌学会・ヘリコバクター学会の役割：手術 .
第 24 回日本ヘリコバクター学会学術集会： 大分市 , 2018

90. 比企直樹 , 稲木紀幸
NST と周術期管理 .
第 43 回日本外科系連合学会学術集会： 東京 , 2018

91. Sano, T.
Gastric cancer clinical database construction : the experience from Japan.
3rd Huangpu River Gastric Cancer International Forum Shanghai, China, 2018

92. Sano, T.
Gastric cancer in Asia and the rest of the world.
4th St. Petersburg international Oncology From: Petersburg, Russia, 2018

93. Sano, T.
New versions of TNM and Japanese guidelines.
7th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Guangzhou, China, 2018

94. Sano, T.
Recent surgical evidence in Japan.
The 3rd Changzhi International Congress of Gastrointestinal Cancer and the Annual Meeting of Laparoscopic Professional Committee for Gastrointestinal Surgery Branch of Shanxi Medical Doctor Association of China: Changzhi, Shanxi Province, China, 2018

95. 八木秀祐 , 江藤弘二郎 , 高橋遼 , 大橋拓馬 , 李基成 , 庄司佳晃 , 加納陽介 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 佐野武 , 比企直樹
コントロール不良な糖尿病と胃癌術後の予後についての検討 .
日本外科代謝栄養学会第 55 回学術集会： 大阪市 , 2018

96. 比企直樹
エンドポイントを見据えた NST による介入 .
日本外科代謝栄養学会第 55 回学術集会： 大阪市 , 2018

97. 磯崎正典 , 布部創也 , 大橋拓馬 , 高橋遼 , 平山佳愛 , 八木秀祐 , 李基成 , 津田康雄 , 加納陽介 , 庄司佳晃 , 江藤弘二郎 , 安福至 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 佐野武 , 山口俊晴 , 比企直樹
上部早期胃癌に対する術後栄養状態からみた噴門側胃切除観音開き法再建の有用性 .
日本外科代謝栄養学会第 55 回学術集会： 大阪市 , 2018

98. Kumagai, K., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Review of conversions to open surgery and troubleshooting in laparoscopic gastrectomy.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

99. Sano, T.
Esophagogastric junction cancer: Japanese standpoint.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

100. Sano, T., Konno, H., Holscher, A. H.
Treatment of esophagogastric junction cancer : View of the World.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

101. 井田智，比企直樹，石沢武彰，津田康雄，江藤弘二郎，安福至，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武
膵圧排と膵液漏発生との関係．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

102. 佐野武
胃切除後障害に対する取り組み：体重減少を阻止しよう．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

103. 佐野武
腹腔鏡下胃切除術に対する最後の抵抗勢力として．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

104. 八木秀祐，井田智，加納陽介，庄司佳晃，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
治癒切除不能な進行胃癌の腫瘍出血に対する緩和手術症例の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

105. 加納陽介，大橋学，李基成，庄司佳晃，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
U 領域早期胃癌に対する機能温存術式の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

106. 大橋学，比企直樹，江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武
大動脈周囲リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前補助化学療法後手術の治療成績．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

107. 大橋拓馬，井田智，布部創也，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹
胃粘膜下腫瘍に対する LECS の工夫．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

108. 布部創也，井田智，熊谷厚志，比企直樹，大橋学，今村裕，峯真司，渡邊雅之，佐野武
噴門側胃切除後の鏡視下観音開き法再建の手技と長期成績．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

109. 布部創也
胃・十二指腸：GIST 1.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

110. 庄司佳晃，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴，比企直樹
胃癌に対する腹腔鏡下手術における ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節同定と OSNA 法によるリンパ節転移診断．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

111. 李基成，熊谷厚志，庄司佳晃，加納陽介，井田智，大橋学，布部創也，比企直樹，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術・R-Y 再建における十二指腸断端の埋没縫合が断端縫合不全に及ぼす影響．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

112. 比企直樹
今語り合う：開腹と腹腔鏡の接点．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

113. 比企直樹
胃：腹腔鏡・内視鏡合同手術の工夫．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

114. 江藤弘二郎，比企直樹，熊谷厚志，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴

胃癌術後合併症を生じた患者での長期予後増悪を術前化学療法が抑制する可能性についての検討 .
第 73 回日本消化器外科学会総会 : 鹿児島市 , 2018

115. 大橋学
上部消化管 -MIS ① .
7th Reduced Port Surgery Forum: 札幌市 , 2018

116. 比企直樹
アプローチ方法が変える胃局所切除術の新たな展開 .
7th Reduced Port Surgery Forum: 札幌市 , 2018

117. Nunobe, S.
Function-preserving surgery for gastric cancer: current status and future perspective.
Updates on Diagnosis and Management of Gastrointestinal Cancer Continuing Medical Education program: Ho Chi Minh City, Vietnam, 2018

118. Nunobe, S.
Principle of laparoscopic lymphadenectomy for treatment of gastric cancer.
Updates on Diagnosis and Management of Gastrointestinal Cancer Continuing Medical Education program: Ho Chi Minh City, Vietnam, 2018

119. Nunobe, S.
Japanese experience of laparoscopic gastrectomy for early gastric cancer.
2nd National Forum on Precise Treatment of Gastric Cancer: Hangzhou, China, 2018

120. Sano, T.
From the viewpoint of gastric cancer classification.
16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

121. Sano, T.
Future direction of classification and staging system for carcinoma of esophagogastric junction.
16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE): Vienna, Austria, 2018

122. Sano, T.
Surgery in T4b infiltrated gastric cancer.
The new frontiers in Gastric Cancer diagnosis and treatment: Forli, Italy, 2018

123. 磯﨑正典 , 布部創也 , 井田智 , 熊谷厚志
幽門側胃切除により残存腫瘍を縮小または消失し得た Type1 胃カルチノイドの 3 例 .
第 850 回外科集談会 : 東京 , 2018

124. Hiki, N.
Laparoscopic endoscopic cooperative surgery in early gastric cancer.
12th Annual Meeting of the Society of Gastrointestinal Intervention（SGI2018）: Nanjing, China, 2018

125. Hiki, N.
Laparoscopic resection of the GISTs on the gastroesophageal conjunction.
12th Annual Meeting of the Society of Gastrointestinal Intervention（SGI2018）: Nanjing, China, 2018

126. Nunobe, S.
Principle and basic skills needed in gastric cancer surgery & training of laparoscopic skills in Japan.
2018 ESAT Gastric in Daegu: Deagu, Korea, 2018

127. Nunobe, S.
Principle of laparoscopic lymphadenectomy and reconstruction including functional preserving gastrectomy for gastric cancer.
2018 International Conference of Minimally Invasive Surgery, West Lake Summit: Hangzhou, China, 2018

128. Takahashi, R., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Shinozaki, E., Taguchi, S., Osumi, H., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Suenaga, M., Chin, K., Oguchi, M., Ueno, M., Yamaguchi, K.
p16 and PD-L1 expression in locoregional squamous cell carcinoma of the anal canal - A single center retrospective analysis in Japan.
ESMO 2018 Congress: Munich, Germany, 2018

129. Sano, T.
History and basic principles of TNM classification of gastric cancer.
Third International Conference on Cancer Precision Medicine: Shenzhen, China, 2018

130. 布部創也
わがまま上等！工学は臨床のお役に立ちます：医工連携拠点より．
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市，2018

131. 李基成，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武
当院における LECS の治療成績の変遷．
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会：神戸市，2018

132. 比企直樹
がん患者の術前・術後栄養管理が合併症軽減に果たす役割．
第 40 回日本臨床栄養学会総会 / 第 39 回日本臨床栄養協会総会・第 16 回連合大会：東京，2018

133. 佐野武
免疫チェックポイント阻害薬の UpDate、irAE マネジメント．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

134. 江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，佐野武，比企直樹
コントロール不良な糖尿病と胃癌術後の予後についての検討．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

135. Sano, T.
Minimally invasive surgery in gastric cancer, laparoscopy and robotic surgery versus standard surgery: Experience, vision and results in eastern countries.
Mexican Society Of Oncology 36th National Congress 2018 (SMEO 2018) Guadalajara, Mexico, 2018

136. 佐野武
最新の胃がん治療ガイドラインを解説する．
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

137. 加納陽介，大橋学，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
胃体上部早期胃癌に対する手術術式の検討．
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

138. 大橋学，比企直樹，佐野武
腹腔鏡下胃切除術のおける膵上縁郭清のランドマークとしての微細解剖．
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2018）：神戸市，2018

139. 比企直樹
拡大視効果がもたらす外科解剖新知見．
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）：胃外科，2018

140. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，井田智，庄司佳晃，加納陽介，李基成，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，大橋学，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下幽門側胃切除術の手術時間延長に関わる因子．
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）：神戸市，2018

141. 高橋遼，大橋学，加納陽介，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，比企直樹
S-1 術後補助化学療法施行後に再発した胃癌の検討．

第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）：神戸市，2018

142. 大竹玲子，熊谷厚志，大橋学，布部創也，井田智，庄司佳晃，加納陽介，李基成，佐野武，比企直樹
腹腔鏡下幽門保存胃切除術後合併症としての逆流症食道炎に関連する因子の検討．
第 48 回胃外科・術後障害研究会：金沢市，2018

143. 比企直樹
噴門側胃切除術．
第 48 回胃外科・術後障害研究会：金沢市，2018

144. 田島ジェシー雄，布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，新垣碧，大竹玲子，八木秀祐，高橋遼，李基成，大橋拓馬，加納陽介，庄司佳晃，比企直樹，佐野武．
当院における高齢者に対する Stage I 胃がん術後長期成績の検討．
第 48 回胃外科・術後障害研究会：金沢市，2018

145. 井田智，布部創也，加納陽介，庄司佳晃，李基成，大橋拓馬，八木秀祐，高橋遼，磯崎正典，田島ジェシー雄，大竹玲子，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する LECS の治療成績．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

146. 佐野武
我が国の胃癌手術を世界はどう見ているか．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

147. 佐野武
胃癌の鏡下手術のトラブルシューティング．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

148. 佐野武
胃癌外科ランダム化比較試験の歴史と展望．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

149. 八木秀祐，大橋学，李基成，大橋拓馬，磯崎正典，高橋遼，庄司佳晃，加納陽介，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，山口俊晴，比企直樹
高度リンパ節転移を伴う HER2 陽性切除不能進行胃癌に対して長期 T-mab 併用化学療法後に Conversion Surgery を行った 2 例．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

150. 大橋学，安福至，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武，比企直樹
幽門狭窄を伴う進行胃癌の腹膜転移予測因子：腹腔鏡下バイパス術を取り入れた治療戦略．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

151. 大橋拓馬，庄司佳晃，布部創也，八木秀祐，高橋遼，李基成，加納陽介，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹
腹腔鏡下噴門側胃切除術観音開き法再建における吻合部狭窄と逆流に対するリスク評価．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

152. 比企直樹
再発胃癌に対する治療戦略．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

153. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，加納陽介，庄司佳晃，李基成，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，大竹玲子，田島ジェシー雄，佐野武，山口俊晴
膵液漏を防ぐには？：腹腔鏡下胃切除術後膵液漏の危険因子と、膵臓を圧迫しないリンパ節郭清手技が膵液漏を予防する効果の検討．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

154. 田島ジェシー雄，布部創也，新垣碧，大竹玲子，八木秀祐，高橋遼，李基成，大橋拓馬，加納陽介，庄司佳晃，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武
当院における 75 歳以上の高齢者 Stage I 胃癌手術症例の長期予後に関する検討．
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

155. 高橋遼，布部創也，大竹玲子，田島ジェシー雄，八木秀祐，大橋拓馬，李基成，庄司佳晃，加納陽介，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，比企直樹
Trastuzumab 併用化学療法後に conversion surgery を施行した HER2 陽性進行胃癌・食道胃接合部癌の検討．

第 80 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2018

156. Nunobe, S.
Proximal gastrectomy in the treatment of EGJ adenocarcinoma.
3th LINGNAN Gastrointestinal Tumor Summit Forum: Guangzhou, China, 2018

157. Ohashi, M.
Recent trend of function preserving gastrectomy in Japan.
Laparoscopic Gastrectomy in Gastric Cancer: Chengdu, China, 2018

158. 井田智 , 布部創也 , 加納陽介 , 庄司佳晃 , 李基成 , 大橋拓馬 , 八木秀祐 , 高橋遼 , 磯﨑正典 , 田島ジェシー雄 , 大竹玲子 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 比企直樹
胃粘膜下腫瘍に対する LECS の治療成績と手技の工夫 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

159. 加納陽介 , 大橋学 , 大竹玲子 , 田島ジェシー雄 , 磯﨑正典 , 高橋遼 , 八木秀祐 , 大橋拓馬 , 李基成 , 庄司佳晃 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 佐野武 , 比企直樹
上部胃癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除観音開き再建と腹腔鏡下胃亜全摘の長期成績の比較 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

160. 大橋学
手術手技 1.
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

161. 大橋学 , 江藤弘二郎 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 佐野武 , 比企直樹
機械式鏡視下胃胃吻合を伴う完全腹腔鏡下幽門保存胃切除術の短期成績 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

162. 大橋拓馬 , 布部創也 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 比企直樹
腹腔鏡下噴門側胃切除術における観音開き法再建時間の検討 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

163. 布部創也
For Better QOL ：上部胃がんに対する切除術式と再建法 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

164. 布部創也 , 比企直樹 , 熊谷厚志 , 井田智 , 大橋学
上腹部手術既往を有する腹腔鏡下胃がん手術 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

165. 布部創也 , 川久保博史
内視鏡と腹腔鏡のコラボレーション手術 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

166. 庄司佳晃 , 熊谷厚志 , 井田智 , 布部創也 , 大橋学 , 比企直樹
腹腔鏡下胃切除術における ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検及び OSNA 法によるリンパ節転移診断 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

167. 李基成 , 布部創也 , 大竹玲子 , 磯﨑正典 , 田嶋ジェシー雄 , 八木秀祐 , 髙橋遼 , 大橋拓馬 , 庄司佳晃 , 加納陽介 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 比企直樹 , 佐野武
腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き再建後の体重・骨格筋量の変化について .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

168. 比企直樹
内視鏡外科の合併症を減らす：胃外科 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

169. 比企直樹 , 布部創也 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学
病変局在に応じた Tailored LECS による胃 GIST 治療の工夫 .

第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

170. 比企直樹
食道胃接合部癌に対する苦しみをどう乗り越えるか：様々な modality（ロボット・腹腔鏡下・胸腔鏡下）を駆使して．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

171. 江藤弘二郎，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，岩上志朗，岩槻政晃，吉田直矢，馬場秀夫，比企直樹
Kidney Floating Sign と腹腔鏡下幽門側胃切除後合併症との関連．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

172. 熊谷厚志，比企直樹，布部創也，大橋学，井田智，加納陽介，庄司佳晃，李基成，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，大竹玲子，田島ジェシー雄
腹腔鏡下胃切除術における膵液漏の危険因子と、膵臓を圧迫しない手技による膵液漏予防効果の検討．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

173. 磯﨑正典，井田智，大竹玲子，田島ジェシー雄，大橋拓馬，髙橋遼，八木秀祐，李基成，庄司佳晃，加納陽介，熊谷厚志，布部創也，大橋学，比企直樹
胃上部の GIST に対する LECS の手術成績と手術手技の工夫．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

174. 比企直樹
安全な異物回収の工夫．
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2018

大腸外科

1. Nagaoka, T., Shinozaki, E., Watanabe, R., Ueno, E., Ota, Y., Osumi, H., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Suenaga, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K.
Clinical significance of morphologic response and tumor shrinkage as predictive factors of Capeox+bevacizumab in 1st line treatment of metastatic colorectal cancer.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

2. Akiyoshi, T.
Anatomy in low rectal cancer surgery: peri-rectal space, lateral LND, and
Asia Pacific Endoscopic Colorectal Summit: Shanghai, China, 2018

3. 小西毅，島田能史，Meier, H.，福長洋介，長山聡，藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，若井俊文，上野雅資，Gonen, M., Garcia-Aguilar, J., Weiser, M.
術前、術後 CEA のパターンに着目した結腸癌の再発予測：術前 CEA ではなく術後早期 CEA を測定すべきである．
第 88 回大腸癌研究会：東京，2018

4. 秋吉高志
腹腔鏡下高難度大腸癌手術．
第 88 回大腸癌研究会：東京，2018

5. 秋吉高志
技術認定取得を軸にした各施設の手技：今から未来へ！鏡視下手術最前線．
第 296 回東海外科学会・静岡県外科医会第 239 回集談会：浜松市，2018

6. Akiyoshi, T.
At which level the colon be transected?
2018 Colorectal Innovation Forum: Seoul, Korea, 2018

7. 佐々木茂真，藤本佳也，松浦信子，石川加奈子，藤浪文子，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，福長洋介，上野雅資
人工肛門造設術後の術前加療中の安全性の検討．
第 35 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：千葉市，2018

8. 藤本佳也 , 佐々木茂真 , 松浦信子 , 石川加奈子 , 藤浪文子 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 福長洋介 , 上野雅資
傍ストーマヘルニアの治療と予防 .
第 35 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 : 札幌市 , 2018

9. 秋吉高志
腹腔鏡下 TME および側方郭清の手術手技 .
第 151 回神奈川県臨床外科医学会集談会 : 横浜市 , 2018

10. 鈴木紳祐 , 藤本佳也 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
腹部救急疾患に対する鏡視下手術腹腔鏡下大腸切除後の縫合不全に対する腹腔鏡下再手術の有用性 .
第 54 回日本腹部救急医学会総会 : 東京 , 2018

11. Akiyoshi, T.
Laparoscopic CME: anatomy and techniques.
14th Colorectal Surgery Course: Hong Kong, China, 2018

12. Akiyoshi, T.
Laparoscopic pelvic lymph node dissection.
Annual Scientific Meeting of Hong Kong Society for Coloproctology: Hong Kong, China, 2018

13. 長山聡 , キョウハク , 片山量平
患者由来大腸癌細胞株を利用した薬剤感受性マップに基づいた個別化医療の試み .
第 104 回日本消化器病学会総会 : 東京 , 2018

14. 宮成淳 , 秋吉高志 , 本間理 , 永岡智之 , 佐々木茂真 , 磯崎正典 , 松井信平 , 富永哲郎 , 南宏典 , 牛込創 , 鈴木紳祐 , 村橋賢 , 福岡宏倫 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
直腸癌 Stage I の予後，再発の検討 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

15. 小西毅 , 篠崎英司 , 室伏景子 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 石塚直樹 , 山口研成 , 上野雅資
Induction chemotherapy，化学放射線療法，鏡視下手術を組み合わせた新時代の治療戦略に関する前向き試験 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

16. 村橋賢 , 秋吉高志 , 前佛均 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた cell free DNA の経時的変化と臨床病理学的因子の関連解析 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

17. 松井信平 , 福長洋介 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 上野雅資
根治術可能肝転移を有する Stage IV 直腸癌に対する治療戦略 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

18. 永岡智之 , 篠崎英司 , 山口研成 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資 , 渡邉亮輔 , 植野映子
切除不能進行再発大腸癌における治療効果予測因子としての Morphologic response と RECIST の比較 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

19. 秋吉高志 , 福岡宏倫 , 鈴木紳祐 , 牛込創 , 村橋賢 , 宮成淳 , 南宏典 , 松井信平 , 佐々木茂真 , 磯崎正典 , 永岡智之 , 本間理 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長陽介 , 上野雅資
術前放射線化学療法施行進行下部直腸癌における MRI を用いた側方リンパ節転移診断の有用性 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

20. 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資 , 齋浦明夫 , 髙橋祐 , 伊藤寛倫 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 三瀬祥弘 , 峯真司 , 渡邊雅之 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 比企直樹 , 佐野武
TNM 分類における Stage IV 大腸癌の M1c（腹

膜播種）細分類 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

21. 鈴木紳祐 , 福長洋介 , 牛込創 , 福岡宏倫 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 上野雅資
人工肛門閉鎖術の創閉鎖における VAC 療法の有用性 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

22. 長山聡 , 村岡賢 , 植田幸嗣 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 福長洋介 , 上野雅資
切除組織培養分泌 Exosome の網羅的プロテオーム解析による大腸癌診断バイオマーカー開発 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

23. 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 富永哲郎 , 福岡宏倫 , 鈴木紳祐 , 牛込創 , 村橋賢 , 宮成淳 , 南宏典 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
当院における直腸癌側方郭清の適応 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

24. Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Saito, S., Chino, A., Suzuki, S., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Ueno, M.
Feasibility of wedge resection of the colonic wall by using laparoscopic endoscopic co-operative surgery to colorectal benign tumor or cancer.
26th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): London, UK, 2018

25. Konishi, T., Ueno, M.
Feasibility of wedge resection of the colonic wall by using laparoscopic endoscopic co-operative surgery to colorectal benign tumor or cancer.
26th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery and other Interventional Techniques (EAES): London, UK, 2018

26. Akiyoshi, T.
Anatomy in low rectal cancer surgery: peri-rectal space and lateral lymph node dissection.
28th Shanghai Changhai International Colorectal Conference: Shanghai, China, 2018

27. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Laparoscopic versus open pelvic exenteration for colorectal malignancies: comparison of perioperative outcomes.
American Society of Colon and Rectum Surgeons (ASCRS) Annual Meeting: Nashville, TN, USA, 2018

28. Nagasaki, T., Tominaga, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Feasibility of peroperative chemoradiotherapy for elderly patients with rectal cancer.
American Society of Colon and Rectum Surgeons (ASCRS) Annual Meeting: Nashville, TN, USA, 2018

29. 福長洋介
高画質画像による骨盤深部解剖にもとづく安全精緻な直腸手術 .
第 29 回内視鏡外科フォーラム in 秋田 : 秋田市 , 2018

30. 秋吉高志
私が歩んできた、歩んでいく Laparoscopic Surgeon : 若手外科医へのメッセージ .
第 29 回内視鏡外科フォーラム in 秋田 : 秋田市 , 2018

31. 小西毅 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 上野雅資 , 佐野武 , 山口俊晴
高難度腹腔鏡下大腸手術における ICG 蛍光法を使用した手術ナビゲーション .
第 72 回手術手技研究会 : 鳴門市 , 2018

32. 長嵜寿矢
当院における腹腔鏡下大腸癌手術の技術伝承 .

第 72 回手術手技研究会：鳴門市 , 2018

33. Akiyoshi, T.
3D Live surgery: 3D laparoscopy-assisted rectal cancer radical surgery.
4th Shanghai International Colorectal Minimally Invasive Symposium: Shanghai, China, 2018

34. Konishi, T.
Laparoscopic D3 dissection for right colectomy.
14th Shanghai International Colorectal Minimally Invasive Symposium: Shanghai, China, 2018

35. Akiyoshi, T.
Surgical treatment of lateral lymph node metastasis.
19th Conference on Colorectal Cancer of Guangdong Province: Guangzhou, China, 2018

36. Konishi, T.
Extended lymphadenectomy for colorectal cancer with isolated synchronous extra-regional lymph node metastasis.
Russian School of Colorectal Surgery.: Moskow, Russia, 2018

37. 小西毅
TME を越えた外科治療：鏡視下外科医はどう貢献できるか？
第 10 回腹腔鏡下大腸切除研究会： 名護市 , 2018

38. 富永哲郎 , ほか
小腸癌を合併した家族性大腸腺腫症の 1 切除例 .
第 24 回日本家族性腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

39. 小西毅 , 石田秀行 , 上野秀樹 , 小林宏寿 , 檜井孝夫 , 井上靖浩 , 石田文生 , 金光幸秀 , 山口達郎 , 冨田尚裕 , 松原長秀 , 渡邉聡明 , 杉原健一
FAP に対する大腸全摘術の日本の現状 .
第 24 回日本家族性腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

40. 長嵜寿矢 , ほか
Lynch 症候群関連初発大腸癌に対する手術術式の検討 .
第 24 回日本家族性腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

41. Akiyoshi, T.
Laparoscopic surgery for advanced low rectal cancer-techniques of TME and lateral lymph node dissection.
2018 Sino-Japan Gusu Forum on Gastrointestinal Tumor Surgery: Suzhou, China, 2018

42. 小西毅
進行度に応じた消化管 NET の外科治療 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

43. Fukunaga, Y., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Akiyoshi , T., Nagasaki, T., Tominaga, T., Matsui, S., Miyanari, S.
Introduction and initial short-term outcomes of our trans-anal total mesorectal excision.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

44. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi , T., Nagasaki, T., Yamaguchi, K., Ueno, M.
Neoadjuvant chemotherapy, chemoraidotherapy and selective lateral node dissection for rectal cancer.
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

45. Konishi, T.
Prognostic impact of anatomical distribution of lymph node metastasis in right vs. left colon cancer.

第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

46. 佐々木茂真，福長洋介，鈴木紳介，福岡宏倫，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
人工肛門閉鎖術の閉鎖創における陰圧閉鎖療法の有用性．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

47. 南宏典，藤本佳也，宮成淳，村橋賢，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
閉塞性大腸癌に対する術前ステント留置症例の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

48. 宮成淳，秋吉高志，南宏典，村橋賢，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸癌 Stage I の側方リンパ節再発の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

49. 小西毅
ラパロとロボットの共存から学ぶ最新直腸癌手術．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

50. 小西毅
直腸外科治療の進歩と未来，そして国際化へ．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

51. 小西毅
腹腔鏡下大腸切除：「あるある」をみて，「またまた」手術が進化する！．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

52. 本間理，福長洋介，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
直腸癌手術における経肛門ドレーンの検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

53. 村橋賢，秋吉高志，前佛均，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた cell free DNA の経時的変化と臨床病理学的因子の関連解析．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

54. 松井信平，福長洋介，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，小西毅，長山聡，上野雅資，山口俊晴
腹腔鏡下結腸癌根治切除手術における needle-scopic surgery の長期予後に与える影響．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

55. 永岡智之，秋吉高志，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
他臓器浸潤結腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

56. 牛込創，福長洋介，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
多発直腸 NET の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

57. 福岡宏倫，福長洋介，牛込創，鈴木紳祐，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の要点と術式選択の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

58. 福長洋介
大腸：進行直腸癌 1.
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

59. 秋吉高志，長嵜寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，佐野武，山口俊晴

下部直腸癌に対する最適なアプローチ法：腹腔鏡下手術の立場から .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

60. 秋吉高志
今だからこそ，直腸がんに対する腹腔鏡手術を考える .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

61. 秋吉高志
大腸：下部直腸癌 2 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

62. 藤本佳也 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
傍ストーマヘルニアに対する腹腔鏡下ヘルニア修復術 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

63. 長山聡 , 長嵜寿也 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 福長洋介 , 上野雅資
横行結腸癌に対する Surgical trunk 周囲のリンパ節郭清の定型化 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

64. 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
当院における直腸癌側方リンパ節郭清に対する腹腔鏡手術手技 .
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市 , 2018

65. 小西毅
直腸癌の集学的治療と Watch and Wait の最新の動向 .
第 89 回大腸癌研究会：新潟市 , 2018

66. Akiyoshi, T.
How to expose the superior mesenteric vessels at the root? .
2018 Colorectal Innovation Forum: Seoul, Korea, 2018

67. Konishi, T.
1）Neurovascular bundle の血管処理
2）直腸癌手術の新展開：とくに側方リンパ節郭清について
3）私の learning Curve：師匠から学んだこと .
2018 中日腹腔鏡直腸癌手術精益シンポジウム：Beijing, China, 2018

68. Konishi, T.
Rectal Cancer –: upfront TME and Lateral node dissection without nCRT.
Colorectal: Latin American Forum Masters: Boston, MA, USA, 2018

69. Fukunaga, Y.
Laparoscopic rectal surgery based on anatomy of the pelvis (TME and TaTME).
第 12 回中国結腸直腸癌診療首脳フォーラム：Hangzhou, China, 2018

70. 小西毅
直腸外科医から見た骨盤解剖 .
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市 , 2018

71. 長山聡 , 崎村正太郎 , 清水大 , 新井田厚司 , 江口英利 , 増田隆明 , 宮野悟 , 柴田龍弘 , 三森功士
原発巣から転移巣への進化過程における腫瘍免疫応答の影響 .
第 77 回日本癌学会学術総会 , 2018

72. Akiyoshi , T., Suzuki, S., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Comparison of systemic inflammatory biomarkers as prognostic factors in stage Ⅱ and Ⅲ colon cancer.
European Society of Coloproctology (ESC): Nice, France, 2018

73. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Tominaga, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
The surgical and oncological safety of laparoscopic colectomy in colon cancer patient with bulky tumor.

European Society of Coloproctology (ESC): Nice, France, 2018

74. Fukunaga, Y., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Akiyoshi , T., Nagasaki, T., S., S.
Laparoscopy endoscopy cooperative surgery to colorectal tumor.
European Society of Coloproctology (ESC) Joint Session with European Association for Endoscopic Surgery (EAES): Nice, France, 2018

75. Akiyoshi , T.
Laparoscopic pelvic lymph node dissection.
2018 Guangzhou colorectal cancer minimally invasive surgical week: Guangzhou, China, 2018

76. 中西良太 , 福長洋介 , 長嵜寿矢 , 斎藤彰一 , 江本慎 , 平山和義 , 吉岡聡 , 北川祐資 , 本間理 , 永岡智之 , 松井信平 , 富永哲郎 , 南宏典 , 宮城淳 , 山口智弘 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 上野雅資
腹腔鏡・内視鏡合同手術にて切除しえた小腸脂肪腫の一例 .
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市 , 2018

77. 為我井芳郎 , 福長洋介
これからの LECS : 大腸 LECS : 大腸 LECS のメリットやこれからの展望について .
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市 , 2018

78. 鈴木紳介 , ほか
大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal : LECS-CR）の可能性 .
第 18 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市 , 2018

79. 藤本佳也
大腸手術 1.
第 73 回日本大腸肛門病学会学術集会 : 東京 , 2018

80. Kozuki, R., Shinozaki, E., Osumi, H., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ichimura, T., Ogura, M., Suzuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., Nagasaki, T., Akiyoshi , T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Phase II study of cetuximab rechallenge in patients with RAS wild-type metastatic colorectal cancer: E-rechallenge trial.
4th ESMO Asia 2018 Congress: Singaprore, 2018

81. Konishi, T.
Basic concept and technique for D3 dissection for Rt colon ca.
70th Annual Congress of the Korean Surgical Society (KSS): Seoul, Korea, 2018

82. Konishi, T.
Pelvic lymph node dissection.
Memorial Sloan Kettering Cancer Center 3rd Annual Advances in Colorectal Oncology: New York, USA, 2018

83. Fukunaga, Y.
Laparoscopic colorectal surgery in Japan.
日中腸管交流セミナー : Chongqing, China, 2018

84. 秋吉高志
大腸 1.
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

85. 鈴木伸祐 , 福長洋介 , 為我井芳郎
大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal ; LECS-CR）の可能性 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

86. 長山聡 , 八尾良司 , 岡本拓也
FAP 腫瘍からのオルガノイドの樹立とその生物学的特性の解析 .
第 26 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018): 神戸市 , 2018

87. 池田篤志，小西毅，山口智弘，長嵜寿矢，藤本佳也，秋吉高志，長山聡，福長洋介，上野雅資，佐野武，山口俊晴
大腸手術における術前経口抗菌薬腹腔鏡下大腸切除術における、術前経口抗菌薬　Cons の立場から .
第 31 回日本外科感染症学会総会学術集会： 大阪市，2018

88. 福長洋介
外科（腹腔鏡手術）電気メス VS 超音波凝固切開装置 .
第 73 回日本大腸肛門病学会学術集会： 東京，2018

89. 福長洋介
進行直腸がんに対する腹腔鏡手術：Technical Tips.
第 73 回日本大腸肛門病学会学術集会： 東京，2018

90. 秋吉高志
進行直腸がんに対する腹腔鏡手術：Technical Tips.
第 73 回日本大腸肛門病学会学術集会： 東京，2018

91. 富永哲郎，小西毅，永岡智之，本間理，松井信平，南宏典，宮成淳，山口智弘，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
局所進行直腸癌に対する conversion surgery.
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京，2018

92. Akiyoshi, T.
Oncological rationale of lateral pelvic lymph node dissection for advanced rectal cancer.
2018 Lateral Pelvic Lymph Node Dissection Cadaveric Workshop: Taiwan, 2018

93. Akiyoshi, T.
Updates of colorectal cancer in Japan.
Round Table Conference on Updates on the Management of Colorectal Cancer: Dak Lak, Vietnam, 2018

94. 中西良太，秋吉高志，本間理，永岡智之，南宏典，宮成淳，松井信平，富永哲郎，山口智弘，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における腹腔鏡下骨盤内臓摘除術の治療成績 Open vs Lap.
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

95. 北川祐資，福長洋介，山口智弘，長嵜寿矢，藤本佳也，秋吉高志，小西毅，長山聡，上野雅資
腹腔鏡下に根治手術を行った子宮内膜症由来盲腸癌の 1 例 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

96. 南宏典，藤本佳也，永岡智之，本間理，松井信平，富永哲郎，宮成淳，山口智弘，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
内視鏡外科手術による Redo surgery(消化器)
腹腔鏡下大腸切除後の縫合不全に対する腹腔鏡下再手術の有用性 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

97. 宮成淳，秋吉高志，本間理，永岡智之，松井信平，富永哲郎，南宏典，山口智弘，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸癌側方リンパ節再発に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清の検討 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

98. 富永哲郎，長嵜寿矢，本間理，永岡智之，松井信平，南宏典，宮成淳，山口智弘，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
腹腔鏡下結腸切除術患者における術前プレアルブミン値と合併症発生の検討 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

99. 小西毅
術前全身化学療法と化学放射線療法後の直腸がん手術 .

第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

100. 小西毅
進行直腸癌に対する術前化学放射線療法後の腹腔鏡手術の適応と治療成績．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

101. 山口智弘
大腸悪性　その他 1.
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

102. 山口智弘，富永哲郎，永岡智之，本間理，松井信平，南宏典，宮成淳，長嵜寿矢，藤本佳也，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸がんに対するロボット支援下手術：電気メスの安全な使用方法．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

103. 山口智弘
直腸癌に対するロボット手術導入と今後の展望．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

104. 本間理，福長洋介，永岡智之，松井信平，富永哲郎，南宏典，宮成淳，山口智弘，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
腹腔鏡下直腸手術後の経肛門ドレーン留置の有用性に関する検討．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

105. 松井信平，ほか
腹腔鏡下直腸癌根治切除手術における needlescopic surgery の長期予後に与える影響．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

106. 永岡智之，長嵜寿矢，本間理，松井信平，富永哲郎，宮成淳，南宏典，村橋賢，山口智弘，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
当院における下行結腸癌手術の工夫と成績．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

107. 江本慎，長嵜寿矢，南宏典，富永哲郎，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
子宮頸癌骨盤内リンパ節郭清後の露出脈管による絞扼性腸閉塞に対し腹腔鏡下に整復しえた 1 例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

108. 福長洋介
電気メス vs 超音波凝固切開装置（領域毎胃大腸）．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

109. 秋吉高志
大腸悪性：脾局部 1.
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

110. 秋吉高志，富永哲郎，松井信平，南宏典，永岡智之，本間理，宮成淳，山口智弘，長嵜寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
直腸癌術後骨盤内再発に対する腹腔鏡下手術のチャレンジ．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2018

111. 福長洋介，上野雅資，長山聡，藤本佳也，小西毅，秋吉高志，長嵜寿矢，山口智弘，松井信平，福岡宏倫
大腸癌に対する Needlescopic surgery の短期および長期成績．
7th Reduced Port Surgery Forum: 札幌市，2018

肝胆膵外科

1. Ishizawa, T.
Anatomical liver resection using ICG fluorescence imaging.

2018 Laparoscopic Liver Surgery: Bangkok, Thailand, 2018

2. Ito, H., Takahashi, Y., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Saiura, A.
Locally advanced gallbladder cancer: Contemporary outcomes for aggressive surgical management.
ASCO 2018 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, FL, USA, 2018

3. Ito, H.
Pancreaticoduodenectomy with common hepatic artery and portal vein resection for locally advanced pancreatic cancer.
Americas Hepato-Pancreat-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Miami Beach, FL, USA, 2018

4. Oba, A.
The clinical impact of left gastric artery reconstruction/preservation during distal pancreatectomy with celiac axis resection for pancreatic body cancer.
Americas Hepato-Pancreat-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Miami, Beach, FL, USA, 2018

5. Watanabe, G.
The long-term outcomes of radical pancreatosplenectomy for patients with distal pancreatic adenocarcinoma.
Americas Hepato-Pancreat-Biliary Association (AHPBA) Annual Meeting: Miami Beach, FL, USA, 2018

6. Ishizawa, T., Saiura, A., Hasegawa, H.
Applications of intraoperative fluorescence imaging to HPB surgery.
International Association of Surgeons,Gastroenterologists and Oncologists (IASGO): Tokyo, Japan, 2018

7. Saiura, A.
HBP Session 3.
International Association of Surgeons,Gastroenterologists and Oncologists (IASGO): Tokyo, Japan, 2018

8. Saiura, A.
Anterior approach and strict adjustment of dissection of the superior mesenteric artery during pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer
Joint Meeting of the Asian-Oceanic Pancreatic Association, the Korean Pancreatobiliary Association, and Korean Pancreas Surgery Culb (AOPA&KPBA&KPSC): Seoul, Korea, 2018

9. 三瀬祥弘 , 市田洋文 , 伊藤寛倫 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
Selective neoadjuvant chemotherapy for synchronous borderline resectable colorectal liver metastases.
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

10. 中瀬古裕一 , 井上陽介 , 大庭篤志 , 入江彰一 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
開腹肝切除における IVC ハーフクランプの有用性の検討 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

11. 井上陽介 , 齋浦明夫 , 大庭篤志 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐
局所進行膵体部癌の治療戦略 : GEM+nab-paclitaxel による術前化学療法と動脈合併膵切除時代の成績 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

12. 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 石沢武彰 , 齋浦明夫
局所進行胆嚢癌に対する外科治療戦略と長期成績 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会 : 東京 , 2018

13. 佐藤崇文，井上陽介，小野嘉大，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
膵体尾部切除後膵断端に対する空腸パッチの膵液瘻予防効果．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

14. 入江彰一，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
空腸静脈解剖に基づいた SMA 周囲血管処理による安全な膵頭十二指腸切除．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

15. 大庭篤志，井上陽介，佐藤崇文，中瀬古裕一，入江彰一，小野嘉大，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
左胃動脈血行の再建 / 温存を伴う腹腔動脈幹合併膵体尾部切除術の成績と ICG 蛍光血管造影を用いた工夫．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

16. 小野嘉大，井上陽介，髙橋祐，三瀬祥弘，石沢武彰，大庭篤志，入江彰一，佐藤崇文，川勝章司，伊藤寛倫，齋浦明夫
膵癌における左側門脈圧亢進症予防のための脾静脈再建・脾静脈圧測定の意義と有用性について．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

17. 川勝章司，三瀬祥弘，石沢武彰，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
大腸癌肝肺同時転移に対する肝肺異時切除の意義．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

18. 武田良祝，齋浦明夫，三瀬祥弘，石沢武彰，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐
膵切除後膵液瘻に対する瘻孔造影―重篤化の予測と早期介入―.
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

19. 水野智哉，三瀬祥弘，石沢武彰，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
大腸癌肝転移　Newly-detected colorectal liver metastasis（ND-CLM）の臨床的意義とは．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

20. 渡邉元己，伊藤寛倫，三瀬祥弘，井上陽介，石沢武彰，髙橋祐，齋浦明夫
膵体尾部癌に対する拡大膵体尾部切除術後の長期成績．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

21. 石沢武彰
Keynote Lecture: In vivo fluorescence imaging enabling “Tailor-made” surgery.
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

22. 石沢武彰，齋浦明夫，大庭篤志，三瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，栗木優五，神谷真子，浦野泰照，森一洋，宮田陽一，山下俊，阪本良弘，長谷川潔，國土典宏
画像シミュレーションの現状と課題：ブレイクスルーはあるのか？　テイラーメイド手術の実現に向けた術中蛍光イメージングの開発　10 年の軌跡と将来展望．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

23. 福留惟行，石沢武彰，渡邊元己，川勝章司，入江彰一，大庭篤志，佐藤崇文，水野智哉，小野嘉大，中瀬古裕一，武田良祝，三瀬祥弘，伊藤寛倫，井上陽介，髙橋祐，齋浦明夫
Use of intraoperative ICG-fluorescence imaging for laparoscopic anatomic hepatectomy.
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

24. 竹村信行，齋浦明夫，井上陽介，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，佐野武，山口俊晴
当施設の胃癌肝転移の切除成績．
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

25. 髙橋祐，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，伊藤寛倫，武田良祝，渡邊元己，川勝章司，入江彰一，大庭篤志，水野智哉，小野嘉大，佐藤崇文，中瀬古裕一，齋浦明夫
胆道癌に対する Major HPD の治療成績 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

26. 齋浦明夫
Border line 膵癌に対する腹腔動脈合併尾側膵切除術（DP-CAR）の意義 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会： 東京，2018

27. 齋浦明夫，髙橋祐，小野嘉大，井上陽介，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，佐藤崇文
門脈合併切除膵癌における脾静脈再建：する vs しない―する .
第 118 回日本外科学会定期学術集会：2018

28. Saiura, A.
Resection: Actual 10-year survival after surgical resection of colorectal liver metastases.
アジア太平洋肝臓学会 (APASL): Yokohama, Japan, 2018

29. Ito, H.
Gastric cancer: Will East meet West?: East.
Digestive Disease Week Society for Surgery of the Alimentary Tract 59th Annual Meeting (DDW/SSAT) 2018: Washington, D.C., 2018

30. Inoue, Y., Saiura, A., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Various benefits of a neoadjuvant therapy using gemcitabine and nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic cancers.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

31. Irie, S., Takahashi, Y., Ishizawa, T., Mise, Y., Inoue, Y., Ito, H., Saiura, A.
Outcomes of pancreaticoduodenectomy in elderly patients.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

32. Ishizawa, T., Saiura, A., Hasegawa, K.
Fluorescence image-guided surgical techniques for HBP surgery.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

33. Ito, H., Takahashi, Y., Mise, Y., Inoue, Y., ishizawa, T., Saiura, A.
Proprieties for Preoperative Therapy for Gallbladder Cancer with Extrahepatic Biliary Infiltration Surgical management for patients with T3+ gallbladder cancer: is aggressive operation worthwhile or futile?
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

34. Mise, Y., Ishizawa, t., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Timing of liver surgery for colorectal liver metastasis (surgery first vs. chemotherapy first) optimal indication criteria for neoadjuvant chemotherapy in patients with resectable colorectal liver metastases.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

35. Mizuno, T., Ito, H., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
The outcomes of transduodenal full-thickness ampullectomy for patients with ampullary tumor.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

36. Nakaseko, Y., Oba, A., Irie, S., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Impact of preoperative serum prealbumin on long-term outcomes after pancreatectomy for pancreatic cancer.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

37. Oba, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Nakaseko, Y., Irie, S., Ishizawa, T., Mise, Y., Ito, H., Ono, Y., Sato, H., Saiura, A.
Hepatopancreatoduodenectomy for Biliary Cancer: surgical procedure and outcome.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

38. Ono, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Oba, A., Irie, S., Nakaseko, Y., Sato, T., Ito, H., Saiura, A.
Splenic vein reconstruction after pancreaticoduodenectomy with splenic vein ligation.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

39. Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Sato, T., Ono, Y., Oba, A., Irie, S.
Difficulty assessment of HBP surgery designed to establish an educational path for young surgeons training program of HBP surgery in high volume center.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

40. Sato, T., Nakaseko, Y., Kawakatsu, S., Watanabe, G., Oba, A., Irie, S., Ono, Y., Mizuno, t., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Technique for prevention of pancreatic leak from proximal stump after middle pancreatectomy.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

41. Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Ishizawa, T., Mise, S., Ono, Y., Sato, T., Takeda, Y., Watanabe, G., Kawakatsu, S., Irie, S., Oba, A., Mizuno, T., Nakaseko, Y., Saiura, A.
Surgical outcome for left trisectionectomy for patients with perihilar cholangiocarcinoma.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

42. Takeda, Y., Saiura, A., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Yoshioka, R., Ito, H.
The chance of cure for patients with colorectal liver metastasis: Lessons learned from the outcomes with aggressive surgical management in the pre-modern chemotherapy era.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

43. Watanabe, G., Ito, H., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, K., Takahashi, Y., Saiura, A.
Evaluation of liver hypertrophy caused by portal vein embolization and ligation at the first hepatectomy of two-stage hepatectomy.
第 30 回日本肝胆膵外科学会学術集会：横浜市，2018

44. 大庭篤志，井上陽介，佐藤崇文，中瀬古裕一，入江彰一，小野嘉大，三瀬祥弘，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
腹腔動脈幹合併膵体尾切除・左胃動脈再建における ICG 蛍光管造影の有用性．
第 49 回日本膵臓病学会大会：和歌山市，2018

45. 小野嘉大，井上陽介，髙橋祐，石沢武彰，三瀬祥弘，伊藤寛倫，佐藤崇文，大庭篤志，齋浦明夫
脾静脈合併切除を伴う膵十二指腸切除における脾静脈再建法の検討．
第 49 回日本膵臓病学会大会：和歌山市，2018

46. 川勝章司，井上陽介，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，平塚真紀子，松田陽子，齋浦明夫
膵癌における術前治療と効果判定：画像・病理診断と腫瘍マーカーを中心に．
第 49 回日本膵臓病学会大会：和歌山市，2018

47. Saiura, A.
胃癌肝転移．
第 2 回胃腸外科診療の進み：東呉フォーラム：Suzhou, China, 2018

48. 中瀬古裕一，井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，三瀬祥弘，伊藤寛倫，石沢武彰，髙橋祐，齋浦明夫
三肝静脈浸潤大腸癌多発肝転移に対する治療戦略．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

49. 伊藤寛倫，髙橋祐，三瀬祥弘，石沢武彰，井上陽介，齋浦明夫
T3/4 胆嚢癌に対する外科治療：拡大手術の適応の是非．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

50. 佐藤崇文，井上陽介，小野嘉大，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
膵癌に対する膵体尾部切除における膵断端空腸被覆法．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

51. 入江彰一，石沢武彰，三瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
腹腔鏡下左肝切除における ICG 蛍光法の有用性．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

52. 大庭篤志，髙橋祐，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，伊藤寛倫，入江彰一，小野嘉大，佐藤崇文，齋浦明夫
胆道癌に対する Major HPD の手術手技と治療成績．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

53. 小野嘉大，井上陽介，髙橋祐，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，大庭篤志，佐藤崇文，入江彰一，齋浦明夫
膵癌術後再発形式からみた予後の検討．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

54. 川勝章司，井上陽介，三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，髙橋祐，平塚真紀子，松田陽子，齋浦明夫
膵癌切除症例における術前 GEM + nab-PTX 投与後の画像所見と病理所見．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

55. 水野智哉，齋浦明夫，髙橋祐，伊藤寛倫，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘
中央膵温存膵切除術の手技と要点．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

56. 渡邉元己，三瀬祥弘，伊藤寛倫，井上陽介，石沢武彰，髙橋祐，齋浦明夫
大腸癌肝転移肝門部リンパ節転移に対する切除治療の意義．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

57. 石沢武彰，大庭篤志，三瀬祥弘，井上陽介，伊藤寛倫，髙橋祐，齋浦明夫
確実な腹腔鏡下肝切除を実施する工夫と出血量評価に関する考察：開腹手術の見地から．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

58. 髙橋祐，伊藤寛倫，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，小野嘉大，佐藤崇文，齋浦明夫
肝門部領域胆管癌における血管合併切除の成績．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

59. 齋浦明夫
肝臓：肝転移２．
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

60. 三瀬祥弘，石沢武彰，伊藤寛倫，井上陽介，髙橋祐，齋浦明夫
当院における大腸癌多発肝転移に対する治療戦略：選択的術前化学療法と Parenchymal-sparing hepatectomy.
第 73 回日本消化器外科学会総会：鹿児島市，2018

61. Irie, S., Inoue, Y., Sato, T., Ono, Y., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.

The safe dissection based on jejunal veins anatomy- Disclosure of final black box of pancreaticoduodenectomy.
13th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Geneva, Switzerland, 2018

62. Ito, H., Takahashi, Y., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Saiura, A.
Surgical management for patients with T3+ gallbladder cancer: is aggressive operation worthwhile or futile?
13th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Geneva, Switzerland, 2018

63. Mise, Y., Arita, J., Sakamaki, K., Yamanaka, T., Saiura, A., Konishi, M., Shimada, K., Hashimoto, M., Sano, C., Uesaka, K.
The safety of liver surgery with no-drain policy: A multicenter randomized controlled trial.
13th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Geneva, Switzerland, 2018

64. Oba, A., Inoue, Y., Sato, T., Ono, Y., Mise, Y., Ito, H., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
The clinical impact of left gastric artery reconstruction/preservation during distal pancreatectomy with celiac axis resection for pancreatic body cancer.
13th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Geneva, Switzerland, 2018

65. Saiura, A., Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Mise, Y., Sato, T., Ono, Y.
Extended pancreaticoduodenectomy with portal vein resection - supracolic anterior approach and splenic vein reconstruction.
13th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Geneva,Switzerland, 2018

66. 髙橋祐 , 笹平直樹 , 齋浦明夫
肝門部領域胆管癌に対する適切な術前ドレナージ方法と術式決定術前胆道ドレナージとしての胆管内ステント（Inside-stent）の安全性・有効性の検証 .
第 54 回日本胆道学会学術集会 : 千葉市 , 2018

67. 齋浦明夫
Hepatocellular carcinoma（1）.
第 77 回日本癌学会学術総会 : 大阪市 , 2018

68. Saiura, A., Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Mise, Y., Sato, T., Ono, Y.
How-I-do-it: Practical tips for anterior approach.
70th Annual Congress of the Korean Surgical Society (KSS): Seoul, Korea, 2018

69. 井上陽介 , 大庭篤志 , 牛田雄太 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
切除可能境界域膵癌に対する GEM+nab-Paclitaxel による術前補助化学療法 .
第 13 回膵癌術前治療研究会 : 福岡市 , 2018

70. 牛田雄太 , 井上陽介 , 大庭篤志 , 入江彰一 , 佐藤崇文 , 小野嘉大 , 三瀬祥弘 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
切除不能膵癌に対する Conversion surgery.
第 13 回膵癌術前治療研究会 : 福岡市 , 2018

71. 齋浦明夫 , 足立智彦
ボーダーライン膵癌 .
第 13 回膵癌術前治療研究会 : 福岡市 , 2018

72. 井上陽介 , 佐藤崇文 , 小野嘉大 , 三瀬祥弘 , 伊藤廣倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
当科における Lap-RAMPS の導入。開腹 RAMPS との相違点 .
第 10 回膵癌内視鏡外科研究会 : 東京 , 2018

73. 齋浦明夫
肝臓 4.
第 26 回日本消化器関連学会週間（JDDW）: 神戸市 , 2018

74. 大道清彦 , 髙橋祐 , 入江彰一 , 大庭篤志 , 井上陽介 , 三瀬祥弘 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 齋浦明夫

HPD の適応と治療成績：安全性と予後の評価：胆管癌に対する HPD の治療成績 .
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2018

75. 宮下真美子 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 伊藤寛倫 , 髙橋祐 , 齋浦明夫
肝転移再発を来した胆管 NET の 1 例 .
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2018

76. 小野嘉大 , 井上陽介 , 髙橋祐 , 三瀬祥弘 , 大庭篤志 , 入江彰一 , 中瀬古裕一 , 佐藤崇文 , 伊藤博倫 , 齋浦明夫
脾静脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除における脾静脈再建の手技と意義 .
第 80 回日本臨床外科学会総会：東京 , 2018

77. 三瀬祥弘 , 長嵜寿矢 , 井上陽介 , 斎浦明夫
膵浸潤を伴う大腸癌に対する腹腔鏡下左半結腸手術中に腹腔鏡下脾温存膵尾部切除を付加した 1 例 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

78. 中瀬古裕一 , 入江彰一 , 大庭篤志 , 小野嘉大 , 佐藤崇文 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 齋浦明夫
胆嚢脂肪肉腫に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

79. 井上陽介 , 佐藤崇文 , 小野嘉大 , 三瀬祥弘 , 齋浦明夫
ICG 蛍光法による胆道造影の腹腔鏡下片肝切除における有用性 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

80. 佐藤崇文 , 大庭篤志 , 入江彰一 , 大道清彦 , 小野嘉大 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 斎浦明夫
腹腔鏡下肝切除術における離断面に対する組織接着シート貼付法 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

81. 大庭篤志 , 石沢武彰 , 中瀬古裕一 , 入江彰一 , 佐藤崇文 , 小野嘉大 , 三瀬祥弘 , 井上陽介 , 齋浦明夫
腹腔鏡下肝切除における出血量過小評価の可能性の検討 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

82. 齋浦明夫
肝臓 6　部分切除 .
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市 , 2018

乳腺内科

1. Shibayama, T., Kobayashi, T., Ohno, S., Ito, Y., Ueno, T., Ono, M., Takahashi, S., Low, S.-K.
Clinical significance of ESR1 gene mutation cfDNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer.
11th AACR-JCA Joint Conference: Maui, HI, USA, 2018

2. 柴山朋子
ホルモン陽性転移再発乳癌に対する治療の最適化を目指した患者末梢血中 cfDNA 変異モニタリング .
第 51 回制癌剤適応研究会：下呂市 , 2018

3. Kobayashi, K., Ono, M., Kobayashi, T., Ito, Y., Ohno, S.
Thrombocytopenia caused by pegfilgrastim in patients with breast cancer.
Global Breast Cancer Conference (GBCC2018): Incheon, Korea, 2018

4. 伊藤良則
乳癌の新規薬物療法 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

5. 伊藤良則
内科系乳腺専門医の実現に向けて .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

6. 柴山朋子 , 小林隆之 , 小林心 , 小野麻紀子 , 上野貴之 , 髙橋俊二 , 伊藤良則 , 大野真司
ER 陽性 HER2 陽性転移再発乳癌に対する trastuzumab　emtansine の臨床的意義について .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

7. 伊藤良則
Optimizing outcomes in HR+/HER2– mBC.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

8. 伊藤良則
これからの ER 陽性乳癌の治療戦略：化学療法に求められる役割 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

9. 小林心 , 伊藤良則 , 大野真司
薬物療法中の転移再発乳癌患者における就労希望の実際 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

10. 小林隆之 , 伊藤良則 , 高澤豊 , 柴山朋子 , 福岡恵 , 倉田麻美 , 小林心 , 上野貴之 , 大野真司
T-DM1 により結節性再生性過形成を発症した乳癌の 1 例 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

11. 柴山朋子 , 小林隆之 , 大野真司 , 伊藤良則 , 上野貴之 , 小野麻紀子 , 高橋俊二 , シューキーロウ
Evaluation of cfDNA mutation spectrum in metastatic breast cancer.
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

12. 伊藤良則
Treatment strategy for HR+/HER2-ABC Patients.
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2018

13. 小林心 , 南野哲男
抗がん剤による有害事象 1.
第 1 回日本腫瘍循環器学会学術集会： 東京 , 2018

14. Abe, T., Ito, Y., Fukada, I., Shibayama, T., Ono, M., Kobayashi, T., Kobayashi, K., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ueno, T., Ohno, S.
Lymphatic invasion is an independent risk factor in patients with small node-negative luminal breast cancer.
41st Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2018

15. Kobayashi, K., Taira, N., Sawaki , M., Sagawa, N., Baba, S., Saito, T., Kawahara, T., Hagiwara, Y., Uemura, Y., Shimozuma, K., Ohashi, Y., Mukai, H.
Patient-reported outcomes with trastuzumab monotherapy versus trastuzumab plus standard chemotherapy as a postoperative adjuvant therapy in HER2-positive elderly breast cancer patients (RESPECT): A randomized, open-label, phase 3 clinical trial.
41st Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2018

乳腺外科

1. Ohno, S.
Update on surgical aspect & DCIS from SABCS.
Best of SABCS (San Antonio Breast Cancer Symposium) Hong Kong, 2018

2. 荻谷朗子
乳房再建：一乳腺外科医が考える .
千葉若手乳腺腫瘍定期集会：千葉市 , 2018

3. 北川大
BRCA1 変異陽性乳癌に対し、乳房部分切除をする / しない .
第 6 回 Young Breast Medical Oncologist Conference: 東京 , 2018

4. 武田美鈴 , 片岡明美 , 阿部朋未 , 植弘奈津恵 , 森園英智 , 上野貴之 , 伊藤良則 , 大野真司
当院において根治術後に出産した若年性乳癌の特徴について .
第 8 回日本がん･生殖医療学会学術集会：東京 , 2018

5. 五味直哉 , 荻谷朗子
乳腺画像：臨床、画像、病理に臨むこと：より

精度の高い診断と治療を目指して .
第 37 回日本画像医学会：東京 , 2018

6. 米倉利香
より精度の高い診断と治療を目指して：臨床医の立場から画像診断医、病理医に望むこと .
第 37 回日本画像医学会：東京 , 2018

7. 大野真司
Call-to-Action 再発乳癌医療を拓く .
第 15 回日本乳癌学会九州地方会：久留米市 , 2018

8. 大野真司
あなたの乳房は大丈夫ですか？今知っておくべき乳がんのこと .
第 15 回日本乳癌学会九州地方会：久留米市 , 2018

9. 大野真司
乳がん医療の現況と展望：De-escalation and Escalation.
第 24 回日本産婦人科乳腺医学会：福岡市 , 2018

10. 上野貴之
乳腺：その他 . [司会]
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京 , 2018

11. 片岡明美 , 植弘奈津恵 , 米倉利香 , 高橋洋子 , 秋吉清百合 , 照屋なつき , 稲荷均 , 中島絵里 , 北川大 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 岩瀬拓士 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
StageII，III の若年性乳癌患者（＜40 歳）における術前化学療法（NAC）の臨床的意義 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京 , 2018

12. 荻谷朗子 , 佐藤綾花 , 坂井威彦 , 米倉利香 , 秋吉清百合 , 植弘奈津恵 , 高橋洋子 , 稲荷均 , 照屋なつき , 中島絵里 , 北川大 , 片岡明美 , 宮城由美 , 森園英智 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
温存乳房内癌に対する再センチネルリンパ節生検 .
第 118 回日本外科学会定期学術集会：東京 , 2018

13. 上野貴之
Neoadjuvant hormone therapy による治療最適化 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

14. 上野貴之
がん微小環境に基づいた Luminal 乳がん治療を考える .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

15: 上野貴之
分子標的治療 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

16. 上野貴之
新規バイオマーカーの臨床応用、予後予測因子・治療効果予測因子 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

17. 中島絵里 , 北川大 , 吉田玲子 , 稲荷均 , 秋吉清百合 , 前田哲代 , 細永真理 , 照屋なつき , 坂井威彦 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 新井正美 , 秋山太 , 小口正彦 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司
BRCA 変異陽性乳癌に対しての乳房温存療法は妥当か .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

18. 北川大 , 中島絵里 , 竹内抄與子 , 喜多瑞穂 , 芦原有美 , 吉田玲子 , 前田哲代 , 秋吉清百合 , 細永真理 , 稲荷均 , 上野貴之 , 新井正美 , 岩瀬拓士 , 大野真司
BRCA1/2 病的変異保持者の最適な乳房管理を目指して：リスク低減乳房切除（RRM）を考えるための情報とは .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

19. 吉田和世 , 伊藤良則 , 深田一平 , 柴山朋子 , 倉田麻美 , 細永真理 , 小林心 , 小林隆之 , 小野麻紀子 , 平良眞一郎 , 高橋俊二 , 上野貴之 , 大野真司
AC 療法におけるペグフィルグラスチムの効果：発熱性好中球減少症の二次予防と相対治療強

度 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

20. 大野真司
はじまる共に生きる医療：質問紙を使った APC 導入 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

21. 大野真司
多職種のための M&M（morbidity and mortality）カンファレンス : うまくいかなかった事例に学び、医療の質を高める .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

22. 大野真司
患者市民の研究参画：新しいシステムの構築に向けて .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

23. 森園英智 , 池畑浩一 , 福岡恵 , 高橋洋子 , 米倉利香 , 宮城由美 , 圓岡有里 , 加藤千絵子 , 國分優美 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司
乳腺穿刺吸引細胞診における識別困難症例の検討（年次推移も併せて）.
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

24. 植弘奈津恵 , 高橋洋子 , 藤島成 , 秋吉清百合 , 米倉利香 , 稲荷均 , 照屋なつき , 片岡明美 , 北川大 , 中島絵里 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司
術後 Trastuzumab 療法開始以前の HER2 陽性乳癌の予後と再発因子の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

25. 武田美鈴 , 小林心 , 倉田麻美 , 柴山朋子 , 小林隆之 , 細永真理 , 上野貴之 , 大野真司 , 伊藤良則
高齢者における転移・再発乳癌に対する薬物治療の現状 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

26. 照屋なつき , 岩瀬拓士 , 稲荷均 , 秋吉清百合 , 米倉利香 , 植弘奈津恵 , 髙橋洋子 , 藤島成 , 片岡明美 , 北川大 , 中島絵里 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 上野貴之 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
術前の細胞診 / 針生検による腫瘍細胞の播種が認められた乳癌症例の臨床病理学的特徴 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

27. 片岡明美 , 阿部朋未 , 武田美鈴 , 中山松美 , 大場玉記 , 東千絵 , 竹内抄與子 , 小野麻紀子 , 市村崇 , 植弘奈津恵 , 森園英智 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司
若年乳癌患者の Oncofertility 医療の構築と今後の展望 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

28. 福岡恵 , 宮城由美 , 米倉利香 , 高橋洋子 , 森園英智 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 國分優美 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
乳癌のサブタイプ分類とマンモグラフィ所見の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

29. 秋吉清百合 , 小林心 , 小林隆之 , 米倉利香 , 植弘奈津恵 , 照屋なつき , 高橋洋子 , 稲荷均 , 中島絵里 , 北川大 , 岡明美 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 伊藤良則 , 大野真司
リンパ節転移陰性 HER2 陽性乳癌に対する周術期化学療法・分子標的治療の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

30. 稲荷均 , 照屋なつき , 福岡恵 , 笹聡一郎 , 貴志美紀 , 片岡明美 , 坂井威彦 , 北川大 , 中島絵里 , 荻谷朗子 , 森園英智 , 宮城由美 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 伊藤良則 , 高橋俊二 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 大野真司
遠隔転移を伴わない鎖骨上、胸骨傍リンパ節再発例の治療戦略 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

31. 米倉利香 , 大迫智 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司 , 秋山太
DCIS におけるセンチネルリンパ節転移の臨床的意義 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市 , 2018

32. 荻谷朗子，岩瀬拓士，藤島成，秋吉清百合，米倉利香，植弘奈津恵，高橋洋子，稲荷均，照屋なつき，片岡明美，中島絵里，北川大，坂井威彦，飯島耕太郎，森園英智，宮城由美，上野貴之，大野真司
郭清、センチネルリンパ節生検の術後 1,3,5 年のリンパ浮腫発生頻度と経年的変化について．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

33. 藤島成，片岡明美，中島絵里，植弘奈津恵，高橋洋子，秋吉清百合，米倉利香，稲荷均，照屋なつき，北川大，荻谷朗子，森園英智，宮城由美，吉田玲子，新井正美，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，上野貴之，大野真司
当院における男性乳癌の家族歴からみた予後の検討．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

34. 貴志美紀，岩瀬拓士，照屋なつき，稲荷均，上野貴之，堀井理絵，秋山太，大野真司
術前針生検で浸潤性小葉癌が疑われた症例の温存術式選択について．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

35. 阿部朋未，伊藤良則，深田一平，柴山朋子，小野麻紀子，平良眞一郎，小林隆之，小林心，高橋俊二，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，上野貴之，大野真司
リンパ節転移陰性 Luminal 乳癌におけるリンパ管侵襲と予後因子の後方的検討．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

36. 高橋洋子，上野貴之，尾崎章彦，笹聡一郎，秋吉清百合，米倉利香，稲荷均，植弘奈津恵，照屋なつき，中島絵里，北川大，片岡明美，荻谷朗子，森園英智，宮城由美，堀井理絵，秋山太，伊藤良則，岩瀬拓士，大野真
HER2 陽性乳癌に対する術後薬物療法におけるトラスツズマブ使用長期成績．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：2018

37. 大野真司
Five in Five：明日の乳がん医療のための今日．
第 55 回九州外科学会：福岡市，2018

38. 荻谷朗子
形成外科と行う再建のための手術の工夫：整容性と安全性を考慮したスムーズな連携．
2nd Bs Summit: 東京，2018

39. 荻谷朗子
高濃度乳房問題．
東京都診療放射線技師会第４地区研修会：東京，2018

40. 大野真司
看護師もこれだけは知っておこうゲノム医療と遺伝子相談．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2018

41. 片岡明美，阿部朋未，武田美鈴，植弘奈津恵，森園英智，伊藤良則，上野貴之，大野真司
若年性乳癌患者の妊孕性温存の支援体制について．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2018

42. 大野真司
女性のがん医療で遺伝子について知っておくべきこと．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会；：神戸市，2018

43. 北川大
再建時代の乳癌手術に関する乳腺外科医の心得．
第 83 回釧路外科集談会：釧路市，2018

44. Ohno, S.
The optimal pathology report from the viewpoint of the surgeon.
Taipei International Breast Cancer Symposium: Taipei, Taiwan, 2018

45. 大野真司
Call to Action はじまる共に生きる医療：質問紙を使った ACP 導入．
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：福岡市，2018

46. 森園英智，海瀬博史，大石陽子，細川恵子，金井久子，竹井淳子，鈴木正人，蒔田益次郎，長瀬慈村
患者支援活動 With you Tokyo のめざすもの．
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：福岡市，2018

47. 阿部朋未，片岡明美，武田美鈴，植弘奈津恵，森園英智，上野貴之，伊藤良則，大野真司
乳癌治療後に出産をした 35 歳以下のホルモン受容体陽性乳癌患者における臨床病理学的特徴．
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：福岡市，2018

48. 大野真司
術後放射線治療：再建乳房への長期の影響．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

49. 米倉利香
これからの超音波、誰が担う？：ハイボリュームセンターでの乳癌診療　完全分業化とチーム診療を通じての経験．
第 41 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：大阪市，2018

50. 荻谷朗子
手術のコツ：内胸リンパ節センチネル生検．
第 7 回乳癌治療を考える会：東京，2018

51. 米倉利香，宮城由美，高橋洋子，森園英智，國分優美，五味直哉，菊池真理，大迫智，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，上野貴之，大野真司
乳房の構成評価で分類した乳癌の臨床病理学的特徴と予後の比較検討．
第 28 回日本乳癌検診学会学術総会： 大阪市，2018

52. 宮城由美，米倉利香，高畑史子，森園英智，國分優美，菊池真理，五味直哉，堀井理絵，秋山太，上野貴之，岩瀬拓士，大野真司
当院における Category3 の集簇性石灰化病変の経過から考える最適な診療方針．
第 28 回日本乳癌検診学会総会：大阪市，2018

53. 大野真司
がん医療におけるチーム医療と薬剤師の役割・責任．
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市，2018

54. Sakai, T., Ozkurt, E., Desantis, S., Wong, S., Rosenbaum, L., Zheng, H., Ohno, S., Golshan, M.
Trends in incidence of bilateral breast cancer: A Population-based comparative study of the United States and Japan.
41st Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2018

55. Yonekura, R., Osako, T., Iwase, T., Ogiya, A., Ueno, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Prognostic impact and possible pathogenesis of lymph node metastasis in ductal carcinoma in site of the breast.
41st Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2018

56. 佐伯澄人，小林隆之，添田郁美，小林心，福田貴代，倉田麻美，柴山朋子，細永真理，小野麻紀子，平良眞一郎，高橋俊二，伊藤良則，大野真司
パルボシクリブ投与後に肝機能障害を認めた転移乳癌の 2 例．
第 15 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2018

57. 前島佑里奈，藤島成，宮城由美，福岡恵，高畑史子，米倉利香，森園英智，上野貴之，堀井理絵，秋山太，大野真司
葉状腫瘍を背景に発生した紡錘細胞癌の一例．
第 15 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2018

58. 多田真奈美，稲荷均，前田哲代，吉田和世，貴志美紀，高橋洋子，北川大，片岡明美，上野貴之，堀井理絵，秋山太，大野真司
対側腋窩リンパ節転移を伴い特異な乳頭内再発を来した非浸潤性乳管癌の 1 例．
第 15 回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2018

59. 大野真司
BRCA 陽性乳がん患者に乳房温存術する・しない .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

60. 大野真司
乳癌多遺伝子検査の最新治験 : TAILOx 試験結果を正しく理解して上手に活用するために .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

61. 添田郁美 , 小林心 , 柴山朋子 , 細永真理 , 小野麻紀子 , 小林隆之 , 伊藤良則 , 大野真司
ペルツズマブ投与で重度のアレルギー症状を呈した乳癌の一例 .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

62. 片岡明美
一般演題 E. [座長]
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

63. 田中幸美 , 荻谷朗子 , 坂井威彦 , 上野貴之 , 大野真司 , 大迫智 , 堀井理恵 , 秋山太
術前待機中に画像で自然縮小を認めた乳癌 .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

64. 福岡恵 , 宮城由美 , 吉田和世 , 貴志美紀 , 秋吉清百合 , 北川大 , 上野貴之 , 堀井理絵 , 秋山太 , 竹内賢吾 , 大野真司
乳房 Castleman disease の 1 例 .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

65. 阿部朋未 , 荻谷朗子 , 堀井理絵 , 秋山太 , 上野貴之 , 大野真司
対側腋窩リンパ節が転移陽性であり、リンフォシンチグラフィで一次リンパ節と考えた右乳癌 .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

66. 高畑史子 , 藤島成 , 米倉利香 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 上野貴之 , 大野真司
適切な術後療法の決定に内胸リンパ節生検が有用であった右内上乳癌の一例 .
第 15 回日本乳癌学会関東地方会 : さいたま市 , 2018

67. 上野貴之
転移バイオロジーからの治療戦略を考える .
第 16 回日本乳癌学会近畿地方会 : 大阪市 , 2018

婦人科

1. 金尾祐之
腹腔鏡下広汎子宮全摘術の定型化 .
第 1 回北海道婦人科アドバンスラパロセミナー : 札幌市 , 2018

2. 野村秀高
当院におけるリスク低減卵管卵巣摘出術と術後サーベイランス .
第 6 回 HBOC コンソーシアム学術総会 : 東京 , 2018

3. 金尾祐之
腹腔鏡補助下広汎子宮頚部摘出術 .
第 6 回東京低侵襲婦人科手術研究会 : 東京 , 2018

4. 金尾祐之
系統解剖学と外科解剖学の融合とその先にある女性骨盤手術 .
第 12 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会 : 東京 , 2018

5. Kanao, H.
Difficult laparoscopy - Deep infiltrating endometriosis and complication.
1st Thai Endoscopic Society for Gynecologic Oncology (TESGO) Annual Meeting: Bangkok, Thailand, 2018

6. 宇津木久仁子
MLD/SLD の効果・効率的活用法 .
第 2 回日本リンパ浮腫学会総会 : 福岡市 , 2018

7. 宇津木久仁子
分葉状内頸部腺過形成とその周辺疾患 .
第 37 回埼玉研臨床細胞学会埼玉研臨床細胞医会学術集会：さいたま市 , 2018

8. 尾松公平
免疫チェックポイント .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

9. 金尾祐之
私の考える骨盤解剖と機能温存手術：標準例からトラブル対応まで .
第 29 回内視鏡外科フォーラム in 秋田：秋田市 , 2018

10. 加藤一喜
婦人科がん手術の最前線：手技の実践と CART の活用 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

11. 加藤一嘉
婦人科手術の最前線　高難度症例に対するコツとピットフォールの全て：リンパ節郭清から腸管再建まで .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

12. 宇津木久仁子 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 長島稔 , 杉原武 , 岡本修平 , 西村宙起 , 金尾祐之 , 竹島信宏
子宮筋腫合併子宮体癌の腹腔鏡下手術での注意点 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

13. 尾身牧子 , 岡本修平 , 久毅 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 竹島信宏
手術翌日の血中クレアチニン値は術中尿路損傷の診断に寄与するか .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

14. 岡本三四郎 , 西村宙起 , 長島稔 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
当院における早期子宮体癌症例で腹腔鏡下子宮体癌根治術を施行し術後再発を認めた症例の検討 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

15. 岡本修平 , 杉原武 , 尾身牧子 , 久毅 , 青木洋一 , 野村秀高 , 金尾祐之 , 尾松公平 , 加藤一喜 , 宇津木久子 , 竹島信宏
当科での卵巣癌患者の深部静脈血栓症 (DVT) の発生状況とリスク因子の検討 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

16. 的田眞紀 , 谷川輝美 , 西村宙起 , 尾身牧子 , 太田絵美 , 青木洋一 , 野村秀高 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 竹島信宏
子宮頸癌リンパ節転移症例に対する術後療法の治療成績：術後化学療法を中心に .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

17. 竹島信宏
卵巣癌治療における VEGF 阻害薬の新たなエビデンス：国内臨床試験を中心に .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

18. 谷川輝美 , 的田眞紀 , 杉原武 , 岡本修平 , 野村秀高 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
再発卵巣がんの二次治療における Bevacizumab beyond PD の治療成績 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

19. 野村秀高 , 太田絵美 , 長島稔 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
当院で BRCA1/2 変異陽性者に対してリスク低減卵管卵巣摘出術を施行した 51 例の臨床病理学的検討 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

20. 金尾祐之
婦人科がんの手術療法 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

21. 長島稔 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 谷川輝美 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体がん根治術の短期治療成績とこれまでの治療成績との比較 .
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会： 仙台市 , 2018

22. 金尾祐之
系統解剖学と外科解剖学に基づく骨盤内視鏡手術：骨盤内視鏡手術の限界は .
第 20 回南九州内視鏡外科研究会： 鹿児島市 , 2018

23. 野村秀高 , ほか
当院でリスク低減卵管卵巣摘出術を施行し、オカルト癌を認めた 2 例の検討 .
第 24 回日本家族性腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

24. 金尾祐之 , 竹島信宏
系統解剖学と外科解剖学の融合の先にある婦人科腹腔鏡手術 .
第 28 回骨盤外科機能温存研究会： 千葉市 , 2018

25. 金尾祐之 , 竹島信宏
腹腔鏡下拡大骨盤外科手術：婦人科疾患に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘術 .
第 28 回骨盤外科機能温存研究会： 千葉市 , 2018

26. 野村秀高 , 杉山裕子 , 伊藤崇彦 , 小松京子 , 古田則行 , 岡本三四郎 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
癌専門病院に於ける記述式子宮内膜細胞診報告様式運用の実際と今後の課題 .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

27. 加藤一喜
ベバシズマブを用いた進行卵巣癌に対する初回化学療法 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

28. 温泉川真由
婦人科がん 1（子宮頸部・体部）.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

29. 竹島信宏
子宮頸癌の化学療法～ CPT-11/NDP の有用性の検証～ .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

30. 一瀬隆行 , 野村秀高 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
腹腔鏡下子宮全摘術後に気胸を発症した 1 例 .
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市 , 2018

31. 中林誠 , 宮本真豪 , 岡田義之 , 朝見友香 , 島田佳苗 , 飯塚千祥 , 小貫麻美子 , 石川哲也 , 金尾祐之 , 竹島信宏 , 松本光司
TLH を始めて 1 年間の検討 .
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市 , 2018

32. 加藤一喜 , 太田絵美 , 青木洋一 , 金尾祐之 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 谷川輝美 , 尾松公平 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
腹腔鏡下手術にて病勢を診断しストマ造設を行った小腸腟瘻を伴う再発卵巣がんの一例 .
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市 , 2018

33. 太田絵美 , 竹島信宏 , 宇津木久仁子 , 加藤一喜 , 金尾祐之 , 尾松公平 , 岡本三四郎 , 的田眞紀 , 谷川輝美 , 野村秀高
多発子宮筋腫を合併した子宮頸部異形成に対して行う腹腔鏡下子宮全摘術 .
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市 , 2018

34. 宇津木久仁子 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 加藤一喜 , 尾松公平 , 的田眞紀 , 谷川輝美 , 青木洋一 ,

金尾祐之，竹島信宏
ガーゼオーマと鑑別を要したリンパ嚢胞石灰化肉芽腫．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

35. 尾松公平，野村秀高，岡本三四郎，板橋彩，太田絵美，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，金尾祐之，竹島信宏
腹腔鏡手術後にインフォーメーションドレーンが有用であった1例．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

36. 尾身牧子，長島稔，金尾祐之，竹島信宏
腹腔鏡下広汎子宮全摘術において「切開ラインをつくる」助手鉗子操作．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

37. 尾身牧子，長島稔，金尾祐之，竹島信宏
陽子線照射後に腟断端に再々発し、腹腔鏡下に腫瘍切除を行った子宮頸癌の1例．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

38. 的田眞紀，谷川輝美，西村宙起，尾身牧子，太田絵美，青木洋一，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
開腹手術を主に行ってきた婦人科腫瘍専門医が考える腹腔鏡下広汎子宮全摘術．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

39. 竹島信宏，太田絵美，青木洋一
バッグ破損を回避するためのHand-Assisted In-Bag Morcellation with the Inside Retractor Technique.
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

40. 谷川輝美，的田眞紀，西村宙起，青木洋一，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
子宮肉腫の細切が再発に与える影響．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

41. 野村秀高，金尾祐之，一瀬隆行，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，加藤一喜，宇津木久仁子，竹島信宏
根治性と安全性を重視した腹腔鏡下広汎子宮全摘術．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

42. 金尾祐之，竹島信宏
婦人科がん手術に必要な骨盤解剖．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

43. 金尾祐之
骨盤解剖に基づいた切離と剥離：TLHからTLRHへ．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

44. 青木洋一，金尾祐之，野村秀高，岡本修平，久毅，杉原武，竹島信宏
In-Bag Morcellationによる検体回収方法の検討，Hand assisted method と Power morcellationの比較。アニマルモデルを用いて．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

45. 青木洋一
傍大動脈リンパ節郭清．
第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：松江市，2018

46. Aoki, Y., Kanao, H.
Laparoscopic sentinel lymph node mapping using indocyanine green fluorescent dye for cervical cancer.
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

47. Ichinose, T., Nomura, H., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kanao, H., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Two cases of pancreatic cancer detected

during surveillance for hereditary breast and ovarian cancer (HBOC) syndrome.
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

48. Kanao, H.
Laparoscopic radical surgery for cervical cancer.
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

49. Nomura, H.
Cut the champagne bubble to develop retroperitoneal space without bleeding!
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

50. Tanigawa, T., Matoda, M., Omi, M., Ota, E., Nishimura, H., Aoki, Y., Nomura, H., Okamoto, S., Omatsu, K., Kanao, H., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
The impact of intraperitoneal morcellation or enucleation on recurrence of patients with unexpected uterine sarcoma.
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

51. Kanao, H., Takeshima, N.
Laparoscopic nerve-sparing radical hysterectomy based on a detail pelvic anatomy.
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

52. Kanao, H., Takeshima, N.
Laparoscopic resection surgery for previously irradiated recurrent cervical carcinoma.
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

53. Takeshima, N.
Postoperative chemotherapy for cervical cancer patients with lymph node metastasis: JGOG 1067 phase II trial.
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

54. 中林誠 , 金尾祐之 , 長島稔 , 菅野素子 , 西村宙起 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 加藤一喜 , 杉山裕子 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
当院における Pegfilgrastim の検討 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

55. 太田絵美 , 青木洋一 , 野村秀高 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平
当院における 10 年間の未熟奇形腫の治療成績 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

56. 尾身牧子 , 中林誠 , 太田絵美 , 西村宙起 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 竹島信宏
術後化学療法を施行した子宮体癌の再発様式の検討 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：2018

57. 板橋彩 , 尾松公平 , 岡本三四郎 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
TC 療法で腹水のコントロールが良好であった進行顆粒膜細胞腫の一例 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

58. 的田眞紀 , 谷川輝美 , 尾松公平 , 温泉川真由 , 尾身牧子 , 太田絵美 , 西村宙起 , 一瀬隆行 , 竹島信宏
子宮頸癌リンパ節転移症例に対する術後療法の治療成績 - 術後化学療法と術後 CCRT の比較 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

59. 菅野素子 , 宇津木久仁子 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 高澤豊 , 竹島信宏
未治療外陰部 Paget 病が浸潤性乳管癌に対する化学療法で根治した一例 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市 , 2018

60. 西村宙起，的田眞紀，一瀬隆行，中林誠，菅野素子，青木洋一，金尾祐之，竹島信宏
IVB 期子宮頸癌治療における子宮全摘術を含む手術が予後と治療効果に与える影響．
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：京都市，2018

61. 青木洋一，金尾祐之，長島稔，尾身牧子，加藤一喜，太田絵美，竹島信宏
新型蛍光内視鏡カメラを利用した子宮頸癌に対する妊孕能温存手術　センチネルリンパ節同定の試み．
第 63 回日本生殖医学会学術講演会・総会：旭川市，2018

62. 金尾祐之
系統解剖学と外科解剖学の融合．
第 24 回四国産婦人科内視鏡手術研究会：高松市，2018

63. 竹島信宏
卵巣癌．[座長]
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

64. 谷川輝美，的田眞紀，太田絵美，板橋彩，青木洋一，野村秀高，岡本三四郎，尾松公平，温泉川真由，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
プラチナ感受性再発卵巣癌に対する PARP 阻害薬（オラパリブ）の使用経験．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

65. 野村秀高，一瀬隆之，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，加藤一喜，宇津木久仁子，吉田玲子，高澤豊，竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減手術において子宮摘出を行うべきか．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

66. 金尾祐之，竹島信宏，宇津木久仁子，加藤一喜，尾松公平，岡本三四郎，的田眞紀，野村秀高，谷川輝美，青木洋一
照射野内再発子宮頸癌に対する腹腔鏡手術戦略．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

67. 金尾祐之，竹島信宏，宇津木久仁子，加藤一喜，尾松公平，岡本三四郎，的田眞紀，野村秀高，谷川輝美，青木洋一
腹腔鏡補助下広汎子宮頸部摘出術．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

68. Nomura, H., Sekine, M., Yokoyama, S., Takeshima, N., Arai, M., Nakamura, S.
Clinical background and outcomes of risk-reducing salpingo-oophorectomy for patients with hereditary breast and ovarian cancer in Japan.
4th ESMO Asia 2018 Congress: Singapore, 2018

69. Kanao, H.
Can laparoscopy be a treatment of choice for recurrent cervical cancer after CCRT.
19th Asia-Pacific Association for Gynecologic Endoscopy and Minimally Invasive Therapy Annual Congress 201: East Java, Indonesia, 2018

70. Kanao, H.
Laparoscopic resection surgery (pelvic exenteration and LEER) for recurrent cervical carcinoma.
30th Anniversary Conference of Korean Society of gynecologic Endoscopy and Minimally Invasive Surgery: Korea, 2018

71. 金尾祐之
婦人科がん手術に必要な女性骨盤解剖．
第 32 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：仙台市，2018

72. 野村秀高，一瀬隆行，青木洋一，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，金尾祐之，加藤一喜，尾松公平，宇津木久仁子，杉山裕子，竹島信宏
リンチ症候群に対するサーベイランスにおいて子宮内膜細胞診が有用であった一例．

第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市，2018

73. 野村秀高，ほか
BRCA2 VUS に対して RRSO を行った経験．
3 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：東京，2018

74. 金尾祐之
婦人科癌に対する腹腔鏡下手術．
第 11 回骨盤内視鏡外科セミナー： 福岡市，2018

75. 太田絵美，青木洋一，野村秀高，的田眞紀，岡本三四郎，金尾祐之，宇津木久仁子
腹腔鏡下手術の際に認めた腹壁腫瘤が尿膜管遺残であった 1 例．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

76. 野村秀高，青木洋一，的田眞紀，岡本三四郎，金尾祐之，宇津木久仁子，竹島信宏
子宮頸癌における、閉鎖神経背側のリンパ節郭清の意義について．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

77. 金尾祐之，竹島信宏
3D 内視鏡がもたらす新しい世界とその障壁：婦人科悪性疾患に対する 3D 内視鏡手術、その利点と欠点．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

78. 金尾祐之，竹島信宏
婦人科内視鏡下悪性腫瘍手術のイノベーション：再発子宮頸がんに対する腹腔鏡手術の可能性．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

79. 金尾祐之
機能温存：骨盤内視鏡外科手術：解剖と手術手技．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

80. 金尾祐之，竹島信宏
腹腔鏡下広汎子宮全摘術の標準化を目指して：腹腔鏡下広汎子宮全摘術は標準治療となるか？
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

81. 金尾祐之
骨盤内手術の最前線：解剖から手術手技まで．
第 31 回日本内視鏡外科学会総会： 福岡市，2018

82. 金尾祐之
婦人科癌に対する腹腔鏡手術．
第 266 回京都大学泌尿器科 Monthly Meeting: 京都市，2018

頭頸科

1. 三谷浩樹
当科における中咽頭扁平上皮癌症例の臨床的検討．
第 28 回日本頭頸部外科学会総会並びに学術講演会：宇都宮市，2018

2. 新橋渉
基本手技を中心とした手術手技習得について．
第 28 回日本頭頸部外科学会総会並びに学術講演会：宇都宮市，2018

3. 米川博之，五十嵐文雄
第 11 群　舌・口腔 1. [座長]
第 28 回日本頭頸部外科学会総会並びに学術講講演会：宇都宮市，2018

4. 西嶌嘉容，冨樫由紀，佐藤由紀子，福島啓文，三谷浩樹，米川博之，佐々木徹，新橋渉，瀬戸陽，竹内賢吾，坂田征士，馬場郷子
硝子化明細胞癌における新たな融合遺伝子 EWSR1-CREM の検出．
第 28 回日本頭頸部外科学会総会並びに学術講講演会：宇都宮市，2018

5. 市川千恭，蛯名彩，杉谷巌，尾股丈，鳥居淳一，渡嘉敷邦彦，西嶌嘉容，永井遼斗，坂井利彦，日高竜太，神山亮介，瀬戸陽，新橋渉，佐々木徹，福島啓文，米川博之，三谷浩樹
甲状腺全摘術における副甲状腺機能温存法の検討．

第119回日本耳鼻咽喉科学会総会･学術講演会：横浜市，2018

6. 瀬戸陽，佐藤由紀子，冨樫由紀，土橋映仁，坂田征士，馬場郷子，蛯名彩，竹内賢吾，三谷浩樹
頭頸部腺様嚢胞癌：予後因子の解析と遠隔転移例に対する局所治療についての検討．
第119回日本耳鼻咽喉科学会総会･学術講演会：横浜市，2018

7. 神山亮介，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，瀬戸陽，蛯名彩，日高竜太，坂井利彦，西嶌嘉容，永井遼斗，市川千恭，尾股丈，鳥居淳一，渡嘉敷邦彦
80歳以上の頭頸部扁平上皮癌症例に対する遊離再建手術の検討．
第119回日本耳鼻咽喉科学会総会･学術講演会：横浜市，2018

8. 戸田和寿
甲状腺：縦隔甲状腺腫．[座長]
第30回日本内分泌外科学会総会：札幌市，2018

9. 三谷浩樹
中咽頭 1. [司会]
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

10. 小泉雄，三谷浩樹，佐々木徹，米川博之，福島啓文，新橋渉，瀬戸陽，神山亮介，日高竜太，白尾浩太郎，川端一嘉，富塚健，川名加織，豊田生子，高橋浩二
頭頸部がん患者に対する嚥下リハビリテーションチームの活動．
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

11. 森田琢磨，福島啓文，佐藤由紀子，三谷浩樹，米川博之，佐々木徹，新橋渉，戸田和寿，瀬戸陽，小泉雄，神山亮介，日高竜太，白尾浩太郎，坂井利彦，川端一嘉
早期舌扁平上皮癌後発頸部リンパ節転移症例の治療成績に関する臨床的検討．
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

12. 福島啓文
リハビリ・嚥下・栄養．[司会]
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

13. 米川博之
症例 1. [司会]
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

14. 鳥居淳一，蛯名彩，杉谷巌，三谷浩樹
甲状腺乳頭癌遠隔転移症例に対する放射線ヨウ素内用療法の治療効果について．
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

15. 鳥居淳一，新橋渉，佐々木徹，瀬戸陽
他国での放射線治療後再発例に対して、縦隔気管孔作成を伴う食道癌手術を実施した1例．
第80回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会：横浜市，2018

16. 三谷浩樹
頭頸部癌の免疫療法における現状と課題．
第119回日本耳鼻咽喉科学会総会･学術講演会：横浜市，2018

17. 山田恵子，杉谷巌，蛯名彩，戸田和寿，三谷浩樹
甲状腺癌の超音波によるサーベイランス（アクティブサーベイランスを含む）甲状腺微小癌のアクティブサーベイランスにおける超音波検査について（がん研有明病院）．
日本超音波医学会第91回学術集会：神戸市，2018

18. 戸田和寿
甲状腺 1.
第42回日本頭頸部癌学会：東京，2018

19. 川端一嘉
上縦隔の取り扱い：各科の視点から．
第70回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：東京，2018

20. 鳥居淳一，新橋渉，渡邊雅之，峯真司，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，瀬戸陽，神山亮介
放射線治療後の遺残・再発例に対する咽喉食摘・食道抜去症例の検討．
第70回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会：東京，2018

21 Torii, J., Sugitani, I., Toda, K., Ebina, A.
Massive extrathyroidal invasion is a risk factor for radioactive iodine non-avidity to lung metastases from papillary thyroid carcinoma.
3rd Congress of Asia-Pacific Society of Thyroid Surgery: Kaohsiung, Taiwan, 2018

整形外科

1. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，藤本佳也，髙橋祐，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，山本皓子，松本誠一
後腹膜脂肪肉腫の治療成績．
第 1 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：東京，2018

2. Funauchi, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Minami, Y., Saito, M., Yamamoto, A., Matsumoto, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 47-year-old female, leiomyosarcoma of the right buttock.
30th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2018

3. Hayakawa, K., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
30th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2018

4. Minami, Y., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Saito, M., Yamamoto, A., Matsumoto, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 19-year-old male, synovial sarcoma of the right forearm.
30th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2018

5. Saito, M., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Yamamoto, A., Matsumoto, S., Takazawa, Y., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 23-year-old female, osteosarcoma of the right proximal tibia.
30th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2018

6. Tanizawa, T., Matsumoto, S., Ae, K.
Follow-up case study presentations about previous SSMS Meetings.
30th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, Japan, 2018

7. 藤原鷹，谷澤泰介，山田英莉久，南雲吉祥，鬼頭宗久，船内雄生，早川景子，五木田茶舞，松本誠一，阿江啓介
腫瘍随伴性骨軟化症の 1 例
第 58 回関東整形災害外科学会：東京，2018

8. Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y.
Preservation of the nerve completely involved in sarcoma by " In situ preparation" .
31th European Musculoskeletal Oncology Society: Amsterdam, Netherlands, 2018

9. 松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，津田祐輔
軟部肉腫に対する不適切手術による不利益を減らす工夫．
第 91 回日本整形外科学会学術総会：神戸市，2018

10. 松本誠一
骨・軟部腫瘍切除後の骨欠損に対する移植骨の現状と今後．
第 91 回日本整形外科学会学術総会：神戸市，2018

11. 辻野昭平，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，五木田茶舞，早川景子，船内雄生，川口智義，大川淳
小児の手に発症した腱滑膜巨細胞腫．
第 91 回日本整形外科学会学術総会：神戸市，2018

12. 阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，斉藤雅徳，佐藤信吾，小柳広高，大川淳
骨・軟部腫瘍切除後の骨欠損に対する移植骨の現状と今後　骨・関節再建術における同種骨移植の利用．
第 91 回日本整形外科学会学術総会： 神戸市，2018

13. 松本誠一
進化する骨軟部肉腫治療：小児例を中心にして．
第 125 回茨城県整形外科集談会： 土浦市，2018

14. 阿江啓介
骨・軟部腫瘍の手術療法　最近 10 年の進歩．
第 135 回北海道整形災害外科学会： 旭川市，2018

15. 三浪友輔，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，齊藤正徳，山本皓子，杉浦善弥
滑膜肉腫手術症例における予後解析について．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

16. 三浪友輔，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，齊藤正徳，山本皓子，中村卓郎
骨・軟部腫瘍領域の融合遺伝子解析．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

17. 山本皓子，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳
滑膜軟骨腫症に続発した軟骨肉腫の 2 例．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

18. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，山本皓子，松本誠一
同種骨を用いた骨悪性腫瘍の再建．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

19. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，山本皓子，松本誠一
妊孕性温存の取り組みについて．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

20. 松本誠一
コンピュータ支援手術の実際と問題点．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

21. 松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，津田祐輔，山本皓子，川口智義，早乙女進一
追加広範切除術後再発例の検討．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

22. 船内雄生，阿江啓介，谷澤泰介，五木田茶舞，早川景子，三浪友輔，齊藤正徳，山本皓子，松本誠一
ナビゲーション併用手術の有用性．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

23. 船内雄生，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，三浪友輔，齊藤正徳，山本皓子，松本誠一
切除不能な脊索腫を除く骨・軟部肉腫に対し重粒子線照射を行った 20 例の治療成績．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

24. 谷澤泰介
悪性腫瘍再建．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

25. 谷澤泰介，阿江啓介，松本誠一，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，津田祐輔，山本皓子，澤泉雅之，棚倉健太
肘関節周囲発生局所進行軟部肉腫に対する関節包外根治切除と骨・軟部再建を行った症例の中期成績．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

26. 阿江啓介
処理骨を用いた患肢温存術の現状と課題 2.
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

27. 阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，川口智義，大川淳
浸潤性発育を示す軟部肉腫肉眼的切除縁と局所制御の関係．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

28. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，津田祐輔，山本皓子，松本誠一
足関節固定術を用いた足関節周囲発生肉腫手術の成績
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

29. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，津田祐輔，山本皓子，松本誠一
高齢者軟部肉腫の治療成績．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

30. Tamura, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N.
2 fibrous-dysplasia cases of femoral neck with the allogeneic bone graft fibula.
第 100 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2018

31. Hayakawa, K.
Treatment for liposarcoma in the retroperitoneum.
12th Asia Pacific Musculo Skeletal Tumor Society: Jaipur, India, 2018

32. 阿江啓介
骨軟部腫瘍．
第 56 回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2018

33. Ae, K.
Safe surgical margin analysis of soft tissue sarcoma; different safe margins for different histological classifications.
13th Annual Congress of Chinese Orthopaedic Association: Xiamen, China, 2018

34. Matsumoto, S.
“In situ preparation” procedure for the sarcoma completely involving the main artery, vein and nerve.
13th Annual Congress of Chinese Orthopaedic Association: Xiamen, China, 2018

35. 松本誠一
良悪性中間的腫瘍について．
第 8 回名古屋運動器腫瘍セミナー：名古屋市，2018

36. 阿江啓介
骨・軟部腫瘍診療 Up-Date　新しい診断・治療法の開発．
第 164 回神奈川整形災害外科研究会：横浜市，2018

37. Takashina, Y., Tanizawa, T., Ae, K., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Kurosawa, N., Matsumoto, S.
Two cases of giant cell reparative granuloma in distal phalanx of the foot.
第 101 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2018

泌尿器科

1. Fujiwara, R., Numao, N., Mikami, H., Ishikawa, Y., Takeda, H., Inoue, T., Ogawa, M., Masuda, H., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Incidence and predictive factors of venous thromboembolism of the lower extremities in patients with elevated serum D-dimer prior to surgery for urologic malignancy.
33rd Annal European Association of Urology (EAU) Congress: Copenhagen, Denmark, 2018

2. Yamamoto, S., Yamamoto, T., Masuda, H., Numao, N., Ogawa, M., Inoue, T., Takeda, H., Ishikawa, Y., Fujiwara, R., Mikami, H., Yuasa, T., Fukui, I., Yonese, J.

Characteristics and oncological outcome of clinical T3a prostate cancer patients undergoing radical prostatectomy in multi-parametric MRI era.
33rd Annal European Association of Urology (EAU) Congress: Copenhagen, Denmark, 2018

3. 三神晃，山本真也，井熊俊介，石川雄大，藤原遼，武田隼人，井上亨，小川将宏，沼尾昇，湯浅健，増田均，福井巌，米瀬淳二
去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの治療成績～前立腺全摘術は治療成績に影響を及ぼすのか～．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

4. 井上亨，湯浅健，井熊俊介，三神晃，石川雄大，藤原遼，武田隼人，小川将宏，沼尾昇，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
当院における分子標的薬時代の転移性腎細胞がんの治療成績．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

5. 小川将宏，井熊俊介，三神晃，石川雄大，藤原遼，武田隼人，井上亨，沼尾昇，湯浅健，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
去勢抵抗性前立腺癌における新規 AR 阻害剤 2 剤投与後のドセタキセルの治療成績．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

6. 山本真也，増田均，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，藤原遼，石川雄大，三神晃，井熊俊介，湯浅健，福井巌，米瀬淳二
MRI 時代における clinical T3a 前立腺がんの特徴と手術成績．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

7. 武田隼人，山本真也，井熊俊介，三神晃，石川雄大，藤原遼，井上亨，小川将宏，沼尾昇，湯浅健，増田均，福井巌，米瀬淳二
去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）患者における新規ホルモン剤 (アビラテロン、エンザルタミド) 治療後の FACT-P を用いた QOL 評価の検討．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

8. 沼尾昇，井熊俊介，三神晃，石川雄大，藤原遼，武田隼人，井上亨，小川将宏，湯浅健，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
回腸利用尿路変向を伴う膀胱全摘除における術直前＋術中のみ予防的抗菌薬投与：3 日間投与との比較．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

9. 湯浅健，井熊俊介，石川雄大，三神晃，藤原遼，武田隼人，井上亨，小川将宏，沼尾昇，山本真也，増田均，福井巌，米瀬淳二
転移性腎細胞癌に対するニボルマブの初期経験．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

10. 石川雄大，沼尾昇，井熊俊介，三神晃，藤原遼，武田隼人，井上亨，湯浅健，小川将宏，増田均，山本真也，福井巌，米瀬淳二
女性ホルモン剤およびドセタキセル既治療例の去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの治療効果．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

11. 米瀬淳二
腹腔鏡・ロボット支援手術腎腫瘍．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

12. 米瀬淳二，井熊俊介，藤原遼，石川雄大，三神晃，武田隼人，井上亨，沼尾昇，小川将宏，増田均，山本真也，湯浅健，福井巌
転移性前立腺がんの治療成績は時代とともに改善したか？．
第 106 回日本泌尿器科学会総会：京都市，2018

13. 藤原遼，沼尾昇，小川将宏，井上亨，武田隼人，三神晃，石川雄大，井熊俊介，山本真也，湯浅健，増田均，福井巌，米瀬淳二
泌尿器科全身麻酔手術における術前下肢静脈血

栓症の予測因子の検討 .
第 106 回日本泌尿器科学会総会： 京都市 , 2018

14. 駒井好信 , 後藤田直人 , 井上雅晴 , 武田隼人 , 松原伸晃 , 米瀬淳二
重複腎盂腎 complex tumor に対する腹腔鏡下腎部分切除を安全に行うための工夫 .
第 49 回腎癌研究会：2018

14. 山本真也
前立腺癌治療と性機能障害～ RARP、IMRT、Brachytherapy ～強度変調放射線治療（IMRT）と性機能障害 .
第 29 回日本性機能学会中部総会： 神戸市 , 2018

16. 湯浅健
腎腫瘍 / 薬物療法 . [座長]
第 83 回日本泌尿器科学会東部総会： 東京 , 2018

17. 米瀬淳二
膀胱腫瘍 / 手術（腹腔鏡・ロボットを除く）.
第 83 回日本泌尿器科学会東部総会： 東京 , 2018

18. 駒井好信 , 藤原遼 , 武田隼人 , 井上雅晴 , 小川将宏 , 湯浅健 , 山本真也 , 米瀬淳二
超音波凝固切開装置を最大限に使用する腹腔鏡下膀胱全摘除手技 .
第 32 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：仙台市 , 2018

19. 増田均 , 山本真也 , 沼尾昇 , 小川将宏 , 井上亨 , 武田隼人 , 上原翔 , 三神晃 , 萩原喜一 , 湯浅健 , 福井巌 , 米瀬淳二
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向 .
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

20. 米瀬淳二
膀胱全摘 .
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

21. 米瀬淳二
膀胱癌手術（全摘除・部分切除・尿路再建）.
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

22. 駒井好信 , 後藤田直人 , 井上雅晴 , 三神晃 , 井上亨 , 小川将 , 山本真也 , 米瀬淳二
Segmental ischemia での腎部分切除を可能にする renovascular microdissection - 腹腔鏡下アプローチにおける手技の実際
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

23. 駒井好信 , 石川雄大 , 沼尾昇 , 福井巌 , 米瀬淳二
他科から学ぶ腹腔鏡手術手技 .
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

24. 駒井好信 , 後藤田直人 , 松原伸晃 , 米瀬淳二
腎癌手術のクオリティーを向上させる 3D プリンティッドモデル .
第 11 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会：東京 , 2018

25. 小川将宏 , 山本真也 , 安岡正太郎 , 石川雄大 , 稲津宏紀 , 藤原遼 , 駒井好真 , 沼尾昇 , 湯浅健 , 福井巌 , 米瀬淳二
GS9-10 局所限局性前立腺癌に対する手術療法の治療成績、および予後予測因子の検討 .
第 34 回前立腺シンポジウム：東京 , 2018

血液腫瘍科

1. Fukuta, T., Nishimura, N., Shirouchi, Y., Nishihara, A., Inoue, N., Uryu, H., Kusano, Y., Mishima, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Yokoyama, M., Terui, Y.
The role of image surveillance in patients with diffuse large B-cell lymphoma: A single-center validation study.
60th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2018

2. Inoue, N.
Prognostic impact of sites of extranodal involvement in patients with diffuse large

B-cell lymphoma in the rituximab era.
23rd Congress of European Hematology Association (EHA): Stockholm, Sweden, 2018

3. Inoue, N., Yokoyama, M., Shirouchi, Y., Fukuta, T., Nishihara, A., Kusano, Y., Uryu, H., Mishima, Y., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y.
The prognostic significance of soluble interleukin-2-receptor, β -2-microgrobulin and serum albumin in patient with diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era.
60th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2018

4. Mishima, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Kusano, Y., Uryu, H., Inoue, N., Nishihara, A., Fukuta, T., Shirouchi, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y.
The prognosis of transformed DLBCL were superior to de novo DLBL after the relapsed/refractory status related to the MYC translocation.
60th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2018

5. Nishimura, N., Fukuta, T., Nishihara, A., Shirouchi, Y., Uryu, H., Inoue, N., Kusano, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Mishima, Y., Yokoyama, M., Terui, Y.
Impact of creatinine clearance in patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with R-CHOP : A real-world long-term observation analysis at a single institute.
60th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2018

6. Uryu, H., Mishima, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Kusano, Y., Inoue, N., Nishihara, A., Fukuta, T., Shirouchi, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y.
Efficacy of rituximab maintenance for diffuse large B cell lymphoma with transformation.
60th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2018

7. Yokoyama, M., Kusano, Y., Nishihara, A., Inoue, N., Nishimura, N., Mishima, Y., Terui, Y., Nukada, T., Hatake, K.
Study of Japanese patient risk factors for febrile neutropenia in non-Hodgkin B-cell lymphoma receiving R-CHOP: STOP FN2 single center analysis in Japan.
MASCC/ISOO 2018: Vienna, Austria, 2018

8. 三嶋裕子
がん分子標的治療の基本講座 16 : PRO - CTCAE.
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会 : 東京 , 2018

9. 三嶋裕子 , 横山雅大 , 西村倫子 , 草野善晴 , 井上典仁 , 西原杏奈 , 津山直子 , 竹内賢吾 , 畠清彦 , 照井康仁
再発難治性 Diffuse large B cell lymphoma における MYC 転座陽性の与える影響 .
第 80 回日本血液学会学術集会 : 大阪市 , 2018

10. 三嶋裕子 , 照井康仁 , 西村倫子 , 三嶋雄二 , 畠清彦
濾胞性リンパ腫における MYC 転座と予後に及ぼす影響について .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会 : 東京 , 2018

11. 井上典仁 , マーシャル祥子 , 西原杏奈 , 山内浩文 , 草野善晴 , 西村倫子 , 三嶋裕子 , 横山雅大 , 畠清彦 , 照井康仁
Prognostic impact of sites of extranodal involvement in patients with diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会 : 神戸市 , 2018

12. 井上典仁 , 横山雅大 , 西原杏奈 , 山内浩文 , 草野善晴 , 三嶋裕子 , 西村倫子 , マーシャル祥子 , 津山直子 , 竹内賢吾 , 畠清彦 , 照井康仁
Validation of NCCN-IPI for patients with dif-

fuse large B-cell lymphoma treated in the rituximab era.
第 80 回日本血液学会学術集会：大阪市 , 2018

13. 横山雅大
がん分子標的治療の基本講座 6：Cheson と RECIL2017, 画像診断による効果判定 .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

14. 横山雅大
白血病 . [司会]
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

15. 横山雅大 , 草野善晴 , 西原杏奈 , 井上典仁 , 山内浩文 , 三嶋裕子 , 西村倫子 , 照井康仁 , 額田智幸 , 畠清彦
R-CHOP 療法を受けた悪性リンパ腫患者における発熱性好中球減少症発症とそれに影響を与える因子に関する臨床研究（第 2 期調査）.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

16. 照井康仁
B 細胞リンパ腫治療の最近の話題 .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

17. 照井康仁
地域格差、職種間格差、今日のがん医療の現状と課題 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

18. 照井康仁
多発性骨髄腫の抗体療法：深い奏効を目指して .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

19. 照井康仁
多発性骨髄腫治療の up to date.
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

20. 照井康仁
悪性リンパ腫の薬物療法マネジメント .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

21. 照井康仁
血栓 . [司会]
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

22. 照井康仁
骨髄異形成症候群における治療の進歩 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

23. 福田貴規 , 西村倫子 , 西原杏奈 , 井上典仁 , 草野善晴 , 三嶋裕子 , 横山雅大 , 照井康仁
Role of surveillance imaging among the diffuse large B-cell lymphoma patients: is it necessary?
第 80 回日本血液学会学術集会：大阪市 , 2018

24. 草野善晴 , 照井康仁
末梢血 CD4+T 細胞数はびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者における予後因子である .
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

25. 西原杏奈 , 三嶋裕子 , 井上典仁 , 山内浩文 , 草野善晴 , 西村倫子 , 横山雅大 , 畠清彦 , 照井康仁
Comparison of the prognosis between PR and CR before ASCT for newly-diagnosed multiple myeloma.
第 80 回日本血液学会学術集会：大阪市 , 2018

26. 西村倫子
FACS, セルソーター , 骨髄腫の為の MRD.
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

27. 西村倫子
免疫療法・抗体療法 .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

28. 西村倫子 , 三嶋裕子 , 三嶋雄二 , 照井康仁 , 畠清彦
MYD88L265P 変異はびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の中枢神経再発の指標である .

第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2018

29. 西村倫子，岩佐健史
がんと血栓症．
第 1 回日本腫瘍循環器学会学術集会： 東京，2018

30. 西村倫子，西原杏奈，井上典仁，マーシャル祥子，山内浩文，草野善晴，三嶋裕子，横山雅大，畠清彦，照井康仁
原発、二次性乳房びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫のリツキシマブ時代の転帰．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市，2018

31. 西村倫子，西原杏奈，井上典仁，草野善晴，三嶋裕子，横山雅大，畠清彦，照井康仁
Doublet vs. triplet regimen with newly diagnosed transplant- eligible multiple myeloma.
第 80 回日本血液学会学術集会：大阪市，2018

総合腫瘍科

1. 佐藤靖祥ほか
肉腫における腫瘍浸潤 T リンパ球の解析．
第 1 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：東京，2018

2. 高橋俊二
それぞれの視点から見た肉腫．
第 1 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：東京，2018

3. 高橋俊二，仲野兼司
治療困難な肉腫に対する集学的アプローチ．
第 1 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：東京，2018

4. 小野麻紀子，片岡明美，市村崇，青木洋一，竹内抄與子，山田玲子，楠美敬子，大野真司
がん専門病院における多職種ワーキンググループによる妊孕性温存の実践．
第 8 回日本がん・生殖医療学会学術集： 東京，2018

5. 福田直樹，高張大亮，太田弓子，大隅寛木，中山厳馬，若槻尊，市村崇，小倉真理子，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成
胃癌・肝転移のラムシルマブによる画像上形態学的変化の頻度・臨床的意義に関する検討．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会： 横浜市，2018

6. Ono, M., Osako, T., Taira, S., Shibayama, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T.
Comparison of hormone receptor and HER2 status and TILs between paired primary and recurrent tumors.
Global Breast Cancer Conference (GBCC2018): Incheon, Korea, 2018

7. 佐藤靖祥，友松純一，高橋俊二
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索．
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2018

8. 高橋俊二
免疫チェックポイント阻害剤と癌治療の進歩：臨床と基礎の視点から．
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2018

9. 高橋俊二
免疫療法・抗体療法 II.
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2018

10. 小野麻紀子，大迫智，平良眞一郎，柴山朋子，小林心，小林隆之，五味直哉，岩瀬拓士，上野貴之，伊藤良則，大野真司，秋山太，高橋俊二
乳癌の原発巣と再発巣における TIL とホルモン受容体・HER2 発現の変化．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

11. 稲垣里奈，片岡明美，倉田麻美，柴山朋子，細永真理，小林心，小林隆之，森園英智，上野貴之，高橋俊二，伊藤良則，大野真司
若年性乳癌患者における術後内分泌療法のアドヒアランスと再発リスク　婚姻と子供の有無は治療に影響するか．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

12. 温泉川真由，恩田貴志，三橋暁，松元隆，沖明典，徳永英樹，澤崎隆，高野浩邦，田代浩徳，山口聡，野村弘行，寺尾泰久，菊池朗，鹿島大靖，岡留雅夫，渡利英道，馬場長，八杉利治，勝俣範之，牛嶋公生，石川光也，八重樫伸生，JapanClinicalOncologyGroup 婦人科腫瘍グループ
本邦における高齢婦人科悪性腫瘍に対する治療の実態を明らかにするためのアンケート調査
Japan Clinical Oncology Group(JCOG) 婦人科腫瘍グループ．
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会：仙台市，2018

13. Ono, M., Osako, T., Taira, S., Shibayama, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T.
Differences of TILs, hormone receptor, and HER2 status between primary and metastatic tumors.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2018

14. Takahashi, S., Shimizu, T., Doi, T., Lopez-Vilariño, J. A., Kahatt, C. M., Femandez, C., Zaragoza, K., Sasamoto, H., Soto-Matos, A.
Phase I trial of lurbinectedin (PM1183) in Japanese patients with advanced tumors. Results of the dose escalation part.
54th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2018

15. 高橋俊二
レンビマ投与等の腎機能に対する影響の検討：全例調査中間報告．
第 30 回日本内分泌外科学会総会：札幌市，2018

16. 高橋俊二
甲状腺癌分子標的治療を再考する：ネクサバール 1st line の意義、2nd line ネクサバール使用のタイミング．
第 30 回日本内分泌外科学会総会：札幌市，2018

17. 高橋俊二
頭頸部癌免疫療法の副作用マネジメント．
第 42 回日本頭頸部癌学会：東京，2018

18. 温泉川真由
婦人科がん．
Best of ASCE 2018 in Japan: 東京，2018

19. マーシャル祥子，西村倫子，西原杏奈，井上典仁，山内浩文，草野善晴，津山直子，竹内賢吾，三嶋裕子，横山雅大，畠清彦，照井康仁
Impact of omission/reduction of vincristine from R-CHOP therapy in treatment of DLBCL.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

20. 仲野兼司，平良眞一郎，西澤正俊，小野麻紀子，温泉川真由，友松純一，瀬戸陽，佐々木徹，新橋渉，福島啓文，米川博之，三谷浩樹，高橋俊二
Feasibility and relative dose intensity of TPF induction chemotherapy to locally advanced head and neck cancer.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

21. 小栗知世，小林心，倉田麻美，柴山朋子，小野麻紀子，平良眞一郎，細永真理子，小林隆之，高橋俊二，伊藤良則，大野真司
The clinical analysis of thromboembolism in breast cancer: single institution analysis.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

22. 小野麻紀子，大迫智，平良眞一郎，柴山朋子，小林心，小林隆之，五味直哉，岩瀬拓士，上野貴之，伊藤良則，大野真司，秋山太，高橋俊二
乳癌の原発巣と再発巣における TIL とホルモン受容体・HER2 発現の変化．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

23. 川口城毅，仲野兼司，福田直樹，浦崎哲也，西澤正俊，温泉川真由，平良眞一郎，小野麻紀子，友松純一，高橋俊二
The efficacy of olanzapine for prevention of nausea in concurrent chemoradiotherapy for head and neck cancer.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

24. 浦崎哲也，仲野兼司，友松純一，小野麻紀子，温泉川真由，平良眞一郎，西澤正俊，高橋俊二
頭頸部腺様嚢胞癌症例に対する第一相臨床試験の臨床的意義の検討．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

25. 温泉川真由
婦人科癌の薬物療法：最近の知見．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

26. 福田直樹，仲野兼司，川口城毅，尾野村麻以，浦崎哲也，小栗知世，稲垣里奈，西澤正俊，温泉川真由，平良眞一郎，小野麻紀子，友松純一，高橋俊二
Nivolumab for head and neck carcinoma patients with excluded primary sites or histological subtypes from Checkmate-141.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

27. 福田直樹，高張大亮，中山厳馬，太田弓子，若槻尊，市村崇，小倉真理子，末永光邦，篠崎英司，陳勁松，山口研成
The relationship between the efficacy of ramucirumab plus paclitaxel and HER2 status in gastric cancer patients.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

28. 西澤正俊，友松純一，浦崎哲也，尾野村麻以，稲垣里奈，仲野兼司，小野麻紀子，平良眞一郎，温泉川真由，高橋俊二
ニボルマブの著効例に急激に発症した無顆粒球症．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

29. 高橋俊二
Treatment strategy for advanced melanoma.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

30. 高橋俊二
希少がん：あらたな診療体制の構築と知見の創出．
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

31. 仲野兼司，杉浦善弥，船内雄生，早川景子，谷澤泰介，阿江啓介，松本誠一，高橋俊二
パゾパニブを導入した軟部肉腫症例の治療導入期の RDI（relative dose intensity）と予後．
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市，2018

32. 温泉川真由
子宮頸癌・子宮体癌．
第 32 回教育セミナー B セッション：横浜市，2018

33. Nakano, K., Nishizawa, M., Taira, S., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S., Ae, K., Matsumoto, S.
VAC regimen to rhabdomyosarcoma: the differences of response and prognoses in patients of AYA and older ages.
Connective Tissue Oncology Society (CTOS) Annual Meeting: Rome, Italy, 2018

34. 高橋俊二
がん救急とその対策．
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京，2018

総合診療部

1. 志賀太郎
Cancer-Associated Thrombosis (CAT).
第 82 回日本循環器学会学術集会：大阪市，2018

2. 志賀太郎
がん治療関連性心血管障害．
第 82 回日本循環器学会学術集会：大阪市，2018

3. 志賀太郎
Onco-Cardiology：血栓症の対応も含めて．
第 166 回日本循環器学会東北地方会：盛岡市，2018

4. 志賀太郎
CAT（Cancer Associated Thrombosis）について .
TOPIC 2018: Morning Session（MS14C）: 東京 , 2018

5. 志賀太郎
がん関連血栓症について .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

6. 志賀太郎
ケース 1: 心毒性症例（心毒性が改善した症例）: HER 2 陰性乳がんにおいて抗がん剤を投与し心毒性出現するも改善した症例 .
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：福岡市 , 2018

7. 志賀太郎
二次性心筋症診療のニューパラダイム：がん関連性血栓症（CAT）について .
第 66 回日本心臓病学会学術集会： 大阪市 , 2018

8. 志賀太郎
二次性心筋症診療のニューパラダイム：薬剤誘発性心筋症：がん研有明病院での経験より .
第 66 回日本心臓病学会学術集会： 大阪市 , 2018

9. 志賀太郎
がん治療関連性心血管障害 .
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

10. 志賀太郎
がん治療関連性心血管障害：がん研腫瘍循環器の現場から .
第 1 回日本腫瘍循環器学会学術集会： 東京 , 2018

腫瘍精神科

1. 山田健志
依存症の現在と新しい局面 .
第 69 回 GHP 研究会：東京 , 2018

2. 大島淑夫
AYA 世代のがん患者に対する心理的支援―その悩みを理解する .
第 31 回日本サイコオンコロジー学会総会：2018

3. 山田健志
地域リエゾンの展開と問題点 .
第 31 回日本総合病院精神医学会総会： 東京 , 2018

形成外科

1. Yano, T.
A curved needle? Straight needle? The best needle for a back wall technique.
Byron Bay Plastic Surgery Meeting 2018: Byron Bay, Australia, 2018

2. Yano, T.
Updating my easy and simple software to know the viability of the free flap.
Byron Bay Plastic Surgery Meeting 2018: Byron Bay, Australia, 2018

3. 本田武史 , 宮下宏紀 , 棚倉健太 , 矢野智浩 , 柴田知義 , 倉元有木子 , 吉松英彦 , 細井龍 , 澤泉雅之
DIEP flap による乳房再建と同時に子宮筋腫に対して子宮全摘術を行った一例 .
第 23 回日本形成外科手術手技学会： 尼崎市 , 2018

4. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 矢野智之 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 吉松英彦 , 本田武史 , 澤泉雅之
当院における咽頭皮膚瘻に対する持続陰圧閉鎖療法によるリカバリー .
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会： 福岡市 , 2018

5. 倉元有木子 , 棚倉健太 , 矢野智之 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 吉松英彦 , 本田武史 , 澤泉雅之
当院における腹壁創離開に対する持続陰圧閉鎖療法の治療戦略 .
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会： 福岡市 , 2018

6. 宮下宏紀 , 松本綾希子 , 矢野智之 , 棚倉健太 , 柴田知義 , 倉元有木子 , 吉松英彦 , 澤泉雅之
インプラントによる乳房再建後に患者希望で修正ないし交換を行った症例の検討 .
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 福岡市 , 2018

7. 棚倉健太 , 松本綾希子 , 澤泉雅之
NDB オープンデータから見えてくるもの : 例えばあの一般論は本当なのか ?
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 福岡市 , 2018

8. 棚倉健太 , 松本綾希子 , 宮下宏紀 , 矢野智之 , 澤泉雅之
TE/SBI による乳房再建と NCD : データベースの特性から考える登録事項 .
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 福岡市 , 2018

9. 棚倉健太 , 倉元有木子 , 宮下宏紀 , 矢野智之 , 澤泉雅之
ヘルニア・腹壁欠損創に対する部位別の戦略 .
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 福岡市 , 2018

10. 澤泉雅之
腹壁創解離・感染・ヘルニアに対するリカバリー１.
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会 : 福岡市 , 2018

11. Honda, T., Tanakura, K., Yano, T., Miyashita, H., Shibata, T., Kuramoto, Y., Yoshimatsu, H., Hosoi, R., Sawaizumi, M.
Reconstruction of a huge defect due to a recurrent lipsarcoma in the scapula region with chimeric anterolateral thigh free flap and tensor fascia lata free flap.
4th Congress of Asian Pacific Federation of Societies for Reconstructive Microsurgery (APFSRM): Antalya, Turkey, 2018

12. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Narushima, M., Iida, T.
Ratio of blood glucose level change (RBGC) measurement for flap monitoring.
4th Congress of Asian Pacific Federation of Societies for Reconstructive Microsurgery (APFSRM): Antalya, Turkey, 2018

13. Yano, T.
Towards developing a simulation model for clinical challenges: Hepatic artery end to end anastomosis.
4th Congress of Asian Pacific Federation of Societies for Reconstructive Microsurgery (APFSRM): Antalya, Turkey, 2018

14. 棚倉健太 , 松本綾希子 , 澤泉雅之
NDB オープンデータからみた乳癌治療と乳房再建 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会 : 京都市 , 2018

15. 棚倉健太 , 澤泉雅之 , 矢野智之 , 宮下宏紀 , 倉元有木子 , 柴田知義 , 本田武史 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 船内雄生 , 松本誠一
体幹・下肢における広範囲組織欠損再建の戦略
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 : 静岡市 , 2018

16. 今井智浩 , 矢野智之 , 棚倉健太 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 倉元有木子 , 吉松英彦 , 澤泉雅之
TE/SBI 一次二期乳房再建後に施行された術後放射線照射の影響～長期経過症例の検討 .
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 : 大阪市 , 2018

17. 前田恵里沙 , 松本綾希子 , 照屋なつき , 澤泉雅之 , 矢野智之 , 棚倉健太 , 宮下宏紀 , 柴田知義 , 倉元有木子 , 吉松英彦 , 本田武史 , 大野真司 , 上野貴之
シリコンインプラント破裂により左鎖骨上窩リンパ節にシリコン肉芽腫をきたした一例 .
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 : 大阪市 , 2018

18. 宮下宏紀 , 棚倉健太 , 倉元有木子 , 矢野智之 , 柴田知義 , 吉松英彦 , 本田武史 , 澤泉雅之
乳房高度下垂患者に対する当院での統計 : 遊離腹部皮弁による再建戦略 .
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 : 大阪市 , 2018

19. 宮下宏紀，細井龍，矢野智之，棚倉健太，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，本田武史，澤泉雅之
健側からのおまる型乳頭乳輪同時移植による乳頭乳輪再建の試み．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

20. 山本覚，松本綾希子，澤泉雅之，矢野智之，宮下宏紀，棚倉健太，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，鈴木明世
乳房再建における健側の Silicon Breast implant（SBI）による豊胸術後に破損を認めた 1 例．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

21. 本田武史，宮下宏紀，矢野智之，棚倉健太，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，澤泉雅之
感染以外の原因で TE 抜去に至った症例の検討．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

22. 柴田知義，澤泉雅之，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦
１次再建術時の昇圧による出血確認の重要性．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

23. 棚倉健太，澤泉雅之，宮下宏紀，倉元有木子
Macrofil を用いた乳房再建術の経験．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

24. 棚倉健太
人工物による乳房再建術時の合併症の種類と分類：SBI の合併症分類案．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

25. 澤泉雅之
Oncoplastic breast surgery におけるチーム医療．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

26. 眞島昴也，宮下宏紀，矢野智之，棚倉健太，柴田知義，倉元有木子，吉松英彦，本田武史，澤泉雅之
DIEPflap による乳房再建と同時に子宮筋腫に対して子宮全摘・両側付属器切除術を行った 2 例．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

27. 矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，吉松英彦，鈴木明世，本田武史，辛川領，前田恵里沙，山本覚，眞島昴也，上野貴之，大野真司，澤泉雅之
Oncoplastic breast surgery におけるチーム医療．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

28. 矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，吉松英彦，本田武史，澤泉雅之
がん研有明病院における自家組織を用いた 1 次 1 期再建のスタートアップ．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

29. 鈴木明世，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，上野貴之，大野真司，澤泉雅之
乳房 1 次再建と非再建の根治性（長期的観察から）．
第 6 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会：大阪市，2018

30. 山本覚，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，吉松英彦，倉元有木子，柴田知義，澤泉雅之
足底荷重部を肩甲皮弁を用いて再建し、長期経過を観察した 1 例．
第 45 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：大阪市，2018

31. 矢野智之，ほか
神経付き Profunda artery perforator(PAP) flap を用いた小さいサイズの乳房に対する知覚付き乳房再建．
第 45 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：大阪市，2018

眼科

1. 辻英貴
眼瞼・眼窩・視神経・眼形成・眼腫瘍 .
第 41 回日本眼科手術学会学術総会： 京都市 , 2018

2. 辻英貴
腫瘍・再建 . [座長]
第 29 回日本眼瞼義眼床手術学会： 福岡市 , 2018

3. 辻英貴
一般演題：眼窩・眼瞼 . [座長]
第 122 回日本眼科学会総会：大阪市 , 2018

4. 辻英貴
涙嚢炎だと思っていませんか？でもそれ腫瘍ですから !!
第 7 回日本涙道・涙液学会総会（フォーサム 2018): 東京 , 2018

5. 辻英貴
眼周囲に生じる腫瘍について .
第 70 回山梨県眼科集談会：甲府市 , 2018

感染症科

1. 原田壮平
微生物検査技師教育の取り組みと課題： より良い感染症診療のための臨床微生物検査技師の役割 .
第 29 回日本臨床微生物学会総会・学術集会：岐阜市 , 2018

2. 原田壮平
高病原性 Klebsiella pneumoniae の分子疫学と臨床像 .
第 29 回日本臨床微生物学会総会・学術集会：岐阜市 , 2018

3. 原田壮平
集中治療領域における多剤耐性菌対応 .
第 45 回日本集中治療医学会学術集会：千葉市 , 2018

4. 佐々木俊治 , 大串大輔 , 羽山ブライアン , 原田壮平
がん専門病院における末梢静脈カテーテル関連血流感染症の検討 .
第 92 回日本感染症学会学術講演会： 岡山市 , 2018

5. 原田壮平 , 青木弘太郎 , 羽山ブライアン , 大串大輔 , 土井洋平 , 石井良和
東京都内単施設における MBL 産生 Enterobacter spp. アウトブレイク株の分子生物学的特徴と検出例の臨床像 .
第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 , 第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会：東京 , 2018

6. 武田孝一 , 大串大輔 , 帆足公佑 , 佐々木俊治 , 羽山ブライアン , 原田壮平
卵巣癌術後に発症した Genital Mycoplasmas が関与した腹腔内感染症の一例 .
第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 , 第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会：東京 , 2018

皮膚科

1. 西澤綾
皮膚がんの薬物療法 .
平成 30 年度がん専門薬剤師集中教育講座： 東京 , 2018

2. 堤田新
がん免疫療法の現況と展望：メラノーマに対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の臨床成績 .
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2018

3. 西澤綾
創傷被覆材を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 .
第 13 回熊本創傷治癒セミナー：熊本市 , 2018

4. 堤田新
メラノーマ薬物療法の進歩：メラノーマのセンチネルリンパ節転移と術後補助化学療法 .
第 82 回日本皮膚科学会東京支部学術大会： 東京 , 2018

歯科

1. 富塚健 , 江口奈緒子 , 木暮麻優 , 茂木立香 , 田代美子 , 太田志保
当院におけるがん治療時の骨吸収抑制薬投与と口腔機能管理について .
第 15 回日本口腔ケア学会学術大会： 福岡市 , 2018

2. 富塚健 , 茂木立香 , 白井伶奈
人工歯列を付与した簡易型即時顎補綴装置の試作 .
日本顎顔面補綴学会第 35 回総会・学術大会：徳島市 , 2018

3. 富塚健
当科で行っている食道がん治療時の口腔機能管理 .
第 2 回食道周術期管理セミナー：東京 , 2018

4. 富塚健
がん治療における口腔機能管理の意義 .
第6回多摩がんと感染症薬物療法研究会：東京, 2018

5. 富塚健
薬剤関連顎骨壊死への対応と医科歯科連携 .
江東区医師会･江東区歯科医師会合同講演会「骨粗鬆症と薬剤関連顎骨壊死に関する医科歯科連携」：東京 , 2018

6. 富塚健
がん治療における口腔機能管理の実際 .
神奈川県歯科医師連盟　デンタルミーティング IN かながわ：横浜市 , 2018

緩和治療科

1. 佐伯吉規
「スピリチュアル」をあらためて考える .
日本総合病院精神医学会無床フォーラム 2018: 神戸市 , 2018

2. 川原玲子
柴苓湯とマニュアルリンパドレナージ（MLD）によりむくみの改善が得られた症例 .
第 31 回日本疼痛漢方研究会学術集会： 東京 , 2018

3. 佐伯吉規
サイコオンコロジー：がん患者のこころを診る精神科医 .
世田谷区医師会在宅医療講演：東京 , 2018

4. 川原玲子
四肢麻痺と腸閉塞をきたし疼痛管理に難渋した食道がんの 1 例 .
日本ペインクリニック学会第 52 回大会：東京 , 2018

5. 佐伯吉規
依存症と緩和医療 .
第 69 回 GHP 研究会：東京 , 2018

6. 川原玲子
緩和医療における漢方治療の実際 .
第 1 回日本緩和医療学会中国四国支部学術大会：松江市 , 2018

7. 佐伯吉規
無床カフェ「果たして無床総合病院精神科医は必要か ?」.
第 31 回日本総合病院精神医学会総会： 東京 , 2018

8. 佐伯吉規
治療の難しいせん妄のマネージメント：がん終末期におけるせん妄マネジメント：その試行錯誤の日々 .
第 31 回日本総合病院精神医学会総会： 東京 , 2018

9. 佐伯吉規
私たちが “リエゾン” を選び，そしてハマった理由：若手精神科医からの本音トーク .
第 31 回日本総合病院精神医学会総会： 東京 , 2018

放射線治療部

1. 吉岡靖生
前立腺癌・子宮癌・頭頸部癌の高線量率小線源治療 .
昭和大学学士会後援セミナー：東京 , 2018

2. 角美奈子
肉腫の新規治療を考える .
第 1 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会 : 東京 , 2018

3. Yoshioka, Y.
Long-term results of HDR monotherapy in the treatment of prostate cancer. .
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO) 37 Conference: Barcelona, Spain, 2018

4. 吉岡靖生
高線量率組織内照射（HDR）単独療法 .
第 106 回日本泌尿器科学会総会 : 京都市 , 2018

5. 利安隆史
放射線治療による頭頸部癌治療成績の改善の取り組みと展望 : 当院における頭頸部 IMRT の治療経験と治療成績 .
第 42 回日本頭頸部癌学会 : 東京 , 2018

6. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 神山亮介 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 仲野兼司 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭扁平上皮癌に対する強度変調放射線治療による同時化学放射線療法についての検討 .
第 42 回日本頭頸部癌学会 : 東京 , 2018

7. 芹澤慈子
The strategy for treatment of spinal metastases case presentation.
東京都における都道府県がん診療連携拠点病院および、地域がん診療連携拠点病院、東京都認定がん診療病院平成 30 年度放射線腫瘍医研修会 : 東京 , 2018

8. Yoshioka, Y.
A global trend in high-dose-rate brachytherapy as monotherapy for prostate cancer.
1st International Academic Conference of 3D Printing Technology & Brachytherapy and the 2nd Beijing International Conference of Radioactive Seeds Implantation Brachytherapy: Beijing, China, 2018

9. 利安隆史
HPV 関連中咽頭癌の治療 : 放射線治療医の立場から .
第 31 回日本口腔・咽頭学会総会ならびに学術講演会 : 名古屋市 , 2018

10. Harada, A., Sumi, M., Toshiyasu, T., Yoshioka, Y., Takazawa, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Oguchi, M.
Palliative radiation therapy for spinal metastasis from myxoid liposarcoma.
American Society for Radiation Oncology (ASTRO) 60th Annual Meeting: San Antonio, TX, USA, 2018

11. Taguchi, S., Oguchi, M., Yamaguchi, M., Suzuki, R., Ejima, Y., Hasegawa, M., Ishibashi, N., Isobe, K., Kasuya, T., Sasai, K., Shimoda, E., Soejima, I., Imai, M.
The Primary Tumor Invasion and Soluble Interleukin-2 Receptor as Prognostic Factors for Localized Nasal NK/T-cell Lymphoma: the Multi-institutional Retrospective Study (NKEA project) in Japan.
American Society for Radiation Oncology (ASTRO) 60th Annual Meeting: San Antonio,TX, USA, 2018

12. 中島直美 , 小口正彦 , 熊井康子 , 猪田浩隆 , 芹澤慈子 , 吉岡靖生
HER 陽性ホルモンレセプター陰性局所進行乳癌の治療成績と予後予測因子の検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

13. 中島直美 , 小口正彦 , 熊井康子 , 猪田浩隆 , 芹澤慈子 , 吉岡靖生
エストロゲンレセプター陽性 HER 陰性局所進行乳癌例の治療成績と予後予測因子の検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

14. 中島直美 , 小口正彦 , 熊井康子 , 猪田浩隆 , 芹澤慈子 , 吉岡靖生

炎症性乳癌に対する集学的治療の治療成績と予後予測因子の検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

15. 利安隆史
上咽頭癌に対する IMRT を用いた同時化学放射線療法の治療成績 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

16. 原田亜里咲 , 角美奈子 , 利安隆史 , 猪田浩隆 , 徳増健二 , 桑原宏文 , 熊井康子 , 中島直美 , 田口千藏 , 芹澤慈子 , 浅利崇生 , 吉岡靖生 , 小口正彦 , 阿江啓介
後腹膜肉腫の術前および術後に対する放射線治療の検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

17. 桑原宏文 , 田口千藏 , 吉岡靖生 , 篠崎英司 , 秋吉高志 , 小西毅 , 福長洋介 , 上野雅資 , 佐々木理栄 , 小口正彦
進行直腸癌に対する術前短期放射線療法の有害事象に関する後方視的検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

18. 猪田浩隆 , ほか
進行下咽頭扁平上皮癌に対する術後強度変調放射線療法 (IMRT) の成績 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

19. 田口千藏 , 小口正彦 , 山口素子 , 鈴木律朗 , 江島泰生 , 長谷川正俊 , 石橋直也 , 磯部公一 , 糟谷健夫 , 笹井啓資 , 下田絵美子 , 副島俊典 , 今井美智子
限局期鼻腔 NK/T 細胞リンパ腫の PTI および sIL-2R の予後予測に関する検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

20. 芹澤慈子 , ほか
下咽頭扁平上皮癌に対する強度変調放射線治療による同時化学放射線療法についての検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

21. 角美奈子
乳癌 . [座長]
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

22. 利安隆史
眼科領域における HPV 関連癌 .
第 3 回日本 HPV 研究会学術集会 : 横浜市 , 2018

23. Kumai, Y., Nakajima, N., Inoda, H., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Prognostic factors in locally advanced breast cancer with HER2+/HR- with NAC followed by PMRT.
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO) Meets Asia: Singapore, 2018

24. Nakajima, N., Kumai, Y., Serizawa, I., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Clinical outcomes in patients with ER positive, HER2 negative locally advanced breast cancer.
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO) meets Asia: Singapore, 2018

25. Oguchi, M.
Putting knowledge at work in lymphoma : Lymphoma and doses: when and how much is safe to reduce them.
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO) meets Asia: Singapore, 2018

26. 佐々木理惠 , ほか
肛門管浸潤を有する下部進行直腸癌に対する術前化学放射線療法の予防領域に関する検討 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 : 京都市 , 2018

27. 吉岡靖生
SpaceOAR ハイドロゲルの臨床的有用性、手技および使用経験：各モダリティの観点から .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会：京都市 , 2018

28. 小口正彦
放射線治療が得意ながん：頭頸部がん、リンパ腫 .
日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会：京都市 , 2018

29. 小口正彦 , 田口千藏 , 猪田浩隆 , 徳増健二 , 桑原宏文 , 熊井康子 , 原田亜里咲 , 鈴木涼子 , 中島直美 , 芹澤慈子 , 浅利崇生 , 利安隆史 , 角美奈子 , 吉岡靖生 , 照井康仁 , 竹内賢吾
低線量の緩和照射を繰り返し施行したマントル細胞リンパ腫の 1 例 .
第 454 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京 , 2018

30. 田口千藏 , 小口正彦 , 猪田浩隆 , 徳増健二 , 桑原宏文 , 熊井康子 , 原田亜里咲 , 鈴木涼子 , 中島直美 , 芹澤慈子 , 浅利崇生 , 利安隆史 , 角美奈子 , 吉岡靖生 , 照井康仁 , 竹内賢吾
根治的放射線治療が有用であった十二指腸形質細胞腫の 1 例 .
第 454 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京 , 2018

31. 田口千藏 , 小口正彦 , 猪田浩隆 , 徳増健二 , 桑原宏文 , 熊井康子 , 原田亜里咲 , 鈴木涼子 , 中島直美 , 芹澤慈子 , 浅利崇生 , 利安隆史 , 角美奈子 , 吉岡靖生 , 照井康仁 , 竹内賢吾
緩和照射を施行した Enteropathy-associated T-cell lymphoma の 1 例 .
第 454 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京 , 2018

画像診断部

1. 五味直哉
術前化学療法における MRI の有用性 .
第 14 回乳房 MRI 研究会：東京 , 2018

2. Ueno, T.
A case of tenosynovial giant cell tumor(TS-GCT) with almost pure synovial-like mono-nuclear cell component.
第 29 回日本骨軟部放射線研究会： 長崎市 , 2018

3. 和田武 , 植野映子 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 船内雄生 , 三浪友輔 , 二宮浩範 , 石川雄一 , 松枝清
A case of actinomycosis presenting a chest wall mass.
第 29 回日本骨軟部放射線研究会： 長崎市 , 2018

4. 菊池真理
エキスパートに学ぶ放射線診療アップデート：乳房画像診断の cutting edge を知ろう「乳房画像診断のマルチモダリティ診断　術前化学療法評価における有用性 .
第 32 回 JCR ミッドウィンターセミナー： 福岡市 , 2018

5. 渡邉亮輔 , 小山眞道 , 寺内隆司 , 小泉満
FDG-PET/CT で悪性リンパ腫との鑑別を要した腎盂癌の 1 例
第 88 回日本核医学会関東甲信越地方会：東京 , 2018

6. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 63：Japanese.
European Congress of Radiology (ECR) 2018: Vienna, Austria, 2018

7. 五味直哉 , 荻谷朗子
乳腺画像：臨床、画像、病理に臨むこと：より精度の高い診断と治療を目指して .
第 37 回日本画像医学会：東京 , 2018

8. 國分優美
より精度の高い診断と治療を目指して：画像診断医の立場から病理医、臨床医に望むこと .
第 37 回日本画像医学会学術大会：東京 , 2018

9. 五味直哉
乳房再建術後の MRI フォローアップ .
Breast Imaging Boot Camp in Tokyo: 東京 , 2018

10. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 16：Japanese.
European Congress of Radiology (ECR) 2018: Vienna, Austria, 2018

11. Ueda, K.
Identifying computed tomography images effective for showing arterial enhancement of hepatocellular carcinoma using visual-inspection criterion that is designed with the use of a computed decision tree.
Society of Abdominal Radiology 2018 Annual Scientific Meeting and Educational Course: Scottdale, AZ, USA, 2018

12. Kikuchi, M.
Effective utilization method of Digital Breast Tomosynthesis in breast cancer screening.
第 77 回日本医学放射線学会総会： 横浜市，2018

13. Tanaka, Y. O.
Meet the expert: Learn the tips of diagnostic imaging in the female pelvis through case presentation.
第 77 回日本医学放射線学会総会： 横浜市，2018

14. 田中優美子
イメージインタープリテーションセッション：症例 3.
第 77 回日本医学放射線学会総会： 横浜市，2018

15. 五味直哉，松本綾希子，棚倉健太，宮下宏紀，今井智浩，澤泉雅之，國分優美，福岡恵，高橋洋子，米倉利香，森園英智，宮城由美，上野貴之，大野真司，松枝清
乳房シリコンインプラントの破損診断．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

16. 五味直哉
放射線科系乳腺専門医の重要性．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

17. 國分優美，五味直哉，加藤千絵子，圓岡有里，福岡恵，米倉利香，高橋洋子，森園英智，宮城由美，堀井理絵，秋山太，上野貴之，岩瀬拓士，大野真司，松枝清 1
授乳期・断乳直後の状態が乳癌の MRI 診断に及ぼす影響の検討．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

18. 國分優美
症例から実感する、乳房超音波と MRI のちょっと良い関係．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

19. 山元龍哉，河野敦，伊藤浩一，松枝清，増田均，米瀬淳二，稲村健太，前川尚志，石川雄一
腎門部発生の異所性副腎皮質腺腫の 1 例．
第 32 回腹部放射線学会：鎌倉市，2018

20. 平塚真生子，海野俊之，杉浦善弥，河野敦，松枝清
腸間膜デスモイド腫瘍と血管．
第 32 回腹部放射線学会：鎌倉市，2018

21. Wada, T., Yokoi, T., Watanabe, R., Yamada, I., Ozaka, M., Sasahira, N., Matsueda, K.
A case of successful angioplasty for common iliac venous stenosis due to a neuroendocrine tumor.
第 47 回日本 IVR 学会総会：東京，2018

22. Yokoi, T.
Temporary endovascular balloon occlusion of the pulmonary artery in traumatic lung bleeding.
第 47 回日本 IVR 学会総会：東京，2018

23. 五味直哉
乳癌薬物療法の画像診断．
第 14 回山陰乳房画像研究会：米子市，2018

24. 田中優美子
臨床試験でケータイを学ぶ：2. 卵巣がんの中央画像診断．
第 15 回婦人科がん会議：久留米市，2018

25. 田中宏子
新 TNM 分類（第 8 版）の改定点と問題点：放射線診断医からみた改定点と問題点．
第 42 回日本頭頸部癌学会：東京，2018

26. 菊池真理
各領域研究の進歩 1：乳癌 .
第 3 回 Advanced Medical Imaging 研究会：東京 , 2018

27. 五味直哉
ハイリスクサーベイランスに関する取組 .
第 4 回乳腺画像・インターベンション研究会：大阪市 , 2018

28. 菊池真理
ガイドラインを議論する：マンモグラフィ・超音波 .
第 4 回乳腺画像・インターベンション研究会：大阪市 , 2018

29. 植野映子
骨軟部腫瘍と紛らわしい画像所見を呈する正常変異と非腫瘍性疾患 .
第 51 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：静岡市 , 2018

30. 寺村易予
転移整骨軟部腫瘍 .
第 29 回骨軟部放射線診断セミナー： 大阪市 , 2018

31. 植野映子
軟部腫瘍 .
第 29 回骨軟部放射線診断セミナー： 大阪市 , 2018

32. Tanaka, Y. O.
Can MRI diagnose the indication and outcome of the hormone therapy for endometrial cancer?
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Kyoto, Japan, 2018

33. 戸島史仁
神経内分泌腫瘍の画像診断（CT, MRI, オクトレオスキャン）：Pancreatic NET を中心に .
NET forum 2018: 金沢市 , 2018

34. 菊池真理 , 五味直哉
T2 強調像で高信号を呈した腫瘍 .
第 7 回湯島乳腺画像研究会：東京 , 2018

35. 田中優美子
子宮体がんの術前画像診断 .
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会： 京都市 , 2018

36. Gomi, N., Matsumoto, A., Kikuchi, M., Kokubu, Y., Tanakura, K., Miyashita, H., Sawaizumi, M., Ueno, T., Ohno, S., Matsueda, K.
Comparison of usefulness of ultrasound and MRI for diagnosis of silicon breast implant rupture.
4th World Congress on Controversies in Breast Cancer.: Melborune, Australia, 2018

37. Kikuchi, M., Uchiyama, N., Gomi, N., Kinoshita, T., Yoshida, M., Kusumoto, M.
Features of image findings of Digital Breast Tomosynthesis (DBT) undetected breast cancer.
4th World Congress on Controversies in Breast Cancer.: Melbourne, Australia, 2018

38. 上田和彦
PACS 最前線：各社の最新情報 .
日本医学放射線学会電子情報研究会第 31 回学術集会：福岡市 , 2018

39. 田中優美子
卵巣がんの画像診断：合併血栓も含めて .
第 13 回昭和大学婦人科研究会：東京 , 2018

40. 渡邉亮輔 , 負門克典 , 伊藤浩一 , 横井健人 , 和田武 , 松枝清 , 文敏景 , 奥村栄 , 二宮浩範 , 石川雄一
前縦隔デスモイド腫瘍の一例 .
第 32 回胸部放射線研究会：福岡市 , 2018

41. 田中優美子
婦人科画像診断の基礎と臨床：画像診断ガイドラインの紹介と応用 .
第 43 回「画像診断の基礎と臨床」学術講演会：鴨川市 , 2018

42. 戸島史仁 , 井上大 , 小林聡 , 蒲田敏文
稀な組織型の膵癌の画像診断（腺房細胞癌、粘液癌、Groove 膵癌その他）.
第 54 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：福岡市 , 2018

43. 五味直哉
石灰化病変の取り扱い・MRI によるインプラントの破損診断 .
東区乳腺疾患セミナー：札幌市 , 2018

44. 負門克典 , 二宮浩範 , 石川雄一 , 中尾将之 , 一瀬淳二 , 松浦陽介 , 文敏景 , 奥村栄 , 西尾誠人
CT での充実径計測の実際と問題点 CT 所見に基づく cT 因子の決定についての問題点の現状 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

45 戸島史仁
神経内分泌腫瘍の画像診断 .
Neuroendocrine Tumor Conference: 東京 , 2018

核医学部

1. 大澤敦 , 梅田拓朗 , 島田直毅 , 内田茂樹 , 宮司典明 , 深井翔平 , 上村麻里子 , 滝口智洋
Bayesian Penalized Likelihood Algorithm の被写体依存性を画像ノイズから解明する試み .
第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会：仙台市 , 2018

2. 宮司典明
Nuclear Medicine (SPECT, Planar) Image Processing, Image Analysis 3, Radionuclide Therapy/ 核医学（SPECT, Planar）画像処理, 画像解析 3, RI 内用療法 .
第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市 , 2018

3. 宮司典明 , 三輪建太 , 常盤礼香 , 根本玲央 , 市川肇
骨 SPECT/CT における共役勾配法を用いた新しい画像再構成法の特性評価 .
第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市 , 2018

4. 宮司典明 , 茂木一樹 , 深井翔平 , 梅田拓朗 , 島田直毅 , 三輪建太 , 寺内隆司
新たなディスポーザブルキットを用いた PET 用自動投与装置の投与精度 .
第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市 , 2018

5. 寺内隆司
リンパ腫の FDG-PET/CT と Lugano 分類 .
第 58 回日本核医学会学術総会：宜野湾市 , 2018

6. 小山眞道 , 寺内隆司 , 渡邉亮輔 , 有坂有紀子 , 牧野朋子 , 戸川貴史 , 小泉満
FDG-PET/CT で集積がみられた仙骨病変：類上皮肉芽腫の 1 例 .
第 58 回日本核医学会学術総会：宜野湾市 , 2018

7. 小泉満
去勢抵抗性前立腺癌に対するアルファ線を用いた治療：Ra-223 発売 2 年間の振り返りと今後の課題 .
第 58 回日本核医学会学術総会 / 第 38 回日本核医学技術学会総会学術大会：宜野湾市 , 2018

8. 川端一広 , 宮司典明 , 大澤敦 , 島田直毅 , 伊藤良真 , 高津一朗 , 立川智弘
スマートフォン挿入型 Virtual Reality（VR）を用いた 3D CT 画像表示におけるポリゴン数の最適化 .
第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会：仙台市 , 2018

9. 梅田拓朗 , 小泉満 , 中澤脩人 , 深井翔平 , 宮司典明 , 茂木一樹 , 滝口智洋
定量的骨 SPECT/CT を用いた骨転移量の評価 SUV 閾値の定義と 223Ra 治療効果判定 .
第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市 , 2018

臨床検査センター

1. 國分優美
より精度の高い診断と治療を目指して：画像診断医の立場から病理医、臨床医に望むこと .
第 37 回日本画像医学会学術大会：東京 , 2018

2. 山田恵子
甲状腺結節診断における超音波 D/W 測定の意義と問題点 .
第 40 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 : 東京 , 2018

3. 加藤千絵子 , 宮城由美 , 圓岡有里 , 五十里美栄子 , 福岡恵 , 米倉利香 , 高橋洋子 , 坂井威彦 , 森園英智 , 國分優美 , 五味直哉 , 山田恵子 , 堀井理恵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 上野貴之 , 大野真司
超音波併用検診における乳房濃度別の乳癌検出率の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会 : 京都市 , 2018

4. 國分優美 , 五味直哉 , 加藤千絵子 , 圓岡有里 , 福岡恵 , 米倉利香 , 高橋洋子 , 森園英智 , 宮城由美 , 堀井理絵 , 秋山太 , 上野貴之 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 松枝清 1
授乳期・断乳直後の状態が乳癌の MRI 診断に及ぼす影響の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会 : 京都市 , 2018

5. 國分優美
症例から実感する、乳房超音波と MRI のちょっと良い関係 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会 : 京都市 , 2018

6. 圓岡有里 , ほか
肉芽腫性乳腺炎の臨床と超音波画像の検討 .
第 26 回日本乳癌学会学術総会 : 京都市 , 2018

7. 山田恵子 , 杉谷巌 , 蛯名彩 , 戸田和寿 , 三谷浩樹
甲状腺癌の超音波によるサーベイランス（アクティブサーベイランスを含む）甲状腺微小癌のアクティブサーベイランスにおける超音波検査について（がん研有明病院）.
日本超音波医学会第 91 回学術集会 : 神戸市 , 2018

8. 國分優美
術前治療における画像診断の役割 : 超音波診断を中心として .
第 41 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 : 大阪市 , 2018

9. Sekine, R., Komatsu, K., Ooishi, H., Mizuno, N., Tsuzuki, K., Umebara, T., Ikegami, M., Takehana, K., Ebihara, A., Miyake, K., Nakayama, K.
A case of histiocytic neoplasm in bone marrow.
IFBLS 33rd World Congress of Biomedical Laboratory Science: Firenze, Italy, 2018

10. 友田美穂 , 上東野誉司美 , 宗和憲 , 永島公子 , 海原和己 , 小松京子 , 中山耕之介 , 三宅一徳
Samson 染色において髄液中にヘパリン添加時と類似した析出物を認めた副鼻腔腫瘍の一例 .
第 67 回日本医学検査学会 : 浜松市 , 2018

11. 小野翔平 , 滝澤久暢 , 福原綾香 , 中澤このみ , 鈴木悠乃 , 関田綱基 , 海原和己 , 小松京子 , 三宅一徳 , 中山耕之介
CLEIA 法による新規可溶性 IL-2R(sIL-2R) 測定試薬の基本性能評価 .
日本臨床検査自動化学会第 50 回大会 : 神戸市 , 2018

12. 徳永知子 , 志賀太郎 , 高橋萌佳 , 依田麻里奈 , 小松京子 , 三宅一徳 , 海老原文 , 中山耕之介
がん化学療法に伴う冠攣縮性狭心症発作を長時間ホルター心電図で捉えた一例 .
第 55 回関甲信支部首都圏支部医学検査学会 : 高崎市 , 2018

13. 水野奈々 , 大石ひとみ , 都築京子 , 梅原翼 , 関根凜太郎 , 池上満ちる , 海原和己 , 小松京子 , 三宅一徳 , 中山耕之介
骨髄標本中に Histiocytic neoplasm 由来の細胞が認められた 1 症例 .
第 19 回日本検査血液学会学術集会 : さいたま市 , 2018

14. 海原和己 , 関田綱基 , 滝澤久暢 , 鈴木悠乃 , 中澤このみ , 小野翔平 , 福原綾香 , 小松京子 , 林嵩 , 沼尾昇 , 三宅一徳 , 中山耕之介
新規ホルモン治療薬投与による血中テストステロン測定値への影響 .
日本臨床検査自動化学会第 50 回大会 : 神戸市 , 2018

15. 関田綱基，小野翔平，福原綾香，中澤このみ，鈴木悠乃，滝澤久暢，海原和己，小松京子，海老原文，三宅一徳，中山耕之介
がん専門病院における日常検査で検出されたバイオマーカーの非特異反応の解析．
第 58 回日本臨床化学会年次学術集会：名古屋市，2018

病理部

1. 重松康之
Concordance of CDX2 expression in CRCs between primary and corresponding liver metastases with or without chemotherapy.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市，2018

2. 高松学，山本智理子，河内洋，小林真季，千野晶子，斎藤彰一，上野雅資，石川雄一
サイトケラチン免疫染色と機械学習（AI）を併用した T1 大腸癌リンパ節転移予測の自動化の試み．
第 89 回大腸癌研究会：新潟市，2018

3. 大迫智
乳癌の原発巣と再発巣におけるサブタイプおよび腫瘍浸潤リンパ球の変化．
第 107 回日本病理学会総会：札幌市，2018

4. 堀井理恵
より精度の高い診断と治療を目指して：病理医の立場から画像診断医、臨床医に望むこと．
第 37 回日本画像医学会：東京，2018

5. Shigematsu, Y., Kanda, H., Inamura, K., Ishikawa, Y.
CDX2 expression is concordant between primary colorectal cancer lesions and corresponding liver metastases independent of chemotherapy.
平成 29 年度文部科学省新学術領域研究・学術研究支援基盤形成先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会：大津市，2018

6. 石川雄一
肺の神経内分泌腫瘍：その特徴および他臓器との比較．
第 91 回日本内分泌学会学術総会：宮崎市，2018

7. 大迫智，岩瀬拓士，牛嶋大，尾崎章彦，LuangxayThitsamay, 上野貴之，大野真司，秋山太
センチネルリンパ節生検の今後に向けた取り組み　リンパ節転移陽性乳癌の予後と相関するのは、転移個数か、転移ボリュームか、解剖学的な波及度か？
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

8. Kawachi, H., Ishikawa, Y.
miRNA expression profile of gastric fundic gland-type neoplasm.
Maastricht Pathology 2018 11th Joint Meeting of the Birish Division of the International Academy of Pathology and the Pathological Society of Grat Britain & Ireland: Maastricht, The Netherlands, 2018

9. 杉浦善弥
未分化多形肉腫と粘液線維肉腫における予後および予後因子の比較．
第 107 回日本病理学会総会：札幌市，2018

10. 高松学
多臓器転移を伴う EML4-ALK 転座陽性の肺炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の一例．
第 107 回日本病理学会総会：札幌市，2018

11. 石川雄一
肺癌の組織分類．
第 37 回東京都臨床細胞学会総会・学術集会：東京，2018

12. Ishikawa, Y.
NUT carcinoma in mediastinal and lung.
19th National Congress & Annual Meeting Indonesian Association of Pathologists (IAPI) / International Academy of Pathology, Indonesian Division in Conjunction with APSMI Annual Meeting.: Surabaya, Indonesia, 2018

13. Ishikawa, Y.
PD-L1.
19th National Congress & Annual Meeting Indonesian Association of Pathologists (IAPI) / International Academy of Pathology, Indonesian Division in Conjunction with APSMI Annual Meeting.: Surabaya, Indonesia, 2018

14. 杉浦善弥 , 高澤豊 , 神田浩明 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 町並陸生 , 石川雄一
粘液線維肉腫及び未分化多形肉腫における、CD34 の予後予測能についての検討 .
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

15. 重松康之 , 稲村健太郎 , 石川雄一 , 神田浩明
大腸癌における原発巣と肝転移巣での CDX2 発現の一致性と化学療法による影響 .
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

16. Ishikawa, Y.
Expression of immunecheckpoint proteins such as PD-L1 and B7-H3 in lung cancer: Japanese experience.
4'eme CARREFOUR d'OncologieThoracique: Casablanca, Morocco, 2019

17. Ishikawa, Y.
Histological diagnosis of AIS and relaed adenocarcinoma.
4'eme CARREFOUR d'OncologieThoracique: Casablanca, Morocco, 2018

18. 佐藤由紀子 , 伊藤崇彦 , 山田麻里沙 , 山崎奈緒子 , 石井脩平 , 池畑浩一 , 藤山淳三 , 古田則行 , 小松京子 , 杉山裕子 , 竹内賢吾
精度管理のデータの feedback 頭頸部領域における臨床への feedback.
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

19. 堀井理絵
乳腺細胞診の見方乳癌取扱い規約　乳腺腫瘍の組織学的分類の改訂点 .
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

20. 石川雄一
神経内分泌腫瘍の病理診断：肺と他の臓器を比較して .
第 64 回日本病理学会秋期特別総会： 呉市 , 2018

21. Osako, T., Iwase, T., Ushijima, M., Ogiya, A., Ueno, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Which factor of metastatic lymph nodes-the number, tumor volume or anatomical location-is independently prognostic in breast cancer? - A prospective cohort study using molecular whole-node analysis of all removed axillary nodes.
41st Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, TX, USA, 2018

22. 堀井理絵
乳癌診療ガイドライン病理診断領域 2018 年版の改訂要点 .
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2018

23. 山下享子 , 高松学 , 武藤麻理子 , 杉浦善弥 , 植野映子 , 船内雄生 , 阿江啓介 , 蛭田啓之 , 町並陸生 , 高澤豊
症例 3：背部軟部腫瘍 .
第 61 回日本骨軟部腫瘍研究会（Bone Tumor Club）：松山市 , 2018

細胞診断部

1. 小松京子
国際対応国際ワーキング委員 .
第 67 回日本医学検査学会：浜松市 , 2018

2. 伊藤崇彦 , 山﨑奈緒子 , 山田麻里沙 , 池畑浩一 , 星利良 , 藤山淳三 , 古田則行 , 小松京子 , 高澤豊 , 杉山裕子
子宮頸部腺系病変における直接塗抹法と液体処理法の比較検討 .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

3. 古田則行
細胞検査士会ヤング committee ワークショップ .

第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

4. 小松京子 , 藤山淳三 , 古田則行 , 石井脩平 , 伊藤崇彦 , 山田麻里沙 , 山﨑奈緒子 , 星利良 , 高澤豊 , 杉山裕子
子宮頸部腺癌を見逃さないために .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

5. 小松京子
環境に優しい検査室を作る：検査室における化学物質の取扱いについて .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

6. 小松京子 , 古田則行 , 藤山淳三 , 杉山裕子
陰性報告における細胞検査士の責任と役割―新たな資格は設定すべきか .
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

7. 杉山裕子
子宮体部 3. [座長]
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

8. 杉山裕子
子宮頸部腺系病変と LBC.
第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：札幌市 , 2018

9. 小松京子
精度管理から細胞像への feed back.
第 37 回東京都臨床細胞学会総会・学術集会：東京 , 2018

10. 小松京子
呼吸器講義 . [座長]
第 76 回細胞検査士ワークショップ　東京 , 2018

11. 小松京子
技師賞記念講演 .
第 75 回細胞検査士教育セミナー：東京 , 2018

12. 杉山裕子 , 後藤理 , 荷見勝彦 , 高澤豊 , 野田哲生 , 森誠一
子宮体がんの組織発生からみた 2 種類の類内膜癌 .
第 77 回日本癌学会学術総会：大阪市 , 2018

13. 古田則行 , 高松学 , 杉浦善弥 , 山田麻里沙 , 石井修平 , 山崎奈緒子 , 星利良 , 小松京子 , 杉山裕子 , 高澤豊
精度管理のデータの feedback 軟部腫瘍　精度管理データからの教訓 .
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

14. 古田則行 , 河内洋 , 藤山淳三 , 池畑浩一 , 伊藤崇彦 , 小松京子 , 杉山裕子 , 高澤豊
胃粘膜下腫瘍の on-site の実態 EUS-FNA 胃粘膜下腫瘍の多彩性 .
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

15. 小松京子
技術 . [座長]
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

16. 星利良 , 柳谷典子 , 古田則行 , 小松京子 , 杉山裕子 , 二宮浩範 , 石川雄一 , 宝来威
どうする、細胞診材料しかない！　肺癌遺伝子検査を念頭においた細胞診材料のマネージメント腺癌・腺癌亜型について .
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

17. 杉山裕子 , 佐々木寛 , 森谷卓也 , 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班
子宮頸部細胞診精度管理における自動スクリーニング支援システムの有用性について .
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会： 横浜市 , 2018

栄養管理部

1. 望月宏美
合併症の発生抑制、術後補助化学療法継続率の向上を目指した栄養管理 .
第 2 回 NST スキル UP 講習会：京都市 , 2018

2. 中濱孝志，井田智，熊谷厚志，望月宏美，伊沢由紀子，高木久美，峯真司，比企直樹
担がん患者の治療を助ける栄養管理担がん患者の治療を支える管理栄養士の活動．
第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2018

3. 中濱孝志，井田智，熊谷厚志，松下亜由子，望月宏美，峯真司，比企直樹
緩和ケアと終末期の栄養管理がん緩和ケアにおける管理栄養士の役割（総論）．
第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2018

4. 山口彩，井田智，船内雄生，望月宏美，松島里那，岡野亜子，榎田滋穂，松下亜由子，伊丹優貴子，中屋恵梨香，高木久美，川名加織，伊沢由紀子，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹
整形外科領域における下肢リンパ漏発生に影響する因子の検討．
第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都市，2018

5. 中濱孝志，望月宏美，峯真司，比企直樹
がん専門病院における「がん栄養指導料」新規加算の効果．
第 18 回日本医療マネジメント学会東京支部学術集：東京，2018

6. 川名加織，井田智，佐々木徹，小泉雄，白尾浩太郎，鵜沼静香，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹
局所進行口腔癌術後症例における新規嚥下調整食導入の効果と安全性の検討．
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：横浜市，2018

7. 松下亜由子，峯真司，熊谷厚志，井田智，望月宏美，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，山口彩，榎田滋穂，岡野亜子，松島里那，中濱孝志，奈良林至，比企直樹
がん終末期患者における経口摂取量と心理的症状に関する検討．
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：横浜市，2018

8. 伊丹優貴子，熊谷厚志，中尾将之，松浦陽介，望月宏美，高木久美，伊沢由紀子，川名加織，松下亜由子，山口彩，谷村滋穂，岡野亜子，峯真司，中濱孝志，比企直樹
肺癌術後呼吸器合併症と術前プレアルブミン値の検討．
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会；：横浜市，2018

9. 望月宏美，熊谷厚志，井田智，岡野亜子，榎田滋穂，山口彩，松下亜由子，伊丹優貴子，中屋恵梨香，髙木久美，川名加織，伊沢由紀子，中濱孝志，峯真司，比企直樹
胃癌患者における術前検査に伴う欠食と栄養状態の関係．
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会；：横浜市，2018

10. 望月宏美，井田智，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹
胃切除術後 1 ヶ月間の除脂肪体重減少の危険因子．
第 90 回日本胃癌学会学術集会総会：横浜市，2018

11. 岡野亜子，伊丹優貴子，望月宏美，松尾千穂，田端聡，中濱孝志，峯真司，片岡明美，荻谷朗子，宇津木久仁子，上野貴之，大野真司，比企直樹
乳癌術後上肢リンパ浮腫の重症度と体組成との関連性と栄養指導の検討．
第 26 回日本乳癌学会学術総会：京都市，2018

12. 松下亜由子，峯真司，熊谷厚志，井田智，望月宏美，中濱孝志，比企直樹，奈良林至
がん終末期患者に対する栄養介入と経口摂取量および心理的症状に関する検討．
第 23 回日本緩和医療学会学術大会：神戸市，2018

13. 中濱孝志，井田智，熊谷厚志，峯真司，望月宏美，望月俊明，山本豊，比企直樹
ICU に緊急入室したがん患者の Refeeding Syndrome 発生状況に関する調査．
日本外科代謝栄養学会第 55 回学術集会：大阪市，2018

14. 望月宏美，峯真司，井田智，熊谷厚志，中濱孝志，比企直樹
食道切除術後 1ヶ月間の体重減少のリスク因子．
日本外科代謝栄養学会第 55 回学術集会： 大阪市，2018

15. 高木久美，井上陽介，齋浦明夫，高橋祐，三瀬祥弘，石沢武彰，望月宏美，中濱孝志，峯真司，比企直樹
膵癌患者において術後補助化学療法の導入や継続とサルコペニアの関連について．
第 73 回日本消化器外科学会総会： 鹿児島市，2018

16. Mochizuki, H., Mine, S., Nakahama, T., Watanabe, M., Hiki, N.
Risk factors for weight loss 1 month after esophagectomy for esophageal cancer.
16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus(ISDE): Vienna, Austria, 2018

17. 伊沢由紀子，市村崇，陳頸松，篠崎英司，高張大亮，小倉真理子，若槻尊，大隅寛木，中山厳馬，松島友広，井田智，熊谷厚志，峯真司，比企直樹，山口研成
化学療法中の食道・胃癌患者に対する栄養剤コンプライアンスを検討するパイロット試験．
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市，2018

18. 松尾宏美
幽門側胃切除と幽門保存胃切除術後の摂取エネルギー量と栄養状態の変化．
第 20 回メットキューブ・NST 研究会： 東京，2018

ME センター

1. 鈴木幹子，山田沙織，西かおり，川上優生，二木翔平，坪井望，大野愛，馬場誠一郎，市橋和明，畫間典子，山本豊，市村崇
がん性腹水に対する CART の現状と化学療法併用 CART の安全性の検討．
第 28 回日本臨床工学会：横浜市，2018

2. 鈴木幹子，山田沙織，西かおり，川上優生，坪井望美，大野愛，馬場誠一郎，市橋和明，市村崇
腹水濾過濃縮再静注法（CART）を併用し全身化学療法を長期施行し得た大量悪性腹水 3 症例の検討．
第 39 回日本アフェレシス学会学術大会： 岡山市，2018

看護部

1. 長崎礼子
皮膚障害に対する看護師の役割：知っておきたい看護師の視点．
東京都病院薬剤師会　がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座：症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント：東京，2018

2. 石川加奈子，藤浪文子，松浦信子，藤本佳也
がん専門病院におけるストーマリハビリテーションのしくみづくり　外来病棟継続看護システムの活用．
第 36 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：札幌市，2018

3. 濱口恵子，水野俊美，大澤めぐみ，坂口日登美，川島美佳，黒田直子，佐山郁子，鈴木めぐみ，床知惠子，小田島久美，河島地草，中村美穂，宇津木智子，相澤信也
タブレット端末を用いての苦痛スクリーニングが可能になるまでの取組み（その 1）．
第 32 回日本がん看護学会学術集： 千葉市，2018

4. 中山章子，後藤志保，川島美佳，坂口日登美，吉宮瑞穂，吉中愛美，池田都，本田まゆみ，青木富士子，床知惠子，北野雅子，中原由美子，濱口恵子，鈴木美穂，清水多嘉子
外来－病棟間の継続看護体制について皆で考えよう！：患者にも医療者にも Win-Win であるために．
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市，2018

5. 大友陽子，上間美夕紀，水野俊美，花出正美
がん専門病院一般外来におけるがん看護専門看護師による診察同席・相談支援：がん患者指導

管理料 1 算定に焦点を当てて .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

6. 横井麻珠美 , 長崎礼子 , 黒田直子 , 佐山郁子 , 松山須美子 , 鈴木美穂
化学療法を受ける患者の皮膚障害が日常生活へ及ぼす影響 .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

7. 水野俊美 , 濱口恵子 , 大澤めぐみ , 坂口日登美 , 佐山郁子 , 黒田直子 , 床知恵子
タブレット端末を用いての苦痛スクリーニングが可能になるまで取り組み（その 2）：外来での緩和ケアへ活かすために .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

8. 濱口恵子
がん専門病院の看護管理者の立場から .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

9. 花出正美 , 大友陽子 , 水野俊美 , 上間美夕紀 , 東千絵
がん相談支援センターにおける専門看護師・認定看護師による相談支援　がん患者指導管理料 2 算定に焦点を当てて .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

10. 黒田直子 , 長崎礼子 , 船越さおり , 大友陽子 , 濱口恵子
切除不能進行膵臓がん患者のトータルサポートプログラム（PANcreatic Direct Approach team : PANDA）による外来看護師の支援状況 .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

11. 黒田真由子 , 小屋麻子 , 藤本奈緒美 , 後藤志保 , 鈴木美穂
日本人看護師ががん治療を受ける外国人患者に提供する看護の捉え方 .
第 32 回日本がん看護学会学術集会： 千葉市 , 2018

12. 中岩優美子
承認前から関わるがん薬物療法：治験患者に対する病棟看護師としての関わり .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会： 横浜市 , 2018

13. 花出正美
閉鎖式器具が使用できない場合の曝露対策の取り組み：静脈内投与管理・腔内注入に携わる看護師の立場から .
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会：東京 , 2018

14. 濱口恵子
がん医療に携わる看護師の倫理的感性を高め、話し合える現場を創る .
第 14 回群馬がん看護フォーラム： 前橋市 , 2018

15. 白川そよか , 粕谷美絵 , 柴山理恵 , 大野瑞季 , 望月俊明 , 横田美幸
二次救急指定病院であるがん専門病院の救急外来受診者から見える課題 .
第 21 回日本臨床救急医学会総会・学術集会：名古屋市 , 2018

16. 大澤めぐみ , 相澤信也
外来効率化を目指したかかりつけ患者からの電話システム改善への取り組み .
第 20 回日本医療マネジメント学会学術総会：札幌市 , 2018

17. 濱口恵子 , 水野俊美
苦痛スクリーニングをどのように実施し、患者ケアにつなげるか：がん専門病院の看護師の立場から .
第 23 回日本緩和医療学会学術大会： 神戸市 , 2018

18. 三澤貴代美 , 市村崇 , 森安真優 , 野邊愛美 , 中原美穂 , 山田欣子 , 宮城八重子 , 水野俊美 , 竹内抄與子 , 小笠原麻衣子 , 大島淑夫 , 星野奈月
GCLS（がん研・チャイルド・ライフ・サポート）研究会によるチーム医療の実践 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

19. 吉中愛実
AYA 世代のがん患者とどう関わるか：事例を通して考える：.
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

20. 濱口恵子
腫瘍学と緩和ケアの統合：看護師の立場から .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

21. 直井悠子 , 石井幸恵 , 野口美保 , 長崎礼子
オキサリプラチンの血管外漏出予防のための温罨法改善の取り組み .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

22. 長崎礼子
悪性リンパ腫の薬物療法マネジメント：看護師の立場から .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

23. 鈴木美穂
造血幹細胞移植を受ける患者の情報ニーズと症状、自己効力感、QOL との関係 .
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会：福岡市 , 2018

24. 花出正美 , 宮城八重子 , 大友陽子 , 上間美夕紀 , 水野俊美
がん相談支援センターにおける看護師・医療ソーシャルワーカーによる相談支援 .
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2018

25. 吉田真理子 , 秋元和子 , 羽田忍 , 中岩優美子 , 道本恵子
危険予知し患者の安全を考えるウォーキングカンファレンスの導入とその効果 .
第 13 回医療の質・安全学会学術集会： 名古屋市 , 2018

26. 江口奈緒子 , 木暮麻優 , 太田志保 , 茂木立香 , 田代美子 , 富塚健
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の発症状況と当科における口腔機能管理に関する調査 .
日本がん口腔支持療法学会第 4 回学術大会： 新潟市 , 2018

薬剤部

1. 根本真記
新規経口 PI ニンラーロ治療：Team ニンラーロについて .
20th Hematology A/E care Web Seminar: 東京 , 2018

2. 中野泰寛
下痢と口腔粘膜炎の評価とマネージメント（大腸がん症例を通じて）.
東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座：症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント：東京 , 2018

3. 川上和宜
手足症候群の評価とマネージメント（大腸がん症例を通じて）.
東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座：症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント：東京 , 2018

4. 濱敏弘
抗がん薬職業曝露に対する正しい理解と組織対応について .
山形県抗がん薬曝露対策セミナー： 山形市 , 2018

5. 濱敏弘
AMED 研究報告：抗がん薬の RMP の現状と課題 .
近畿薬剤師合同学術大会：京都市 , 2018

6. 根本真記
がん治療を支える薬剤師のチカラ .
長崎県病院薬剤師会癌薬物療法研修会： 長崎市 , 2018

7. 根本真記
薬剤師の立場から考える新規経口 PI ニンラーロ治療 .
TAKEDA Oncology Channeltu ニンラーロ全国 Web 講演会：東京 , 2018

8. 濱敏弘
肺癌におけるがん免疫療法の最新情報提供 .
がん薬物療法セミナー for Pharmacist: 東京 , 2018

9. 濱敏弘
薬剤師を対象にがん免疫療法に関する最新情報提供 .
がん薬物療法セミナー for Pharmacist: 東京 , 2018

10. 友松拓哉 , 小林一男 , 平出誠 , 中野泰寛 , 根本真記 , 鈴木賢一 , 濱敏弘
院外処方せん疑義照会ルールの見直しに関する評価 .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 横浜市 , 2018

11. 庄司大悟
抗がん剤リスク最小化のための医薬品情報ツールの活用 : がん専門病院における医薬品リスク管理の実際 .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 横浜市 , 2018

12. 鈴木賢一
レジメン作成・管理の際に注意すべきポイント .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 横浜市 , 2018

13. 鈴木賢一
免疫チェックポイント阻害薬の副作用に関する話題 .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 横浜市 , 2018

14. 鈴木賢一
最新のガイドラインから考える大腸がん治療 .
第 7 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 横浜市 , 2018

15. 濱敏弘
大腸癌化学療法における血管新生阻害薬の副作用マネジメント : 高血圧と蛋白尿を中心に .
第9回がん薬物療法マネジメント研究会 : 東京 , 2018

16. 根本真記
IRD 療法 : 経口抗がん薬治療を支える薬剤師サポートのコツ .
長野血液がんチーム医療セミナー : 長野市 , 2018

17. 中野泰寛
ラムシルマブ + パクリタキセル併用療法を使いこなす : 薬剤師の立場から .
チームサイラムザ Web 講演会 : 東京 , 2018

18. 濱敏弘
TSEP : Team Building Seminar for Esophageal Professionals.
第 2 回食道周術期管理セミナー : 東京 , 2018

19. 濱敏弘
抗がん剤治療におけるリハビリテーション管理栄養士・心理士の取り組み .
第 6 回がんサポーティブケア研究会 : 東京 , 2018

20. 川上和宜
あなたの患者の診方は大丈夫 ? その症状は副作用 ? ピットフォールに注意せよ ! 食事をすると 30 分後には嘔吐すると訴える胃癌術後補助療法治療中の 45 歳男性 .
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会 : 東京 , 2018

21. 村田佳那恵 , 鈴木賢一 , 田瀬徹 , 笹平直樹 , 濱敏弘
Gemcitabine+nab-Paclitaxel 併用療法における減量・中止理由の調査 .
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会 : 東京 , 2018

22. 樋口秀太郎 , 川上和宜 , 小林一男 , 鈴木亘 , 鈴木賢一 , 濱敏弘
血管造影室での抗がん薬曝露対策 .
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会 : 東京 , 2018

23. 橋本幸輝 , 小林一男 , 鈴木賢一 , 湯浅健 , 米瀬淳二 , 濱敏弘
尿路上皮癌におけるゲムシタビン + シスプラチン併用療 day 8,15 の中止率とその要因の調査 .

第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会：東京 , 2018

24. 濱敏弘
最新のがん薬物療法：大腸がん .
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会：東京 , 2018

25. 青山剛
肝機能検査値異常患者へのパクリタキセル投与（胃がん）.
第 10 回日本がん薬剤学会（JSOPP）学術大会：東京 , 2018

26. 根本真記
病棟薬剤師による服薬指導 .
第 22 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京 , 2018

27. 濱敏弘
最新のがん治療とがん治療に関わる薬剤師を取り巻く環境についての情報提供 .
CHUGAI Directors of Pharmacy Forum 2018：地域包括ケアシステム時代とがん医療を考える：東京 , 2018

28. 横川貴志
外来がん化学療法におけるプレアボイド報告：薬剤師だからこそできる、がん患者に対するトータルマネジメント実践例 .
島根県プレアボイド研修会：島根県 , 2018

29. 川上和宜
がん専門病院に勤務する医療安全管理部門の専従薬剤師に求められる医薬品情報 .
第 21 回日本医薬品情報学会総会・学術大会：鈴鹿市 , 2018

30. 鈴木賢一
MEC を中心とした制吐療法の話題 .
第 24 回オンコロジーセミナー：東京 , 2018

31. 鈴木賢一
免疫チェックポイント阻害薬とステロイド：治療再開を見据えた上手な副作用マネジメントのために .
Cancer Immuno Therapy Pharmacist Education Program: 東京 , 2018

32. 濱敏弘
安全な免疫療法の実施：irAE に対する薬剤師の関わり .
Cancer Immunotherapy Pharmacist Education Program: 東京 , 2018

33. 鈴木賢一
薬剤師のための癌化学療法制吐対策 Up to Date：ガイドラインの最新情報をふまえて .
TAIHO WEB Lecture for CINV: 名古屋市 , 2018

34. 濱敏弘
副作用マネジメントへの RMP 利活用と薬剤師教育 .
医薬品安全性セミナー：東京 , 2018

35. 鈴木賢一
itAE マネジメント：薬剤師が注意すべきポイント .
第 2 回　irAE Management Seminar: さいたま市 , 2018

36. 吾妻慧一
悪性リンパ腫の薬物療法マネジメント：薬剤師の立場から .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

37. 平出誠 , 蓑輪雄一 , 中野泰寛 , 鈴木賢一 , 志賀太郎 , 西尾誠人 , 高橋晴美 , 濱敏弘
チロシンキナーゼ阻害薬と抗凝固薬ワルファリンの相互作用に関する検討 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

38. 式部さあ里
AYA 世代のがん患者とどう関わるか：事例を通して考える：治療中・社会復帰時 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市 , 2018

39. 瀧口友美 , 北園聡 , 横川貴志 , 中本恵理 , 蓑輪雄一 , 中野泰寛 , 加藤寛基 , 平出誠人 , 加藤小巻 , 高橋優美子 , 野村美幸 , 鈴木賢一 , 濱敏弘 , 西尾誠人
多職種連携チームの導入が EGFR-TKI の治療経

過に与える影響 .
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会： 神戸市 , 2018

40. 濱敏弘
免疫チェックポイント阻害剤投与時に副作用マネジメントについて .
第一回がん免疫療法サポーティブケアカンファレンス：東京 , 2018

41. 吾妻慧一
チームガザイバの取り組み：薬剤師の立場から .
Lymphoma web seminar: 2018

42. 青山剛
消化器がんチーム医療における薬剤師の関わりについて .
広島県大腸がん化学療法セミナー： 広島市 , 2018

43. 中野泰寛
押さえておきたい SSOP 多施設臨床研究 .
第 12 回 SSOP ワークショップ：川越市 , 2018

44. 根本真記
薬剤師が支える低悪性度リンパ腫治療 .
がん薬物療法セミナー for Pharmacist: 東京 , 2018

45. 濱敏弘
がん薬物療法に関する情報提供 .
がん薬物療法セミナー for Pharmacist: 東京 , 2018

46. 鈴木賢一
臨床研究実践のコツ：病棟薬剤師の「気づき」から研究実現まで .
第 9 回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会：名古屋市 , 2018

47. 鈴木賢一
薬剤師の視点から考える免疫チェックポイント阻害薬の副作用マネジメント .
第 18 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議：富山市 , 2018

48. 川上和宜
乳がんの薬物療法について：薬剤師としてどのように関わるか .
第 19 回一般社団法人昭薬同窓会・平成塾スクーリング：東京 , 2018

49. 川上和宜
Opening Remarks.
2018 年度　慶応義塾大学公開講座　第 2 回慶應義塾大学がんプロフェッショナル研修会：胃がん化学療法患者に対するファーマシューティカルケア：東京 , 2018

50. 川上和宜
薬剤師外来の過去、現在、そして未来 .
がん薬物療法 Expert Meeting 第 2 回：支持療法について考える：横浜市 , 2018

51. 濱敏弘
がん薬物療法の進化に対応する薬剤師の真価 .
江東ブロック病勤薬剤師会月例会： 東京 , 2018

52. 濱敏弘
局所注入によるがん治療と抗がん薬曝露対策 .
第 56 回日本癌治療学会学術集会： 横浜市 , 2018

53. 鈴木賢一
がん薬物治療の支持療法における最近の話題 .
がん治療に関わる薬剤師セミナー： 静岡市 , 2018

54. 根本真記
Team で支える多発性骨髄腫治療 .
岩手県多発性骨髄腫セミナー：盛岡市 , 2018

55. 濱敏弘
がん薬物療法に対する薬剤師の関わり方 .
平成 30 年度薬剤師のためのがん化学療法講座・平成 30 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナー：山形市 , 2018

56. 濱敏弘
がん化学療法におけるチーム医療について：がん専門病院薬剤師の立場から .
東京共済病院院内講演会：東京 , 2018

57. 鈴木賢一
がん免疫療法におけるステロイドの影響 .
東北ブロック Oncology Pharmacist Community Forum 201: 仙台市 , 2018

58. 濱敏弘
抗がん剤暴露対策に関する最近の話題 .
福井ケモセラピーセミナー：福井市 , 2018

59. 平出誠
チロシンキナーゼ阻害薬治療肺がん患者に対するワルファリンのコントロールに関する検討 .
第 1 回日本腫瘍循環器学会学術集会： 東京 , 2018

60. 前勇太郎 , 竹野伸洋 , 三木真梨杏 , 長谷川聡子 , 鈴木亘 , 根本真記 , 渡邉大至 , 鈴木賢一 , 利安隆史 , 高橋俊二 , 濱敏弘
頭頸部がん RT-CDDP 療法後のオピオイド鎮痛薬漸減状況調査 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

61. 友松拓哉 , 平出誠 , 青山剛 , 鈴木賢一 , 伊藤良則 , 濱敏弘
乳がん周術期化学療法で制吐目的に使用する Olanzapine の血糖値に与える影響 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

62. 小林一男 , 平出誠 , 柴田直樹 , 吾妻慧一 , 山端悠介 , 伴修平 , 濱敏弘
スピルキット使用状況報告書を用いた使用実態調査 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

63. 岩﨑愛里 , 竹野伸洋 , 古谷良太 , 中山博文 , 鈴木賢一 , 敏弘 , 濱 .
オキシコドン 1 日量に対しレスキューが高用量となる患者の実態調査 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

64. 川上和宜
がん薬物療法における薬剤師の「新化」するスキルと技能：有害事象を評価しマネジメントする次時代へのパラダイムシフト .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

65. 川上和宜 , 松尾宏一
がん薬物療法における薬剤師の「新化」するスキルと技能：有害事象を評価　マネジメントする次時代へのパラダイムシフト .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

66. 川村舞雪 , 山田玲子 , 庄司大悟 , 鈴木強志 , 濱敏弘
がん研有明病院薬剤部業務における手指衛生の手技についての実態調査 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

67. 柴田直樹 , 川上和宜 , 中村匡志 , 平出誠 , 竹野伸洋 , 吉岡秀哲 , 鈴木賢一 , 温泉川真由 , 竹島信宏 , 濱敏弘
カルボプラチン脱感作療法の使用実態調査 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

68. 濱敏弘
がん薬物療法 1. [座長]
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

69. 濱敏弘
がん薬物療法における、症例サマリから見える薬学的介入と処方提案のポイント：平成 29 年度がん専門薬剤師等の認定審査結果と動向 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

70. 萩野茜 , 青山剛 , 横川貴志 , 中野泰寛 , 樋口秀太郎 , 柴田直樹 , 鈴木賢一 , 若槻尊 , 山口研成 , 濱敏弘
胃がん術後 CapeOX 療法に対するパロノセトロン、アプレピタント、デキサメタゾンの 3 剤を用いた制吐療法の評価 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

71. 鈴木賢一 , 辻大樹 , 伊藤邦彦 , 山本信之 , 濱敏弘 , 加藤裕久
シスプラチンを含む高度催吐性化学療法における最適な制吐療法の開発 .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

72. 鈴木賢一
免疫チェックポイント阻害薬と抗悪性腫瘍薬の関係は相加的か？相乗的か？ .
第 28 回日本医療薬学会年会：神戸市 , 2018

73. 鈴木賢一
肺がんのチーム医療：有効でアクティブなチームを作るための秘訣 .
第 59 回日本肺癌学会学術集会：東京 , 2018

74. 川上和宜
薬剤師が行う経口抗がん薬のアドヒアランスマネージメント .
第 190 回東葛薬学研究会：松戸市 , 2018

75. 中野泰寛
胃癌化学療法のチーム医療について：薬剤師が貢献できること .
胃癌化学療法のチーム医療を考える会： 神戸市 , 2018

76. 中野泰寛
チロシンキナーゼ阻害薬による皮膚障害の評価とマネジメント（肺がん症例を通じて).
東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会公開講座：症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント：東京 , 2018

企画・品質管理部

1. Chin, K., Takashima, A., Minashi, K., Kadowaki, S., Nishina, T., Nakajima, T. E., Amagi, K., Machida, N., Gotoh, M., Taku, K., Ishizuka, N., Takahari, D.
A phase II study of trastuzumab with S-1 plus oxaliplatin for HER2-positive advanced gastric cancer (HIGHSOX).
43rd European Society for Medical Oncology (ESMO) Congress: Munich, Germany, 2018

2. 山原有子 , 池原由美 , 上野悟 , 小居秀紀 , 石塚直樹
実務に則したデータマネジメント計画書 (DMP) 整備の提案 .
日本臨床試験学会第９回学術集会総会：仙台市 , 2018

3. 山原有子 , 田村祐子 , 田原成彦 , 小居秀紀
臨床研究における職種間連携に関するアンケート調査結果 .
第 18 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議：富山市 , 2018

健診センター

1. 土田知宏
十二指腸：表在型非乳頭部上皮性腫瘍１ .
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会： 東京 , 2018

2. 内田靖子 , 上野貴之 , 土田知宏
がん研式総合判定における検診成績の検証 .
第 28 回日本乳癌検診学会学術総会： 大阪市 , 2018

10. 雑誌・単行本発表業績

【2017 年度】

呼吸器内科

1. Aoyama, T., Suzuki, K., Tsunoda, T., Kawakami, K., Takiguchi, T., Watanabe, H., Suzuki, W., Sugita, K., Sato, H., Sugiyama, E., Hama, T., Nishio, M.
Antiemetic effects of granisetron or metoclopramide administered prior to amrubicin monotherapy.
Oncomedicine, 2017. 2: 24-27

2. Ariyasu, R., Horiike, A., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Nishio, M.
Adrenal insufficiency related to anti-programmed death-1 therapy.
Anticancer Res., 2017. 37(8): 4229-4232

3. Ariyasu, R., Horiike, A., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Kawashima, Y., Takano, N., Oguri, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishio, M.
Efficacy of bevacizumab and erlotinib combination for leptomeningeal carcinomatosis after failure of erlotinib.
Anticancer Drugs, 2017. 28(5): 565-567

4. Goto, Y., Tanai, C., Yoh, K., Hosomi, Y., Sakai, H., Kato, T., Kaburagi, T., Nishio, M., Kim, Y. H., Inoue, A., Hasegawa, Y., Isobe, H., Tomizawa, Y., Mori, Y., Minato, K., Yamada, K., Ohashi, Y., Kunitoh, H.
Continuing EGFR-TKI beyond radiological progression in patients with advanced or recurrent, EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer: an observational study.
ESMO Open, 2017. 2(4): e000214

5. Hida, T., Nokihara, H., Kondo, M., Kim, Y. H., Azuma, K., Seto, T., Takiguchi, Y., Nishio, M., Yoshioka, H., Imamura, F., Hotta, K., Watanabe, S., Goto, K., Satouchi, M., Kozuki, T., Shukuya, T., Nakagawa, K., Mitsudomi, T., Yamamoto, N., Asakawa, T., Asabe, R., Tanaka, T., Tamura, T.
Alectinib versus crizotinib in patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer (J-ALEX): an open-label, randomised phase 3 trial.
Lancet, 2017. 390(10089): 29-39

6. Hida, T., Satouchi, M., Nakagawa, K., Seto, T., Matsumoto, S., Kiura, K., Nokihara, H., Murakami, H., Tokushige, K., Hatano, B., Nishio, M.
Ceritinib in patients with advanced, crizotinib-treated, anaplastic lymphoma kinase-rearranged NSCLC: Japanese subset.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(7): 618-624

7. Hida, T., Nishio, M., Nogami, N., Ohe, Y., Nokihara, H., Sakai, H., Satouchi, M., Nakagawa, K., Takenoyama, M., Isobe, H., Fujita, S., Tanaka, H., Minato, K., Takahashi, T., Maemondo, M., Takeda, K., Saka, H., Goto, K., Atagi, S., Hirashima, T., Sumiyoshi, N., Tamura, T.
Efficacy and safety of nivolumab in Japanese patients with advanced or recurrent squamous non-small cell lung cancer.
Cancer Sci., 2017. 108(5): 1000-1008

8. Inamura, K., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Nishio, M., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Relationship of tumor PD-L1 (CD274) expression with lower mortality in lung high-grade neuroendocrine tumor.
Cancer Med., 2017. 6(10): 2347-2356

9. Iwama, E., Sakai, K., Azuma, K., Harada, T., Harada, D., Nosaki, K., Hotta, K., Ohyanagi, F., Kurata, T., Fukuhara, T., Akamatsu, H., Goto, K., Shimose, T., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Nishio, K., Okamoto, I.
Monitoring of somatic mutations in circulating cell-free DNA by digital PCR and

next-generation sequencing during afatinib treatment in patients with lung adenocarcinoma positive for EGFR activating mutations.
Ann. Oncol., 2017. 28(1): 136-141

10. Katakami, N., Hida, T., Nokihara, H., Imamura, F., Sakai, H., Atagi, S., Nishio, M., Kashii, T., Satouchi, M., Helwig, C., Watanabe, M., Tamura, T.
Phase I/II study of tecemotide as immunotherapy in Japanese patients with unresectable stage III non-small cell lung cancer.
Lung Cancer, 2017. 105: 23-30

11. Miyata, K., Takemoto, A., Okumura, S., Nishio, M., Fujita, N.
Podoplanin enhances lung cancer cell growth in vivo by inducing platelet aggregation.
Sci. Rep., 2017. 7(1): 4059

12. Mori, S., Motoi, N., Ninomiya, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Nishio, M., Morikawa, T., Ishikawa, Y.
High expression of programmed cell death 1 ligand 1 in lung adenocarcinoma is a poor prognostic factor particularly in smokers and wild-type epidermal growth-factor receptor cases.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 37-44

13. Nakao, M., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Development of indication criteria for preoperative examination in lung cancer.
Asian Cardiovasc. Thorac. Ann., 2017. 25(4): 281-286

14. Nokihara, H., Lu, S., Mok, T. S. K., Nakagawa, K., Yamamoto, N., Shi, Y. K., Zhang, L., Soo, R. A., Yang, J. C., Sugawara, S., Nishio, M., Takahashi, T., Goto, K., Chang, J., Maemondo, M., Ichinose, Y., Cheng, Y., Lim, W. T., Morita, S., Tamura, T.
Randomized controlled trial of S-1 versus docetaxel in patients with non-small-cell lung cancer previously treated with platinum-based chemotherapy (East Asia S-1 Trial in Lung Cancer).
Ann. Oncol., 2017. 28(11): 2698-2706

15. Saiki, M., Ohyanagi, F., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Dramatic response to alectinib in inflammatory myofibroblastic tumor with anaplastic lymphoma kinase fusion gene.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(12): 1189-1192

16. Sakakibara, R., Inamura, K., Tambo, Y., Ninomiya, H., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Inase, N., Nishio, M., Motoi, N., Ishikawa, Y.
EBUS-TBNA as a promising method for the evaluation of tumor PD-L1 expression in lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2017. 18(5): 527-534

17. Shaw, A. T., Kim, T. M., Crino, L., Gridelli, C., Kiura, K., Liu, G., Novello, S., Bearz, A., Gautschi, O., Mok, T., Nishio, M., Scagliotti, G., Spigel, D. R., Deudon, S., Zheng, C., Pantano, S., Urban, P., Massacesi, C., Viraswami-Appanna, K., Felip, E.
Ceritinib versus chemotherapy in patients with ALK-rearranged non-small-cell lung cancer previously given chemotherapy and crizotinib (ASCEND-5): a randomised, controlled, open-label, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2017. 18(7): 874-886

18. Takahashi, T., Yamanaka, T., Seto, T., Harada, H., Nokihara, H., Saka, H., Nishio, M., Kaneda, H., Takayama, K., Ishimoto, O., Takeda, K., Yoshioka, H., Tachihara, M., Sakai, H., Goto, K., Yamamoto, N.
Prophylactic cranial irradiation versus observation in patients with extensive-disease small-cell lung cancer: a multicentre, ran-

domised, open-label, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2017. 18(5): 663-671

19. Takemoto, A., Okitaka, M., Takagi, S., Takami, M., Sato, S., Nishio, M., Okumura, S., Fujita, N.
A critical role of platelet TGF- β release in podoplanin-mediated tumour invasion and metastasis.
Sci. Rep., 2017. 7: 42186

20. Tambo, Y., Hosomi, Y., Sakai, H., Nogami, N., Atagi, S., Sasaki, Y., Kato, T., Takahashi, T., Seto, T., Maemondo, M., Nokihara, H., Koyama, R., Nakagawa, K., Kawaguchi, T., Okamura, Y., Nakamura, O., Nishio, M., Tamura, T.
Phase I/II study of docetaxel combined with resminostat, an oral hydroxamic acid HDAC inhibitor, for advanced non-small cell lung cancer in patients previously treated with platinum-based chemotherapy.
Invest. New Drugs., 2017. 35(2): 217-226

21. Tamura, T., Kiura, K., Seto, T., Nakagawa, K., Maemondo, M., Inoue, A., Hida, T., Yoshioka, H., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Murakami, H., Kuriki, H., Shimada, T., Tanaka, T., Takeuchi, K., Nishio, M.
Three-year follow-up of an alectinib phase I/II study in ALK-positive non-small-cell lung cancer: AF-001JP.
J. Clin. Oncol., 2017. 35(14): 1515-1521

22. Yamamoto, N., Goto, K., Nishio, M., Chikamori, K., Hida, T., Maemondo, M., Katakami, N., Kozuki, T., Yoshioka, H., Seto, T., Tajima, K., Tamura, T.
Final overall survival in JO22903, a phase II, open-label study of first-line erlotinib for Japanese patients with EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(1): 70-78

23. Yamamoto, N., Fujiwara, Y., Tamura, K., Kondo, S., Iwasa, S., Tanabe, Y., Horiike, A., Yanagitani, N., Kitazono, S., Inatani, M., Tanaka, J., Nishio, M.
Phase Ia/Ib study of the pan-class I PI3K inhibitor pictilisib (GDC-0941) administered as a single agent in Japanese patients with solid tumors and in combination in Japanese patients with non-squamous non-small cell lung cancer.
Invest. New Drugs., 2017. 35(1): 37-46

24. Yoh, K., Goto, Y., Naito, Y., Kishi, K., Mori, K., Hotta, K., Hosomi, Y., Yamada, K., Tanai, C., Tomizawa, Y., Inoue, A., Hasegawa, Y., Nishio, M., Ohashi, Y., Kunitoh, H.
Impact of maintenance therapy for patients with non-small cell lung cancer in a real-world setting.
Anticancer Res., 2017. 37(3): 1507-1513

25. Yoh, K., Seto, T., Satouchi, M., Nishio, M., Yamamoto, N., Murakami, H., Nogami, N., Matsumoto, S., Kohno, T., Tsuta, K., Tsuchihara, K., Ishii, G., Nomura, S., Sato, A., Ohtsu, A., Ohe, Y., Goto, K.
Vandetanib in patients with previously treated RET-rearranged advanced non-small-cell lung cancer (LURET): an open-label, multicentre phase 2 trial.
Lancet Respir. Med., 2017. 5(1): 42-50

26. Yokoi, K., Kondo, K., Fujimoto, K., Hara, M., Kadota, Y., Kawaguchi, K., Kunitoh, H., Matsuno, Y., Nakajima, J., Nishio, M., Ogawa, K., Omasa, M.
JLCS medical practice guidelines for thymic tumors: summary of recommendations.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(12): 1119-1122

27. 園田智明 , 柳谷典子 , 西尾誠人
がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A:　有害事象　間質性肺炎　外来で処方される分子標的薬の中には、間質性肺炎への注意喚起があるものがあります。看護師は、何に気をつければよいのでしょうか？
ナーシング , 2017. 37(2): 38-39

28. 園田智明 , 柳谷典子 , 西尾誠人
がん化学療法　薬の知識アップデート：ここ 5 年で変わってきていること　肺がん　ゲフィチニブ (イレッサ) を内服している肺がん患者の病状が進行し、再生検したところ、オシメルチニブ (タグリッソ) に変更になりました。どのような薬なのですか？再生検が必要なのですか？
ナーシング , 2017. 37(2): 22-23

29. 園田智明 , 北園聡 , 西尾誠人
肺がんアップデート：基礎から最新トピックスまで：最新トピックス　免疫チェックポイント阻害薬 .
診断と治療 , 2017. 105(11): 1445-1450

30. 堀池篤 , 西尾誠人
肺癌治療の最前線：進行・再発肺癌の最新治療 ALK 阻害薬の使い分け .
日本内科学会雑誌 , 2017. 106(6): 1101-1107

31. 川嶋庸介 , 西川晋吾 , 西尾誠人
悪性腫瘍と免疫療法 - 呼吸器悪性腫瘍を中心に -: チェックポイント阻害剤　抗 PD-L1 抗体 .
呼吸器内科 , 2017. 31(4): 312-316

32. 有安亮 , 堀池篤 , 西尾誠人
Immune-checkpoint 阻害薬：肺がんに対する免疫治療：positive data と negative data.
腫瘍内科 , 2017. 19(1): 53-57

33. 有安亮 , 堀池篤 , 西尾誠人
肺がん、頭頸部がん：小細胞肺がんに対する免疫治療の可能性 .
腫瘍内科 , 2017. 19(5): 549-553

34. 神山潤二 , 堀池篤 , 西尾誠人
肺癌：最新の治療戦略と失敗しないための秘訣：進行・再発肺癌の最新治療 ALK 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌の 1 次治療 .
呼吸器ジャーナル , 2017. 65(4): 608-614

35. 神山潤二 , 北園聡 , 西尾誠人
診断と治療の ABC[123] 呼吸器腫：(第 4 章) 治療　進行期非小細胞肺がんの薬物療法　免疫チェックポイント阻害薬 .
最新医学 , 2017. 別冊 (呼吸器腫瘍): 179-187

36. 西川晋吾 , 西尾誠人
今後、免疫を修飾する治療について展望を教えてもらえますか .
肺癌診療 Q&A 改訂第 3 版 (弦間昭彦編著), 東京 , 中外医学社 : pp.391-394, 2017

37. 西川晋吾 , 西尾誠人
免疫療法 (PD-1、PD-L1 抗体) の現状に関して .
肺癌 , 2017. 57(2): 75-80

38. 齊木雅史 , 大柳文義 , 西尾誠人
肺癌治療の進歩 - 最新の基礎と臨床研究状況：最新の臨床研究　肺癌の治療　EGFR-TKI による治療 .
日本臨床 , 2017. 75(7): 1073-1078

呼吸器外科

1. Ibuki, Y., Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Preoperative predictors of distant recurrence in patients with clinical stage IA lung adenocarcinoma undergoing complete resection.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(2): 157-163

2. Inamura, K., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Subat, S., Nagano, H., Nomura, K., Okumura, S., Sibutani, T., Ishikawa, Y.
Association of tumor TROP2 expression with prognosis varies among lung cancer subtypes.
Oncotarget, 2017. 8(17): 28725-28735

3. Inamura, K., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Nishio, M., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Relationship of tumor PD-L1 (CD274) expression with lower mortality in lung high-grade neuroendocrine tumor.
Cancer Med., 2017. 6(10): 2347-2356

4. Inamura, K., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Sakakibara, R., Ninomiya, H., Subat, S., Nagano, H., Nomura, K., Okumura, S., Shibutani, T., Ishikawa, Y.
Tumor B7-H3 (CD276) expression and smoking history in relation to lung adenocarcinoma prognosis.
Lung Cancer, 2017. 103: 44-51

5. Kawaguchi, K., Yokoi, K., Niwa, H., Ohde, Y., Mori, S., Okumura, S., Shiono, S., Ito, H., Yano, M., Shigemitsu, K., Hiramatsu, Y., Okami, J., Saka, H.
A prospective, multi-institutional phase II study of induction chemoradiotherapy followed by surgery in patients with non-small cell lung cancer involving the chest wall (CJLSG0801).
Lung Cancer, 2017. 104: 79-84

6. Li, J., Motoi, N., Kanda, H., Sugiura, Y., Nagano, H., Yonese, J., Okumura, S., Matsumoto, S., Machinami, R., Ishikawa, Y.
A newly emerged osteosarcomatous dedifferentiation of liposarcoma in lung metastasis - a potential diagnostic pitfall.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 50-52

7. Matsutani, N., Okumura, S., Yoshino, I., Ikeda, N., Ozeki, Y., Kawamura, M., Metastatic Lung Tumor Study Group of, J.
Pneumonectomy in pulmonary metastasis.
J. Thorac. Dis., 2017. 9(11): 4523-4530

8. Miyata, K., Takemoto, A., Okumura, S., Nishio, M., Fujita, N.
Podoplanin enhances lung cancer cell growth in vivo by inducing platelet aggregation.
Sci. Rep., 2017. 7(1): 4059

9. Mori, S., Motoi, N., Ninomiya, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Nishio, M., Morikawa, T., Ishikawa, Y.
High expression of programmed cell death 1 ligand 1 in lung adenocarcinoma is a poor prognostic factor particularly in smokers and wild-type epidermal growth-factor receptor cases.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 37-44

10. Mori, S., Uehara, H., Motoi, N., Okumura, S.
Pulmonary artery sarcoma presenting as an isolated lung mass.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2017. 65(3): 171-4

11. Mun, M., Okumura, S., Nakao, M., Matsuura, Y., Nakagawa, K.
Indocyanine green fluorescence-navigated thoracoscopic anatomical segmentectomy.
J. Vis. Surg., 2017. 3: 80

12. Mun, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S.
Video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy via confronting upside-down monitor setting.
J. Vis. Surg., 2017. 3: 129

13. Murakawa, T., Sato, H., Okumura, S., Nakajima, J., Horio, H., Ozeki, Y., Asamura, H., Ikeda, N., Otsuka, H., Matsuguma, H., Yoshino, I., Chida, M., Nakayama, M., Iizasa, T., Okumura, M., Shiono, S., Kato, R., Iida, T., Matsutani, N., Kawamura, M., Sakao, Y., Funai, K., Furuyashiki, G., Akiyama, H., Sugiyama, S., Kanauchi, N., Shiraishi, Y.
Thoracoscopic surgery versus open surgery for lung metastases of colorectal cancer: a multi-institutional retrospective analysis using propensity score adjustmentdagger.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2017. 51(6): 1157-1163

14. Nakajima, J., Iida, T., Okumura, S., Horio, H., Asamura, H., Ozeki, Y., Ikeda, N., Matsuguma, H., Chida, M., Otsuka, H., Kawamura, M.
Recent improvement of survival prognosis after pulmonary metastasectomy and ad-

vanced chemotherapy for patients with colorectal cancer.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2017. 51(5): 869-873

15. Nakao, M., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Development of indication criteria for preoperative examination in lung cancer.
Asian Cardiovasc. Thorac. Ann., 2017. 25(4): 281-286

16. Ohtaki, Y., Shimizu, K., Aokage, K., Nakao, M., Yoshida, J., Kamiyoshihara, M., Sugano, M., Takahashi, Y., Nakazawa, S., Nagashima, T., Obayashi, K., Hishida, T., Tsuboi, M., Mori, S., Mun, M., Okumura, S., Igai, H., Matsutani, N., Mogi, A., Kuwano, H.
Histology is a prognostic indicator after pulmonary metastasectomy from renal cell carcinoma.
World J. Surg., 2017. 41(3): 771-779

17. Sakakibara, R., Inamura, K., Tambo, Y., Ninomiya, H., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Inase, N., Nishio, M., Motoi, N., Ishikawa, Y.
EBUS-TBNA as a promising method for the evaluation of tumor PD-L1 expression in lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2017. 18(5): 527-534

18. Takemoto, A., Okitaka, M., Takagi, S., Takami, M., Sato, S., Nishio, M., Okumura, S., Fujita, N.
A critical role of platelet TGF- β release in podoplanin-mediated tumour invasion and metastasis.
Sci. Rep., 2017. 7: 42186

消化器化学療法科

1. Bang, Y. J., Xu, R. H., Chin, K., Lee, K. W., Park, S. H., Rha, S. Y., Shen, L., Qin, S., Xu, N., Im, S. A., Locker, G., Rowe, P., Shi, X., Hodgson, D., Liu, Y. Z., Boku, N.
Olaparib in combination with paclitaxel in patients with advanced gastric cancer who have progressed following first-line therapy (GOLD): a double-blind, randomised, placebo-controlled, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2017. 18(12): 1637-1651

2. Doi, T., Yamaguchi, K., Komatsu, Y., Muro, K., Nishina, T., Nakajima, T. E., Tang, R., Yang, H., Zhang, Y., Jung, A. S., Ang, A., Yasui, H.
A Phase 1/1b tolerability study of rilotumumab alone or in combination with cisplatin and capecitabine in Japanese patients with gastric cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(11): 1002-1009

3. Fujiyoshi, K., Yamamoto, G., Takahashi, A., Arai, Y., Yamada, M., Kakuta, M., Yamaguchi, K., Akagi, Y., Nishimura, Y., Sakamoto, H., Akagi, K.
High concordance rate of KRAS/BRAF mutations and MSI-H between primary colorectal cancer and corresponding metastases.
Oncol. Rep., 2017. 37(2): 785-792

4. Fujiyoshi, K., Yamamoto, G., Takenoya, T., Takahashi, A., Arai, Y., Yamada, M., Kakuta, M., Yamaguchi, K., Akagi, Y., Nishimura, Y., Sakamoto, H., Akagi, K.
Metastatic pattern of stage IV colorectal cancer with high-frequency microsatellite instability as a prognostic factor.
Anticancer Res., 2017. 37(1): 239-247

5. Hosoya, K., Matsusaka, S., Kashiwada, T., Suzuki, K., Ureshino, N., Sato, A., Miki, Y., Kitera, K., Hirai, M., Hatake, K., Kimura, S., Sueoka-Aragane, N.
Detection of KRAS mutations in plasma DNA using a fully automated Rrpid detection system in colorectal cancer patients.
Pathol. Oncol. Res., 2017. 23(4): 737-744

6. Iizumi, S., Takashima, A., Narita, Y., Tajika, M., Muro, K., Kawai, S., Yasui, H., Matsushima, T., Takahari, D., Nagashima, K., Boku, N.
Efficacy and safety of taxane monotherapy in advanced gastric cancer refractory to triplet chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1: a multicenter retrospective study.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 80(3): 575-582

7. Ito, S., Sano, T., Mizusawa, J., Takahari, D., Katayama, H., Katai, H., Kawashima, Y., Kinoshita, T., Terashima, M., Nashimoto, A., Nakamori, M., Onaya, H., Sasako, M.
A phase II study of preoperative chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 followed by gastrectomy with D2 plus para-aortic lymph node dissection for gastric cancer with extensive lymph node metastasis: JCOG1002.
Gastric Cancer, 2017. 20(2): 322-331

8. Kang, Y. K., Boku, N., Satoh, T., Ryu, M. H., Chao, Y., Kato, K., Chung, H. C., Chen, J. S., Muro, K., Kang, W. K., Yeh, K. H., Yoshikawa, T., Oh, S. C., Bai, L. Y., Tamura, T., Lee, K. W., Hamamoto, Y., Kim, J. G., Chin, K., Oh, D. Y., Minashi, K., Cho, J. Y., Tsuda, M., Chen, L. T.
Nivolumab in patients with advanced gastric or gastro-oesophageal junction cancer refractory to, or intolerant of, at least two previous chemotherapy regimens (ONO-4538-12, ATTRACTION-2): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial.
Lancet, 2017. 390(10111): 2461-2471

9. Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugita, K., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment as adjuvant therapy for colorectal cancer.
Oncol. Res., 2017. 25(9): 1625-1631

10. Kuboki, Y., Nishina, T., Shinozaki, E., Yamazaki, K., Shitara, K., Okamoto, W., Kajiwara, T., Matsumoto, T., Tsushima, T., Mochizuki, N., Nomura, S., Doi, T., Sato, A., Ohtsu, A., Yoshino, T.
TAS-102 plus bevacizumab for patients with metastatic colorectal cancer refractory to standard therapies (C-TASK FORCE): an investigator-initiated, open-label, single-arm, multicentre, phase 1/2 study.
Lancet Oncol., 2017. 18(9): 1172-1181

11. Kudo, T., Hamamoto, Y., Kato, K., Ura, T., Kojima, T., Tsushima, T., Hironaka, S., Hara, H., Satoh, T., Iwasa, S., Muro, K., Yasui, H., Minashi, K., Yamaguchi, K., Ohtsu, A., Doki, Y., Kitagawa, Y.
Nivolumab treatment for oesophageal squamous-cell carcinoma: an open-label, multicentre, phase 2 trial.
Lancet Oncol., 2017. 18(5): 631-639

12. Mishima, Y., Matsusaka, S., Chin, K., Mikuniya, M., Minowa, S., Takayama, T., Shibata, H., Kuniyoshi, R., Ogura, M., Terui, Y., Mizunuma, N., Hatake, K.
Detection of HER2 amplification in circulating tumor cells of HER2-negative gastric cancer patients.
Target. Oncol., 2017. 12(3): 341-351

13. Nakayama, N., Ishido, K., Chin, K., Nishimura, K., Azuma, M., Matsusaka, S., Inokuchi, Y., Tanabe, S., Kumekawa, Y., Koizumi, W.
A phase I study of S-1 in combination with nab-paclitaxel in patients with unresectable or recurrent gastric cancer.
Gastric Cancer, 2017. 20(2): 350-357

14. Nakayama, I., Chin, K., Matsushima, T., Takahari, D., Ogura, M., Shinozaki, E., Suenaga, M., Ozaka, M., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Hiroki, O., Yamaguchi, K.
Retrospective comparison of S-1 plus cis-

platin versus S-1 monotherapy for the treatment of advanced gastric cancer patients with positive peritoneal cytology but without gross peritoneal metastasis.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(6): 1060-1068

15. Nakayama, I., Shinozaki, E., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Suenaga, M., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, K.
Retrospective study of RAS/PIK3CA/BRAF tumor mutations as predictors of response to first-line chemotherapy with bevacizumab in metastatic colorectal cancer patients.
BMC Cancer, 2017. 17: 38

16. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Matsushima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Nagasaki, T., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Change in clinical outcomes during the transition of adjuvant chemotherapy for stage III colorectal cancer.
PLoS One, 2017. 12(5): e0176745

17. Osumi, H., Fujisaki, J., Omae, M., Shimizu, T., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Kawachi, H., Yamamoto, N., Igarashi, M.
Clinicopathological features of Siewert type II adenocarcinoma: comparison of gastric cardia adenocarcinoma and Barrett' s esophageal adenocarcinoma following endoscopic submucosal dissection.
Gastric Cancer, 2017. 20(4): 663-670

18. Shinozaki, E., Yoshino, T., Yamazaki, K., Muro, K., Yamaguchi, K., Nishina, T., Yuki, S., Shitara, K., Bando, H., Mimaki, S., Nakai, C., Matsushima, K., Suzuki, Y., Akagi, K., Yamanaka, T., Nomura, S., Fujii, S., Esumi, H., Sugiyama, M., Nishida, N., Mizokami, M., Koh, Y., Abe, Y., Ohtsu, A., Tsuchihara, K.
Clinical significance of BRAF non-V600E mutations on the therapeutic effects of anti-EGFR monoclonal antibody treatment in patients with pretreated metastatic colorectal cancer: the Biomarker Research for anti-EGFR monoclonal Antibodies by Comprehensive Cancer genomics (BREAC) study.
Br. J. Cancer., 2017. 117(10): 1450-1458

19. Shitara, K., Chin, K., Yoshikawa, T., Katai, H., Terashima, M., Ito, S., Hirao, M., Yoshida, K., Oki, E., Sasako, M., Emi, Y., Tsujinaka, T.
Phase II study of adjuvant chemotherapy of S-1 plus oxaliplatin for patients with stage III gastric cancer after D2 gastrectomy.
Gastric Cancer, 2017. 20(1): 175-181

20. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Murgioni, S., Rossini, D., Marmorino, F., Mennitto, A., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Yamaguch, T., Loupakis, F., Lenz, H. J.
Genetic variants of DNA repair-related genes predict efficacy of TAS-102 in patients with refractory metastatic colorectal cancer.
Ann. Oncol., 2017. 28(5): 1015-1022

21. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Dadduzio, V., Salvatore, L., Borelli, B., Pietrantonio, F., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Jr., Barzi, A., Yamaguchi, T., Loupakis, F., Lenz, H. J.
Potential role of polymorphisms in the transporter genes ENT1 and MATE1/OCT2 in predicting TAS-102 efficacy and toxicity in patients with refractory metastatic colorectal cancer.
Eur. J. Cancer, 2017. 86: 197-206

22. Takahari, D.
Second-line chemotherapy for patients with advanced gastric cancer.
Gastric Cancer, 2017. 20(3): 395-406

23. Takahari, D., Mizusawa, J., Koizumi, W., Hyodo, I., Boku, N.
Validation of the JCOG prognostic index in advanced gastric cancer using individual patient data from the SPIRITS and G-SOX trials.
Gastric Cancer, 2017. 20(5): 757-763

24. Yamaguchi, K., Ando, M., Ooki, A., Beier, F., Guenther, S., von Hohnhorst, P., Van Cutsem, E.
Quality of life analysis in patients with RAS wild-Type metastatic colorectal cancer treated with first-line cetuximab plus chemotherapy.
Clin. Colorectal Cancer, 2017. 16(2): 229-337

25. 大隅寛木 , 山口研成 , 高張大亮 , 陳勁松
III 胃癌特有の病態に応じた治療の選択 1. 高度腹膜播種 .
(島田安博 , 室圭 , 朴成和編集) , 東京 , 文光堂 : pp.48-53, 2017

26. 大隅寛木 , 高張大亮 , 篠崎英司 , 山口研成
大腸癌化学療法の最新知見 : 切除不能進行再発大腸癌に対する全身化学療法　一次治療の選択どの患者にどの治療を適応するか .
消化器の臨床 , 2017. 20(2): 110-117

27. 山口研成 , 高張大亮 , 陳勁松
難治がん克服への内科学の挑戦 胃癌化学療法の up to date.
日本内科学会雑誌 , 2017. 106(9): 1901-1909

28. 松阪諭
臨床検査の最前線 - 将来の検査を展望する : 総論　臨床検査の将来　リキッドバイオプシーがんにおける臨床応用と将来展望 .
医学のあゆみ , 2017. 263(13): 999-1003

29. 篠崎英司 , 村中徹人
研修医からの質問　Q&A BRAF V600E mutation を伴う切除不能進行・再発大腸がんに対しては、抗 EGFR 抗体薬を使用すべきでしょうか？それとも抗 EGFR 抗体薬を使わず、先にレゴラフェニブ（REG）を投与すべきでしょうか？
臨床腫瘍プラクティス , 2017. 13(3): 251

30. 若槻尊 , 山本智理子 , 馬島哲夫
胃癌における腫瘍内分子生物学的 heterogeneity と治療抵抗性機序の解明および新たな治療戦略の開発 .
大和証券ヘルス財団研究業績集 , 2017(40): 59-63

肝胆膵内科

1. Hamada, T., Hakuta, R., Takahara, N., Sasaki, T., Nakai, Y., Isayama, H., Koike, K.
Covered vs. uncovered metal stents for malignant gastric outlet obstruction: a systematic review and meta-analysis.
Dig. Endosc., 2017. 29(3): 259-271

2. Hijioka, S., Hosoda, W., Matsuo, K., Ueno, M., Furukawa, M., Yoshitomi, H., Kobayashi, N., Ikeda, M., Ito, T., Nakamori, S., Ishii, H., Kodama, Y., Morizane, C., Okusaka, T., Yanagimoto, H., Notohara, K., Taguchi, H., Kitano, M., Yane, K., Maguchi, H., Tsuchiya, Y., Komoto, I., Tanaka, H., Tsuji, A., Hashigo, S., Kawaguchi, Y., Mine, T., Kanno, A., Murohisa, G., Miyabe, K., Takagi, T., Matayoshi, N., Yoshida, T., Hara, K., Imamura, M., Furuse, J., Yatabe, Y., Mizuno, N.
Rb loss and KRAS mutation are predictors of the response to platinum-based chemotherapy in pancreatic neuroendocrine neoplasm with grade 3: A Japanese multicenter pancreatic NEN-G3 study.
Clin. Cancer Res., 2017. 23(16): 4625-4632

3. Kudo, M., Hatano, E., Ohkawa, S., Fujii, H., Masumoto, A., Furuse, J., Wada, Y., Ishii, H., Obi, S., Kaneko, S., Kawazoe, S., Yokosuka, O., Ikeda, M., Ukai, K., Morita, S., Tsuji, A.,

Kudo, T., Shimada, M., Osaki, Y., Tateishi, R., Sugiyama, G., Abada, P. B., Yang, L., Okusaka, T., Zhu, A. X.
Ramucirumab as second-line treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma: Japanese subgroup analysis of the REACH trial.
J. Gastroenterol., 2017. 52(4): 494-503

4. Miyazawa, M., Katsuda, M., Maguchi, H., Katanuma, A., Ishii, H., Ozaka, M., Yamao, K., Imaoka, H., Kawai, M., Hirono, S., Okada, K. I., Yamaue, H.
Phase II clinical trial using novel peptide cocktail vaccine as a postoperative adjuvant treatment for surgically resected pancreatic cancer patients.
Int. J. Cancer, 2017. 140(4): 973-982

5. Nakai, Y., Isayama, H., Yamamoto, N., Matsubara, S., Ito, Y., Sasahira, N., Umefune, G., Takahara, N., Hamada, T., Mohri, D., Kogure, H., Tada, M., Koike, K.
Conversion to endoscopic ultrasound-guided biliary drainage by temporary nasobiliary drainage placement in patients with prior biliary stenting.
Endosc. Ultrasound, 2017. 6(5): 323-328

6. Takahara, N., Nakai, Y., Isayama, H., Sasaki, T., Saito, K., Noguchi, K., Suzuki, T., Nakamura, T., Sato, T., Ishigaki, K., Hakuta, R., Takeda, T., Uchino, R., Mizuno, S., Kogure, H., Tada, M., Koike, K.
CA19-9 kinetics during systemic chemotherapy in patients with advanced or recurrent biliary tract cancer.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 80(6): 1105-1112

7. Takahara, N., Isayama, H., Nakai, Y., Sasaki, T., Ishigaki, K., Saito, K., Akiyama, D., Uchino, R., Mizuno, S., Yagioka, H., Kogure, H., Togawa, O., Matsubara, S., Ito, Y., Toda, N., Tada, M., Koike, K.
Gemcitabine and S-1 versus gemcitabine and cisplatin treatment in patients with advanced biliary tract cancer: a multicenter retrospective study.
Invest. New Drugs., 2017. 35(3): 269-276

8. Ueno, M., Li, C. P., Ikeda, M., Ishii, H., Mizuno, N., Yamaguchi, T., Ioka, T., Oh, D. Y., Ichikawa, W., Okusaka, T., Matsuyama, Y., Arai, D., Chen, L. T., Park, Y. S., Furuse, J.
A randomized phase II study of gemcitabine plus Z-360, a CCK2 receptor-selective antagonist, in patients with metastatic pancreatic cancer as compared with gemcitabine plus placebo.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 80(2): 307-315

9. Yamaue, H., Shimizu, A., Hagiwara, Y., Sho, M., Yanagimoto, H., Nakamori, S., Ueno, H., Ishii, H., Kitano, M., Sugimori, K., Maguchi, H., Ohkawa, S., Imaoka, H., Hashimoto, D., Ueda, K., Nebiki, H., Nagakawa, T., Isayama, H., Yokota, I., Ohashi, Y., Shirasaka, T.
Multicenter, randomized, open-label Phase II study comparing S-1 alternate-day oral therapy with the standard daily regimen as a first-line treatment in patients with unresectable advanced pancreatic cancer.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 79(4): 813-823

10. 上田和彦 , 平塚真生子 , 松枝清 , 高澤豊 , 笹平直樹 , 齋浦明夫 , 田中榮司 , 宮川眞一
混合型肝癌をめぐる混乱の終焉を目指して：混合型肝癌 [ICD-0 code 8180/3（WHO2010）] の画像診断 .
肝・胆・膵 , 2017. 74(5): 761-767

11. 大川伸一 , 清水宏明 , 川嶋啓揮 , 笹平直樹 , 平岡伸介
胆道癌治療前の病理診断はどこまで必要か .
膵・胆道癌 Frontier, 2017. 6(2): 64-71

12. 尾阪将人
がん転移学（下）：がん転移のメカニズムと治療戦略：その基礎と臨床：原発臓器別の転移性

腫瘍（転移がん）の治療　膵癌 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 9 がん転移学（下））: 224-230

13. 尾阪将人
切除不能膵がんと FOLFIRINOX 療法　切除不能膵がんに対する化学療法を取り巻く状況　膵癌診療ガイドライン 2016 年版の改訂ポイントと FOLFIRINOX 療法の位置づけ .
臨床腫瘍プラクティス , 2017. 13(1): 71-75

14. 尾阪将人
実地診療で遭遇する胆膵疾患　基本病態のアップデートと新しい疾患概念の理解：実地医家が知っておくべき治療のポイント　転移を有する膵癌に対する化学療法の選択 .
Medical Practice, 2017. 34(7): 1174-1178

15. 尾阪将人
肝・胆道・膵がんと神経内分泌腫瘍 - 診断と治療の最前線：膵がん化学療法の最前線　FOLFIRINOX と GnP をどう使い分けるか？
腫瘍内科 , 2017. 19(3): 258-262

16. 尾阪将人
膵癌化学療法における副作用対策 .
新世代の膵癌診療・治療バイブル：研修医・レジデント必携（藤井努 , 川井学編）, 大阪 , メディカ出版：2017

17. 尾阪将人
膵癌治療の最前線：諸問題の解決にむけた取り組み：切除不能膵癌に対する化学療法　FOLFIRINOX 療法とゲムシタビン + ナブパクリタキセル療法をどう使い分けるか？
胆と膵 , 2017. 38(8): 775-780

18. 尾阪将人 , 佐々木隆
高齢者進行膵がんに対する新しい治療戦略 nab-PTX+GEM 併用療法の上手な使い方（第 2 回）がん研有明病院肝・胆・膵内科 .
膵・胆道癌 Frontier, 2017. 6(2): 107-111

19. 白田龍之介 , 伊佐山浩通 , 内野里枝 , 濱田毅 , 高原楠昊 , 岸川孝弘 , 水野卓 , 木暮宏史 , 伊藤由紀子 , 松原三郎 , 中井陽介 , 笹平直樹 , 辻野武 , 多田稔 , 小池和彦
胆管結石・胆管炎をめぐる諸問題：EPBD・BPLBD の最新の動向 .
消化器・肝臓内科 , 2017. 1(3): 232-9

20. 笹平直樹
内視鏡医が求める ERCP 検査室　C アーム X 線システム導入施設の取り組み 胆膵内視鏡治療を支える新 IVR 室 .
Rad Fan, 2017. 15(9): 6-9

21. 笹平直樹
専門医 + エキスパートに聞く　よりよい服薬指導のための基礎知識（vol.94）　膵がん　予後不良ながんの化学療法と副作用対策（Part.1）専門医の処方を読む　FOLFIRINOX 療法と Gem/nabPTX 療法　化学療法の進歩で生存期間の延長が可能に .
Credentials, 2017(111): 19-23

22. 笹平直樹 , 齋藤友隆 , 水野卓 , 毛利大 , 木暮宏史 , 松原三郎 , 中井陽介 , 平野賢二 , 伊佐山浩通
慢性膵炎内視鏡治療の現状と展望：胆管狭窄に対するステント治療　金属ステント .
胆と膵 , 2017. 38(2): 185-190

上部消化管内科

1. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Takahashi, H.
Accuracy of diagnostic demarcation of undifferentiated-type early gastric cancer for magnifying endoscopy with narrow-band imaging: surgical cases.
Surg. Endosc., 2017. 31(4): 1906-1913

2. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Takahashi, H.
Diagnostic accuracy of demarcation of undifferentiated-type early gastric cancer after Helicobacter pylori eradication.
J. Gastroenterol., 2017. 52(9): 1023-1030

3. Horiuchi, Y.
ME-NBI finding is suggested to be useful to determine accurate surgical margins in undifferentiated-type early gastric cancer patients.
Ann. Laparosc. Endosc. Surg., 2017: 2

4. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Study on clinical factors involved in Helicobacter pylori-uninfected, undifferentiated-type early gastric cancer.
Digestion, 2017. 96(4): 213-219

5. Ishihara, R., Oyama, T., Abe, S., Takahashi, H., Ono, H., Fujisaki, J., Kaise, M., Goda, K., Kawada, K., Koike, T., Takeuchi, M., Matsuda, R., Hirasawa, D., Yamada, M., Kodaira, J., Tanaka, M., Omae, M., Matsui, A., Kanesaka, T., Takahashi, A., Hirooka, S., Saito, M., Tsuji, Y., Maeda, Y., Yamashita, H., Oda, I., Tomita, Y., Matsunaga, T., Terai, S., Ozawa, S., Kawano, T., Seto, Y.
Risk of metastasis in adenocarcinoma of the esophagus: a multicenter retrospective study in a Japanese population.
J. Gastroenterol., 2017. 52(7): 800-808

6. Ishii, N., Omata, F., Fujisaki, J., Hirasawa, T., Kaise, M., Hoteya, S., Tanabe, S., Ishido, K., Ohata, K., Takita, M., Mine, T., Igarashi, M., Yoshida, T., Takeda, Y., Furumoto, Y., Matsumoto, K., Yahagi, N., Nakashima, H., Wada, T., Tagata, T., Mitsunaga, A.
Management of early gastric cancer with positive horizontal or indeterminable margins after endoscopic submucosal dissection: multicenter survey.
Endosc. Int. Open, 2017. 5(5): E354-E362

7. Kataoka, S., Omae, M., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Yamada, K., Igarashi, M.
Synchronous triple primary cancers of the pharynx and esophagus.
Clin. J. Gastroenterol., 2017. 10(3): 208-213

8. Matsuhashi, N., Sakai, E., Ohata, K., Ishimura, N., Fujisaki, J., Shimizu, T., Iijima, K., Koike, T., Endo, T., Kikuchi, T., Inayoshi, T., Amano, Y., Furuta, T., Haruma, K., Kinoshita, Y.
Surveillance of patients with long-segment Barrett' s esophagus: a multicenter prospective cohort study in Japan.
J. Gastroenterol. Hepatol., 2017. 32(2): 409-414

9. Osumi, H., Fujisaki, J., Suganuma, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Miki, K.
A significant increase in the pepsinogen I/II ratio is a reliable biomarker for successful Helicobacter pylori eradication.
PLoS One, 2017. 12(8): e0183980

10. Takahashi, R., Yoshio, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Endoscopic tissue shielding for esophageal perforation caused by endoscopic resection.
Clin. J. Gastroenterol., 2017. 10(3): 214-219

11. Tanabe, S., Ishido, K., Matsumoto, T., Kosaka, T., Oda, I., Suzuki, H., Fujisaki, J., Ono, H., Kawata, N., Oyama, T., Takahashi, A., Doyama, H., Kobayashi, M., Uedo, N., Hamada, K., Toyonaga, T., Kawara, F., Tanaka, S., Yoshifuku, Y.
Long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: a multicenter collaborative study.
Gastric Cancer, 2017. 20(Suppl.1): 45-52

12. Uedo, N., Yoshio, T., Yoshinaga, S., Takeuchi, M., Hatta, W., Yano, T., Tanuma, T., Goto, O., Takahashi, A., Tong, D., Lee, Y. Y., Nakayama, Y., Ichihara, S., Gotoda, T.

Endoscopic gastric mucosal atrophy distinguishes the characteristics of superficial esophagogastric junction adenocarcinoma.
Dig. Endosc., 2017. 29 Suppl 2: 26-36

13. Yoshio, T., Tomida, H., Iwasaki, R., Horiuchi, Y., Omae, M., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Yamada, T., Mita, E., Ninomiya, T., Michitaka, K., Igarashi, M.
Effect of direct oral anticoagulants on the risk of delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection.
Dig. Endosc., 2017. 29(6): 686-694

14. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Sato, Y., Sasaki, T., Kawabata, K., Igarashi, M.
Efficacy of double-scope endoscopic submucosal dissection and long-term outcomes of endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.
Dig. Endosc., 2017. 29(2): 152-159

15. 大隅寛木 , 藤崎順子 , 河内洋 , 大前雅実 , 清水智樹 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 土田知宏 , 山本智理子 , 山本頼正
食道胃接合部癌と Barrett 食道腺癌の鑑別は必要か―臨床の立場から .
胃と腸 , 2017. 52(3): 311-318

16. 山口和久 , 藤崎順子 , 山本智理子 , 堀内裕介 , 大隅寛木 , 吉水祥一 , 片岡星太 , 平澤俊明 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 山本頼正 , 土田知宏 , 五十嵐正広
Helicobacter pylori 除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴と病理像 .
日本ヘリコバクター学会誌 , 2017. 18(2): 72-79

17. 山本安則 , 石山晃世志 , 城間翔 , 中野薫 , 山崎明 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 土田知宏 , 河内洋 , 山本智理子 , 藤崎順子
胃 SMT 様形態を示した Hamartomatous inverted polyp の 2 例 .
Prog. Dig. Endosc., 2017. 91(1): 144-145,9

18. 山本頼正 , 堀内裕介 , 大前雅実 , 平澤俊明 , 由雄敏之 , 石山晃世志 , 土田知宏 , 藤崎順子
消化器癌の拡大内視鏡診断：十二指腸腫瘍・癌の拡大観察診断 .
臨床消化器内科 , 2017. 32(13): 1719-1725

19. 山本頼正 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 石山晃世志 , 藤崎順子
高齢者・超高齢者消化管癌の内視鏡治療： 胃癌 ESD 治療の現況 .
臨床消化器内科 , 2017. 32(6): 673-678

20. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください SMT 様の病変 .
臨床消化器内科 , 2017. 33(1): 119-123

21. 平澤俊明 , 河内洋 , 市村崇 , 熊谷厚志 , 城間翔 , 並河健 , 山崎明 , 中野薫 , 吉水祥一 , 山口和久 , 清水智樹 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子
知っておくべき胃疾患の分類：神経内分泌腫瘍 .
胃と腸 , 2017. 52(1): 63-73

22. 斎藤彰一 , 平澤俊明
図説「胃と腸」所見用語集 2017: 画像所見 [腸] イクラ状粘膜 (salmon roe appearance).
胃と腸 , 2017. 52(5): 665

23. 比企直樹 , 山本頼正 , 平澤俊明
腹腔鏡内視鏡合同手術の現状と展望 .
日本消化器内視鏡学会雑誌 , 2017. 114(2): 205-208

24. 由雄敏之 , 土田知宏 , 石山晃世志 , 大前雅実 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 藤崎順子 , 佐藤由紀子 , 佐々木徹 , 川端一嘉 , 五十嵐正広
Double-scope ESD の有効性と表在型咽頭癌に対する内視鏡的切除の治療成績 .
Gastroenterological Endoscopy, 2017. 59(12): 2750-2759

25. 由雄敏之，上堂文也，大隈寛木，堀内裕介，石山晃世志，平澤俊明，山本頼正，土田知宏，後藤田卓志，藤崎順子
食道胃接合部癌の背景粘膜と診断の注意点．
消化器内視鏡，2017. 29(7): 1267-1274

26. 石山晃世志
消化器癌の拡大内視鏡診断：食道表在癌の拡大観察診断．
臨床消化器内科，2017. 32(13): 1669-1675

27. 藤崎順子
Helicobacter pylori 感染陰性時代の消化管疾患：Helicobacter pylori 感染陰性時代の消化管疾患　Helicobacter pylori 感染陰性者に発症する胃癌の特徴．
日本内科学会雑誌，2017. 106(1): 23-32

28. 藤崎順子，山口和久，山本智理子，堀内裕介，大隅寛木，吉水祥一，片岡星太，平澤俊明，由雄敏之，石山晃世志，山本頼正，土田知宏
Helicobacter pylori 除菌後の胃がん予防：Helicobacter pylori 除菌後の胃がんの内視鏡的特徴 (1).
Helicobacter Research, 2017. 21(2): 117-122

29. 藤崎順子，竹内学，石原立，小山恒男，大隅寛木，清水智樹，大前雅美，山崎明
これでわかる！食道胃接合部疾患：食道胃接合部癌　表在型 Barrett 食道腺癌のリンパ節転移リスク．
消化器内視鏡，2017. 29(9): 1749-1756

下部消化管内科

1. Oka, S., Uraoka, T., Tamai, N., Ikematsu, H., Chino, A., Okamoto, K., Takeuchi, Y., Imai, K., Ohata, K., Shiga, H., Raftopoulos, S., Lee, B. I., Matsuda, T.
Standardization of endoscopic resection for colorectal tumors larger than 10 mm in diameter.
Dig. Endosc., 2017. 29(Suppl 2): 40-44

2. Yoshimizu, S., Chino, A., Miyamoto, Y., Tagao, F., Iwasaki, S., Ide, D., Tamegai, Y., Igarashi, M., Saito, S., Fujisaki, J.
Efficacy of hyperbaric oxygen therapy in patients with radiation-induced rectal ulcers: A report of five cases.
Dig. Endosc., 2017. 29(6): 718-722

3. 並河健，斎藤彰一，井出大資，千野晶子，河内洋
大腸癌の診療：大腸癌の診断　大腸腫瘍の内視鏡観察　通常内視鏡から色素内視鏡．
臨床消化器内科，2017. 32(7): 847-852

4. 井出大資，五十嵐正広，田顔夫佑樹，岩崎将，千野晶子，為我井芳郎，斎藤彰一
消化器腫瘍性疾患治療ガイドラインのポイント：大腸ポリープ関連ガイドラインの治療．
成人病と生活習慣病，2017. 47(2): 184-188

5. 千野晶子，田顔夫佑樹，井出大資，五十嵐正広，斎藤彰一
大腸癌の診療：特殊な大腸腫瘍・腫瘍様病変　大腸神経内分泌腫瘍（NET）．
臨床消化器内科，2017. 32(7): 992-997

6. 千野晶子，斎藤彰一，高松学，上野雅資，田顔夫佑樹，井出大資，為我井芳郎，五十嵐正広，河内洋，山本智理子
消化管内分泌細胞腫瘍の新知見：直腸 NET G1 の転移例．
胃と腸，2017. 52(4): 469-476

7. 千野晶子，吉水祥一，井出大資，為我井芳郎，五十嵐正広，斎藤彰一，藤崎順子
腸炎まるわかり：血流障害　放射線性腸炎の内視鏡診断．
消化器内視鏡，2017. 29(1): 112-117

8. 斎藤彰一，平澤俊明
図説「胃と腸」所見用語集 2017: 画像所見 [腸] イクラ状粘膜 (salmon roe appearance).
胃と腸，2017. 52(5): 665

9. 斎藤彰一，井出大資，玉井尚人，猪又寛子，炭山和毅，加藤智弘，田尻久雄
大腸スクリーニングの現状と将来展望：カプセル内視鏡．
胃と腸，2017. 52(9): 1170-1174

10. 斎藤彰一 , 河内洋
手技の解説　大腸腫瘍の拡大観察の要点 .
Gastroenterological Endoscopy, 2017. 59(3): 300-310

11. 斎藤彰一 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
消化器内視鏡 - 私の流儀 : 拡大内視鏡観察のコツ　優しく、ていねいに .
消化器内視鏡 , 2017. 29(6): 1032-1034

12. 浦岡俊夫 , 田中信治 , 松本主之 , 斎藤豊 , 斎藤彰一 , 松田尚久 , 岡志郎 , 森山智彦 , 緒方晴彦 , 矢作直久 , 石川秀樹 , 田尻久雄
大腸スクリーニングの現状と将来展望 : ノート広角内視鏡（extra-wide-angle-view colonoscope）の開発と有用性（第 2 報）.
胃と腸 , 2017. 52(9): 1200-1204

13. 浦岡俊夫 , 田中信治 , 松本主之 , 斎藤豊 , 斎藤彰一 , 松田尚久 , 岡志郎 , 森山智彦 , 緒方晴彦 , 矢作直久 , 石川秀樹 , 田尻久雄
大腸腫瘍診断のモダリティと新たな展開 - 存在診断能・質的診断能の向上を目指して : 通常内視鏡における存在診断能向上の検討　超広角視野内視鏡　オリンパス .
Intestine, 2017. 21(5): 429-433

14. 為我井芳郎 , 森重健二郎 , 大隅寛木 , 岸原輝仁 , 千野晶子 , 五十嵐正広 , 小西毅 , 福長洋介 , 山本智理子 , 河内洋 , 齊藤彰一 , 上野雅資
Ip+IIc 型早期大腸癌の臨床病理学的検討 .
日本消化器内視鏡学会雑誌 , 2017. 59(11): 2592-2600

15. 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一 , 河内洋
ここまでできる IEE: [大腸]　スクリーニング発見（detection）から質的診断（characterization）NBI を中心に .
消化器内視鏡 , 2017. 29(12): 2192-2199

16. 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一 , 河内洋
消化器内視鏡の基礎知識と基本テクニック : 大腸内視鏡　診断　大腸内視鏡拡大観察と診断 .
消化器内視鏡 , 2017. 29(3): 518-523

食道外科

1. Baba, Y., Saeki, H., Nakashima, Y., Oki, E., Shigaki, H., Yoshida, N., Watanabe, M., Maehara, Y., Baba, H.
Review of chemotherapeutic approaches for operable and inoperable esophageal squamous cell carcinoma.
Dis. Esophagus, 2017. 30(2): 1-7

2. Baba, Y., Iwatsuki, M., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Review of the gut microbiome and esophageal cancer: Pathogenesis and potential clinical implications.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2017. 1(2): 99-104

3. Hayami, M., Hiki, N., Nunobe, S., Mine, S., Ohashi, M., Kumagai, K., Ida, S., Watanabe, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Clinical outcomes and evaluation of laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique for early gastric cancer in the upper third of the stomach.
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(6): 1635-1642

4. Hiyoshi, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Kurashige, J., Baba, Y., Sakamoto, Y., Baba, H.
The presence of serum p53 antibody predicts the pathological tumor response to neoadjuvant chemotherapy with docetaxel, cisplatin and fluorouracil (DCF) in esophageal squamous cell carcinoma.
World J. Surg., 2017. 41(2): 480-486

5. Ishimoto, T., Miyake, K., Nandi, T., Yashiro, M., Onishi, N., Huang, K. K., Lin, S. J., Kalpana, R., Tay, S. T., Suzuki, Y., Cho, B. C., Kuroda, D., Arima, K., Izumi, D., Iwatsuki, M., Baba, Y., Oki, E., Watanabe, M., Saya, H., Hirakawa, K., Baba, H., Tan, P.
Activation of transforming growth factor Beta 1 signaling in gastric cancer-associated fibroblasts increases their motility, via expression of rhomboid 5 homolog 2, and ability to induce invasiveness of gastric

cancer cells.
Gastroenterology, 2017. 153(1): 191-204. e16

6. Izumi, D., Ishimoto, T., Miyake, K., Eto, T., Arima, K., Kiyozumi, Y., Uchihara, T., Kurashige, J., Iwatsuki, M., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Goel, A., Tan, P., Baba, H.
Colorectal cancer stem cells acquire chemoresistance through the upregulation of F-Box/WD repeat-containing protein 7 and the consequent degradation of c-Myc.
Stem Cells, 2017. 35(9): 2027-2036

7. Kosumi, K., Baba, Y., Yamashita, K., Ishimoto, T., Nakamura, K., Ohuchi, M., Kiyozumi, Y., Izumi, D., Tokunaga, R., Harada, K., Shigaki, H., Kurashige, J., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Monitoring sputum culture in resected esophageal cancer patients with preoperative treatment.
Dis. Esophagus, 2017. 30(12): 1-9

8. Matsumoto, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Shigaki, H., Kawabata, K., Yanaga, K., Sano, T.
Comparison of synchronous versus staged surgeries for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head-and-neck.
Dis. Esophagus, 2017. 30(1): 1-6

9. Mine, S., Watanabe, M., Imamura, Y., Okamura, A., Kurogochi, T., Sano, T.
Clinical significance of the pre-therapeutic nodal size in patients undergoing neo-adjuvant treatment followed by esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma.
World J. Surg., 2017. 41(1): 184-190

10. Mine, S., Watanabe, M., Okamura, A., Imamura, Y., Kajiyama, Y., Sano, T.
Superior thoracic aperture size is significantly associated with cervical anastomotic leakage after esophagectomy.
World J. Surg., 2017. 41(10): 2598-2604

11. Nakamura, K., Yoshida, N., Baba, Y., Kosumi, K., Uchihara, T., Kiyozumi, Y., Ohuchi, M., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Elevated preoperative neutrophil-to-lymphocytes ratio predicts poor prognosis after esophagectomy in T1 esophageal cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(3): 469-475

12. Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Kurogochi, T., Yamashita, K., Hayami, M., Imamura, Y., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K.
Failure of neoadjuvant chemotherapy for resectable esophageal squamous cell carcinoma.
Dis. Esophagus, 2017. 30(9): 1-8

13. Okamura, A., Watanabe, M., Imamura, Y., Hayami, M., Yamashita, K., Kurogochi, T., Mine, S.
Glycemic status and prognosis of patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.
World J. Surg., 2017. 41(10): 2591-2597

14. Okamura, A., Watanabe, M., Imamura, Y., Kamiya, S., Yamashita, K., Kurogochi, T., Mine, S.
Preoperative glycosylated hemoglobin levels predict anastomotic leak after esophagectomy with cervical esophagogastric anastomosis.
World J. Surg., 2017. 41(1): 200-207

15. Shigaki, H., Imamura, Y., Mine, S., Okamura, A., Krogochi, T., Yamashita, K., Watanabe, M.
Clinicopathologic features of esophageal squamous cell carcinoma in never smoker-never drinkers.
Dis. Esophagus, 2017: in press

16. Tokunaga, R., Sakamoto, Y., Nakagawa, S., Ohuchi, M., Izumi, D., Kosumi, K., Taki, K., Higashi, T., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Oki, E., Watanabe, M., Baba, H.
CONUT: a novel independent predictive score for colorectal cancer patients undergoing potentially curative resection.
Int. J. Colorectal Dis., 2017. 32(1): 99-106

17. Watanabe, M.
Transcription factor SPZ1 may promote TWIST-mediated epithelial-mesenchymal transition in thoracic malignancies.
J. Thorac. Dis., 2017. 9(9): 2740-2742

18. Yamamura, K., Baba, Y., Miyake, K., Nakamura, K., Shigaki, H., Mima, K., Kurashige, J., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Yamashita, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Fusobacterium nucleatum in gastroenterological cancer: Evaluation of measurement methods using quantitative polymerase chain reaction and a literature review.
Oncol. Lett., 2017. 14(6): 6373-6378

19. Yamashita, K., Watanabe, M., Mine, S., Kurogochi, T., Okamura, A., Hayami, M., Imamura, Y.
Patterns and outcomes of recurrent esophageal cancer after curative esophagectomy.
World J. Surg., 2017. 41(9): 2337-2344

20. Yoshida, N., Harada, K., Baba, Y., Kosumi, K., Iwatsuki, M., Kinoshita, K., Nakamura, K., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Karashima, R., Mima, K., Sawayama, H., Ohuchi, M., Chikamoto, A., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Preoperative controlling nutritional status (CONUT) is useful to estimate the prognosis after esophagectomy for esophageal cancer.
Langenbecks Arch. Surg., 2017. 402(2): 333-341

21. Yoshiya, K., Imamura, Y., Nakaji, Y., Taniguchi, D., Takeda, R., Ando, K., Nakashima, Y., Shimizu, M., Ohgaki, K., Furusyo, N., Matsumoto, T., Saeki, H., Oda, Y., Oki, E., Maehara, Y.
Successful surgical intervention for rectal perforation due to polyarteritis nodosa: report of a case.
Surg. Case Rep., 2017. 3(1): 43

22. 岡村明彦 , 渡邊雅之 , 今村裕 , 神谷諭 , 速水克 , 山下公太郎 , 黒河内喬範 , 峯真司
反回神経麻痺の診断と治療 胸腔鏡下食道切除術後反回神経麻痺の現状と術後肺炎予防における周術期管理チームの意義 .
日本気管食道科学会会報 , 2017. 68(2): 189-191

23. 岡村明彦 , 渡邊雅之
胸部外科領域における合併症予防のための周術期管理 : 食道癌周術期管理におけるチーム医療 .
胸部外科 , 2017. 70(8): 712-715

24. 峯真司 , 山口俊晴
1 から 10 までスルッとわかる　新人ナースのための消化器外科　ドレーン管理 :（4 章）術式別ドレーン管理とケア　食道切除術 .
消化器外科 Nursing, 2017（2017 春季増刊）: 94-97

25. 峯真司 , 渡邊雅之
食道癌外科治療のすべて : 食道癌の治療方針および手術適応の評価 .
外科 , 2017. 79(4): 301-304

26. 梅野博仁 , 渡邊雅之
ワークショップ 3 反回神経麻痺の診断と治療 : 司会者のまとめ .
日本気管食道科学会会報 , 2017. 68(2): 185-186

27. 渡邊雅之 , 山下公太郎 , 湯田匡美 , 速水克 , 岡村明彦 , 今村裕 , 峯真司
わかりやすい消化管癌診療のコンセンサス : 食道癌．胸腔鏡手術 .
臨床と研究 , 2017. 94(12): 1479-1483

28. 渡邊雅之
食道腺癌の分子機序の解明と治療標的の探索 .
上原記念生命科学財団研究報告集 , 2017. 31: 1-7

胃外科

1. Aizawa, M., Honda, M., Hiki, N., Kinoshita, T., Yabusaki, H., Nunobe, S., Shibasaki, H., Matsuki, A., Watanabe, M., Abe, T.
Oncological outcomes of function-preserving gastrectomy for early gastric cancer: a multicenter propensity score matched cohort analysis comparing pylorus-preserving gastrectomy versus conventional distal gastrectomy.
Gastric Cancer, 2017. 20(4): 709-717

2. Ajani, J. A., Lee, J., Sano, T., Janjigian, Y. Y., Fan, D., Song, S.
Gastric adenocarcinoma.
Nat. Rev. Dis. Primers, 2017. 3: 17036

3. Homma, S., Tokodai, K., Watanabe, M., Takaya, K., Hashizume, E.
Delayed perforation occurring on the 24th day after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.
Clin. J. Gastroenterol., 2017. 10(2): 124-127

4. Honda, M., Wong, S. L., Healy, M. A., Nakajima, T., Watanabe, M., Fukuma, S., Fukuhara, S., Ayanian, J. Z.
Long-term trends in primary sites of gastric adenocarcinoma in Japan and the United States.
J. Cancer, 2017. 8(11): 1935-1942

5. Ichikawa, W., Terashima, M., Ochiai, A., Kitada, K., Kurahashi, I., Sakuramoto, S., Katai, H., Sano, T., Imamura, H., Sasako, M.
Impact of insulin-like growth factor-1 receptor and amphiregulin expression on survival in patients with stage II/III gastric cancer enrolled in the Adjuvant Chemotherapy Trial of S-1 for Gastric Cancer.
Gastric Cancer, 2017. 20(2): 263-273

6. Ida, S., Hiki, N., Cho, H., Sakamaki, K., Ito, S., Fujitani, K., Takiguchi, N., Kawashima, Y., Nishikawa, K., Sasako, M., Aoyama, T., Honda, M., Sato, T., Nunobe, S., Yoshikawa, T.
Randomized clinical trial comparing standard diet with perioperative oral immunonutrition in total gastrectomy for gastric cancer.
Br. J. Surg., 2017. 104(4): 377-383

7. In, H., Solsky, I., Palis, B., Langdon-Embry, M., Ajani, J., Sano, T.
Validation of the 8th Edition of the AJCC TNM Staging System for Gastric Cancer using the National Cancer Database.
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(12): 3683-3691

8. Katai, H., Mizusawa, J., Katayama, H., Takagi, M., Yoshikawa, T., Fukagawa, T., Terashima, M., Misawa, K., Teshima, S., Koeda, K., Nunobe, S., Fukushima, N., Yasuda, T., Asao, Y., Fujiwara, Y., Sasako, M.
Short-term surgical outcomes from a phase III study of laparoscopy-assisted versus open distal gastrectomy with nodal dissection for clinical stage IA/IB gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0912.
Gastric Cancer, 2017. 20(4): 699-708

9. Kawakatsu, S., Ohashi, M., Hiki, N., Nunobe, S., Nagino, M., Sano, T.
Use of endoscopy to determine the resection margin during laparoscopic gastrectomy for cancer.
Br. J. Surg., 2017. 104(3): 1829-1836

10. Kiyokawa, T., Hiki, N., Nunobe, S., Honda, M., Ohashi, M., Sano, T.
Preserving infrapyloric vein reduces postoperative gastric stasis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy.
Langenbecks Arch. Surg., 2017. 402(1): 49-56

11. Kurokawa, Y., Yamaguchi, T., Sasako, M., Sano, T., Mizusawa, J., Nakamura, K., Fukuda, H.
Institutional variation in short- and long-term outcomes after surgery for gastric or esophagogastric junction adenocarcinoma: correlative study of two randomized phase III trials (JCOG9501 and JCOG9502).
Gastric Cancer, 2017. 20(3): 508-516

12. Matsuda, T., Nunobe, S., Kosuga, T., Kawahira, H., Inaki, N., Kitashiro, S., Abe, N., Miyashiro, I., Nagao, S., Nishizaki, M., Hiki, N., Society for the Study of, L., Endoscopy Cooperative, S.
Laparoscopic and luminal endoscopic cooperative surgery can be a standard treatment for submucosal tumors of the stomach: a retrospective multicenter study.
Endoscopy, 2017. 49(5): 476-483

13. Matsuda, T., Nunobe, S., Ohashi, M., Hiki, N.
Laparoscopic endoscopic cooperative surgery (LECS) for the upper gastrointestinal tract.
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 2017. 2: 40

14. Nunobe, S., Hiki, N.
Function-preserving surgery for gastric cancer: current status and future perspectives.
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 2017. 2: 77

15. Okumura, Y., Hiki, N., Kumagai, K., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T.
Postoperative prolonged inflammatory response as a poor prognostic factor after curative resection for gastric cancer.
World J. Surg., 2017. 41(10): 2611-2618

16. Sano, T.
Gastric cancer: Asia and the world.
Gastric Cancer, 2017. 20(Suppl 1): 1-2

17. Sano, T., Coit, D. G., Kim, H. H., Roviello, F., Kassab, P., Wittekind, C., Yamamoto, Y., Ohashi, Y.
Proposal of a new stage grouping of gastric cancer for TNM classification: International Gastric Cancer Association staging project.
Gastric Cancer, 2017. 20(2): 217-225

18. Sano, T., Sasako, M., Mizusawa, J., Yamamoto, S., Katai, H., Yoshikawa, T., Nashimoto, A., Ito, S., Kaji, M., Imamura, H., Fukushima, N., Fujitani, K.
Randomized controlled trial to evaluate splenectomy in total gastrectomy for proximal gastric carcinoma.
Ann. Surg., 2017. 265(2): 277-283

19. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Murgioni, S., Rossini, D., Marmorino, F., Mennitto, A., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Yamaguch, T., Loupakis, F., Lenz, H. J.
Genetic variants of DNA repair-related genes predict efficacy of TAS-102 in patients with refractory metastatic colorectal cancer.
Ann. Oncol., 2017. 28(5): 1015-1022

20. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Dadduzio, V., Salvatore, L., Borelli, B., Pietrantonio, F., Ning, Y., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Jr., Barzi, A., Yamaguchi, T., Loupakis, F., Lenz, H. J.
Potential role of polymorphisms in the transporter genes ENT1 and MATE1/OCT2 in predicting TAS-102 efficacy and toxicity in patients with refractory metastatic colorectal cancer.
Eur. J. Cancer, 2017. 86: 197-206

21. Takahashi, R., Yoshio, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Endoscopic tissue shielding for esophageal perforation caused by endoscopic resection.

Clin. J. Gastroenterol., 2017. 10(3): 214-219

22. Tanabe, S., Hirabayashi, S., Oda, I., Ono, H., Nashimoto, A., Isobe, Y., Miyashiro, I., Tsujitani, S., Seto, Y., Fukagawa, T., Nunobe, S., Furukawa, H., Kodera, Y., Kaminishi, M., Katai, H.
Gastric cancer treated by endoscopic submucosal dissection or endoscopic mucosal resection in Japan from 2004 through 2006: JGCA nationwide registry conducted in 2013.
Gastric Cancer, 2017. 20(5): 834-842

23. Terashima, M., Ichikawa, W., Ochiai, A., Kitada, K., Kurahashi, I., Sakuramoto, S., Katai, H., Sano, T., Imamura, H., Sasako, M., Group, A.-G.
TOP2A, GGH, and PECAM1 are associated with hematogenous, lymph node, and peritoneal recurrence in stage II/III gastric cancer patients enrolled in the ACTS-GC study.
Oncotarget, 2017. 8(34): 57574-57582

24. Tokunaga, M., Ito, S., Yoshikawa, T., Nunobe, S., Fukagawa, T., Misawa, K., Cho, H., Katai, H., Sano, T., Terashima, M.
Prognostic factors for survival in patients with pT1 N+ or T2-3 N0 gastric cancer in Japan.
Br. J. Surg., 2017. 104(7): 885-890

25. Tsujiura, M., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Hayami, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Excellent long-term prognosis and favorable postoperative nutritional status after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(8): 2233-2240

26. Tsujiura, M., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Okumura, Y., Sano, T., Yamaguchi, T.
“Pancreas-compressionless gastrectomy” : A novel laparoscopic approach for supra-pancreatic lymph node dissection.
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(11): 3331-3337

27. Weijs, T. J., Kumagai, K., Berkelmans, G. H., Nieuwenhuijzen, G. A., Nilsson, M., Luyer, M. D.
Nasogastric decompression following esophagectomy: a systematic literature review and meta-analysis.
Dis. Esophagus, 2017. 30(3): 1-8

28. Yamashita, H., Seto, Y., Sano, T., Makuuchi, H., Ando, N., Sasako, M.
Results of a nation-wide retrospective study of lymphadenectomy for esophago-gastric junction carcinoma.
Gastric Cancer, 2017. 20(Suppl.1): 69-83

29. Zhou, J., Hiki, N., Mine, S., Kumagai, K., Ida, S., Jiang, X., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Role of prealbumin as a powerful and simple index for predicting postoperative complications after gastric cancer surgery.
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(2): 510-517

30. 井田智 , 峯真司 , 山口俊晴
1 から 10 までスルッとわかる　新人ナースのための消化器外科　ドレーン管理 : (4 章) 術式別ドレーン管理とケア　胃切除術および胃全摘術 .
消化器外科 Nursing, 2017(2017 春季増刊): 98-106

31. 井田智
がん患者の体重および骨格筋量の減少を抑える栄養管理 .
New Diet Therapy, 2017. 33(1): 79-84

32. 井田智 , 布部創也
内視鏡データリファレンスブック 2017: 胃
胃癌内視鏡治療後の追加外科切除 .
消化器内視鏡 , 2017. 29(8): 1427-1430

33. 井田智，比企直樹，安福至，松田達雄，熊谷厚志，布部創也，大橋学，堀内裕介，平澤俊明，山本頼正，藤崎順子，佐野武
胃粘膜下腫瘍の診断と治療：胃粘膜下腫瘍の治療戦略．
胃と腸，2017. 52(10): 1316-1323

34. 井田智，熊谷厚志，峯真司，比企直樹
「重症患者における栄養管理」：アミノ酸・タンパク質投与の是非．
外科と代謝・栄養，2017. 51(6): 325-330

35. 伊沢由紀子，井田智，川名加織，中濱孝志，望月宏美，縄野一美，速水克，熊谷厚志，峯真司，比企直樹
化学療法中の経時的に変化する味覚異常におけるテーストディスクを用いた客観的味覚評価．
日本静脈経腸栄養学会雑誌，2017. 32(3): 1168-1173

36. 佐野武
FOCUS TNM 分類第 8 版改訂のポイント．
臨床外科，2017. 72(13): 1491-1495

37. 佐野武
TNM 分類第 8 版を読み解く：TNM 分類と癌取扱い規約．
外科，2017. 79(7): 601-605

38. 佐野武
ガイドラインと外科　上部消化管　胃癌治療のガイドライン．
日本外科学会雑誌，2017. 118(4): 480-481

39. 佐野武
胃癌：低侵襲治療と集学的治療の個別化へ向けて：胃癌に対する開腹手術と集学的治療．
Pharma Medica, 2017. 35(5): 29-32

40. 佐野武
臨床試験紹介　JCOG0110　上部進行胃癌に対する胃全摘術における脾合併切除の意義に関するランダム化比較試験．
胃がん perspective, 2017. 9(3): 236-238

41. 八木秀祐，庄司佳晃，比企直樹
抄録・スライド・プレゼンテーションのコツ：術前・術後カンファレンスのコツ．
消化器外科，2017. 40(12): 1647-1654

42. 大橋学，佐野武
合併症の少ない手術のコツ：胃全摘術．
消化器外科，2017. 40(4): 403-414

43. 大橋学，比企直樹
百花繚乱！エネルギーデバイスを使いこなす：術式別　デバイスの選択と活用法 開腹幽門側胃切除術　高周波手術機器の使用法．
臨床外科，2017. 72(5): 546-551

44. 奥村康弘，比企直樹
早期胃がんの外科的治療．
消化器疾患最新の治療（小池和彦，山本博徳，瀬戸康之），東京，南江堂：pp.172-174, 2017

45. 安福至，比企直樹，布部創也，熊谷厚志，江藤弘二郎，庄司佳晃
FOCUS 腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）．
臨床外科，2017. 72(6): 749-755

46. 布部創也，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹，佐野武
外科における controversy- 誌上ディベート：幽門側胃切除後の再建法　Billroth I 法か Roux-en Y 法か？　Roux-en Y 法．
外科，2017. 79(5): 413-415

47. 布部創也，峯真司，井田智，熊谷厚志，大橋学，比企直樹
食道胃接合部癌の手術：経裂孔アプローチ　食道胃接合部癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除と胸腔鏡併用再建法．
手術，2017. 71(11): 1519-1524

48. 庄司佳晃，比企直樹
手術ステップごとに理解する：標準術式アトラス：胃・十二指腸 胃粘膜下腫瘍に対する切除術 腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除術．
臨床外科，2017. 72(11): 58-62

49. 松下亜由子，峯真司，熊谷厚志，井田智，望月宏美，中濱孝志，比企直樹
がん終末期患者における経口摂取状況と管理栄

養士介入に関する検討 .
日本静脈経腸学会雑誌 , 2017. 32(4): 1324-1328

50. 比企直樹 , 小西毅 , 石沢武彰編集
がん研べからず集：ビデオでみるトラブルシューティング .
東京 , 南江堂：130p., 2017

51. 比企直樹
上部消化管がんの術後合併症に対する栄誉管理 .
一般社団法人日本静脈経腸栄養学会静脈経腸栄養テキストブック（日本静脈経腸栄養学会編集）, 東京 , 南江堂：pp.432-435, 2017

52. 比企直樹
上部消化管周術期の栄養療法 .
一般社団法人日本静脈経腸栄養学会静脈経腸栄養テキストブック（日本静脈経腸栄養学会編集）, 東京 , 南江堂：pp.415-419, 2017

53. 比企直樹
胃癌　腹腔鏡手術　出血させない胃癌手術のコツ .
日本外科学会雑誌 , 2017. 118(3): 365-368

54. 比企直樹 , 山本頼正 , 平澤俊明
腹腔鏡内視鏡合同手術の現状と展望 .
日本消化器内視鏡学会雑誌 , 2017. 114(2): 205-208

55. 津田康雄 , 比企直樹 , 八木秀祐 , 高橋遼 , 平山佳愛 , 李基成 , 大橋拓馬 , 加納陽介 , 庄司佳晃 , 江藤弘二郎 , 安福至 , 井田智 , 熊谷厚志 , 大橋学 , 布部創也
外科手術器具の理論と使用法 :IV. ステープラー鏡視下上部消化管手術に用いる自動縫合器・吻合器の使用法とコツ .
外科 , 2017. 79(12): 1197-1201

56. 渡邉元己 , 比企直樹 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学
手術手技　腹腔鏡下幽門側胃切除における幽門下動静脈先行処理 No.6 郭清 .
手術 , 2017. 71(9): 1329-1333

57. 熊谷厚志
文献紹介：胃がんセンチネルリンパ節としての No.8 リンパ節の意義 .
胃がん perspective, 2017. 9(2): 150-151

58. 熊谷厚志 , 比企直樹 , 布部創也 , 辻浦誠浩 , 井田智 , 大橋学
消化器癌手術に必要な拡大視による局所微細解剖アトラス：Gastric Surgery　幽門保存胃切除における幽門下動静脈の解剖とアプローチ .
手術 , 2017. 71(4): 423-428

59. 熊谷厚志 , 佐野武
膜と層を意識した消化器外科解剖：胃の手術　胃切除後再建術 .
消化器外科 , 2017. 40(5): 591-602

60. 辻浦誠浩 , 比企直樹 , 大橋学 , 布部創也 , 熊谷厚志 , 井田智
機能温存術式の最新情報：幽門機能温存手術 up-to-date.
手術 , 2017. 71(1): 27-33

大腸外科

1. Hata, J., Nagai, A., Hirata, M., Kamatani, Y., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Muto, K., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Collaborators, Saito, S., Shimomura, H., Higashiue, S., Misumi, K., Minami, S., Yamatake, M., Takano, H., Shimada, K., Konishi, H., Miyamoto, N., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Sugimoto, Y., Ashihara, T., Koretsune, Y., Ikeda, S., Yano, R.
Risk prediction models for mortality in patients with cardiovascular disease: The BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S71-s76
2. Hirata, M., Kamatani, Y., Nagai, A., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Kubo, M., Muto, K., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa, Y., Zembutsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Matsuda, K., Collaborators,

Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Emi, M., Emoto, N., Arai, H., Yamaji, K., Hiratsuka, Y., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yoshimaya, T.
Cross-sectional analysis of BioBank Japan clinical data: A large cohort of 200,000 patients with 47 common diseases.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S9-S21

3. Hirata, M., Nagai, A., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Kubo, M., Muto, K., Kiyohara, Y., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa, Y., Zembutsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Matsuda, K., Collaborators, Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Watanabe, A., Emoto, N., Takahashi, K., Takeda, S., Funaki, T., S., A., Moriyama, M., Takahashi, Y., T., F., Obara, W., Mori, S., Io, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yoshimori, K.
Overview of BioBank Japan follow-up data in 32 diseases.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S22-S28

4. Hiyoshi, Y., Akiyoshi, T., Inoue, R., Murofushi, K., Yamamoto, N., Fukunaga, Y., Ueno, M., Baba, H., Mori, S., Yamaguchi, T.
Serum miR-143 levels predict the pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.
Oncotarget, 2017. 8: 79201-79211

5. Honda, M., Oba, K., Akiyoshi, T., Maeda, H., Kashiwabara, K., Kanda, M., Mayanagi, S., Aoyama, T., Hamada, C., Sadahiro, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshikawa, T.
Development and validation of a prognostic nomogram for colorectal cancer after radical resection based on individual patient data from three large-scale phase III trials.
Oncotarget, 2017. 8(58): 99150-99160

6. Inoue, Y., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Yamaguchi, T., Konishi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Ishida, F., Hinoi, T., Kanemitsu, Y., Watanabe, T., Sugihara, K.
The treatment of desmoid tumors associated with familial adenomatous polyposis: the results of a Japanese multicenter observational study.
Surg. Today, 2017. 47(10): 1259-1267

7. Kobayashi, H., Ishida, H., Ueno, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Konishi, T., Yamaguchi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.
Association between the age and the development of colorectal cancer in patients with familial adenomatous polyposis: a multi-institutional study.
Surg. Today, 2017. 47(4): 470-475

8. Kobayashi, H., Ishida, H., Ueno, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Konishi, T., Yamaguchi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.
Childbirth after surgery for familial adenomatous polyposis in Japan.
Surg. Today, 2017. 47(2): 233-237

9. Konishi, T., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Yamaguchi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.
Postoperative complications after stapled and hand - sewn ileal pouch - anal anastomosis for familial adenomatous polyposis: A multicenter study.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2017. 1: 143-149

10. Nagai, A., Hirata, M., Kamatani, Y., Muto, K., Matsuda, K., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa, Y., Zem-

butsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Kubo, M., Collaborators, Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Emi, M., Emoto, N., Daida, H., Miyauchi, K., Murakami, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yanai, H.
Overview of the BioBank Japan Project: Study design and profile.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S2-s8

11. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Preoperative chemoradiotherapy might improve the prognosis of patients with locally advanced low rectal cancer and lateral pelvic lymph node metastases.
World J. Surg., 2017. 41(3): 876-883

12. Nakamura, K., Okada, E., Ukawa, S., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Maekawa, K., Kaneko, K., Harada, H., Minami, S., Takei, H., Saito, M., Terao, Y., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Abe, H., Shimizu, T., Koretsune, Y., Masuda, N., Takeda, Y.
Characteristics and prognosis of Japanese female breast cancer patients: The BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S58-s64

13. Nakamura, K., Ukawa, S., Okada, E., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Ninomiya, T., Muto, K., Kiyohara, Y., Matsuda, K., Kamatani, Y., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, harada, H., Hibino, M., Okuyama, A., Kano, N., Minami, S., Genma, A., Usuda, J., Suzuki, K., Sekiya, M., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Tezuka, N., Nakano, Y., Koretsune, Y., Ogawara, M., Yamana, K.
Characteristics and prognosis of Japanese male and female lung cancer patients: The BioBank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S49-s57

14. Ogura, A., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Noma, H., Nagino, M., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Does the depth of mesorectal invasion have prognostic significance in patients with ypT3 lower rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy?
Int. J. Colorectal Dis., 2017. 32(3): 349-356

15. Ogura, A., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Kuroyanagi, H.
Feasibility of laparoscopic total mesorectal excision with extended lateral pelvic lymph node dissection for advanced lower rectal cancer after preoperative chemoradiotherapy.
World J. Surg., 2017. 41(3): 868-875

16. Okada, E., Ukawa, S., Nakamura, K., Hirata, M., Nagai, A., Matsuda, K., Ninomiya, T., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Yamagata, Z., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Makimoto, S., Harada, H., Fujikawa, T., Minami, S., Uchida, E., Miyashita, M., Kajiyama, Y., Tomita, N., Nagahara, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ban, H., Murata, S., Koretsune, Y., Hirao, M., Ogata, H.
Demographic and lifestyle factors and survival among patients with esophageal and

gastric cancer: The Biobank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S29-s35

17. Okamura, R., Hida, K., Yamaguchi, T., Akagi, T., Konishi, T., Yamamoto, M., Ota, M., Matoba, S., Bando, H., Goto, S., Sakai, Y., Watanabe, M., Watanabe, K., Otsuka, K., Takemasa, I., Tanaka, K., Ikeda, M., Matsuda, C., Fukuda, M., Hasegawa, J., Akamoto, S., Shiozawa, M., Tsuruta, A., Akiyoshi, T., Kato, T., Tsukamoto, S., Ito, M., Naito, M., Kanazawa, A., Takahashi, T., Ueki, T., Hayashi, Y., Morita, S., Yamaguchi, T., Nakanishi, M., Hasegawa, H., Okamoto, K., Teraishi, F., Sumi, Y., Tashiro, J., Yatsuoka, T., Nishimura, Y., Okita, K., Kobatake, T., Horie, H., Miyakura, Y., Ro, H., Nagakari, K., Hidaka, E., Umemoto, T., Nishigori, H., Murata, K., Wakayama, F., Makizumi, R., Fujii, S., Sunami, E., Kobayashi, H., Nakagawa, R., Enomoto, T., Ohnuma, S., Higashijima, J., Ozawa, H., Ashida, K., Fujita, F., Uehara, K., Maruyama, S., Ohyama, M., Yamamoto, S., Hinoi, T., Yoshimitsu, M., Okajima, M., Tanimura, S., Kawasaki, M., Ide, Y., Hazama, S., Watanabe, J., Inagaki, D., Toyokawa, A.
Local control of sphincter-preserving procedures and abdominoperineal resection for locally advanced low rectal cancer: Propensity score matched analysis.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2017. 1(3): 199-207

18. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Matsushima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Nagasaki, T., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Yamaguchi, K.
Change in clinical outcomes during the transition of adjuvant chemotherapy for stage III colorectal cancer.
PLoS One, 2017. 12(5): e0176745

19. Shigematsu, Y., Kanda, H., Konishi, T., Takazawa, Y., Inoue, Y., Muto, T., Ishikawa, Y., Takahashi, S.
Recurrence 30 years after surgical resection of localized rectal neuroendocrine tumor.
Intern. Med., 2017. 56(12): 1521-1525

20. Shimada, Y., Kameyama, H., Nagahashi, M., Ichikawa, H., Muneoka, Y., Yagi, R., Tajima, Y., Okamura, T., Nakano, M., Sakata, J., Kobayashi, T., Nogami, H., Maruyama, S., Takii, Y., Hayashida, T., Takaishi, H., Kitagawa, Y., Oki, E., Konishi, T., Ishida, F., Kudo, S. E., Ring, J. E., Protopopov, A., Lyle, S., Ling, Y., Okuda, S., Ishikawa, T., Akazawa, K., Takabe, K., Wakai, T.
Comprehensive genomic sequencing detects important genetic differences between right-sided and left-sided colorectal cancer.
Oncotarget, 2017. 8(55): 93567-93579

21. Takatsu, Y., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Short- and long-term outcomes of laparoscopic total mesenteric excision for neuroendocrine tumors of the rectum.
Dis. Colon. Rectum, 2017. 60(3): 284-289

22. Tamakoshi, A., Nakamura, K., Ukawa, S., Okada, E., Hirata, M., Nagai, A., Matsuda, K., Kamatani, Y., Muto, K., Kiyohara, Y., Yamagata, Z., Ninomiya, T., Kubo, M., Nakamura, Y., Collaborators, Ono, W., Harada, H., Kawamoto, S., Shinozaki, N., Minami, S., Yamada, T., Suzuki, H., Sakamoto, K., Kaneko, K., Ohba, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Shimizu, T., Naka, S., Koretsune, Y., Sekimoto, M., Kokuto, H.
Characteristics and prognosis of Japanese colorectal cancer patients: The BioBank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S36-s42

23. Tanaka, N., Mashima, T., Mizutani, A., Sato, A., Aoyama, A., Gong, B., Yoshida, H., Muramatsu, Y., Nakata, K., Matsuura, M., Katayama, R., Nagayama, S., Fujita, N., Sugimoto, Y., Seimiya, H.
APC mutations as a potential biomarker for sensitivity to tankyrase inhibitors in colorectal cancer.
Mol. Cancer Ther., 2017. 16(4): 752-762

24. Tanaka, M., Kanemitsu, Y., Ueno, H., Kobayashi, H., Konishi, T., Ishida, F., Yamaguchi, T., Hinoi, T., Inoue, Y., Tomita, N., Ishida, H., Sugihara, K.
Prognostic impact of hospital volume on familial adenomatous polyposis: a nationwide multicenter study.
Int. J. Colorectal Dis., 2017. 32(10): 1489-1498

25. Tokunaga, R., Akiyoshi, T., Hiyoshi, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Laparoscopic resection of a tumor in the ischiorectal fossa - a video vignette.
Colorectal Dis., 2017. 19(8): 787-788

26. Ukawa, S., Okada, E., Nakamura, K., Hirata, M., Nagai, A., Matsuda, K., Yamagata, Z., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Kiyohara, Y., Muto, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Harada, H., Kaneko, K., Matsumoto, S., Shiono, M., Minami, S., Yoshida, H., Taniai, N., Watanabe, S., Fujiwara, N., Yamakata, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Yasumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Naka, S., Endo, Y., Koretsune, Y., Mita, E., Morimoto, K.
Characteristics of patients with liver cancer in the BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S43-s48

27. Ukawa, S., Nakamura, K., Okada, E., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Muto, K., Matsuda, K., Ninomiya, T., Kiyohara, Y., Kamatani, Y., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Murai, I., Takatama, K., Nabeshima, Y., Misumi, K., Minami, S., Kondo, Y., Kimura, G., Horie, S., Ohba, S., Ikeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Okamoto, K., Kageyama, S., Koretsune, Y., Nishigaki, Y., Yoshida, T.
Clinical and histopathological characteristics of patients with prostate cancer in the BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S65-s70

28. Watanabe, G., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Laparoscopic dissection of Merkel cell carcinoma recurrence at the pelvic lymph node.
Asian J. Endosc. Surg., 2017. 10(4): 427-429

29. Yamadera, M., Ueno, H., Kobayashi, H., Konishi, T., Ishida, F., Yamaguchi, T., Hinoi, T., Inoue, Y., Kanemitsu, Y., Tomita, N., Ishida, H., Sugihara, K.
Current status of prophylactic surgical treatment for familial adenomatous polyposis in Japan.
Surg. Today, 2017. 47(6): 690-696

30. Yamaguchi, T., Konishi, T., Kinugasa, Y., Yamamoto, S., Akiyoshi, T., Okamura, R., Ito, M., Nishimura, Y., Shiozawa, M., Yamaguchi, S., Hida, K., Sakai, Y., Watanabe, M.
Laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for locally advanced low rectal cancer: A subgroup analysis of a large multicenter cohort study in Japan.
Dis. Colon. Rectum, 2017. 60(9): 954-964

31. Yamamoto, S., Hinoi, T., Niitsu, H., Okajima, M., Ide, Y., Murata, K., Akamoto, S., Kanazawa, A., Nakanishi, M., Naitoh, T., Kanehira, E., Shimamura, T., Suzuka, I., Fukunaga, Y., Yamaguchi, T., Watanabe, M.
Influence of previous abdominal surgery

on surgical outcomes between laparoscopic and open surgery in elderly patients with colorectal cancer: subanalysis of a large multicenter study in Japan.
J. Gastroenterol., 2017. 52(6): 695-704

32. Yokomichi, H., Noda, H., Nagai, A., Hirata, M., Tamakoshi, A., Kamatani, Y., Kiyohara, Y., Matsuda, K., Muto, K., Ninomiya, T., Kubo, M., Nakamura, Y., Yamagata, Z., Collaborators, Misumi, K., Iha, K., Matsubayashi, S., Matsuura, K., Minami, S., Sugihara, H., Kodani, E., Tamura, N., Matsushita, M., Gotoh, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Matsumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ugi, S., Maegawa, H., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Okamura, M.
Cholesterol levels of Japanese dyslipidaemic patients with various comorbidities: BioBank Japan.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S77-s83

33. Yokomichi, H., Nagai, A., Hirata, M., Kiyohara, Y., Muto, K., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kamatani, Y., Tamakoshi, A., Kubo, M., Nakamura, Y., Yamagata, Z., Collaborators, Matsu-Bayashi, S., Harada, H., Misumi, K., Komi, R., Minami, S., Sugihara, H., Emoto, N., Kanazawa, A., Suzuki, Y., Hiratsuka, Y., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ugi, S., Maekawa, H., Koretsune, Y., Taki, H., Osawa, Y.
Serum glucose, cholesterol and blood pressure levels in Japanese type 1 and 2 diabetic patients: BioBank Japan.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S92-s97

34. Yokomichi, H., Nagai, A., Hirata, M., Tamakoshi, A., Kiyohara, Y., Kamatani, Y., Muto, K., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Yamagata, Z., Collaborators, Misumi, K., Higa, N., Matsubayashi, S., Matsuura, K., Minami, S., Sugihara, H., Emoto, N., Ohmura, H., Inui, A., Ogasawara, M., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ugi, S., Maegawa, H., Karetsune, Y., H., K., Ueyama, M.
Statin use and all-cause and cancer mortality: BioBank Japan cohort.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S84-s91

35. Yokomichi, H., Nagai, A., Hirata, M., Kiyohara, Y., Muto, K., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kamatani, Y., Tamakoshi, A., Kubo, M., Nakamura, Y., Yamagata, Z., Collaborators, Harad, H., Matsubayashi, S., Komi, R., Misumi, K., Minami, S., Sugihara, H., Kodani, E., Kanazawa, A., Gotoh, H., Haruna, H., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Msumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ugi, S., Araki, S., Koretsune, Y., Taki, H., Nakagawa, T.
Survival of macrovascular disease, chronic kidney disease, chronic respiratory disease, cancer and smoking in patients with type 2 diabetes: BioBank Japan cohort.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S98-s106

36. 三城弥範 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
S 状結腸癌異時性限局性腹膜播種に対して腹腔鏡下切除を施行した 1 例 .
手術 , 2017. 71(1): 105-108

37. 三城弥範 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
遠隔転移を有する大腸癌に対する治療戦略 .
癌の臨床 , 2017. 63(6): 489-495

38. 上野雅資 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介
外科医を育てる ![第 10 回] がん研有明病院における大腸外科レジデントの指導 .
外科 , 2017. 79(13): 1379-1382

39. 千野晶子，斎藤彰一，高松学，上野雅資，田顔夫佑樹，井出大資，為我井芳郎，五十嵐正広，河内洋，山本智理子
消化管内分泌細胞腫瘍の新知見：直腸 NET G1 の転移例．
胃と腸，2017. 52(4): 469-476

40. 南宏典，小西毅，福岡宏倫，宮成淳，村橋賢，福留惟行，鈴木紳祐，牛込創，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
進行直腸癌に対する術前短期放射線療法後の腹腔鏡下手術の安全性に関する検討．
癌と化学療法，2017. 44(12): 1506-1508

41. 宮成淳，長嵜寿矢，南宏典，福岡宏倫，村橋賢，鈴木紳祐，牛込創，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
化学療法無効卵巣転移を伴う横行結腸癌に対し手術施行後化学療法を再開し得た 1 例．
癌と化学療法，2017. 44(12): 1526-1528

42. 小西毅
直腸癌（Rb T3N0）に対してどのような治療を選択する？：術前治療 vs 側方郭清：術前治療の立場から．
消化器外科，2017. 40(13): 1825-1836

43. 小西毅，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，佐野武，山口俊晴
直腸癌側方転移の診断と治療：治療・手術 術前化学放射線療法と側方郭清．
外科，2017. 79(6): 525-531

44. 小西毅
誌上ディベート（第 5 回）直腸癌（Rb、T3N0）に対してどのような治療を選択する？術前治療 vs. 側方郭清 術前治療の立場から．
消化器外科，2017. 40(13): 1826-1832

45. 山口俊晴監修，上野雅資編集
がん研スタイル がんの標準手術：結腸癌・直腸がん．
東京，メジカルビュー社，: 170p., 2017

46. 武田泰裕，長嵜寿矢，福岡宏倫，小倉淳司，三城弥範，日吉幸晴，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
腹腔鏡下回盲部切除を施行した虫垂子宮内膜症による虫垂重積の 1 例．
日本大腸肛門病学会雑誌，2017. 70(7): 463-468

47. 比企直樹，小西毅，石沢武彰編集
がん研べからず集：ビデオでみるトラブルシューティング．
東京，南江堂：130p., 2017

48. 牛込創，藤本佳也，鈴木紳祐，南宏典，宮成淳，村橋賢，福岡宏倫，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資，千野晶子，五十嵐正広
直腸 Laterally Spreading Tumor 病変に対して内視鏡的切除施行後 pTis であったが 2 年後にリンパ節再発を来した 1 例．
癌と化学療法，2017. 44(12): 1562-1564

49. 牛込創，秋吉高志，長嵜寿也，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
究極のこだわり　直腸癌に対する腹腔鏡下手術：放射線化学療法後の腹腔鏡下直腸癌手術．
消化器外科，2017. 40(13): 1801-1808

50. 福岡宏倫，長嵜寿矢，三城弥範，日吉幸晴，小倉淳司，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，高松学，上野雅資
Pagetoid spread を伴う肛門管腺癌に対して術前全身化学療法と化学放射線療法を行い pCR が得られた 1 例．
日本大腸肛門病学会雑誌，2017. 70(2): 81-87

51. 福田雄三，福長洋介，長嵜寿矢，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，上野雅資
術前 Imatinib 投与後に切除し、pCR であった直腸 GIST の 1 例．
日本大腸肛門病学会雑誌，2017. 70(7): 457-462

52. 福長洋介，上野雅資，藤本佳也，小西毅，秋吉高志，長嵜寿矢
高齢者・超高齢者消化管癌の内視鏡治療：大腸癌　外科的治療の適応と実際．
臨床消化器内科，2017. 32(6): 721-725

53. 福長洋介監修
最新大腸がん治療 “納得して自分で決める” ための完全ガイド
東京 , 主婦と生活社 : 159p., 2017

54. 秋吉高志 , 森誠一
全エクソンシークエンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定 .
大和証券ヘルス財団研究業績集 , 2017(40): 56-58

55. 秋吉高志
電気メスを中心とした S 状結腸切除手術手技について .
日本内視鏡外科学会雑誌 , 2017. 22(7): ES2-1

56. 鈴木紳祐 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
小腸転移による腸重積症をきたした若年性骨肉腫の 1 例 .
日本大腸肛門病学会雑誌 , 2017. 70(7): 452-456

肝胆膵外科

1. Ichida, H., Ishizawa, T., Tanaka, M., Terasawa, M., Watanabe, G., Takeda, Y., Matsuki, R., Matsumura, M., Hata, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Use of intercostal trocars for laparoscopic resection of subphrenic hepatic tumors.
Surg. Endosc., 2017. 31(3): 1280-1286

2. Inoue, Y., Saiura, A., Ishizawa, T., Takahashi, Y.
Wide applicability and various advantages of supracolic anterior artery-first approach in pancreatoduodenectomy.
Ann. Surg., 2017. 265(6): E82-E83

3. Ishizawa, T., Lim, C., Kokudo, N.
Reply to “Liver malignancies in segment VII: The role of robot-assisted surgery” .
Ann. Surg., 2017. 265(6): E81

4. Keller, D. S., Ishizawa, T., Cohen, R., Chand, M.
Indocyanine green fluorescence imaging in colorectal surgery: overview, applications, and future directions.
Lancet Gastroenterol. Hepatol., 2017. 2(10): 757-766

5. Miyata, Y., Ishizawa, T., Kamiya, M., Yamashita, S., Hasegawa, K., Ushiku, A., Shibahara, J., Fukayama, M., Urano, Y., Kokudo, N.
Intraoperative imaging of hepatic cancers using gamma-glutamyltranspeptidase-specific fluorophore enabling real-time identification and estimation of recurrence.
Sci. Rep., 2017. 7(1): 3542

6. Ohishi, T., Yoshida, H., Katori, M., Migita, T., Muramatsu, Y., Miyake, M., Ishikawa, Y., Saiura, A., Iemura, S., Natsume, T., Seimiya, H.
Tankyrase-binding protein TNKS1BP1 regulates actin cytoskeleton rearrangement and cancer cell invasion.
Cancer Res., 2017. 77(9): 2328-2338

7. Ono, Y., Saiura, A., Arita, J., Takahashi, Y., Takahashi, M., Inoue, Y.
Short-term outcomes after simultaneous colorectal and major hepatic resection for synchronous colorectal liver metastases.
Dig. Surg., 2017. 34(6): 447-454

8. Sakamoto, T., Saiura, A., Ono, Y., Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Ito, H.
Optimal lymphadenectomy for duodenal adenocarcinoma: Does the number alone matter?
Ann. Surg. Oncol., 2017. 24(11): 3368-3375

9. Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Tanakura, K., Ito, H., Saiura, A.
Distal pancreatectomy with celiac axis resection combined with reconstruction of the left gastric artery.
J. Gastrointest. Surg., 2017. 21(5): 910-917

10. Sato, T., Arita, J., Inoue, Y., Koga, R., Takahashi, Y., Saiura, A.
Index of convexity: A novel method for assessing liver functional reserve using technetium-99m-galactosyl human serum albumin liver scintigraphy.
Biosci. Trends, 2017. 11(3): 333-339

11. Shigematsu, Y., Kanda, H., Konishi, T., Takazawa, Y., Inoue, Y., Muto, T., Ishikawa, Y., Takahashi, S.
Recurrence 30 years after surgical resection of localized rectal neuroendocrine tumor.
Intern. Med., 2017. 56(12): 1521-1525

12. Takahashi, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
The usefulness of patch repair using the repermeabilized umbilical vein of the round ligament for hepatobiliary malignancies.
World J. Surg., 2017. 41(11): 2813-2816

13. Takeda, Y., Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Mise, Y., Matsumura, M., Ichida, H., Matsuki, R., Tanaka, M., Ito, H.
Asymptomatic pancreatic cancer: Does incidental detection impact long-term outcomes?
J. Gastrointest. Surg., 2017. 21(8): 1287-1295

14. Takemura, N., Saiura, A., Koga, R., Yamamoto, J., Yamaguchi, T.
Risk factors for and management of post-pancreatectomy hepatic steatosis.
Scand. J. Surg., 2017. 106(3): 224-229

15. Terasawa, M., Ishizawa, T., Mise, Y., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Applications of fusion-fluorescence imaging using indocyanine green in laparoscopic hepatectomy.
Surg. Endosc., 2017. x31(12): 5111-5118

16. 上田和彦 , 平塚真生子 , 松枝清 , 高澤豊 , 笹平直樹 , 齋浦明夫 , 田中榮司 , 宮川眞一
混合型肝癌をめぐる混乱の終焉を目指して：混合型肝癌 [ICD-0 code 8180/3（WHO2010）] の画像診断 .
肝・胆・膵 , 2017. 74(5): 761-767

17. 井上陽介 , 齋浦明夫
消化器癌手術に必要な拡大視による局所微細解剖アトラス：Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery　Central vascular ligation に基づいた SMA 周囲郭清 .
手術 , 2017. 71(4): 673-684

18. 井上陽介 , 齋浦明夫
百花繚乱！エネルギーデバイスを使いこなす：術式別　デバイスの選択と活用法膵頭十二指腸切除術 .
臨床外科 , 2017. 72(5): 597-603

19. 井上陽介 , 齋浦明夫
膵癌への挑戦：膵癌に対するより根治度の高い膵切除術とは .
Pharma Medica, 2017. 35(1): 39-45

20. 入江彰一 , 石沢武彰 , 齋浦明夫
FOCUS 消化器外科における蛍光ガイド手術の可能性　肝胆道領域への臨床応用 .
臨床外科 , 2017. 72(12): 1365-1370

21. 比企直樹 , 小西毅 , 石沢武彰編集
がん研べからず集：ビデオでみるトラブルシューティング .
東京 , 南江堂：130p., 2017

22. 水野智哉 , 齋浦明夫
膵癌術前診断・治療の新展開：膵癌切除可能性と術式決定に必要な画像診断 .
消化器・肝臓内科 , 2017. 1(6): 586-592

23. 石沢武彰 , 三瀬祥弘 , 佐藤崇文 , 齋浦明夫
外科の近未来 -1,000 号記念：ナビゲーション手術の近未来 .
外科 , 2017. 79(11): 1048-1052

24. 石沢武彰 , 中瀬古裕一 , 齋浦明夫
急性胆嚢炎に対する最新のマネージメント：蛍光イメージング下胆嚢摘出術の実際とコツ .
胆と膵 , 2017. 38(10): 1187-1191

25. 高橋祐 , 齋浦明夫
外科医が知っておくべき pivotal study [第 4 回] 膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除 , 標準郭清と拡大郭清の無作為比較試験 .
外科 , 2017. 79(6): 559-563

26. 齋藤明夫 , 赤松延久
膵癌手術におけるリンパ節・神経叢郭清の意義とベストプラクティス　過不足のないリンパ節・神経叢郭清と、早期の回復を担保した R0 切除がベスト .
日本医事新報 , 2017(4857): 57

乳腺内科

1. Abe, T., Fukada, I., Shiga, T., Morizono, H., Ikebata, K., Shibayama, T., Kobayashi, K., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
A case of recurrent breast cancer identified by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 620-626

2. Araki, K., Fukada, I., Yanagi, H., Kobayashi, K., Shibayama, T., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ohno, S., Ito, Y.
First report of eribulin in combination with pertuzumab and trastuzumab for advanced HER2-positive breast cancer.
Breast, 2017. 35: 78-84

3. Baselga, J., Im, S. A., Iwata, H., Cortes, J., De Laurentiis, M., Jiang, Z., Arteaga, C. L., Jonat, W., Clemons, M., Ito, Y., Awada, A., Chia, S., Jagiello-Gruszfeld, A., Pistilli, B., Tseng, L. M., Hurvitz, S., Masuda, N., Takahashi, M., Vuylsteke, P., Hachemi, S., Dharan, B., Di Tomaso, E., Urban, P., Massacesi, C., Campone, M.
Buparlisib plus fulvestrant versus placebo plus fulvestrant in postmenopausal, hormone receptor-positive, HER2-negative, advanced breast cancer (BELLE-2): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2017. 18(7): 904-916

4. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The early onset of peripheral neuropathy might be a robust predictor for time to treatment failure in patients with metastatic breast cancer receiving chemotherapy containing paclitaxel.
PLoS One, 2017. 12(9): e0184322

5. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Ohno, S., Toi, M.
Outcomes of fulvestrant therapy among Japanese women with advanced breast cancer: a retrospective multicenter cohort study (JBCRG-C06; Safari).
Breast Cancer Res. Treat., 2017. 163(3): 545-554

6. Sugihara, T., Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Gomi, N., Ito, Y., Hatake, K., Sata, N.
Bone metastases from breast cancer: associations between morphologic CT patterns and glycolytic activity on PET and bone scintigraphy as well as explorative search for influential factors.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(10): 719-725

7. Takahashi, S., Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Ito, Y., Oda, H., Kajitani, T., Kakizume, T., Tajima, T., Takeuchi, H., Maacke, H., Esaki, T.
LJM716 in Japanese patients with head and neck squamous cell carcinoma or HER2-overexpressing breast or gastric cancer.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 79(1): 131-138

8. Tanabe, M., Fukuda, T., Ito, Y.
The position of combination chemotherapy with mitomycin C and methotrexate in the

treatment of metastatic breast cancer – Especially triple negative breast cancer.
Oncomedicine, 2017. 2: 126-134

9. Watanabe, J., Ito, Y., Ohsumi, S., Mizutani, M., Tashiro, H., Sakurai, K., Takahashi, M., Saito, T., Tsurutani, J., Mukai, H., Yoshinami, T., Takao, S., Yamamoto, Y., Matsuoka, T., Iwase, H., Iwata, H., Nakamura, S., Saeki, T.
Safety and effectiveness of eribulin in Japanese patients with locally advanced or metastatic breast cancer: a post-marketing observational study.
Invest. New Drugs., 2017. 35(6): 791-799

10. Watanabe, J., Ito, Y., Saeki, T., Masuda, N., Takano, T., Takao, S., Nakagami, K., Tsugawa, K., Nakagawa, S., Kanatani, K., Nakayama, T.
Safety evaluation of trastuzumab emtansine in Japanese patients with HER2-positive advanced breast cancer.
In Vivo, 2017. 31(3): 493-500

11. Yokoe, T., Fukada, I., Kobayashi, K., Shibayama, T., Miyagi, Y., Yoshida, A., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Cystoid macular edema during treatment with paclitaxel and bevacizumab in a patient with metastatic breast cancer: A case report and literature review.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 605-612

12. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 小林心
HER2 equivocal であったが、抗 HER2 療法が奏効した 1 例 .
Cancer Board of the Breast, 2017. 3(1): 5-14

13. 伊藤良則
Chapter 1 乳がんの治療 01 治療計画：転移・再発時における治療のポイント / 治療計画 .
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子 , 矢形寛編集）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.87-91, 2017

14. 伊藤良則
Chapter 3 乳がんの治療 04 化学療法 .
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子 , 矢形寛編集）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.105-115, 2017

15. 伊藤良則
新規薬剤：新しい標的　PI3K 阻害薬 .
腫瘍内科 , 2017. 19(6): 681-686

16. 小林心 , 横江隆道 , 吉田淳 , 鈴木美智子 , 深田一平 , 山口研成
Cancer Board Conference (case1) パクリタキセルによる黄斑浮腫を認めた乳がんの 1 例 .
Cancer Board Square, 2017. 3(2): 185-202

17. 平良眞一郎 , 伊藤良則
第Ⅱ章レジメン別プロのコツ 1 。薬物療法⑮ Ifosfamide 乳腺悪性葉状腫瘍および軟部肉腫の再発例に対して .
乳がん薬物療法副作用マネジメント：プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メフィカルレビュー社 : pp.79-80, 2017

18. 柴山朋子 , 伊藤良則 , 大野真司
乳癌学 - 最新の診断と治療：乳癌の治療　早期乳癌、転移・再発乳癌の治療戦略 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 3 乳癌学）: 283-288

19. 柴山朋子 , 伊藤良則 , 大野真司
先進医療　乳がん・婦人科系のがん：先進医療（乳がん）原発性乳がんに対する「術後ホルモン療法および S-1 内服投与の併用療法」について .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2017. 25: 35-38

20. 武田美鈴 , 伊藤良則
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A:　ズバリ！薬物療法 Q&A まずはおさえておきたい注目ワード　モノクローナル抗体　モノクローナル抗体に薬を運ばせてがん細胞を攻撃する治療法があるそうですね。どのような薬なのですか？
ナーシング , 2017. 37(2): 13-14

21. 武田美鈴 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 新井正美 , 小口正彦 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 大野真司
術前に Li-Fraumeni 症候群と診断し、放射線療法の適応について検討した若年乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 413-419

22. 深田一平 , 大野真司
Advanced Care Planning と緩和医療 .
これからの乳癌診療 2017-2018（福田護ほか編集）, 東京 , 金原出版 : pp.156-160, 2017

23. 深田一平
第 III 章副作用症状別プロのコツ②消化器 : 食欲不振、悪心・嘔吐 : 使用する抗がん剤のリスクに応じた制吐薬の予防投与 .
乳がん薬物療法副作用マネジメント : プロのコツ（増田慎三編集）, 東京 , メディカルビュー社 : pp.161-166, 2017

24. 片岡明美 , 小林心 , 深田一平
第Ⅲ章　副作用症状別プロのコツ 2. 全身　⑤体重増加　浮腫が原因でなければ、肥満が原因。生活習慣を見直す .
乳がん薬物療法副作用マネジメント : プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.152-154, 2017

25. 福田貴代 , 伊藤良則
第Ⅱ章　レジメン別プロのコツ 1. 薬物療法　⑭ Mitomycin C (MMC) + Methotrexate (MTX) 療法 .
乳がん薬物療法副作用マネジメント : プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.77-78, 2017

26. 荒木和浩 , 吉良亜矢子 , 三好康雄
Advanced care planning と緩和医療 .
エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック 2017（大津敦監修）, 東京 , メディカルレビュー社 : pp.261-263, 2017

27. 荒木和浩 , 宮川義仁 , 三好康雄
Fulvestrant.
エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック 2017（大津敦監修）, 東京 , メディカルレビュー社 : pp.251-253, 2017

28. 荒木和浩 , 三好康雄
Precision Medicine と乳癌 .
これからの乳癌診療 2017-2018（福田護ほか編集）, 東京 , 金原出版 : pp.109-122, 2017

乳腺外科

1. Abe, T., Fukada, I., Shiga, T., Morizono, H., Ikebata, K., Shibayama, T., Kobayashi, K., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
A case of recurrent breast cancer identified by pulmonary tumor thrombotic micaroangiopathy.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 620-626

2. Arai, M., Yoshida, R., Nomura, H., Kitagawa, D., Nakashima, E., Takeshima, N., Iwase, T., Ohno, S.
Clinical practice for hereditary breast and ovarian cancer (HBOC) in Japan.
Juntendo Med. J., 2017. 63(5): 340-343

3. Cardoso, F., Costa, A., Senkus, E., Aapro, M., Andre, F., Barrios, C. H., Bergh, J., Bhattacharyya, G., Biganzoli, L., Cardoso, M. J., Carey, L., Corneliussen-James, D., Curigliano, G., Dieras, V., El Saghir, N., Eniu, A., Fallowfield, L., Fenech, D., Francis, P., Gelmon, K., Gennari, A., Harbeck, N., Hudis, C., Kaufman, B., Krop, I., Mayer, M., Meijer, H., Mertz, S., Ohno, S., Pagani, O., Papadopoulos, E., Peccatori, F., Pernault-Llorca, F., Piccart, M. J., Pierga, J. Y., Rugo, H., Shockney, L., Sledge, G., Swain, S., Thomssen, C., Tutt, A., Vorobiof, D., Xu, B., Norton, L., Winer, E.
3rd ESO-ESMO international consensus guidelines for Advanced Breast Cancer (ABC 3).
Breast, 2017. 31: 244-259

4. Cardoso, F., Costa, A., Senkus, E., Aapro, M., Andre, F., Barrios, C. H., Bergh, J., Bhattacharyya, G., Biganzoli, L., Cardo-

so, M. J., Carey, L., Corneliussen-James, D., Curigliano, G., Dieras, V., El Saghir, N., Eniu, A., Fallowfield, L., Fenech, D., Francis, P., Gelmon, K., Gennari, A., Harbeck, N., Hudis, C., Kaufman, B., Krop, I., Mayer, M., Meijer, H., Mertz, S., Ohno, S., Pagani, O., Papadopoulos, E., Peccatori, F., Pernault-Llorca, F., Piccart, M. J., Pierga, J. Y., Rugo, H., Shockney, L., Sledge, G., Swain, S., Thomssen, C., Tutt, A., Vorobiof, D., Xu, B., Norton, L., Winer, E.
3rd ESO-ESMO International Consensus Guidelines for Advanced Breast Cancer (ABC 3).
Ann. Oncol., 2017. 28(1): 16-33

5. Cardoso, F., Harbeck, N., Barrios, C. H., Bergh, J., Cortes, J., El Saghir, N., Francis, P. A., Hudis, C. A., Ohno, S., Partridge, A. H., Sledge, G. W., Smith, I. E., Gelmon, K. A.
Research needs in breast cancer.
Ann. Oncol., 2017. 28(2): 208-217

6. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The early onset of peripheral neuropathy might be a robust predictor for time to treatment failure in patients with metastatic breast cancer receiving chemotherapy containing paclitaxel.
PLoS One, 2017. 12(9): e0184322

7. Koga, C., Akiyoshi, S., Ishida, M., Nakamura, Y., Ohno, S., Tokunaga, E.
Chemotherapy-induced amenorrhea and the resumption of menstruation in premenopausal women with hormone receptor-positive early breast cancer.
Breast Cancer, 2017. 24(5): 714-719

9. Ogiya, A., Yamazaki, K., Horii, R., Shien, T., Horimoto, Y., Masuda, N., Inao, T., Hosoda, M., Ishida, N., Osako, T., Takahashi, M., Endo, Y., Miyoshi, Y., Yasojima, H., Tomioka, N., Yamashita, H.
Post-relapse survival in patients with the early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive HER2-negative breast cancer.
Breast Cancer, 2017. 24(3): 473-482

10. Oikawa, M., Igawa, A., Taguchi, K., Baba, K., Ishida, M., Akiyoshi, S., Yano, H., Nagayasu, T., Ohno, S., Tokunaga, E.
Cytogenetic analysis of metaplastic squamous cell carcinoma of the breast inter- and intratumoral heterogeneity.
Breast Cancer, 2017. 24(6): 733-741

11. Ono, H., Tanabe, M., Kimura, K., Miyagi, Y., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The management of contralateral axillary sentinel lymph nodes detected by lymphoscintigraphy in a patient of breast cancer that had never undergone breastrelated medical treatment.
Clin. Invest. (London), 2017. 7(1): 017-024

12. Osako, T., Iwase, T., Ushijima, M., Yonekura, R., Ohno, S., Akiyama, F.
A new molecular-based lymph node staging classification determines the prognosis of breast cancer patients.
Br. J. Cancer., 2017. 117(10): 1470-1477

13. Sakai, T., Iwase, T., Teruya, N., Kataoka, A., Kitagawa, D., Nakashima, E., Ogiya, A., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Oguchi, M., Ito, Y., Horii, R., Akiyama, F., Ohno, S.
Surgical excision without whole breast irradiation for complete resection of ductal carcinoma in situ identified using strict, unified criteria.
Am. J. Surg., 2017. 214(1): 111-116

14. Sato, K., Koyasu, M., Nomura, S., Sato, Y., Kita, M., Ashihara, Y., Adachi, Y., Ohno, S., Iwase, T., Kitagawa, D., Nakashima, E., Yoshida, R., Miki, Y., Arai, M.

Mutation status of RAD51C, PALB2 and BRIP1 in 100 Japanese familial breast cancer cases without BRCA1 and BRCA2 mutations.
Cancer Sci., 2017. 108(11): 2287-2294

15. Shimoyama, K., Osako, T., Mitsuhashi, T., Akiyama, F., Iwase, T.
Lesion size on ultrasonography predicts potential invasion in ductal carcinoma in situ preoperatively diagnosed by breast needle biopsy.
Acta Med. Okayama, 2017. 71(3): 233-240

16. Yokoe, T., Fukada, I., Kobayashi, K., Shibayama, T., Miyagi, Y., Yoshida, A., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Cystoid macular edema during treatment with paclitaxel and bevacizumab in a patient with metastatic breast cancer: A case report and literature review.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 605-612

17. 佐藤綾花 , 宮城由美 , 坂井威彦 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
多量のヘモジデリン沈着がマンモグラフィで石灰化様に描出されたと推測される一側多発乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(1): 51-57

18. 國分優美 , 五味直哉 , 大野真司
日常診療に役立つ超音波検査：各臓器の超音波検査：乳腺 .
臨床と研究 , 2017. 94(8): 939-944

19. 國分優美 , 五味直哉 , 大野真司
肺 CT で乳腺周辺に結節を認めた場合、精査はどうする？　マンモグラフィではなく超音波検査を勧める .
日本医事新報 , 2017(4846): 63-64

20. 坂井威彦
第Ⅲ章　副作用症状別プロのコツ 1. 全身　③筋肉痛・関節痛　タキサン系アロマターゼ阻害薬で高頻度に出現。NSAID s などでコントロールを .
乳がん薬物療法副作用マネジメント：プロのコツ（増田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.146-148, 2017

21. 大野真司
One-point Lesson（第 3 回）プレゼンテーションの行い方 .
Cancer Board of the Breast, 2017. 3(1): 61-63

22. 大野真司
乳癌のすべて：あらたな研究・診療体制 JBCRG のあらたな取組み　JBCRG の設立と経緯および臨床試験への取組み .
医学のあゆみ , 2017. 261(5): 572-576

23. 大野真司
外科診療におけるチーム医療の現況と展望：乳がん診療におけるチーム医療 .
日本外科学会雑誌 , 2017. 118(2): 173-178

24. 小野寿子 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 芦原有美 , 新井正美 , 岩瀬拓士 , 大野真司
一卵性双生児の姉の乳癌発症を契機に BRCA 遺伝学的検査を施行し、未発症変異保有者のサーベイランス中に乳房超音波検査で発見された乳癌の 1 例 .
家族性腫瘍 , 2017. 16(2): 33-37

25. 岩瀬拓士
それって「炎症性乳癌」としていいですか？ .
乳癌の臨床 , 2017. 32(4): 20

26. 岩間敬子 , 深田一平 , 小林心 , 宮本快介 , 柴山朋子 , 森園英智 , 吉田淳 , 辻英貴 , 高橋俊二 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
Paclitaxel と bevacizumab 併用療法中に認めた嚢胞様黄斑浮腫の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 429-433

27. 森園英智 , 大野真司
知っておきたい乳がん診療のエッセンス：治療編　外科的治療乳房切除術と乳房温存術 .
臨床外科 , 2017. 72(9): 1052-1057

28. 横江隆道 , 堀井理絵 , 北川大 , 中島絵里 , 大迫智 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 秋山太

腋窩腫瘤を契機に診断された同時性同側の主乳腺と副乳腺の重複乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(6): 501-509

29. 武田美鈴 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 新井正美 , 小口正彦 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 大野真司
術前に Li-Fraumeni 症候群と診断し、放射線療法の適応について検討した若年乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 413-419

30. 片岡明美 , 岩瀬拓士 , 大野真司
オンコロジーからみたがん・生殖医療の現状と問題点： オンコロジー各領域のがん・生殖医療の現状と問題点　乳癌 .
癌の臨床 , 2017. 63(3): 211-215

31. 片岡明美
挙児希望を有する乳癌患者に対するがん治療について .
乳がん患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療の手引き（日本癌・生殖医療学会編）, 東京 , 金原出版：pp.55-88, 2017

32. 片岡明美 , 小林心 , 深田一平
第Ⅲ章　副作用症状別プロのコツ 2. 全身　⑤ 体重増加　浮腫が原因でなければ、肥満が原因。生活習慣を見直す .
乳がん薬物療法副作用マネジメント：プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.152-154, 2017

33. 福田貴代 , 伊藤良則
第Ⅱ章　レジメン別プロのコツ 1. 薬物療法　⑭ Mitomycin C (MMC) + Methotrexate (MTX) 療法 .
乳がん薬物療法副作用マネジメント：プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.77-78, 2017

34. 荻谷朗子 , 大野真司
外科医が知っておくべき pivotal study [第 7 回] センチネルリンパ節転移陽性における郭清省略と郭清に差なし .
外科 , 2017. 79(9): 860-861

35. 荻谷朗子
手術ステップごとに理解する - 標準術式アトラス：乳腺乳房切除術 .
臨床外科 , 2017. 72(11): 333-337

36. 荻谷朗子
第Ⅱ章　レジメン別プロのコツ 3. 内分泌療法 Aromatase inhibitors (ANA, LET, EXE)： 骨粗鬆症に注意 -.
乳がん薬物療法副作用マネジメント：プロのコツ（福田慎三編集）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.109-111, 2017

37. 貴志美紀 , 大野真司
乳癌学：最新の診断と治療 -:　乳癌の治療　乳癌診療を支える医療　乳癌診療におけるこれからのチーム医療 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 3 乳癌学）: 443-446

38. 貴志美紀 , 岩瀬拓士
乳癌局所療法における手術の役割：皮膚温存乳房切除術（SSM）および乳頭温存乳房切除術（NSM）病理学的考察を含めて .
手術 , 2017. 71(3): 253-260

婦人科

1. Arai, M., Yoshida, R., Nomura, H., Kitagawa, D., Nakashima, E., Takeshima, N., Iwase, T., Ohno, S.
Clinical practice for hereditary breast and ovarian cancer (HBOC) in Japan.
Juntendo Med. J., 2017. 63(5): 340-343

2. Kanao, H., Aoki, Y., Hisa, T., Takeshima, N.
Total laparoscopic pelvic exenteration for a laterally recurrent cervical carcinoma with a vesicovaginal fistula that developed after concurrent chemoradiotherapy.
Gynecol. Oncol., 2017. 146(2): 438-439

3. Kanao, H., Aoki, Y., Kato, K., Matoda, M., Okamoto, S., Nomura, H., Omatsu, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Total laparoscopic resection surgery for a cervical carcinoma that recurred in the pel-

vic sidewall after radical hysterectomy and adjuvant concurrent chemoradiotherapy.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2017. 24(6): 899-900

4. Kato, K., Hisa, T., Matoda, M., Nomura, H., Kanao, H., Utsugi, K., Takeshima, N.
Extraction of a specimen through an umbilical zigzag incision during laparoscopic surgery for endometrial cancer.
World J. Surg. Oncol., 2017. 15(1): 110

5. Kitano, A., Ono, M., Yoshida, M., Noguchi, E., Shimomura, A., Shimoi, T., Kodaira, M., Yunokawa, M., Yonemori, K., Shimizu, C., Kinoshita, T., Fujiwara, Y., Tsuda, H., Tamura, K.
Tumour-infiltrating lymphocytes are correlated with higher expression levels of PD-1 and PD-L1 in early breast cancer.
ESMO Open, 2017. 2(2): e000150

6. Matsumoto, K., Yaegashi, N., Iwata, T., Yamamoto, K., Nagashima, M., Saito, T., Ushijima, K., Takahashi, F., Noda, K., Yoshikawa, H.
Early impact of the Japanese immunization program implemented before the HPV vaccination crisis.
Int. J. Cancer, 2017. 141(8): 1704-1706

7. Matsuo, K., Shimada, M., Aoki, Y., Sakamoto, M., Takeshima, N., Fujiwara, H., Matsumoto, T., Mikami, M., Sugiyama, T.
Comparison of adjuvant therapy for node-positive clinical stage IB-IIB cervical cancer: Systemic chemotherapy versus pelvic irradiation.
Int. J. Cancer, 2017. 141(5): 1042-1051

8. Matsuo, K., Omatsu, K., Ross, M. S., Johnson, M. S., Yunokawa, M., Klobocista, M. M., Im, D. D., Bush, S. H., Ueda, Y., Takano, T., Blake, E. A., Hasegawa, K., Baba, T., Shida, M., Satoh, S., Yokoyama, T., Machida, H., Adachi, S., Ikeda, Y., Iwasaki, K., Miyake, T. M., Yanai, S., Nishimura, M., Nagano, T., Takekuma, M., Takeuchi, S., Pejovic, T., Shahzad, M. M., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Roman, L. D.
Impact of adjuvant therapy on recurrence patterns in stage I uterine carcinosarcoma.
Gynecol. Oncol., 2017. 145(1): 78-87

9. Matsuo, K., Ross, M. S., Yunokawa, M., Johnson, M. S., Machida, H., Omatsu, K., Klobocista, M. M., Im, D. D., Satoh, S., Baba, T., Ikeda, Y., Bush, S. H., Hasegawa, K., Blake, E. A., Takekuma, M., Shida, M., Nishimura, M., Adachi, S., Pejovic, T., Takeuchi, S., Yokoyama, T., Ueda, Y., Iwasaki, K., Miyake, T. M., Yanai, S., Nagano, T., Takano, T., Shahzad, M. M. K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Roman, L. D.
Salvage chemotherapy with taxane and platinum for women with recurrent uterine carcinosarcoma.
Gynecol. Oncol., 2017. 147(3): 565-571

10. Matsuo, K., Ross, M. S., Bush, S. H., Yunokawa, M., Blake, E. A., Takano, T., Ueda, Y., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Yanai, S., Klobocista, M. M., Johnson, M. S., Machida, H., Hasegawa, K., Miyake, T. M., Nagano, T., Pejovic, T., Shahzad, M. M., Im, D. D., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Roman, L. D.
Tumor characteristics and survival outcomes of women with tamoxifen-related uterine carcinosarcoma.
Gynecol. Oncol., 2017. 144(2): 329-335

11. Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Kanao, H., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Sugiyama, Y., Takeshima, N.
Clinical course of node-positive squamous cell carcinoma of the vulva withour adjuvant radiotherapy.
J. Clin. Obstet. Gynecol. Infertil., 2017. 1(2): 1007

12. Nomura, H., Nagashima, M., Aoki, Y., Takeshima, N.
Resection of the inferior pubic ramus to completely remove locally advance adenoid cystic carcinoma of Bartholin' s gland.
Gynecol. Oncol., 2017. 147(3): 723-724

13. Satoh, T., Takamatsu, K., Takeshima, N., Kobayashi, H., Aoki, D., Suzuki, N.
Final report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology, on a fact-finding questionnaire on the status of treatment of hereditary breast and ovarian cancer syndrome in Japan.
J. ObstetGynaecol. Res., 2017. 43(9): 1377-1380

14. Sugiyama, T., Mizuno, M., Aoki, Y., Sakurai, M., Nishikawa, T., Ueda, E., Tajima, K., Takeshima, N.
A single-arm study evaluating bevacizumab, cisplatin, and paclitaxel followed by single-agent bevacizumab in Japanese patients with advanced cervical cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(1): 39-46

15. Takahashi, A., Matsuura, M., Matoda, M., Nomura, H., Okamoto, S., Kanao, H., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Clinicopathological features of early and late recurrence of endometrial carcinoma after surgical resection.
Int. J. Gynecol. Cancer, 2017. 27(5): 967-972

16. Takahashi, A., Kato, K., Matsuura, M., Katsuda, T., Matoda, M., Nomura, H., Okamoto, S., Kanao, H., Kondo, E., Omatsu, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Comparison of secondary cytoreductive surgery plus chemotherapy with chemotherapy alone for recurrent epithelial ovarian, tubal, or peritoneal carcinoma: A propensity score-matched analysis of 112 consecutive patients.
Medicine (Baltimore), 2017. 96(37): e8006

17. Tate, S., Kato, K., Nishikimi, K., Matsuoka, A., Shozu, M.
Survival and safety associated with aggressive surgery for stage III/IV epithelial ovarian cancer: A single institution observation study.
Gynecol. Oncol., 2017. 147(1): 73-80

18. 加藤一喜
卵巣癌の治療戦略「腫瘍減量術　完全摘出への挑戦」進行卵巣癌の治療戦略　PDS? それとも IDS?
日本婦人科腫瘍学会雑誌 , 2017. 35(2): 116-122

19. 宇津木久仁子
リンパ浮腫コントロール：制度面での問題点 .
Medical Rehabilitation, 2017. 214: 72-77

20. 宇津木久仁子
入門講座　リンパ浮腫のリハビリテーションリンパ浮腫外来の体制づくりや活動の実際 .
総合リハビリテーション , 2017. 45(2): 127-131

21. 宇津木久仁子 , 作田裕美
早期だから知っておきたい緩和ケア～つらい治療から生活の中の治療へ～：　早期にかかわる症状マネジメントの必須スキル　治療に取り組む力を維持するために　リンパ浮腫ケア　予防と悪化させないケア .
がん看護 , 2017. 22(4): 406-409

22. 宇津木久仁子監修
子宮がん・卵巣がん：より良い選択をするための完全ガイド .
東京 , 講談社：98p., 2017

23. 岡本三四郎 , 馬屋原健司 , 竹島信宏
子宮頸がんに対する放射線療法の展望子宮頸がんに対するシスプラチンとパクリタキセルの weekly 投与を併用した Concurrent chemo-radiotherapy（CCRT）の有用性について .

日本婦人科腫瘍学会雑誌 , 2017. 35(2): 139-145

24. 岡本修平 , 勝田隆博 , 松浦基樹 , 的田眞紀 , 加藤一喜 , 竹島信宏
両側卵巣に内膜症性嚢胞を背景に発症した同時性重複癌（類内膜癌、明細胞癌）の 1 例 .
東京産科婦人科学会会誌 , 2017. 66(1): 34-38

25. 岡本修平 , 岡本三四郎 , 杉原武 , 青木洋一 , 久毅 , 勝田隆博 , 長島稔 , 宇津木久仁子 , 杉山裕子 , 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体癌手術後に診断された類内膜腺癌と大細胞性神経内分泌癌の混合癌の 1 例 .
東京産科婦人科学会会誌 , 2017. 66(3): 483-489

26. 杉原武 , 金尾祐之 , 青木洋一 , 久毅 , 勝田隆博 , 長島稔 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 加藤一喜 , 竹島信宏
子宮頸癌腟壁再発に対し腹腔鏡補助下腟全摘出術を施行した 1 例 .
東京産科婦人科学会会誌 , 2017. 66(2): 212-217

27. 杉山裕子
がん転移学（上）がん転移のメカニズムと治療戦略：その基礎と臨床：がん転移学の基礎研究 がんの発生進展の分子機構　子宮体癌の分子機構 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 8 がん転移学;上）: 232-235

28. 的田眞紀 , 谷川輝美 , 竹島信宏
最新！婦人科がん薬物療法 - 化学療法薬から分子標的薬・免疫療法薬まで： 子宮頸がん子宮頸がん術後の補助化学療法は放射線治療と比較してどうか .
臨床婦人科産科 , 2017. 71(10): 960-966

29. 野村秀高 , 竹島信宏
HBOC 症候群の診断と治療の現況：当科における HBOC 診療の実際 .
癌と化学療法 , 2017. 44(2): 116-120

30. 野村秀高 , 竹島信宏
ガイドラインのすき間を埋める！臨床医マエストロの技： 婦人科領域　HBOC を疑う卵巣がん症例への対応は？
産婦人科の実際 , 2017. 66(11): 1497-1506

31. 野村秀高
手術計画 , 体位とセッティング：5. 極端な頭低位・頭高位に注意すべし .
がん研べからず集：ビデオでみるトラブルシューティング内視鏡手術編（山口俊晴監修 , 比企直樹 , 小西毅 , 石沢武彰編集）, 東京 , 南江堂：pp.13-14, 2017

32. 金尾祐之 , 竹島信宏
他科の匠の技を学ぼう！他診療科とのコラボレーション手術：腹腔鏡下骨盤内リンパ節郭清 .
消化器外科 , 2017. 40(11): 1551-1566

33. 金尾祐之
先進医療　乳がん・婦人科系のがん： 先進医療（子宮頸がん）　早期子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術 .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2017. 25: 14-17

34. 金尾祐之 , 竹島信宏
婦人科がん低侵襲治療の現状と展望 < 特別付録 web 動画 >:　卵巣がん , 外陰がん , 再発悪性腫瘍再発婦人科がんに対する腹腔鏡手術 .
臨床婦人科産科 , 2017. 71(3): 364-375

35. 金尾祐之 , 竹島信宏
広汎子宮全摘術を再考する　機能温存と根治性の探求腹腔鏡下広汎子宮全摘術 .
日本婦人科腫瘍学会雑誌 , 2017. 35(2): 146-154

36. 金尾祐之
腹腔鏡下広汎子宮全摘術（靭帯処理を主眼に）.
産婦人科手術スタンダード改訂第 2 版（日本産婦人科手術学会編）, 東京 , メジカルビュー社 : pp.242-259, 2017

37. 長島稔 , 尾松公平 , 勝田隆博 , 松浦基樹 , 野村秀高 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 金尾祐之 , 加藤

一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
当科における Pegfilgrastim 使用の現状 .
関東連合産科婦人科学会誌 , 2017. 54(4): 383-389

頭頸科

1. Fukushima, H., Kanazawa, T., Kawabata, K., Mitani, H., Yonekawa, H., Sasaki, T., Shimbashi, W., Seto, A., Kamiyama, R., Misawa, K., Asakage, T.
Indwelling voice prosthesis insertion after total pharyngolaryngectomy with free jejunal reconstruction.
Laryngoscope Investig. Otolaryngol., 2017. 2(1): 30-35

2. Iwae, S., Fujii, M., Hayashi, R., Hasegawa, Y., Fujii, T., Okami, K., Homma, A., Onitsuka, T., Kato, T., Ogawa, T., Terao, K., Monden, N., Otsuki, N., Nishino, H., Ota, I., Fujimoto, Y., Matsuura, K., Kawabata, K., Matsui, H., Yonezawa, K., Nibu, K. I.
Matched-pair analysis of patients with advanced hypopharyngeal cancer: surgery versus concomitant chemoradiotherapy.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(6): 1001-1008

3. Koizumi, M., Gokita, T., Toda, K.
Impending atypical femoral fracture in patients with medullary thyroid cancer with skeletal metastasis treated with long-term bisphosphonate and denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2017. 42(6): 463-464

4. Kondo, T., Sato, Y., Tanaka, H., Sasaki, T., Kawabata, K., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Shimbashi, W.
Two cases of ectopic hamartomatous thymoma masquerading as sarcoma.
Case Rep. Otolaryngol., 2017. 2017: 1672919

5. Matsumoto, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Shigaki, H., Kawabata, K., Yanaga, K., Sano, T.
Comparison of synchronous versus staged surgeries for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head-and-neck.
Dis. Esophagus, 2017. 30(1): 1-6

6. Nakano, K., Marshall, S., Taira, S., Sato, Y., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
A comparison of weekly paclitaxel and cetuximab with the EXTREME regimen in the treatment of recurrent/metastatic squamous cell head and neck carcinoma.
Oral Oncol., 2017. 73: 21-26

7. Nibu, K. I., Hayashi, R., Asakage, T., Ojiri, H., Kimata, Y., Kodaira, T., Nagao, T., Nakashima, T., Fujii, T., Fujii, H., Homma, A., Matsuura, K., Monden, N., Beppu, T., Hanai, N., Kirita, T., Kamei, Y., Otsuki, N., Kiyota, N., Zenda, S., Omura, K., Omori, K., Akimoto, T., Kawabata, K., Kishimoto, S., Kitano, H., Tohnai, I., Nakatsuka, T.
Japanese clinical practice guideline for head and neck cancer.
Auris Nasus Larynx, 2017. 44(4): 375-380

8. Shinozaki, T., Ebihara, M., Iwase, S., Yamaguchi, T., Hirakawa, H., Shimbashi, W., Kamijo, T., Okamoto, M., Beppu, T., Ohori, J., Matsuura, K., Suzuki, M., Nishino, H., Sato, Y., Ishiki, H.
Quality of life and functional status of terminally ill head and neck cancer patients: a nation-wide, prospective observational study at tertiary cancer centers in Japan.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(1): 47-53

9. Tahara, M., Kiyota, N., Yamazaki, T., Chayahara, N., Nakano, K., Inagaki, L., Toda, K., Enokida, T., Minami, H., Imamura, Y., Sasaki, T., Suzuki, T., Fujino, K., Dutcus, C. E., Takahashi, S.
Lenvatinib for anaplastic thyroid cancer.
Front. Oncol., 2017. 7: 25

10. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Sato, Y., Sasaki, T., Kawabata, K., Igarashi, M.
Efficacy of double-scope endoscopic submucosal dissection and long-term outcomes of endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.
Dig. Endosc., 2017. 29(2): 152-159

11. 三谷浩樹
頭頸部悪性腫瘍の疑問に答える： 診断　専門病院に紹介する場合、どこまで検査を進めておくことが望ましいですか？
JOHNS, 2017. 33(9): 1128-1130

12. 三谷浩樹
頭頸部癌の外科治療（低浸襲・機能温存）中咽頭癌　Pull-through 法による中咽頭側壁切除術 .
頭頸部癌学 ：診断と治療の最新研究動向（日本臨床 75 巻増刊 2：通巻第 1116 号）, 2017: 337-346

13. 佐々木徹
上咽頭疾患とその周辺：上咽頭腫瘍上咽頭癌における手術療法 .
JOHNS, 2017. 33(11): 1592-1594

14. 佐々木徹
頭頸部悪性腫瘍の疑問に答える： 治療選択骨破壊を伴う鼻副鼻腔癌の切除範囲の決め方を教えてください .
JOHNS, 2017. 33(9): 1221-1224

15. 小幡和史 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 蛯名彩 , 神山亮介 , 日高竜太 , 近藤貴仁 , 上里迅 , 服部雅優 , 氷見徹夫
上咽頭癌における Epstein-Barr virus 関連の有無と予後因子 .
日本耳鼻咽喉科学会会報 , 2017. 120: 1318-1327

16. 川端一嘉
実地医家に必要ながん学 - 基本的最新の知識と必要な実地診療のすべて：主ながんの診断と治療の実際　咽・喉頭がん .
Medical Practice, 2017. 34(臨増): 128-134

17. 川端一嘉
頭頸部癌の外科治療（低浸襲･機能温存）下咽頭･頚部食道癌　　下咽頭・頚部食道癌に対する喉頭温存手術 .
頭頸部癌学 ：診断と治療の最新研究動向（日本臨床 75 巻増刊 2：通巻第 1116 号）, 2017: 347-352

18. 新橋渉
頭頸部悪性腫瘍の疑問に答える：手術手技　頚部転移進行例に対する頚部郭清術について教えてください .
JOHNS, 2017. 33(9): 1279-1281

19. 瀬戸陽 , 三谷浩樹
外科医が知っておくべき最新の集中治療管理：定型的な外科的気管切開法 .
外科 , 2017. 79(1): 21-25

20. 瀬戸陽 , 福島啓文
耳鼻咽喉科疾患と生活指導 - 予防とセルフケア：耳鼻咽喉科疾患に対する生活指導・予防・セルフケア　気管切開術後 .
JOHNS, 2017. 33(8): 1046-1048

21. 由雄敏之 , 土田知宏 , 石山晃世志 , 大前雅実 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 藤崎順子 , 佐藤由紀子 , 佐々木徹 , 川端一嘉 , 五十嵐正広
Double-scope ESD の有効性と表在型咽頭癌に対する内視鏡的切除の治療成績 .
Gastroenterological Endoscopy, 2017. 59(12): 2750-2759

22. 福島啓文
喉頭摘出後の代用音声 .
頭頸部癌学 ：診断と治療の最新研究動向（日本臨床 75 巻増刊 2：通巻第 1116 号）, 2017: 533-538

23. 福島啓文
頭頸部悪性腫瘍の疑問に答える：治療後の対応代用音声の将来について教えてください .
JOHNS, 2017. 33(9): 1343-1344

24. 蛯名彩
甲状腺未分化癌の治療 .
頭頸部癌学 : 診断と治療の最新研究動向（日本臨床 75 巻増刊 2 : 通巻第 1116 号）, 2017: 575-580

25. 関水真理子 , 新橋渉 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 瀬戸陽 , 北野睦三 , 小泉雄 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 足立充隆 , 佐藤由紀子 , 高橋俊二
当院における嗅神経芽細胞腫 31 症例の検討 .
頭頸部癌 , 2017. 43(1): 8-12

整形外科

1. Ae, K., Matsumoto, S., Shimoji, T., Tanizawa, T., Gokita, T.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2017. 19: 156-169

2. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Motoi, N.
Two-stage surgery on pregnant woman with a giant cell tumor of bone who refused blood transfusion: A case report.
J. Orthop. Sci., 2017. 22(1): 169-172

3. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Miyawaki, J., Shibata, H., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R.
A 17-year-old female, osteosarcoma of the left proximal femur.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2017. 19: 122-131

4. Kito, M., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Takazawa, Y.
Multicentric giant cell tumor of bone: Case series of 4 patients.
J. Orthop. Sci., 2017. 22(6): 1107-1111

5. Kito, M., Matusmoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Kobayashi, H., Hayakawa, K., Funauchi, Y.
Pulmonary metastasis from giant cell tumor of bone: clinical outcome prior to the introduction of molecular target therapy.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(6): 529-534

6. Koizumi, M., Gokita, T., Toda, K.
Impending atypical femoral fracture in patients with medullary thyroid cancer with skeletal metastasis treated with long-term bisphosphonate and denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2017. 42(6): 463-464

7. Li, J., Motoi, N., Kanda, H., Sugiura, Y., Nagano, H., Yonese, J., Okumura, S., Matsumoto, S., Machinami, R., Ishikawa, Y.
A newly emerged osteosarcomatous dedifferentiation of liposarcoma in lung metastasis - a potential diagnostic pitfall.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 50-52

8. Miyawaki, J., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Kanno, S., Shibata, H., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 41-year-old female, myxoid liposarcoma of right lower leg.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2017. 19: 113-121

9. Ogura, K., Gokita, T., Shinoda, Y., Kawano, H., Takagi, T., Ae, K., Kawai, A., Wedin, R., Forsberg, J. A.
Can a multivariate model for survival estimation in skeletal metastases (PATHFx) be externally validated using Japanese patients?
Clin. Orthop. Relat. Res., 2017. 475(9): 2263-70

10. Shibata, H., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Miyawaki, J., Kanno, S., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.

A 46-year-old female, parosteal osteosarcoma of the right tibia.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2017. 19: 103-112

11. Shimoji, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T.
Follow-up case study presentations about previous SSMS Meeting.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2017. 19: 148-153

12. Tsuda, Y., Ogura, K., Hakozaki, M., Kikuta, K., Ae, K., Tsuchiya, H., Iwata, S., Ueda, T., Kawano, H., Kawai, A.
Mesenchymal chondrosarcoma: A Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study on 57 patients.
J. Surg. Oncol., 2017. 115(6): 760-767

13. Yoshihara, H., Kumamoto, T., Ono, R., Akahane, K., Nozaki, T., Kobayashi, S., Kikuta, A., Matsumoto, S., Hasegawa, D., Ogawa, C., Manabe, A.
Haploidentical hematopoietic cell transplantation for disseminated Ewing sarcoma.
Pediatr. Int., 2017. 59(2): 223-226

14. 寺村易予，植野映子，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，松枝清
脊椎の画像診断再入門：脊椎の骨腫瘍．
画像診断，2017. 37(10): 1062-1072

15. 山田英莉久，早川景子，鬼頭宗久，阿江啓介
末梢神経内に発生した脂肪腫の３例．
中部日本整形外科災害外科学会雑誌，2017. 60(1): 73-74

16. 野呂瀬美生，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，三浪友輔，元井紀子
同時期多発悪性転化を認めたOllier病の１例．
関東整形災害外科学会雑誌，2017. 48(3): 157-162

17. 阿江啓介
四肢骨盤骨・軟部腫瘍の切除縁評価．
スタンダード小児がん手術：臓器別アプローチと手技のポイント（田口智章，黒田達夫編集），東京，メジカルビュー社：pp.61-69, 2017

18. 阿江啓介，松本誠一
骨軟部腫瘍の診断と治療：（Part3）臨床＜治療＞　新しい切除縁評価とその概念．
Bone Joint Nerve, 2017. 7(3): 459-468

泌尿器科

1. Davis, I. D., Xie, W., Pezaro, C., Donskov, F., Wells, J. C., Agarwal, N., Srinivas, S., Yuasa, T., Beuselinck, B., Wood, L. A., Ernst, D. S., Kanesvaran, R., Knox, J. J., Pantuck, A., Saleem, S., Alva, A., Rini, B. I., Lee, J. L., Choueiri, T. K., Heng, D. Y.
Efficacy of second-line targeted therapy for renal cell carcinoma according to change from baseline in international metastatic renal cell carcinoma database consortium prognostic category.
Eur. Urol., 2017. 71(6): 970-978

2. Inamura, K., Kobayashi, M., Nagano, H., Sugiura, Y., Ogawa, M., Masuda, H., Yonese, J., Ishikawa, Y.
A novel fusion of HNRNPA1-ALK in inflammatory myofibroblastic tumor of urinary bladder.
Hum. Pathol., 2017. 69: 96-100

3. Kim, C. S., Choi, Y. D., Lee, S. E., Lee, H. M., Ueda, T., Yonese, J., Fukagai, T., Chiong, E., Lau, W., Abhyankar, S., Theeuwes, A., Tombal, B., Beer, T. M., Kimura, G.
Post hoc analyses of East Asian patients from the randomized placebo-controlled PREVAIL trial of enzalutamide in patients with chemotherapy-naive, metastatic castration-resistant prostate cancer.
Medicine (Baltimore), 2017. 96(27): e7223

4. Koizumi, M., Motegi, K., Koyama, M., Terauchi, T., Yuasa, T., Yonese, J.
Diagnostic performance of a computer-assisted diagnosis system for bone scintigraphy of newly developed skeletal metasta-

sis in prostate cancer patients: search for low-sensitivity subgroups.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(7): 521-528

5. Kozuka, T., Nakano, M., Hashimoto, M., Gomi, K., Murofushi, K. N., Sumi, M., Yonese, J., Oguchi, M.
Acute and late complications after hypofractionated intensity modulated radiotherapy in prostate cancer.
Jpn. J. Radiol., 2017. 35(5): 269-278

6. Li, J., Motoi, N., Kanda, H., Sugiura, Y., Nagano, H., Yonese, J., Okumura, S., Matsumoto, S., Machinami, R., Ishikawa, Y.
A newly emerged osteosarcomatous dedifferentiation of liposarcoma in lung metastasis - a potential diagnostic pitfall.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 50-52

7. Muto, M., Inamura, K., Ozawa, N., Endo, T., Masuda, H., Yonese, J., Ishikawa, Y.
Skene' s gland adenocarcinoma with intestinal differentiation: A case report and literature review.
Pathol. Int., 2017. 67(11): 575-579

8. Tanaka, H., Fujii, Y., Tanaka, H., Ishioka, J., Matsuoka, Y., Saito, K., Uehara, S., Numao, N., Yuasa, T., Yamamoto, S., Masuda, H., Yonese, J., Kihara, K.
Stepwise algorithm using computed tomography and magnetic resonance imaging for diagnosis of fat-poor angiomyolipoma in small renal masses: Development and external validation.
Int. J. Urol., 2017. 24(7): 511-517

9. Tomita, Y., Fukasawa, S., Shinohara, N., Kitamura, H., Oya, M., Eto, M., Tanabe, K., Kimura, G., Yonese, J., Yao, M., Motzer, R. J., Uemura, H., McHenry, M. B., Berghorn, E., Ozono, S.
Nivolumab versus everolimus in advanced renal cell carcinoma: Japanese subgroup analysis from the CheckMate 025 study.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(7): 639-646

10. Yasuda, Y., Saito, K., Yuasa, T., Uehara, S., Kawamura, N., Yokoyama, M., Ishioka, J., Matsuoka, Y., Yamamoto, S., Okuno, T., Yonese, J., Kihara, K., Fujii, Y.
Early response of C-reactive protein as a predictor of survival in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with tyrosine kinase inhibitors.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(6): 1081-1086

11. Yuasa, T., Masuda, H., Yamamoto, S., Numao, N., Yonese, J.
Biomarkers to predict prognosis and response to checkpoint inhibitors.
Int. J. Clin. Oncol., 2017. 22(4): 629-634

12. Yuasa, T.
Editorial comment to identification of risk factors predicting febrile neutropenia in patients with metastatic germ cell tumors receiving cisplatin-based combination chemotherapy.
Int. J. Urol., 2017. 24(6): 453

13. Jhaveri, K. D., Salahudeen, A. K. 編 ., 和田健彦監訳 , 中山耕之助 , 湯浅健翻訳協力
オンコネフロロジー：がんと腎臓病学・腎疾患と腫瘍学 .
東京 , メディカル・サイエンス・インターナショナル : 391p., 2017

14. 増田均 , 山本真也 , 沼尾昇 , 小川将宏 , 井上亨 , 武田隼人 , 上原翔 , 三神晃 , 湯浅健 , 福井巌 , 米瀬淳二
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向 .
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 , 2017. 9(1): 105-109

15. 武田隼人 , 米瀬淳二
まるごと　泌尿器科の術式別術前・術後管理：膀胱 surgery- 術前術後管理膀胱全摘除術・回腸導管造設術の術前・術後管理 .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2017. 22(2): 157-160

16. 沼尾昇 , 米瀬淳二
専門医のための泌尿器科基本手術経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）.
臨床泌尿器科 , 2017. 71(6): 444-446

17. 湯浅健
12 がん薬物療法における暴露対策合同ガイドライン・ナビ .
泌尿器科診療に役立つガイドライン・ナビ , 大阪市 , メディカ出版 : pp.159-167, 2017

18. 湯浅健
これだけは押さえておきたい泌尿器科の薬 Up-to-Date : 前立腺がん・腎がん　泌尿器科がんに対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性は？ .
薬事 , 2017. 59(15): 3103-3106

19. 湯浅健
ホルモン療法の副作用対策抗がん薬とは異なる副作用が発現 .
がんサポート , 2017. 15(1)

20. 湯浅健 , 米瀬淳二
新薬展望 2017 膀胱癌・前立腺がん治療薬 .
医薬ジャーナル , 2017. 53(増刊号): 355-359

21. 湯浅健
泌尿器科診療に役立つガイドライン・ナビ　臨床のエッセンスが身につく！チーム医療・在宅医療にも役立つ !:（第 2 章）チーム医療にも役立つその他のガイドラインがん薬物療法における曝露対策合同ガイドライン・ナビ .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2017（別冊）: 159-167

22. 湯浅健
腎癌 V. 腎癌予後因子 : モノグラム開発の現況 .
日本臨床増刊号新腎・泌尿器癌（上）, 2017. 75（増刊号 6）: 102-105

23. 米瀬淳二
後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患 TOP30　2017: 疾患　陰茎腫瘍 .
泌尿器外科 , 2017. 30（特別号）: 174-181

24. 米瀬淳二
新腎・泌尿器癌（下）- 基礎・臨床研究の進歩 -: 膀胱癌　膀胱癌の治療　手術療法　膀胱全摘除術　男性に対する膀胱全摘除術 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 7 新腎・泌尿器癌（下））: 190-193

血液腫瘍科

1. Hatake, K., Ogura, M., Takada, K., Taniwaki, M., Zhang, F., Fujita, T., Ando, K.
Ofatumumab combined with chlorambucil for previously untreated chronic lymphocytic leukemia: a phase I/II, open-label study in Japan.
Int. J. Hematol., 2017. 106(2): 240-247

2. Kusano, Y., Yokoyama, M., Terui, Y., Inoue, N., Takahashi, A., Yamauchi, H., Tsuyama, N., Nishimura, N., Mishima, Y., Takeuchi, K., Hatake, K.
High pretreatment level of soluble interleukin-2 receptor is a robust pronostic factor in patients with follicular lymphoma treated with R-CHOP-like therapy.
Blood Cancer J., 2017. 7(9): e614

3. Kusano, Y., Yokoyama, M., Terui, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Ueda, K., Tsuyama, N., Hirofumi, Y., Takahashi, A., Inoue, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Low absolute peripheral blood CD4+ T-cell count predicts poor prognosis in R-CHOP-treated patients with diffuse large B-cell lymphoma.
Blood Cancer J., 2017. 7(4): e558

4. Maruyama, D., Hatake, K., Kinoshita, T., Fukuhara, N., Choi, I., Taniwaki, M., Ando, K., Terui, Y., Higuchi, Y., Onishi, Y., Abe, Y., Kobayashi, T., Shirasugi, Y., Tobinai, K.
Multicenter phase II study of nivolumab in Japanese patients with relapsed or refractory classical Hodgkin lymphoma.
Cancer Sci., 2017. 108(5): 1007-1012

5. Maruyama, D., Tobinai, K., Ogura, M., Uchida, T., Hatake, K., Taniwaki, M., Ando, K., Tsukasaki, K., Ishida, T., Kobayashi, N., Ishizawa, K., Tatsumi, Y., Kato, K., Kiguchi, T., Ikezoe, T., Laille, E., Ro, T., Tamakoshi, H., Sakurai, S., Ohtsu, T.
Romidepsin in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma: a phase I/II and pharmacokinetics study.
Int. J. Hematol., 2017. 106(5): 655-665

6. Ogura, M., Ishizawa, K., Maruyama, D., Uike, N., Ando, K., Izutsu, K., Terui, Y., Imaizumi, Y., Tsukasaki, K., Suzuki, K., Izumi, T., Usuki, K., Kinoshita, T., Taniwaki, M., Uoshima, N., Suzumiya, J., Kurosawa, M., Nagai, H., Uchida, T., Fukuhara, N., Choi, I., Ohmachi, K., Yamamoto, G., Tobinai, K.
Bendamustine plus rituximab for previously untreated patients with indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma or mantle cell lymphoma: a multicenter Phase II clinical trial in Japan.
Int. J. Hematol., 2017. 105(4): 470-477

7. Sugihara, T., Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Gomi, N., Ito, Y., Hatake, K., Sata, N.
Bone metastases from breast cancer: associations between morphologic CT patterns and glycolytic activity on PET and bone scintigraphy as well as explorative search for influential factors.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(10): 719-725

8. Tojo, A., Kyo, T., Yamamoto, K., Nakamae, H., Takahashi, N., Kobayashi, Y., Tauchi, T., Okamoto, S., Miyamura, K., Hatake, K., Iwasaki, H., Matsumura, I., Usui, N., Naoe, T., Tugnait, M., Narasimhan, N. I., Lustgarten, S., Farin, H., Haluska, F., Ohyashiki, K.
Ponatinib in Japanese patients with Philadelphia chromosome-positive leukemia, a phase 1/2 study.
Int. J. Hematol., 2017. 106(3): 385-397

9. Tsuyama, N., Sakata, S., Baba, S., Mishima, Y., Nishimura, N., Ueda, K., Yokoyama, M., Terui, Y., Hatake, K., Kitagawa, M., Ishizuka, N., Tomita, N., Takeuchi, K.
BCL2 expression in DLBCL: reappraisal of immunohistochemistry with new criteria for therapeutic biomarker evaluation.
Blood, 2017. 130(4): 489-500

10. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Oguchi, M., Asano, N., Amaki, J., Akiba, T., Maeda, T., Itasaka, S., Kubota, N., Saito, Y., Kobayashi, Y., Itami, J., Ueda, K., Miyazaki, K., Ii, N., Tomita, N., Sekiguchi, N., Takizawa, J., Saito, B., Murayama, T., Ando, T., Wada, H., Hyo, R., Ejima, Y., Hasegawa, M., Katayama, N.
Treatments and outcomes of patients with extranodal natural killer/T-cell lymphoma diagnosed between 2000 and 2013: A cooperative study in Japan.
J. Clin. Oncol., 2017. 35(1): 32-39

11. Yokoyama, M., Kusano, Y., Takahashi, A., Inoue, N., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Terui, Y., Nukada, T., Nomura, T., Hatake, K.
Incidence and risk factors of febrile neutropenia in patients with non-Hodgkin B-cell lymphoma receiving R-CHOP in a single center in Japan.
Support. Care Cancer, 2017. 25(11): 3313-3320

12. 照井康仁
これだけは押さえておきたい　がん化学療法の薬　抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・支持療法薬　はや調べノート 2017・2018 年版：分子標的薬　CD30　ブレンツキシマブベドチン（遺伝子組換え）.
プロフェッショナルがんナーシング , 2017（2017 別冊）：74-75

13. 照井康仁
これだけは押さえておきたい　がん化学療法の薬　抗がん剤・ホルモン剤・分子標的薬・支持

療法薬　はや調べノート 2017・2018 年版：分子標的薬　CD52　アレムツズマブ（遺伝子組換え）.
プロフェッショナルがんナーシング , 2017（2017 別冊）：78-79

14. 照井康仁
免疫表現型に基づいたリンパ系腫瘍の理解：濾胞性リンパ腫の免疫表現型 .
血液内科 , 2017. 74(6): 771-772

15. 照井康仁
慢性疾患となった骨髄腫 - どのように診断するか？　どのように付き合っていくか ?: 骨髄腫治療薬の温故知新免疫調節薬 .
内科 , 2017. 120(4): 875-880

16. 照井康仁
看護の力が試される　終末期の全身倦怠感へのケア：がん関連倦怠感の病態・評価・症状緩和の実際 .
エンド・オブ・ライフケア , 2017. 1(5): 2-8

17. 照井康仁
第 5 章がん領域における医療技術（核酸医薬 , 免疫療法 , 遺伝子治療 , 細胞医薬品）の現状と課題第 6 節白血病における免疫療法の実際 .
先端治療技術の実用化と開発戦略（技術情報協会企画編集）, 東京 , 技術情報協会：pp.279-285, 2017

18. 照井康仁
血液がん：最新治療と支持療法：（第 IV 章）支持療法の最近の話題　新規支持療法薬 .
がん看護 , 2017. 22(2): 245-247

19. 西村倫子
DHAP.
エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック 2017（大津敦総監修）, 東京 , メディカルレビュー社：pp.952-954, 2017

20. 西村倫子 , 照井康仁 , 畠清彦
初発多発性骨髄腫における抗体医薬品等の併用療法 .
臨床血液 , 2017. 58(8): 1006-1013

21. 高橋杏奈 , 三嶋裕子 , 横山雅大 , 井上典仁 , 草野善晴 , 郡司匡弘 , 新田英昭 , 上田響子 , 西村倫子 , 津山直子 , 竹内賢吾 , 照井康仁 , 畠清彦
超高齢びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者に対する化学療法の有効性の検討 .
臨床血液 , 2017. 58(5): 427-432

総合腫瘍科

1. Araki, K., Fukada, I., Yanagi, H., Kobayashi, K., Shibayama, T., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ohno, S., Ito, Y.
First report of eribulin in combination with pertuzumab and trastuzumab for advanced HER2-positive breast cancer.
Breast, 2017. 35: 78-84

2. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The early onset of peripheral neuropathy might be a robust predictor for time to treatment failure in patients with metastatic breast cancer receiving chemotherapy containing paclitaxel.
PLoS One, 2017. 12(9): e0184322

3. Kawai, A., Yonemori, K., Takahashi, S., Araki, N., Ueda, T.
Systemic therapy for soft tissue sarcoma: Proposals for the optimal use of pazopanib, trabectedin, and eribulin.
Adv. Ther., 2017. 34(7): 1556-1571

4. Kitano, A., Ono, M., Yoshida, M., Noguchi, E., Shimomura, A., Shimoi, T., Kodaira, M., Yunokawa, M., Yonemori, K., Shimizu, C., Kinoshita, T., Fujiwara, Y., Tsuda, H., Tamura, K.
Tumour-infiltrating lymphocytes are correlated with higher expression levels of PD-1 and PD-L1 in early breast cancer.
ESMO Open, 2017. 2(2): e000150

5. Kiyota, N., Hasegawa, Y., Takahashi, S., Yokota, T., Yen, C. J., Iwae, S., Shimizu, Y., Hong, R. L., Goto, M., Kang, J. H., Sum

Kenneth Li, W., Ferris, R. L., Gillison, M., Namba, Y., Monga, M., Lynch, M., Tahara, M.
A randomized, open-label, Phase III clinical trial of nivolumab vs. therapy of investigator' s choice in recurrent squamous cell carcinoma of the head and neck: A subanalysis of Asian patients versus the global population in checkmate 141.
Oral Oncol, 2017. 73: 138-146

6. Nakano, K., Marshall, S., Taira, S., Sato, Y., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
A comparison of weekly paclitaxel and cetuximab with the EXTREME regimen in the treatment of recurrent/metastatic squamous cell head and neck carcinoma.
Oral Oncol., 2017. 73: 21-26

7. Shitara, K., Doi, T., Nagano, O., Imamura, C. K., Ozeki, T., Ishii, Y., Tsuchihashi, K., Takahashi, S., Nakajima, T. E., Hironaka, S., Fukutani, M., Hasegawa, H., Nomura, S., Sato, A., Einaga, Y., Kuwata, T., Saya, H., Ohtsu, A.
Dose-escalation study for the targeting of CD44v cancer stem cells by sulfasalazine in patients with advanced gastric cancer (EPOC1205).
Gastric Cancer, 2017. 20(2): 341-349

8. Tahara, M., Kiyota, N., Yamazaki, T., Chayahara, N., Nakano, K., Inagaki, L., Toda, K., Enokida, T., Minami, H., Imamura, Y., Sasaki, T., Suzuki, T., Fujino, K., Dutcus, C. E., Takahashi, S.
Lenvatinib for anaplastic thyroid cancer.
Front. Oncol., 2017. 7: 25

9. Takahashi, M., Takahashi, S., Araki, N., Sugiura, H., Ueda, T., Yonemoto, T., Morioka, H., Hiraga, H., Hiruma, T., Kunisada, T., Matsumine, A., Shimura, M., Kawai, A.
Efficacy of trabectedin in patients with advanced translocation-related sarcomas: pooled analysis of two phase II studies.
Oncologist, 2017. 22(8): 979-988

10. Takahashi, S., Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Ito, Y., Oda, H., Kajitani, T., Kakizume, T., Tajima, T., Takeuchi, H., Maacke, H., Esaki, T.
LJM716 in Japanese patients with head and neck squamous cell carcinoma or HER2-overexpressing breast or gastric cancer.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2017. 79(1): 131-138

11. Uchino, K., Komoda, M., Tomomatsu, J., Okamoto, T., Horiuchi, K., Tsuji, A., Ito, Y., Todo, T., Rito, K., Takahashi, S.
Safety and tolerability of vandetanib in Japanese patients with medullary thyroid cancer: A phase I/II open-label study
Endocr. Pract., 2017. 23(2): 149-156

12. Watanabe, N., Yasuda, H., Morishita, S., Aota, Y., Tomomatsu, J., Tanaka, M., Ohsaka, A., Komatsu, N.
Richter' s syndrome with hypercalcemia induced by tumor-associated production of parathyroid hormone-related peptide.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(1): 123-126

13. Yokota, T., Ogawa, T., Takahashi, S., Okami, K., Fujii, T., Tanaka, K., Iwae, S., Ota, I., Ueda, T., Monden, N., Matsuura, K., Kojima, H., Ueda, S., Sasaki, K., Fujimoto, Y., Hasegawa, Y., Beppu, T., Nishimori, H., Hirano, S., Naka, Y., Matsushima, Y., Fujii, M., Tahara, M.
Efficacy and safety of rebamipide liquid for chemoradiotherapy-induced oral mucositis in patients with head and neck cancer: a multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group phase II study.
BMC Cancer, 2017. 17(1): 314

14. Yoneda, T., Hagino, H., Sugimoto, T., Ohta, H., Takahashi, S., Soen, S., Taguchi, A., Nagata, T., Urade, M., Shibahara, T., Toyosawa, S.
Antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw: Position Paper 2017 of the Japanese Allied Committee on Osteonecrosis of the Jaw.
J. Bone. Miner. Metab., 2017. 35(1): 6-19

15. 仲野兼司
がん薬物療法専門医講座：がん薬物療法専門医のための模擬テスト 82：解答と解説 .
腫瘍内科 , 2017. 19(3): 349-353

16. 仲野兼司
局所進行例に対しての治療戦略　シスプラチン適応のグレーゾーンについての考察・導入化学療法の今後 .
頭頸部癌 Frontier, 2017. 4(2): 69-72

17. 仲野兼司
新規薬剤：分子標的薬の併用　レンバチニブ＋エベロリムス併用療法 .
腫瘍内科 , 2017. 19(6): 669-673

18. 仲野兼司
血管肉腫への新規治療戦略　パゾパニブの適応とその可能性 .
Skin Cancer, 2017. 32(2): 130-134

19. 仲野兼司
頭頸部原発　骨・軟部肉腫（サルコーマ）　集学的治療体系 .
頭頸部癌 , 2017. 43(4): 463-466

20. 仲野兼司
骨軟部腫瘍の診断と治療：（Part3）臨床 < 治療 >　骨軟部腫瘍に対する薬物療法 update.
Bone Joint Nerve, 2017. 7(3): 449-458

21. 友松純一
症例から学ぶ頭頸部癌治療 - 化学療法 / 分子標的療法 -: 症例から学ぶ分子標的療法　再発転移例に対する分子標的療法の症例 .
頭頸部癌 Frontier, 2017. 4(2): 120-122

22. 友松純一
貧血学 - 最新の診断・治療動向 -: 疾患が原因による貧血の予防・管理　がん .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 1 貧血学）: 553-558

23. 小野麻紀子
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A：ズバリ！有害事象対策 Q&A 有害事象　好中球減少症　外来化学療法でジーラスタを併用する患者が増えてきました。どのような薬ですか？
ナーシング , 2017. 37(2): 57-58

24. 小野麻紀子
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A：ズバリ！薬物療法 Q&A ここ 5 年で変わってきていること　悪性軟部腫瘍（肉腫）肉腫でも新しく使える薬が増えてきたと聞きました。具体的にどんなものがありますか？
ナーシング , 2017. 37(2): 28-29

25. 岩間敬子 , 深田一平 , 小林心 , 宮本快介 , 柴山朋子 , 森園英智 , 吉田淳 , 辻英貴 , 高橋俊二 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
Paclitaxel と bevacizumab 併用療法中に認めた嚢胞様黄斑浮腫の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 429-433

26. 平良眞一郎
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A：ズバリ！有害事象対策 Q&A 有害事象　好中球減少症　以前は Nadir 期には生ものの摂取や外出を控えてもらっていましたが、現在はどのような対策をとっていますか？
ナーシング , 2017. 37(2): 59-60

27. 平良眞一郎
がん薬物専門医講座がん薬物療法専門医のための模擬テスト 86：問題編 .
腫瘍内科 , 2017. 19(6): 747-748

28. 平良眞一郎
がん薬物専門医講座がん薬物療法専門医のための模擬テスト 86：解答と解説編 .
腫瘍内科 , 2017. 20(1): 82-86

29. 温泉川真由
最新！婦人科がん薬物療法 - 化学療法薬から分子標的薬・免疫療法薬まで：最新の副作用対策発熱性好中球減少症に対する G-CSF と抗菌薬の適正使用 .
臨床婦人科産科 , 2017. 71(10): 913-918

30. 関水真理子 , 新橋渉 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 瀬戸陽 , 北野睦三 , 小泉雄 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 足立充隆 , 佐藤由紀子 , 高橋俊二
当院における嗅神経芽細胞腫 31 症例の検討 .
頭頸部癌 , 2017. 43(1): 8-12

31. 高橋俊二
13 外来がん化学療法看護ガイドライン・ナビ .
泌尿器科診療に役立つガイドライン・ナビ（篠原信雄監修）, 大阪市 , メディカ出版 : pp.168-180, 2017

32. 高橋俊二
がん診療 - 内科医が知りたい 30 のエッセンス : 内科医が知っておくべきがん患者のマネジメントがん治療中の骨折・骨粗鬆症予防について教えてください .
Medicina, 2017. 54(8): 1274-1276

33. 高橋俊二
乳癌学：最新の診断と治療：乳癌の治療　乳癌の薬物療法と支持療法　骨転移治療薬　作用機序と副作用対策 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 3 乳癌学）: 398-402

34. 高橋俊二
実地医家に必要ながん学 - 基本的最新の知識と必要な実地診療のすべて -: 実地医家が知っておくべき最新の治療法とその有用性　薬物治療（外来化学療法、分子標的療法、ホルモン療法）アンメットニーズに向けた総合腫瘍科としての取り組み .
Medical Practice, 2017. 34(臨増): 78-83

35. 高橋俊二
悪性腫瘍患者における骨吸収阻害薬治療の現状 .
日本歯科評論 , 2017. 77(11): 115-120

36. 高橋俊二
悪性腫瘍患者における骨吸収阻害薬治療の現状 .
有病者歯科医療 , 2017. 26(3): 176-185

37. 高橋俊二
新しい分子標的：各臓器がんの新しい分子標的軟部肉腫 .
がん分子標的治療 , 2017. 14(4): 422-429

38. 高橋俊二
新世代の分子標的治療： 新世代の分子標的治療泌尿器科がん・婦人科がん .
がん分子標的治療 , 2017. 15(3): 273-285

39. 高橋俊二
泌尿器科診療に役立つガイドライン・ナビ　臨床のエッセンスが身につく！チーム医療・在宅医療にも役立つ !:（第 2 章）チーム医療にも役立つその他のガイドライン外来がん化学療法看護ガイドライン・ナビ .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2017（別冊）: 168-180

40. 高橋俊二
軟部肉腫に対するがん薬物療法の新展開： 軟部肉腫の分子標的治療 .
癌と化学療法 , 2017. 44(6): 457-462

41. 高橋俊二
頭頸部癌学：診断と治療の最新研究動向：頭頸部癌の治療　放射線治療・薬物治療　口腔・咽頭・喉頭癌　再発・遠隔転移に対する薬物療法 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 2 頭頸部癌学）: 457-462

42. 高橋俊二
骨代謝マーカー update 2017:（Part2）臨床悪性腫瘍の骨転移　骨代謝マーカーの活用法 .
Bone Joint Nerve, 2017. 7(2): 295-301

総合診療部

1. Watanabe, A., Yokoyama, K., Ohno, N., Uchimaru, K., Yamashita, N., Tojo, A.
Reversible pulmonary arterial hypertension induced by dasatinib in a patient with chronic myeloid leukemia.
J. Diagn. Med. Sonogr., 2017. 33: 284-9

2. Abe, T., Fukada, I., Shiga, T., Morizono, H., Ikebata, K., Shibayama, T., Kobayashi, K., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
A case of recurrent breast cancer identified by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 620-626

3. 中山耕之介
痛風・高尿酸血症治療薬ほか .
治療薬マニュアル 2017（高久史麿 , 矢崎義雄監修 , 北原光夫 , 上野文昭 , 越前宏俊編集）, 東京 , 医学書院 : 2017

4. 中山耕之介
第 7 章癌患者の電解質異常 .
オンコネフロロジー : がんと腎臓病学・腎疾患と腫瘍学（Jhaveri, K. D., Salahudeen, A. K. 編 ., 井上美貴訳）, 東京 , メディカル・サイエンス・インターナショナル : pp.127-159, 2017

5. 中山耕之介
悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症
偽性副甲状腺機能低下症 .
1336 専門家による私の治療 2017・2018 年度版（猿田享男 , 北村惣一郎監修）, 東京 , 日本医事新報社 : pp.761-765, 2017

6. 志賀太郎
がん化学療法中の心血管系副作用にどう対処するか : 分子標的薬による心毒性への対応　血管新生阻害薬を中心に .
日本医事新報 , 2017(4845): 34-44

麻酔科（ペインクリニック）

1. 平島潤子 , 横田美幸
続痛み治療の素朴な疑問に答えます 2: フルルビプロフェン , アセトアミノフェンの術中使用について教えてください “妥当適切な診療” 診療報酬制度と臨床現場のギャップ .
LiSA, 2017. 24(3): 230-233

2. 柏井朗宏 , 横田美幸
非挿管患者の鎮静を考える : 米国麻酔科学会の「非麻酔科医のための鎮静・鎮痛薬投与に関する診療ガイドライン」と本邦で安全な鎮静を実施するためのモニターおよび体制 .
臨床麻酔 , 2017. 41(12): 1594-1604

3. 森野良蔵
デスフルランを使いこなそう 1: 麻酔薬を使いこなして ,PONV を抑えよう　麻酔科医よ , 声を上げよ .
LiSA, 2017. 24(5): 492-496

がん疼痛治療科

1. 服部政治 , 立花潤子
がん疼痛治療の最前線 : 神経ブロックと脊髄鎮痛法 .
癌と化学療法 , 2017. 44(4): 283-288

2. 服部政治 , 立花潤子
痛み治療の最前線 : 各種疼痛の治療　がん疼痛 .
臨牀と研究 , 2017. 94(4): 419-426

3. 服部政治 , 立花潤子
痛み関連の医療連携 : がん性疼痛のチーム医療　がん研有明病院　がん疼痛治療科としての痛み診療 .
ペインクリニック , 2017. 38(8): 1047-1055

形成外科

1. Furubayashi, G., Sawaizumi, M., Maeda, T., Tanakura, K.
Plantar reconstruction using a step-ladder advancement flap.
JPRAS Open, 2017. 13: 41-45

2. Ishiura, R., Yamamoto, T., Saito, T., Mito, D., Iida, T.
Comparison of lymphovenous shunt methods in a rat model: Supermicrosurgical lymphaticovenular anastomosis versus mi-

crosurgical lymphaticovenous implantation.
Plast. Reconstr. Surg., 2017. 139(6): 1407-1413

3. Ishiura, R., Matsumoto, A., Shiozaki, M., Miyashita, H., Sawaizumi, M.
Thunderbolt technique: Novel hemostatic technique for hemorrhage related to venous infusion catheter drains.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2017. 5(1): e1196

4. Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Tanakura, K., Ito, H., Saiura, A.
Distal pancreatectomy with celiac axis resection combined with reconstruction of the left gastric artery.
J. Gastrointest. Surg., 2017. 21(5): 910-917

5. Tanakura, K., Matsumoto, A., Kuramoto, Y., Sawaizumi, M.
The number of lymph nodes that can be added to an abdominal flap for breast reconstruction: review of enhanced MDCT images.
Int. Microsurg. J., 2017. 1(3): 1

6. Yano, T., Shimizu, D., Ishii, Y., Ito, O., Sawaizumi, M.
A breast reconstruction using a breast prosthesis and capsular flap for a lymphocele patient.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2017. 5(10): e1534

7. Yoshimatsu, H., Steinbacher, J., Meng, S., Hamscha, U. M., Weninger, W. J., Tinhofer, I. E., Yamamoto, T., Iida, T., Tzou, C. J.
Feasibility of bone perfusion evaluation in cadavers using indocyanine green fluorescence angiography.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2017. 5(11): e1570

8. 倉元有木子，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，塩崎正崇，澤泉雅之
腔内に連続する開口の小さな漏斗状の皮膚瘻への局所陰圧閉鎖療法の経験．
創傷，2017. 8(3): 105-109

9. 塩崎正崇，澤泉雅之，五味直哉
TE 挿入中の MRI 撮影の危険性について．
Oncoplastic Breast Surgery, 2017. 2(1): 1-5

10. 松本綾希子，澤泉雅之
乳房再建：人工乳房・自家組織．
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子，矢形寛編集），東京，学研プラス：pp.100-104, 2017

11. 松本綾希子，今井智浩，澤泉雅之，前田拓摩，五味直哉
脂肪注入の際にシリコン乳房インプラント内に誤注入したインプラント破損の 1 例．
日本形成外科学会会誌，2017. 37(5): 257-261

12. 柴田知義，松本綾希子，梁太一，棚倉健太，宮下宏紀，山下昌宏，倉元有木子，塩崎正崇，古林玄，三戸奈那子，澤泉雅之
シリコンインプラントをもちいて乳房増大術を施行した患者の経過観察の必要性．
日本美容外科学会会報，2017. 39(1): 1-8

13. 梁太一，松本綾希子，澤泉雅之
ブレスト・サージャリー実践マニュアル：乳房再建後の合併症と経過観察．
PEPARS, 2017(125): 74-81

14. 棚倉健太，澤泉雅之，宮下宏紀，山下昌宏，松本綾希子，前田拓摩，岩瀬拓士，大野真司
ブレスト・インプラントの保険適用の当施設における影響．
Oncoplastic Breast Surgery, 2017. 2(2): 40-45

15. 棚倉健太，倉元有木子，松浦信子，宮下宏紀，澤泉雅之
小腸瘻を伴う腹部離解創に対し二系統分離型陰圧閉鎖療法が有効だった 1 例．
形成外科，2017. 60(9): 1095-1101

16. 藤本幸弘 , 宮下宏紀
再考！美容皮膚診療：自然な若返りを望む患者への治療のコツ：アンチエイジングのための光治療 .
Derma., 2017(262): 31-40

眼科

1. Kaburaki, T., Taoka, K., Matsuda, J., Yamashita, H., Matsuda, I., Tsuji, H., Tanaka, R., Nakazaki, K., Nakamura, F., Kamiya, K., Kurokawa, M., Ohtomo, K., Aihara, M.
Combined intravitreal methotrexate and immunochemotherapy followed by reduced-dose whole-brain radiotherapy for newly diagnosed B-cell primary intraocular lymphoma.
Br. J. Haematol., 2017. 179(2): 246-55

2. Sasaki, T., Sounou, T., Tsuji, H., Sugiyama, K.
Air-insufflated high-definition dacryoendoscopy yields significantly better image quality than conventional dacryoendoscopy.
Clin. Ophthalmol., 2017. 11: 1385-1391

3. Takahashi, R., Yoshida, A., Inoda, S., Okubo, A., Kawashima, H.
Uveitis incidence in Jichi Medical University Hospital, Japan, during 2011-2015.
Clin. Ophthalmol., 2017. 11: 1151-1156

4. Yokoe, T., Fukada, I., Kobayashi, K., Shibayama, T., Miyagi, Y., Yoshida, A., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Cystoid macular edema during treatment with paclitaxel and bevacizumab in a patient with metastatic breast cancer: A case report and literature review.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 605-612

5. 吉田淳 , 蕪城俊克
ぶどう膜炎の画像解析：レーザーフレアーセルメーター .
眼科グラフィック , 2017. 6(2): 132-138

6. 吉田淳 , 蕪城俊克
必修！やっておくべきぶどう膜炎の検査と読み方：硝子体サンプルの解析結果の読み方 .
眼科グラフィック , 2017. 6(4): 390-395

7. 小林心 , 横江隆道 , 吉田淳 , 鈴木美智子 , 深田一平 , 山口研成
Cancer Board Conference (case1) パクリタキセルによる黄斑浮腫を認めた乳がんの 1 例 .
Cancer Board Square, 2017. 3(2): 185-202

8. 岩間敬子 , 深田一平 , 小林心 , 宮本快介 , 柴山朋子 , 森園英智 , 吉田淳 , 辻英貴 , 高橋俊二 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
Paclitaxel と bevacizumab 併用療法中に認めた嚢胞様黄斑浮腫の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 429-433

9. 辻英貴
初診外来担当医に知っておいてほしい眼窩疾患：眼科悪性腫瘍治療後の経過観察 .
OCULISTA, 2017. 52: 82-87

10. 辻英貴
眼周囲腫瘍性疾患の治療 .
医学のあゆみ , 2017. 262(10): 906-912

11. 辻英貴
眼瞼腫瘍 .
眼科診療マイスター II;診断と治療（飯田知弘 , 中澤徹 , 堀裕一編集）, 東京 , メジカルビュー社：pp.32-37, 2017

12. 辻英貴
眼瞼腫瘍 .
1336 専門家による私の治療 2017・2018 年度版（猿田享男 , 北村惣一郎監）, 東京 , 日本医事新報社：pp.1253-1254, 2017

13. 辻英貴
転移性腫瘍を疑うとき：眼内・眼窩 .
あたらしい眼科 , 2017. 34(8): 1129-1134

14. 高橋良太 , 伊野田悟 , 吉田淳 , 森本哲 , 川島秀俊
インフリキシマブ治療が奏効した完全型 Beh-

cet 病の 11 歳、女児症例 .
あたらしい眼科 , 2017. 34(5): 718-721

感染症科

1. Iwasaki, Y., Inokuchi, R., Harada, S., Aoki, K., Ishii, Y., Shinohara, K.
Bacterial meningitis caused by hypervirulent Klebsiella pneumoniae capsular genotype K54 with development of granuloma-like nodal enhancement in the brain during the subacute phase.
Intern. Med., 2017. 56(3): 373-376

2. 佐々木俊治 , 原田壮平
よく使う日常治療薬の正しい使い方　抗真菌薬の使い方 .
レジデントノート , 2017. 19(4): 715-719

3. 原田壮平
ICD のホンネ（第 1 回）『感染対策は片手間でできるような仕事ではない』.
J-IDEO, 2017. 1(1): 58-59

4. 原田壮平
ID consult　がん患者の感染症診療（第 6 回）多剤耐性菌 .
Cancer Board Square, 2017. 3(3): 494-501

5. 原田壮平
β - ラクタマーゼ .
J-IDEO, 2017. 1(3): 288-299

6. 原田壮平
感染症 2：ID コントロール　多剤耐性菌　最新の疫学から治療のコンセプトまで .
Hospitalist, 2017. 5(3): 457-468

7. 大串大輔
患者さんからよく尋ねられる内科診療の FAQ：（第 5 章）感染症　疲れると感染症にかかりやすいというのは本当ですか？ [35 歳女性 , 心気障害で休職中].
内科 , 2017. 120(3): 631-632

8. 大串大輔 , 原田壮平
抗菌薬の使いかた　最適な治療で薬剤耐性対策を：セミナー　実地医家が実践すべきガイドラインを踏まえた感染症治療　癌患者で注意すべき感染症 .
Medical Practice, 2017. 34(3): 439-444

9. 武田孝一 , 上原由紀
感染症カンファレンス実況中継（Case 3）：発熱、左大腿部痛をきたした 54 歳女性（第 48 回）IDATEN インタラクティブ・ケースカンファレンスより .
J-IDEO, 2017. 1(3): 328-339

10. 河村一郎 , 関谷紀貴 , 荒岡秀樹 , 根井貴仁 , 原田壮平 , 倉井華子 , 片浪雄一 , 枚木優子 , 坂本史衣 , 大曲貴夫
7 施設におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌サーベイランス（2015 年度）.
日本環境感染学会誌 , 2017. 32(3): 135-140

11. 羽山ブライアン
総合内科医の必修臨床問題 182 問：　感染症（Question 165）68 歳の男性　主訴「胃癌術後の発熱」.
Medicina, 2017. 54(4): 417-418

12. 羽山ブライアン
総合内科医の必修臨床問題 182 問：　感染症（Question 166）34 歳の女性　主訴「発熱 , 頭痛および意識変容」.
Medicina, 2017. 54(4): 419-420

13. 羽山ブライアン
総合内科医の必修臨床問題 182 問：　感染症（Question 167）43 歳の女性　主訴「乳癌に対する抗癌化学療法中の発熱 , 咳および労作時呼吸困難」.
Medicina, 2017. 54(4): 421-422

歯科

1. 富塚健
頭頸部がんの口腔ケア .
がん研有明病院の口とのどのがん治療に向き合う食事：頭頸部がん（比企直樹監修 , 佐々木徹編・医療解説）, 東京 , 女子栄養大学出版部：pp.31-37, 2017

緩和治療科

1. Katakami, N., Oda, K., Tauchi, K., Nakata, K., Shinozaki, K., Yokota, T., Suzuki, Y., Narabayashi, M., Boku, N.
Phase IIb, randomized, double-blind, placebo-controlled study of naldemedine for the treatment of opioid-induced constipation in patients with cancer.
J. Clin. Oncol., 2017. 35(17): 1921-1928

2. Katakami, N., Harada, T., Murata, T., Shinozaki, K., Tsutsumi, M., Yokota, T., Arai, M., Tada, Y., Narabayashi, M., Boku, N.
Randomized phase III and extension studies of naldemedine in patients with opioidiInduced constipation and cancer.
J. Clin. Oncol., 2017. 35(34): 3859-3866

3. Matsuo, N., Morita, T., Matsuda, Y., Okamoto, K., Matsumoto, Y., Kaneishi, K., Odagiri, T., Sakurai, H., Katayama, H., Mori, I., Yamada, H., Watanabe, H., Yokoyama, T., Yamaguchi, T., Nishi, T., Shirado, A., Hiramoto, S., Watanabe, T., Kohara, H., Shimoyama, S., Aruga, E., Baba, M., Sumita, K., Iwase, S.
Predictors of delirium in corticosteroid-treated patients with advanced cancer: An exploratory, multicenter, prospective, observational study.
J. Palliat. Med., 2017. 20(4): 352-359

4. Mori, M., Shirado, A. N., Morita, T., Okamoto, K., Matsuda, Y., Matsumoto, Y., Yamada, H., Sakurai, H., Aruga, E., Kaneishi, K., Watanabe, H., Yamaguchi, T., Odagiri, T., Hiramoto, S., Kohara, H., Matsuo, N., Katayama, H., Nishi, T., Matsui, T., Iwase, S.
Predictors of response to corticosteroids for dyspnea in advanced cancer patients: a preliminary multicenter prospective observational study.
Support. Care Cancer, 2017. 25(4): 1169-1181

5. 佐伯吉規
変わっていく健康観と死生観がんと精神科（サイコオンコロジー）.
日本臨床内科医会会誌 , 2017. 32(1): 64-67

6. 佐伯吉規
緩和ケア口伝　現場で広がるコツと御法度（第15巻）ケミカルコーピングにどう対応できるか　精神科医の立場から .
緩和ケア , 2017. 27(3): 191-193

放射線治療部

1. Hiyoshi, Y., Akiyoshi, T., Inoue, R., Murofushi, K., Yamamoto, N., Fukunaga, Y., Ueno, M., Baba, H., Mori, S., Yamaguchi, T.
Serum miR-143 levels predict the pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.
Oncotarget, 2017. 8: 79201-79211

2. Igaki, H., Harada, K., Umezawa, R., Miyakita, Y., Ohno, M., Takahashi, M., Sumi, M., Inaba, K., Murakami, N., Ito, Y., Narita, Y., Itami, J.
Outcomes of surgery followed by local brain radiotherapy compared with surgery followed by whole brain radiotherapy for single brain metastasis.
Tumori, 2017. 103(4): 367-373

3. Kozuka, T., Nakano, M., Hashimoto, M., Gomi, K., Murofushi, K. N., Sumi, M., Yonese, J., Oguchi, M.
Acute and late complications after hypofractionated intensity modulated radiotherapy in prostate cancer.
Jpn. J. Radiol., 2017. 35(5): 269-278

4. Nakagawa, K., Nawa, K., Hashioto, M., Aoki, S., Kaneko, Y., Yamashita, H., Haga, A.
A half-arc multiple deep-inspiration breath-hold volumetric modulated arc therapy for a lung yumor with 10 MV flattening-filter-free beams and an image sensor measuring a distance map to thorax surface:

An initial clinical experience.
Int. J. Med. Phys. Clin. Eng. Radiat. Oncol., 2017. 6: 31-35

5. Nakano, M., Haga, A., Kotoku, J., Magome, T., Masutani, Y., Hanaoka, S., Kida, S., Nakagawa, K.
Cone-beam CT reconstruction for non-periodic organ motion using time-ordered chain graph model.
Radiat. Oncol., 2017. 12(1): 145

6. Sakai, T., Iwase, T., Teruya, N., Kataoka, A., Kitagawa, D., Nakashima, E., Ogiya, A., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Oguchi, M., Ito, Y., Horii, R., Akiyama, F., Ohno, S.
Surgical excision without whole breast irradiation for complete resection of ductal carcinoma in situ identified using strict, unified criteria.
Am. J. Surg., 2017. 214(1): 111-116

7. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Oguchi, M., Asano, N., Amaki, J., Akiba, T., Maeda, T., Itasaka, S., Kubota, N., Saito, Y., Kobayashi, Y., Itami, J., Ueda, K., Miyazaki, K., Ii, N., Tomita, N., Sekiguchi, N., Takizawa, J., Saito, B., Murayama, T., Ando, T., Wada, H., Hyo, R., Ejima, Y., Hasegawa, M., Katayama, N.
Treatments and outcomes of patients with extranodal natural killer/T-cell lymphoma diagnosed between 2000 and 2013: A cooperative study in Japan.
J. Clin. Oncol., 2017. 35(1): 32-39

8. Yoden, E., Nose, T., Otani, Y., Asahi, S., Tsukiyama, I., Dokiya, T., Saeki, T., Fukuda, I., Sekine, H., Shikama, N., Kumazaki, Y., Takahashi, T., Yoshida, K., Kotsuma, T., Masuda, N., Nakashima, K., Matsumura, T., Nakagawa, S., Tachiiri, S., Moriguchi, Y., Itami, J., Oguchi, M.
Uncertainty of cosmetic evaluation after accelerated partial breast irradiation: interim analysis of a Japanese prospective multi-institutional feasibility study.
Jpn. J. Radiol., 2017. 35(7): 381-388

9. Zaorsky, N. G., Davis, B. J., Nguyen, P. L., Showalter, T. N., Hoskin, P. J., Yoshioka, Y., Morton, G. C., Horwitz, E. M.
The evolution of brachytherapy for prostate cancer.
Nat. Rev. Urol., 2017. 14(7): 415-439

10. 中山優子 , 吉岡靖生
肺癌に対する重粒子線治療の現状と展望　正常肺への影響が少ないことがメリット。多施設共同前向き研究も開始された .
日本医事新報 , 2017(4857): 58-59

11. 伊丹純 , 小口正彦
中枢神経系原発悪性リンパ腫（PCNSL）の推奨される治療　HDMTX の化学療法後、若年者には全脳照射を施行。自家骨髄移植も選択肢のひとつ .
日本医事新報 , 2017(4846): 61

12. 利安隆史
中咽頭癌の新しい治療戦略 / 頭頸部癌に対する治療完遂のコツとチーム医療の実際 / 再発転移性頭頸部扁平上皮癌の最新治療戦略：中咽頭癌の新しい治療戦略　HPV 関連中咽頭癌の放射線療法 .
頭頸部癌 Frontier, 2017. 5(1): 8-11

13. 吉岡靖生 , 伊丹純
前立腺癌に対する高線量率組織内照射（HDR）単独治療の適応と線量分割　安価かつ短期間ですみ、放射線生物学的にも有利　実臨床の成績に期待 .
日本医事新報 , 2017(4853): 59

14. 吉岡靖生
放射線組織内照射はどこまで適応可能でしょうか？ホルモン療法の併用は有効ですか？
Q&A でスッキリわかる前立腺癌（鈴木啓悦編集）, 東京 , メジカルビュー社：pp.134-136, 2017

15. 吉岡靖生
腎・腎盂・尿管・膀胱・陰茎・尿道・精巣・前立腺 .
放射線治療学改訂第 6 版（井上俊彦ほか編），東京 , 南山堂 : pp.273-292, 2017

16. 吉岡靖生 , 室伏景子 , 角美奈子 , 小口正彦
腫瘍に対する放射線治療 - 高度化・個別化治療へ : 先端放射線治療　各種放射線治療　小線源治療 .
日本臨床 , 2017. 75(8): 1189-1193

17. 吉田匡宏 , 小口正彦
乳癌放射線療法の標的体積　乳房・胸壁と領域リンパ節 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(4): 291-297

18. 吉田匡宏 , 小口正彦
乳癌放射線療法の標的体積　乳房切除術後放射線療法の標的体積（再建を含む）.
乳癌の臨床 , 2017. 32(6): 451-456

19. 小口正彦
VARIAN RT REPORT（No.3）　悪性リンパ腫臨床編　がん研究会有明病院　悪性リンパ腫の放射線治療の現状 .
INNERVISION, 2017. 32(3): 72-73

20. 小口正彦
VARIAN RT REPORT（No.4）　悪性リンパ腫技術編　がん研究会有明病院　悪性リンパ腫の放射線治療における技術的なポイント .
INNERVISION, 2017. 32(4): 56-57

21. 武田美鈴 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 新井正美 , 小口正彦 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 大野真司
術前に Li-Fraumeni 症候群と診断し、放射線療法の適応について検討した若年乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 413-419

22. 角美奈子
第 1 章アピアランスケアに必要な基礎知識 2. がんの治療とそれに伴う外見の変化 3) 放射線療法 .
臨床で活かすがん患者のアピアランスケア（野澤桂子 , 藤間勝子編集），東京 , 南山堂 : pp.40-46, 2017

23. 角美奈子
第 4 章放射線療法 .
こどものがんと治療 : 患者説明にそのまま使える : 不安なパパ・ママにイラストでやさしく解説（細野亜古編著），大阪 , メディカ出版 : pp.24-31, 2017

画像診断部

1. Kondo, T., Sato, Y., Tanaka, H., Sasaki, T., Kawabata, K., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Shimbashi, W.
Two cases of ectopic hamartomatous thymoma masquerading as sarcoma.
Case Rep. Otolaryngol., 2017. 2017: 1672919

2. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Gomi, N., Kanda, H.
Skeletal sarcoidosis mimicking metastatic ovarian cancer : A case with FDG-PET/CT.
Remdey Open Access Nucl. Med., 2017. 2: 1078

3. Nozaki, T., Rafijah, G., Yang, L., Ueno, T., Horiuchi, S., Hitt, D., Yoshioka, H.
High-resolution 3 T MRI of traumatic and degenerative triangular fibrocartilage complex (TFCC) abnormalities using Palmer and Outerbridge classifications.
Clin. Radiol., 2017. 72(10): 904.e1-904.e10

4. Sakai, T., Iwase, T., Teruya, N., Kataoka, A., Kitagawa, D., Nakashima, E., Ogiya, A., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Oguchi, M., Ito, Y., Horii, R., Akiyama, F., Ohno, S.
Surgical excision without whole breast irradiation for complete resection of ductal carcinoma in situ identified using strict, unified criteria.
Am. J. Surg., 2017. 214(1): 111-116

5. Sugihara, T., Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Gomi, N., Ito, Y., Hatake, K., Sata, N.

Bone metastases from breast cancer: associations between morphologic CT patterns and glycolytic activity on PET and bone scintigraphy as well as explorative search for influential factors.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(10): 719-725

6. Takita, H., Takeshita, T., Shimono, T., Tanaka, H., Iguchi, H., Hashimoto, S., Kuwae, Y., Ohsawa, M., Miki, Y.
Cystic lesions of the parotid gland: radiologic-pathologic correlation according to the latest World Health Organization 2017 Classification of Head and Neck Tumours.
Jpn. J. Radiol., 2017. 35(11): 629-647

7. 上田和彦 , 平塚真生子 , 松枝清 , 高澤豊 , 笹平直樹 , 齋浦明夫 , 田中榮司 , 宮川眞一
混合型肝癌をめぐる混乱の終焉を目指して：混合型肝癌 [ICD-0 code 8180/3（WHO2010）] の画像診断 .
肝・胆・膵 , 2017. 74(5): 761-767

8. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 小林心
HER2 equivocal であったが、抗 HER2 療法が奏効した 1 例 .
Cancer Board of the Breast, 2017. 3(1): 5-14

9. 五味直哉
乳がんの検査・診断：CT 検査 .
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子 , 矢形寛編集）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.53-56, 2017

10. 五味直哉
乳がんの検査・診断：CT 検査 .
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子 , 矢形寛編集）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.57-60, 2017

11. 五味直哉
乳がんの検査・診断：MRI 検査 .
乳がん患者ケアパーフェクトブック（阿部恭子 , 矢形寛編集）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.47-52, 2017

12. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 小林心
乳癌単発骨病変の診断と治療 .
Cancer Board of the Breast, 2017. 3(2): 69-79

13. 伊藤浩一 , 山元龍哉 , 上田和彦 , 田中修 , 濱敏弘
薬物治療に起因する諸病態の画像所見：消化管・泌尿器領域　化学療法に起因する有害事象の画像所見 .
臨床画像 , 2017. 33(10): 1144-1155

14. 佐藤綾花 , 宮城由美 , 坂井威彦 , 五味直哉 , 堀井理絵 , 秋山太 , 岩瀬拓士 , 大野真司
多量のヘモジデリン沈着がマンモグラフィで石灰化様に描出されたと推測される一側多発乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(1): 51-57

15. 國分優美 , 五味直哉
Land-Mark papers in Oncology：エポックメイカーとなった論文：超音波エラストグラフィ .
Cancer Board of the Breast, 2017. 3(1): 58

16. 國分優美 , 五味直哉 , 大野真司
日常診療に役立つ超音波検査：各臓器の超音波検査：乳腺 .
臨床と研究 , 2017. 94(8): 939-944

17. 國分優美 , 五味直哉 , 大野真司
肺 CT で乳腺周辺に結節を認めた場合、精査はどうする？　マンモグラフィではなく超音波検査を勧める .
日本医事新報 , 2017(4846): 63-64

18. 塩崎正崇 , 澤泉雅之 , 五味直哉
TE 挿入中の MRI 撮影の危険性について .
Oncoplastic Breast Surgery, 2017. 2(1): 1-5

19. 寺村易予 , 植野映子 , 阿江啓介 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 船内雄生 , 三浪友輔 , 松枝清
脊椎の画像診断再入門：脊椎の骨腫瘍 .
画像診断 , 2017. 37(10): 1062-1072

20. 渡邉亮輔 , 負門克典 , 松枝清
放射線科研修医の胸腹部画像診断 must know: 胸部　肺　限局性病変　孤立性結節 .
臨床画像 , 2017. 33（10 月増刊）: 6-12

21. 田中優美子
婦人科疾患の鑑別診断のポイント :（第 4 章）付属器および付属器外　卵巣内膜症性嚢胞に生じた病変の鑑別 .
画像診断 , 2017. 37(11): s126-s131

22. 田中優美子
画像診断ガイドライン 2016- 改訂のポイントと今後の方向性 -: 婦人科領域の改訂ポイントと今後の課題 .
臨床放射線 , 2017. 62(8): 1019-1025

23. 田中宏子
会心の症例・痛恨の症例から学ぶ画像診断のコツ : 頭頸部疾患　画像、あれこれ .
臨床画像 , 2017. 33(7): 762-771

24. 田中宏子 , 山元龍哉
頭頸部癌学診断と治療の最新研究動向 VII 頭頸部癌の検査・診断 : 各論原発巣の画像診断 .
日本臨床増刊号 , 2017. 75: 253-256

25. 負門克典
画像による病変の由来部位の診断 :（第 4 章）胸部縦隔 .
画像診断 , 2017. 37(4): s102-s117

26. 負門克典
肺がんアップデート - 基礎から最新トピックスまで -: 肺がん診断の基礎知識　肺がんの画像診断　肺癌取扱い規約第 8 版への対応と問題点 .
診断と治療 , 2017. 105(11): 1385-1390

27. 負門克典
肺癌を見逃さない ! 画像読影のコツを押さえよう :（10 章）肺癌を見落とさないためのまとめ各所見の重要な項目・鑑別の方法・経過観察の重要性など　周囲の既存構造と病巣の関係をどう把握するのか .
jmedmook, 2017(53): 151-155

28. 負門克典
肺癌を見逃さない ! 画像読影のコツを押さえよう :（10 章）肺癌を見落とさないためのまとめ各所見の重要な項目・鑑別の方法・経過観察の重要性など　経過観察の重要性 .
jmedmook, 2017(53): 156-158

29. 負門克典
肺癌を見逃さない ! 画像読影のコツを押さえよう :（10 章）肺癌を見落とさないためのまとめ各所見の重要な項目・鑑別の方法・経過観察の重要性など　肺結節の辺縁性状、内部性状の評価 .
jmedmook, 2017(53): 144-150

30. 馬見塚尚孝 , 大西信三 , 田中優美子 , 平野篤 , 山崎正志
胸郭出口症候群の MRI 最大値投射法 .
日本整形外科スポーツ医学会雑誌 , 2017. 37(1): 80-83

核医学部

1. Koizumi, M., Motegi, K., Koyama, M., Terauchi, T., Yuasa, T., Yonese, J.
Diagnostic performance of a computer-assisted diagnosis system for bone scintigraphy of newly developed skeletal metastasis in prostate cancer patients: search for low-sensitivity subgroups.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(7): 521-528

2. Koizumi, M., Gokita, T., Toda, K.
Impending atypical femoral fracture in patients with medullary thyroid cancer with skeletal metastasis treated with long-term bisphosphonate and denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2017. 42(6): 463-464

3. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Gomi, N., Kanda, H.
Skeletal sarcoidosis mimicking metastatic ovarian cancer : A case with FDG-PET/CT.
Remdey Open Access Nucl. Med., 2017. 2: 1078

4. Nakagawa, K., Takahashi, S., Endo, M., Ohde, Y., Kurihara, H., Terauchi, T.
Can 18F-FDG PET predict the grade of malignancy in thymic epithelial tumors? An evaluation of only resected tumors.
Cancer Manag. Res., 2017. 9: 761-768

5. Sugihara, T., Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Gomi, N., Ito, Y., Hatake, K., Sata, N.
Bone metastases from breast cancer: associations between morphologic CT patterns and glycolytic activity on PET and bone scintigraphy as well as explorative search for influential factors.
Ann. Nucl. Med., 2017. 31(10): 719-725

6. Sugyo, A., Tsuji, A. B., Sudo, H., Nomura, F., Satoh, H., Koizumi, M., Kurosawa, G., Kurosawa, Y., Saga, T.
Uptake of 111In-labeled fully human monoclonal antibody TSP-A18 reflects transferrin receptor expression in normal organs and tissues of mice.
Oncol. Rep., 2017. 37(3): 1529-1536

7. Umeda, T., Koizumi, M., Fukai, S., Miyaji, N., Motegi, K., Nakazawa, S., Takiguchi, T.
Evaluation of bone metastatic burden by bone SPECT/CT in metastatic prostate cancer patients: defining threshold value for total bone uptake and assessment in radium-223 treated patients.
Ann. Nucl. Med., 2017. 32(2): 105-113

8. Umeda, T., Miwa, K., Murata, T., Miyaji, N., Wagatsuma, K., Motegi, K., Terauchi, T., Koizumi, M.
Optimization of a shorter variable-acquisition time for legs to achieve true whole-body PET/CT images.
Australas. Phys. Eng. Sci. Med., 2017. 40(4): 861-868

9. 梅田拓朗 , 宮司典明 , 中澤脩人 , 三輪建太 , 我妻慧 , 茂木一樹 , 滝口智洋 , 小泉満
223Ra イメージングにおける異なるコリメータとエネルギーウインドウの設定が総合感度および総合空間分解能に与える影響 .
日本放射線技術学会雑誌 , 2017. 73(11): 1132-1139

遺伝子診療部

1. Arai, M., Yoshida, R., Nomura, H., Kitagawa, D., Nakashima, E., Takeshima, N., Iwase, T., Ohno, S.
Clinical practice for hereditary breast and ovarian cancer (HBOC) in Japan.
Juntendo Med. J., 2017. 63(5): 340-343

2. Arai, M., Yokoyama, S., Watanabe, C., Yoshida, R., Kita, M., Okawa, M., Sakurai, A., Sekine, M., Yotsumoto, J., Nomura, H., Akama, Y., Inuzuka, M., Nomizu, T., Enomoto, T., Nakamura, S.
Genetic and clinical characteristics in Japanese hereditary breast and ovarian cancer: first report after establishment of HBOC registration system in Japan.
J. Hum. Genet., 2017. 63(4): 447-457

3. Sato, K., Koyasu, M., Nomura, S., Sato, Y., Kita, M., Ashihara, Y., Adachi, Y., Ohno, S., Iwase, T., Kitagawa, D., Nakashima, E., Yoshida, R., Miki, Y., Arai, M.
Mutation status of RAD51C, PALB2 and BRIP1 in 100 Japanese familial breast cancer cases without BRCA1 and BRCA2 mutations.
Cancer Sci., 2017. 108(11): 2287-2294

4. 吉田玲子 , 新井正美
乳がんのリハビリテーション : 遺伝性乳がん卵巣がんのリスク低減乳房切除 .
Journal of Clinical Rehabilitation, 2017. 26(2): 162-164

5. 吉田玲子
乳癌ゲノム医療最前線 - 臨床応用はどこまで進んだか遺伝性乳癌卵巣癌　パネルテストの時代を迎えて .
カレントテラピー , 2017. 35(9): 822-828

6. 吉田玲子
乳癌学：最新の診断と治療：乳癌の疫学と予防 遺伝性乳癌　遺伝カウンセリングと遺伝子検査 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 3 乳癌学）：80-84

7. 吉田玲子 , 新井正美
遺伝子診療の最前線 - 着床前 , 胎児から婦人科がんまで婦人科腫瘍遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）診療の最前線　HBOC 診療での遺伝カウンセリング .
臨床婦人科産科 , 2017. 71(11): 1031-1037

8. 小野寿子 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 芦原有美 , 新井正美 , 岩瀬拓士 , 大野真司
一卵性双生児の姉の乳癌発症を契機に BRCA 遺伝学的検査を施行し、未発症変異保有者のサーベイランス中に乳房超音波検査で発見された乳癌の 1 例 .
家族性腫瘍 , 2017. 16(2): 33-37

9. 新井正美
リスク低減手術：遺伝性乳癌卵巣癌を中心に .
医学のあゆみ , 2017. 262(13): 1184-1185

10. 新井正美 , 島田聡子
乳癌学：最新の診断と治療 -: 乳癌の疫学と予防　遺伝性乳癌　遺伝性乳癌　概論 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 3 乳癌学）：72-79

11. 新井正美
産婦人科臨床遺伝の最前線腫瘍分野の臨床遺伝 HBOC とリンチ症候群 .
日本産科婦人科学会雑誌 , 2017. 69(10): 1943-1949

12. 新井正美編著 , 厚生労働科学研究がん対策推進総合研究事業「わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究班」編
遺伝性乳癌卵巣癌症候群〈HBOC〉診療の手引き . 2017 年版
東京 , 金原出版：155p., 2017

13. 武田美鈴 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 新井正美 , 小口正彦 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 大野真司
術前に Li-Fraumeni 症候群と診断し、放射線療法の適応について検討した若年乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 413-419

遺伝子診断研究部

1. Hata, J., Nagai, A., Hirata, M., Kamatani, Y., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Muto, K., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Collaborators, Saito, S., Shimomura, H., Higashiue, S., Misumi, K., Minami, S., Yamatake, M., Takano, H., Shimada, K., Konishi, H., Miyamoto, N., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Sugimoto, Y., Ashihara, T., Koretsune, Y., Ikeda, S., Yano, R.
Risk prediction models for mortality in patients with cardiovascular disease: The BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S71-s76

2. Hirata, M., Kamatani, Y., Nagai, A., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Kubo, M., Muto, K., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa, Y., Zembutsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Matsuda, K., Collaborators, Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Emi, M., Emoto, N., Arai, H., Yamaji, K., Hiratsuka, Y., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yoshimaya, T.
Cross-sectional analysis of BioBank Japan clinical data: A large cohort of 200,000 patients with 47 common diseases.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S9-S21

3. Hirata, M., Nagai, A., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Kubo, M., Muto, K., Kiyohara, Y., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa,

Y., Zembutsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Matsuda, K., Collaborators, Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Watanabe, A., Emoto, N., Takahashi, K., Takeda, S., Funaki, T., S., A., Moriyama, M., Takahashi, Y., T., F., Obara, W., Mori, S., Io, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yoshimori, K.
Overview of BioBank Japan follow-up data in 32 diseases.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S22-S28

4. Nagai, A., Hirata, M., Kamatani, Y., Muto, K., Matsuda, K., Kiyohara, Y., Ninomiya, T., Tamakoshi, A., Yamagata, Z., Mushiroda, T., Murakami, Y., Yuji, K., Furukawa, Y., Zembutsu, H., Tanaka, T., Ohnishi, Y., Nakamura, Y., Kubo, M., Collaborators, Shiono, M., Misumi, K., Kaieda, R., Harada, H., Minami, S., Emi, M., Emoto, N., Daida, H., Miyauchi, K., Murakami, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Kutsumi, H., Sugimoto, Y., Koretsune, Y., Kusuoka, H., Yanai, H.
Overview of the BioBank Japan Project: Study design and profile.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S2-s8

5. Nakamura, K., Okada, E., Ukawa, S., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Maekawa, K., Kaneko, K., Harada, H., Minami, S., Takei, H., Saito, M., Terao, Y., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Abe, H., Shimizu, T., Koretsune, Y., Masuda, N., Takeda, Y.
Characteristics and prognosis of Japanese female breast cancer patients: The BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S58-s64

6. Nakamura, K., Ukawa, S., Okada, E., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Ninomiya, T., Muto, K., Kiyohara, Y., Matsuda, K., Kamatani, Y., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, harada, H., Hibino, M., Okuyama, A., Kano, N., Minami, S., Genma, A., Usuda, J., Suzuki, K., Sekiya, M., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Tezuka, N., Nakano, Y., Koretsune, Y., Ogawara, M., Yamana, K.
Characteristics and prognosis of Japanese male and female lung cancer patients: The BioBank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S49-s57

7. Okada, E., Ukawa, S., Nakamura, K., Hirata, M., Nagai, A., Matsuda, K., Ninomiya, T., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Yamagata, Z., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Makimoto, S., Harada, H., Fujikawa, T., Minami, S., Uchida, E., Miyashita, M., Kajiyama, Y., Tomita, N., Nagahara, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ban, H., Murata, S., Koretsune, Y., Hirao, M., Ogata, H.
Demographic and lifestyle factors and survival among patients with esophageal and gastric cancer: The Biobank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S29-s35

8. Nakamura, K., Okada, E., Ukawa, S., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Ninomiya, T., Matsuda, K., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Maekawa, K., Kaneko, K., Harada, H., Minami, S., Takei, H., Saito, M., Terao, Y., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi,

Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Abe, H., Shimizu, T., Koretsune, Y., Masuda, N., Takeda, Y.
Characteristics and prognosis of Japanese female breast cancer patients: The BioBank Japan project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S58-s64

9. Nakamura, K., Ukawa, S., Okada, E., Hirata, M., Nagai, A., Yamagata, Z., Ninomiya, T., Muto, K., Kiyohara, Y., Matsuda, K., Kamatani, Y., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, harada, H., Hibino, M., Okuyama, A., Kano, N., Minami, S., Genma, A., Usuda, J., Suzuki, K., Sekiya, M., Takeda, S., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Tezuka, N., Nakano, Y., Koretsune, Y., Ogawara, M., Yamana, K.
Characteristics and prognosis of Japanese male and female lung cancer patients: The BioBank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S49-s57

10. Okada, E., Ukawa, S., Nakamura, K., Hirata, M., Nagai, A., Matsuda, K., Ninomiya, T., Kiyohara, Y., Muto, K., Kamatani, Y., Yamagata, Z., Kubo, M., Nakamura, Y., Tamakoshi, A., Collaborators, Shimoyama, R., Makimoto, S., Harada, H., Fujikawa, T., Minami, S., Uchida, E., Miyashita, M., Kajiyama, Y., Tomita, N., Nagahara, A., Asai, S., Moriyama, M., Takahashi, Y., Fujioka, T., Obara, W., Mori, S., Ito, H., Nagayama, S., Miki, Y., Masumoto, A., Yamada, A., Nishizawa, Y., Kodama, K., Ban, H., Murata, S., Koretsune, Y., Hirao, M., Ogata, H.
Demographic and lifestyle factors and survival among patients with esophageal and gastric cancer: The Biobank Japan Project.
J. Epidemiol., 2017. 27(3s): S29-s35

病院病理部

1. Araki, K., Fukada, I., Yanagi, H., Kobayashi, K., Shibayama, T., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ohno, S., Ito, Y.
First report of eribulin in combination with pertuzumab and trastuzumab for advanced HER2-positive breast cancer.
Breast, 2017. 35: 78-84

2. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Motoi, N.
Two-stage surgery on pregnant woman with a giant cell tumor of bone who refused blood transfusion: A case report.
J. Orthop. Sci., 2017. 22(1): 169-172

3. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The early onset of peripheral neuropathy might be a robust predictor for time to treatment failure in patients with metastatic breast cancer receiving chemotherapy containing paclitaxel.
PLoS One, 2017. 12(9): e0184322

4. Hiyoshi, Y., Akiyoshi, T., Inoue, R., Murofushi, K., Yamamoto, N., Fukunaga, Y., Ueno, M., Baba, H., Mori, S., Yamaguchi, T.
Serum miR-143 levels predict the pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.
Oncotarget, 2017. 8: 79201-79211

5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Takahashi, H.
Accuracy of diagnostic demarcation of undifferentiated-type early gastric cancer for magnifying endoscopy with narrow-band imaging: surgical cases.
Surg. Endosc., 2017. 31(4): 1906-1913

6. Inamura, K., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Subat, S., Nagano, H., Nomura, K., Okumura, S., Sibutani, T., Ishikawa, Y.
Association of tumor TROP2 expression with prognosis varies among lung cancer subtypes.
Oncotarget, 2017. 8(17): 28725-28735

7. Inamura, K., Kobayashi, M., Nagano, H., Sugiura, Y., Ogawa, M., Masuda, H., Yonese, J., Ishikawa, Y.
A novel fusion of HNRNPA1-ALK in inflammatory myofibroblastic tumor of urinary bladder.
Hum. Pathol., 2017. 69: 96-100

8. Itabashi, M., Nasierowska-Guttmejer, A., Shimoda, T., Majewski, P., Rezner, W., Sikora, K., Srutek, E., Steplewska, K., Swatek, J., Szumilo, J., Wierzchniewska-Lawska, A., Wronecki, L., Zembala-Nozynska, E., Arai, T., Fujita, M., Kawachi, H., Unakami, M., Kamoshida, T.
The importance of the concept and histological criteria of “intraepithelial squamous cell carcinoma” of the esophagus: in comparison between Western and Japanese criteria.
Esophagus, 2017. 14(4): 333-342

9. Katsushima, H., Fukuhara, N., Ichikawa, S., Ota, Y., Takeuchi, K., Ishizawa, K., Sasano, H., Harigae, H., Ichinohasama, R.
Non-biased and complete case registration of lymphoid leukemia and lymphoma for five years: a first representative index of Japan from an epidemiologically stable Miyagi Prefecture.
Leuk. Lymphoma, 2017. 58(1): 80-88

10. Kawakita, D., Tada, Y., Imanishi, Y., Beppu, S., Tsukahara, K., Kano, S., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Shimizu, A., Sato, Y., Fushimi, C., Takase, S., Okada, T., Sato, H., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Shimura, T., Hanazawa, T., Murakami, S., Nagao, T.
Impact of hematological inflammatory markers on clinical outcome in patients with salivary duct carcinoma: a multi-institutional study in Japan.
Oncotarget, 2017. 8(1): 1083-1091

11. Kito, M., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Takazawa, Y.
Multicentric giant cell tumor of bone: Case series of 4 patients.
J. Orthop. Sci., 2017. 22(6): 1107-1111

12. Kojima, M., Shimazaki, H., Iwaya, K., Nakamura, T., Kawachi, H., Ichikawa, K., Sekine, S., Ishiguro, S., Shimoda, T., Kushima, R., Yao, T., Fujimori, T., Hase, K., Watanabe, T., Sugihara, K., Lauwers, G. Y., Ochiai, A.
Intramucosal colorectal carcinoma with invasion of the lamina propria: a study by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.
Hum. Pathol., 2017. 66: 230-237

13. Kondo, T., Sato, Y., Tanaka, H., Sasaki, T., Kawabata, K., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Shimbashi, W.
Two cases of ectopic hamartomatous thymoma masquerading as sarcoma.
Case Rep. Otolaryngol., 2017. 2017: 1672919

14. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Gomi, N., Kanda, H.
Skeletal sarcoidosis mimicking metastatic ovarian cancer : A case with FDG-PET/CT.
Remdey Open Access Nucl. Med., 2017. 2: 1078

15. Li, J., Motoi, N., Kanda, H., Sugiura, Y., Nagano, H., Yonese, J., Okumura, S., Matsumoto, S., Machinami, R., Ishikawa, Y.
A newly emerged osteosarcomatous dedifferentiation of liposarcoma in lung metas-

tasis - a potential diagnostic pitfall.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 50-52

16. Mori, S., Motoi, N., Ninomiya, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Nishio, M., Morikawa, T., Ishikawa, Y.
High expression of programmed cell death 1 ligand 1 in lung adenocarcinoma is a poor prognostic factor particularly in smokers and wild-type epidermal growth-factor receptor cases.
Pathol. Int., 2017. 67(1): 37-44

17. Mori, S., Uehara, H., Motoi, N., Okumura, S.
Pulmonary artery sarcoma presenting as an isolated lung mass.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2017. 65(3): 171-4

18. Muto, M., Inamura, K., Ozawa, N., Endo, T., Masuda, H., Yonese, J., Ishikawa, Y.
Skene' s gland adenocarcinoma with intestinal differentiation: A case report and literature review.
Pathol. Int., 2017. 67(11): 575-579

19. Nakano, K., Marshall, S., Taira, S., Sato, Y., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
A comparison of weekly paclitaxel and cetuximab with the EXTREME regimen in the treatment of recurrent/metastatic squamous cell head and neck carcinoma.
Oral Oncol., 2017. 73: 21-26

20. Ogura, A., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Noma, H., Nagino, M., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Does the depth of mesorectal invasion have prognostic significance in patients with ypT3 lower rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy?
Int. J. Colorectal Dis., 2017. 32(3): 349-356

21. Ono, H., Tanabe, M., Kimura, K., Miyagi, Y., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
The management of contralateral axillary sentinel lymph nodes detected by lymphoscintigraphy in a patient of breast cancer that had never undergone breastrelated medical treatment.
Clin. Invest. (London), 2017. 7(1): 017-024

22. Osako, T., Iwase, T., Ushijima, M., Yonekura, R., Ohno, S., Akiyama, F.
A new molecular-based lymph node staging classification determines the prognosis of breast cancer patients.
Br. J. Cancer., 2017. 117(10): 1470-1477

23. Saiki, M., Ohyanagi, F., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Dramatic response to alectinib in inflammatory myofibroblastic tumor with anaplastic lymphoma kinase fusion gene.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2017. 47(12): 1189-1192

24. Sakakibara, R., Inamura, K., Tambo, Y., Ninomiya, H., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Inase, N., Nishio, M., Motoi, N., Ishikawa, Y.
EBUS-TBNA as a promising method for the evaluation of tumor PD-L1 expression in lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2017. 18(5): 527-534

25. Shimoyama, K., Osako, T., Mitsuhashi, T., Akiyama, F., Iwase, T.
Lesion size on ultrasonography predicts potential invasion in ductal carcinoma in situ preoperatively diagnosed by breast needle biopsy.
Acta Med. Okayama, 2017. 71(3): 233-240

26. Shimura, T., Tada, Y., Hirai, H., Kawakita, D., Kano, S., Tsukahara, K., Shimizu, A., Takase, S., Imanishi, Y., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Sato, Y., Fushimi, C., Takahashi, H., Okada, T., Sato, H., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Ando, M., Kohsaka, S., Hanazawa, T., Chazono, H., Kadokura, Y., Kobayashi, H., Nagao, T.
Prognostic and histogenetic roles of gene alteration and the expression of key potentially actionable targets in salivary duct carcinomas.
Oncotarget, 2017. 9(2): 1852-1867

27. Takase, S., Kano, S., Tada, Y., Kawakita, D., Shimura, T., Hirai, H., Tsukahara, K., Shimizu, A., Imanishi, Y., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Sato, Y., Fushimi, C., Okada, T., Sato, H., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Hanazawa, T., Chazono, H., Osamura, R. Y., Nagao, T.
Biomarker immunoprofile in salivary duct carcinomas: clinicopathological and prognostic implications with evaluation of the revised classification.
Oncotarget, 2017. 8(35): 59023-59035

28. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Sato, Y., Sasaki, T., Kawabata, K., Igarashi, M.
Efficacy of double-scope endoscopic submucosal dissection and long-term outcomes of endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.
Dig. Endosc., 2017. 29(2): 152-159

29. 並河健，斎藤彰一，井出大資，千野晶子，河内洋
大腸癌の診療：大腸癌の診断　大腸腫瘍の内視鏡観察　通常内視鏡から色素内視鏡．
臨床消化器内科，2017. 32(7): 847-852

30. 中野薫，平澤俊明，堀江義政，乾山義政，赤澤直樹，城間翔，山崎明，吉水祥一，山本安則，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，土田知宏，藤崎順子，河内洋
gNET- アップデート：胃 NET に対する内視鏡治療の適応．
消化器・肝臓内科，2017. 2(5): 482-488

31. 佐藤綾花，宮城由美，坂井威彦，五味直哉，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，大野真司
多量のヘモジデリン沈着がマンモグラフィで石灰化様に描出されたと推測される一側多発乳癌の 1 例．
乳癌の臨床，2017. 32(1): 51-57

32. 千野晶子，斎藤彰一，高松学，上野雅資，田顔夫佑樹，井出大資，為我井芳郎，五十嵐正広，河内洋，山本智理子
消化管内分泌細胞腫瘍の新知見：直腸 NET G1 の転移例．
胃と腸，2017. 52(4): 469-476

33. 堀井理絵
乳癌学 - 最新の診断と治療：乳癌最新の基礎研究動向　浸潤性小葉癌の病理診断と遺伝子異常．
日本臨床，2017. 75（増刊 3 乳癌学）：191-195

34. 堀井理絵
治療効果判定の病理学：乳癌における組織学的治療効果判定の意義と問題点．
病理と臨床，2017. 35(11): 1015-1019

35. 小松京子，石井脩平，藤山淳三，河内洋
病理組織染色法の基礎講座：粘液に関する特殊染色．
病理と臨床，2017. 35(8): 767-775

36. 山本安則，石山晃世志，城間翔，中野薫，山崎明，吉水祥一，堀内裕介，由雄敏之，平澤俊明，土田知宏，河内洋，山本智理子，藤崎順子
胃 SMT 様形態を示した Hamartomatous inverted polyp の 2 例．
Prog. Dig. Endosc., 2017. 91(1): 144-145,9

37. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください SMT 様の病変 .
臨床消化器内科 , 2017. 33(1): 119-123

38. 斎藤彰一 , 河内洋
手技の解説　大腸腫瘍の拡大観察の要点 .
Gastroenterological Endoscopy, 2017. 59(3): 300-310

39. 横江隆道 , 堀井理絵 , 北川大 , 中島絵里 , 大迫智 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 秋山太
腋窩腫瘤を契機に診断された同時性同側の主乳腺と副乳腺の重複乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(6): 501-509

40. 武田美鈴 , 坂井威彦 , 中島絵里 , 喜多瑞穂 , 新井正美 , 小口正彦 , 堀井理絵 , 秋山太 , 伊藤良則 , 岩瀬拓士 , 大野真司
術前に Li-Fraumeni 症候群と診断し、放射線療法の適応について検討した若年乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2017. 32(5): 413-419

41. 河内洋
内視鏡検診時代の胃診断学：胃粘膜を観る！胃癌を診る！：内視鏡だけで胃炎を読めるのか？読まなくてはいけないのか？
消化器内視鏡 , 2017. 29(7): 1185-1187

42. 河内洋
図説「胃と腸」所見用語集 2017: 病理横這型胃癌 , 手つなぎ型腺管癌 (crawling-type adenocarcinoma of the stomach).
胃と腸 , 2017. 52(5): 702

43. 河内洋 , 藤崎順子
消化器内視鏡の基礎知識と基本テクニック：生検・切除標本の扱い方と内視鏡医が押さえるべき病理基本知識　病理医からのアドバイス .
消化器内視鏡 , 2017. 29(3): 369-376

44. 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一 , 河内洋
消化器内視鏡の基礎知識と基本テクニック：大腸内視鏡　診断　大腸内視鏡拡大観察と診断 .
消化器内視鏡 , 2017. 29(3): 518-523

45. 由雄敏之 , 土田知宏 , 石山晃世志 , 大前雅実 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 藤崎順子 , 佐藤由紀子 , 佐々木徹 , 川端一嘉 , 五十嵐正広
Double-scope ESD の有効性と表在型咽頭癌に対する内視鏡的切除の治療成績 .
Gastroenterological Endoscopy, 2017. 59(12): 2750-2759

46. 関水真理子 , 新橋渉 , 川端一嘉 , 三谷浩樹 , 米川博之 , 福島啓文 , 佐々木徹 , 瀬戸陽 , 北野睦三 , 小泉雄 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 足立充隆 , 佐藤由紀子 , 高橋俊二
当院における嗅神経芽細胞腫 31 症例の検討 .
頭頸部癌 , 2017. 43(1): 8-12

細胞診断部

1. Abe, T., Fukada, I., Shiga, T., Morizono, H., Ikebata, K., Shibayama, T., Kobayashi, K., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
A case of recurrent breast cancer identified by pulmonary tumor thrombotic micaroangiopathy.
Case. Rep. Oncol., 2017. 10(2): 620-626

2. 坂本穆彦編集・執筆 , 今野良 , 小松京子 , 大塚重則 , 古田則行執筆
子宮頸部細胞診運用の実際：ベセスダシステム 2014 準拠 . 第 2 版
東京 , 医学書院：221p., 2017

3. 小松京子
ISO 15189 取得簡易マニュアル：技術的要求事項と検査室の整備　病理検査部門　病理部門における ISO 15189 要求事項への対策 .
臨床検査 , 2017. 61(5): 648-653

4. 小松京子
病理検査を取り巻く環境と技術管理 .
病理技術 , 2017. 80(1): 4-6

5. 小松京子 , 石井脩平 , 藤山淳三 , 河内洋
病理組織染色法の基礎講座：粘液に関する特殊染色 .
病理と臨床 , 2017. 35(8): 767-775

6. 星利良
原発性肺腺癌の細胞像　細胞学的鑑別点を中心に .
秋田県臨床細胞学会誌 , 2017(23): 25-29

7. 杉山裕子
がん転移学（上）がん転移のメカニズムと治療戦略：その基礎と臨床：がん転移学の基礎研究　がんの発生進展の分子機構　子宮体癌の分子機構 .
日本臨床 , 2017. 75（増刊 8 がん転移学;上）: 232-235

8. 水口國雄 , 小松京子監修
二級臨床検査士資格認定試験のための病理技術教本 . 改定第 2 版
東京 , 日本臨床監査同学院：80p., 2017

栄養管理部

1. 伊沢由紀子 , 井田智 , 川名加織 , 中濱孝志 , 望月宏美 , 縄野一美 , 速水克 , 熊谷厚志 , 峯真司 , 比企直樹
化学療法中の経時的に変化する味覚異常におけるテーストディスクを用いた客観的味覚評価 .
日本静脈経腸栄養学会雑誌 , 2017. 32(3): 1168-1173

2. 望月宏美
がん研有明病院式の栄養指導 .
New Diet Therapy, 2017. 33(1): 69-77

3. 望月宏美 , 峯真司 , 中濱孝志 , 比企直樹
生き残りを懸けた管理栄養士のフロンティア精神（第 5 弾）　栄養指導による栄養治療の効果に関するエビデンスを作るための臨床研究　臨床研究を通して見える管理栄養士の将来の姿胃外科における栄養相談専門士が示す栄養治療効果 .
New Diet Therapy, 2017. 32(4): 51-52

4. 望月宏美 , 熊谷厚志 , 井田智 , 峯真司 , 布部創也 , 石塚直樹 , 佐野武 , 比企直樹
胃癌術前患者における手術待機期間中の栄養状態の変化 .
日本消化器外科学会雑誌 , 2017. 50(11): 866-871

5. 松下亜由子 , 峯真司 , 熊谷厚志 , 井田智 , 望月宏美 , 中濱孝志 , 比企直樹
がん終末期患者における経口摂取状況と管理栄養士介入に関する検討 .
日本静脈経腸学会雑誌 , 2017. 32(4): 1324-1328

6. 高木久美
低栄養対策パーフェクトガイド - 病態から問い直す最新の栄養管理：（Part3）病態別　低栄養マネジメント [慢性疾患] がん悪液質 .
臨床栄養 , 2017. 130(6): 914-920

看護部

1. 佐伯やよい
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア “いま” 注目したい！副作用ケア　あたりまえだけれど “検査値の確認” を忘れずに　電解質異常 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 37-41

2. 佐伯やよい
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア “いま” 注目したい！副作用ケア　見落としてはいけない！　肝障害・横紋筋融解症のサイン .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 42-46

3. 古賀典子
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア “いま” 注目したい！副作用ケア　致死的消化管穿孔につながる血管新生阻害薬による出血 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 28-31

4. 増田香織
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア　入院中から退院後に起こりうる副作用を予測して！　患者による皮膚障害のセルフケアと指導 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 47-50

5. 大友陽子 , 長崎礼子 , 濱口恵子
進行再発膵がん患者に対する PANDA（PANcreatic Direct Approach team）プログラム　プログラムの概要 .
がん看護 , 2017. 22(1): 75-79

6. 小田島久美
終末期せん妄への向き合い方　終末期せん妄状態の患者への看護としての向き合い方 .
エンド・オブ・ライフケア , 2017. 1(3): 34-40

7. 小野絵梨奈
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア “いま” 注目したい！副作用ケア G-CSF 製剤使用のタイミングを逃さない　好中球減少 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 32-36

8. 床知恵子 , 花出正美
その人らしい生き方を支援するために～アドバンス・ケア・プランニングの実践～：ACP における医療者と患者・家族のギャップと対応 .
がん看護 , 2017. 22(7): 690-693

9. 林田由美子
苦痛症状 + 治療・処置別　そのまま使える緩和ケア患者説明ガイド：（CHAP.2）苦痛症状の患者説明ガイド　不眠 .
プロフェッショナルがんナーシング , 2017(2017 春季増刊): 79-85

10. 武田知子
楽しくキホンのツボを押さえる！新人ナースのためのはじめての器械出し “ロードマップ”：はじめに　手術室に配属！…手術看護はやりがいの宝庫！
オペナーシング , 2017. 32(4): 350-353

11. 水野俊美
「眠れない !」みかたをかえて問いなおす　不眠への対応・私のコツ　がん研究会有明病院の緩和ケアチームにおける実践 .
緩和ケア , 2017. 27(4): 259-261

12. 野村美幸
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア　知っておきたいトピック 「免疫チェックポイント阻害薬」投与時の注意 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 21-24

13. 鈴木美穂
分子標的薬などの新薬にも注目！ “いま” 見直したい抗がん薬の副作用ケア　イラストで見る抗がん薬　まず理解しておきたい！がん治療に用いられる薬剤 .
Expert Nurse, 2017. 33(8): 12-20

14. 長崎礼子
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A:　これも知っておきたい！患者対応・患者説明に活かす Q&A こんなときどう対応する　民間療法　患者は医師に内緒で民間療法を受けており、患者からは秘密にしてほしいと言われています。どのように対応すればよいのでしょうか .
ナーシング , 2017. 37(2): 92-93

15. 長崎礼子
いつ・誰に尋ねられてももう困らない！がん化学療法　薬の知識アップデート　すぐに役立つ最新 Q&A:　ズバリ！有害事象対策 Q&A 有害事象　血管外漏出　ビシカント薬のアドリアマイシン（ADM）の血管外漏出時のサビーン投与について教えてください .
ナーシング , 2017. 37(2): 30-32

16. 長崎礼子
免疫チェックポイント阻害療法の副作用と対策マネジメント　頻度の高い副作用外来治療における infusion reaction の管理とマニュアルの活用 .
医学のあゆみ , 2017. 261(12): 1161-1164

17. 長崎礼子
症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント　皮膚障害に対する看護師の役割　知っておきたい看護師の視点 .
薬事新報 , 2017(2997): 15-16

18. 阿部三千代 , 縄野一美 , 鈴木美穂
血液がん～最新治療と支持療法～：（第 V 章）血液がん患者の「生きる」を支える　血液がん患者の意思決定支援 .
がん看護 , 2017. 22(2): 285-288

19. 鴨川郁子
事例でみるがん化学療法を中心とした意思決定支援の具体策：躊躇や迷いから一歩踏み出すためのヒント：治療期　直腸がん治療中で味覚障害が出現し休薬していた患者　治療の継続を望んでいますが、味覚障害に対する不安を抱えており、今後の治療法選択に対する支援が必要なようです．
ナーシング , 2017. 37(2): 106-108

薬剤部

1. Aoyama, T., Suzuki, K., Tsunoda, T., Kawakami, K., Takiguchi, T., Watanabe, H., Suzuki, W., Sugita, K., Sato, H., Sugiyama, E., Hama, T., Nishio, M.
Antiemetic effects of granisetron or metoclopramide administered prior to amrubicin monotherapy.
Oncomedicine, 2017. 2: 24-27

2. Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugita, K., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment as adjuvant therapy for colorectal cancer.
Oncol. Res., 2017. 25(9): 1625-1631

3. 伊藤浩一 , 山元龍哉 , 上田和彦 , 田中修 , 濱敏弘
薬物治療に起因する諸病態の画像所見：消化管・泌尿器領域　化学療法に起因する有害事象の画像所見．
臨床画像 , 2017. 33(10): 1144-1155

4. 古舘一博 , 齋藤昭彦 , 森雅亮 , 森本浩之輔 , 高野利実 , 森田寛 , 景山茂 , 寺本民生 , 阿部好文 , 福島亮治 , 灰田美知子 , 高橋信一 , 堀江重郎 , 加藤眞三 , 渡邊衡一郎 , 吉野相英 , 棚橋紀夫 , 林田眞和 , 木村健二郎 , 山本哲也 , 山中昇 , 佐藤貴浩 , 俣木志朗 , 上條吉人 , 渡辺賢治 , 五十嵐隆 , 梅田悦生 , 北村正樹 , 木津純子 , 片山志郎 , 伊勢雄也 , 加藤裕久 , 竹内尚子 , 林昌洋 , 大谷道輝 , 村井ユリ子 , 川上和宜執筆
今日の治療薬：解説と便覧（浦部晶夫 , 島田和幸 , 川合眞一編集）, 東京 , 南江堂：pp.1184, 2017

5. 川上和宜
専門薬剤師からみた勘所　プロフェッショナルEYE　がん　薬剤師が行う抗がん薬による末梢神経障害のマネジメント．
薬局 , 2017. 68(10): 3286-3293

6. 根本真記 , 濱敏弘
新薬くろ～ずあっぷ　ニンラーロカプセル2.3mg、3mg、4mg（イキサゾミブ）．
調剤と情報 , 2017. 23(15): 1941-1946

7. 根本真記 , 野村久祥 , 三宅知宏 , 若林雅人 , 日置美紀 , 渡邊裕之 , 野田哲史 , 橋本浩伸 , 黒田純子 , 玉木慎也 , 中垣繁 , 林稔展 , 土手賢史 , 鈴木賢一 , 宇佐見英績 , 須藤正朝 , 大辻貴司 , 東加奈子 , 牧野好倫 , 丹田雅明 , 池末裕明 , 吉村知哲 , 藤田行代志 , 佐藤淳也 , 若林吉宣 , 満間綾子 , 下方智也 , 前田修 , 服部聖子 , 田崎亜希子 , 美濃正臣
特殊な臨床背景でのがん薬物療法　5. 凝固異常症．
ハイリスク患者のがん薬物療法ハンドブック：多様化・複雑化する患者への治療戦略を身につける（安藤雄一 , 寺田智祐編）, 東京 , 羊土社：pp.324-332, 2017

8. 横川貴志
症例形式を取り入れた副作用評価とマネジメント　手足症候群の評価とマネジメント（大腸がん症例を通じて）．
薬事新報 , 2017(2995): 9-14

9. 濱敏弘 , 鈴木亘
専門医＋エキスパートに聞く　よりよい服薬指導のための基礎知識（vol.94）　膵がん　予後不良ながんの化学療法と副作用対策（Part.2）エキスパートの服薬指導　化学療法の目的とゴールは患者によって異なる　正しく理解して適切な服薬指導を．
Credentials, 2017(111): 23-24

10. 濱敏弘 , 川上和宜
服薬指導・薬剤情報．
今日の治療指針 2017 年版（福井次矢 , 高木誠 ,

小室一成総編集），東京，医学書院：pp.1114, 2017

11. 瀧口友美
薬剤師による処方設計外来がん化学療法に対する薬剤師の介入．
医薬ジャーナル，2017. 53(7): 1719-1723

12. 竹野伸洋，濱敏弘
がん患者のココロを支える　がん患者における精神症状の理解と対応のエッセンス　がん患者に対する向精神薬の薬学的管理．
薬局，2017. 68(8): 2831-2836

13. 萩野茜
大腸がん編　化学療法編　化学療法をマスター!: 大腸がん化学療法におけるキードラッグとその特徴．
消化器看護：がん・化学療法・内視鏡，2017. 22(1): 35-41

14. 萩野茜，青山剛，鈴木賢一，角田尚，渡邉大至，川上和宜，濱敏弘
食道がん 5-FU/ シスプラチン療法に対する制吐療法変更後の効果評価．
医療薬学，2017. 43(3): 139-144

15. 鈴木賢一
TRIPLE 試験．
がん分子標的治療，2017. 15(1): 85-88

16. 鈴木賢一
免疫チェックポイント阻害薬　がん薬物療法の新時代　使用経験から学ぶ副作用マネジメント　免疫チェックポイント阻害薬の副作用管理　薬剤師の立場から．
薬事，2017. 59(12): 2455-2460

17. 鈴木賢一
膠原病・リウマチ性疾患．
ハイリスク患者のがん治療ハンドブック（南博信監修，安藤雄一，寺田智祐編集），東京，羊土社：2017

18. 長岡匠，白井悟，川上和宜，本田雅巳
Mohs ペーストの調製方法に関する検討．
日本緩和医療薬学雑誌，2017. 10(2): 41-45

医療安全管理部

1. 保田知生
動脈・静脈の疾患（上）- 最新の診断・治療動向：動脈・静脈疾患の疫学　血管疾患の発症要因　静脈血栓（塞栓）症の危険因子　悪性腫瘍．
日本臨床，2017. 75（増刊 4 動脈・静脈の疾患（上））：124-128

2. 保田知生，山田典一，椎名昌美，武田亮二，春田祥治，小林隆夫，中野赳
肺塞栓症と深部静脈血栓症および静脈血栓塞栓症における患者実態のアンケート調査報告．
心臓，2017. 49(7): 774-776

3. 川上和宜
Evidence Update 2017　最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する：エキスパートが注目する最新エビデンスをアップデート！　前立腺癌治療薬．
薬局，2017. 68(1): 133-136

4. 川上和宜
Feature Topic　みえない副作用：「みえない副作用」からみるがん診療みえないものをみる認識からはじめる「みえる化」アプローチ．
Cancer Board Square, 2017. 3(1): 40-44

5. 川上和宜
プロフェッショナル EYE　専門薬剤師からみた勘所　経口抗がん薬のアドヒアランスを評価せよ！
薬局，2017. 68(3): 569-577

6. 川上和宜
専門薬剤師からみた勘所　プロフェッショナル EYE　がん　薬剤師が行う抗がん薬による末梢神経障害のマネジメント．
薬局，2017. 68(10): 3286-3293

企画・品質管理部

1. Ueki, K., Sasako, T., Okazaki, Y., Kato, M., Okahata, S., Katsuyama, H., Haraguchi, M., Morita, A., Ohashi, K., Hara, K., Morise, A., Izumi, K., Ishizuka, N., Ohashi, Y., Noda, M., Kadowaki, T., Group, J. D. S.
Effect of an intensified multifactorial inter-

vention on cardiovascular outcomes and mortality in type 2 diabetes (J-DOIT3): an open-label, randomised controlled trial.
Lancet Diabetes Endocrinol., 2017. 5(12): 951-964

2. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Study on clinical factors involved in Helicobacter pylori-uninfected, undifferentiated-type early gastric cancer.
Digestion, 2017. 96(4): 213-219

3. Osako, T., Iwase, T., Ushijima, M., Yonekura, R., Ohno, S., Akiyama, F.
A new molecular-based lymph node staging classification determines the prognosis of breast cancer patients.
Br. J. Cancer., 2017. 117(10): 1470-1477

4. 望月宏美，熊谷厚志，井田智，峯真司，布部創也，石塚直樹，佐野武，比企直樹
胃癌術前患者における手術待機期間中の栄養状態の変化．
日本消化器外科学会雑誌，2017. 50(11): 866-871

【2018 年度】

呼吸器内科

1. Ariyasu, R., Nishikawa, S., Uchibori, K., Oh-Hara, T., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Koyama, J., Saiki, M., Sonoda, T., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Inase, N., Kasahara, K., Nishio, M., Katayama, R.
High ratio of T790M to EGFR activating mutations correlate with the osimertinib response in non-small-cell lung cancer.
Lung Cancer, 2018. 117: 1-6

2. Azuma, K., Nishio, M., Hayashi, H., Kiura, K., Satouchi, M., Sugawara, S., Hida, T., Iwamoto, Y., Inoue, A., Takeda, K., Ikeda, S., Nakagawa, T., Takeda, K., Asahina, S., Komatsu, K., Morita, S., Fukuoka, M., Nakagawa, K.
ASP8273 tolerability and antitumor activity in tyrosine kinase inhibitor-naive Japanese patients with EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer.
Cancer Sci., 2018. 109(8): 2532-2538

3. Hida, T., Kaji, R., Satouchi, M., Ikeda, N., Horiike, A., Nokihara, H., Seto, T., Kawakami, T., Nakagawa, S., Kubo, T.
Atezolizumab in Japanese patients with previously treated advanced non-small-cell lung cancer: A subgroup analysis of the phase 3 OAK study.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(4): e405-e415

4. Hida, T., Seto, T., Horinouchi, H., Maemondo, M., Takeda, M., Hotta, K., Hirai, F., Kim, Y. H., Matsumoto, S., Ito, M., Ayukawa, K., Tokushige, K., Yonemura, M., Mitsudomi, T., Nishio, M.
Phase II study of ceritinib in alectinib-pretreated patients with ALK-rearranged metastatic NSCLC in Japan: ASCEND-9.
Cancer Sci., 2018. 109(9): 2863-2872

5. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity.
J. Oncol. Pharm. Pract., 2018: in press

6. Horn, L., Mansfield, A. S., Szczesna, A., Havel, L., Krzakowski, M., Hochmair, M. J., Huemer, F., Losonczy, G., Johnson, M. L., Nishio, M., Reck, M., Mok, T., Lam, S., Shames, D. S., Liu, J., Ding, B., Lopez-Chavez, A., Kabbinavar, F., Lin, W., Sandler, A., Liu, S. V.
First-line atezolizumab plus chemotherapy in extensive-stage small-cell lung cancer.
N. Engl. J. Med., 2018: in press

7. Hosomi, Y., Tanai, C., Yoh, K., Goto, Y., Sakai, H., Kato, T., Kaburagi, T., Nishio, M., Kim, Y. H., Inoue, A., Hasegawa, Y., Isobe, H., Tomizawa, Y., Mori, Y., Minato, K., Yamada, K., Ohashi, Y., Kunitoh, H.
Characteristics and outcomes of patients with EGFR-mutation positive non-small-cell lung cancer receiving gefitinib beyond radiological progression.
Expert Opin. Pharmacother., 2018. 19(10): 1049-1056

8. Iwama, E., Sakai, K., Azuma, K., Harada, D., Nosaki, K., Hotta, K., Nishio, M., Kurata, T., Fukuhara, T., Akamatsu, H., Goto, K., Shimose, T., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Nishio, K., Okamoto, I.
Exploration of resistance mechanisms for epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors based on plasma analysis by digital polymerase chain reaction and next-generation sequencing.
Cancer Sci., 2018. 109(12): 3921-3933

9. Kato, T., Seto, T., Nishio, M., Goto, K., Yamamoto, N., Okamoto, I., Tao, L., Yu, W., Khaznadar, T., Tajima, K., Shibata, M., Seki, A., Yamamoto, N.
Erlotinib plus bevacizumab phase ll study in patients with advanced non-small-cell lung cancer (JO25567): Updated safety results.
Drug Saf., 2018. 41(2): 229-237

10. Kawano, Y., Sasaki, T., Yamaguchi, H., Hirano, K., Horiike, A., Satouchi, M., Hosokawa, S., Morinaga, R., Komiya, K., Inoue, K., Fujita, Y., Toyozawa, R., Kimura, T., Takahashi, K., Nishikawa, K., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Okamoto, I.
Phase I/II study of carboplatin plus nab-paclitaxel and concurrent radiotherapy for patients with locally advanced non-small cell lung cancer.
Lung Cancer, 2018. 125: 136-141

11. Kiura, K., Imamura, F., Kagamu, H., Matsumoto, S., Hida, T., Nakagawa, K., Satouchi, M., Okamoto, I., Takenoyama, M., Fujisaka, Y., Kurata, T., Ito, M., Tokushige, K., Hatano, B., Nishio, M.
Phase 3 study of ceritinib vs chemotherapy in ALK-rearranged NSCLC patients previously treated with chemotherapy and crizotinib (ASCEND-5): Japanese subset.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(4): 367-375

12. Murakami, H., Nokihara, H., Hayashi, H., Seto, T., Park, K., Azuma, K., Tsai, C. M., Yang, J. C., Nishio, M., Kim, S. W., Kiura, K., Inoue, A., Takeda, K., Kang, J. H., Nakagawa, T., Takeda, K., Akazawa, R., Kaneko, Y., Shimazaki, M., Morita, S., Fukuoka, M., Nakagawa, K.
Clinical activity of ASP8273 in Asian patients with non-small-cell lung cancer with EGFR activating and T790M mutations.
Cancer Sci., 2018. 109(9): 2852-2862

13. Nishio, M., Nakagawa, K., Mitsudomi, T., Yamamoto, N., Tanaka, T., Kuriki, H., Zeaiter, A., Tamura, T.
Analysis of central nervous system efficacy in the J-ALEX study of alectinib versus crizotinib in ALK-positive non-small-cell lung cancer.
Lung Cancer, 2018. 121: 37-40

14. Nishio, M., Kim, D. W., Wu, Y. L., Nakagawa, K., Solomon, B. J., Shaw, A. T., Hashigaki, S., Ohki, E., Usari, T., Paolini, J., Polli, A., Wilner, K. D., Mok, T.
Crizotinib versus chemotherapy in Asian patients with advanced ALK-positive non-small cell lung cancer.
Cancer Res. Treat., 2018. 50(3): 691-700

15. Nishio, M., Satouchi, M., Horiike, A., Horio, Y., Sunaga, Y., Ecstein-Fraisse, E., Hida, T.
Phase 1 study of ombrabulin in combination with docetaxel and cisplatin in Japanese patients with advanced solid tumors.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(4): 322-328

16. Nokihara, H., Nishio, M., Yamamoto, N., Fujiwara, Y., Horinouchi, H., Kanda, S.,

Horiike, A., Ohyanagi, F., Yanagitani, N., Nguyen, L., Yaron, Y., Borgman, A., Tamura, T.
Phase 1 Study of Cabozantinib in Japanese Patients With Expansion Cohorts in Non-Small-Cell Lung Cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018: in press

17. Saiki, M., Kitazono, S., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Oikado, K., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Characterization of computed tomography imaging of rearranged during transfection-rearranged lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(5): 435-440

18. Sasaki, T., Seto, T., Yamanaka, T., Kunitake, N., Shimizu, J., Kodaira, T., Nishio, M., Kozuka, T., Takahashi, T., Harada, H., Yoshimura, N., Tsutsumi, S., Kitajima, H., Kataoka, M., Ichinose, Y., Nakagawa, K., Nishimura, Y., Yamamoto, N., Nakanishi, Y.
A randomised phase II trial of S-1 plus cisplatin versus vinorelbine plus cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for unresectable, locally advanced non-small cell lung cancer: WJOG5008L.
Br. J. Cancer., 2018. 119(6): 675-682

19. Sonoda, T., Nishikawa, S., Sakakibara, R., Saiki, M., Ariyasu, R., Koyama, J., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M.
EGFR T790M mutation after chemotherapy for small cell lung cancer transformation of EGFR-positive non-small cell lung cancer.
Respir. Med. Case Rep., 2018. 24: 19-21

20. Uchibori, K., Inase, N., Nishio, M., Fujita, N., Katayama, R.
Identification of mutation accumulation as resistance mechanism emerging in first-line osimertinib treatment
J. Thorac. Oncol., 2018. 13(7): 915-925

21. Yanai, T., Iwasa, S., Hashimoto, H., Ohyanagi, F., Takiguchi, T., Takeda, K., Nakao, M., Sakai, H., Nakayama, T., Minato, K., Arai, T., Suzuki, K., Shimada, Y., Nagashima, K., Terakado, H., Yamamoto, N.
A double-blind randomized phase II dose-finding study of olanzapine 10 mg or 5 mg for the prophylaxis of emesis induced by highly emetogenic cisplatin-based chemotherapy.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(2): 382-388

22. Yokoi, M., Tsuji, D., Suzuki, K., Kawasaki, Y., Nakao, M., Ayuhara, H., Kogure, Y., Shibata, K., Hayashi, T., Hirai, K., Inoue, K., Hama, T., Takeda, K., Nishio, M., Itoh, K.
Genetic risk factors for chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with cancer receiving cisplatin-based chemotherapy.
Support. Care Cancer, 2018. 26(5): 1505-1513

23. 吉澤孝治 , 柳谷典子 , 西尾誠人
最前線がわかる・プロセスがわかる　がん腫別治療とケアの “流れがわかる” ガイド : がん腫別　治療の成り行きがわかる編　非小細胞肺がんの診断　治療の選択 .
ナーシング , 2018. 38(2): 10-15

24. 堀池篤
肺がん : BRAF 陽性肺がんの診断と治療 .
腫瘍内科 , 2018. 21(5): 552-557

25. 小栗知世 , 志賀太郎 , 高橋俊二 , 西尾誠人 , 保田知生
肺がん患者における静脈血栓症合併例の現状と課題 .
心臓 , 2018. 50(7): 797-800

26. 植松慎矢 , 内堀健 , 西尾誠人
呼吸器悪性腫瘍治療と抗 PD-L1 抗体療法 .
呼吸器内科 , 2018. 34(6): 537-542

27. 道津洋介 , 堀池篤
各臓器がんに対する免疫チェックポイント阻害薬 : 各臓器がんに対する免疫チェックポイント

阻害薬の現状について　肺がん .
がん分子標的治療 , 2018. 15(4): 375-378

28. 里内美弥子 , 西尾誠人 , 樋田豊明 , 中川和彦
ALK 陽性非小細胞肺癌におけるセリチニブの臨床成績と副作用マネジメント .
癌と化学療法 , 2018. 45(2): 257-264

29. 鶴谷理栄 , 山口哲男 , 汐崎紗知子 , 大石展也 , 岸田由起子 , 田村浩一
多発肝転移・DIC を伴う原発性肺癌で急激な肝機能悪化を呈し死亡した 92 歳女性 .
逓信医学 , 2018. 70(1): 42-49

呼吸器外科

1. Inamura, K., Shigematsu, Y., Ninomiya, H., Nakashima, Y., Kobayashi, M., Saito, H., Takahashi, K., Futaya, E., Okumura, S., Ishikawa, Y., Kanda, H.
CSF1R-expressing tumor-associated macrophages, smoking and survival in lung adenocarcinoma: Analyses using quantitative phosphor-integrated dot staining.
Cancers (Basel), 2018. 10(8): E252

2. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Okumura, S., Takazawa, Y.
Successful complete response of tumor thrombus after combined with chemotherapy and irradiation for Ewing sarcoma.
Case Rep. Orthop., 2018. 2018: 5238512

3. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakagawa, K., Okumura, S.
Novel techniques for video-assisted thoracoscopic surgery segmentectomy.
J. Thorac. Dis., 2018. 10(Suppl 14): S1671-s1676

4. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakagawa, K., Okumura, S.
Thoracoscopic segmentectomy for small-sized peripheral lung cancer.
J. Thorac. Dis., 2018. 10(6): 3738-3744

5. Mun, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S.
Tips and tricks for entering a difficult chest via VATS.
J. Vis. Surg., 2018: 10.21037/jovs.2018.10.15

6. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakagawa, K., Okumura, S.
Video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy for non-small cell lung cancer.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2018. 66(11): 626-631

7. Noma, D., Inamura, K., Matsuura, Y., Hirata, Y., Nakajima, T., Yamazaki, H., Hirai, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Mun, M., Nakagawa, K., Masuda, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic effect of lymphovascular invasion on TNM staging in stage I non-small-cell lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(1): e109-e122

8. Saji, H., Ueno, T., Nakamura, H., Okumura, N., Tsuchida, M., Sonobe, M., Miyazaki, T., Aokage, K., Nakao, M., Haruki, T., Ito, H., Kataoka, K., Okabe, K., Tomizawa, K., Yoshimoto, K., Horio, H., Sugio, K., Ode, Y., Takao, M., Okada, M., Chida, M., Committee for Scientific Affairs, T. J. A. f. C. S. T. J.
A proposal for a comprehensive risk scoring system for predicting postoperative complications in octogenarian patients with medically operable lung cancer: JACS1303.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2018. 53(4): 835-841

9. Subat, S., Inamura, K., Ninomiya, H., Nagano, H., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Unique MicroRNA and mRNA Interactions in EGFR-Mutated Lung Adenocarcinoma.
J. Clin. Med., 2018. 7(11): 419

10. Takamatsu, M., Sato, Y., Muto, M., Nagano, H., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Baba, S., Sakata, S., Takeuchi, K., Okumura, S., Ishi-

kawa, Y.
Hyalinizing clear cell carcinoma of the bronchial glands: presentation of three cases and pathological comparisons with salivary gland counterparts and bronchial mucoepidermoid carcinomas.
Mod. Pathol., 2018. 31(8): 923-933

11. Yoshimoto, T., Motoi, N., Yamamoto, N., Nagano, H., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Yamaguchi, T., Fukayama, M., Ishikawa, Y.
Pulmonary carcinoids and low-grade gastrointestinal neuroendocrine tumors show common microRNA expression profiles, different from adenocarcinomas and small cell carcinomas.
Neuroendocrinology, 2018. 106(1): 47-57

12. 文敏景
手術の tips and pitfalls　肺癌完全胸腔鏡下手術における縦隔リンパ節郭清 .
日本外科学会雑誌 , 2018. 119(6): 674-676

消化器化学療法科

1. Abe, H., Saito, R., Ichimura, T., Iwasaki, A., Yamazawa, S., Shinozaki-Ushiku, A., Morikawa, T., Ushiku, T., Yamashita, H., Seto, Y., Fukayama, M.
CD47 expression in Epstein-Barr virus-associated gastric carcinoma: coexistence with tumor immunity lowering the ratio of CD8+/Foxp3+ T cells.
Virchows Arch., 2018. 472(4): 643-651

2. Bando, H., Shimodaira, H., Fujitani, K., Takashima, A., Yamaguchi, K., Nakayama, N., Takahashi, T., Oki, E., Azuma, M., Nishina, T., Hironaka, S., Komatsu, Y., Shitara, K.
A phase II study of nab-paclitaxel in combination with ramucirumab in patients with previously treated advanced gastric cancer.
Eur. J. Cancer, 2018. 91: 86-91

3. Fukuda, N., Takahari, D., Wakatsuki, T., Osumi, H., Nakayama, I., Matsushima, T., Ichimura, T., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
Early hypertension is associated with better clinical outcomes in gastric cancer patients treated with ramucirumab plus paclitaxel.
Oncotarget, 2018. 9(20): 15219-15227

4. Hamaguchi, T., Tsuji, A., Yamaguchi, K., Takeda, K., Uetake, H., Esaki, T., Amagai, K., Sakai, D., Baba, H., Kimura, M., Matsumura, Y., Tsukamoto, T.
A phase II study of NK012, a polymeric micelle formulation of SN-38, in unresectable, metastatic or recurrent colorectal cancer patients.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2018. 82(6): 1021-1029

5. Hara, H., Kadowaki, S., Asayama, M., Ooki, A., Yamada, T., Yoshii, T., Yamaguchi, K.
First-line bolus 5-fluorouracil plus leucovorin for peritoneally disseminated gastric cancer with massive ascites or inadequate oral intake.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(2): 275-280

6. Iwamoto, S., Ooki, A., Morita, S., Hara, H., Tanioka, H., Satake, H., Kataoka, M., Kotaka, M., Kagawa, Y., Nakamura, M., Shingai, T., Ishikawa, M., Miyake, Y., Sudo, T., Hashiguchi, Y., Yabuno, T., Sakamoto, J., Tsuji, A., Ando, M., Yamaguchi, K.
A prospective Phase II study to examine the relationship between quality of life and adverse events of first-line chemotherapy plus cetuximab in patients with KRAS wild-type unresectable metastatic colorectal cancer: QUACK trial.
Cancer Med., 2018. 7(9): 4217-4227

7. Kano, Y., Ohashi, M., Hiki, N., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Tsuda, Y., Shoji, Y., Yasufuku, I., Eto, K., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T.
Favorable long-term outcomes of one-year adjuvant S-1 monotherapy for pathological stage II or III gastric cancer treated at a

high-volume center.
Gastric Cancer, 2018. 21(6): 1024-1030

8. Kimura, Y., Fujii, M., Masuishi, T., Nishikawa, K., Kunisaki, C., Matsusaka, S., Segawa, Y., Nakamura, M., Sasaki, K., Nagao, N., Hatachi, Y., Yuasa, Y., Asami, S., Takeuchi, M., Furukawa, H., Nakajima, T., Group, J. G.-S.
Multicenter phase II study of trastuzumab plus S-1 alone in elderly patients with HER2-positive advanced gastric cancer (JACCRO GC-06).
Gastric Cancer, 2018. 21(3): 421-427

9. Kojima, T., Yamazaki, K., Kato, K., Muro, K., Hara, H., Chin, K., Goddemeier, T., Kuffel, S., Watanabe, M., Doi, T.
Phase I dose-escalation trial of Sym004, an anti-EGFR antibody mixture, in Japanese patients with advanced solid tumors.
Cancer Sci., 2018. 109(10): 3253-3262

10. Matsusaka, S., Wu, A. H., Cao, S., Hanna, D. L., Chin, K., Yang, D., Zhang, W., Ning, Y., Stintzing, S., Sebio, A., Sunakawa, Y., Stremitzer, S., Yamauchi, S., Okazaki, S., Berger, M. D., Parekh, A., Miyamoto, Y., Mizunuma, N., Lenz, H. J.
Prognostic impact of FOXF1 polymorphisms in gastric cancer patients.
Pharmacogenomics J., 2018. 18(2): 262-269

11. Murahashi, S., Takahari, D., Wakatsuki, T., Fukuda, N., Ichimura, T., Ogura, M., Ozaka, M., Shinozaki, E., Nakayama, I., Matsushima, T., Osumi, H., Chin, K., Yamaguchi, K.
A retrospective analysis of ramucirumab monotherapy in previously treated Japanese patients with advanced or metastatic gastric adenocarcinoma.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(1): 92-97

12. Nakayama, I., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Osumi, H., Ota, Y., Suzuki, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.
Treatment features of systemic chemotherapy in young adults with unresectable advanced or recurrent gastric cancer.
Cancer Manag. Res., 2018. 10: 5283-5290

13. Nishikawa, K., Tsuburaya, A., Yoshikawa, T., Kobayashi, M., Kawada, J., Fukushima, R., Matsui, T., Tanabe, K., Yamaguchi, K., Yoshino, S., Takahashi, M., Hirabayashi, N., Sato, S., Nemoto, H., Rino, Y., Nakajima, J., Aoyama, T., Miyagi, Y., Oriuchi, N., Yamaguchi, K., Miyashita, Y., Morita, S., Sakamoto, J.
A randomised phase II trial of capecitabine plus cisplatin versus S-1 plus cisplatin as a first-line treatment for advanced gastric cancer: Capecitabine plus cisplatin ascertainment versus S-1 plus cisplatin randomised PII trial (XParTS II).
Eur. J. Cancer, 2018. 101: 220-228

14. Nitta, N., Sugimura, T., Isozaki, A., Mikami, H., Hiraki, K., Sakuma, S., Iino, T., Arai, F., Endo, T., Fujiwaki, Y., Fukuzawa, H., Hase, M., Hayakawa, T., Hiramatsu, K., Hoshino, Y., Inaba, M., Ito, T., Karakawa, H., Kasai, Y., Koizumi, K., Lee, S., Lei, C., Li, M., Maeno, T., Matsusaka, S., Murakami, D., Nakagawa, A., Oguchi, Y., Oikawa, M., Ota, T., Shiba, K., Shintaku, H., Shirasaki, Y., Suga, K., Suzuki, Y., Suzuki, N., Tanaka, Y., Tezuka, H., Toyokawa, C., Yalikun, Y., Yamada, M., Yamagishi, M., Yamano, T., Yasumoto, A., Yatomi, Y., Yazawa, M., Di Carlo, D., Hosokawa, Y., Uemura, S., Ozeki, Y., Goda, K.
Intelligent image-activated cell sorting.
Cell, 2018. 175(1): 266-276

15. Nonomiya, Y., Yokokawa, T., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Takiguchi, T., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K., Sugimoto, Y., Hama, T.
Regorafenib-induced hand-foot skin reaction is more severe on the feet than on the hands.

Oncol. Res., 2018: in press

16. Osumi, H., Takahari, D., Shinozaki, E., Chin, K., Ogura, M., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Nakayama, I., Matsushima, T., Yamaguchi, K.
Associations between early tumor shrinkage and depth of response and clinical outcomes in patients treated with 1st-line chemotherapy for advanced gastric cancer.
Gastric Cancer, 2018. 21(2): 267-275

17. Osumi, H., Takahari, D., Chin, K., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Suzuki, T., Ota, Y., Nakayama, I., Ooki, A., Suenaga, M., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.
Modified FOLFOX6 as a first-line treatment for patients with advanced gastric cancer with massive ascites or inadequate oral intake.
Onco Targets Ther., 2018. 11: 8301-8307

18. Osumi, H., Shinozaki, E., Mashima, T., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ichimura, T., Ogura, M., Ota, Y., Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., Miki, Y., Yamaguchi, K.
Phase II trial of biweekly cetuximab and irenotecan as third-line therapy for pretreated KRAS exon 2 Wild-Type colorectal cancer.
Cancer Sci., 2018. 109(8): 2567-2575

19. Sawaki, A., Yamada, Y., Yamaguchi, K., Nishina, T., Doi, T., Satoh, T., Chin, K., Boku, N., Omuro, Y., Komatsu, Y., Hamamoto, Y., Koizumi, W., Saji, S., Shah, M. A., Van Cutsem, E., Kang, Y. K., Iwasaki, J., Kuriki, H., Ohtsuka, W., Ohtsu, A.
Regional differences in advanced gastric cancer: exploratory analyses of the AVAGAST placebo arm.
Gastric Cancer, 2018. 21(3): 429-438

20. Shinozaki, E., Yoshino, T., Tsuchihara, K.
Reply to `Comment on `Clinical significance of BRAF non-V600E mutations on the therapeutic effects of anti-EGFR monoclonal antibody treatment in patients with pretreated metastatic colorectal cancer: the Biomarker Research for anti-EGFR monoclonal Antibodies by Comprehensive Cancer genomics (BREAC) study'' .
Br. J. Cancer., 2018. 118(9): 1278-1279

21. Shinozaki, E., Tanabe, K., Akiyoshi, T., Tsuchida, T., Miyazaki, Y., Kojima, N., Igarashi, M., Ueno, M., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Nakayama, K., Iijima, S., Yamaguchi, T.
Serum leucine-rich alpha-2-glycoprotein-1 with fucosylated triantennary N-glycan: a novel colorectal cancer marker.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 406

22. Suenaga, M., Akiyoshi, T., Shinozaki, E., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Ueno, M., Yamaguchi, T.
A feasibility study of capecitabine and oxaliplatin for patients with stage II/III colon cancer -ACTOR study.
Anticancer Res., 2018. 38(3): 1741-1747

23. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Cremolini, C., Antoniotti, C., Borelli, B., Mashima, T., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Lonardi, S., Yamaguchi, T., Falcone, A., Lenz, H. J.
Gene polymorphisms in the CCL5/CCR5 pathway as genetic biomarker for outcome and hand-foot skin reaction in metastatic colorectal cancer patients treated with regorafenib.
Clin. Colorectal Cancer, 2018. 17(2): e395-e414

24. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Cremolini, C., Lonardi, S., Bergamo, F., Ning, Y., Yamamoto, N., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Yamaguchi, T., Stinzing, S., Heinemann, V., Loupakis, F., Falcone, A.,

Lenz, H. J.
Potential role of PIN1 genotypes in predicting benefit from oxaliplatin-based and irinotecan-based treatment in patients with metastatic colorectal cancer.
Pharmacogenomics J., 2018. 18(5): 623-632

25. Ushida, Y., Shinozaki, E., Chin, K., Suenaga, M., Takahari, D., Ozaka, M., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K.
Two cases of long-term survival of advanced colorectal cancer with synchronous lung metastases treated with mFOLFOX6/XELOX + Bevacizumab.
Case. Rep. Oncol., 2018. 11(2): 601-608

26. Van Cutsem, E., Mayer, R. J., Laurent, S., Winkler, R., Gravalos, C., Benavides, M., Longo-Munoz, F., Portales, F., Ciardiello, F., Siena, S., Yamaguchi, K., Muro, K., Denda, T., Tsuji, Y., Makris, L., Loehrer, P., Lenz, H. J., Ohtsu, A.
The subgroups of the phase III RECOURSE trial of trifluridine/tipiracil (TAS-102) versus placebo with best supportive care in patients with metastatic colorectal cancer.
Eur. J. Cancer, 2018. 90: 63-72

27. Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Sano, T., Chin, K., Kawachi, H., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Matsushima, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Hiki, N., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K.
Clinical impact of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy in patients with HER2-positive gastric cancer.
J. Gastroenterol., 2018. 53(11): 1186-1195

28. Yamaguchi, K., Fujitani, K., Nagashima, F., Omuro, Y., Machida, N., Nishina, T., Koue, T., Tsujimoto, M., Maeda, K., Satoh, T.
Ramucirumab for the treatment of metastatic gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma following disease progression on first-line platinum- or fluoropyrimidine-containing combination therapy in Japanese patients: a phase 2, open-label study.
Gastric Cancer, 2018. 21(6): 1041-1049

29. Yamazaki, K., Taniguchi, H., Yoshino, T., Akagi, K., Ishida, H., Ebi, H., Nakatani, K., Muro, K., Yatabe, Y., Yamaguchi, K., Tsuchihara, K.
Japanese Society of Medical Oncology Clinical Guidelines: Molecular testing for colorectal cancer treatment, third edition.
Cancer Sci., 2018. 109(6): 2074-2079

30. Yoshino, T., Yamazaki, K., Shinozaki, E., Komatsu, Y., Nishina, T., Baba, H., Tsuji, A., Tsuji, Y., Yamaguchi, K., Sugimoto, N., Denda, T., Muro, K., Takayama, T., Esaki, T., Hamamoto, Y., Moriwaki, T., Shimada, Y., Goto, M., Nakayama, N., Fujii, H., Tanase, T., Ohtsu, A.
Relationship between thymidine kinase 1 expression and trifluridine/tipiracil therapy inrefractory metastatic colorectal cancer: A pooled analysis of 2 randomized clinical trials.
Clin. Colorectal Cancer, 2018. 17(4): e719-e732

31. 大隅寛木 , 高張大亮 , 山口研成
2020 年代に向けた胃がん化学療法：治療の前に　レジメン選択のためのバイオマーカー診断 .
臨床腫瘍プラクティス , 2018. 14(2): 85-89

32. 大隅寛木 , 山口研成
トラスツズマブ、ペルツズマブの併用療法　胃がん・乳がんを対象とした試験から .
がん分子標的治療 , 2018. 16(1): 84-87

33. 太田弓子 , 山口研成
Cancer-Immunological Topics：免疫チェックポイント阻害剤：胃癌 .
がん免疫療法 , 2018. 2(2): 146-149

34. 太田弓子
外科医が知っておくべき - 最新 Endoscopic

Intervention: 消化管幽門狭窄に対する内視鏡的金属ステント留置術 .
臨床外科 , 2018. 73(2): 176-179

35. 太田弓子 , 若槻尊 , 山口研成
胃癌 - 診断・治療の最新知見 -: 胃癌の治療 腹膜播種の治療 .
日本臨床 , 2018. 76(3): 482-487

36. 奥坂拓志 , 山口幸二 , 井岡達也 , 福冨晃 , 上坂克彦 , 岡崎和一
ガイドライン改訂にみるがん診療の変遷 : 臓器別がん診療・治療ガイドライン　膵がん診療ガイドライン .
腫瘍内科 , 2018. 21(4): 404-411

37. 山口研成 , 高張太亮 , 陳勁松 , 佐野武
ガイドライン改訂にみるがん診療の変遷 : 臓器別がん診療・治療ガイドライン 「胃癌治療ガイドライン」第 5 版について .
腫瘍内科 , 2018. 21(4): 398-403

38. 山口研成 , 佐野武
「胃癌治療ガイドライン」改訂第 5 版解説 .
日本病院薬剤師会雑誌 , 2018. 54(5): 525-530

39. 市村崇
最前線がわかる・プロセスがわかる　がん腫別治療とケアの" 流れがわかる" ガイド : がん腫別　治療の成り行きがわかる編　食道がんの診断　治療の選択 .
ナーシング , 2018. 38(2): 22-28

40. 市村崇 , 森安真優
消化器がん患者の子どもへのサポート .
消化器看護 : がん・化学療法・内視鏡 , 2018. 22(6): 89-98

41. 松阪諭
がん抗体医薬の新展開 - 新規分子による創薬・治療から副作用対策まで : CTC（circulating tumor cell）分子標的治療薬における臨床応用 .
医学のあゆみ , 2018. 265(1): 12-16

42. 松阪諭
サイズ分画を利用した CTC cluster 診断システムの開発 .
大和証券ヘルス財団研究業績集 , 2018(41): 50-53

43. 永嶺彩奈 , 篠崎英司
分子標的治療薬 : 大腸癌 .
コンセンサス癌治療 , 2018. 15(2): 66-70

44. 高張大亮
胃癌化学療法　最新の話題 : 切除不能・再発胃癌に対する化学療法 .
日本消化器病学会雑誌 , 2018. 115(6): 514-520

肝胆膵内科

1. Ikeda, M., Kudo, M., Aikata, H., Nagamatsu, H., Ishii, H., Yokosuka, O., Torimura, T., Morimoto, M., Ikeda, K., Kumada, H., Sato, T., Kawai, I., Yamashita, T., Horio, H., Okusaka, T., Miriplatin, T. S. G.
Transarterial chemoembolization with miriplatin vs. epirubicin for unresectable hepatocellular carcinoma: a phase III randomized trial.
J. Gastroenterol., 2018. 53(2): 281-290

2. Kobayashi, S., Terashima, T., Shiba, S., Yoshida, Y., Yamada, I., Iwadou, S., Horiguchi, S., Takahashi, H., Suzuki, E., Moriguchi, M., Tsuji, K., Otsuka, T., Asagi, A., Kojima, Y., Takada, R., Morizane, C., Mizuno, N., Ikeda, M., Ueno, M., Furuse, J.
Multicenter retrospective analysis of systemic chemotherapy for unresectable combined hepatocellular and cholangiocarcinoma.
Cancer Sci., 2018. 109(8): 2549-2557

3. Mizusawa, J., Fukutomi, A., Katayama, H., Ishii, H., Ioka, T., Okusaka, T., Ueno, H., Ueno, M., Ikeda, M., Mizuno, N., Ozaka, M., Fukuda, H., Furuse, J.
Protocol digest of randomized phase II study of modified FOLFIRINOX versus gemcitabine plus nab-paclitaxel combination therapy for locally advanced pancreatic cancer: Japan clinical oncology group study

(JCOG1407).
Pancreatology, 2018. 18(7): 841-845

4. Nakachi, K., Konishi, M., Ikeda, M., Shimada, K., Okusaka, T., Saiura, A., Ishii, H., Sugiyama, M., Furuse, J., Sakamoto, H., Shimamura, T., Ohta, T.
Feasibility study of postoperative adjuvant chemotherapy with S-1 in patients with biliary tract cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(5): 894-899

5. Nakai, Y., Yamamoto, R., Matsuyama, M., Sakai, Y., Takayama, Y., Ushio, J., Ito, Y., Kitamura, K., Ryozawa, S., Imamura, T., Tsuchida, K., Hayama, J., Itoi, T., Kawaguchi, Y., Yoshida, Y., Sugimori, K., Shimura, K., Mizuide, M., Iwai, T., Nishikawa, K., Yagioka, H., Nagahama, M., Toda, N., Saito, T., Yasuda, I., Hirano, K., Togawa, O., Nakamura, K., Maetani, I., Sasahira, N., Isayama, H.
Multicenter study of endoscopic preoperative biliary drainage for malignant hilar biliary obstruction: E-POD Hilar study.
J. Gastroenterol. Hepatol., 2018. 33(5): 1146-1153

6. Nakatochi, M., Lin, Y., Ito, H., Hara, K., Kinoshita, F., Kobayashi, Y., Ishii, H., Ozaka, M., Sasaki, T., Sasahira, N., Morimoto, M., Kobayashi, S., Ueno, M., Ohkawa, S., Egawa, N., Kuruma, S., Mori, M., Nakao, H., Wang, C., Nishiyama, T., Kawaguchi, T., Takahashi, M., Matsuda, F., Kikuchi, S., Matsuo, K.
Prediction model for pancreatic cancer risk in the general Japanese population.
PLoS One, 2018. 13(9): e0203386

7. Ozaka, M., Ishii, H., Sato, T., Ueno, M., Ikeda, M., Uesugi, K., Sata, N., Miyashita, K., Mizuno, N., Tsuji, K., Okusaka, T., Furuse, J.
A phase II study of modified FOLFIRINOX for chemotherapy-naive patients with metastatic pancreatic cancer.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2018. 81(6): 1017-1023

8. Sasaki, T., Yoshio, T., Fujisaki, J.
Adjusting the length and direction of the redundant duodenal stent using a detachable snare and endoclips.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 686-687

9. Sasaki, T., Yamada, I., Matsuyama, M., Sasahira, N.
Enteral stent placement for malignant afferent loop obstruction by the through-the-scope technique using a short-type single-balloon enteroscope.
Endosc. Int. Open, 2018. 6(7): E806-e811

10. Sasaki, T., Kanata, R., Sasahira, N.
Needle fracture during endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration using a needle with a side hole.
Endosc. Int. Open, 2018. 6(5): E553-e557

11. Takahara, N., Nakai, Y., Isayama, H., Sasaki, T., Saito, K., Oyama, H., Kanai, S., Suzuki, T., Sato, T., Hakuta, R., Ishigaki, K., Takeda, T., Saito, T., Mizuno, S., Kogure, H., Tada, M., Koike, K.
Second-line chemotherapy in patients with advanced or recurrent biliary tract cancer: a single center, retrospective analysis of 294 cases.
Invest. New Drugs., 2018. 36(6): 1093-1102

12. Todaka, A., Mizuno, N., Ozaka, M., Ueno, H., Kobayashi, S., Uesugi, K., Kobayashi, N., Hayashi, H., Sudo, K., Okano, N., Horita, Y., Kamei, K., Yukisawa, S., Nakamori, S., Yachi, Y., Henmi, T., Kobayashi, M., Boku, N., Mori, K., Fukutomi, A.
Nationwide multicenter observational study of FOLFIRINOX chemotherapy in 399 patients with unresectable or recurrent pancreatic cancer in Japan.
Pancreas, 2018. 47(5): 631-636

13. 佐々木隆 , 山田育弘 , 松山眞人 , 笹平直樹
術後再建腸管に対する standard type と short type シングルバルーン内視鏡を用いて施行した胆道処置の治療成績に関する検討 .
胆道 , 2018. 32(2): 224-232

14. 尾阪将人
肝胆膵がん : 膵がん化学療法の現状と今後の課題 .
腫瘍内科 , 2018. 21(3): 307-312

15. 尾阪将人
胆道癌の薬物療法 :Up-to-Date: 胆道癌における FGFR 融合遺伝子と薬物療法 .
胆と膵 , 2018. 39(10): 899-902

16. 尾阪将人
誌上ディベート　切除不能膵癌の一次化学療法として最も使いやすい化学療法とは　mFOLFIRINOX を選択する立場から .
膵・胆道癌 Frontier, 2018. 7(1): 18-20

17. 片桐智子 , 笹平直樹
胆膵疾患内視鏡アトラス : 膵臓　充実性　腫瘤形成性膵炎 .
消化器内視鏡 , 2018. 30（増刊）: 66-67

18. 笹平直樹 , 澤田雅志 , 片桐智子 , 金田遼 , 佐々木隆 , 松山眞人 , 野坂崇仁 , 尾阪将人 , 高野浩一
Biliary access 大辞典 : 経乳頭的 biliary access　salvage technique　膵管ガイドワイヤー法のテクニック .
胆と膵 , 2018. 39（臨増特大）: 997-1002

上部消化管内科

1. Abe, S., Ishihara, R., Takahashi, H., Ono, H., Fujisaki, J., Matsui, A., Takahashi, A., Goda, K., Kawada, K., Koike, T., Takeuchi, M., Tsuji, Y., Hirasawa, D., Oyama, T.
Long-term outcomes of endoscopic resection and metachronous cancer after endoscopic resection for adenocarcinoma of the esophagogastric junction in Japan.
Gastrointest. Endosc., 2018: in press

2. Baldaque-Silva, F., Omae, M.
Endoscopic submucosal dissection learning curve and role in the treatment of Barrett' s neoplasia.
Gastrointest. Endosc., 2018. 87(4): 1162

3. Goda, K., Fujisaki, J., Ishihara, R., Takeuchi, M., Takahashi, A., Takaki, Y., Hirasawa, D., Momma, K., Amano, Y., Yagi, K., Furuhashi, H., Shimizu, T., Kanesaka, T., Hashimoto, S., Ono, Y., Yamagata, T., Fujiwara, J., Azumi, T., Nishikawa, M., Watanabe, G., Ohkura, Y., Oyama, T.
Newly developed magnifying endoscopic classification of the Japan Esophageal Society to identify superficial Barrett' s esophagus-related neoplasms.
Esophagus, 2018: in press

4. Hirasawa, T., Aoyama, K., Tanimoto, T., Ishihara, S., Shichijo, S., Ozawa, T., Ohnishi, T., Fujishiro, M., Matsuo, K., Fujisaki, J., Tada, T.
Application of artificial intelligence using a convolutional neural network for detecting gastric cancer in endoscopic images.
Gastric Cancer, 2018. 21(4): 653-660

5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Diagnostic accuracy of demarcation using magnifying endoscopy with narrow-band imaging for Helicobacter pylori-uninfected undifferentiated-type early gastric cancer.
Gastric Cancer, 2018. 21(6): 988-997

6. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Mixed poorly differentiated adenocarcinoma in undifferentiated-type early gastric cancer predicts endoscopic noncurative resection.
Gastric Cancer, 2018. 21(4): 689-695

7. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Undifferentiated-type component mixed with differentiated-type early gastric cancer is a significant risk factor for endoscopic non-curative resection.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 624-632

8. Ishihara, R., Oyama, T., Abe, S., Takahashi, H., Ono, H., Fujisaki, J., Kaise, M., Goda, K., Kawada, K., Koike, T., Takeuchi, M., Matsuda, R., Hirasawa, D., Yamada, M., Kodaira, J., Tanaka, M., Omae, M., Matsui, A., Kanesaka, T., Takahashi, A., Hirooka, S., Saito, M., Tsuji, Y., Maeda, Y., Yamashita, H., Oda, I., Tomita, Y., Matsunaga, T., Terai, S., Ozawa, S., Kawano, T., Seto, Y.
Reply to the letter to the editor: Lymph node metastasis of adenocarcinoma and different definitions of sm1 cancer in the esophagus.
J. Gastroenterol., 2018. 53(6): 804-805

9. Kataoka, S., Osumi, H., Miki, K., Fujisaki, J.
Retrospective comparison of clinical outcomes between vonoprazan based Helicobacter pylori eradication therapy and PPI based Helicobacter pylori eradication therapy: A single-center experience with 1,134 patients.
日本ヘリコバクター学会誌 , 2018. 20(1): 47-52

10. Kitagawa, Y., Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Giant duodenal Brunner' s gland hamartoma successfully treated via endoscopic mucosal resection.
Arab J. Gastroenterol., 2018. 19(3): 125-129

11. Nishiyama, T., Kamo, M., Horiuchi, S., Okura, M., Nakano, K., Ikeya, T., Ishii, N., Fujita, Y., Kurihara, Y.
Extrahepatic collateral artery extravasation in patients with ruptured hepatocellular carcinoma.
J. Vasc. Interv. Radiol., 2018. 29(4): 564-567

12. Omae, M., Konradsson, M., Baldaque-Silva, F.
Delayed perforation after endoscopic submucosal dissection treated successfully by temporary stent placement.
Clin. J. Gastroenterol., 2018. 11(2): 118-122

13. Sakitani, K., Nishizawa, T., Arita, M., Yoshida, S., Kataoka, Y., Ohki, D., Yamashita, H., Isomura, Y., Toyoshima, A., Watanabe, H., Iizuka, T., Saito, Y., Fujisaki, J., Yahagi, N., Koike, K., Toyoshima, O.
Early detection of gastric cancer after Helicobacter pylori eradication due to endoscopic surveillance.
Helicobacter, 2018. 23(4): e12503

14. Sasaki, T., Yoshio, T., Fujisaki, J.
Adjusting the length and direction of the redundant duodenal stent using a detachable snare and endoclips.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 686-687

15. Sasaki, T., Kanata, R., Sasahira, N.
Needle fracture during endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration using a needle with a side hole.
Endosc. Int. Open, 2018. 6(5): E553-e557

16. Shimizu, T., Fujisaki, J., Omae, M., Yamasaki, A., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T.
Treatment outcomes of endoscopic submucosal dissection for adenocarcinoma originating from long-segment Barrett' s esophagus versus short-segment Barrett' s esophagus.
Digestion, 2018. 97(4): 316-323

17. Ushida, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Clinicopathological features of metastatic gastric tumors originating from breast cancer: Analysis of eleven cases.
World J. Oncol., 2018. 9(4): 104-109

18. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer.
Gastric Cancer, 2018: in press

19. Yamasaki, A., Yoshio, T., Muramatsu, Y., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Sasaki, Y., Fujisaki, J.
Vonoprazan is superior to rabeprazole for healing endoscopic submucosal dissection: induced ulcers.
Digestion, 2018. 97(2): 170-176

20. Yoshimizu, S., Yamamoto, Y., Horiuchi, Y., Omae, M., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Diagnostic performance of routine esophagogastroduodenoscopy using magnifying endoscope with narrow band imaging for gastric cancer.
Dig. Endosc., 2018. 30(1): 71-78

21. Yoshimizu, S., Hirasawa, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Differences in upper gastrointestinal neoplasm detection rates based on inspection time and esophagogastroduodenoscopy training.
Endosc. Int. Open, 2018. 6(10): E1190-E1197

22. Yoshimizu, S., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Asari, T., Chin, K., Fujisaki, J.
Long-term outcomes of combined endoscopic resection and chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma with submucosal invasion.
Dig. Liver Dis., 2018. 50(8): 833-838

23. Yoshimizu, S., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Asari, T., Chin, K., Fujisaki, J.
Long-term outcomes of combined endoscopic resection and chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma with submucosal invasion. Author' s reply.
Dig. Liver Dis., 2018. 50(11): 1255-1256

24. 吉水祥一 , 平澤俊明 , 土肥統 , 渡海義隆 , 赤澤直樹 , 乾山光子 , 城間翔 , 並河健 , 中野薫 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子
消化管上皮性腫瘍に対する内視鏡画像強調観察:存在診断から質的診断まで:胃（存在診断）:内視鏡画像強調観察による胃上皮性腫瘍の拾い上げと診断 .
消化器・肝臓内科 , 2018. 4(1): 9-15

25. 堀内裕介
症例から学ぶ　統一 IEE 分類 : 胃編　非典型例　MESDA-G の診断基準を満たさない胃癌早期胃癌 0-IIb H.pylori 未感染純系印環細胞癌 regular MSP（窩間部開大）/regular MVP.
消化器内視鏡 , 2018. 30(12): 1764-1765

26. 大隅寛木 , 高張大亮 , 山口研成
2020 年代に向けた胃がん化学療法 : 治療の前に　レジメン選択のためのバイオマーカー診断 .
臨床腫瘍プラクティス , 2018. 14(2): 85-89

27. 大隅寛木 , 河内洋 , 由雄敏之 , 山本智理子 , 藤崎順子
胃粘膜下層深部浸潤（SM）癌のリンパ節転移に関連する深達度と病理学的因子の検討 .
大和証券ヘルス財団研究業績集 , 2018(41): 54-57

28. 平澤俊明 , 七條智聖 , 多田智裕
AI を用いた胃がん内視鏡診断システムの開発 .
バイオサイエンスとインダストリー , 2018. 76(5): 395-399

29. 平澤俊明 , 河内洋 , 藤崎順子 , 榊信廣
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください Helicobacter pylori 未感染症例のポリープ .
臨床消化器内科 , 2018. 33(13): 1681-1686

30. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください　特殊型胃癌 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(11): 1429-1432

31. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください : III. これは過形成性ポリープ ?
臨床消化器内科 , 2018. 33(4): 457-461

32. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください : IV. 多発する胃腫瘍 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(6): 665-671

33. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください : V. 人工知能が見つけた胃癌 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(9): 1193-1197

34. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室 : この症例にチャレンジして下さい : II. 黄色調の胃腫瘍 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(2): 233-236

35. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室 : この症例にチャレンジして下さい : I. SMT 様の病変 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(1): 119-123

36. 平澤俊明
ここまで進んだ「がんの検査と診断」: 胃がん内視鏡画像による胃がん診断の AI 開発　本システムを世界に発信し、全世界胃がん診断の支援を目指す .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2018. 29: 22-25

37. 平澤俊明 , 城間翔 , 並河健 , 渡海義隆 , 山崎明 , 中野薫 , 乾山光子 , 山本安則 , 赤澤直樹 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 石川寛高 , 石山晃世志 , 由雄敏之 , 土田知宏 , 藤崎順子
早期胃癌 2018: 早期胃癌のスクリーニングのコツとピットフォール　経口内視鏡検査 .
胃と腸 , 2018. 53(5): 565-573

38. 由雄敏之
Type B1 のⅡ a 型食道癌 .
消化器内視鏡 , 2018. 30(12): 1718-9

39. 由雄敏之 , 大隅寛木 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 石山晃世志 , 平澤俊明 , 土田知宏 , 藤崎順子
変わりゆく早期胃癌のスペクトラム -H.pylori 未感染・現感染・除菌後は違う !: 食道胃接合部に生じる早期癌と H.pylori 感染 .
消化器内視鏡 , 2018. 30(1): 94-102

40. 由雄敏之 , 富田英臣 , 岩崎竜一郎 , 堀内裕介 , 大前雅実 , 石山晃世志 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 土田知宏 , 藤崎順子 , 山田拓哉 , 三田英治 , 二宮朋之 , 道堯浩二郎 , 五十嵐正広
直接経口抗凝固薬が胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の後出血リスクに与える影響 .
Gastroenterological Endoscopy, 2018. 60(7): 1360-1369

41. 藤崎順子 , 堀内裕介 , 平澤俊明 , 山本頼正 , 五十嵐正広
H.pylori 陰性胃癌 .
Gastroenterological Endoscopy, 2018. 60(8): 1450-1463

42. 藤崎順子
上部消化管疾患　ピロリ菌陰性時代への過渡期をむかえて : セミナー　日常診療に必要な具体的知識とその活用　バレット食道の現状と最新の話題 .
Medical Practice, 2018. 35(1): 73-78

43. 藤崎順子 , 山本安則 , 石山晃世志 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 土田知宏 , 河内洋 , 山本智理子
内視鏡の読み方胃 hamartomatous inverted polyp.
臨床消化器内科 , 2018. 33(12): 1573-1578

44. 藤崎順子
変わりゆく早期胃癌のスペクトラム：H.pylori 未感染・現感染・除菌後は違う！：H. pylori 未感染の印環細胞癌は本当に進行しないのか？ .
消化器内視鏡 , 2018. 30(1): 73-75

45. 藤崎順子
消化器疾患における性差医療を考える：ピロリ感染症・胃癌における性差　スキルス胃癌を含む .
消化器・肝臓内科 , 2018. 3(5): 502-509

下部消化管内科

1. Chino, A., Konishi, T., Ogura, A., Kawachi, H., Osumi, H., Yoshio, T., Kishihara, T., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fujisaki, J.
Endoscopic criteria to evaluate tumor response of rectal cancer to neoadjuvant chemoradiotherapy using magnifying chromoendoscopy.
Eur. J. Surg. Oncol., 2018. 44(8): 1247-1253

2. Ide, D., Saito, S., Chino, A., Ohya, T. R.
Submucosal pocket creation using a traction device in colorectal endoscopic submucosal dissection.
Ann. Gastroenterol., 2018. 31(3): 380

3. Iwatate, M., Sano, Y., Tanaka, S., Kudo, S. E., Saito, S., Matsuda, T., Wada, Y., Fujii, T., Ikematsu, H., Uraoka, T., Kobayashi, N., Nakamura, H., Hotta, K., Horimatsu, T., Sakamoto, N., Fu, K. I., Tsuruta, O., Kawano, H., Kashida, H., Takeuchi, Y., Machida, H., Kusaka, T., Yoshida, N., Hirata, I., Terai, T., Yamano, H. O., Nakajima, T., Sakamoto, T., Yamaguchi, Y., Tamai, N., Nakano, N., Hayashi, N., Oka, S., Ishikawa, H., Murakami, Y., Yoshida, S., Saito, Y.
Validation study for development of the Japan NBI Expert Team classification of colorectal lesions.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 642-651

4. Nagasaki, T., Arai, M., Chino, A., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Feasibility of segmental colectomy followed by endoscopic surveillance as a treatment strategy for colorectal cancer patients with Lynch Syndrome.
Dig. Surg., 2018. 35(5): 448-456

5. Shinozaki, E., Tanabe, K., Akiyoshi, T., Tsuchida, T., Miyazaki, Y., Kojima, N., Igarashi, M., Ueno, M., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Nakayama, K., Iijima, S., Yamaguchi, T.
Serum leucine-rich alpha-2-glycoprotein-1 with fucosylatedtriantennary N-glycan: a novel colorectal cancer marker.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 406

6. Tamegai, Y., Fukunaga, Y., Suzuki, S., Lim, D. N. F., Chino, A., Saito, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Hiki, N., Muto, T.
Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery (LECS) to overcome the limitations of endoscopic resection for colorectal tumors.
Endosc. Int. Open, 2018. 6(12): E1477-e1485

7. 五十嵐正広
大腸内視鏡の話題 - 機器と挿入法：挿入の基本細径スコープ .
Intestine, 2018. 22(6): 529-535

8. 五十嵐正広
大腸内視鏡挿入法を極める - 機器の進化と手技の進歩：挿入困難例への対策　ワンポイントアドバイス　脾・肝彎曲部の通過法 .
消化器内視鏡 , 2018. 30(3): 384-387

9. 五十嵐正広 , 岸原輝仁 , 千野晶子 , 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 為我井芳郎 , 斎藤彰一 , 河内洋
腸管感染症 - 最新の話題を含めて： 最近注目される腸管感染症　アメーバ性大腸炎 .
胃と腸 , 2018. 53(4): 431-439

10. 千野晶子 , 西川雄輔 , 安江千尋 , 井出大資 , 斎藤彰一 , 五十嵐正広
大腸腫瘍治療後のサーベイランス： リンチ症候群のサーベイランス　消化管を中心に .
臨床消化器内科 , 2018. 33(8): 1025-1031

11. 安江千尋 , 斎藤彰一 , 西川雄祐 , 井出大資 , 千野晶子 , 為我井芳郎 , 五十嵐正広
内視鏡治療の偶発症と対策： 大腸 EMR における出血と穿孔に対する対策 .
Intestine, 2018. 22(2): 139-144

12. 屋嘉比聖一 , 斎藤彰一
症例から学ぶ　統一 IEE 分類：大腸編　早期大腸癌 IIc+IIa　中～高分化型腺癌 JNET Type 2B.
消化器内視鏡 , 2018. 30(12): 1778-1779

13. 山崎明 , 斎藤彰一 , 高松学 , 河内洋 , 西川雄祐 , 堀江義政 , 安江千尋 , 山本安則 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
知っておきたい直腸肛門部病変：腫瘍性疾患悪性黒色腫　内視鏡的に黒色調を呈さない amelanotic 病変 .
胃と腸 , 2018. 53(7): 1000-1003

14. 石岡充彬 , 井出大資 , 千野晶子 , 斎藤彰一 , 五十嵐正広
消化管粘膜下腫瘍 (SMT) の診療： 大腸でみられる粘膜下腫瘍 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(12): 1561-1568

15. 西川雄祐 , 斎藤彰一 , 並河健 , 田顔夫佑樹 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広 , 河内洋
小腸出血性疾患の診断と治療 - 最近の進歩： 貧血を契機に発見された終末回腸原発の pyogenic granuloma の 1 例 .
胃と腸 , 2018. 53(6): 873-877

食道外科

1. Baba, Y., Yoshida, N., Kinoshita, K., Iwatsuki, M., Yamashita, Y. I., Chikamoto, A., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical and prognostic features of patients with esophageal cancer and multiple primary cancers: A retrospective single-institution study.
Ann. Surg., 2018. 267(3): 478-483

2. Bahcall, M., Awad, M. M., Sholl, L. M., Wilson, F. H., Xu, M., Wang, S., Palakurthi, S., Choi, J., Ivanova, E. V., Leonardi, G. C., Ulrich, B. C., Paweletz, C. P., Kirschmeier, P. T., Watanabe, M., Baba, H., Nishino, M., Nagy, R. J., Lanman, R. B., Capelletti, M., Chambers, E. S., Redig, A. J., VanderLaan, P. A., Costa, D. B., Imamura, Y., Janne, P. A.
Amplification of wild-type KRAS imparts resistance to crizotinib in MET exon 14 mutant non-small cell lung cancer.
Clin. Cancer Res., 2018. 24(23): 5963-5976

3. Canadas, I., Thummalapalli, R., Kim, J. W., Kitajima, S., Jenkins, R. W., Christensen, C. L., Campisi, M., Kuang, Y., Zhang, Y., Gjini, E., Zhang, G., Tian, T., Sen, D. R., Miao, D., Imamura, Y., Thai, R., Piel, B., Terai, H., Aref, A. R., hagan, T., Koyama, S., Watanabe, M., Baba, H., Adeni, A. E., Lydon, C. A., Tamayo, P., Wei, Z., Herlyn, M., Barbie, T. U., Uppaluri, R., Sholl, L. M., Sicinska, E., Sands, J., Rodig, S., Wong, K. K., Paweletz, C. P., Watanabe, H., Barbie, D. A.
Tumor innate immunity primed by specific interferon-stimulated endogenous retroviruses.
Nat. Med., 2018. 24(8): 1143-1150

4. Eto, T., Miyake, K., Nosho, K., Ohmuraya, M., Imamura, Y., Arima, K., Kanno, S., Fu, L., Kiyozumi, Y., Izumi, D., Sugihara, H., Hiyoshi, Y., Miyamoto, Y., Sawayama, H., Iwatsuki, M., Baba, Y., Yoshida, N., Furukawa, T., Araki, K., Baba, H., Ishimoto, T.

Impact of loss-of-function mutations at the RNF43 locus on colorectal cancer development and progression.
J. Pathol., 2018. 245(4): 445-455

5. Eto, K., Ida, S., Watanabe, M., Baba, H.
Treatment strategy for metastatic gastric cancer in Japan.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 23

6. Harada, K., Yoshida, N., Baba, Y., Nakamura, K., Kosumi, K., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Ajani, J. A., Watanabe, M., Baba, H.
Pyloroplasty may reduce weight loss 1 year after esophagectomy.
Dis. Esophagus, 2018. 31(3): dox127

7. Hayami, M., Watanabe, M., Ishizuka, N., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Kurogochi, T., Yamashita, K.
Prognostic impact of postoperative pulmonary complications following salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy.
J. Surg. Oncol., 2018. 117(6): 1251-1259

8. Ida, S., Watanabe, M.
Conversion surgery for stage IV gastric cancer.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 22

9. Kitano, Y., Baba, Y., Nakagawa, S., Miyake, K., Iwatsuki, M., Ishimoto, T., Yamashita, Y. I., Yoshida, N., Watanabe, M., Nakao, M., Baba, H.
Nrf2 promotes oesophageal cancer cell proliferation via metabolic reprogramming and detoxification of reactive oxygen species.
J. Pathol., 2018. 244(3): 346-357

10. Kiyozumi, Y., Baba, Y., Okadome, K., Yagi, T., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Komohara, Y., Baba, H.
IDO1 expression is associated with immune tolerance and poor prognosis in patients with surgically resected esophageal cancer.
Ann. Surg., 2018: in press

11. Kiyozumi, Y., Yoshida, N., Ishimoto, T., Yagi, T., Koga, Y., Uchihara, T., Sawayama, H., Hiyoshi, Y., Iwatsuki, M., Baba, Y., Miyamoto, Y., Watanabe, M., Matsuyama, T., Oya, N., Baba, H.
Prognostic factors of salvage esophagectomy for residual or recurrent esophageal squamous cell carcinoma after definitive chemoradiotherapy.
World J. Surg., 2018. 42(9): 2887-2893

12. Kosumi, K., Yoshida, N., Okadome, K., Eto, T., Kuroda, D., Ohuchi, M., Kiyozumi, Y., Nakamura, K., Izumi, D., Tokunaga, R., Harada, K., Mima, K., Sawayama, H., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Baba, Y., Miyamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Minimally invasive esophagectomy may contribute to long-term respiratory function after esophagectomy for esophageal cancer.
Dis. Esophagus, 2018. 31(6): dox153

13. Mine, S., Watanabe, M., Kumagai, K., Okamura, A., Yamashita, K., Hayami, M., Yuda, M., Imamura, Y., Ishizuka, N.
Oesophagectomy with or without supraclavicular lymphadenectomy after neoadjuvant treatment for squamous cell carcinoma of the oesophagus.
Br. J. Surg., 2018. 105(13): 1793-1798

14. Miyake, K., Baba, Y., Ishimoto, T., Hiyoshi, Y., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Ogata, Y., Nagayama, M., Silsirivanit, A., Kobayashi, D., Araki, N., Baba, H.
Isocitrate dehydrogenase gene mutations and 2-hydroxyglutarate accumulation in esophageal squamous cell carcinoma.
Med. Oncol., 2018. 36(1): 11

15. Nakamura, K., Iwatsuki, M., Kurashige, J., Ishimoto, T., Baba, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Circulating tumor cells in gastric cancer.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 32

16. Okadome, K., Baba, Y., Yagi, T., Kiyozumi, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic nutritional index, tumor-infiltrating lymphocytes, and prognosis in patients with esophageal cancer.
Ann. Surg., 2018: in press

17. Okamura, A., Watanabe, M., Yuda, M., Shoji, Y., Yamashita, K., Hayami, M., Imamura, Y., Mine, S.
Cervicothoracoscopic approach for esophageal cancer in a patient with right-sided aortic arch.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(5): 1287

18. Okamura, A., Watanabe, M., Imamura, Y., Hayami, M., Yuda, M., Yamashita, K., Shoji, Y., Mine, S.
Cervicothoracoscopic approach in esophagectomy.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(1): 333

19. Okamura, A., Watanabe, M., Hayami, M., Mine, S.
Esophagectomy via upper partial sternotomy for esophageal cancer after previous right pneumonectomy: A case report.
J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2018. 156(6): e217-e220

20. Okamura, A., Watanabe, M., Yamashita, K., Yuda, M., Hayami, M., Imamura, Y., Mine, S.
Implication of visceral obesity in patients with esophageal squamous cell carcinoma.
Langenbecks Arch. Surg., 2018. 403(2): 245-253

21. Okamura, A., Watanabe, M., Fukudome, I., Yamashita, K., Yuda, M., Hayami, M., Imamura, Y., Mine, S.
Relationship between visceral obesity and postoperative inflammatory response following minimally invasive esophagectomy.
World J. Surg., 2018. 42(11): 3651-3657

22. Okamura, A., Watanabe, M., Kozuki, R., Toihata, T., Yuda, M., Imamura, Y., Mine, S.
Supraclavicular and celiac metastases in squamous cell carcinoma of the middle thoracic esophagus.
Langenbecks Arch. Surg., 2018. 403(8): 977-984

23. Okamura, A., Watanabe, M., Fukudome, I., Yamashita, K., Yuda, M., Hayami, M., Imamura, Y., Mine, S.
Surgical team proficiency in minimally invasive esophagectomy is related to case volume and improves patient outcomes.
Esophagus, 2018. 15(2): 115-121

24. Pectasides, E., Stachler, M. D., Derks, S., Liu, Y., Maron, S., Islam, M., Alpert, L., Kwak, H., Kindler, H., Polite, B., Sharma, M. R., Allen, K., O' Day, E., Lomnicki, S., Maranto, M., Kanteti, R., Fitzpatrick, C., Weber, C., Setia, N., Xiao, S. Y., Hart, J., Nagy, R. J., Kim, K. M., Choi, M. G., Min, B. H., Nason, K. S., O' Keefe, L., Watanabe, M., Baba, H., Lanman, R., Agoston, A. T., Oh, D. J., Dunford, A., Thorner, A. R., Ducar, M. D., Wollison, B. M., Coleman, H. A., Ji, Y., Posner, M. C., Roggin, K., Turaga, K., Chang, P., Hogarth, K., Siddiqui, U. D., Gelrud, A., Ha, G., Freeman, S. S., Rhoades, J., Reed, S., Gydush, G., Rotem, D., Davison, J., Imamura, Y., Adalsteinsson, V., Lee, J., Bass, A. J., Catenacci, D. V.
Genomic heterogeneity as a barrier to precision medicine in gastroesophageal adenocarcinoma.
Cancer Discov., 2018. 8(1): 37-48

25. Toihata, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Management of metastatic esophagogastric junction adenocarcinoma.

J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 24

26. Watanabe, M.
Introduction to the special issue on reviews of gastric cancer metastasis and treatment.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 48

27. Watanabe, M., Okamura, A., Toihata, T., Yamashita, K., Yuda, M., Hayami, M., Fukudome, I., Imamura, Y., Mine, S.
Recent progress in perioperative management of patients undergoing esophagectomy for esophageal cancer.
Esophagus, 2018. 15(3): 160-164

28. Watanabe, M.
Recent topics and perspectives on esophageal cancer in Japan.
JMA J., 2018. 1(1): 30-39

29. Wong, G. S., Zhou, J., Liu, J. B., Wu, Z., Xu, X., Li, T., Xu, D., Schumacher, S. E., Puschhof, J., McFarland, J., Zou, C., Dulak, A., Henderson, L., Xu, P., O' Day, E., Rendak, R., Liao, W. L., Cecchi, F., Hembrough, T., Schwartz, S., Szeto, C., Rustgi, A. K., Wong, K. K., Diehl, J. A., Jensen, K., Graziano, F., Ruzzo, A., Fereshetian, S., Mertins, P., Carr, S. A., Beroukhim, R., Nakamura, K., Oki, E., Watanabe, M., Baba, H., Imamura, Y., Catenacci, D., Bass, A. J.
Targeting wild-type KRAS-amplified gastroesophageal cancer through combined MEK and SHP2 inhibition.
Nat. Med., 2018. 24(7): 968-977

30. Yamashita, K., Watanabe, M., Mine, S., Fukudome, I., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Imamura, Y.
The impact of the Charlson comorbidity index on the prognosis of esophageal cancer patients who underwent esophagectomy with curative intent.
Surg. Today, 2018. 48(6): 632-639

31. Yamashita, K., Watanabe, M., Mine, S., Toihata, T., Fukudome, I., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Ishizuka, N., Imamura, Y.
Minimally invasive esophagectomy attenuates the postoperative inflammatory response and improves survival compared with open esophagectomy in patients with esophageal cancer: a propensity score matched analysis.
Surg. Endosc., 2018. 32(11): 4443-4450

32. Yoshida, N., Kosumi, K., Tokunaga, R., Baba, Y., Nagai, Y., Miyamoto, Y., Iwagami, S., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Eto, K., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical importance of mean corpuscular volume as a prognostic marker after esophagectomy for esophageal cancer: A retrospective study.
Ann. Surg., 2018: in press

33. Yoshida, N., Baba, Y., Kuroda, D., Miyamoto, Y., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Sawayama, H., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical utility of exhaled carbon monoxide in assessing preoperative smoking status and risks of postoperative morbidity after esophagectomy.
Dis. Esophagus, 2018. 31(9): doy24

34. Yoshida, N., Nakamura, K., Kuroda, D., Baba, Y., Miyamoto, Y., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Preoperative smoking cessation is integral to the prevention of postoperative morbidities in minimally invasive esophagectomy.
World J. Surg., 2018. 42(9): 2902-2909

35. Yoshida, N., Baba, Y., Miyamoto, Y., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Prophylaxis of postoperative venous thromboembolism using enoxaparin after esophagectomy: A prospective observational study of effectiveness and safety.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(8): 2434-2440

36. 峯真司 , 熊谷厚志 , 佐野武
食道胃接合部癌診療の最前線：欧米と本邦の食道胃接合部腺癌に対する治療の相違 .
消化器外科 , 2018. 41(2): 185-192

37. 渡邊雅之
消化器外科 50 の術式別術後ケアイラストブック　手術の流れからケアのなぜ？が見える！わかる !:（1 章）上部消化管の手術 10　胸腔鏡下胸部食道切除術 .
消化器外科 Nursing, 2018（2018 秋季増刊）: 20-23

38. 渡邊雅之
消化器外科 50 の術式別術後ケアイラストブック　手術の流れからケアのなぜ？が見える！わかる !:（1 章）上部消化管の手術 10　開胸胸部食道切除術 .
消化器外科 Nursing, 2018（2018 秋季増刊）: 15-19

39. 渡邊雅之
消化器外科 50 の術式別術後ケアイラストブック　手術の流れからケアのなぜ？が見える！わかる !:（1 章）上部消化管の手術 10　頸部食道切除術 .
消化器外科 Nursing, 2018（2018 秋季増刊）: 10-14

40. 渡邊雅之
第 1 章消化器悪性疾患におけるビッグデータの意義と役割　4. 胃癌 .
先端医療シリーズ 49；消化器疾患の最新医療（井廻道夫 , 幕内雅敏 , 下瀬川徹 , 荒川哲男編集）, 東京 , 先端医療技術研究所：pp.44-47, 2018

41. 渡邊雅之 , 問端輔 , 上月亮太郎
食道再建術（再建のみ）.
5 年でマスター消化器標準手術：消化器外科専門医への道改定第 2 版（調憲編集）, 東京 , メジカルビュー社：pp.74-83, 2018

42. 渡邊雅之 , 高橋慶太 , 問端輔 , 上月亮太郎
食道癌（第 2 版）- 基礎・臨床研究の進歩 -: 再発食道癌の治療　再発食道癌に対する外科治療 .
日本臨床 , 2018. 76（増刊 8 食道癌）: 424-429

胃外科

1. Eto, K., Hiki, N., Kumagai, K., Shoji, Y., Tsuda, Y., Kano, Y., Yasufuku, I., Okumura, Y., Tsujiura, M., Ida, S., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Prophylactic effect of neoadjuvant chemotherapy in gastric cancer patients with postoperative complications.
Gastric Cancer, 2018. 21(4): 703-709

2. Eto, K., Ida, S., Watanabe, M., Baba, H.
Treatment strategy for metastatic gastric cancer in Japan.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 23

3. Etoh, T., Honda, M., Kumamaru, H., Miyata, H., Yoshida, K., Kodera, Y., Kakeji, Y., Inomata, M., Konno, H., Seto, Y., Kitano, S., Hiki, N.
Morbidity and mortality from a propensity score-matched, prospective cohort study of laparoscopic versus open total gastrectomy for gastric cancer: data from a nationwide web-based database.
Surg. Endosc., 2018. 32(6): 2766-2773

4. Fukagawa, T., Katai, H., Mizusawa, J., Nakamura, K., Sano, T., Terashima, M., Ito, S., Yoshikawa, T., Fukushima, N., Kawachi, Y., Kinoshita, T., Kimura, Y., Yabusaki, H., Nishida, Y., Iwasaki, Y., Lee, S. W., Yasuda, T., Sasako, M.
A prospective multi-institutional validity study to evaluate the accuracy of clinical diagnosis of pathological stage III gastric cancer (JCOG1302A).
Gastric Cancer, 2018. 21(1): 68-73

5. Furukawa, H., Ohashi, M., Honda, M., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Hiki, N.
Preservation of the celiac branch of the vagal nerve for pylorus-preserving gastrectomy: is it meaningful?
Gastric Cancer, 2018. 21(3): 516-523

6. Hiki, N., Honda, M., Etoh, T., Yoshida, K., Kodera, Y., Kakeji, Y., Kumamaru, H., Miyata, H., Yamashita, Y., Inomata, M., Konno, H., Seto, Y., Kitano, S.
Higher incidence of pancreatic fistula in laparoscopic gastrectomy. Real-world evidence from a nationwide prospective cohort study.
Gastric Cancer, 2018. 21(1): 162-170

7. Hiki, N., Katai, H., Mizusawa, J., Nakamura, K., Nakamori, M., Yoshikawa, T., Kojima, K., Imamoto, H., Ninomiya, M., Kitano, S., Terashima, M.
Long-term outcomes of laparoscopy-assisted distal gastrectomy with suprapancreatic nodal dissection for clinical stage I gastric cancer: a multicenter phase II trial (JCOG0703).
Gastric Cancer, 2018. 21(1): 155-161

8. Honda, M., Kumamaru, H., Etoh, T., Miyata, H., Yamashita, Y., Yoshida, K., Kodera, Y., Kakeji, Y., Inomata, M., Konno, H., Seto, Y., Kitano, S., Watanabe, M., Hiki, N.
Surgical risk and benefits of laparoscopic surgery for elderly patients with gastric cancer: a multicenter prospective cohort study.
Gastric Cancer, 2018: in press

9. Ida, S., Watanabe, M.
Conversion surgery for stage IV gastric cancer.
J. Cancer Metastasis Treat., 2018. 4: 22

10. Ida, S., Hiki, N.
Laparoscopic-assisted total gastrectomy for esophagogastric junctional adenocarcinoma.
Ann. Laparosc. Endosc. Surg., 2018. 3(3): 16

11. Ida, S., Hiki, N., Ishizawa, T., Kuriki, Y., Kamiya, M., Urano, Y., Nakamura, T., Tsuda, Y., Kano, Y., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T.
Pancreatic compression during lymph node dissection in laparoscopic gastrectomy: possible cause of pancreatic leakage.
J. Gastric. Cancer, 2018. 18(2): 134-141

12. In, H., Ravetch, E., Langdon-Embry, M., Palis, B., Ajani, J. A., Hofstetter, W. L., Kelsen, D. P., Sano, T.
The newly proposed clinical and post-neoadjuvant treatment staging classifications for gastric adenocarcinoma for the American Joint Committee on Cancer (AJCC) staging.
Gastric Cancer, 2018. 21(1): 1-9

13. Irino, T., Sano, T., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Yamaguchi, T.
Diagnostic staging laparoscopy in gastric cancer: a prospective cohort at a cancer institute in Japan.
Surg. Endosc., 2018. 32(1): 268-275

14. Kamiya, S., Ohashi, M., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Hiki, N.
Laparoscopic subtotal gastrectomy with a new marking technique, endoscopic cautery marking: preservation of the stomach in patients with upper early gastric cancer.
Surg. Endosc., 2018. 32(11): 4681-4687

15. Kamiya, S., Hiki, N., Kumagai, K., Honda, M., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Two-point measurement of amylase in drainage fluid predicts severe postoperative pancreatic fistula after gastric cancer surgery.
Gastric Cancer, 2018. 21(5): 871-878

16. Kano, Y., Ohashi, M., Hiki, N., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Tsuda, Y., Shoji, Y., Yasufuku, I., Eto, K., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T.
Favorable long-term outcomes of one-year adjuvant S-1 monotherapy for pathological stage II or III gastric cancer treated at a

high-volume center.
Gastric Cancer, 2018. 21(6): 1024-1030

17. Katai, H., Ishikawa, T., Akazawa, K., Isobe, Y., Miyashiro, I., Oda, I., Tsujitani, S., Ono, H., Tanabe, S., Fukagawa, T., Nunobe, S., Kakeji, Y., Nashimoto, A., Registration Committee of the Japanese Gastric Cancer, A.
Five-year survival analysis of surgically resected gastric cancer cases in Japan: a retrospective analysis of more than 100,000 patients from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association (2001-2007).
Gastric Cancer, 2018. 21(1): 144-154

18. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Kamiya, S., Tsujiura, M., Ida, S., Ohashi, M., Yamaguchi, T., Sano, T.
Impact of anatomical position of the pancreas on postoperative complications and drain amylase concentrations after laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer.
Surg. Endosc., 2018. 32(9): 3846-3854

19. Kumagai, K., Sano, T., Hiki, N., Nunobe, S., Tsujiura, M., Ida, S., Ohashi, M., Yamaguchi, T.
Survival benefit of "D2-plus" gastrectomy in gastric cancer patients with duodenal invasion.
Gastric Cancer, 2018. 21(2): 296-302

20. Mizutani, T., Yamaguchi, K., Mizusawa, J., Ito, S., Nishida, Y., Yabusaki, H., Boku, N., Sano, T., Yoshida, K., Sasako, M., Yoshikawa, T., Terashima, M.
A phase III trial to confirm modified S-1 adjuvant chemotherapy for pathological stage II/III vulnerable elderly gastric cancer patients who underwent gastric resection (JCOG1507, BIRDIE).
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(12): 1101-1104

21. Ohashi, M., Hiki, N., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T.
A novel method of intracorporeal end-to-end gastrogastrostomy in laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for early gastric cancer, including a unique anastomotic technique: piercing the stomach with a linear stapler.
Surg. Endosc., 2018. 32(10): 4337-4343

22. Okumura, Y., Takamatsu, M., Ohashi, M., Yamamoto, Y., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Hiki, N., Sano, T.
Gastric adenocarcinoma of fundic gland type with aggressive transformation and lymph node metastasis: a case report.
J. Gastric. Cancer, 2018. 18(4): 409-416

23. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Cremolini, C., Antoniotti, C., Borelli, B., Mashima, T., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Lonardi, S., Yamaguchi, T., Falcone, A., Lenz, H. J.
Gene polymorphisms in the CCL5/CCR5 pathway as genetic biomarker for outcome and hand-foot skin reaction in metastatic colorectal cancer patients treated with regorafenib.
Clin. Colorectal Cancer, 2018. 17(2): e395-e414

24. Ushida, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Clinicopathological features of metastatic gastric tumors originating from breast cancer: Analysis of eleven cases.
World J. Oncol., 2018. 9(4): 104-109

25. Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Sano, T., Chin, K., Kawachi, H., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Matsushima, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Hiki, N., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K.

Clinical impact of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy in patients with HER2-positive gastric cancer.
J. Gastroenterol., 2018. 53(11): 1186-1195

26. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer.
Gastric Cancer, 2018: in press

27. Yoshida, K., Honda, M., Kumamaru, H., Kodera, Y., Kakeji, Y., Hiki, N., Etoh, T., Miyata, H., Yamashita, Y., Seto, Y., Kitano, S., Konno, H.
Surgical outcomes of laparoscopic distal gastrectomy compared to open distal gastrectomy: A retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2018. 2(1): 55-64

28. Yoshimoto, T., Motoi, N., Yamamoto, N., Nagano, H., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Yamaguchi, T., Fukayama, M., Ishikawa, Y.
Pulmonary carcinoids and low-grade gastrointestinal neuroendocrine tumors show common microRNA expression profiles, different from adenocarcinomas and small cell carcinomas.
Neuroendocrinology, 2018. 106(1): 47-57

29. 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 大橋学 , 比企直樹
この手術に欠かせない必須デバイス紹介 - こだわりの理由と正しい使用法：腹腔鏡下胃全摘術に欠かせない必須デバイス　Internal Organ Retractor を用いた良好な視野展開 .
手術 , 2018. 72(1): 17-22

30. 井田智 , 熊谷厚志 , 峯真司 , 比企直樹
化学療法時の栄養管理：総論　化学療法施行患者に対する栄養介入の意義　医師の立場から .
日本静脈経腸栄養学会雑誌 , 2018. 33(4): 991-994

31. 井田智 , 熊谷厚志 , 峯真司 , 比企直樹
「担がん患者の栄養管理はどうすべきか」：胃切除術前経管栄養療法の意義と課題 .
外科と代謝・栄養 , 2018. 52(5): 241-245

32. 井田智
消化器外科の術前術後ケア Q&A：胃の術前術後ケア .
消化器外科 Nursing, 2018. 23(5): 392-402

33. 井田智 , 熊谷厚志 , 峯真司 , 比企直樹
静脈栄養における脂肪乳剤の使い方：周術期の脂肪乳剤使用の現状 .
日本静脈経腸栄養学会雑誌 , 2018. 33(2): 738-741

34. 佐野武
フランスの胃癌 .
日仏医学 , 2018. 39(1): 1-6

35. 佐野武
胃癌：診断・治療の最新知見 -: 胃癌治療ガイドライン第 5 版のポイント .
日本臨床 , 2018. 76(3): 379-384

36. 佐野武
胃癌のすべて：『胃癌取扱い規約第 15 版』と『胃癌治療ガイドライン改訂第 5 版』の概要 .
医学のあゆみ , 2018. 266(9): 655-660

37. 八木秀祐 , 布部創也
胃癌のすべて：外科治療　胃癌に対する腹腔鏡手術の歩み　腹腔鏡下胃切除のエビデンスと日常臨床における位置づけ .
医学のあゆみ , 2018. 266(9): 681-684

38. 大橋学 , 井田智 , 熊谷厚志 , 布部創也 , 比企直樹 , 佐野武

上手な手術をするための基本手技：剥離　開腹手術．
消化器外科，2018. 41(4): 423-430

39. 大橋拓馬，庄司佳晃，比企直樹
あたらしい外科局所解剖全図 - ランドマークとその出し方：上部消化管胃癌に対する膵上縁リンパ節郭清（No.8,9,11）に必要な局所解剖．
臨床外科，2018. 73(11): 53-57

40. 安福至，井田智，熊谷厚志，布部創也，大橋学，比企直樹
合併症ゼロを目指した最新の低侵襲内視鏡外科手術：胃　胃 GIST に対する LECS（腹腔鏡・内視鏡合同手術）．
手術，2018. 72(4): 417-426

41. 山口俊晴
外科医のインセンティブ導入をめざして　外科医に与えられるべきインセンティブとは．
日本外科学会雑誌，2018. 119(6): 687-688

42. 峯真司，熊谷厚志，佐野武
食道胃接合部癌診療の最前線：欧米と本邦の食道胃接合部腺癌に対する治療の相違．
消化器外科，2018. 41(2): 185-192

43. 布部創也，佐野武
ガイドラインに基づく胃癌の外科治療 update: 脾摘．
日本医事新報，2018(4897): 30-34

44. 布部創也，井田智，熊谷厚志，比企直樹，大橋学，佐野武
機能温存と機能再建をめざした消化器外科手術 - 術後 QOL 向上のために：噴門側胃切除術後の逆流防止機能　観音開き法の手技とコツ．
臨床外科，2018. 73(4): 424-428

45. 庄司佳晃，布部創也，比企直樹，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
イラストで学ぶ解剖学的変異 - 外科手術アトラス：内臓逆位　内臓逆位の上部消化管手術における注意点と工夫　腹腔鏡下手術を中心に．
外科，2018. 80(5): 574-578

46. 日向奈惠，神田浩明，馬志強，伊藤奈々，田仲浩平，篠原一彦，梅田勝，武田朴，山口俊晴，石川雄一
数値化細胞周期解析を応用したがん診断法の研究（領域法の改良）．
医療機器学，2018. 88(4): 417-425

47. 比企直樹
低侵襲手術の pitgall：上部消化管：腹腔鏡下手術における pitfall.
日本外科学会雑誌，2018. 119(3): 456-457

48. 比企直樹，井田智，松下亜由子，熊谷厚志，峯真司
「担がん患者の栄養管理はどうすべきか」：がん患者における栄養管理のシフトチェンジの重要性．
外科と代謝・栄養，2018. 52(5): 227-231

49. 比企直樹
腹腔鏡・内視鏡合同胃切除（LECS）の現在と未来．
横浜消化器内視鏡医会，2018. 通巻 22 号：24-27

50. 高橋遼，比企直樹
これぞ達人の技！最新の消化器内視鏡外科手術：食道・胃の鏡視下手術　腹腔鏡下胃部分切除術（LECS を中心に）．
消化器外科，2018. 41(5): 590-596

大腸外科

1. Abe, Y., Tada, A., Isoyama, J., Nagayama, S., Yao, R., Adachi, J., Tomonaga, T.
Improved phosphoproteomic analysis for phosphosignaling and active-kinome profiling in Matrigel-embedded spheroids and patient-derived organoids.
Sci. Rep., 2018. 8(1): 11401

2. Chino, A., Konishi, T., Ogura, A., Kawachi, H., Osumi, H., Yoshio, T., Kishihara, T., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fujisaki, J.
Endoscopic criteria to evaluate tumor response of rectal cancer to neoadjuvant

chemoradiotherapy using magnifying chromoendoscopy.
Eur. J. Surg. Oncol., 2018. 44(8): 1247-1253

3. Hida, K., Okamura, R., Sakai, Y., Konishi, T., Akagi, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukuda, M., Yamamoto, S., Yamamoto, M., Nishigori, T., Kawada, K., Hasegawa, S., Morita, S., Watanabe, M., Japan Society of Laparoscopic Colorectal, S.
Open versus laparoscopic surgery for advanced low rectal cancer: A large, multicenter, propensity score matched cohort study in Japan.
Ann. Surg., 2018. 288(2): 318-324

4. Konishi, T., Shimada, Y., Hsu, M., Tufts, L., Jimenez-Rodriguez, R., Cercek, A., Yaeger, R., Saltz, L., Smith, J. J., Nash, G. M., Guillem, J. G., Paty, P. B., Garcia-Aguilar, J., Gonen, M., Weiser, M. R.
Association of preoperative and postoperative serum carcinoembryonic antigen and colon cancer outcome.
JAMA Oncol., 2018. 4(3): 309-315

5. Konishi, T.
Management of lateral pelvic lymph node in the East: Time to learn from the Western viewpoints.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2018. 2(5): 330-331

6. Konishi, T., Shimada, Y., Lee, L. H., Cavalcanti, M. S., Hsu, M., Smith, J. J., Nash, G. M., Temple, L. K., Guillem, J. G., Paty, P. B., Garcia-Aguilar, J., Vakiani, E., Gonen, M., Shia, J., Weiser, M. R.
Poorly differentiated clusters predict colon cancer recurrence: An in-depth comparative analysis of invasive-front prognostic markers.
Am. J. Surg. Pathol., 2018. 42(6): 705-714

7. Li, K. H., Sugyo, A., Tsuji, A. B., Morokoshi, Y., Minegishi, K., Nagatsu, K., Kanda, H., Harada, Y., Nagayama, S., Katagiri, T., Nakamura, Y., Higashi, T., Hasegawa, S.
α -particle therapy for synovial sarcoma in the mouse using an astatine-211-labeled antibody against frizzled homolog 10.
Cancer Sci., 2018. 109(7): 72302-2309

8. Miki, H., Akiyoshi, T., Ogura, A., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Noma, H., Saiura, A., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Pretreatment serum carbohydrate antigen 19-9 concentration is a predictor of survival of patients who have undergone curative resection of stage IV rectal cancer.
Dig. Surg., 2018. 35(5): 389-396

9. Minami, H., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Fukuoka, H., Ueno, M.
Laparoscopic repair of bowel herniation into the space between the obturator nerve and the umbilical artery after pelvic lymphadenectomy for cervical cancer.
Asian J. Endosc. Surg., 2018. 11(4): 409-412

10. Nagasaki, T., Arai, M., Chino, A., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Feasibility of segmental colectomy followed by endoscopic surveillance as a treatment strategy for colorectal cancer patients with Lynch Syndrome.
Dig. Surg., 2018. 35(5): 448-456

11. Nagasaki, T., Mise, Y., Honma, S., Sato, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Tominaga, T., Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Ueno, M.
Simultaneous laparoscopic left hemicolectomy and spleen-preserving distal pancreatectomy for descending colon cancer with pancreatic invasion.
Asian J. Endosc. Surg., 2018: in press

12. Niida, A., Nagayama, S., Miyano, S., Mimori, K.
Understanding intratumor heterogeneity

by combining genome analysis and mathematical modeling.
Cancer Sci., 2018. 109(4): 884-892

13. Ogura, A., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ishikawa, Y., Mori, S., Oba, K., Nagino, M., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Pattern of programmed cell death-ligand 1 expression and CD8-positive T-cell infiltration before and after chemoradiotherapy in rectal cancer.
Eur. J. Cancer, 2018. 91: 11-20

14. Perez, R. O., Sao Juliao, G. P., Vailati, B. B., Fernandez, L. M., Mattacheo, A. E., Konishi, T.
Lateral node dissection in rectal cancer in the era of minimally invasive surgery: A step-by-step description for the surgeon unacquainted with this complex procedure with the use of the laparoscopic approach.
Dis. Colon. Rectum, 2018. 61(10): 1237-1240

15. Saito, T., Niida, A., Uchi, R., Hirata, H., Komatsu, H., Sakimura, S., Hayashi, S., Nambara, S., Kuroda, Y., Ito, S., Eguchi, H., Masuda, T., Sugimachi, K., Tobo, T., Nishida, H., Daa, T., Chiba, K., Shiraishi, Y., Yoshizato, T., Kodama, M., Okimoto, T., Mizukami, K., Ogawa, R., Okamoto, K., Shuto, M., Fukuda, K., Matsui, Y., Shimamura, T., Hasegawa, T., Doki, Y., Nagayama, S., Yamada, K., Kato, M., Shibata, T., Mori, M., Aburatani, H., Murakami, K., Suzuki, Y., Ogawa, S., Miyano, S., Mimori, K.
A temporal shift of the evolutionary principle shaping intratumor heterogeneity in colorectal cancer.
Nat. Commun., 2018. 9(1): 2884

16. Shigematsu, Y., Kanda, H., Nagasaki, T., Inoue, Y., Takahashi, S.
Hepatic eosinophilic abscesses associated with sigmoid colon cancer
Intern. Med., 2018. 57(10): 1405-1409

17. Shinozaki, E., Tanabe, K., Akiyoshi, T., Tsuchida, T., Miyazaki, Y., Kojima, N., Igarashi, M., Ueno, M., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Nakayama, K., Iijima, S., Yamaguchi, T.
Serum leucine-rich alpha-2-glycoprotein-1 with fucosylated triantennary N-glycan: a novel colorectal cancer marker.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 406

18. Suenaga, M., Akiyoshi, T., Shinozaki, E., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Ueno, M., Yamaguchi, T.
A feasibility study of capecitabine and oxaliplatin for patients with stage II/III colon cancer -ACTOR study.
Anticancer Res., 2018. 38(3): 1741-1747

19. Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., Kobayashi, M., Toyama, Y., Maekawa, T., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Takazawa, Y., Ishikawa, Y.
Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method.
Mod. Pathol., 2018: in press

20. Takeda, Y., Akiyoshi, T., Matsueda, K., Fukuoka, H., Ogura, A., Miki, H., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Skeletal muscle loss is an independent negative prognostic factor in patients with advanced lower rectal cancer treated with neoadjuvant chemoradiotherapy.
PLoS One, 2018. 13(4): e0195406

21. Tamegai, Y., Fukunaga, Y., Suzuki, S., Lim, D. N. F., Chino, A., Saito, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Hiki, N., Muto, T.
Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery (LECS) to overcome the limitations of endoscopic resection for colorectal tumors.

Endosc. Int. Open, 2018. 6(12): E1477-e1485

22. Tanikawa, C., Kamatani, Y., Takahashi, A., Momozawa, Y., Leveque, K., Nagayama, S., Mimori, K., Mori, M., Ishii, H., Inazawa, J., Yasuda, J., Tsuboi, A., Shimizu, A., Sasaki, M., Yamaji, T., Sawada, N., Iwasaki, M., Tsugane, S., Naito, M., Wakai, K., Koyama, T., Takezaki, T., Yuji, K., Murakami, Y., Nakamura, Y., Kubo, M., Matsuda, K.
GWAS identifies two novel colorectal cancer loci at 16q24.1 and 20q13.12.
Carcinogenesis, 2018. 39(5): 652-660

23. Ushida, Y., Shinozaki, E., Chin, K., Suenaga, M., Takahari, D., Ozaka, M., Ogura, M., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K.
Two cases of long-term survival of advanced colorectal cancer with synchronous lung metastases treated with mFOLFOX6/XELOX + Bevacizumab.
Case. Rep. Oncol., 2018. 11(2): 601-608

24. Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Shiomi, A., Kagawa, H., Yamakawa, Y., Furutani, A., Manabe, S., Yamaoka, Y., Hino, H.
Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for locally advanced low rectal cancer.
Surg. Endosc., 2018. 32(11): 4498-4505

25. Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Shiomi, A., Kagawa, H., Yamakawa, Y., Furuatni, A., Manabe, S., Yamaoka, Y., Hino, H.
Short- and long-term outcomes of robotic-assisted laparoscopic surgery for rectal cancer: results of a single high-volume center in Japan.
Int. J. Colorectal Dis., 2018. 33(12): 1755-1762

26. 三城弥範 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
遠隔転移を有する大腸癌に対する治療戦略：当院における直腸癌 Stage IV に対する治療戦略と予後因子の検討 .
癌の臨床 , 2018. 63(6): 489-497

27. 南宏典 , 長嵜寿矢 , 福岡宏倫 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
婦人科骨盤内リンパ節郭清後の露出脈管による絞扼性イレウスの 1 例 .
日本消化器外科学会雑誌 , 2018. 51(4): 271-278

28. 南宏典 , 小西毅 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 山口智弘 , 佐野武 , 山口俊晴
消化器癌に対する最新の集学的治療戦略：大腸癌の集学的治療戦略 .
外科 , 2018. 80(8): 832-836

29. 宮成淳 , 福長洋介 , 南宏典 , 福岡宏倫 , 長嵜寿矢 , 秋吉高志 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 上野雅資
完全内臓逆位を伴った直腸癌に対し、Needlescopic 腹腔鏡下低位前方切除術を施行した 1 例 .
日本大腸肛門病学会雑誌 , 2018. 71(6): 252-257

30. 小西毅 , 富永哲朗 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 山口智弘 , 佐野武 , 山口俊晴
Marginally resectable 局所進行大腸癌への治療戦略：SMA 中枢に腫大リンパ節を伴う右側結腸癌 .
日本外科学会雑誌 , 2018. 119(5): 475-481

31. 小西毅
イラストで学ぶ解剖学的変異 - 外科手術アトラス：下部消化管領域中直腸動脈の変異 .
外科 , 2018. 80(5): 493-498

32. 小西毅 , 富永哲郎 , 上野雅資 , 福長洋介 , 長山聡 , 藤本佳也 , 秋吉高志 , 長嵜寿矢 , 佐野武 , 山口俊晴
進行消化器癌の conversion surgery: 大腸癌局所進行直腸癌 .
外科 , 2018. 80(1): 45-50

33. 秋吉高志
あたらしい外科局所解剖全図 - ランドマークとその出し方：下部消化管 NACRT 後でも層を間違えない TME に必要な解剖 .
臨床外科 , 2018. 73(11): 130-135

34. 秋吉高志 , 長嵜寿也 , 小西毅 , 藤本佳也 , 長山聡 , 福長洋介 , 上野雅資
ここが知りたい！腹腔鏡下大腸手術： 他臓器浸潤直腸癌に対する合併切除術 .
消化器外科 , 2018. 41(7): 1061-1068

35. 秋吉高志 , 富永哲郎
直腸癌手術治療の現状： 直腸癌に対する術前放射線化学療法と機能温存手術の現状 .
日本医事新報 , 2018(4928): 28-33

肝胆膵外科

1. Dou, L., Ono, Y., Chen, Y. F., Thomson, A. W., Chen, X. P.
Hepatic dendritic cells, the tolerogenic liver environment, and liver disease.
Semn. Liver Dis., 2018. 38(2): 170-180

2. Inamura, K., Takazawa, Y., Inoue, Y., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Saiura, A., Shibutani, T., Ishikawa, Y.
Tumor B7-H3 (CD276) expression and survival in pancreatic cancer.
J. Clin. Med., 2018. 7(7): 172

3. Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
A novel classification and staged approach for dissection along the celiac and hepatic artery during pancreaticoduodenectomy.
World J. Surg., 2018. 42(9): 2963-2967

4. Inoue, Y., Saiura, A., Oba, A., Kawakatsu, S., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Ito, H.
Optimal extent of superior mesenteric artery dissection during pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer: Balancing surgical and oncological safety.
J. Gastrointest. Surg., 2018: in press

5. Kawakatsu, S., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Comparison of pancreatojejunostomy techniques in patients with a soft pancreas: Kakita anastomosis and Blumgart anastomosis.
BMC Surg., 2018. 18(1): 88

6. Kuriki, Y., Kamiya, M., Kubo, H., Komatsu, T., Ueno, T., Tachibana, R., Hayashi, K., Hanaoka, K., Yamashita, S., Ishizawa, T., Kokudo, N., Urano, Y.
Establishment of molecular design strategy to obtain activatable fluorescent probes for carboxypeptidases.
J. Am. Chem. Soc., 2018. 140(5): 1767-1773

7. Nakachi, K., Konishi, M., Ikeda, M., Shimada, K., Okusaka, T., Saiura, A., Ishii, H., Sugiyama, M., Furuse, J., Sakamoto, H., Shimamura, T., Ohta, T.
Feasibility study of postoperative adjuvant chemotherapy with S-1 in patients with biliary tract cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(5): 894-899

8. Nakao, T., Ono, Y., Dai, H., Nakano, R., Perez-Gutierrez, A., Camirand, G., Huang, H., Geller, D. A., Thomson, A. W.
DAP12/TREM2 expression by mouse and human liver DC: Functional implications and regulation of liver ischemia-reperfusion injury.
Hepatology, 2018: in press

9. Nakaseko, Y., Ishizawa, T., Saiura, A.
Fluorescence-guided surgery for liver tumors.
J. Surg. Oncol., 2018. 118(2): 324-331

10. Negoi, I., Beuran, M., Hostiuc, S., Negoi, R. I., Inoue, Y.
Response of the authors to the letter of the editor surgical anatomy of the superior mesenteric vessels related to pancreati-

coduodenectomy: a systematic review and meta-analysis.
J. Gastrointest. Surg., 2018. 22(8): 1457

11. Negoi, I., Beuran, M., Hostiuc, S., Negoi, R. I., Inoue, Y.
Surgical anatomy of the superior mesenteric vessels related to colon and pancreatic surgery: A systematic review and meta-analysis.
Sci. Rep., 2018. 8(1): 4184

12. Negoi, I., Beuran, M., Hostiuc, S., Negoi, R. I., Inoue, Y.
Surgical anatomy of the superior mesenteric vessels related to pancreaticoduodenectomy: a systematic review and meta-analysis.
J. Gastrointest. Surg., 2018. 22(5): 802-817

13. Oba, A., Mise, Y., Ito, H., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Ishizawa, T., Arita, J., Matsueda, K., Takahashi, Y., Saiura, A.
Clinical implications of disappearing colorectal liver metastases have changed in the era of hepatocyte-specific MRI and contrast-enhanced intraoperative ultrasonography.
HPB (Oxford), 2018. 20(8): 708-714

14. Shigematsu, Y., Inamura, K., Mise, Y., Saiura, A., Rehnberg, E., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Takahashi, S., Kanda, H.
CDX2 expression is concordant between primary colorectal cancer lesions and corresponding liver metastases independent of chemotherapy: a single-center retrospective study in Japan.
Oncotarget, 2018. 9(24): 17056-17065

15. Shigematsu, Y., Kanda, H., Nagasaki, T., Inoue, Y., Takahashi, S.
Hepatic eosinophilic abscesses associated with sigmoid colon cancer
Intern. Med., 2018. 57(10): 1405-1409

16. Shigematsu, Y., Inamura, K., Yamamoto, N., Mise, Y., Saiura, A., Ishikawa, Y., Takahashi, S., Kanda, H.
Impact of CDX2 expression status on the survival of patients after curative resection for colorectal cancer liver metastasis.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 980

17. Takamoto, T., Mise, Y., Satou, S., Kobayashi, Y., Miura, K., Saiura, A., Hasegawa, K., Kokudo, N., Makuuchi, M.
Feasibility of intraoperative navigation for liver resection using real-time virtual sonography with novel automatic registration system.
World J. Surg., 2018. 42(3): 841-848

18. Takeda, Y., Mise, Y., Ishizuka, N., Harada, S., Hayama, B., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Effect of early administration of coagulation factor XIII on fistula after pancreatic surgery: the FIPS randomized controlled trial.
Langenbecks Arch. Surg., 2018. 403(8): 933-940

19. Tani, K., Ishizawa, T., Sakamoto, Y., Hasegawa, K., Kokudo, N.
Surgical approach to “Right Hepatic Core” : Deepest region surrounded by major portal pedicles and right hepatic vein.
Dig. Surg., 2018. 35(4): 350-358

20. 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 井上陽介 , 高橋祐 , 齋浦明夫
標準的癌術後フォローアップ計画 : 転移性肝癌フォローアップ計画 .
コンセンサス癌治療 , 2018. 15(1): 25-27

21. 井上陽介 , 齋浦明夫
Borderline resectable 膵癌に対する集学的治療 : Borderline resectable 膵癌に対する GEM+nab-paclitaxel を用いた集学的治療の経験 .
癌の臨床 , 2018. 63(5): 439-445

22. 伊藤寛倫
ロボット手術の現状と展望：総論ロボット手術の適応はどこまで広がるのか？　米国の現状 .
外科 , 2018. 80(9): 903-906

23. 小野嘉大 , 井上陽介 , 田中真之 , 佐藤崇文 , 高橋祐 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 齋浦明夫
胆道・膵疾患術後の晩期障害：膵癌に対する脾静脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除後の左側門脈圧亢進症 .
胆と膵 , 2018. 39(5): 435-441

24. 渡邉元己 , 井上陽介 , 三瀬祥弘 , 石沢武彰 , 伊藤寛倫 , 高橋祐 , 齋浦明夫
徹底解説！：膵頭十二指腸切除の手術手技：手術手技上腸間膜動脈・腹腔動脈　肝動脈周囲神経 , リンパ節郭清の実際 .
臨床外科 , 2018. 73(3): 280-285

25. 石沢武彰 , 高橋祐 , 齋浦明夫
R0 切除をめざした胆管癌の術前・術中・術後における診断・治療の工夫：蛍光イメージングを用いた術中診断の試み .
胆と膵 , 2018. 39(7): 621-625

26. 石沢武彰 , 齋浦明夫
イラストで学ぶ解剖学的変異 - 外科手術アトラス：肝胆膵外科領域副肝管 .
外科 , 2018. 80(5): 540-546

27. 高橋祐 , 齋浦明夫
イラストで学ぶ解剖学的変異 - 外科手術アトラス：肝胆膵外科領域肝動脈走行異常 .
外科 , 2018. 80(5): 522-529

28. 高橋祐 , 齋浦明夫
胆管癌の手術：遠位側胆管癌に対する膵頭十二指腸切除 .
手術 , 2018. 72(10): 1499-1507

29. 齋浦明夫監修 , 石沢武彰 , 渡邊元己編集
がん研肝胆膵外科ビデオワークショップ：ことばと動画で魅せる外科の基本・こだわりの手技 .
東京 , メジカルビュー社：167p., 2018

乳腺内科

1. Araki, K., Ito, Y., Fukada, I., Kobayashi, K., Miyagawa, Y., Imamura, M., Kira, A., Takatsuka, Y., Egawa, C., Suwa, H., Ohno, S., Miyoshi, Y.
Predictive impact of absolute lymphocyte counts for progression-free survival in human epidermal growth factor receptor 2-positive advanced breast cancer treated with pertuzumab and trastuzumab plus eribulin or nab-paclitaxel.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 982

2. Campone, M., Im, S. A., Iwata, H., Clemons, M., Ito, Y., Awada, A., Chia, S., Jagiello-Gruszfeld, A., Pistilli, B., Tseng, L. M., Hurvitz, S., Masuda, N., Cortes, J., De Laurentiis, M., Arteaga, C. L., Jiang, Z., Jonat, W., Le Mouhaer, S., Sankaran, B., Bourdeau, L., El-Hashimy, M., Sellami, D., Baselga, J.
Buparlisib plus fulvestrant versus placebo plus fulvestrant for postmenopausal, hormone receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative, advanced breast cancer: Overall survival results from BELLE-2.
Eur. J. Cancer, 2018. 103: 147-154

3. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

4. Inoue, H., Horii, R., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Tumor-infiltrating lymphocytes affect the efficacy of trastuzumab-based treatment in human epidermal growth factor receptor 2-positive breast cancer.
Breast Cancer, 2018. 25(3): 268-274

5. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged time to treatment failure with fulvestrant 500 mg in patients with post-menopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer: a sub-group analysis of the JBCRG-C06 Safari study.
Curr. Med. Res. Opin, 2018. 34(1): 49-54

6. Sugihara, T., Koizumi, M., Hayakawa, K., Ito, Y., Sata, N.
Impending atypical femoral fracture in a patient of breast cancer with bone metastases receiving long-term denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2018. 43(5): 365-366

7. Takano, T., Tsurutani, J., Takahashi, M., Yamanaka, T., Sakai, K., Ito, Y., Fukuoka, J., Kimura, H., Kawabata, H., Tamura, K., Matsumoto, K., Aogi, K., Sato, K., Nishio, K., Nakagawa, K., Saeki, T.
A randomized phase II trial of trastuzumab plus capecitabine versus lapatinib plus capecitabine in patients with HER2-positive metastatic breast cancer previously treated with trastuzumab and taxanes: WJOG6110B/ELTOP.
Breast, 2018. 40: 67-75

8. Tamura, K., Kodaira, M., Shimizu, C., Yonemori, K., Yunokawa, M., Shimomura, A., Kobayashi, T., Nakano, K., Tomomatsu, J., Ito, Y., Tanaka, J., Kuriki, H., Gu, Z., Takahashi, S.
Phase I study of taselisib in Japanese patients with advanced solid tumors or hormone receptor-positive advanced breast cancer.
Cancer Sci., 2018. 109(5): 1592-1601

9. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 吉田和世
乳房血管肉腫の一例 .
Cancer Board of the Breast, 2018. 4(1): 5-14

10. 伊藤良則
新薬展望 2018:(第 III 部) 治療における最近の新薬の位置付け < 薬効別 > ～新薬の広場～ 乳癌治療薬 .
医薬ジャーナル , 2018. 54(増刊): 539-543

11. 市村佳子 , 深田一平 , 柴山朋子 , 宮本快介 , 小林心 , 熊井康子 , 小口正彦 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
腰椎緩和照射後に放射線食道炎を発症した乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(2): 155-160

12. 細永真理 , 伊藤良則
最前線がわかる・プロセスがわかる　がん腫別治療とケアの “流れがわかる” ガイド : がん腫別　治療の成り行きがわかる編　乳がんの診断治療の選択 .
ナーシング , 2018. 38(2): 16-21

13. 貴志美紀 , 深田一平 , 柴山朋子 , 小林心 , 高橋俊二 , 小口正彦 , 荻谷朗子 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
髄注化学療法にて長期制御が得られた乳癌髄膜播種の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(1): 69-74

乳腺外科

1. Araki, K., Ito, Y., Fukada, I., Kobayashi, K., Miyagawa, Y., Imamura, M., Kira, A., Takatsuka, Y., Egawa, C., Suwa, H., Ohno, S., Miyoshi, Y.
Predictive impact of absolute lymphocyte counts for progression-free survival in human epidermal growth factor receptor 2-positive advanced breast cancer treated with pertuzumab and trastuzumab plus eribulin or nab-paclitaxel.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 982

2. Cardoso, F., Senkus, E., Costa, A., Papadopoulos, E., Aapro, M., Andre, F., Harbeck, N., Aguilar Lopez, B., Barrios, C. H., Bergh, J., Biganzoli, L., Boers-Doets, C. B., Cardoso, M. J., Carey, L. A., Cortes, J., Curigliano, G., Dieras, V., El Saghir, N. S., Eniu, A., Fallowfield, L., Francis, P. A., Gelmon, K., Johnston, S. R. D., Kaufman, B., Koppikar, S., Krop, I. E., Mayer, M., Nakigudde, G., Offersen, B. V., Ohno, S., Pagani, O., Paluch-Shimon, S., Penault-Llorca, F., Prat, A., Rugo, H. S., Sledge, G. W., Spence, D., Thomssen, C., Vorobiof, D. A., Xu, B., Norton, L., Winer, E. P.
4th ESO-ESMO International Consensus Guidelines for Advanced Breast Cancer (ABC 4)dagger.
Ann. Oncol., 2018. 29(8): 1634-1657

3. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

4. Hattori, M., Ishiguro, H., Masuda, N., Yoshimura, A., Ohtani, S., Yasojima, H., Morita, S., Ohno, S., Iwata, H.
Phase I dose-finding study of eribulin and capecitabine for metastatic breast cancer: JBCRG-18 cape study.
Breast Cancer, 2018. 25(1): 108-117

5. Inoue, H., Horii, R., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Tumor-infiltrating lymphocytes affect the efficacy of trastuzumab-based treatment in human epidermal growth factor receptor 2-positive breast cancer.
Breast Cancer, 2018. 25(3): 268-274

6. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged time to treatment failure with fulvestrant 500 mg in patients with post-menopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer: a sub-group analysis of the JBCRG-C06 Safari study.
Curr. Med. Res. Opin, 2018. 34(1): 49-54

7. Koi, Y., Koga, C., Akiyoshi, S., Masuda, T., Ijichi, H., Nakamura, Y., Ishida, M., Ohno, S., Tokunaga, E.
Impact of visceral metastasis on efficacy of fulvestrant in patients with hormone receptor-positive recurrent breast cancer.
Anticancer Res., 2018. 38(3): 1579-1584

8. Masuda, T., Shinden, Y., Noda, M., Ueo, H., Hu, Q., Yoshikawa, Y., Tsuruda, Y., Kuroda, Y., Ito, S., Eguchi, H., Ohno, S., Mimori, K.
Circulating pre-microRNA-488 in peripheral blood is a potential biomarker for predicting recurrence in breast cancer.
Anticancer Res., 2018. 38(8): 4515-4523

9. Sato, N., Masuda, N., Morimoto, T., Ueno, T., Kanbayashi, C., Kaneko, K., Yasojima, H., Saji, S., Sasano, H., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.
Neoadjuvant endocrine therapy with exemestane followed by response-guided combination therapy with low-dose cyclophosphamide in postmenopausal patients with estrogen receptor-positive breast cancer: A multicenter, open-label, phase II study.
Cancer Med., 2018: in press

10. Shimazu, K., Sato, N., Ogiya, A., Sota, Y., Yotsumoto, D., Ishikawa, T., Nakamura, S.,

Kinoshita, T., Tsuda, H., Ohi, Y., Akiyama, F., Noguchi, S.
Intraoperative nomograms, based on one-step nucleic acid amplification, for prediction of non-sentinel node metastasis and four or more axillary node metastases in breast cancer patients with sentinel node metastasis.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(9): 2603-2611

11. Takada, M., Sugimoto, M., Masuda, N., Iwata, H., Kuroi, K., Yamashiro, H., Ohno, S., Ishiguro, H., Inamoto, T., Toi, M.
Prediction of postoperative disease-free survival and brain metastasis for HER2-positive breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy plus trastuzumab using a machine learning algorithm.
Breast Cancer Res. Treat., 2018. 172(3): 611-618

12. Ueno, T., Saji, S., Masuda, N., Kuroi, K., Sato, N., Takei, H., Yamamoto, Y., Ohno, S., Yamashita, H., Hisamatsu, K., Aogi, K., Iwata, H., Yamanaka, T., Sasano, H., Toi, M.
Impact of clinical response to neoadjuvant endocrine therapy on patient outcomes: a follow-up study of JFMC34-0601 multicentre prospective neoadjuvant endocrine trial.
ESMO Open, 2018. 3(2): e000314

13. Ueno, T., Masuda, N., Kamigaki, S., Morimoto, T., Akiyama, F., Kurosumi, M., Tsuda, H., Mikami, Y., Tanaka, S., Morita, S., Toi, M.
A multicenter phase II trial of neoadjuvant letrozole plus low-dose cyclophosphamide in postmenopausal patients with estrogen receptor-positive breast cancer (JBCRG-07): therapeutic efficacy and clinical implications of circulating endothelial cells.
Cancer Med., 2018. 7(6): 2442-2451

14. Ueno, T., Saji, S., Chiba, T., Kamma, H., Isaka, H., Itoh, H., Imi, K., Miyamoto, K., Tada, M., Sasano, H., Toi, M., Imoto, S.
Progesterone receptor expression in proliferating cancer cells of hormone-receptor-positive breast cancer.
Tumour Biol., 2018. 40(10): 1010428318811025

15. Yamamoto, Y., Iwata, H., Ueno, T., Taira, N., Kashiwaba, M., Takahashi, M., Tada, H., Tsugawa, K., Toyama, T., Niikura, N., Hara, F., Fujisawa, T., Yoshinami, T., Saji, S., Takano, T., Masuda, N., Morita, S., Toi, M., Ohno, S.
A randomized, open-label, Phase III trial of pertuzumab retreatment in HER2-positive locally advanced/metastatic breast cancer patients previously treated with pertuzumab, trastuzumab and chemotherapy: the Japan Breast Cancer Research Group-M05 PRECIOUS study.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(9): 855-859

16. Yamashiro, H., Sawaki, M., Masuda, N., Okumura, Y., Takano, T., Tokunaga, E., Saito, T., Sagara, Y., Yamazaki, K., Kawaguchi, Y., Lee, T., Ozaki, S., Yamagami, K., Yamamoto, N., Kuroi, K., Suwa, H., Ohtani, S., Ito, T., Yasuno, S., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.
Survival outcomes of retreatment with trastuzumab and cytotoxic chemotherapy for HER2-positive recurrent patients with breast cancer who had been treated with neo/adjuvant trastuzumab plus multidrug chemotherapy: A Japanese multicenter observational study.
Breast Cancer, 2018. 12: 1178223418786243

17. Yamazaki, K., Horii, R., Iwase, T., Ueno, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Ductal carcinoma in situ manageable by active surveillance.
Ann. Breast Cancer Res., 2018. 3(1): 1-4

18. 上野貴之
がん医療トピックス：乳癌　癌の代謝と新規転移抑制 .
クリニシアン , 2018. 65(2-3): 215-221

19. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 吉田和世
乳房血管肉腫の一例 .
Cancer Board of the Breast, 2018. 4(1): 5-14

20. 坂井威彦 , 大野真司
標準的癌術後フォローアップ計画：乳癌術後のフォローアップ計画 .
コンセンサス癌治療 , 2018. 15(1): 7-10

21. 宮下宏紀 , 澤泉雅之 , 新井正美 , 吉田玲子 , 喜多瑞穂 , 大野真司
遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対してリスク低減乳房切除術・リスク低減卵巣卵管切除術と同時にインプラントによる一次一期乳房再建（Direct to Implant）を行った 1 例 .
創傷 , 2018. 9(1): 17-21

22. 小野麻紀子 , 片岡明美
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際：がん研究会有明病院　妊孕性温存 WG の取り組み .
ナーシング , 2018. 38(8): 80

23. 市村佳子 , 深田一平 , 柴山朋子 , 宮本快介 , 小林心 , 熊井康子 , 小口正彦 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
腰椎緩和照射後に放射線食道炎を発症した乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(2): 155-160

24. 植弘奈津恵 , 大井泰代
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 1. マンモグラフィで腫瘤をみるケース 3）微細分葉・鋸歯状①腺菅形成型浸潤性乳管癌 , ②充実型浸潤性乳管癌 , ③非浸潤性乳管癌 .
一冊でわかる乳腺疾患：画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.106-111, 2018

25. 米倉利香 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 1. マンモグラフィで腫瘤をみるケース 2）境界明瞭なもの（一部境界明瞭なものも含む）⑦粘液癌 , ⑧神経内分泌癌 , ⑨乳管過形成 , 腺症 .
一冊でわかる乳腺疾患：画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.100-105, 2018

26. 米倉利香 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 3. マンモグラフィで FAD をみるケース 4）音波画像：乳管拡張①非浸潤性乳管癌 , ②乳管内乳頭腫 , ③乳管拡張症 .
一冊でわかる乳腺疾患：画像と病理で理解を深める (何森亜由美, 森谷卓也編), 東京, 文光堂 : pp.199-203, 2018

27. 荻谷朗子 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 1. マンモグラフィで腫瘤をみるケース 2）境界明瞭なもの（一部境界明瞭なものも含む）②葉状腫瘍 , ③過誤腫 , 脂肪腫 , ④乳管内乳頭腫 , ⑤非浸潤性乳管癌 .
一冊でわかる乳腺疾患：画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.90-99, 2018

28. 貴志美紀 , 深田一平 , 柴山朋子 , 小林心 , 高橋俊二 , 小口正彦 , 荻谷朗子 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
髄注化学療法にて長期制御が得られた乳癌髄膜播種の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(1): 69-74

29. 高橋洋子 , 岩瀬拓士
イラストで学ぶ解剖学的変異 - 外科手術アトラス：乳腺肋間上腕神経と鎖骨下動静脈とその分枝の解剖学的変異 .
外科 , 2018. 80(5): 427-432

30. 高橋洋子 , 大野真司
乳癌 - 診断・治療の最新知見 -: 乳癌の治療 乳癌の手術療法　乳房切除術と乳房温存術 .
日本臨床 , 2018. 76(5): 729-734

婦人科

1. Aoki, Y., Kanao, H., Kikuchi, I., Nomura, H., Okamoto, S., Hisa, T., Sugihara, T., Kitano, R., Omatsu, K., Tanigawa, T., Takeshima, N. Comparison of the technical feasibility and safety of three contained morcellation tech-

niques: A pilot study in an animal model.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2018: in press

2. Aoki, Y., Ochiai, K., Lim, S., Aoki, D., Kamiura, S., Lin, H., Katsumata, N., Cha, S. D., Kim, J. H., Kim, B. G., Hirashima, Y., Fujiwara, K., Kim, Y. T., Kim, S. M., Chung, H. H., Chang, T. C., Kamura, T., Takizawa, K., Takeuchi, M., Kang, S. B.
Phase III study of cisplatin with or without S-1 in patients with stage IVB, recurrent, or persistent cervical cancer.
Br. J. Cancer., 2018. 119(5): 530-537

3. Chikazawa, K., Kanao, H., Hada, T., Netsu, S., Kuwata, T., Konno, R.
Efficacy of a self-timed trial of laparoscopic surgical training using a dry box.
Eplasty, 2018. 18: e8

4. Dal Molin, G. Z., Omatsu, K., Sood, A. K., Coleman, R. L.
Rucaparib in ovarian cancer: an update on safety, efficacy and place in therapy.
Ther. Adv. Med. Oncol., 2018. 10: 1758835918778483

5. Kanao, H., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Nomura, H., Omatsu, K., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
En bloc resection of an aggressive angiomyxoma by a novel combination laparoscopic and open perineal approach.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2018: in press

6. Kanao, H., Hisa, T., Aoki, Y., Takeshima, N.
Laparoscopic complete excision of a recurrent uterine primitive neuroectodermal tumor appearing as a huge metastatic lymph node.
J. Laparoendosc. Adv. Surg. Tech., 2018. 28(2): 10.1089/vor.2017.0478.

7. Kanao, H., Hisa, T., Aoki, Y., Takeshima, N.
Laparoscopic laterally extended endopelvic resection (LEER) for cervical carcinoma recurring at the pelvic sidewall after concurrent chemoradiotherapy: Our experience in three cases.
Gynecol. Oncol., 2018. 149(2): 428-429

8. Kanao, H., Takeshima, N.
Total laparoscopic nerve-sparing radical hysterectomy.
Hysterectomy: A Comprehensive Surgical Approach (Alkatout, I., Mettler, L. eds.), Springer: pp.611-619, 2018

9. Kanao, H., Aoki, Y., Takeshima, N.
Unexpected result of minimally invasive surgery for cervical cancer.
J. Gynecol. Oncol., 2018. 29(4): e73

10. Kato, K., Omatsu, K., Matoda, M., Nomura, H., Okamoto, S., Kanao, H., Utsugi, K., Takeshima, N.
Efficacy of transanal drainage tube placement after modified posterior pelvic exenteration for primary ovarian cancer.
Int. J. Gynecol. Cancer, 2018. 28(2): 220-225

11. Kato, K., Okamoto, S., Ota, E., Takeshima, N.
Secondary debulking surgery for para-aortic nodal recurrence in endometrial cancer requiring circumferential resection of the inferior vena cava.
Gynecol. Oncol., 2018. 149(1): 221-222

12. Matoda, M., Takeshima, N., Michimae, H., Iwata, T., Yokota, H., Torii, Y., Yamamoto, Y., Takehara, K., Nishio, S., Takano, H., Mizuno, M., Takahashi, Y., Takei, Y., Hasegawa, T., Mikami, M., Enomoto, T., Aoki, D., Sugiyama, T.
Postoperative chemotherapy for node-positive cervical cancer: Results of a multicenter phase II trial (JGOG1067).
Gynecol. Oncol., 2018. 149(3): 513-519

13. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M. S., Elishaev, E., Yunokawa, M., Sheridan, T. B., Bush, S. H., Klobocista, M. M., Blake, E. A.,

Takano, T., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Johnson, M. S., Yoshida, M., Hakam, A., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Miyake, T. M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Pejovic, T., Nagano, T., Sasaki, T., Richmond, A. M., Post, M. D., Shahzad, M. M. K., Im, D. D., Yoshida, H., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Karabakhtsian, R. G., Roman, L. D.
Characterizing sarcoma dominance pattern in uterine carcinosarcoma: Homologous versus heterologous element.
Surg. Oncol., 2018. 27(3): 433-440

14. Matsuo, K., Ross, M. S., Yunokawa, M., Johnson, M. S., Machida, H., Omatsu, K., Klobocista, M. M., Im, D. D., Satoh, S., Baba, T., Ikeda, Y., Bush, S. H., Hasegawa, K., Blake, E. A., Takekuma, M., Shida, M., Nishimura, M., Adachi, S., Pejovic, T., Takeuchi, S., Yokoyama, T., Ueda, Y., Iwasaki, K., Miyake, T. M., Yanai, S., Nagano, T., Takano, T., Shahzad, M. M., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Roman, L. D.
Clinical utility of CA-125 in the management of uterine carcinosarcoma.
J. Gynecol. Oncol., 2018. 29(6): e88

15. Matsuo, K., Shimada, M., Yamaguchi, S., Kanao, H., Nakanishi, T., Saito, T., Kamiura, S., Iwata, T., Mikami, M., Sugiyama, T.
Identifying a candidate population for ovarian conservation in young women with clinical stage IB-IIB cervical cancer.
Int. J. Cancer, 2018. 142(5): 1022-1032

16. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M. S., Elishaev, E., Yunokawa, M., Sheridan, T. B., Bush, S. H., Klobocista, M. M., Blake, E. A., Takano, T., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Johnson, M. S., Yoshida, M., Hakam, A., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Miyake, T. M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Pejovic, T., Nagano, T., Sasaki, T., Richmond, A. M., Post, M. D., Shahzad, M. M. K., Im, D. D., Yoshida, H., Enomoto, T., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Karabakhtsian, R. G., Roman, L. D.
Proposal for a risk-based categorization of uterine carcinosarcoma.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(12): 3676-84

17. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M. S., Elishaev, E., Yunokawa, M., Sheridan, T. B., Bush, S. H., Klobocista, M. M., Blake, E. A., Takano, T., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Johnson, M. S., Yoshida, M., Hakam, A., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Miyake, T. M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Pejovic, T., Nagano, T., Sasaki, T., Richmond, A. M., Post, M. D., Shahzad, M. M. K., Im, D. D., Yoshida, H., Enomoto, T., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Karabakhtsian, R. G., Roman, L. D.
Significance of lymphovascular space invasion by the sarcomatous component in uterine carcinosarcoma.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(9): 2756-2766

18. Matsuo, K., Ross, M. S., Im, D. D., Klobocista, M. M., Bush, S. H., Johnson, M. S., Takano, T., Blake, E. A., Ikeda, Y., Nishimura, M., Ueda, Y., Shida, M., Hasegawa, K., Baba, T., Adachi, S., Yokoyama, T., Satoh, S., Machida, H., Yanai, S., Iwasaki, K., Miyake, T. M., Takeuchi, S., Takekuma, M., Nagano, T., Yunokawa, M., Pejovic, T., Omatsu, K., Shahzad, M. M. K., Kelley, J. L., Ueland, F. R., Roman, L. D.
Significance of venous thromboembolism in women with uterine carcinosarcoma.
Gynecol. Oncol., 2018. 148(2): 267-274

19. Matsuo, K., Johnson, M. S., Im, D. D., Ross, M. S., Bush, S. H., Yunokawa, M., Blake, E. A., Takano, T., Klobocista, M. M., Hasegawa, K., Ueda, Y., Shida, M., Baba, T., Satoh, S., Yokoyama, T., Machida, H., Ikeda, Y., Adachi, S., Miyake, T. M., Iwasaki, K., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Nagano, T., Takekuma, M., Shahzad, M. M. K., Pejovic, T., Omatsu, K., Kelley, J. L., Ueland, F. R., Roman, L. D.
Survival outcome of women with stage IV uterine carcinosarcoma who received neoadjuvant chemotherapy followed by surgery.
J. Surg. Oncol., 2018. 117(3): 488-496

20. Nishio, H., Iwata, T., Nomura, H., Morisada, T., Takeshima, N., Takano, H., Sasaki, H., Nakatani, E., Teramukai, S., Aoki, D.
Liquid-based cytology versus conventional cytology for detection of uterine cervical lesions: a prospective observational study.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(6): 522-528

21. Nomura, H., Sugiyama, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kanao, H., Kato, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Maintenance hormonal therapy after treatment with medroxyprogesterone acetate for patients with atypical polypoid adenomyoma.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(3): 255-258

22. Nomura, H., Sakamoto, K., Sugihara, T., Okamoto, S., Aoki, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Omatsu, K., Kanao, H., Kato, K., Utsugi, K., Sugiyama, Y., Takeshima, N.
Oral leukoplakia, a precancerous lesion of squamous cell carcinoma, in patients with long-term pegylated liposomal doxorubicin treatment.
Medicine (Baltimore), 2018. 97(7): e9932

23. Sasada, S., Yunokawa, M., Takehara, Y., Ishikawa, M., Ikeda, S., Kato, T., Tamura, K.
Baseline risk of recurrence in stage I-II endometrial carcinoma.
J. Gynecol. Oncol., 2018. 29(1): e9

24. Shoji, T., Komiyama, S., Kigawa, J., Tanabe, H., Kato, K., Itamochi, H., Fujiwara, H., Kamiura, S., Hamano, T., Sugiyama, T.
An open-label, randomized, phase II trial evaluating the efficacy and safety of standard of care with or without bevacizumab in platinum-resistant epithelial ovarian, fallopian tube, or primary peritoneal cancer patients previously treated with bevacizumab for front-line or platinum-sensitive ovarian cancer: rationale, design, and methods of the Japanese Gynecologic Oncology Group study JGOG3023.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 771

25. Takahashi, A., Kanao, H., Takeshima, N.
Small-diameter hysteroscopic metroplasty for a septate uterus after open-assisted laparoscopic radical trachelectomy.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2018. 25(6): 949-950

26. Utsugi, K., Motoyama, T., Suzuki, N., Sugiyama, Y., Takeshima, N.
Endometirium-limited endometrioid adenocarcinoma and lung metastasis with unusual hyaline globules.
Eur. J. Gynaecol. Oncol., 2018. 39(3): 496-499

27. 久毅 , 西村宙起 , 的田眞紀 , 金尾祐之 , 小松京子 , 杉山裕子 , 河内洋 , 竹島信宏
外陰に発生した骨髄性肉腫 (myeloid sarcoma) の 1 例 .
日本臨床細胞学会雑誌 , 2018. 57(6): 294-299

28. 加藤一喜 , 竹島信宏
卵巣癌の手術 up to date : SDS における腫瘍減量術　DESKTOPIII の考察も含めて .
産婦人科の実際 , 2018. 67(5): 495-501

29. 加藤一喜 , 竹島信宏
婦人科がん (第 2 版)- 最新の研究動向 -: 卵巣がん　卵巣癌の治療　卵巣癌の手術療法 (骨盤).
日本臨床 , 2018. 76(増刊 2 婦人科がん): 590-595

30. 太田絵美 , 西村宙起 , 尾身牧子 , 青木洋一 , 野村秀高 , 竹島信宏
性腺外成熟奇形腫の 2 例 .
東京産科婦人科学会会誌 , 2018. 67(4): 652-656

31. 太田絵美 , 野村秀高 , 青木洋一 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 岡本三四郎 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 宇津木久仁子 , 竹島信宏
恥骨下枝合併切除で局所の完全切除をなし得たバルトリン腺癌の 2 例 .
日本婦人科腫瘍学会雑誌 , 2018. 36(4): 729-734

32. 宇津木久仁子
産婦人科外来パーフェクトガイド - いまのトレンドを逃さずチェック !: 疾患編　悪性腫瘍《がん検診》　子宮頸がんの治療後フォロー .
臨床婦人科産科 , 2018. 72(4): 441-445

33. 宇津木久仁子
疾患別リハビリメイク　総論〈婦人科がん〉婦人科がん治療中の顔貌変化と心理 .
化粧医学：リハビリメイクの心理と実践（かづきれいこ編著）, 東京 , 日本病院出版会 : pp.92-95, 2018

34. 宇津木久仁子 , 岡本三四郎 , 野村秀高 , 杉原武 , 岡本修平 , 西村宙起 , 谷川輝美 , 的田眞紀 , 尾松公平 , 金尾祐之 , 加藤一喜 , 竹島信宏
癌性腹膜炎の原発臓器推定に診断的腹腔鏡下手術が有用であった 2 症例 .
東京産科婦人科学会会誌 , 2018. 67(2): 220-223

35. 金尾祐之 , 中林誠 , 竹島信宏
On Fleek 産婦人科手術 : 低侵襲手術　悪性腹腔鏡補助下広汎子宮頸部摘出術 .
産婦人科の実際 , 2018. 67(11): 1314-1329

36. 金尾祐之
婦人科がん（第 2）- 最新の研究動向 -: 子宮頸がん　子宮頸癌の治療　骨盤の手術解剖学 .
日本臨床 , 2018. 76（増刊 2 婦人科がん）: 275-284

37. 金尾祐之 , 上田豊
婦人科がん症例における安全かつ有効な腹腔鏡下手術　拡大視効果があり、深部到達能が高いため有用。エビデンスの集積が待たれる .
日本医事新報 , 2018(4898): 56-57

38. 青木洋一
患者に説明できる ! いまはどうなっている ? がん治療における妊孕性温存の実際 : 妊孕性温存とは　妊孕性温存の現状 .
ナーシング , 2018. 38(8): 78-79

39. 青木洋一
患者に説明できる ! いまはどうなっている ? がん治療における妊孕性温存の実際 : 妊孕性温存の今後 .
ナーシング , 2018. 38(8): 94

頭頸科

1. Hino, R., Motoi, N., Toda, K., Ebina, A., Yamada, K., Higuchi, M., Hirokawa, M., Ishikawa, Y.
Stromal tiny black dots, like “sugar-coated”, of von Kossa stain is a diagnostic clue to hyalinizing trabecular tumor of the thyroid gland.
Pathol. Int., 2018. 68(3): 176-182

2. Kanazawa, T., Misawa, K., Fukushima, H., Misawa, Y., Sato, Y., Maruta, M., Imayoshi, S., Kusaka, G., Kawabata, K., Mineta, H., Carey, T. E., Nishino, H.
Epigenetic inactivation of galanin receptors in salivary duct carcinoma of the parotid gland: Potential utility as biomarkers for prognosis.
Oncol. Lett., 2018. 15(6): 9043-9050

3. Kubota, A., Nakatani, E., Tsukahara, K., Hasegawa, Y., Takemura, H., Terada, T.,

Taguchi, T., Nagahara, K., Nakatani, H., Yoshino, K., Higaki, Y., Iwae, S., Beppu, T., Hanamure, Y., Tomita, K., Kohno, N., Kawabata, K., Teramukai, S., Fujii, M.
Adjuvant chemotherapy with S-1 after curative chemoradiotherapy in patients with locoregionally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck: Reanalysis of the ACTS-HNC study.
PLoS One, 2018. 13(6): e0198391

4. Michikawa, C., Izumo, T., Sumino, J., Morita, T., Ohyama, Y., Michi, Y., Uzawa, N.
Small size of metastatic lymph nodes with extracapsular spread greatly impacts treatment outcomes in oral squamous cell carcinoma patients.
Int. J. Oral Maxillofac. Surg., 2018. 47(7): 830-835

5. Shimbashi, W., Sugitani, I., Kawabata, K., Mitani, H., Toda, K., Yamada, K., Sato, Y.
Thick tumor capsule is a valuable risk factor for distant metastasis in follicularthyroidcarcinoma.
Auris Nasus Larynx, 2018. 45(1): 147-155

6. 三谷浩樹
こんなときどうする？　術中・術後のトラブル対応：《咽頭・喉頭・頭頸部領域》皮弁の血流が悪い .
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 , 2018. 90(1): 63-65

7. 小泉雄 , 佐々木徹 , 米川博之 , 福島啓文 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 神山亮介 , 白尾浩太郎 , 日高竜太 , 市川千恭 , 永井遼斗 , 福田幸太 , 森田琢磨 , 江原雄一 , 尾股丈 , 渡嘉敷邦彦 , 鳥居淳一 , 山村晃司 , 川端一嘉 , 富塚健 , 川名加織 , 豊田生子 , 高橋浩二 , 三谷浩樹
Quality of Survival を考慮した頭頸部癌支持療法頭頸部がん患者に対する嚥下リハビリテーションチームの活動　がん研有明病院でのチーム医療の取り組み .
頭頸部癌 , 2018. 44(3): 269-275

8. 神山亮介 , 三谷浩樹
手術に必要な画像診断 - 喉頭・気管編 : 縦隔気管孔の手術 .
JOHNS, 2018. 34(6): 781-786

9. 米川博之
上顎洞の外科的治療 .
日本口腔外科学会雑誌 , 2018. 64(1): 2-7

10. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する３次元体照射法によるシスプラチン併用同時化学放射線療法についての検討 .
頭頸部癌 , 2018. 44(1): 32-38

11. 高橋剛史 , 佐々木徹 , 三谷浩樹 , 川端一嘉 , 米川博之 , 福島啓文 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 神山亮介 , 蛯名彩 , 日高竜太 , 服部雅優 , 坂井利彦 , 市川千恭 , 永井遼斗 , 西嶌嘉容
下咽頭扁平上皮癌放射線治療後の原発残存・再発病変に対する救済手術症例の検討 .
頭頸部外科 , 2018. 27(3): 277-283

整形外科

1. Ae, K., Matsumoto, S., Shimoji, T., Tanizawa, T., Gokita, T.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma,, 2018. 20: 146-159

2. Akiyama, T., Ogura, K., Gokita, T., Tsukushi, S., Iwata, S., Nakamura, T., Matsumine, A., Yonemoto, T., Nishida, Y., Saita, K., Kawai, A., Matsumoto, S., Yamaguchi, T.
Analysis of the infiltrative features of chordoma: The relationship between micro-skip metastasis and postoperative outcomes.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(4): 912-929

3. Funauchi, Y., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Kanno, S., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H.,

Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 49-year-old male, solitary fibrous tumor of left lower leg.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 14-23

4. Gokita, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y., Hayakawa, K., Kanno, S., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sugano, N., Motoi, N., Machinami, R., Hiruta, N., Kawaguchi, N.
A 59-year-old female, osteosarcoma of right tibia.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 2-13

5. Hashimoto, K., Ochi, H., Sunamura, S., Kosaka, N., Mabuchi, Y., Fukuda, T., Yao, K., Kanda, H., Ae, K., Okawa, A., Akazawa, C., Ochiya, T., Futakuchi, M., Takeda, S., Sato, S.
Cancer-secreted hsa-miR-940 induces an osteoblastic phenotype in the bone metastatic microenvironment via targeting ARHGAP1 and FAM134A.
Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A., 2018. 115(9): 2204-2209

6. Kanda, H., Furuta, N., Takazawa, Y., Furuta, R., Ae, K., Sugiyama, Y., Ishikawa, Y.
Cytological findings of gastrointestinal stromal tumor-derived bone metastasis.
Acta Cytol., 2018. 62(5-6): 430-435

7. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 16-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of right upper arm.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 116-125

8. Kawai, A., Goto, T., Shibata, T., Tani, K., Mizutani, S., Nishikawa, A., Shibata, T., Matsumoto, S., Nagata, K., Narukawa, M., Matsui, S., Ando, M., Toguchida, J., Monden, M., Heike, T., Kimura, S., Ueda, R.
Current state of therapeutic development for rare cancers in Japan, and proposals for improvement.
Cancer Sci., 2018. 109(5): 1731-1737

9. Kito, M., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Yamamoto, N.
Giant cell tumor of the distal femur: Outcome beyond 20 years of follow-up after curettage with polymethylmethacrylate.
J. Orthop. Sci., 2018. 23(6): 1051-55

10. Matsumoto, S.
Changes in the diagnosis and treatment of soft tissue sarcoma in Japan, 1977-2016.
J. Orthop. Sci., 2018. 23: 441-448

11. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Okumura, S., Takazawa, Y.
Successful complete response of tumor thrombus after combined with chemotherapy and irradiation for Ewing sarcoma.
Case Rep. Orthop., 2018. 2018: 5238512

12. Shibata, H., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Kanno, S., Yokoyama, H., Tada, H., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 25-year-old male, myxoid liposarcoma of left tibia.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 126-134

13. Sugihara, T., Koizumi, M., Hayakawa, K., Ito, Y., Sata, N.
Impending atypical femoral fracture in a patient of breast cancer with bone metastases receiving long-term denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2018. 43(5): 365-366

14. Sugiura, Y., Kanda, H., Motoi, N., Nomura, K., Inamura, K., Okada, E., Matsumoto, H., Shimoji, T., Matsumoto, S., Nakayama, J.,

Takazawa, Y., Ishikawa, Y., Machinami, R.
Osteosarcoma arising in fibrous dysplasia, confirmed by mutational analysis of GNAS gene.
Pathol. Res. Pract., 2018. 214(2): 318-324

15. Tanizawa, T.
Follow-up case study presentations about previous SSMS Meeting.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma,, 2018. 20: 136-143

16. Tsujino, S., Matsumoto, S., Ae, K.
Tenosynovial giant cell tumour of the hand in children under 10 years of age.
J. Hand Surg. Eur. Vol., 2018. 43(3): 335-337

17. Urakawa, H., Yonemoto, T., Matsumoto, S., Takagi, T., Asanuma, K., Watanuki, M., Takemoto, A., Naka, N., Matsumoto, Y., Kawai, A., Kunisada, T., Kubo, T., Emori, M., Hiraga, H., Hatano, H., Tsukushi, S., Nishida, Y., Akisue, T., Morii, T., Takahashi, M., Nagano, A., Yoshikawa, H., Sato, K., Kawano, M., Hiraoka, K., Tanaka, K., Iwamoto, Y., Ozaki, T.
Clinical outcome of primary giant cell tumor of bone after curettage with or without perioperative denosumab in Japan: from a questionnaire for JCOG 1610 study.
World J. Surg. Oncol., 2018. 16(1): 160

18. 五木田茶舞 , 船内雄生 , 谷澤泰介 , 早川景子 , 松本誠一 , 阿江啓介
骨腫瘍における手術支援：ナビゲーションシステムを用いた骨腫瘍切除の臨床成績と応用 .
日本整形外科学会雑誌 , 2018. 92(12): 959-964

19. 杉浦善弥 , 神田浩明 , 植野映子 , 野村起美恵 , 谷澤泰介 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 高澤豊 , 町並陸生 , 石川雄一
骨肉腫に脱分化した軟骨肉腫の 1 例 .
診断病理 , 2018. 35(2): 124-131

20. 松本誠一
第 2 章　臨床医の立場からみた軟部肉腫における細胞診の役割 .
希少がんと細胞診 1 ; 軟部肉腫（高澤豊編集）, 東京 , 武藤化学 : pp.6-7, 2018

21. 松本誠一 , 阿江啓介
胸・腹部サルコーマのすべて : 総論サルコーマの疫学と治療法の原則 .
外科 , 2018. 80(4): 301-307

22. 阿江啓介
下肢の手術進入路の手引き : 骨・軟部腫瘍　下肢骨腫瘍に対するアプローチ .
Orthopaedics, 2018. 31(5): 45-58

23. 阿江啓介 , 松本誠一 , 川口智義
新しい医療技術 In situ preparation 法（ISP 法）.
整形・災害外科 , 2018. 61(9): 1091-1100

泌尿器科

1. Ishioka, J., Matsuoka, Y., Uehara, S., Yasuda, Y., Kijima, T., Yoshida, S., Yokoyama, M., Saito, K., Kihara, K., Numao, N., Kimura, T., Kudo, K., Kumazawa, I., Fujii, Y.
Computer-aided diagnosis of prostate cancer on magnetic resonance imaging using a convolutional neural network algorithm.
BJU Int., 2018. 122(3): 411-417

2. Isono, T., Chano, T., Yoshida, T., Kageyama, S., Kawauchi, A., Yonese, J., Yuasa, T.
Abundance of TRAIL attenuated by HIF2alpha and c-FLIP affects malignancy in renal cell carcinomas.
Oncotarget, 2018. 9(33): 23091-23101

3. Komai, Y., Gotohda, N., Matsubara, N., Takeda, H., Yuasa, T., Inoue, M., Yamamoto, S., Yonese, J.
Preliminary kidney parenchymal ligation using endoloop ligatures : A simple method to achieve a trifecta in laparoscopic partial nephrectomy without hilar clamping for polar complex tumors.
Urology, 2018. 121: 182-188

4. Matsubara, N., Nagamori, S., Wakumoto, Y., Uemura, H., Kimura, G., Yokomizo, A., Kikukawa, H., Mizokami, A., Kosaka, T., Masumori, N., Kawasaki, Y., Yonese, J., Nasu, Y., Fukasawa, S., Sugiyama, T., Kinuya, S., Hosono, M., Yamaguchi, I., Tsutsui, H., Uemura, H.
Phase II study of radium-223 dichloride in Japanese patients with symptomatic castration-resistant prostate cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(1): 173-180

5. Yip, S. M., Wells, C., Moreira, R., Wong, A., Srinivas, S., Beuselinck, B., Porta, C., Sim, H. W., Ernst, D. S., Rini, B. I., Yuasa, T., Basappa, N. S., Kanesvaran, R., Wood, L. A., Canil, C., Kapoor, A., Fu, S. Y. F., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Checkpoint inhibitors in patients with metastatic renal cell carcinoma: Results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.
Cancer, 2018. 124(18): 3677-3683

6. Yoshida, T., Kageyama, S., Isono, T., Yuasa, T., Kushima, R., Kawauchi, A., Chano, T.
Superoxide dismutase 2 expression can predict prognosis of renal cell carcinoma patients.
Cancer Biomark., 2018. 22(4): 755-761

7. Yuasa, T.
Editorial Comment from Dr Yuasa to Prognostic impact of the pretreatment aspartate transaminase/alanine transaminase ratio in patients treated with first-line systemic tyrosine kinase inhibitor therapy for metastatic renal cell carcinoma.
Int. J. Urol., 2018. 25(6): 604-605

8. Yuasa, T., Urakami, S., Yonese, J.
Recent advances in medical therapy for metastatic urothelial cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(4): 599-607

9. 吾妻慧一 , 川上和宜 , 湯浅健 , 杉崎崇人 , 橋本幸輝 , 青山剛 , 鈴木賢一 , 米瀬淳二 , 濱敏弘
Cabazitaxel 治療における Pegfilgrastim の予防的投与の安全性 .
癌と化学療法 , 2018. 45(12): 1737-1742

10. 増田均 , 米瀬淳二
ミニマム創内視鏡下手術　他の低侵襲手術との比較およびコンセプトの導入 .
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 , 2018. 10(1): 91-96

11. 小林一男 , 湯浅健
まるごと疾患別泌尿器科の薬剤選択と服薬指導：泌尿器がん・腫瘍　腎がん .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2018. 23(4): 388-394

12. 湯浅健
副腎皮質癌の内科的治療と展望 .
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 , 2018. 35(4): 259-261

13. 駒井好信 , 後藤田直人 , 井上雅晴 , 三神晃 , 井上亨 , 小川将宏 , 山本真也 , 米瀬淳二
Segmental ischemia での腎部分切除を可能にする renovascular microdissection　腹腔鏡下アプローチにおける手技の実際 .
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 , 2018. 10(1): 9-12

14. 駒井好信 , 後藤田直人 , 松原伸晃 , 米瀬淳二
腎癌手術のクオリティーを向上させる 3D プリンティッドモデル .
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 , 2018. 10(1): 75-78

血液腫瘍科

1. Dobashi, A., Togashi, Y., Tanaka, N., Yokoyama, M., Tsuyama, N., Baba, S., Mori, S., Hatake, K., Yamaguchi, T., Noda, T., Takeuchi, K.
TP53 and OSBPL10 alterations in diffuse large B-cell lymphoma: prognostic markers identified via exome analysis of cases with extreme prognosis.
Oncotarget, 2018. 9(28): 19555-19568

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

3. Kusano, Y., Yokoyama, M., Inoue, N., Yamauchi, H., Takahashi, A., Tsuyama, N., Mishima, Y., Nishimura, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Hatake, K.
Delayed recovery of serum immunoglobulin G is a poor prognostic marker in patients with follicular lymphoma treated with rituximab maintenance.
Ann. Hematol., 2018. 97(2): 289-297

4. Mishima, Y., Terui, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Ueda, K., Kusano, Y., Yamauchi, H., Inoue, N., Takahashi, A., Tsuyama, N., Mishima, Y., Takeuchi, K., Hatake, K.
Bearing 19q13 aberration predicts poor prognosis in non-germinal centre type of CD5+ DLBCL.
Br. J. Haematol., 2018. 183(4): 661-664

5. Ohmachi, K., Tobinai, K., Kinoshita, T., Ishikawa, T., Hatake, K., Ichikawa, S., Ohmine, K., Kamitsuji, Y., Choi, I., Chou, T., Tsukasaki, K., Kumagai, K., Taniwaki, M., Uchida, T., Kikukawa, Y., Kubo, K., Mihara, K., Tsukamoto, N., Izutsu, K., Yoshida, I., Ishida, F., Usui, N., Iida, S., Murayama, T., Ueda, E., Kuriki, H., Ando, K.
Efficacy and safety of obinutuzumab in patients with previously untreated follicular lymphoma: a subgroup analysis of patients enrolled in Japan in the randomized phase III GALLIUM trial.
Int. J. Hematol., 2018. 108(5): 499-509

6. Ohmachi, K., Ando, K., Kinoshita, T., Kumagai, K., Hatake, K., Ishikawa, T., Teshima, T., Kato, K., Izutsu, K., Ueda, E., Nakai, K., Kuriki, H., Tobinai, K.
Safety, tolerability and pharmacokinetics of shorter duration of infusion of obinutuzumab in Japanese patients with B-cell non-Hodgkin lymphoma: final results of the phase II GATS study.
Jpn. J. Clin. Oncol, 2018. 48(8): 736-742

7. Tomita, N., Yokoyama, M., Yamamoto, W., Watanabe, R., Shimazu, Y., Masaki, Y., Tsunoda, S., Hashimoto, C., Murayama, K., Yano, T., Okamoto, R., Kikuchi, A., Tamura, K., Sato, K., Sunami, K., Shibayama, H., Takimoto, R., Ohshima, R., Takahashi, H., Moriuchi, Y., Kinoshita, T., Yamamoto, M., Numata, A., Nakajima, H., Miura, I., Takeuchi, K.
The standard international prognostic index for predicting the risk of CNS involvement in DLBCL without specific prophylaxis.
Leuk. Lymphoma, 2018. 59(1): 97-104

8. Tsuyama, N., Asaka, R., Dobashi, A., Baba, S., Mishima, Y., Ueda, K., Oguchi, M., Tsuji, H., Hatake, K., Takeuchi, K.
Epstein-Barr virus-negative extranodal “true” natural killer-cell lymphoma harbouring a KDM6A mutation.
Hematol. Oncol., 2018. 36(1): 328-335

9. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Kim, S. J., Ko, Y. H., Oguchi, M., Asano, N., Miyazaki, K., Terui, Y., Kubota, N., Maeda, T., Kobayashi, Y., Amaki, J., Soejima, T., Saito, B., Shimoda, E., Fukuhara, N., Tsukamoto, N., Shimada, K., Choi, I., Utsumi, T., Ejima, Y., Kim, W. S., Katayama, N.
Early disease progression in patients with localized NK/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy.
Cancer Sci., 2018. 109(6): 2056-2062

10. Yotsumoto, M., Ito, Y., Hagiwara, S., Terui, Y., Nagai, H., Ota, Y., Ajisawa, A., Uehira, T., Tanuma, J., Ohyashiki, K., Okada, S.
HIV positivity may not have a negative impact on survival in Epstein-Barr virus-positive Hodgkin lymphoma: A Japanese nationwide retrospective survey.
Oncol. Lett., 2018. 16(3): 3923-3928

11. 三嶋裕子
がん抗体医薬の新展開 - 新規分子による創薬・治療から副作用対策まで：骨転移に作用する抗体医薬　Denosumab を中心に .
医学のあゆみ , 2018. 265(1): 82-86

12. 三嶋裕子
原発性マクログロブリン血症：原発性マクログロブリン血症に対する治療　bendamustine を用いた治療 .
血液フロンティア , 2018. 28(8): 1191-1195

13. 三嶋裕子
診断と治療の ABC[133] 悪性リンパ腫：（第 4 章）管理・治療　薬物療法の副作用管理 .
最新医学 , 2018. 別冊（悪性リンパ腫）：109-117

14. 横山雅大
悪性リンパ腫　第 4 章　管理・治療　治療薬剤 3. マントル細胞リンパ腫 .
最新医学 , 2018（診断と治療の ABC：133）：134-141

15. 照井康仁
期待される新薬 - 分子標的治療薬の効果と副作用：抗体薬　ダラツムマブ（CD38 阻害薬）.
腫瘍内科 , 2018. 21(6): 660-663

16. 照井康仁
第 7 章がん領域における診断・治療の現状と求める医薬品・再生医療像：第 4 節再生不良性貧血 .
希少疾患用医薬品の適応拡大と事業性評価（技術情報協会企画編集）, 東京 , 技術情報協会：pp.261-263, 2018

17. 照井康仁
臨床で遭遇する難治な血液疾患の病態解析研究と治療の進歩：再発慢性リンパ性白血病に対する新たな治療法 .
血液内科 , 2018. 76(4): 476-479

18. 照井康仁
血液疾患における薬剤の副作用とその対策：イブルチニブの出血傾向と対策 .
血液フロンティア , 2018. 28(5): 721-725

19 照井康仁
診断と治療の ABC[133] 悪性リンパ腫：MAP 眼で見る悪性リンパ腫 .
最新医学 , 2018. 別冊（悪性リンパ腫）：7-11

20. 照井康仁
高齢者医療ハンドブック - 高齢者医療におけるダイバーシティへの対応：（第 VIII 章）高齢者のがん診療～実地医家の視点から～造血器腫瘍 .
内科 , 2018. 121(4): 901-904

21. 畠清彦
Onco-cardiology：なにを診るのか？：腫瘍内科医の立場から .
Heart View, 2018. 22(2): 88-92

22. 西村倫子
診断と治療の ABC[133] 悪性リンパ腫：（第 3 章）診断　鑑別診断　免疫不全関連リンパ増殖性疾患 .
最新医学 , 2018. 別冊（悪性リンパ腫）：90-98

23. 鈴木憲史 , 西村倫子 , 有田悦子 , 松井礼子 , 添田純平 , 張高明
日本の多発性骨髄腫治療における unmet medical needs.
血液内科 , 2018. 77(2): 311-

総合腫瘍科

1. Ando, Y., Iwasa, S., Takahashi, S., Saka, H., Kakizume, T., Natsume, K., Suenaga, N., Quadt, C., Yamada, Y.
A phase 1 study of alpelisib (BYL719), an α-specific PI3K inhibitor, in Japanese

patients with advanced solid tumors.
Cancer Sci., 2018. 110(3): 1021-1031

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

3. Guo, J., Jin, J., Oya, M., Uemura, H., Takahashi, S., Tatsugami, K., Rha, S. Y., Lee, J. L., Chung, J., Lim, H. Y., Wu, H. C., Chang, Y. H., Azad, A., Davis, I. D., Carrasco-Alfonso, M. J., Nanua, B., Han, J., Ahmad, Q., Motzer, R.
Safety of pazopanib and sunitinib in treatment-naive patients with metastatic renal cell carcinoma: Asian versus non-Asian subgroup analysis of the COMPARZ trial.
J. Hematol. Oncol., 2018. 11(1): 69

4. Marshall, S., Nakano, K., Sugiura, Y., Taira, S., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Outcome for advanced or metastatic soft tissue sarcoma of non-extremities treated with doxorubicin-based chemotherapy: a retrospective study from a single cancer institution.
Sarcoma, 2018. 2018: 8926598

5. Matsubara, N., Naito, Y., Nakano, K., Fujiwara, Y., Ikezawa, H., Yusa, W., Namiki, M., Okude, T., Takahashi, S.
Lenvatinib in combination with everolimus in patients with advanced or metastatic renal cell carcinoma: A phase 1 study.
Int. J. Urol., 2018. 25(11): 922-928

6. Naito, Y., Urasaki, T.
Precision medicine in breast cancer.
Chin. Clin. Oncol., 2018. 7(3): 29

7. Nakano, K., Takahashi, S.
Current molecular targeted therapies for bone and soft tissue sarcomas.
Int. J. Mol. Sci., 2018. 19(3): pii: E739

8. Nakano, K., Takahashi, S.
Translocation-related sarcomas.
Int. J. Mol. Sci., 2018. 19(12): 3784

9. Nishina, T., Takahashi, S., Iwasawa, R., Noguchi, H., Aoki, M., Doi, T.
Safety, pharmacokinetic, and pharmacodynamics of erdafitinib, a pan-fibroblast growth factor receptor (FGFR) tyrosine kinase inhibitor, in patients with advanced or refractory solid tumors.
Invest. New Drugs., 2018. 36(3): 424-434

10. Sasada, S., Yunokawa, M., Takehara, Y., Ishikawa, M., Ikeda, S., Kato, T., Tamura, K.
Baseline risk of recurrence in stage I-II endometrial carcinoma.
J. Gynecol. Oncol., 2018. 29(1): e9

11. Shigematsu, Y., Inamura, K., Mise, Y., Saiura, A., Rehnberg, E., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Takahashi, S., Kanda, H.
CDX2 expression is concordant between primary colorectal cancer lesions and corresponding liver metastases independent of chemotherapy: a single-center retrospective study in Japan.
Oncotarget, 2018. 9(24): 17056-17065

12. Shigematsu, Y., Kanda, H., Nagasaki, T., Inoue, Y., Takahashi, S.
Hepatic eosinophilic abscesses associated with sigmoid colon cancer
Intern. Med., 2018. 57(10): 1405-1409

13. Shigematsu, Y., Inamura, K., Yamamoto, N., Mise, Y., Saiura, A., Ishikawa, Y., Takahashi, S., Kanda, H.
Impact of CDX2 expression status on the survival of patients after curative resection for colorectal cancer liver metastasis.
BMC Cancer, 2018. 18(1): 980

14. Tahara, M., Takami, H., Ito, Y., Sugino, K., Takahashi, S., Takeyama, H., Tsutsui, H., Hara, H., Mitsuma, A., Yamashita, H., Okamoto, T., Sugitani, I., Ohashi, Y., Imai, T.
Cohort study exploring the effect of lenvatinib on differentiated thyroid cancer.
Endocr. J., 2018. 65(11): 1071-1074

15. Tahara, M., Kiyota, N., Yokota, T., Hasegawa, Y., Muro, K., Takahashi, S., Onoe, T., Homma, A., Taguchi, J., Suzuki, M., Minato, K., Yane, K., Ueda, S., Hara, H., Saijo, K., Yamanaka, T.
Phase II trial of combination treatment with paclitaxel, carboplatin and cetuximab (PCE) as first-line treatment in patients with recurrent and/or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck (CSPOR-HN02).
Ann. Oncol., 2018. 29(4): 1004-1009

16. Tamura, K., Kodaira, M., Shimizu, C., Yonemori, K., Yunokawa, M., Shimomura, A., Kobayashi, T., Nakano, K., Tomomatsu, J., Ito, Y., Tanaka, J., Kuriki, H., Gu, Z., Takahashi, S.
Phase I study of taselisib in Japanese patients with advanced solid tumors or hormone receptor-positive advanced breast cancer.
Cancer Sci., 2018. 109(5): 1592-1601

17. Yonemori, K., Kodaira, M., Satoh, T., Kudo, T., Takahashi, S., Nakano, K., Ando, Y., Shimokata, T., Mori, J., Inoue, K., Oakley, G. J., Sakaguchi, S., Tamura, K.
Phase 1 study of olaratumab plus doxorubicin in Japanese patients with advanced soft-tissue sarcoma.
Cancer Sci., 2018. 109(12): 3962-3970

18. 仲野兼司
ちょっと気になる頭頸部癌化学療法：頭頸部非扁平上皮癌に対する化学療法 .
JOHNS, 2018. 34(8): 1029-1031

19. 仲野兼司
唾液腺とその周辺：唾液腺腫瘍　唾液腺腫瘍に対する化学療法 .
JOHNS, 2018. 34(4): 471-473

20. 仲野兼司
患者・家族への説明ガイド：正しく伝え , 納得を引き出し , 判断を促すために：腫瘍のこと（Question 87）癌の再発予防にはどういう治療法があるのでしょうか？
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 , 2018. 90(5): 276-277

21. 仲野兼司
患者・家族への説明ガイド：正しく伝え , 納得を引き出し , 判断を促すために：腫瘍のこと医師・医療者から説明しておきたいこと　分子標的薬の処方にあたって .
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 , 2018. 90(5): 312-313

22. 仲野兼司
泌尿生殖器がん、婦人科がん、成人骨軟部肉腫、原発不明がん：肉腫　肉腫に対する分子標的薬の新たな開発動向 .
腫瘍内科 , 2018. 21(1): 70-80

23. 小栗知世 , 志賀太郎 , 高橋俊二 , 西尾誠人 , 保田知生
肺がん患者における静脈血栓症合併例の現状と課題 .
心臓 , 2018. 50(7): 797-800

24. 小野麻紀子
がん薬物療法専門医のための模擬テスト 93.
腫瘍内科 , 2018. 21(1): 130

25. 小野麻紀子 , 片岡明美
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際：がん研究会有明病院　妊孕性温存 WG の取り組み .
ナーシング , 2018. 38(8): 80

26. 温泉川真由
泌尿生殖器がん、婦人科がん、成人骨軟部肉腫、原発不明がん：婦人科がん　子宮内膜がんに対

する分子標的薬の開発動向 .
腫瘍内科 , 2018. 21(1): 38-44

27. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する３次元体照射法によるシスプラチン併用同時化学放射線療法についての検討 .
頭頸部癌 , 2018. 44(1): 32-38

28. 貴志美紀 , 深田一平 , 柴山朋子 , 小林心 , 高橋俊二 , 小口正彦 , 荻谷朗子 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
髄注化学療法にて長期制御が得られた乳癌髄膜播種の１例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(1): 69-74

29. 高橋俊二
オンコロジーエマージェンシー .
肺癌 , 2018. 58(Suppl.): 914-919

30. 高橋俊二
がん医療トピックス : 甲状腺癌　甲状腺癌における分子標的治療薬 .
クリニシアン , 2018. 65(2-3): 269-281

31. 高橋俊二
女性と乳腺疾患 : 乳癌患者における骨転移、骨合併症の治療 .
White, 2018. 6(1): 35-41

32. 高橋俊二
有害事象によるプレシジョンメディシン　有害事象による薬剤選択 .
尿路悪性腫瘍研究会記録 , 2018. 44: 41-49

33. 高橋俊二
泌尿器がんにおけるプレシジョン・メディシン有害事象からみた薬剤選択 .
腎臓内科・泌尿器科 , 2018. 7(2): 195-200

34. 高橋俊二
臨床応用に向けた疾患シーケンス解析 : (第 5 章) がん　分子標的治療薬とコンパニオン診断 .
遺伝子医学 MOOK, 2018(34): 136-142

35. 高橋俊二
頭頸部がん・甲状腺がん・希少がん : 希少がん軟部肉腫に対する分子標的治療薬の使い分け .
腫瘍内科 , 2018. 22(4): 425-434

総合診療部

1. Hayashi, M., Watanabe, A., Muramatsu, M., Yamashita, N.
Effectiveness of personal genomic testing for disease-prevention behavior when combined with careful consultation with a physician: a preliminary study.
BMC Res. Notes, 2018. 11(1): 223

2. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity.
J. Oncol. Pharm. Pract., 2018: in press

3. 中山耕之介
痛風・高尿酸血症治療薬ほか .
治療薬マニュアル 2018 (高久史麿 , 矢崎義雄監修 , 原光夫 , 上野文昭 , 越前宏俊編集), 東京 , 医学書院 : 2018

4. 山下直秀 , 村松正明 , 林幹浩 , 渡邉直 , 田口淳一 , 堀尾留里子 , 飴谷章夫 , 小島直樹 , 金田俊介
ゲノム医療の実用化に向けた現状と課題 : 臨床における全ゲノム解析の有用性 .
臨床医薬 , 2018. 34(8): 567-577

5. 志賀太郎
Onco-Cardiology の新展開 : 癌化学療法による心血管合併症の予防と治療 .
Hear View, 2018. 22(2): 157-164

6. 志賀太郎
Q14　がん治療による心毒性をどのように診断したら良いのでしょうか？ : バイオマーカー, 心電図 .

がん患者の心臓を守る！腫瘍循環器学Q＆A（伊藤浩一，向井幹夫編），東京，分光堂：pp.32-33, 2018

7. 志賀太郎
Q33　がん治療に伴う血管障害や冠動脈疾患を診断する方法について教えて下さい．
がん患者の心臓を守る！腫瘍循環器学Q＆A（伊藤浩一，向井幹夫編），東京，分光堂：pp.76-77, 2018

8. 志賀太郎
がん診療における心血管合併症：onco-cardiology アップデー：がんおよびがん治療に関連する血栓塞栓症．
診断と治療，2018. 106(8): 935

9. 志賀太郎
キャッチ！オンコロ・トレンド（第6回）　がんは循環器疾患を引き起こしやすいってホント？
YORi-SOU がんナーシング，2018. 8(6): 614-615

10. 志賀太郎
心膜液貯留・心タンポナーデ．
Cancer Board, 2018. 4(2): 10-14

11. 志賀太郎
腫瘍診療と循環器診療 -Onco-Cardiology について：がん治療関連性心血管有害事象の特徴．
循環器内科，2018. 83(6): 524-531

12. 渡邉直
病気のはなし高血圧．
検査と技術，2018. 46(7): 730-735

がん疼痛治療科

1. 服部政治，立花潤子
がん疼痛マネジメント：（第III章）非薬物療法
がん疼痛に対する神経ブロック・脊髄鎮痛法．
がん看護，2018. 23(2): 181-186

腫瘍精神科

1. Yoshida, S., Ogawa, C., Shimizu, K., Kobayashi, M., Inoguchi, H., Oshima, Y., Dotani, C., Nakahara, R., Kato, M.
Japanese physicians' attitudes toward end-of-life discussion with pediatric patients with cancer.
Support. Care Cancer, 2018. 26(11): 3861-3871

形成外科

1. Fuse, Y., Yoshimatsu, H., Yamamoto, T.
Lateral approach to the deep branch of the superficial circumflex iliac artery for harvesting a SCIP flap.
Microsurgery, 2018. 38(5): 589-590

2. Hayashi, A., Visconti, G., Yamamoto, T., Giacalone, G., Hayashi, N., Handa, M., Yoshimatsu, H., Salgarello, M.
Intraoperative imaging of lymphatic vessel using ultra high-frequency ultrasound.
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2018. 71(5): 778-780

3. Ishii, Y., Yano, T., Ito, O.
Use of the facial dismasking flap approach for surgical treatment of a multifocal craniofacial abscess.
Arch. Plast. Surg., 2018. 45(3): 271-274

4. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 16-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of right upper arm.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 116-125

5. Karakawa, R., Harima, M., Iida, T.
The external jugular vein anastomosis under the sternocleidomastoid muscle technique for head and neck reconstruction.
Plast. Reconstr. Surg., 2018: in press

6. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T., Sawaizumi, M.

Microsurgery training using Apple iPad Pro. Microsurgery, 2018. 38(8): 926-927

7. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Narushima, M., Iida, T.
Ratio of blood glucose level change measurement for flap monitoring.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2018. 6(7): e1851

8. Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H., Harima, M., Kanayama, K., Iida, T., Sawaizumi, M.
Use of laser speckle contrast imaging for successful fingertip replantation.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2018. 6(9): e1924

9. Kuramoto, Y., Tanakura, K., Sawaizumi, M.
Efficacy of vein mapping in lymphaticovenular anastomosis.
Int. Microsurg. J., 2018. 1(4): 2

10. Kuramoto, Y., Yano, T., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Miyashita, H.
A rare chest wall deformity after usage of a tissue expander for breast reconstruction.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2018. 6(11): e1950

11. Visconti, G., Hayashi, A., Yoshimatsu, H., Bianchi, A., Salgarello, M.
Ultra-high frequency ultrasound in planning capillary perforator flaps: Preliminary experience.
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2018. 71(9): 1146-1152

12. Yano, T., Akita, K., Yamaguchi, K., Sawaizumi, M.
A cadaver study to assess the feasibility of a cross-nerve transfer of the infraorbital nerve for patients with peripheral infraorbital nerve injury.
Ann. Plast. Surg., 2018. 80(2): 141-144

13. Yoshimatsu, H., Inoue, K., Tanakura, K., Karakawa, R., Hayashi, A.
Lateral crisscross position for lymphaticovenular anastomosis: Comfortable for both the patient and the surgeon.
J. Reconstr. Microsurg, 2018: in press

14. Yoshimatsu, H., Yamamoto, T., Tanakura, K., Fuse, Y., Hayashi, A.
Noncontrast magnetic resonance lymphography for evaluation of lymph node transfer for secondary upper limb lymphedema.
Plast. Reconstr. Surg., 2018. 142(4): 601e-603e

15. Yoshimatsu, H., Yamamoto, T., Tanakura, K., Fuse, Y., Hayashi, A.
“Powered” lymphaticovenular anastomosis for treatment of upper extremity lymphedema: deducing location of functional lymphatic vessels from pumping movement of the underlying muscles.
Plast. Reconstr. Surg., 2018: in press

16. Yoshimatsu, H., Iida, T., Yamamoto, T., Hayashi, A.
Superficial circumflex iliac artery based iliac bone flap transfer for reconstruction of bony defects.
J. Reconstr. Microsurg, 2018. 34(9): 719-728

17. 倉元有木子，矢野智之，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，澤泉雅之
遊離腹部皮弁による乳房再建における Predictive Contouring の有用性 .
日本マイクロサージャリー学会会誌，2018. 31(2): 80-85

18. 古林玄，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，塩崎正崇，石浦良平，細井龍，澤泉雅之
乳房再建（人工物）における新しい乳房下垂分類と Regnault 分類の比較 .
日本形成外科学会会誌，2018. 38(4): 177-182

19. 吉松英彦
手外科領域の診断・治療のトピックス：指尖部の美容再建について．
関節外科，2018. 37(8): 866-872

20. 宮下宏紀，澤泉雅之，新井正美，吉田玲子，喜多瑞穂，大野真司
遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対してリスク低減乳房切除術・リスク低減卵巣卵管切除術と同時にインプラントによる一次一期乳房再建（Direct to Implant）を行った1例．
創傷，2018. 9(1): 17-21

21. 本田武史，棚倉健太，宮下宏紀，柴田知義，倉元有木子，矢野智之，前田拓摩，澤泉雅之
乳房再建におけるポケット型エコーの有用性．
Oncoplastic Breast Surgery, 2018. 3(1-2): 19-22

22. 松本綾希子，澤泉雅之
乳房再建・豊胸術と超音波検査インプラント挿入後の超音波所見．
乳腺甲状腺超音波医学，2018. 7(1): 49-51

23. 柴田知義，澤泉雅之，棚倉健太，宮下宏紀，倉元有木子，塩崎正宗，松本綾希子，古林玄，三戸奈那子
乳房再建時にTissue Expander自体の容量がSBI選択に与える影響について．
日本形成外科学会会誌，2018. 38: 472-477

24. 沼畑岳央，舘一史
自作した自殺用感電装置で胸背部電撃傷となった1例．
日本形成外科学会会誌，2018. 38(1): 37-42

25. 澤泉雅之
明日を拓く乳がん診療：新たなチームアプローチ：乳房再建に対するチームアプローチ．
日本医師会雑誌，2018. 174(3): 513-516

26. 澤泉雅之
軟部肉腫について．
形成外科治療技術全書V; 腫瘍・母斑・血管奇形（磯貝典孝，山本有平編集），東京，克誠堂出版：pp.81-84, 2018

27. 矢野智之，澤泉雅之
機能に配慮した頭頸部再建：頭蓋底手術における機能的な再建．
PEPARS, 2018(136): 1-8

28. 矢野智之
私はこうしている - 鼻科手術編：各種疾患に対する手術　上顎洞癌　頭蓋底切除後の頭蓋底再建．
JOHNS, 2018. 34(9): 1353-1355

眼科

1. Tsuyama, N., Asaka, R., Dobashi, A., Baba, S., Mishima, Y., Ueda, K., Oguchi, M., Tsuji, H., Hatake, K., Takeuchi, K.
Epstein-Barr virus-negative extranodal “true” natural killer-cell lymphoma harbouring a KDM6A mutation.
Hematol. Oncol., 2018. 36(1): 328-335

2. 辻英貴
II. 重要疾患の診断＆対応のポイント H. 眼腫瘍．
眼科疾患診断・治療マニュアル：ここが知りたい＆今さら聞けないに答える（相原一編），東京，南江堂：pp.261-266, 2018

3. 辻英貴
Ⅰ涙道　Ⅱ眼瞼　Ⅲ結膜　Ⅳ眼窩，涙腺　Ⅴ眼球，眼筋　Ⅵ角膜，強膜　Ⅶぶどう膜　Ⅷ眼房，網膜　Ⅸ水晶体，硝子体．
診療報酬点数表：手術術式の完全解説 2018-19年版東京，医学通信社：pp.102-140, 2018

4. 辻英貴
結膜疾患の診断と治療実践ガイド：結膜腫瘍．
Monthly Book Orthopaedics, 2018. No.65: 61-65

感染症科

1. Aoki, K., Harada, S., Yahara, K., Ishii, Y., Motooka, D., Nakamura, S., Akeda, Y., Iida, T., Tomono, K., Iwata, S., Moriya, K., Tateda, K.
Molecular characterization of IMP-1-producing enterobacter cloacae complex isolates in Tokyo.

Antimicrob. Agents Chemother., 2018. 62(3): pii: e02091-17

2. Harada, S., Ishii, Y., Saga, T., Aoki, K., Tateda, K.
Molecular epidemiology of Klebsiella pneumoniae K1 and K2 isolates in Japan.
Diagn. Microbiol. Infect. Dis., 2018. 91(4): 354-359

3. Takeda, Y., Mise, Y., Ishizuka, N., Harada, S., Hayama, B., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Effect of early administration of coagulation factor XIII on fistula after pancreatic surgery: the FIPS randomized controlled trial.
Langenbecks Arch. Surg., 2018. 403(8): 933-940

4. 佐々木俊治 , 原田壮平
エピソード 52 経口セフェム系薬の適正使用 .
INFECTION CONTROL, 2018. 2018 年（春季増刊）: 231-234

5. 佐々木俊治 , 原田壮平
エピソード 53 メトロニダゾールの適正使用 .
INFECTION CONTROL, 2018. 2018 年（春季増刊）: 235-238

6. 原田壮平
セフェム系薬（注射）.
月刊薬事 , 2018. 60(2): 363-367

7. 原田壮平
セフェム系薬（経口）.
月刊薬事 , 2018. 60(2): 356-362

8. 大串大輔
VII 眼感染症、眼窩蜂窩織炎
VIII 中枢神経系感染症
IX 免疫不全に伴う感染症
X 移植に伴う感染症 .
成人看護学②感染症 / アレルギー・免疫 / 膠原病第 4 版（岡崎仁昭編集代表）, 東京 , メジカルフレンド社 : pp.78-88, 2018

9. 大串大輔
多剤耐性グラム陰性菌対策を見直す -『薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン』に向けて : 患者別の実践手引き　グラム陰性菌感染症のマネジメント　病態・治療・予防まで　固形癌患者 .
感染と抗菌薬 , 2018. 21(2): 128-132

10. 大串大輔
抗菌薬選択の実際 -AMR（薬剤耐性）対策は日々の診療から : 起因菌と有効な抗菌薬をあわせて理解する : グラム陽性菌 Enterococcus faecalis, Enterococcus faecium　抗菌薬選択に頭を悩ますレンサ球菌 .
内科 , 2018. 122(1): 99-102

11. 武田孝一
プロブレムから学ぶ感染症診療 - すぐに役立つ厳選シナリオ 30 選 : 発熱 + αの症状から診断する発熱と関節痛 .
Medicina, 2018. 55(6): 784-787

12. 武田孝一
発熱と関節痛 .
病歴と診察で診断する感染症（志水太郎 , 忽那賢志編集）, 東京 , 医学書院 : pp.27-30, 2018

13. 羽山ブライアン
感染症関連国際ガイドライン - 近年のまとめ : （第 2 章）臨床感染症に関するガイドライン 真菌症　カンジダ症（2016 年 ,IDSA） Clinical practice guideline for the management of candidiasis.
臨床検査 , 2018. 62(10): 1274-1281

皮膚科

1. Watanabe, R., Nakano, E., Kawazoe, A., Kuboki, Y., Bando, H., Shitara, K., Takahashi, A., Tsutsumida, A., Nishizawa, A., Yamazaki, N.
Four cases of paradoxical cephalocervical pyogenic granuloma during treatment with paclitaxel and ramucirumab.
J. Dermatol., 2018(in press)

2. 西澤綾
皮膚科女性外来の実践：プライベートパーツの皮膚トラブル .
Derma., 2018(273): 61-70

漢方サポート科

1. 星野惠津夫
副作用への漢方薬活用術　エキスパートに学ぶ活用事例総まとめ：がん薬物療法の副作用に対する漢方薬の考え方と使い方　ホットフラッシュ .
薬局 , 2018. 69(2): 249-254

緩和治療科

1. Katakami, N., Harada, T., Murata, T., Shinozaki, K., Tsutsumi, M., Yokota, T., Arai, M., Tada, Y., Narabayashi, M., Boku, N.
Randomized phase 3 and extension studies: Efficacy and impacts on quality of life of naldemedine in subjects with opioid-induced constipation and cancer.
Ann. Oncol., 2018. 29(6): 1461-1467

2. Mori, M., Morita, T., Yokomichi, N., Nitto, A., Takahashi, N., Miyamoto, S., Nishie, H., Matsuoka, J., Sakurai, H., Ishihara, T., Tarumi, Y., Ogawa, A.
Validation of the edmonton symptom assessment system: Ascites modification.
J. Pain Symptom Manage., 2018. 55(6): 1557-1563

3. 佐伯吉規
外来・病棟でよくみる精神症状対応マニュアル：（第 4 章）病態・疾患に応じた向精神薬の使い方と注意点　膠原病、リウマチ性疾患 .
薬事 , 2018. 60(10): 1959-1968

4. 川原玲子
オピオイド内服中のがん患者の腹痛に対して桂枝加芍薬湯が有効であった 2 症例 .
痛みと漢方 , 2018. 28: 98-103

5. 桜井宏樹
緩和・ターミナルケア：骨転移に対するゾレドロン酸の投与法：12 週ごとの投与でもよい .
日本医事新報 , 2018. No.4927: 55

6. 櫻井宏樹 , 中山博文 , 神山潤二 , 志賀太郎 , 松枝清 , 中山耕之介 , 佐伯吉規
Cancer Board Conference 気管食道ステントを挿入し、経口摂取可能となった肺がんから気管食道瘻を併発した 1 例 .
Cancer Board Square, 2018. 4(2): 183-203

放射線治療部

1. Harada, K., Igaki, H., Abe, E., Ariga, T., Hayashi, N., Kanemoto, A., Komiyama, T., Matsumoto, Y., Nakano, T., Onimaru, R., Saito, H., Sumi, M., Tago, M., Tanaka, K., Maebayashi, K., Aoyama, H.
Present clinical practices of stereotactic irradiation for metastatic brain tumors in Japan: results of questionnaire survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) working subgroup for neurological tumors.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(6): 1015-1022

2. Inoue, T., Katoh, N., Ito, Y. M., Kimura, T., Nagata, Y., Kuriyama, K., Onishi, H., Yoshitake, T., Shioyama, Y., Iizuka, Y., Inaba, K., Konishi, K., Kokubo, M., Karasawa, K., Kozuka, T., Tanaka, K., Sakakibara-Konishi, J., Kinoshita, I., Shirato, H.
Stereotactic body radiotherapy to treat small lung lesions clinically diagnosed as primary lung cancer by radiological examination: A prospective observational study.
Lung Cancer, 2018. 122: 107-112

3. Ishibashi, N., Soejima, T., Kawaguchi, H., Akiba, T., Hasegawa, M., Isobe, K., Ito, H., Imai, M., Ejima, Y., Hata, M., Sasai, K., Shimoda, E., Maebayashi, T., Oguchi, M., Akimoto, T.
National survey of myeloablative total body irradiation prior to hematopoietic stem cell transplantation in Japan: survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).
J. Radiat. Res., 2018. 59(4): 477-483

4. Kamima, T., Baba, H., Takahashi, R., Yamashita, M., Sugawara, Y., Kawai, D., Yamamoto, T., Satou, A., Tachibana, H.
Multi-institutional comparison of computer-based independent dose calculation for intensity modulated radiation therapy and volumetric modulated arc therapy.
Phys. Med., 2018. 45: 72-81

5. Kanayama, N., Kierkels, R. G. J., van der Schaaf, A., Steenbakkers, R., Yoshioka, Y., Nishiyama, K., Fujii, T., Ogawa, K., Langendijk, J. A., Teshima, T.
External validation of a multifactorial normal tissue complication probability model for tube feeding dependence at 6months after definitive radiotherapy for head and neck cancer.
Radiother. Oncol., 2018. 129(2): 403-408

6. Kayama, T., Sato, S., Sakurada, K., Mizusawa, J., Nishikawa, R., Narita, Y., Sumi, M., Miyakita, Y., Kumabe, T., Sonoda, Y., Arakawa, Y., Miyamoto, S., Beppu, T., Sugiyama, K., Nakamura, H., Nagane, M., Nakasu, Y., Hashimoto, N., Terasaki, M., Matsumura, A., Ishikawa, E., Wakabayashi, T., Iwadate, Y., Ohue, S., Kobayashi, H., Kinoshita, M., Asano, K., Mukasa, A., Tanaka, K., Asai, A., Nakamura, H., Abe, T., Muragaki, Y., Iwasaki, K., Aoki, T., Watanabe, T., Sasaki, H., Izumoto, S., Mizoguchi, M., Matsuo, T., Takeshima, H., Hayashi, M., Jokura, H., Mizowaki, T., Shimizu, E., Shirato, H., Tago, M., Katayama, H., Fukuda, H., Shibui, S.
Effects of surgery with salvage stereotactic radiosurgery versus surgery with whole-brain radiation therapy in patients with one to four brain metastases (JCOG0504): A phase III, noninferiority, randomized controlled trial.
J. Clin. Oncol., 2018: in press

7. Kida, S., Nakamoto, T., Nakano, M., Nawa, K., Haga, A., Kotoku, J., Yamashita, H., Nakagawa, K.
Cone beam computed tomography image quality improvement using a deep convolutional neural network.
Cureus, 2018. 10(4): e2548

8. Kodaira, T., Kagami, Y., Shibata, T., Shikama, N., Nishimura, Y., Ishikura, S., Nakamura, K., Saito, Y., Matsumoto, Y., Teshima, T., Ito, Y., Akimoto, T., Nakata, K., Toshiyasu, T., Nakagawa, K., Nagata, Y., Nishimura, T., Uno, T., Kataoka, M., Yorozu, A., Hiraoka, M., Radiation Therapy Study Group of the Japan Clinical Oncology, G.
Results of a multi-institutional, randomized, non-inferiority, phase III trial of accelerated fractionation versus standard fractionation in radiation therapy for T1-2N0M0 glottic cancer: Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG0701).
Ann. Oncol., 2018. 29(4): 992-997

9. Murakami, Y., Nakano, M., Yoshida, M., Hirashima, H., Nakamura, F., Fukunaga, J., Hirose, T. A., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Hirata, H.
Possibility of chest wall dose reduction using volumetric-modulated arc therapy (VMAT) in radiation-induced rib fracture cases: comparison with stereotactic body radiation therapy (SBRT).
J. Radiat. Res., 2018. 59(3): 327-332

10. Murofushi, K. N., Kitamura, N., Yoshioka, Y., Sumi, M., Ishikawa, H., Oguchi, M., Sakurai, H.
A clinical evaluation of American Brachytherapy Society Consensus Guideline for bulky vaginal mass in gynecological cancer.
Int. J. Gynecol. Cancer., 2018. 28(7): 1438-1445

11. Murofushi, K. N., Nakajima, N., Tomita, T., Sumi, M., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Sakurai, H.
Impact of visual feedback on dose-volume histograms for organs at risk in postoperative radiotherapy with deep inspiration breath-holding for patients treated with

breast-conserving therapy: a planning study.
Breast Cancer, 2018. 25(6): 656-662

12. Nakajima, N., Oguchi, M., Kumai, Y., Yoshida, M., Inoda, H., Yoshioka, Y., Iwase, T., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S.
Clinical outcomes and prognostic factors in patients with stage II-III breast cancer treated with neoadjuvant chemotherapy followed by surgery and postmastectomy radiation therapy in the modern treatment era.
Adv. Radiat. Oncol, 2018. 3(3): 271-279

13. Ng, A. K., Yahalom, J., Goda, J. S., Constine, L. S., Pinnix, C. C., Kelsey, C. R., Hoppe, B., Oguchi, M., Suh, C. O., Wirth, A., Qi, S., Davies, A., Moskowitz, C. H., Laskar, S., Li, Y., Mauch, P. M., Specht, L., Illidge, T.
Role of radiation therapy in patients with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma: Guidelines from the international lymphoma radiation oncology group.
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 2018. 100(3): 652-669

14. Onishi, H., Marino, K., Yamashita, H., Terahara, A., Onimaru, R., Kokubo, M., Shioyama, Y., Kozuka, T., Matsuo, Y., Aruga, T., Hiraoka, M.
Case series of 23 patients who developed fatal radiation pneumonitis after stereotactic body radiotherapy for lung cancer.
Technol. Cancer Res. Treat., 2018. 17: 1533033818801323

15. Tsuyama, N., Asaka, R., Dobashi, A., Baba, S., Mishima, Y., Ueda, K., Oguchi, M., Tsuji, H., Hatake, K., Takeuchi, K.
Epstein-Barr virus-negative extranodal "true" natural killer-cell lymphoma harbouring a KDM6A mutation.
Hematol. Oncol., 2018. 36(1): 328-335

16. Varnava, M., Sumida, I., Mizuno, H., Shiomi, H., Suzuki, O., Yoshioka, Y., Ogawa, K.
A new plan quality objective function for determining optimal collimator combinations in prostate cancer treatment with stereotactic body radiation therapy using CyberKnife.
PLoS One, 2018. 13(11): e0208086

17. Wakabayashi, T., Natsume, A., Mizusawa, J., Katayama, H., Fukuda, H., Sumi, M., Nishikawa, R., Narita, Y., Muragaki, Y., Maruyama, T., Ito, T., Beppu, T., Nakamura, H., Kayama, T., Sato, S., Nagane, M., Mishima, K., Nakasu, Y., Kurisu, K., Yamasaki, F., Sugiyama, K., Onishi, T., Iwadate, Y., Terasaki, M., Kobayashi, H., Matsumura, A., Ishikawa, E., Sasaki, H., Mukasa, A., Matsuo, T., Hirano, H., Kumabe, T., Shinoura, N., Hashimoto, N., Aoki, T., Asai, A., Abe, T., Yoshino, A., Arakawa, Y., Asano, K., Yoshimoto, K., Shibui, S., Members of Japan Clinical Oncology Group Brain Tumor Study, G.
JCOG0911 INTEGRA study: a randomized screening phase II trial of interferon β plus temozolomide in comparison with temozolomide alone for newly diagnosed glioblastoma.
J. Neurooncol., 2018. 138(3): 627-636

18. Watanabe, Y., Magome, T., Haga, A., Nawa, K., Nakano, M., Nomura, Y., Hanaoka, S., Nakagawa, K.
Field-of-view expansion of megavoltage CT based on iterative reconstruction algorithm using prior information.
医学物理 , 2018. 38(Suppl.1): 63

19. Watanabe, T., Muro, K., Ajioka, Y., Hashiguchi, Y., Ito, Y., Saito, Y., Hamaguchi, T., Ishida, H., Ishiguro, M., Ishihara, S., Kanemitsu, Y., Kawano, H., Kinugasa, Y., Kokudo, N., Murofushi, K., Nakajima, T., Oka, S., Sakai, Y., Tsuji, A., Uehara, K., Ueno, H., Yamazaki, K., Yoshida, M., Yoshino, T., Boku, N., Fujimori, T., Itabashi, M., Koinuma, N., Morita, T., Nishimura, G., Sakata, Y., Shimada, Y., Takahashi, K., Tanaka, S.,

Tsuruta, O., Yamaguchi, T., Yamaguchi, N., Tanaka, T., Kotake, K., Sugihara, K.
Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2016 for the treatment of colorectal cancer.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(1): 1-34

20. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Oguchi, M.
Advances in the treatment of extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.
Blood, 2018. 131(23): 2528-2540

21. Yamaguchi, M., Suzuki, R., Kim, S. J., Ko, Y. H., Oguchi, M., Asano, N., Miyazaki, K., Terui, Y., Kubota, N., Maeda, T., Kobayashi, Y., Amaki, J., Soejima, T., Saito, B., Shimoda, E., Fukuhara, N., Tsukamoto, N., Shimada, K., Choi, I., Utsumi, T., Ejima, Y., Kim, W. S., Katayama, N.
Early disease progression in patients with localized NK/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy.
Cancer Sci., 2018. 109(6): 2056-2062

22. Yamaguchi, M., Oguchi, M., Suzuki, R.
Extranodal NK/T-cell lymphoma: Updates in biology and management strategies.
Best. Pract. Res. Clin. Haematol., 2018. 31(3): 315-321

23. Yoshida, K., Otani, Y., Nose, T., Yoden, E., Asahi, S., Tsukiyama, I., Dokiya, T., Saeki, T., Fukuda, I., Sekine, H., Kumazaki, Y., Takahashi, T., Kotsuma, T., Masuda, N., Nakashima, K., Matsumura, T., Nakagawa, S., Tachiiri, S., Moriguchi, Y., Itami, J., Oguchi, M.
Case report of a dose-volume histogram analysis of rib fracture after accelerated partial breast irradiation: interim analysis of a Japanese prospective multi-institutional feasibility study.
J. Contemp. Brachytherapy, 2018. 10(3): 274-278

24. Yoshimizu, S., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Asari, T., Chin, K., Fujisaki, J.
Long-term outcomes of combined endoscopic resection and chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma with submucosal invasion.
Dig. Liver Dis., 2018. 50(8): 833-838

25. Yoshimizu, S., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Horiuchi, Y., Omae, M., Hirasawa, T., Asari, T., Chin, K., Fujisaki, J.
Long-term outcomes of combined endoscopic resection and chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma with submucosal invasion. Author' s reply.
Dig. Liver Dis., 2018. 50(11): 1255-1256

26. Yoshioka, Y., Sumi, M., Oguchi, M.
High-dose-rate brachytherapy as monotherapy for prostate cancer.
Brachytherapy: Techniques and Evidences (Yoshioka, Y., Itami, J., Oguchi, M., Nakano, T.eds.), Singapore, Springer Nature Singapore: pp.181-197, 2018

27. Yoshioka, Y., Itami, J., Oguchi, M., Nakano, T.
Preface.
Brachytherapy: Techniques and Evidence (Yoshioka, Y., Itami, J., Oguchi, M., Nakano, T.eds.), Singapore, Springer Nature Singapore: pp.vii, 2018

28. 利安隆史 , 浅利崇生
第 2 章　放射線治療の実際 : 4. 中咽頭がん / 5. 下咽頭がん / 6. 甲状腺がん / 7. 副鼻腔がん .
やさしくわかる放射線治療学（日本放射線腫瘍学会監修）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.33-43, 2018

29. 吉岡靖生
前立腺がんに対する HDR-BT.
マイクロセレクトロン HDR を使用した高線量率密封小線源治療ガイダンス 2017（マイクロセレクトロン HDR 研究会ガイダンス作成ワーキンググループ編）, 東京 , マイクロセレクトロン HDR 研究会 : pp.103-111, 2018

30. 吉岡靖生
頭頸部（組織内）.
マイクロセレクトロン HDR を使用した高線量率密封小線源治療ガイダンス 2017（マイクロセレクトロン HDR 研究会ガイダンス作成ワーキンググループ編）, 東京 , マイクロセレクトロン HDR 研究会 : pp.112-120, 2018

31. 小口正彦 , 吉岡靖生
varian RT REPORT　ここまでできるがん放射線治療シリーズ（No.7）　TrueBeam 3 台の使用経験 .
INNERVISION, 2018. 33(8): 72-73

32. 市村佳子 , 深田一平 , 柴山朋子 , 宮本快介 , 小林心 , 熊井康子 , 小口正彦 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
腰椎緩和照射後に放射線食道炎を発症した乳癌の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(2): 155-160

33. 平田秀紀 , 角美奈子 , 後藤志保 , 久米惠江編著
すぐに役立つがん放射線治療看護入門 .
東京 , 金原出版 : 118p., 2018

34. 田口千藏
診断と治療の ABC [133] 悪性リンパ腫 :（第 4 章）管理・治療　放射線療法 .
最新医学 , 2018. 別冊（悪性リンパ腫）: 169-176

35. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する 3 次元体照射法によるシスプラチン併用同時化学放射線療法についての検討 .
頭頸部癌 , 2018. 44(1): 32-38

36. 角美奈子
V 看護・麻酔・滅菌 : V-3 洗浄・滅菌 .
マイクロセレクトロン HDR を使用した高線量率密封小線源治療ガイダンス 2017（マイクロセレクトロン HDR 研究会ガイダンス作成ワーキンググループ編), 東京 , マイクロセレクトロン HDR 研究会 : pp.291-294, 2018

37. 角美奈子
患者に説明できる！がん治療における妊孕性温存の十咲 : 放射線治療の影響 .
月刊ナーシング , 2018. 38(8): 90-91

38. 角美奈子
第 3 章　放射線治療の考え方 : 1 放射線治療での有害事象 .
やさしくわかる放射線治療学（日本放射線腫瘍学会監修）, 東京 , 学研メディカル秀潤社 : pp.124-128, 2018

39. 貴志美紀 , 深田一平 , 柴山朋子 , 小林心 , 高橋俊二 , 小口正彦 , 荻谷朗子 , 岩瀬拓士 , 大野真司 , 伊藤良則
髄注化学療法にて長期制御が得られた乳癌髄膜播種の 1 例 .
乳癌の臨床 , 2018. 33(1): 69-74

放射線治療部治療チーム

1. Jinno, S., Tachibana, H., Moriya, S., Mizuno, N., Takahashi, R., Kamima, T., Ishibashi, S., Sato, M.
A multi-institutional study of independent calculation verification in inhomogeneous media using a simple and effective method of heterogeneity correction integrated with the Clarkson method.
J. Radiat. Res., 2018. 59(4): 490-500

2. Kamima, T., Baba, H., Takahashi, R., Yamashita, M., Sugawara, Y., Kawai, D., Yamamoto, T., Satou, A., Tachibana, H.
Multi-institutional comparison of computer-based independent dose calculation for intensity modulated radiation therapy and volumetric modulated arc therapy.
Phys. Med., 2018. 45: 72-81

3. Murakami, Y., Nakano, M., Yoshida, M., Hirashima, H., Nakamura, F., Fukunaga, J., Hirose, T. A., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Hirata, H.
Possibility of chest wall dose reduction using volumetric-modulated arc therapy (VMAT) in radiation-induced rib fracture cases: comparison with stereotactic body

radiation therapy (SBRT).
J. Radiat. Res., 2018. 59(3): 327-332

4. Murakami, Y., Matsubayashi, F., Magome, T., Takahashi, R., Arima, M., Kamima, T., Nakano, M., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Potential of jaw tracking technique in flattening filter-free beam for lung stereotactic body radiation therapy.
Med. Phys., 2018. 45(6): 2787

5. Takahashi, R., Kamima, T., Itano, M., Yamazaki, T., Ishibashi, S., Higuchi, Y., Shimizu, H., Yamamoto, T., Yamashita, M., Baba, H., Sugawara, Y., Sato, A., Nishiyama, S., Kawai, D., Miyaoka, S., Tachibana, H.
A multi-institutional study of secondary check of treatment planning using Clarkson-based dose calculation for three-dimensional radiotherapy.
Phys. Med., 2018. 49: 19-27

6. Takei, H., Isobe, T., Kitamura, N., Mori, Y., Tomita, T., Kobayashi, D., Kamizawa, S., Sato, T., Sakurai, H., Sakae, T.
General ion recombination effect in a liquid ionization chamber in high-dose-rate pulsed photon and electron beams.
J. Radiat. Res., 2018. 59(3): 282-285

7. Ueda, Y., Fukunaga, J. I., Kamima, T., Adachi, Y., Nakamatsu, K., Monzen, H.
Evaluation of multiple institutions' models for knowledge-based planning of volumetric modulated arc therapy (VMAT) for prostate cancer.
Radiat. Oncol., 2018. 13(1): 46

8. 伊藤康
コメディカルで輝く放射線治療：養おう、患者を見定める観察眼 .
Rad Fan, 2018. 16(12): 48-51

画像診断部

1. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

2. Ito, K., Tanaka, Y. O., Watanabe, R., Tanaka, H., Takazawa, Y., Matsueda, K.
Variable distribution of pseudolobules in ovarian sclerosing stromal tumors: Utility of diffusion-weighted imaging for differential diagnosis.
Magn. Reson. Med. Sci., 2018. 17(2): 107-108

3. Komatsu, D., Yamada, A., Suzuki, T., Kurozumi, M., Fujinaga, Y., Ueda, K., Kadoya, M.
Compartment model analysis of intravenous contrast-enhanced dynamic computed tomography in hepatic hemodynamics: A validation study using intra-arterial contrast-enhanced computed tomography.
Hepatol. Res., 2018. 48(10): 829-838

4. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Sato, Y.
Metastasizing pleomorphic adenoma in the multiple organs: A case report on FDG-PET/CT imaging.
Medicine (Baltimore), 2018. 97(23): e11077

5. Oba, A., Mise, Y., Ito, H., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Ishizawa, T., Arita, J., Matsueda, K., Takahashi, Y., Saiura, A.
Clinical implications of disappearing colorectal liver metastases have changed in the era of hepatocyte-specific MRI and contrast-enhanced intraoperative ultrasonography.
HPB (Oxford), 2018. 20(8): 708-714

6. Saida, T., Nakao, S., Tanaka, Y. O., Yano, Y., Satoh, T., Minami, M.

Urachal mucinous adenocarcinoma in the pelvic wall mimicking endometriosis.
Radiol. Case Rep., 2018. 13(5): 955-959

7. Saiki, M., Kitazono, S., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Oikado, K., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Characterization of computed tomography imaging of rearranged during transfection-rearranged lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(5): 435-440

8. Shimbashi, W., Sugitani, I., Kawabata, K., Mitani, H., Toda, K., Yamada, K., Sato, Y.
Thick tumor capsule is a valuable risk factor for distant metastasis in follicular thyroid carcinoma.
Auris Nasus Larynx, 2018. 45(1): 147-155

9. Suzuki, T., Yamada, A., Komatsu, D., Kurozumi, M., Fujinaga, Y., Ueda, K., Miyagawa, S., Kadoya, M.
Evaluation of splenic perfusion and spleen size using dynamic computed tomography: Usefulness in assessing degree of liver fibrosis.
Hepatol. Res., 2018. 48(1): 87-93

10. Terayama, Y., Uchiyama, S., Ueda, K., Iwakura, N., Ikegami, S., Kato, Y., Kato, H.
Optimal measurement level and ulnar nerve cross-sectional area cutoff threshold for identifying ulnar neuropathy at the elbow by MRI and ultrasonography.
J. Hand. Surg. Am., 2018. 43(6): 529-536

11. Yamada, A., Fujinaga, Y., Suzuki, T., Komatsu, D., Kitoh, Y., Iwadate, Y., Nozaki, A., Ueda, K., Kadoya, M.
Quantitative estimation of progression of chronic liver disease using gadoxetate disodium-enhanced magnetic resonance imaging.
Hepatol. Res., 2018. 48(9): 735-745

12. Yamamoto, T., Kimura, H., Hayashi, K., Imamura, Y., Mori, M.
Pseudo-continuous arterial spin labeling MR images in Warthin tumors and pleomorphic adenomas of the parotid gland: qualitative and quantitative analyses and their correlation with histopathologic and DWI and dynamic contrast enhanced MRI findings.
Neuroradiology, 2018. 60(8): 803-812

13. 上田和彦
肝の画像診断 update: 肝細胞癌の画像診断鑑別疾患と LI-RADS.
画像診断 , 2018. 38(10): 1013-1024

14. 五味直哉
Land-Mark papers in Oncology：エポックメイカーとなった論文：「dynamic MRI」.
Cancer Board of the Breast, 2018. 4(1): 57

15. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 中島絵里
Li-Fraumeni 症候群の 1 例 .
Cancer Board of the Breast, 2018. 4(2): 69-80

16. 五味直哉 , 伊藤良則 , 笹野公伸 , 吉田和世
乳房血管肉腫の一例 .
Cancer Board of the Breast, 2018. 4(1): 5-14

17. 伊藤浩一 , 平塚真生子 , 藤原良将 , 上田和彦 , 松枝清
実地医家のための画像診断実践ガイド：腹部　膵臓　膵炎（急性膵炎・慢性膵炎）.
Medical Practice, 2018. 35（臨増）: 182-186

18. 戸島史仁
所見から進める膵腫瘤の鑑別：多血性充実性腫瘤 .
臨床画像 , 2018. 34(6): 656-664

19. 杉浦善弥 , 神田浩明 , 植野映子 , 野村起美恵 , 谷澤泰介 , 阿江啓介 , 松本誠一 , 高澤豊 , 町並陸生 , 石川雄一
骨肉腫に脱分化した軟骨肉腫の 1 例 .
診断病理 , 2018. 35(2): 124-131

20. 渡邉亮輔 , 田中優美子 , 松枝清
臨床スキルアップのために：画像診断・病理診断・麻酔主義のポイント：画像診断：子宮体がんの進行期診断 .
産科と婦人科 , 2018. 85(2): 163-168

21. 田中優美子
婦人科がん（第 2 版）- 最新の研究動向 -: 卵巣がん　卵巣癌の診断　画像診断 .
日本臨床 , 2018. 76（増刊 2 婦人科がん）: 571-576

22. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する 3 次元体照射法によるシスプラチン併用同時化学放射線療法についての検討 .
頭頸部癌 , 2018. 44(1): 32-38

23. 菊池真理
ここまで“見える”最新超音波診断装置 [Part 2]: 今“超音波”に求められるものとは　乳房自動超音波検査がもたらす診断精度向上と効率化の現況 .
新医療 , 2018. 45(9): 133-136

24. 菊池真理
マンモグラフィの検診の淡い集簇石灰化病変にマンモグラフィガイド下生検は必須か？ .
乳癌診療ガイドライン ; 2 疫学・診断編 2018 年版 (日本乳癌学会編), 東京 , 金原出版 : pp.219-221, 2018

25. 菊池真理
乳房トモシンセシスは高濃度乳房に対する対策型乳がんマンモグラフィ検診の補助的乳がん検診モダリティとして推奨されるか？ .
乳癌診療ガイドライン ; 2 疫学・診断編 2018 年版（日本乳癌学会編）, 東京 , 金原出版 : pp.188-190, 2018

26. 菊池真理
乳房自動超音波検査がもたらす診断精度向上と効率化の現況 .
月刊新医療 , 2018. 45(9): 133-136

27. 菊池真理
乳癌ハイリスクグループでの読影法　乳癌ハイリスクグループに対する乳房トモシンセシスの適切な利用方法 .
臨床画像 , 2018. 34(12): 1485-1493

28. 菊池真理
乳癌検診における乳房トモシンセシスの有用性と限界：特集 3 今読むべき、注目の海外論文 .
Rad Fan, 2018. 16(7): 79-82

29. 蒔田益次郎 , 赤須東樹 , 軸薗智雄 , 市川太郎 , 五味直哉 , 菊池真理 , 許田典男 , 北山康彦
造影超音波による乳癌の広がり診断 .
日本臨床外科学会雑誌 , 2018. 79(3): 459-466

30. 負門克典
Precision Medicine 時代の肺癌の画像診断：薬剤性肺障害の画像診断　免疫チェックポイント阻害薬を中心に .
画像診断 , 2018. 38(13): 1267-1274

核医学部

1. Honma, Y., Terauchi, T., Tateishi, U., Kano, D., Nagashima, K., Shoji, H., Iwasa, S., Takashima, A., Kato, K., Hamaguchi, T., Boku, N., Shimada, Y., Yamada, Y.
Imaging peritoneal metastasis of gastric cancer with 18F-fluorothymidine positron emission tomography/computed tomography: a proof-of-concept study.
Br. J. Radiol., 2018. 91(1089): 20180259

2. Koizumi, M., Koyama, M., Morizono, H., Miyagi, Y.
Sequential sentinel node scintigraphy with planar and SPECT/CT images revealed contralateral drainage from ipsilateral breast tumor relapse in a patient with bilateral breast cancer.
Clin. Nucl. Med., 2018. 43(7): 535-536

3. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Sato, Y.
Metastasizing pleomorphic adenoma in the

multiple organs: A case report on FDG-PET/CT imaging.
Medicine (Baltimore), 2018. 97(23): e11077

4. Miwa, K., Wagatsuma, K., Iimori, T., Sawada, K., Kamiya, T., Sakurai, M., Miyaji, N., Murata, T., Sato, E.
Multicenter study of quantitative PET system harmonization using NIST-traceable 68Ge/68Ga cross-calibration kit.
Phys. Med., 2018. 52: 98-103

5. Sugihara, T., Koizumi, M., Hayakawa, K., Ito, Y., Sata, N.
Impending atypical femoral fracture in a patient of breast cancer with bone metastases receiving long-term denosumab.
Clin. Nucl. Med., 2018. 43(5): 365-366

7. Sugyo, A., Tsuji, A. B., Sudo, H., Koizumi, M., Ukai, Y., Kurosawa, G., Kurosawa, Y., Saga, T., Higashi, T.
Efficacy evaluation of combination treatment using gemcitabine and radioimmunotherapy with (90)Y labeled fully human anti-CD147 monoclonal antibody 059-053 in a BxPC-3 xenograft mouse model of refractory pancreatic cancer.
Int. J. Mol. Sci., 2018. 19(10): pii: E2979

8. Tsutsui, Y., Daisaki, H., Akamatsu, G., Umeda, T., Ogawa, M., Kajiwara, H., Kawase, S., Sakurai, M., Nishida, H., Magota, K., Mori, K., Sasaki, M.
Multicentre analysis of PET SUV using vendor-neutral software: the Japanese Harmonization Technology (J-Hart) study.
EJNMMI Res., 2018. 8(1): 83

9. Umeda, T., Koizumi, M., Fukai, S., Miyaji, N., Motegi, K., Nakazawa, S., Takiguchi, T.
Evaluation of bone metastatic burden by bone SPECT/CT in metastatic prostate cancer patients: defining threshold value for total bone uptake and assessment in radium-223 treated patients.
Ann. Nucl. Med., 2018. 32(2): 105-113

10. Watanabe, T., Tobinai, K., Wakabayashi, M., Morishima, Y., Kobayashi, H., Kinoshita, T., Suzuki, T., Yamaguchi, M., Ando, K., Ogura, M., Taniwaki, M., Uike, N., Yoshino, T., Nawano, S., Terauchi, T., Hotta, T., Nagai, H., Tsukasaki, K.
Outcomes after R-CHOP in patients with newly diagnosed advanced follicular lymphoma: a 10-year follow-up analysis of the JCOG0203 trial.
Lancet Haematol., 2018. 5(11): e520-e531

11. 宮司典明 , 茂木一樹 , 深井翔平 , 島田直毅 , 三輪建太 , 中澤脩人 , 梅田拓朗 , 滝口智洋 , 寺内隆司 , 小泉満
新たなディスポーザブルキットを用いた PET 用自動投与装置の投与精度．.
日本放射線技術学会雑誌 , 2018. 74(6): 539-545

12. 小山眞道 , 寺内隆司
診断と治療の ABC [133] 悪性リンパ腫：（第 3 章）診断　画像診断 .
最新医学 , 2018. 別冊（悪性リンパ腫）：71-81

13. 有坂有紀子 , 寺内隆司
血液疾患を見逃さないために：プライマリ・ケアと専門医コンサルトのタイミング：さまざまな症候・画像所見の診かた・考え方と紹介のタイミング血液内科領域における FDG-PET での異常所見 .
Medicina, 2018. 55(8): 1222-1224

臨床検査センター

1. Hino, R., Motoi, N., Toda, K., Ebina, A., Yamada, K., Higuchi, M., Hirokawa, M., Ishikawa, Y.
Stromal tiny black dots, like “sugar-coated”, of von Kossa stain is a diagnostic clue to hyalinizing trabecular tumor of the thyroid gland.
Pathol. Int., 2018. 68(3): 176-182

2. 友田美穂子，高橋ひろみ，上東野誉司美，都築京子，海原和己，小松京子，三宅一徳，中山耕之介
汎用スウィング型遠心機を用いた髄液集細胞塗抹標本作製の検討．
医学検査，2018. 67(2): 773-777

3. 國分優美，五味直哉
MRI 用語解説・読影解説．
一冊でわかる乳腺疾患：画像と病理で理解を深める（何森亜由美，森谷卓也編），東京，文光堂：pp.61-71, 2018

4. 國分優美，五味直哉，菊池真理，堀井理絵
乳房画像診断 :MRI と PET: T2 強調像．
臨床画像，2018. 34(9): 1020-1030

病理部

1. Kasajima, A., Ishikawa, Y., Iwata, A., Steiger, K., Oka, N., Ishida, H., Sakurada, A., Suzuki, H., Kameya, T., Konukiewitz, B., Kloppel, G., Okada, Y., Sasano, H., Weichert, W.
Inflammation and PD-L1 expression in pulmonary neuroendocrine tumors.
Endocr. Relat. Cancer, 2018. 25(3): 339-350

2. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 16-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of right upper arm.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 116-125

3. Shibata, H., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Kanno, S., Yokoyama, H., Tada, H., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, N.
A 25-year-old male, myxoid liposarcoma of left tibia.
Modern Sugical Challenges for Musculoskeletal Sarcoma, 2018. 20: 126-134

4. Nakashima, H., Kawahira, H., Kawachi, H., Sakaki, N.
Artificial intelligence diagnosis of Helicobacter pylori infection using blue laser imaging-bright and linked color imaging: a single-center prospective study.
Ann. Gastroenterol., 2018. 31(4): 462-468

5. Nagasaki, A., Ogawa, I., Sato, Y., Takeuchi, K., Kitagawa, M., Ando, T., Sakamoto, S., Shrestha, M., Uchisako, K., Koizumi, K., Toratani, S., Konishi, M., Takata, T.
Central mucoepidermoid carcinoma arising from glandular odontogenic cyst confirmed by analysis of MAML2 rearrangement: A case report.
Pathol. Int., 2018. 68(1): 31-35

6. Saiki, M., Kitazono, S., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., Ariyasu, R., Koyama, J., Sonoda, T., Uchibori, K., Nishikawa, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Oikado, K., Ninomiya, H., Takeuchi, K., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Characterization of computed tomography imaging of rearranged during transfection-rearranged lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(5): 435-440

7. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M. S., Elishaev, E., Yunokawa, M., Sheridan, T. B., Bush, S. H., Klobocista, M. M., Blake, E. A., Takano, T., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Johnson, M. S., Yoshida, M., Hakam, A., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Miyake, T. M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Pejovic, T., Nagano, T., Sasaki, T., Richmond, A. M., Post, M. D., Shahzad, M. M. K., Im, D. D., Yoshida, H., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Karabakhtsian, R. G., Roman, L. D.
Characterizing sarcoma dominance pattern in uterine carcinosarcoma: Homologous

versus heterologous element.
Surg. Oncol., 2018. 27(3): 433-440

8. Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Sano, T., Chin, K., Kawachi, H., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Matsushima, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Hiki, N., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K.
Clinical impact of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy in patients with HER2-positive gastric cancer.
J. Gastroenterol., 2018. 53(11): 1186-1195

9. Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Takahari, D., Ogura, M., Ichimura, T., Nakayama, I., Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Yamaguchi, K., Namikawa, K., Horiuchi, Y.
Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer.
Gastric Cancer, 2018: in press

10. Inamura, K., Shigematsu, Y., Ninomiya, H., Nakashima, Y., Kobayashi, M., Saito, H., Takahashi, K., Futaya, E., Okumura, S., Ishikawa, Y., Kanda, H.
CSF1R-expressing tumor-associated macrophages, smoking and survival in lung adenocarcinoma: Analyses using quantitative phosphor-integrated dot staining.
Cancers (Basel), 2018. 10(8): E252

11. Yamazaki, K., Horii, R., Iwase, T., Ueno, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Ductal carcinoma in situ manageable by active surveillance.
Ann. Breast Cancer Res., 2018. 3(1): 1-4

12. Chino, A., Konishi, T., Ogura, A., Kawachi, H., Osumi, H., Yoshio, T., Kishihara, T., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fujisaki, J.
Endoscopic criteria to evaluate tumor response of rectal cancer to neoadjuvant chemoradiotherapy using magnifying chromoendoscopy.
Eur. J. Surg. Oncol., 2018. 44(8): 1247-1253

13. Tsuyama, N., Asaka, R., Dobashi, A., Baba, S., Mishima, Y., Ueda, K., Oguchi, M., Tsuji, H., Hatake, K., Takeuchi, K.
Epstein-Barr virus-negative extranodal “true” natural killer-cell lymphoma harbouring a KDM6A mutation.
Hematol. Oncol., 2018. 36(1): 328-335

14. Johmura, Y., Maeda, I., Suzuki, N., Wu, W., Goda, A., Morita, M., Yamaguchi, K., Yamamoto, M., Nagasawa, S., Kojima, Y., Tsugawa, K., Inoue, N., Miyoshi, Y., Osako, T., Akiyama, F., Maruyama, R., Inoue, J., Furukawa, Y., Ohta, T., Nakanishi, M.
Fbxo22-mediated KDM4B degradation determines selective estrogen receptor modulator activity in breast cancer.
J. Clin. Invest., 2018. 128(12): 5603-5619

15. Okumura, Y., Takamatsu, M., Ohashi, M., Yamamoto, Y., Yamamoto, N., Kawachi, H., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Hiki, N., Sano, T.
Gastric adenocarcinoma of fundic gland type with aggressive transformation and lymph node metastasis: a case report.
J. Gastric. Cancer, 2018. 18(4): 409-416

16. Kitagawa, Y., Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Giant duodenal Brunner’ s gland hamartoma successfully treated via endoscopic mucosal resection.
Arab J. Gastroenterol., 2018. 19(3): 125-129

17. Shigematsu, Y., Inamura, K.
Gut microbiome: a key player in cancer immunotherapy.
Hepatobiliary Surg. Nutr., 2018. 7(6): 479-480

18. Urano, M., Hirai, H., Tada, Y., Kawakita, D., Shimura, T., Tsukahara, K., Kano, S., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Fushimi, C., Shimizu, A., Takase, S., Okada, T., Sato, H., Imanishi, Y., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Sato, Y., Saigusa, N., Nakaguro, M., Hanazawa, T., Nagao, T.
The high expression of FOXA1 is correlated with a favourable prognosis in salivary duct carcinomas: a study of 142 cases.
Histopathology, 2018. 73(6): 943-952

19. Takamatsu, M., Sato, Y., Muto, M., Nagano, H., Ninomiya, H., Sakakibara, R., Baba, S., Sakata, S., Takeuchi, K., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Hyalinizing clear cell carcinoma of the bronchial glands: presentation of three cases and pathological comparisons with salivary gland counterparts and bronchial mucoepidermoid carcinomas.
Mod. Pathol., 2018. 31(8): 923-933

20. Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., Kobayashi, M., Toyama, Y., Maekawa, T., Chino, A., Saito, S., Ueno, M., Takazawa, Y., Ishikawa, Y.
Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method.
Mod. Pathol., 2018: in press

21. Shimazu, K., Sato, N., Ogiya, A., Sota, Y., Yotsumoto, D., Ishikawa, T., Nakamura, S., Kinoshita, T., Tsuda, H., Ohi, Y., Akiyama, F., Noguchi, S.
Intraoperative nomograms, based on one-step nucleic acid amplification, for prediction of non-sentinel node metastasis and four or more axillary node metastases in breast cancer patients with sentinel node metastasis.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(9): 2603-2611

22. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Sato, Y.
Metastasizing pleomorphic adenoma in the multiple organs: A case report on FDG-PET/CT imaging.
Medicine (Baltimore), 2018. 97(23): e11077

23. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Mixed poorly differentiated adenocarcinoma in undifferentiated-type early gastric cancer predicts endoscopic noncurative resection.
Gastric Cancer, 2018. 21(4): 689-695

24. Wang, R. C., Sakata, S., Chen, B. J., Chang, S. T., Hsieh, P. P., Yang, C. S., Baba, S., Takeuchi, K., Chuang, S. S.
Mycosis fungoides in Taiwan shows a relatively high frequency of large cell transformation and CD56 expression.
Pathology, 2018. 50(7): 718-724

25. Sugiura, Y., Kanda, H., Motoi, N., Nomura, K., Inamura, K., Okada, E., Matsumoto, H., Shimoji, T., Matsumoto, S., Nakayama, J., Takazawa, Y., Ishikawa, Y., Machinami, R.
Osteosarcoma arising in fibrous dysplasia, confirmed by mutational analysis of GNAS gene.
Pathol. Res. Pract., 2018. 214(2): 318-324

26. Marshall, S., Nakano, K., Sugiura, Y., Taira, S., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Outcome for advanced or metastatic soft tissue sarcoma of non-extremities treated with doxorubicin-based chemotherapy: a retrospective study from a single cancer in-

stitution.
Sarcoma, 2018. 2018: 8926598

27. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Gomi, N., Kokubu, Y., Oikado, K., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Sata, N., Ito, Y.
Pattern of tumor shrinkage during neoadjuvant chemotherapy is associated with prognosis in low-grade luminal early breast cancer.
Radiology, 2018. 286(1): 49-57

28. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Cremolini, C., Lonardi, S., Bergamo, F., Ning, Y., Yamamoto, N., Okazaki, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Gopez, R., Barzi, A., Yamaguchi, T., Stinzing, S., Heinemann, V., Loupakis, F., Falcone, A., Lenz, H. J.
Potential role of PIN1 genotypes in predicting benefit from oxaliplatin-based and irinotecan-based treatment in patients with metastatic colorectal cancer.
Pharmacogenomics J., 2018. 18(5): 623-632

29. Noma, D., Inamura, K., Matsuura, Y., Hirata, Y., Nakajima, T., Yamazaki, H., Hirai, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Mun, M., Nakagawa, K., Masuda, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic effect of lymphovascular invasion on TNM staging in stage I non-small-cell lung cancer.
Clin. Lung Cancer, 2018. 19(1): e109-e122

30. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M. S., Elishaev, E., Yunokawa, M., Sheridan, T. B., Bush, S. H., Klobocista, M. M., Blake, E. A., Takano, T., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Yanai, S., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Johnson, M. S., Yoshida, M., Hakam, A., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Miyake, T. M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Pejovic, T., Nagano, T., Sasaki, T., Richmond, A. M., Post, M. D., Shahzad, M. M. K., Im, D. D., Yoshida, H., Enomoto, T., Omatsu, K., Ueland, F. R., Kelley, J. L., Karabakhtsian, R. G., Roman, L. D.
Proposal for a risk-based categorization of uterine carcinosarcoma.
Ann. Surg. Oncol., 2018. 25(12): 3676-84

31. Yoshimoto, T., Motoi, N., Yamamoto, N., Nagano, H., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Yamaguchi, T., Fukayama, M., Ishikawa, Y.
Pulmonary carcinoids and low-grade gastrointestinal neuroendocrine tumors show common microRNA expression profiles, different from adenocarcinomas and small cell carcinomas.
Neuroendocrinology, 2018. 106(1): 47-57

32. Ota, H., Tamura, H., Itabashi, R., Yazawa, Y., Nakamura, Y., Hisamatsu, K., Takamatsu, M., Endo, H., Niizuma, K., Enomoto, Y., Nagasaka, T., Kajita, K., Watanabe, M., Yoshimura, S., Yuan, C.
Quantitative characterization of carotid plaque components using MR apparent diffusion coefficients and longitudinal relaxation rates at 3T: A comparison with histology.
J. Magn. Reson. Imaging, 2018. 48(6): 1657-1667

33. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Okumura, S., Takazawa, Y.
Successful complete response of tumor thrombus after combined with chemotherapy and irradiation for Ewing sarcoma.
Case Rep. Orthop., 2018. 2018: 5238512

34. Shimbashi, W., Sugitani, I., Kawabata, K., Mitani, H., Toda, K., Yamada, K., Sato, Y.

Thick tumor capsule is a valuable risk factor for distant metastasis in follicular thyroid carcinoma.
Auris Nasus Larynx, 2018. 45(1): 147-155

35. Inamura, K., Takazawa, Y., Inoue, Y., Yokouchi, Y., Kobayashi, M., Saiura, A., Shibutani, T., Ishikawa, Y.
Tumor B7-H3 (CD276) expression and survival in pancreatic cancer.
J. Clin. Med., 2018. 7(7): 172

36. Inoue, H., Horii, R., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Akiyama, F.
Tumor-infiltrating lymphocytes affect the efficacy of trastuzumab-based treatment in human epidermal growth factor receptor 2-positive breast cancer.
Breast Cancer, 2018. 25(3): 268-274

37. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Undifferentiated-type component mixed with differentiated-type early gastric cancer is a significant risk factor for endoscopic non-curative resection.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 624-632

38. Subat, S., Inamura, K., Ninomiya, H., Nagano, H., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Unique MicroRNA and mRNA Interactions in EGFR-Mutated Lung Adenocarcinoma.
J. Clin. Med., 2018. 7(11): 419

39. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室　この症例にチャレンジしてください : III. これは過形成性ポリープ ?
臨床消化器内科 , 2018. 33(4): 457-461

40. 平澤俊明 , 藤崎順子 , 河内洋
Dr. 平澤の上部消化管内視鏡教室 : この症例にチャレンジして下さい II. 黄色調の胃腫瘍 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(2): 233-236

41. 荻谷朗子 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 1. マンモグラフィで腫瘤をみるケース 2）境界明瞭なもの（一部境界明瞭なものも含む）②葉状腫瘍 , ③過誤腫 , 脂肪腫 , ④乳管内乳頭腫 , ⑤非浸潤性乳管癌 .
一冊でわかる乳腺疾患 : 画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.90-99, 2018

42. 米倉利香 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 1. マンモグラフィで腫瘤をみるケース 2）境界明瞭なもの（一部境界明瞭なものも含む）⑦粘液癌 , ⑧神経内分泌癌 , ⑨乳管過形成 , 腺症 .
一冊でわかる乳腺疾患 : 画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.100-105, 2018

43. 米倉利香 , 堀井理恵
V 章　実際の診断思考過程に沿った読み方 3. マンモグラフィで FAD をみるケース 4）　超音波画像 : 乳管拡張①非浸潤性乳管癌 , ②乳管内乳頭腫 , ③乳管拡張症 .
一冊でわかる乳腺疾患 : 画像と病理で理解を深める（何森亜由美 , 森谷卓也編）, 東京 , 文光堂 : pp.199-203, 2018

44. 芹澤慈子 , 利安隆史 , 熊井康子 , 仲野兼司 , 瀬戸陽 , 新橋渉 , 佐々木徹 , 福島啓文 , 米川博之 , 佐藤由紀子 , 田中宏子 , 高橋俊二 , 三谷浩樹 , 小口正彦
下咽頭癌に対する 3 次元体照射法によるシスプラチン併用同時化学放射線療法についての検討 .
頭頸部癌 , 2018. 44(1): 32-38

45. 堀井理絵 , 日本乳癌学会乳癌診療ガイドライン委員会病理診断小委員会
「乳癌診療ガイドライン 2018 年版」改訂のポイント : 乳癌診療ガイドライン 2018 年版　病理診断改訂のポイント .
乳癌の臨床 , 2018. 33(5): 389-395

46. 堀井理絵
乳腺 I- 改訂乳癌取扱い規約分類の考え方：浸潤性乳管癌 .
病理と臨床 , 2018. 36(9): 870-874

47. 堀井理絵
乳腺 II- 乳癌治療個別化のための病理診断：乳癌におけるホルモン受容体診断と HER2 診断 .
病理と臨床 , 2018. 36(10): 968-976

48. 河内洋 , 小林真季
変わりゆく早期胃癌のスペクトラム -H.pylori 未感染・現感染・除菌後は違う !: 病理からみた早期胃癌のスペクトラムとは .
消化器内視鏡 , 2018. 30(1): 21-30

49. 久毅 , 西村宙起 , 的田眞紀 , 金尾祐之 , 小松京子 , 杉山裕子 , 河内洋 , 竹島信宏
外陰に発生した骨髄性肉腫（myeloid sarcoma）の 1 例 .
日本臨床細胞学会雑誌 , 2018. 57(6): 294-299

50. 河内洋
消化管粘膜下腫瘍（SMT）の診療：消化管粘膜下腫瘍の病理診断 .
臨床消化器内科 , 2018. 33(12): 1461-1468

51. 山崎明 , 斎藤彰一 , 高松学 , 河内洋 , 西川雄祐 , 堀江義政 , 安江千尋 , 山本安則 , 井出大資 , 千野晶子 , 五十嵐正広
知っておきたい直腸肛門部病変：腫瘍性疾患悪性黒色腫　内視鏡的に黒色調を呈さない amelanotic 病変 .
胃と腸 , 2018. 53(7): 1000-1003

52. 河内洋
知っておこう ! 遺伝性消化器疾患：遺伝性消化器疾患と病理診断 .
消化器内視鏡 , 2018. 30(8): 995-1003

53. 河内洋
神経内分泌腫瘍（NET）の病理学：治療と診断の新局面 .
病理と臨床 , 2018. 36(5): 444-453

54. 堀江義政 , 藤崎順子 , 河内洋 , 乾山光子 , 赤澤直樹 , 城間翔 , 中野薫 , 山崎明 , 山本安則 , 吉水祥一 , 堀内裕介 , 由雄敏之 , 平澤俊明 , 石山晃世志 , 土田知宏
胃型形質の低異型度分化型胃癌：H. pylori 陰性胃底腺粘膜に発生した胃型腺腫由来の低異型度高分化腺癌の 1 例 .
胃と腸 , 2018. 53(1): 101-107

55. 大隅寛木 , 河内洋 , 由雄敏之 , 山本智理子 , 藤崎順子
胃粘膜下層深部浸潤（SM）癌のリンパ節転移に関連する深達度と病理学的因子の検討 .
大和証券ヘルス財団研究業績集 , 2018(41): 54-57

56. 河内洋 , 小林真季
食道表在癌の診断と内視鏡治療：食道扁平上皮癌 ESD 症例の病理学的リンパ節転移リスク評価 .
消化器内視鏡 , 2018. 30(2): 232-239

遺伝子診断部

1. Osumi, H., Shinozaki, E., Mashima, T., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Ichimura, T., Ogura, M., Ota, Y., Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., Miki, Y., Yamaguchi, K.
Phase II trial of biweekly cetuximab and irenotecan as third-line therapy for pretreated KRAS exon 2 Wild-Type colorectal cancer.
CancerSci., 2018. 109(8): 2567-2575

2. Takaoka, M., Miki, Y.
BRCA1 gene: function and deficiency.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(1): 36-44

細胞診断部

1. Kanda, H., Furuta, N., Takazawa, Y., Furuta, R., Ae, K., Sugiyama, Y., Ishikawa, Y.
Cytological findings of gastrointestinal stromal tumor-derived bone metastasis.
Acta Cytol., 2018. 62(5-6): 430-435

2. Sugiyama, Y.
PART1, SECTION 7: Directly sampled en-

dometrial cytology.
Diagnostic pathology: Cytopathology 2nd ed. (Mody, D. R.), Philadelphia, Elsevier: 2018

3. 小松京子
New technology:免疫染色・コンパニオン診断・病理検体を利用した遺伝子解析・精度管理など .
日本臨床検査同学院通信第 , 2018. 43 巻（冬季号）: 252-257

4. 久毅 , 西村宙起 , 的田眞紀 , 金尾祐之 , 小松京子 , 杉山裕子 , 河内洋 , 竹島信宏
外陰に発生した骨髄性肉腫（myeloid sarcoma）の 1 例 .
日本臨床細胞学会雑誌 , 2018. 57(6): 294-299

5. 杉山裕子 , 佐々木寛 , 小松京子 , 藤山淳三 , 薮下竜司 , 上野喜三郎 , 小田瑞恵 , 矢納研二 , 植田政嗣 , 田路英作 , 板持広明 , 大石徹郎 , 奥川馨 , 加藤聖子 , 藤田博正 , 田上稔 , 田勢亨 , 飯原久仁子 , 上坊敏子 , 鈴木雅子 , 三宅真司 , 大塚重則 , 畠山重春 , 森谷卓也 , 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班
子宮頸部細胞診精度管理における自動スクリーニング支援システムの有用性について .
日本臨床細胞学会雑誌 , 2018. 57(1): 19-34

6. 石井脩平 , 古田則行 , 小松京子 , 杉浦善弥 , 元井紀子 , 高澤豊 , 杉山裕子 , 石川雄一
左肩に発生した筋上皮癌 myoepithelial carcinoma の 1 例 .
日本臨床細胞学会雑誌 , 2018. 57(2): 129-135

7. 小松京子
病理組織細胞学 .
臨床検査技師国家試験問題注解 2019 年版（臨床検査技師国家試験問題注解編集委員会編）, 東京 , 金原出版 : pp.169-215, 2018

8. 古田則行
第 1 章　希少がんと細胞診 .
希少がんと細胞診 1 ; 軟部肉腫（高澤豊編集）, 東京 , 武藤化学株式会社 : pp.4-5, 2018

9. 古田則行
第 4 章　軟部腫瘍の細胞診 .
希少がんと細胞診 1 ; 軟部肉腫（高澤豊編集）, 東京 , 武藤化学株式会社 : pp.14-15, 2018

10. 古田則行
骨軟部腫瘍の細胞診 .
基礎から学ぶ細胞診のすすめ方　第 4 版（西国広編著）, 東京 , 近代出版 : pp.243-254, 2018

栄養管理部

1. 小泉雄 , 佐々木徹 , 米川博之 , 福島啓文 , 新橋渉 , 瀬戸陽 , 神山亮介 , 白尾浩太郎 , 日高竜太 , 市川千恭 , 永井遼斗 , 福田幸太 , 森田琢磨 , 江原雄一 , 尾股丈 , 渡嘉敷邦彦 , 鳥居淳一 , 山村晃司 , 川端一嘉 , 富塚健 , 川名加織 , 豊田生子 , 高橋浩二 , 三谷浩樹
Quality of Survival を考慮した頭頸部癌支持療法頭頸部がん患者に対する嚥下リハビリテーションチームの活動　がん研有明病院でのチーム医療の取り組み .
頭頸部癌 , 2018. 44(3): 269-275

2. 中濱孝志 , 松尾宏美 , 井田智
がん患者の栄養療法と食事サポート :（第 2 章）臓器別　がんの知識・治療・栄養療法のポイント胃がん .
Nutrition Care, 2018（2019 冬季増刊）: 41-47

3. 松尾宏美
がん患者の栄養療法と食事サポート :（第 5 章）Web でダウンロードできるがん患者向け副作用対策レシピデザート　少量高エネルギーのバナナミルク●便秘●口腔粘膜炎●食欲不振 .
Nutrition Care, 2018(2019 冬季増刊): 103

4. 中濱孝志
がん患者の栄養療法と食事サポート :（第 5 章）Web でダウンロードできるがん患者向け副作用対策レシピ主食・主菜　キーマカレー●味覚変化●嗅覚変化●食欲不振 .
Nutrition Care, 2018(2019 冬季増刊): 106

5. 中濱孝志
がん患者の栄養療法と食事サポート：（第 5 章）Web でダウンロードできるがん患者向け副作用対策レシピ副菜　のりのつくだ煮●食欲不振●味覚変化●便秘 .
Nutrition Care, 2018(2019 冬季増刊): 105

6. 中濱孝志
がん治療前・治療中の食事と栄養： 化学療法化学療法中の食事　副作用対策と体重を維持するための食事 .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2018. 30: 23-26

7. 中濱孝志
がん治療前・治療中の食事と栄養： 消化管がん消化管がん術後の食事　胃がん術後・大腸がん術後の食事のポイント .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2018. 30: 14-18

8. 中濱孝志
がん治療前・治療中の食事と栄養： 頭頸部がん頭頸部がん手術後の食事　嚥下障害を改善するための食事 .
ライフライン 21 がんの先進医療 , 2018. 30: 19-22

9. 中濱孝志 , 比企直樹
チーム医療における機能性食品：がん治療を行う急性期 NST における機能性食品 .
機能性食品と薬理栄養 , 2018. 11(6): 397-402

10. 高木久美 , 井田智 , 三瀬祥弘 , 熊谷厚志 , 望月宏美 , 中濱孝志 , 峯真司 , 比企直樹
「担がん患者の栄養管理はどうすべきか」：膵頭十二指腸切除術施行患者における早期体重減少の危険因子について .
外科と代謝・栄養 , 2018. 52(5): 253-257

看護部

1. Suzuki, M.
Current trends in nursing science theory: Editorial on the Nursing Research Special Issue.
Jpn. J. Nurs. Sci., 2018. 15(4): 269-271

2. Nakamura, Y., Matsumoto, H., Yamamoto-Mitani, N., Suzuki, M., Igarashi, A.
Impact of support agreement between municipalities and convenience store chain companies on store staff' s support activities for older adults.
Health Policy, 2018. 122(12): 1377-1383

3. 後藤志保
えびでんす・あれんじ・な～しんぐ（EAN）実践力を上げる工夫第 8 回：放射線性口腔粘膜障害 .
緩和ケア , 2018. 28(1): 068-070

4. 平田秀紀 , 角美奈子 , 後藤志保 , 久米惠江編著
すぐに役立つがん放射線治療看護入門 .
東京 , 金原出版：118p., 2018

5. 水野俊美
効果･根拠ある看護ができる　どうするといい？がん終末期ケア　症状緩和ケア & 終末期・看取り期のエビデンス：（Part1）終末期の症状緩和終末期の痛みのコントロール .
Expert Nurse, 2018. 35(1): 11-17

6. 中原由美子
変わる外来看護「2025 年」に向けて看護ができること： 外来・病棟の連携強化の取り組み外来・病棟継続看護システム構築へのチャレンジ .
看護展望 , 2018. 43(4): 0374-0381

7. 後藤志保
実践！がん放射線療法の看護：放射線口腔粘膜炎の最新の知見：当院における口腔粘膜炎ケア .
がん看護 , 2018. 23(4): 466-470

8. 佐山郁子
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際： 妊孕性温存の看護実践　多職種でかかわる院内システムの構築へ向けて .
ナーシング , 2018. 38(8): 83-84

9. 横井麻珠美
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際： 妊孕性温

存の看護実践　妊孕性温存は、正確な情報を適切なタイミングで知ることが大切 .
ナーシング , 2018. 38(8): 81-82

10. 黒田直子
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際：妊孕性温存の看護実践　看護師の役割 .
ナーシング , 2018. 38(8): 85-86

11. 竹内抄與子
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際：遺伝性腫瘍と妊孕性温存 .
ナーシング , 2018. 38(8): 92-93

12. 小林一男 , 飯村洋平 , 蓑輪雄一 , 岩本寿美代 , 長崎礼子 , 黒田直子 , 横井麻珠美 , 濱敏弘
抗がん薬汚染時におけるスピルキットの使用実態調査 .
日本病院薬剤師会雑誌 , 2018. 54(4): 399-402

13. 平野和恵
緩和ケアの魔法の言葉 2　どう声をかけたらいいかわからない時の道標：肯定する私たちに任せると長生きするわよ。それでも大丈夫？
緩和ケア , 2018. 28（6 月増刊）：155-156

14. 宋菜緒子
院内コーディネーションのコツここにあり！～専門性を活かしたチームの取組み～主体性のある臨床試験のチーム作りとは .
薬理と治療 , 2018. 46(4): 461-464

15. 石井幸恵 , 長崎礼子
高齢者がんの薬物療法の実際：高齢者における副作用　白血球減少　発熱性好中球減少症のマネジメントと看護 .
Geriatric Medicine, 2018. 56(9): 883-886

薬剤部

1. Chukyo, A., Chiba, T., Kambe, T., Yamamoto, K., Kawakami, K., Taguchi, K., Abe, K.
Oxaliplatin-induced changes in expression of transient receptor potential channels in the dorsal root ganglion as a neuropathic mechanism for cold hypersensitivity.
Neuropeptides, 2018. 67: 95-101

2. Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., Suzuki, K., Shiga, T., Nishio, M., Miyoshi, J., Takahashi, H., Hama, T.
Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and in vitro CYP2C9 activity.
J. Oncol. Pharm. Pract., 2018: in press

3. Iimura, Y., Shimomura, H., Yasu, T., Imanaka, K., Ogawa, R., Ito, A., Suzuki, K., Yamaguchi, G., Kawasaki, N., Konaka, C.
NSAIDs may prevent EGFR-TKI-related skin rash in non-small cell lung cancer patients.
Int. J. Clin. Pharmacol. Ther., 2018. 56(11): 551-554

4. Nonomiya, Y., Yokokawa, T., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Takiguchi, T., Sugisaki, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Yamaguchi, K., Sugimoto, Y., Hama, T.
Regorafenib-induced hand-foot skin reaction is more severe on the feet than on the hands.
Oncol. Res., 2018: in press

5. Shimizu, H., Suzuki, K., Uchikura, T., Tsuji, D., Yamanaka, T., Hashimoto, H., Goto, K., Matsui, R., Seki, N., Shimada, T., Ikeda, S., Ikegami, N., Hama, T., Yamamoto, N., Sasaki, T.
Economic analysis of palonosetron versus granisetron in the standard triplet regimen for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving highly emetogenic chemotherapy in Japan (TRIPLE phase III trial).
J. Pharm. Health. Care Sci., 2018. 4: 31

6. Suenaga, M., Akiyoshi, T., Shinozaki, E., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Ueno, M., Yamaguchi, T.
A feasibility study of capecitabine and oxaliplatin for patients with stage II/III colon cancer -ACTOR study.
Anticancer Res., 2018. 38(3): 1741-1747

7. Yanai, T., Iwasa, S., Hashimoto, H., Ohyanagi, F., Takiguchi, T., Takeda, K., Nakao, M., Sakai, H., Nakayama, T., Minato, K., Arai, T., Suzuki, K., Shimada, Y., Nagashima, K., Terakado, H., Yamamoto, N.
A double-blind randomized phase II dose-finding study of olanzapine 10 mg or 5 mg for the prophylaxis of emesis induced by highly emetogenic cisplatin-based chemotherapy.
Int. J. Clin. Oncol., 2018. 23(2): 382-388

8. Yokoi, M., Tsuji, D., Suzuki, K., Kawasaki, Y., Nakao, M., Ayuhara, H., Kogure, Y., Shibata, K., Hayashi, T., Hirai, K., Inoue, K., Hama, T., Takeda, K., Nishio, M., Itoh, K.
Genetic risk factors for chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with cancer receiving cisplatin-based chemotherapy.
Support. Care Cancer, 2018. 26(5): 1505-1513

9. 吾妻慧一 , 山田玲子
患者に説明できる！いまはどうなっている？がん治療における妊孕性温存の実際：妊孕性温存について薬剤師の取り組み .
ナーシング , 2018. 38(8): 87-88

10. 吾妻慧一 , 川上和宜 , 湯浅健 , 杉崎崇人 , 橋本幸輝 , 青山剛 , 鈴木賢一 , 米瀬淳二 , 濱敏弘
Cabazitaxel 治療における Pegfilgrastim の予防的投与の安全性 .
癌と化学療法 , 2018. 45(12): 1737-1742

11. 小林一男 , 湯浅健
まるごと疾患別泌尿器科の薬剤選択と服薬指導：泌尿器がん・腫瘍　腎がん .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2018. 23(4): 388-394

12. 小林一男 , 飯村洋平 , 蓑輪雄一 , 岩本寿美代 , 長崎礼子 , 黒田直子 , 横井麻珠美 , 濱敏弘
抗がん薬汚染時におけるスピルキットの使用実態調査 .
日本病院薬剤師会雑誌 , 2018. 54(4): 399-402

13. 川上和宜
Evidence Update 2018　最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する：エキスパートが注目する最新エビデンスをアップデート！　前立腺癌治療薬 .
薬局 , 2018. 69(1): 153-156

14. 川上和宜
プロフェッショナル EYE　専門薬剤師からみた勘所　薬剤師による手足症候群のマネジメント！　Hand-foot syndrome と hand-foot skin reaction の違いを理解する！
薬局 , 2018. 69(10): 3059-3065

15. 川上和宜
受賞報告　第 6 回江口記念がん優秀活動賞を受賞して .
日本病院薬剤師会雑誌 , 2018. 54(10): 1205-1206

16. 川上和宜
専門薬剤師からみた勘所　プロフェッショナル EYE　がん領域における薬剤師の職能を考える .
薬局 , 2018. 69(3): 561-570

17. 川上和宜
感覚器障害の治療と研究の最前線　QOL 向上とコミュニケーションのあり方を考える：抗がん薬による末梢神経障害 .
ファルマシア , 2018. 54(11): 1055-1059

18. 川上和宜
抗がん薬による末梢神経障害の予防と治療 .
月間 PHARMSTAGE, 2018. 18(8): 26-29

19. 川上和宜 [ほか] 編集
がん薬物療法副作用管理マニュアル .
東京 , 医学書院 : 299p., 2018

20. 横川貴志
下痢 : イリノテカン .
抗がん剤治療の安全と工夫を考えるサイト : 抗がん剤 NAVI 門真市 , 東和薬品 : pp.https://navi.towa-oncology.jp/sideeffect/diarrhea/irinotecan.html, 2018

21. 横川貴志
下痢 : フッ化ピリミジン系薬剤 .
抗がん剤治療の安全と工夫を考えるサイト : 抗がん剤 NAVI 門真市 , 東和薬品 : pp.https://navi.towa-oncology.jp/sideeffect/diarrhea/fluoropyrimidine.html, 2018

22. 横川貴志
外来がん化学療法におけるプレアボイド報告
薬剤師だからこそできる、がん患者に対するトータルマネジメント実践例 .
島根県病院薬剤師会雑誌 , 2018(85): 20-31

23. 瀧口友美
がん患者指導管理料ハ　薬剤師による業務展開
外来がん治療における病院薬剤師の現状 .
薬事新報 , 2018(3066): 21-24

企画・品質管理部

11. Furuno, T., Nakagawa, M., Hino, K., Yamada, T., Kawashima, Y., Matsuoka, Y., Shirakawa, O., Ishizuka, N., Yonemoto, N., Kawanishi, C., Hirayasu, Y.
Effectiveness of assertive case management on repeat self-harm in patients admitted for suicide attempt: Findings from ACTION-J study.
J. Affect. Disord., 2018. 225: 460-465

2. Hayami, M., Watanabe, M., Ishizuka, N., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Kurogochi, T., Yamashita, K.
Prognostic impact of postoperative pulmonary complications following salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy.
J. Surg. Oncol., 2018. 117(6): 1251-1259

3. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Mixed poorly differentiated adenocarcinoma in undifferentiated-type early gastric cancer predicts endoscopic noncurative resection.
Gastric Cancer, 2018. 21(4): 689-695

4. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Undifferentiated-type component mixed with differentiated-type early gastric cancer is a significant risk factor for endoscopic non-curative resection.
Dig. Endosc., 2018. 30(5): 624-632

5. Mine, S., Watanabe, M., Kumagai, K., Okamura, A., Yamashita, K., Hayami, M., Yuda, M., Imamura, Y., Ishizuka, N.
Oesophagectomy with or without supraclavicular lymphadenectomy after neoadjuvant treatment for squamous cell carcinoma of the oesophagus.
Br. J. Surg., 2018. 105(13): 1793-1798

6. Sugawara, M., Goto, Y., Yamazaki, T., Teramoto, T., Oikawa, S., Shimada, K., Uchiyama, S., Ando, K., Ishizuka, N., Murata, M., Yokoyama, K., Uemura, Y., Ikeda, Y.
Low-dose aspirin for primary prevention of cardiovascular events in elderly Japanese patients with Atherosclerotic risk factors: Subanalysis of a randomized clinical trial (JPPP-70).
Am. J. Cardiovasc. Drugs, 2018: in press

7. Takeda, Y., Mise, Y., Ishizuka, N., Harada, S., Hayama, B., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Effect of early administration of coagulation

factor XIII on fistula after pancreatic surgery: the FIPS randomized controlled trial.
Langenbecks Arch. Surg., 2018. 403(8): 933-940

8. Yamashita, K., Watanabe, M., Mine, S., Toihata, T., Fukudome, I., Okamura, A., Yuda, M., Hayami, M., Ishizuka, N., Imamura, Y.
Minimally invasive esophagectomy attenuates the postoperative inflammatory response and improves survival compared with open esophagectomy in patients with esophageal cancer: a propensity score matched analysis.
Surg. Endosc., 2018. 32(11): 4443-4450

9. Yokoyama, K., Ishizuka, N., Uemura, N., Mizokami, Y., Hiraishi, H., Murata, M., Uchiyama, S., Teramoto, T., Shimada, K., Yamazaki, T., Oikawa, S., Sugawara, M., Ando, K., Ikeda, Y.
Effects of daily aspirin on cancer incidence and mortality in the elderly Japanese.
Res. Pract. Thromb. Haemost., 2018. 2(2): 274-281

10. デビッド・シュピーゲルハルター著 , 石塚直樹訳
統計学はときにセクシーな学問である：世界的権威は数値をどう読むか .
東京 , ライフサイエンス出版：328p., 2018

11. 根本明日香 , 牛嶋大
定量的ハイスループットスクリーニングによる化学物質の生物学的活性評価のための統計学的手法 .
計量生物学 , 2018. 38(2): 93-105

健診センター

1. 今井瑞香 , 歌野健一 , 冨樫一智 , 土田知宏
大腸 CT 検査の前処置にルビプロストン + 水溶性造影剤は有用か？　腸管洗浄剤を使用しない新たな前処置法の試み .
日本消化器がん検診学会雑誌 , 2018. 56(1): 34-41

11. 獲得研究費一覧

【2017年度】

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	3,800,000	消化器外科 大橋学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	615,385	消化器外科 大橋学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	放射線治療管理、局所放射線療法のQA/QC、ISRT標準化	240,000	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	小児及びＡＹＡ世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	400,000	放射線治療部 角美奈子
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	236,364	婦人科 竹島信宏
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	454,546	消化器化学療法科 陳勁松
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	500,000	眼科 辻英貴
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	効果判定、PETのQA/QC	1,000,000	核医学部 寺内隆司
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	77,520	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	300,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	胸腺癌、胸腺腫に対する抗ＰＤ－１抗体二ボルマブ適応拡大のための研究	1,200,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	外科手術手技の客観的評価と科学的根拠に基づいた標準治療開発のための多施設共同第三相無作為化試験の確立	500,000	肝胆膵外科 斎浦明夫
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療法確立のための研究	200,000	整形外科 阿江啓介
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	400,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	胃癌補助化学療法の期間短縮を目指した非劣性ランダム化比較第Ⅲ相試験	1,994,185	消化器外科 布部創也
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する	230,770	頭頸科 三谷浩樹
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	1,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	遺伝子組換え麻疹ウイルスを用いた癌治療法の開発	1,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	400,000	放射線治療部 吉岡靖生

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	700,000	形成外科 澤泉雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	切除不能・術後再発胆道癌に対するＦＯＬＦＩＲＩＮＯＸ療法	1,000,000	消化器内科 笹平直樹
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	産学連携全国がんゲノムスクリーニング（SCRUM-Japan）患者レジストリを活用したBRAF遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	500,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	4,328,800	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	769,231	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	医薬品等規制調和・評価研究事業	患者に対してセンシティブな内容（性交渉や避妊等）を説明する医療従事者向け教育プログラムの策定に関する研究	384,616	血液腫瘍科 西村倫子
日本医療研究開発機構（AMED）	創薬基盤推進研究事業	肥満関連癌症例の血液試料分析による肥満関連のバイオマーカーの同定	1,880,000	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	オーダーメイド医療の実現プログラム	大腸がん発症リスクの予測を可能とする感受性遺伝子の同定とその応用研究の推進	2,769,231	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	バイオバンク	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化（ＤＮＡサンプル及び臨床情報の収集）	14,879,231	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	8K等高精細映像データ利活用研究事業	人工知能とデータ大循環によって実現する、大腸内視鏡診療の革新的転換	6,821,700	消化器内科 斎藤彰一
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	46,576,924	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	NGS技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子同定と標準化医療構築	60,884,616	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析によるがん早期診断薬開発	1,800,000	消化器外科 長山聡
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	600,000	遺伝子診療部 新井正美
厚生労働省	難治性疾患等政策研究事業	腹腔外発生デスモイド腫瘍患者の実態把握および診療ガイドライン確立に向けた研究	70,000	整形外科 阿江啓介
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	ＪＣＯＧ試験におけるＰＥＴ/ＣＴのＱＡ/ＱＣを担保するシステム構築に関する研究・がんＰＤＧ－ＰＥＴ/ＣＴ撮像法ガイドラインの改訂に関する研究	2,500,000	核医学部 寺内隆司
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	800,000	消化器外科 布部創也

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究（A）	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	150,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	基盤研究（B）	患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	100,000	呼吸器内科 西尾誠人
文部科学省	基盤研究（B）	患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	100,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（B）	ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	300,000	消化器内科 笹平直樹
文部科学省	基盤研究（B）	蛍光イメージングを駆使した肝臓外科手術支援の基礎技術開発研究	200,000	消化器外科 石沢武彰
文部科学省	基盤研究（B） （特設分野研究）	大規模経時採取血漿バンクの網羅的蛋白質変動解析による大腸癌再発予測因子の解明	600,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（C）	高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	1,100,000	購買・施設部 野村幸男
文部科学省	基盤研究（C）	高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	100,000	臨床試験部 石塚直樹
文部科学省	基盤研究（C）	高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	100,000	遺伝子診療部 新井正美
文部科学省	基盤研究（C）	基礎研究解析データに基づく大腸がん新規治療薬のバイオマーカー探索	1,200,000	消化器内科 末永光邦
文部科学省	基盤研究（C）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	1,200,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（C）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（C）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	200,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	大腸癌におけるRNF43遺伝子による腫瘍増殖メカニズムの解明	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析	300,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（C）	全エクソンシークエンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	900,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（C）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん －臓器横断的解析－	20,000	頭頸科 新橋渉
文部科学省	基盤研究（C）	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	1,400,000	細胞診断部 杉山裕子
文部科学省	基盤研究（C）	大腸癌同一症例原発／転移組織を用いたプロテオーム解析による血中転移マーカーの開発	100,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（C）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	1,200,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（C）	間質応答を利用した乳癌治療の効率化	1,000,000	乳腺外科 上野貴之
文部科学省	基盤研究（C）	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	914,662	放射線治療部 吉岡靖生

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究（C）	癌化学療法における薬剤性心筋症発症に寄与する遺伝的素因ならびに心機能特性の解明	2,400,000	総合診療部 渡邉　直
文部科学省	基盤研究（C）	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	1,500,000	総合腫瘍科 仲野兼司
文部科学省	基盤研究（C）	３次元画像解析とプロジェクションマッピングを用いた乳房再建手術支援システムの開発	1,900,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究（C）	肝硬変の小腸脂質吸収障害に対するBCAA（分枝鎖アミノ酸）の保護作用の解明	250,000	消化器内科 山本安則
文部科学省	基盤研究（C）	腎癌における遺伝子変異・遺伝子発現を基にした治療体系確立への基礎研究	1,100,000	泌尿器科 湯浅健
文部科学省	基盤研究（C）	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	50,000	婦人科 野村秀高
文部科学省	基盤研究（C）	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	50,000	婦人科 加藤一喜
文部科学省	基盤研究（C）	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	100,000	総合腫瘍科 高橋俊二
文部科学省	基盤研究（C）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん －臓器横断的解析－	20,000	放射線治療部 利安隆史
文部科学省	基盤研究（C）	腫瘍内HER2不均一発現を呈する胃癌のトラスツズマブ耐性機序の分子生物学的解明	1,500,000	消化器内科 若槻尊
文部科学省	基盤研究（C）	造血幹細胞移植を受ける患者のＱＯＬと知識、学習性無力感、自己効力感との関係の解明	1,647,719	看護部 鈴木美穂
文部科学省	基盤研究（C）	看護師の臨床判断力を強化する卒後教育プログラムとその評価指標の確立	50,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	挑戦的研究（萌芽）	メチル化異常の網羅的解析による食道胃接合部腺癌の新たな分類と治療標的分子の探索	2,300,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	挑戦的研究（萌芽）	メチル化異常の網羅的解析による食道胃接合部腺癌の新たな分類と治療標的分子の探索	50,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	挑戦的萌芽研究	地域高齢者を支えるコンビニエンスストア：地域包括ケアにおける協働モデルの構築	50,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	若手研究（A）	食道胃接合部腺癌におけるKRAS遺伝子増幅の意義とその悪性化メカニズムの解明	6,400,000	消化器外科 今村裕
がん研究振興財団	一般課題：A	大腸癌肝転移・膵癌の化療後切除における術中蛍光イメージングの有効性評価	1,000,000	消化器外科（肝胆膵） 石沢　武彰
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの胆管癌・膵癌術前診断への応用	1,000,000	消化器外科（肝胆膵） 伊藤　寛倫
内視鏡医学研究振興財団	研究助成金	内視鏡手術の確実性向上に寄与するライブ組織透明化技術の開発	500,000	消化器外科（肝胆膵） 石沢　武彰
がん研究振興財団	海外派遣研究者への助成事業	米国肝胆膵外科学会2018	170,000	消化器外科（肝胆膵） 渡邉 元己
がん研究振興財団	海外派遣研究者への助成事業	The Clinical inpact Of Left Gastric Artery Reconstruction/Preservation During Distal Pancreatectomy With Celiac Resection Pancreatic Body Cancer	170,000	消化器外科（肝胆膵） 大庭　篤志
がん研究振興財団		大腸癌肝転移病巣病理検体を用いた化学療法感受性予知因子の解析	1,000,000	病院病理部 神田　浩明

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
がん研究振興財団	A課題	高度リンパ節転移を伴う胃癌に対する術前化学療法後の至適リンパ節郭清に関する研究	1,000,000	消化器外科 熊谷　厚志
内視鏡医学研究振興財団		抗凝固薬内服例の胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術におけるダビガトラン置換の有効性を検証する多施設前向き試験」	1,000,000	消化器内科 由雄　敏之
日本対がん協会　リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」		がん患者の子供に対する心理的・社会的支援システムの開発	1,000,000	消化器化療科 市村　崇
癌臨床研究助成基金		直腸癌に対する非手術療法(Watch&Wait療法）の安全な導入と clinical complete response 診断基準に関する前向き試験	500,000	消化器外科（大腸） 小西　毅
外科学研究助成基金		大腸癌原発巣の遊走性癌幹細胞に着目したピンポイント遺伝子抽出による新しい肝転移切除適応基準の開発	500,000	消化器外科（大腸） 小西　毅
内視鏡医学研究振興財団		抗凝固薬内服例の胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術におけるダビガトラン置換の有効性を検証する多施設前向き試験	1,000,000	上部消化管内科 由雄　敏之
帝人ファーマ株式会社		四肢転移性骨腫瘍切迫骨折症例に対する治療指針	500,000	整形外科 谷澤　泰介

【2018年度】

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
内閣府 （医薬基盤・健康・栄養研究所）	戦略的イノベーション創造プログラム AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム	人工知能を有する統合がん診療支援システム	127,918,964	有明病院 佐野　武
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	産学連携全国がんゲノムスクリーニング（SCRUM-Japan）患者レジストリを活用したBRAF遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	2,600,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	900,000	消化器外科 大橋　学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	放射線治療管理、局所放射線療法のQA/QC、ISRT標準化	250,000	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	小児及びＡＹＡ世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	495,000	放射線治療部 角美奈子
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	300,000	婦人科 竹島信宏
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	200,000	消化器化学療法科 陳　勁松
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	461,539	眼科 辻　英貴
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	2,000,000	消化器内科 尾阪将人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	100,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	300,000	乳腺外科 北川大
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	1,000,000	頭頸科 福島啓文
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	次世代シークエンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	2,307,693	呼吸器内科 堀池篤
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第1相試験	1,000,000	呼吸器内科 北園聡

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験	1,600,000	消化器化学療法科 篠崎英司
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	外科手術手技の客観的評価と科学的根拠に基づいた標準治療開発のための多施設共同第三相無作為化試験の確立	500,000	肝胆膵外科 斎浦明夫
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療法確立のための研究	153,880	整形外科 阿江啓介
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	200,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	1,000,000	消化器外科 布部創也
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	230,770	頭頸科 三谷浩樹
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	1,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	遺伝子組換え麻疹ウイルスを用いた癌治療法の開発	2,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	269,231	放射線治療部 吉岡靖生
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	927,600	形成外科 澤泉雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	切除不能・術後再発胆道癌に対するＦＯＬＦＩＲＩＮＯＸ療法	1,000,000	消化器内科 笹平直樹
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	産学連携全国がんゲノムスクリーニング（SCRUM-Japan）患者レジストリを活用したBRAF遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	500,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	4,000,000	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	1,153,860	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	医薬品等規制調和・評価研究事業	患者に対してセンシティブな内容（性交渉や避妊等）を説明する医療従事者向け教育プログラムの策定に関する研究	230,769	血液腫瘍科 西村倫子
日本医療研究開発機構（AMED）	8K等高精細映像データ利活用研究事業	人工知能とデータ大循環によって実現する、大腸内視鏡診療の革新的転換	420,600	消化器内科 斎藤彰一
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	39,590,000	呼吸器内科 西尾誠人

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	NGS技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子同定と標準化医療構築	56,913,847	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	腸内細胞を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発	2,000,000	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析によるがん早期診断薬開発	1,800,000	消化器外科 長山聡
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	小児・AYA世代がん患者のサイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究	200,000	乳腺センター 大野真司
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	３学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	300,000	総合腫瘍科 高橋俊二
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	外科手術前後補助薬物療法早期臨床試験の研究体制確立に関する研究	600,000	消化器外科 小西毅
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	ＪＣＯＧ試験におけるＰＥＴ/ＣＴのＱＡ/ＱＣを担保するシステム構築に関する研究・がんＰＤＧ－ＰＥＴ/ＣＴ撮像法ガイドラインの改訂に関する研究	2,500,000	核医学部 寺内隆司
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	600,000	消化器外科 布部創也
文部科学省	新学術領域研究	先端モデル動物支援プラットフォーム	410,000	臨床研究・開発センター 牛嶋　大
文部科学省	基盤研究（Ａ）	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	150,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	革新的治療法開発を目指した抗癌剤耐性に関わる腸内細菌叢の網羅的探索	70,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	予測医学の実現に向けたオミックスデータに基づく統計学的方法の開発	150,000	臨床研究・開発センター 牛嶋　大
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	100,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	300,000	消化器内科 笹平直樹
文部科学省	基盤研究（Ｂ） （特設分野研究）	大規模経時採取血漿バンクの網羅的蛋白質変動解析による大腸癌再発予測因子の解明	600,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	1,500,000	購買・施設部 野村幸男
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	基礎研究解析データに基づく大腸がん治療薬の非網羅的バイオマーカー検証研究	1,300,000	消化器内科 末永光邦
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	汗腺機能障害からみた分子標的薬による皮膚障害の病態解析と新規治療法の開発	3,351,672	皮膚科 西澤綾

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究（C）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（C）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	大腸癌におけるRNF43遺伝子による腫瘍増殖メカニズムの解明	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析	100,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（C）	遺伝子変異情報に基づいた大腸癌に対する新規治療戦略の開発	1,500,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（C）	免疫ゲノム解析による直腸癌術前放射線化学療法の治療効果に寄与する免疫環境の解明	1,400,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（C）	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	1,800,000	細胞診断部 杉山裕子
文部科学省	基盤研究（C）	リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	1,400,000	消化器外科 上野雅資
文部科学省	基盤研究（C）	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	800,000	消化器外科 伊藤寛倫
文部科学省	基盤研究（C）	活性化ストローマ細胞とのクロストークを介した炎症性発癌メカニズムの解明	1,200,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	700,000	放射線治療部 吉岡靖生
文部科学省	基盤研究（C）	癌化学療法における薬剤性心筋症発症に寄与する遺伝的素因ならびに心機能特性の解明	600,000	総合診療部 渡邉　直
文部科学省	基盤研究（C）	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	1,600,000	総合腫瘍科 仲野兼司
文部科学省	基盤研究（C）	３次元画像解析とプロジェクションマッピングを用いた乳房再建手術支援システムの開発	900,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究（C）	腎癌における遺伝子変異・遺伝子発現を基にした治療体系確立への基礎研究	1,100,000	泌尿器科 湯浅健
文部科学省	基盤研究（C）	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	200,000	総合腫瘍科 高橋俊二
文部科学省	基盤研究（C）	抗VEGFR2抗体投与後早期のVEGF-A上昇の臨床的意義と新たな治療戦略の開発	900,000	消化器内科 若槻尊
文部科学省	基盤研究（C）	ウェアラブルデバイスを使用したがん性疼痛管理における医療用麻薬の客観的有用性評価	400,000	薬剤部 鈴木賢一
文部科学省	挑戦的研究（萌芽）	メチル化異常の網羅的解析による食道胃接合部腺癌の新たな分類と治療標的分子の探索	2,600,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	挑戦的研究（萌芽）	革新的治療法開発を目指した腸内細菌叢とサルコペニアの網羅的解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	若手研究（A）	食道胃接合部腺癌におけるKRAS遺伝子増幅の意義とその悪性化メカニズムの解明	5,500,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	若手研究（B）	乳癌における免疫モニタリングと新規免疫治療の開発	800,000	総合腫瘍科 小野麻紀子

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究	子宮頸がん放射線治療におけるラディオミクス解析と標的体積縮小モデルの構築	1,400,000	放射線治療部 中野正寛
文部科学省	研究活動 スタート支援	超微小血管吻合技術を用いた筋電義手の理想的な末梢神経インターフェイスの追求	1,000,000	形成外科 辛川領
日本学術 振興会	藤田記念医学研究振興基金研究助成事業	肺扁平上皮癌と食道癌肺転移の鑑別-FFPEからの発現解析とNGSを用いた確認	1,000,000	呼吸器外科 一瀬淳二
がん研究振興財団	がん研究助成金：A	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	1,000,000	消化器外科（肝胆膵）　伊藤　寛倫
公益財団法人　大和証券ヘルス財団		リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	1,000,000	消化器外科（大腸） 秋吉　高志
公益財団法人がん研究振興財団		Hypermutatorに着目した直腸がん術前放射線化学療法効果予測因子の探索	1,000,000	消化器外科（大腸） 秋吉　高志
三井住友信託銀行	公益信託　癌臨床研究助成基金	マルチキナーゼ阻害剤（レゴラフェニブ）における手足症候群の新規予防・治療法の開発研究	500,000	皮膚科 西澤　綾
上原記念生命科学財団		人工知能を使用した食道癌の拾い上げ診断の検討	5,000,000	上部消化管内科 由雄　敏之
公益財団法人がん研究振興財団	平成30年度がん研究助成金	人工知能を用いた、狭帯域光観察併用拡大内視鏡による胃癌の内視鏡診断の研究	1,000,000	上部消化管内科 堀内　裕介
公益財団法人がん研究振興財団		術前がん患者の理解向上を目的としたVirtual Reality用手術シミュレーションの開発	500,000	画像診断部・診療放射線技師　川端一広
内視鏡医学研究振興財団	海外派遣助成	The crush carving technique using a soft coagulation device-A simple method for successful laparoscopic hemi-nephrectomy without hilar clamping（ソフト凝固を用いた新しい無阻血腹腔鏡下半腎切除手技 ―Crush carving technique― の開発）	300,000	泌尿器科 駒井　好信
小野薬品工業株式会社	小野薬品　奨学寄附サポート	Narrow-Band-Imaging併用エンドサイトスコピーの上部消化管における有用性の検討	9,000,000	上部消化管内科 堀内　裕介
三井生命厚生財団	第51回医学研究助成	前立腺癌に対する各種放射線治療の効果、有害事象、QOL、コストの比較による最適な治療法選択	1,000,000	放射線治療部 吉岡　靖生
小野薬品工業株式会社		リンパ管静脈吻合術における術中リンパ造影の効果	8,000,000	形成外科 棚倉　健太
独立行政法人日本学術振興会　藤田記念医学研究振興基金研究助成事業		肺扁平上皮癌と食道癌肺転移の鑑別　―FFPEからの発現解析とNGSを用いた確認―	1,000,000	呼吸器外科 一瀬　淳二
内視鏡医学研究振興財団		抗凝固薬内服例の胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術におけるダビガトラン置換の有効性を検証する多施設前向き試験	1,000,000	上部消化管内科 由雄　敏之
大鵬薬品	奨学寄付	泌尿器腫瘍における新たな予後予測パラメータ・スコアリングシステムの確立	500,000	泌尿器科 米瀬　淳二
小野薬品	奨学寄付	膀胱全摘除周術期管理におけるERASの導入とその有用性の検討	1,000,000	泌尿器科 米瀬　淳二
アステラス	奨学寄付	腎癌における薬物治療体系確立への基礎研究	700,000	泌尿器科 米瀬　淳二

１２．学術研究講演

2017年

回	日付	開催時間	演題	発表者
第259回	2017年1月17日（火）	18:00～19:30	がん研有明病院のIVR（・・・これから）	画像診断部　松枝　清　医師
			がん診療におけるIVR	国立がん研究センター　理事長特任補佐 中央病院放射線診断科長　IVRセンター長 荒井　保明　先生
第260回	2017年2月21日（火）	18:00～19:30	当院におけるリンパ浮腫の外科治療の実際	形成外科　　棚倉　健太　医師
			肝細胞増殖因子によるリンパ浮腫遺伝子治療法の開発	旭川医科大学　外科学講座血管外科 齊藤　幸裕　先生
第261回	2017年2月23日（木）	18:00～19:30	進行直腸癌の対するWatch&Wait療法　手術しないでも癌は治る！	Instituto Angelita & Joaquim Gama Prof. Rodrigo O. Perez
第262回	2017年3月21日（火）	18:00～19:30	28年度　Best English Paper　受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			Randomized, double-blind, phase Ⅲtrial of palonosetron versus granisetron in the triplet regimen for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting after highly emetogenic chemotherapy: TRIPLE study	薬剤部　　鈴木　賢一　薬剤師
			【シルバー賞】	
			Randomized clinical trial of oral and intravenous versus intravenous antibiotic prophylaxis for laparoscopic colorectal resection	消化器（大腸）外科　　池田　篤志　医師
			Surgical excision without whole breast irradiation for complete resection of ductal carcinoma in situ identified using strict,unified criteria	乳腺外科　　坂井　威彦　医師
			Parenchymal-Sparing Hepatectomy Does Not Increase Intrahepatic Recurrence in Patients with Advanced Colorectal Liver Metastases	消化器（肝胆膵）外科　松村　優　医師
			Colonic Marking With Near-Infrared, Light-Emitting, Diode-Activated Indocyanine Green for Laparoscopic Colorectal Surgery	消化器（大腸）外科　　永田　淳　医師
			【ブロンズ賞】	
			Young adult breast cancer patients have a poor prognosis independent of prognostic clinicopathological factors: a study from the Japanese Breast Cancer Registry	乳腺外科　　片岡　明美　医師
			Serum VEGF-A and CCL5 levels as candidate biomarkers for efficacy and toxicity of regorafenib in patients with metastatic colorectal cancer	消化器化学療法科　　末永　光邦　医師
第263回	2017年4月18日（火）	18:00～19:30	ICH-GCPにおける変更点　リスクベースととは何か？	興和株式会社　医業事業部　医療用開発本部 臨床解析部　部長 菅波　秀規 先生
第264回	2017年5月16日（火）	18:00～19:30	Phase Ⅰ　チームについて	総合腫瘍科　友松　純一　医師
			腫瘍溶解ウイルスについて	東京大学医科学研究所　先端医療研究センター教授 藤堂　具紀　先生
第265回	2017年6月20日（火）	18:00～19:30	がん病院における感染対策　帯状疱疹の事例を通して	感染症科　羽山　ブライアン　医師
			海外渡航歴のある患者の診療～2020を迎えるにあたって医療従事者がしっておくべきこと～	国立国際医療研究センター 忽那　賢志　先生
第266回	2017年7月18日（火）	18:00～19:30	がん研有明病院におけ胸腔鏡下肺がん手術の現状	呼吸器外科　中尾　将之　医師
			肺がん薬物療法の進歩　がん研究会有明病院の歩みとともに	呼吸器内科　堀池　篤　医師
第267回	2017年9月19日（火）	18:00～19:30	AIを用いた胃癌の内視鏡診断	上部消化管内科　平澤　俊明　医師
			細胞運命の操作技術の医学応用~iPS細胞にインスパイアされた研究の展開～	神戸大学大学院　科学技術イノベーション研究科 先端医療学分野 医学研究科　iPS細胞応用医学分野　教授 青井　貴之　先生
第268回	2017年10月17日（火）	18:00～19:30	当科における前立腺癌に対するダビンチ手術の成績/現況	泌尿器科　山本　真也　医師
			直腸がんに対するロボット手術	東京医科歯科大学大学院 消化管外科学分野　教授 絹笠　祐介　先生
第269回	2017年10月19日（木）	18:00～19:30	PD-L1 Immunohistochemistry is the best predictive biomarker for PD-1/PD-L1 blockade? - an experience with NSCLC	Department of Pathology, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School 准教授 Mari Mino-Kenudson (三野 眞理) 先生
第270回	2017年11月1日（水）	18:00～19:30	Watch and wait for rectal cancer. When to do it, how to do it and is it safe?	The Royal Liverpool and Broadgreen University Hospital NHS Trust, Liverpool, UK Fraser McLean Smith　先生

第271回	2017年11月21日（火）	18:00～19:30	上部消化管外科における周術期感染症対策-当院での取り組み-	食道外科　岡村　明彦　医師
			Skill Mix型チームTOPSによるがん周術期支援	済生会横浜市東部病院　周術期支援センター長 栄養部部長 谷口 英喜　先生
第272回	2017年12月19日（火）	18:00～19:30	抗PD-1抗体の現在地	婦人科　尾松　公平　先生
			免疫チェックポイント阻害薬　今後の展望とピットフォール	京都大学医学部附属病院 周産母子診療部　講師 濱西 潤三　先生

2018年

回	日付	開催時間	演題	発表者
第273回	2018年1月16日（火）	18:00～19:30	マギーズ東京を患者に紹介してみると・・・	乳腺外科 医長　片岡 明美 医師
			マギーズセンターの試み　医療者とのコミュニケーションに悩む相談者に応える	マギーズ東京センター長 秋山 正子 先生
第274回	2018年2月20日（火）	18:00～19:30	肉腫におけるバイオマーカーとしての分泌型microRNAの意義	整形外科　医員　　三浪 友輔　医師
			絶え間なく変化し続ける骨軟部腫瘍の疾患概念	がん・感染症センター都立駒込病院　　病理科 元井 亨　先生
第275回	2018年2月7日（水）	18:00～19:30	今後のがん研における緩和治療科の方向性とビジョンについて	がん疼痛治療科部長　服部　政治　医師
				腫瘍精神科副医長　大島　淑夫　医師
				緩和治療科副医長　櫻井　宏樹　医師
第276回	2018年3月20日（火）	18:00～19:30	29年度　Best English Paper　受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			Laparoscopic and luminal endoscopic cooperative surgery can be a standard treatment for submucosal tumors of the stomach: a retrospective multicenter study.	消化器（胃）外科　松田　達雄　医師
			【シルバー賞】	
			Randomized clinical trial comparing standard diet with perioperative oral immunonutrition in total gastrectomy for gastric cancer.	消化器（胃）外科　井田　智　医師
			Adrenal insufficiency related to anti-programmed death-1 therapy.	呼吸器内科　有安　亮　医師
			Accuracy of diagnostic demarcation of undifferentiated-type early gastric cancer for magnifying endoscopy with narrow-band imaging: surgical cases.	上部消化管内科　堀内　裕介　医師
			【ブロンズ賞】	
			Second-line chemotherapy for patients with advanced gastric cancer.	消化器化療科　高張　大亮　医師
			Serum miR-143 levels predict the pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.	消化器（大腸）外科　日吉　幸晴　医師
			Total laparoscopic pelvic exenteration for a laterally recurrent cervical carcinoma with a vesicovaginal fistula that developed after concurrent chemoradiotherapy.	婦人科　金尾　祐之　医師
			High pretreatment level of soluble interleukin-2 receptor is a robust pronostic factor in patients with follicular lymphoma treated with R-CHOP-like therapy.	血液腫瘍科　草野　善晴　医師
第277回	2018年4月17日（火）	18:00～19:30	METの活動状況	集中治療部　山本　豊　医師
			急性期医療おける近隣施設との医療連携	集中治療部　山本　豊　医師
			災害拠点病として :災害医療への準備・当院の設備の状況	集中治療部　望月俊明　医師
第278回	2018年5月15日（火）	18:00～19:30	頭頸部がんの治療について	頭頚科　日高竜太　医師
			頭頸部癌治療後QOSのための支持療法	東海大学医学部 耳鼻咽喉科領域主任　教授付属病院副院長 医療監査部長 大上　研二　先生
第279回	2018年6月19日（火）	18:00～19:30	1次治療オシメルチニブの耐性変異予測	呼吸器内科　内堀　健　医師
			日本の抗がん剤開発の課題　-日本は生き残れるか？-	国立がん研究センター中央病院先端医療科科長 山本　昇　先生
第280回	2018年7月17日（火）	18:00～19:30	当院における最新放射線治療：今年の進歩	放射線治療部　小口正彦　医師
			細胞周期の可視化によって見えるRedistributionの意義	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野　教授 三浦　雅彦　先生
第281回	2018年7月24日（火）	18:00～19:30	今後のがん研における緩和治療科の 方向性とビジョンについて	星ヶ丘医療センター・緩和ケア科部長 川原　玲子　先生
第282回	2018年9月5日（水）	18:00～19:30	当院における退院・在宅療養支援の取り組み －退院・在宅療養支援の実例を踏まえて－	医療連携部　田近忍
			がん患者の退院・在宅療養支援	茨城県立中央病院　がん看護専門看護師 角田　直枝　看護局長

第283回	2018年10月16日（火）	18:00～19:30	がんでも楽しく暮らすコツーおしゃれも忘れないライフスタイル	婦人科　宇津木　久仁子　医師
			がんサバイバーシップケア再考：治療後を生きる人のケアを、誰が、何について、どこで、どのように行うか	国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部長 高橋　都　先生
第284回	2018年11月7日（水）	18:00～19:30	当院における自家移植例のまとめ	血液腫瘍科　井上典仁　医師
			造血器腫瘍に対するキメラ抗原受容体 (CAR) 発現T細胞療法の臨床開発	自治医科大学　血液内科 大嶺　謙　先生
第285回	2018年12月18日（火）	18:00～19:30	肝臓手術における術中超音波検査の未来展望	肝胆膵外科　三瀬　祥弘　医師
			臨床医が進める医療機器開発　―マイクロ波手術機器の開発―	医療法人社団　昴会　日野記念病院 外科　院長代行 仲　成幸　先生

13. 財政状況

平成27～29年度 正味財産増減計算（３か年度分）
平成27年４月１日 ～ 平成30年３月31日

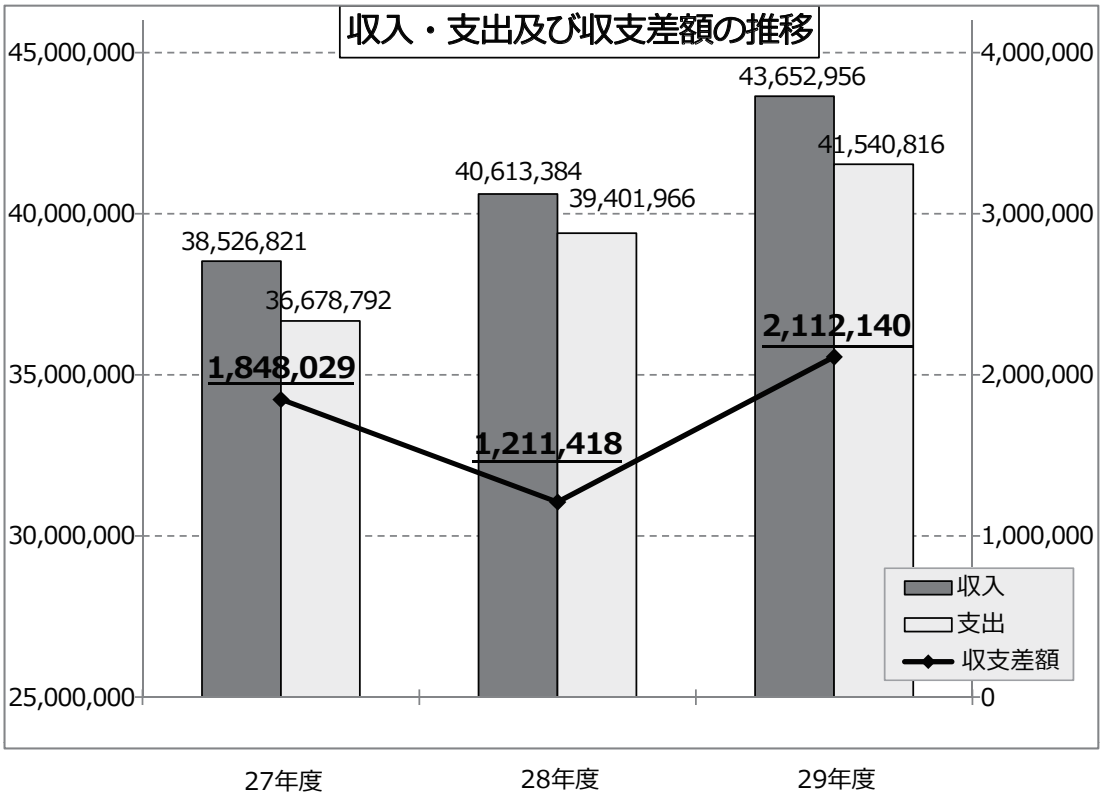
１．収入の部　　（単位：千円）

科　目	27年度	28年度	29年度	
	金 額	金 額	金 額	割 合
基本財産収入	11,238	9,239	8,639	0.02%
病院収入	34,744,753	36,544,706	38,931,083	89.18%
研究所収入	302,268	329,310	1,302,409	2.98%
がん化学療法センター収入	42,720	41,340	40,840	0.09%
補助金・寄付金収入	1,019,446	910,296	983,150	2.25%
事業外収入	2,406,396	2,778,492	2,386,836	5.47%
収入合計	**38,526,821**	**40,613,384**	**43,652,956**	**100.0%**

２．支出の部　　（単位：千円）

科　目	27年度	28年度	29年度	
	金 額	金 額	金 額	割 合
病院支出	29,362,418	31,329,777	33,465,421	80.56%
研究所支出	2,438,749	3,023,668	2,884,475	6.94%
がん化学療法センター支出	427,692	456,434	482,099	1.16%
管理支出	1,875,313	1,659,233	1,730,530	4.17%
事業外支出	429,590	404,290	359,778	0.87%
減価償却費	2,145,030	2,528,564	2,618,514	6.30%
支出合計	**36,678,792**	**39,401,966**	**41,540,816**	**100.0%**

当期収支差額	**1,848,029**	**1,211,418**	**2,112,140**	**4.84%**



公益財団法人がん研究会